

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第341集

石持 I 遺跡発掘調査報告書

一般国道4号・花巻バイパス改築工事関連遺跡発掘調査

(財) 岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第341集

石持 I 遺跡発掘調査報告書

一般国道4号・花巻バイパス改築工事関連遺跡発掘調査

序

本県には、縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地が各地域にあり、10,000カ所にも及ぶ遺跡が確認されています。これらの先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた重大な責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実もまた重要な一施策であります。

このような埋蔵文化財の保護・保存と開発の調和も今日的課題であり、当文化振興事業団は、埋蔵文化財センター創設以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、花巻東バイパス建設に関連して、平成10・11年度に調査した石持I遺跡の調査結果をまとめたものです。調査によって、9世紀から10世紀初頭に作られた平安時代の住居跡や土坑、縄文時代の陥し穴状遺構のほか、土器・石器や石製品などが発見され、貴重な資料を提供することができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご援助・ご協力を賜りました国土交通省東北地方整備局岩手工事事務所・花巻市教育委員会をはじめ、関係各位に衷心より謝意を表します。

平成13年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団

理事長 千葉 浩一

例 言

1. 本報告書は、花巻市東宮野目10地割55番地ほかに所在する石持Ⅰ遺跡の発掘調査の結果を収録したものである。
2. 本調査は、花巻東バイパス建設に伴い遺跡の一部が消滅するため、記録保存を目的として実施した緊急発掘調査である。調査は建設省（現・国土交通省）岩手工事事務所と岩手県教育委員会事務局文化課との協議を経て、（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが担当した。
3. 岩手県遺跡登録台帳に記載される遺跡番号は、ME16-2117、遺跡略号は、IMI-98 IMI-99である。
4. 調査年度ごとの発掘調査期間及び発掘調査面積は次の通りである。

平成10年度 平成10年4月13日～10月12日 8,000m²
平成11年度 平成11年4月14日～11月10日 7,380m²

室内整理は2カ年にわたり、両年とも11月1日～翌年の3月31日である。野外調査、室内整理ともに平成10年度は早坂 悟、中野 敦夫が、平成11年度は早坂 悟、平澤 里香が担当した。
5. 本報告書の執筆は、Ⅰは中川重紀、Ⅱは早坂と中野、Ⅲ～Ⅳを早坂が担当した。編集は、早坂が行った。
6. 遺物の分析・鑑定、保存処理は次の方々に依頼した。（敬称略）
 - （1）石質鑑定 花崗岩研究会
 - （2）炭化材樹種同定 岩手県木炭協会 早坂松次郎
 - （3）金属製品の保存処理 岩手県立博物館
7. 野外調査及び報告書作成にあたり、次の方々にご協力・ご指導いただいた。（敬称略）

藤井敏明（花巻市教育委員会）大越道正、安田稔（福島県文化センター）柳沼賢治、日塔とも子（郡山埋蔵文化財発掘調査事業団）瀬川司男（東和町歴史民俗資料館）中嶋友文（青森県埋蔵文化財調査センター）（順不同）
8. 野外調査では花巻市の作業員43名、室内整理では当センターの期限付職員数名のご協力をいただいた。
9. 土層の観察は、『新版標準土色帖』（小山・竹原：1989）によった。
10. 遺跡内の基準点測量・基準杭の設置は、（株）慶長測量設計に委託した。
11. 調査成果の一部を発表した現地説明会資料や調査略報の概略と、本書と記載事項が異なる場合は、全て本報告書が優先する。
12. 調査で得られた出土遺物や整理に関わる諸記録等については、岩手県埋蔵文化財センターで保管・管理している。

本文目次

序

例言

I 調査に至る経過	3
II 遺跡の立地と環境	5
1. 遺跡の位置	5
2. 周辺の地形・立地	6
3. 基本土層	6
4. 周辺遺跡	7
III 野外調査と室内整理の方法	17
1. 野外調査	17
2. 室内整理	18
IV 検出された遺構と遺構内出土遺物	19
1. 竪穴住居跡	19
2. 住居状遺構	72
3. 土坑	78
4. 掘立柱建物跡	104
5. 陥し穴状遺構	106
6. 複式炉	189
7. 墓坑	191
8. 溝跡	194
9. 柱穴状小土坑	202
V 遺構外出土遺物	250
1. 土器類	250
2. 石器類	250
VI まとめ	267
1. 遺構	267
2. 遺物	274
3. おわりに	277
付篇1 石持I遺跡出土柱材年代測定結果	298

図 版 目 次

図 1 岩手県全図	1	図36 第24号住居跡 (2)	58
図 2 遺跡の位置	2	図37 第25号住居跡 (1)	60
図 3 周辺地形図	4	図38 第25号住居跡 (2)	61
図 4 地形分類図	5	図39 第26号住居跡	63
図 5 基本土層	6	図40 第27号住居跡	65
図 6 周辺の遺跡	8	図41 第28号住居跡	66
図 7 遺構配置図 (A区)	11	図42 第29号住居跡	68
図 8 遺構配置図 (B区)	13	図43 第30号住居跡	69
図 9 実測図凡例	18	図44 第31号住居跡	71
図10 第1号住居跡	20	図45 第1号住居状遺構	73
図11 第2号住居跡	22	図46 第2号住居状遺構	74
図12 第3号住居跡	23	図47 第3号住居状遺構	75
図13 第4号住居跡	25	図48 第4号住居状遺構	76
図14 第5号住居跡	27	図49 第5号住居状遺構	77
図15 第6号住居跡 (1)	29	図50 土坑 (1) (第1号~第8号)	95
図16 第6号住居跡 (2)	30	図51 土坑 (2) (第9号~第16号)	96
図17 第7号住居跡	31	図52 土坑 (3) (第17号~第24号)	97
図18 第8号住居跡	33	図53 土坑 (4) (第25号~第32号)	98
図19 第9号住居跡	35	図54 土坑 (5) (第33号~第40号)	99
図20 第10号住居跡	36	図55 土坑 (6) (第41号~第48号)	100
図21 第11号住居跡	37	図56 土坑 (7) (第49号~第56号)	101
図22 第12号住居跡	38	図57 土坑 (8) (第57号~第61号)	102
図23 第13号住居跡	39	図58 土坑 (9) (第62号~第64号)	103
図24 第14号住居跡	40	溝跡 (1) (第9号)	103
図25 第15号住居跡	42	図59 堀立柱建物跡	105
図26 第16号住居跡	43	図60 陥し穴状遺構 (1)	106
図27 第17号住居跡	45	図61 陥し穴状遺構 (2)	107
図28 第18号住居跡 (1)	47	図62 陥し穴状遺構 (3)	108
図29 第18号住居跡 (2)	48	図63 陥し穴状遺構 (4)	109
図30 第20号住居跡	50	図64 陥し穴状遺構 (5)	110
図31 第21号住居跡 (1)	52	図65 陥し穴状遺構 (6)	111
図32 第21号住居跡 (2)	53	図66 陥し穴状遺構 (7)	112
図33 第22号住居跡	54	図67 陥し穴状遺構 (8)	113
図34 第23号住居跡	56	図68 陥し穴状遺構 (9)	114
図35 第24号住居跡 (1)	57	図69 陥し穴状遺構 (10)	115

図 70	陥し穴状遺構(11)	116	図106	陥し穴状遺構(47)	152
図 71	陥し穴状遺構(12)	117	図107	陥し穴状遺構(48)	153
図 72	陥し穴状遺構(13)	118	図108	陥し穴状遺構(49)	154
図 73	陥し穴状遺構(14)	119	図109	陥し穴状遺構(50)	155
図 74	陥し穴状遺構(15)	120	図110	陥し穴状遺構(51)	156
図 75	陥し穴状遺構(16)	121	図111	陥し穴状遺構(52)	157
図 76	陥し穴状遺構(17)	122	図112	陥し穴状遺構(53)	158
図 77	陥し穴状遺構(18)	123	図113	陥し穴状遺構(54)	159
図 78	陥し穴状遺構(19)	124	図114	陥し穴状遺構(55)	160
図 79	陥し穴状遺構(20)	125	図115	陥し穴状遺構(56)	161
図 80	陥し穴状遺構(21)	126	図116	陥し穴状遺構(57)	162
図 81	陥し穴状遺構(22)	127	図117	陥し穴状遺構(58)	163
図 82	陥し穴状遺構(23)	128	図118	陥し穴状遺構(59)	164
図 83	陥し穴状遺構(24)	129	図119	陥し穴状遺構(60)	165
図 84	陥し穴状遺構(25)	130	図120	陥し穴状遺構(61)	166
図 85	陥し穴状遺構(26)	131	図121	陥し穴状遺構(62)	167
図 86	陥し穴状遺構(27)	132	図122	陥し穴状遺構(63)	168
図 87	陥し穴状遺構(28)	133	図123	陥し穴状遺構(64)	169
図 88	陥し穴状遺構(29)	134	図124	陥し穴状遺構(65)	170
図 89	陥し穴状遺構(30)	135	図125	陥し穴状遺構(66)	171
図 90	陥し穴状遺構(31)	136	図126	陥し穴状遺構(67)	172
図 91	陥し穴状遺構(32)	137	図127	陥し穴状遺構(68)	173
図 92	陥し穴状遺構(33)	138	図128	陥し穴状遺構(69)	174
図 93	陥し穴状遺構(34)	139	図129	陥し穴状遺構(70)	175
図 94	陥し穴状遺構(35)	140	図130	陥し穴状遺構(71)	176
図 95	陥し穴状遺構(36)	141	図131	陥し穴状遺構(72)	177
図 96	陥し穴状遺構(37)	142	図132	陥し穴状遺構(73)	178
図 97	陥し穴状遺構(38)	143	図133	陥し穴状遺構(74)	179
図 98	陥し穴状遺構(39)	144	図134	陥し穴状遺構(75)	180
図 99	陥し穴状遺構(40)	145	図135	陥し穴状遺構(76)	181
図100	陥し穴状遺構(41)	146	図136	陥し穴状遺構(77)	182
図101	陥し穴状遺構(42)	147	図137	陥し穴状遺構(78)	183
図102	陥し穴状遺構(43)	148	図138	陥し穴状遺構(79)	184
図103	陥し穴状遺構(44)	149	図139	陥し穴状遺構(80)	185
図104	陥し穴状遺構(45)	150	図140	陥し穴状遺構(81)	186
図105	陥し穴状遺構(46)	151			

図141	陥し穴状遺構(82) ……	187	図176	遺構内出土遺物(16) ……	233
図142	陥し穴状遺構(83) ……	188	図177	遺構内出土遺物(17) ……	234
図143	複式炉 ……	190	図178	遺構内出土遺物(18) ……	235
図144	墓坑(1) ……	192	図179	遺構内出土遺物(19) ……	236
図145	墓坑(2) ……	193	図180	遺構内出土遺物(20) ……	237
図146	溝跡(1)(第1号~第8号) ……	199	図181	遺構内出土遺物(21) ……	238
図147	溝跡(2)(第10号~第15号) ……	201	図182	遺構内出土遺物(22) ……	239
図148	柱穴群(1) ……	203	図183	遺構内出土遺物(23) ……	240
図149	柱穴群(2) ……	204	図184	遺構内出土遺物(24) ……	241
図150	柱穴群(3) ……	205	図185	遺構内出土遺物(25) ……	242
図151	柱穴群(4) ……	206	図186	遺構内出土遺物(26) ……	243
図152	柱穴群(5) ……	207	図187	遺構内出土遺物(27) ……	244
図153	柱穴群(6) ……	209	図188	遺構内出土遺物(28) ……	245
図154	柱穴群(7) ……	210	図189	遺構内出土遺物(29) ……	246
図155	柱穴群(8) ……	211	図190	遺構内出土遺物(30) ……	247
図156	柱穴群(9) ……	213	図191	遺構内出土遺物(31) ……	248
図157	柱穴群(10) ……	214	図192	遺構内出土遺物(32) ……	249
図158	柱穴群(11) ……	215	図193	遺構外出土遺物(1) ……	251
図159	柱穴群(12) ……	216	図194	遺構外出土遺物(2) ……	252
図160	柱穴群(13) ……	217	図195	遺構外出土遺物(3) ……	253
図161	遺構内出土遺物(1) ……	218	図196	遺構外出土遺物(4) ……	254
図162	遺構内出土遺物(2) ……	219	図197	遺構外出土遺物(5) ……	255
図163	遺構内出土遺物(3) ……	220	図198	住居跡長辺・短辺比 ……	267
図164	遺構内出土遺物(4) ……	221	図199	住居跡床面積・長辺の長さ分布図 ……	268
図165	遺構内出土遺物(5) ……	222	図200	カマド主軸方向分布 ……	271
図166	遺構内出土遺物(6) ……	223	図201	煙道部断面図模式図 ……	271
図167	遺構内出土遺物(7) ……	224	図202	陥し穴状遺構分類図 ……	272
図168	遺構内出土遺物(8) ……	225	図203	坏分類図 ……	275
図169	遺構内出土遺物(9) ……	226	図204	甕分類図 ……	275
図170	遺構内出土遺物(10) ……	227	図205	遺構別土器集成図(1) ……	278
図171	遺構内出土遺物(11) ……	228	図206	遺構別土器集成図(2) ……	279
図172	遺構内出土遺物(12) ……	229	図207	遺構別土器集成図(3) ……	280
図173	遺構内出土遺物(13) ……	230	図208	遺構別土器集成図(4) ……	281
図174	遺構内出土遺物(14) ……	231	図209	遺構別土器集成図(5) ……	282
図175	遺構内出土遺物(15) ……	232	図210	遺構別土器集成図(6) ……	283

図 70	陥し穴状遺構(11)	116	図106	陥し穴状遺構(47)	152
図 71	陥し穴状遺構(12)	117	図107	陥し穴状遺構(48)	153
図 72	陥し穴状遺構(13)	118	図108	陥し穴状遺構(49)	154
図 73	陥し穴状遺構(14)	119	図109	陥し穴状遺構(50)	155
図 74	陥し穴状遺構(15)	120	図110	陥し穴状遺構(51)	156
図 75	陥し穴状遺構(16)	121	図111	陥し穴状遺構(52)	157
図 76	陥し穴状遺構(17)	122	図112	陥し穴状遺構(53)	158
図 77	陥し穴状遺構(18)	123	図113	陥し穴状遺構(54)	159
図 78	陥し穴状遺構(19)	124	図114	陥し穴状遺構(55)	160
図 79	陥し穴状遺構(20)	125	図115	陥し穴状遺構(56)	161
図 80	陥し穴状遺構(21)	126	図116	陥し穴状遺構(57)	162
図 81	陥し穴状遺構(22)	127	図117	陥し穴状遺構(58)	163
図 82	陥し穴状遺構(23)	128	図118	陥し穴状遺構(59)	164
図 83	陥し穴状遺構(24)	129	図119	陥し穴状遺構(60)	165
図 84	陥し穴状遺構(25)	130	図120	陥し穴状遺構(61)	166
図 85	陥し穴状遺構(26)	131	図121	陥し穴状遺構(62)	167
図 86	陥し穴状遺構(27)	132	図122	陥し穴状遺構(63)	168
図 87	陥し穴状遺構(28)	133	図123	陥し穴状遺構(64)	169
図 88	陥し穴状遺構(29)	134	図124	陥し穴状遺構(65)	170
図 89	陥し穴状遺構(30)	135	図125	陥し穴状遺構(66)	171
図 90	陥し穴状遺構(31)	136	図126	陥し穴状遺構(67)	172
図 91	陥し穴状遺構(32)	137	図127	陥し穴状遺構(68)	173
図 92	陥し穴状遺構(33)	138	図128	陥し穴状遺構(69)	174
図 93	陥し穴状遺構(34)	139	図129	陥し穴状遺構(70)	175
図 94	陥し穴状遺構(35)	140	図130	陥し穴状遺構(71)	176
図 95	陥し穴状遺構(36)	141	図131	陥し穴状遺構(72)	177
図 96	陥し穴状遺構(37)	142	図132	陥し穴状遺構(73)	178
図 97	陥し穴状遺構(38)	143	図133	陥し穴状遺構(74)	179
図 98	陥し穴状遺構(39)	144	図134	陥し穴状遺構(75)	180
図 99	陥し穴状遺構(40)	145	図135	陥し穴状遺構(76)	181
図100	陥し穴状遺構(41)	146	図136	陥し穴状遺構(77)	182
図101	陥し穴状遺構(42)	147	図137	陥し穴状遺構(78)	183
図102	陥し穴状遺構(43)	148	図138	陥し穴状遺構(79)	184
図103	陥し穴状遺構(44)	149	図139	陥し穴状遺構(80)	185
図104	陥し穴状遺構(45)	150	図140	陥し穴状遺構(81)	186
図105	陥し穴状遺構(46)	151			

図141	陥し穴状遺構(82) ……187	図176	遺構内出土遺物(16) ……233
図142	陥し穴状遺構(83) ……188	図177	遺構内出土遺物(17) ……234
図143	複式炉 ……190	図178	遺構内出土遺物(18) ……235
図144	墓坑(1) ……192	図179	遺構内出土遺物(19) ……236
図145	墓坑(2) ……193	図180	遺構内出土遺物(20) ……237
図146	溝跡(1)(第1号~第8号) ……199	図181	遺構内出土遺物(21) ……238
図147	溝跡(2)(第10号~第15号) ……201	図182	遺構内出土遺物(22) ……239
図148	柱穴群(1) ……203	図183	遺構内出土遺物(23) ……240
図149	柱穴群(2) ……204	図184	遺構内出土遺物(24) ……241
図150	柱穴群(3) ……205	図185	遺構内出土遺物(25) ……242
図151	柱穴群(4) ……206	図186	遺構内出土遺物(26) ……243
図152	柱穴群(5) ……207	図187	遺構内出土遺物(27) ……244
図153	柱穴群(6) ……209	図188	遺構内出土遺物(28) ……245
図154	柱穴群(7) ……210	図189	遺構内出土遺物(29) ……246
図155	柱穴群(8) ……211	図190	遺構内出土遺物(30) ……247
図156	柱穴群(9) ……213	図191	遺構内出土遺物(31) ……248
図157	柱穴群(10) ……214	図192	遺構内出土遺物(32) ……249
図158	柱穴群(11) ……215	図193	遺構外出土遺物(1) ……251
図159	柱穴群(12) ……216	図194	遺構外出土遺物(2) ……252
図160	柱穴群(13) ……217	図195	遺構外出土遺物(3) ……253
図161	遺構内出土遺物(1) ……218	図196	遺構外出土遺物(4) ……254
図162	遺構内出土遺物(2) ……219	図197	遺構外出土遺物(5) ……255
図163	遺構内出土遺物(3) ……220	図198	住居跡長辺・短辺比 ……267
図164	遺構内出土遺物(4) ……221	図199	住居跡床面積・長辺の長さ分布図 ……268
図165	遺構内出土遺物(5) ……222	図200	カマド主軸方向分布 ……271
図166	遺構内出土遺物(6) ……223	図201	煙道部断面図模式図 ……271
図167	遺構内出土遺物(7) ……224	図202	陥し穴状遺構分類図 ……272
図168	遺構内出土遺物(8) ……225	図203	坏分類図 ……275
図169	遺構内出土遺物(9) ……226	図204	甕分類図 ……275
図170	遺構内出土遺物(10) ……227	図205	遺構別土器集成図(1) ……278
図171	遺構内出土遺物(11) ……228	図206	遺構別土器集成図(2) ……279
図172	遺構内出土遺物(12) ……229	図207	遺構別土器集成図(3) ……280
図173	遺構内出土遺物(13) ……230	図208	遺構別土器集成図(4) ……281
図174	遺構内出土遺物(14) ……231	図209	遺構別土器集成図(5) ……282
図175	遺構内出土遺物(15) ……232	図210	遺構別土器集成図(6) ……283

図211	遺構別土器集成図(7)	284	図218	遺構別土器集成図(14)	291
図212	遺構別土器集成図(8)	285	図219	遺構別土器集成図(15)	292
図213	遺構別土器集成図(9)	286	図220	遺構別土器集成図(16)	293
図214	遺構別土器集成図(10)	287	図221	遺構別土器集成図(17)	294
図215	遺構別土器集成図(11)	288	図222	遺構別土器集成図(18)	295
図216	遺構別土器集成図(12)	289	図223	遺構別土器集成図(19)	296
図217	遺構別土器集成図(13)	290	図224	遺構別土器集成図(20)	297

写 真 图 版 目 次

写真图版 1	空中写真 (1) ······	303	写真图版36	土坑 (1) ······	338
写真图版 2	空中写真 (2) ······	304	写真图版37	土坑 (2) ······	339
写真图版 3	基本土層 ······	305	写真图版38	土坑 (3) ······	340
写真图版 4	第1号住居跡 ······	306	写真图版39	土坑 (4) ······	341
写真图版 5	第2号住居跡 ······	307	写真图版40	土坑 (5) ······	342
写真图版 6	第3号住居跡 ······	308	写真图版41	土坑 (6) ······	343
写真图版 7	第4号住居跡 ······	309	写真图版42	土坑 (7) ······	344
写真图版 8	第5号住居跡 ······	310	写真图版43	土坑 (8) ······	345
写真图版 9	第6号住居跡 ······	311	写真图版44	土坑 (9) ······	346
写真图版10	第7号住居跡 ······	312	写真图版45	土坑(10) ······	347
写真图版11	第8号住居跡 ······	313	写真图版46	土坑(11) ······	348
写真图版12	第9号住居跡 ······	314	写真图版47	土坑(12) ······	349
写真图版13	第10号住居跡 ······	315	写真图版48	土坑(13) ······	350
写真图版14	第11号住居跡 ······	316	写真图版49	土坑(14) ······	351
写真图版15	第12号·第13号住居跡 ······	317	写真图版50	土坑(15) ······	352
写真图版16	第14号住居跡 ······	318	写真图版51	土坑(16)·溝跡 (1)·····	353
写真图版17	第15号住居跡 ······	319	写真图版52	陥し穴状遺構 (1)·····	354
写真图版18	第16号住居跡 ······	320	写真图版53	陥し穴状遺構 (2)·····	355
写真图版19	第17号住居跡 ······	321	写真图版54	陥し穴状遺構 (3)·····	356
写真图版20	第18号住居跡 ······	322	写真图版55	陥し穴状遺構 (4)·····	357
写真图版21	第20号住居跡 ······	323	写真图版56	陥し穴状遺構 (5)·····	358
写真图版22	第21号住居跡 ······	324	写真图版57	陥し穴状遺構 (6)·····	359
写真图版23	第22号住居跡 ······	325	写真图版58	陥し穴状遺構 (7)·····	360
写真图版24	第23号住居跡 ······	326	写真图版59	陥し穴状遺構 (8)·····	361
写真图版25	第24号住居跡 ······	327	写真图版60	陥し穴状遺構 (9)·····	362
写真图版26	第25号住居跡 ······	328	写真图版61	陥し穴状遺構(10)·····	363
写真图版27	第26号住居跡 ······	329	写真图版62	陥し穴状遺構(11)·····	364
写真图版28	第27号住居跡 ······	330	写真图版63	陥し穴状遺構(12)·····	365
写真图版29	第28号住居跡 ······	331	写真图版64	陥し穴状遺構(13)·····	366
写真图版30	第29号住居跡 ······	332	写真图版65	陥し穴状遺構(14)·····	367
写真图版31	第30号·第31号住居跡 ······	333	写真图版66	陥し穴状遺構(15)·····	368
写真图版32	第1号住居状遺構 ······	334	写真图版67	陥し穴状遺構(16)·····	369
写真图版33	第2号住居状遺構 ······	335	写真图版68	陥し穴状遺構(17)·····	370
写真图版34	第3号·第4号住居状遺構 ······	336	写真图版69	陥し穴状遺構(18)·····	371
写真图版35	掘立柱建物跡 ······	337	写真图版70	陥し穴状遺構(19)·····	372

写真図版 71	陥し穴状遺構(20) ……	373	写真図版106	陥し穴状遺構(55) ……	408
写真図版 72	陥し穴状遺構(21) ……	374	写真図版107	陥し穴状遺構(56) ……	409
写真図版 73	陥し穴状遺構(22) ……	375	写真図版108	陥し穴状遺構(57) ……	410
写真図版 74	陥し穴状遺構(23) ……	376	写真図版109	陥し穴状遺構(58) ……	411
写真図版 75	陥し穴状遺構(24) ……	377	写真図版110	陥し穴状遺構(59) ……	412
写真図版 76	陥し穴状遺構(25) ……	378	写真図版111	複式炉 ……	413
写真図版 77	陥し穴状遺構(26) ……	379	写真図版112	墓坑(1) ……	414
写真図版 78	陥し穴状遺構(27) ……	380	写真図版113	墓坑(2)・溝跡(2) ……	415
写真図版 79	陥し穴状遺構(28) ……	381	写真図版114	溝跡(3) ……	416
写真図版 80	陥し穴状遺構(29) ……	382	写真図版115	溝跡(4) ……	417
写真図版 81	陥し穴状遺構(30) ……	383	写真図版116	溝跡(5) ……	418
写真図版 82	陥し穴状遺構(31) ……	384	写真図版117	遺構内出土遺物(1) ……	419
写真図版 83	陥し穴状遺構(32) ……	385	写真図版118	遺構内出土遺物(2) ……	420
写真図版 84	陥し穴状遺構(33) ……	386	写真図版119	遺構内出土遺物(3) ……	421
写真図版 85	陥し穴状遺構(34) ……	387	写真図版120	遺構内出土遺物(4) ……	422
写真図版 86	陥し穴状遺構(35) ……	388	写真図版121	遺構内出土遺物(5) ……	423
写真図版 87	陥し穴状遺構(36) ……	389	写真図版122	遺構内出土遺物(6) ……	424
写真図版 88	陥し穴状遺構(37) ……	390	写真図版123	遺構内出土遺物(7) ……	425
写真図版 89	陥し穴状遺構(38) ……	391	写真図版124	遺構内出土遺物(8) ……	426
写真図版 90	陥し穴状遺構(39) ……	392	写真図版125	遺構内出土遺物(9) ……	427
写真図版 91	陥し穴状遺構(40) ……	393	写真図版126	遺構内出土遺物(10) ……	428
写真図版 92	陥し穴状遺構(41) ……	394	写真図版127	遺構内出土遺物(11) ……	429
写真図版 93	陥し穴状遺構(42) ……	395	写真図版128	遺構内出土遺物(12) ……	430
写真図版 94	陥し穴状遺構(43) ……	396	写真図版129	遺構内出土遺物(13) ……	431
写真図版 95	陥し穴状遺構(44) ……	397	写真図版130	遺構内出土遺物(14) ……	432
写真図版 96	陥し穴状遺構(45) ……	398	写真図版131	遺構内出土遺物(15) ……	433
写真図版 97	陥し穴状遺構(46) ……	399	写真図版132	遺構内出土遺物(16) ……	434
写真図版 98	陥し穴状遺構(47) ……	400	写真図版133	遺構内出土遺物(17) ……	435
写真図版 99	陥し穴状遺構(48) ……	401	写真図版134	遺構内出土遺物(18) ……	436
写真図版100	陥し穴状遺構(49) ……	402	写真図版135	遺構内出土遺物(19) ……	437
写真図版101	陥し穴状遺構(50) ……	403	写真図版136	遺構内出土遺物(20) ……	438
写真図版102	陥し穴状遺構(51) ……	404	写真図版137	遺構内出土遺物(21) ……	439
写真図版103	陥し穴状遺構(52) ……	405	写真図版138	遺構内出土遺物(22) ……	440
写真図版104	陥し穴状遺構(53) ……	406	写真図版139	遺構内出土遺物(23) ……	441
写真図版105	陥し穴状遺構(54) ……	407	写真図版140	遺構内出土遺物(24) ……	442

写真図版141	遺構内出土遺物(25) ……	443
写真図版142	遺構内出土遺物(26) ……	444
写真図版143	遺構内出土遺物(27) ……	445
写真図版144	遺構内出土遺物(28) ……	446
	遺構外出土遺物(1)	

写真図版145	遺構外出土遺物(2) ……	447
写真図版146	遺構外出土遺物(3) ……	448
写真図版147	遺構外出土遺物(4) ……	449
写真図版148	遺構外出土遺物(5) ……	450

表 目 次

表1	周辺の遺跡一覧表 ……	9
表2	出土遺物観察表 ……	256
表3	住居跡一覧表 ……	269

表4	カマド形態一覧表 ……	269
表5	遺構別出土土器一覧表 ……	276

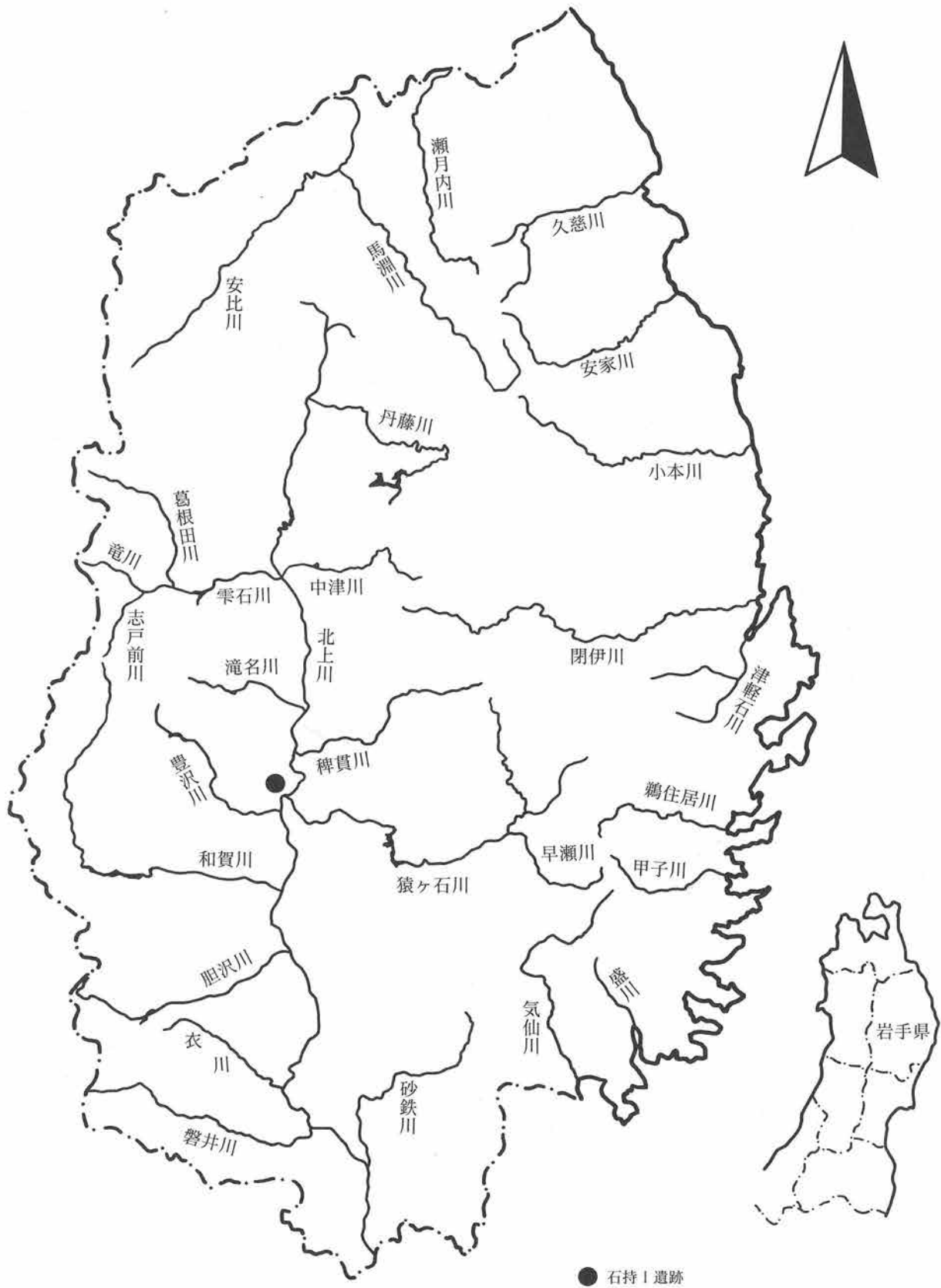


図1 岩手県全図

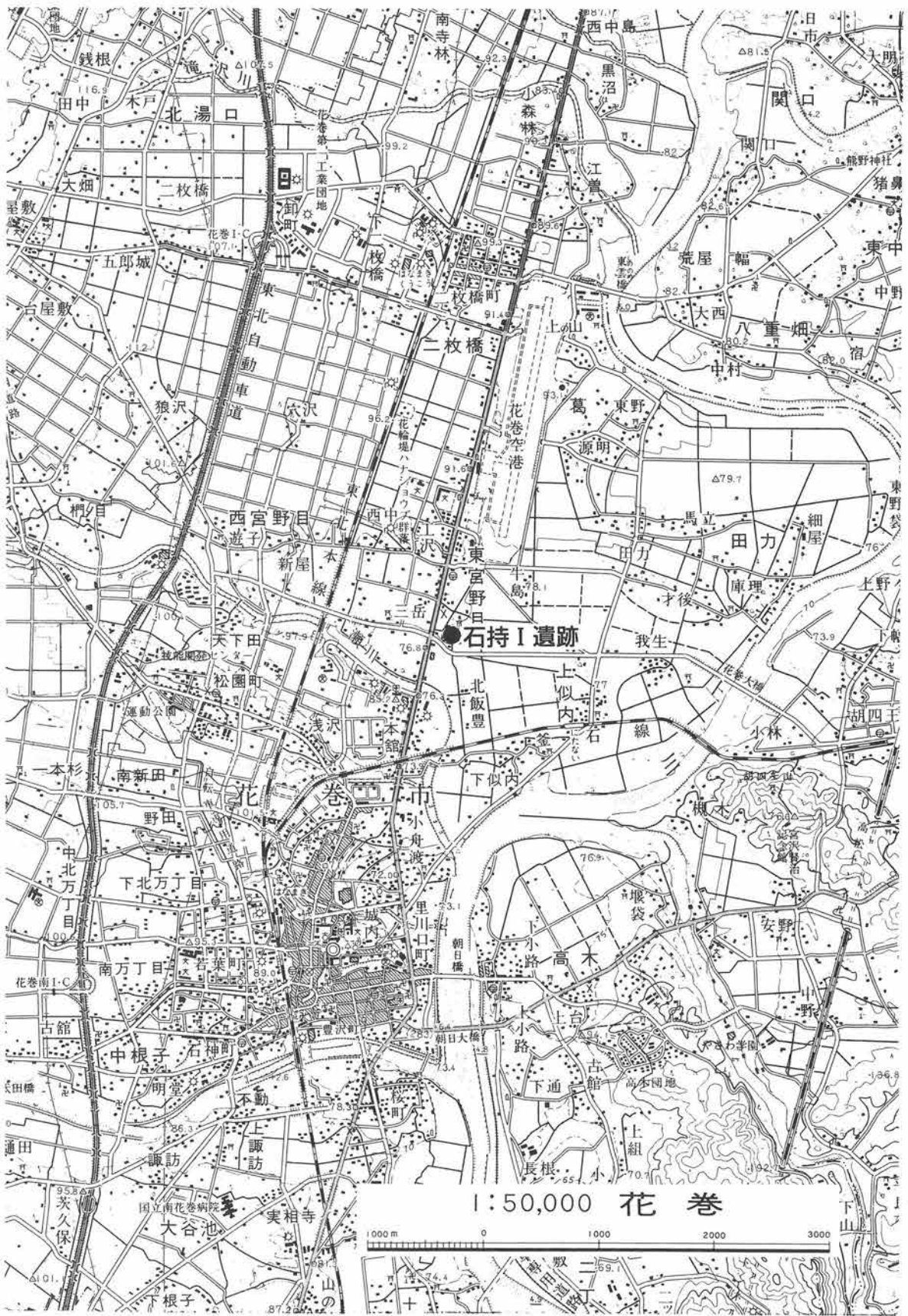


図2 遺跡の位置

I 調査に至る経過

石持 I 遺跡は「一般国道 4 号、花巻バイパス改築工事」の施工に伴って、その事業区域内に存することから発掘調査を実施することとなったものである。

一般国道 4 号は、東京都中央区を起点として青森県青森市に至る延長約 835km のわが国最長の国道で、東北地方の大動脈となっている主要幹線道路である。

花巻東バイパスは花巻市山の神と同市西宮野目の間約 7.8km の区間で計画されている。現国道はほぼ市街地の中心を南北に縦貫する全幅員 10～12m と狭く、近年の自動車交通の増大と車両の大型化により、交通混雑、沿道環境悪化が顕著になってきている。このため市内を通過する国道 4 号の交通混雑解消と東北自動車道、東北新幹線新花巻駅への交通アクセス機能を高めるため、昭和 62 年度に事業着手し、平成元年度に用地着手、平成 4 年度に工事着手した。

この区間の埋蔵文化財包蔵地については、岩手県教育委員会が平成 4 年度に分布調査を実施し、石持 I 遺跡も確認されている。石持 I 遺跡については平成 9 年度に試掘調査を実施している。その結果に基づいて、岩手県教育委員会は建設省（現国土交通省）東北地方建設局岩手工事事務所に対し、事業について照会した。回答を受けた岩手県教育委員会が建設省東北地方建設局岩手工事事務所と協議を行い、発掘調査を財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業とすることとした。

これにより、岩手県教育委員会は平成 10 年度事業について、平成 10 年 3 月 9 日付け「教文第 988 号」により、財団法人岩手県文化振興事業団へ通知した。これを受けた財団法人岩手県文化振興事業団は平成 10 年 4 月 1 日付けで岩手工事事務所長と岩手県文化振興事業団理事長との間で受託契約締結し、4 月 1 日から石持 I 遺跡の発掘調査に着手した。

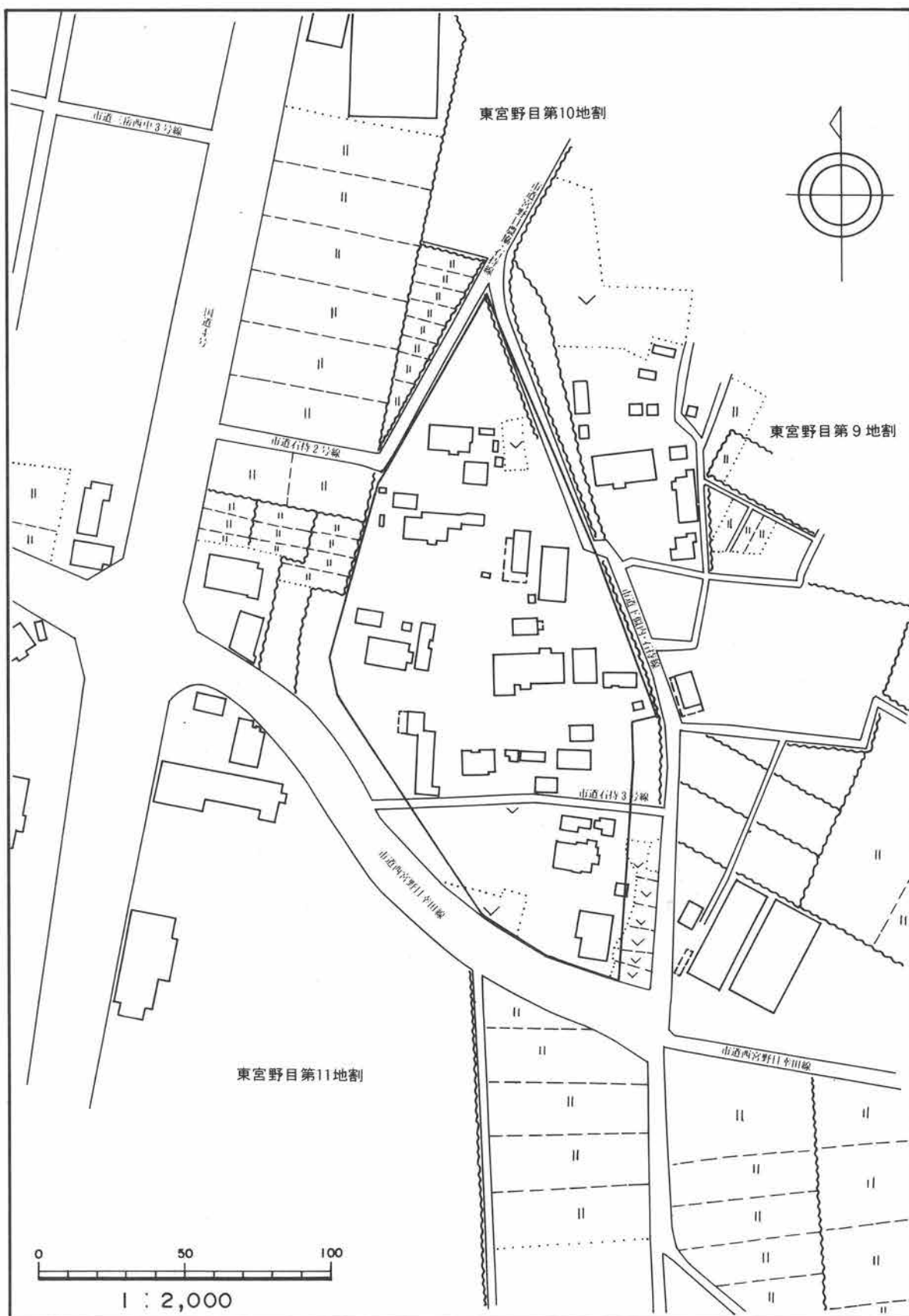


图3 周边地形图

Ⅱ 遺跡の立地と環境

1. 遺跡の位置

本遺跡が所在する花巻市は、県都盛岡市より南に約34kmの距離を置き、岩手県の内陸部中央やや南に位置している。北は石鳥谷町、東は東和町、南は北上市、西は雫石町・沢内村に接する。市のほぼ中央を東日本旅客鉄道東北本線と国道4号線が縦断している。本遺跡はJR東日本東北本線花巻空港駅の北東約2km、国道4号線東宮野目交差点のすぐ東側に位置し、その地点は北緯39度24分39秒、東経141度7分45秒付近である。

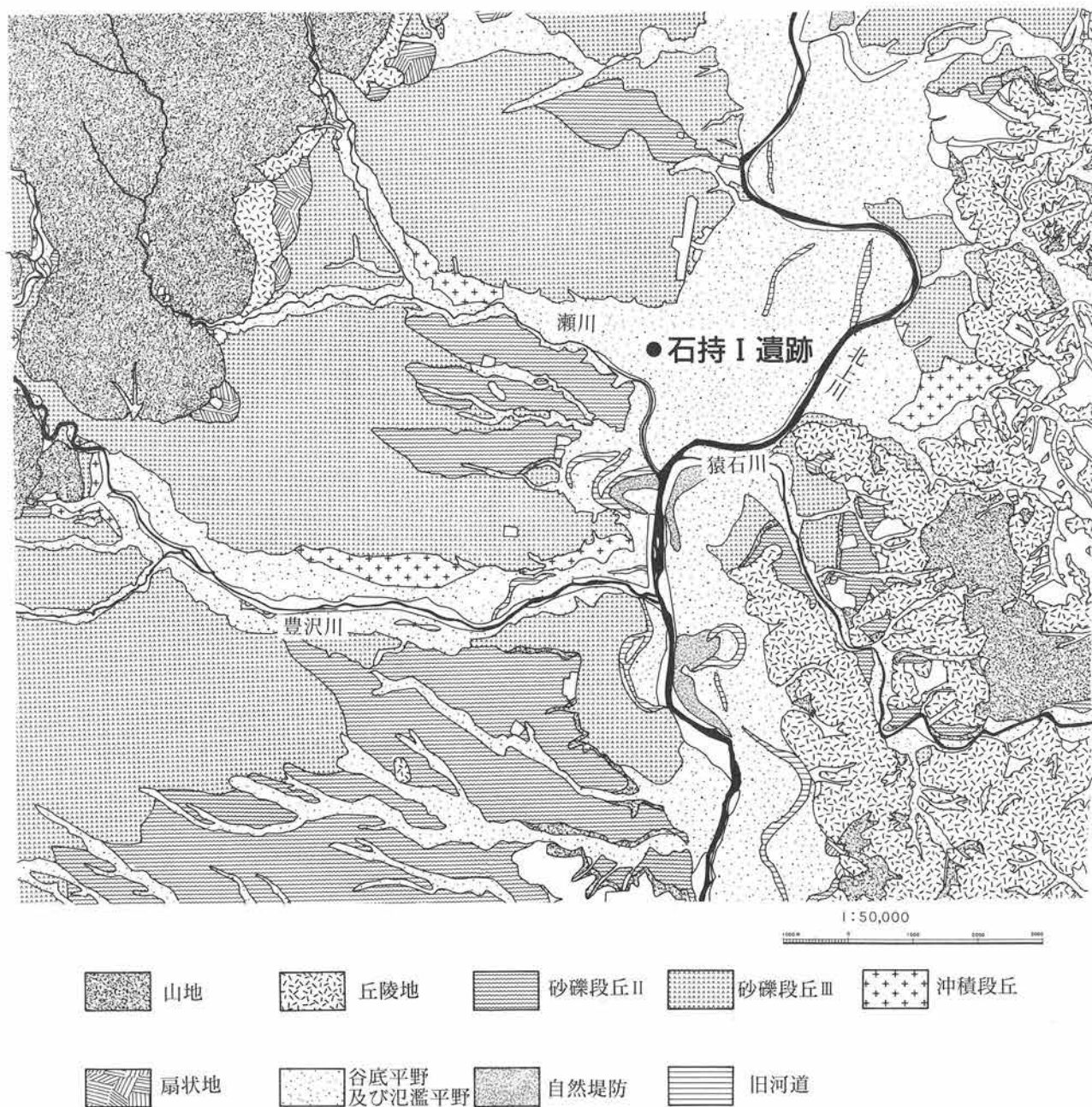


図4 地形分類図

2. 遺跡周辺の地形・立地

花巻市は西側に奥羽山脈、東側に北上山系の山々が連なり、市の中央やや東寄りを県内最大河川である北上川が南下している。これに、奥羽山系に源流をもつ豊沢川・瀬川等、北上山系に源流をもつ猿ヶ石川・稗貫川等いくつかの支流が合流している。北上川を境にして東側と西側とでは地形が大きく異なっている。北上川の東側は小規模な河岸段丘は存在するが、そのほとんどは山地・丘陵地である。また、西側は急峻な奥羽山脈といくつかの支流によって形成された新旧の扇状地性台地が発達している。

遺跡の東側は支流に押し出されるように北上川が湾曲し、南西部では瀬川が北上川と合流している。これらの河川によって形成された氾濫平野に本遺跡は立地している。遺跡の標高は78m前後で、標高差はほとんどなくほぼ平坦である。調査前の状況は宅地及び畑地である。

3. 基本土層

第Ⅰ層 黒褐色土 (10YR3/2) シルト

褐色土との混土。耕作土及び表土。草根を多く含む。層厚10cm～50cm

第Ⅱ層 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘土質シルト

暗褐色土との混土。検出面。層厚20cm～40cm

第Ⅲ層 黄褐色土 (10YR4/3) 粘土質シルト

地山層。黒褐色土粒をまばらに含む。粘性強い。層厚15cm～30cm

第Ⅳa層 褐灰色 (10YR4/1) 粘土質シルト

粘性が強く固く締まる。層厚10cm～40cm

第Ⅳb層 黒褐色土 (10YR3/2) シルト

砂礫を中心とした川の堆積物を含む。調査区北側から西端に見られる。層厚20cm～30cm

第Ⅳc層 褐灰色 (10YR4/1) 砂質シルト

調査区中央から東側に見られる砂層。層厚20cm～40cm

第Ⅴ層 緑灰色 (7.5GY6/1) 粘土質シルト

泥炭層。層厚不明。

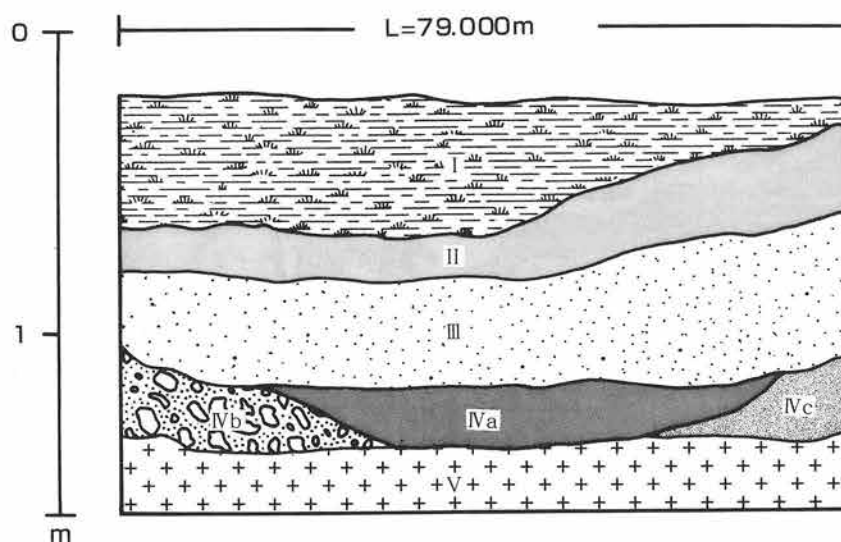


図5 基本土層

4. 周辺遺跡

『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』によると、花巻市内で確認された遺跡は現在290ヶ所となっている。時代ごとのそれぞれの遺跡数は、旧石器時代1、縄文時代161、弥生時代4、古代159、古墳3、中世42、近世11となっている。(複合遺跡は時代ごとに別遺跡としている)

ここでは、本遺跡と関連があると思われる遺跡とその特徴を挙げておく。

〈似内遺跡〉平成10・11年の2ヶ年にわたって(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下埋文センター)により調査された。本遺跡から東南に約1.2kmに位置し、本遺跡同様氾濫平野部の微高地に立地している。平安時代の竪穴住居跡29棟、中世の竪穴住居跡2棟、掘立柱建物跡20棟前後、陥し穴状遺構67基、土坑41基、須恵器埋設遺構1基等が検出されている。また、住居状遺構から金の小個体のほか土錘が200点前後出土している。

〈庫理遺跡〉平成9年に埋文センターによって調査された。本遺跡から東方約3.2kmに位置する。平安時代の竪穴住居跡2棟、住居状遺構1棟、陥し穴状遺構1基等が検出されている。出土遺物は耳皿・刀子等の他水鳥の姿を刻んだ土師器片が出土している。

〈狼沢Ⅱ遺跡〉平成10年に埋文センターによって調査された。本遺跡より奥羽山脈寄りの瀬川上流域に立地する。平安時代の竪穴住居跡2棟、掘立柱建物跡1棟、土坑19基、陥し穴状遺構4基検出された。

〈谷地遺跡〉平成11年に埋文センターによって調査された。豊沢川から約2.3km北に位置する。平安時代の竪穴住居跡が1棟検出されている

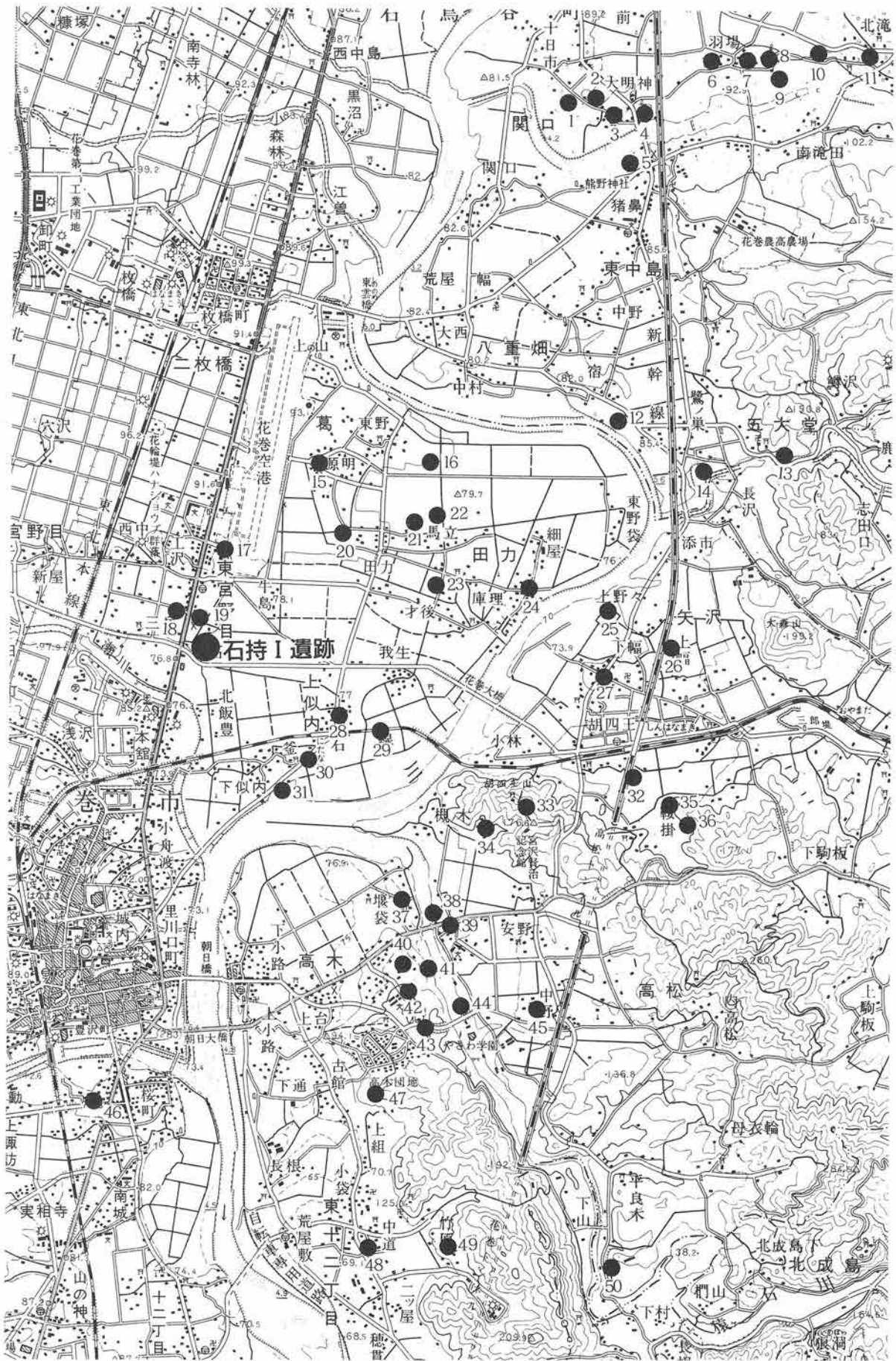
〈方丁目遺跡〉昭和60年に埋文センターによって調査された。本遺跡から南西約4.8km、豊沢川北岸に位置する。古代の竪穴住居跡が5棟(奈良3棟・平安2棟)中世の竪穴住居跡が2棟検出された。また、縄文時代中期末葉から後期初頭に比定される石囲炉2基、土器埋設炉3基が確認されているほか、溝状の陥し穴3基が検出される。

〈古館Ⅱ遺跡〉方丁目遺跡と同年・同センターにより調査された。方丁目遺跡の約400m南方に位置する。古代の竪穴住居跡が29棟(奈良15棟、平安8棟、時期不明なもの6棟)検出されている。出土遺物は土師器・須恵器の他刀子・羽口・鉄滓等が出土している。

〈熊堂古墳群〉古館Ⅱ遺跡の西方約500m、熊野神社周辺一帯に広がっていたのが熊堂古墳群である。かつては50~60基の古墳があったといわれるが、後世の開墾等によって現在ではほぼ壊滅状態にある。江戸時代には出土品を藩公に献上した旨の記録があり、蕨手刀、方頭太刀、玉類、和同開珎等が出土している。

引用・参考文献

- | | | |
|----------|------|---|
| 岩手県企画開発室 | 1974 | 「北上山系開発地域 土地分類基本調査(花巻)」岩手県 |
| 岩手県教育委員会 | 1997 | 「岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧」 |
| 花巻市教育委員会 | 1995 | 「平成6年度花巻市内遺跡発掘調査報告書」 |
| | 1997 | 「平成8年度花巻市内遺跡発掘調査報告書」 |
| | 1998 | 「平成9年度花巻市内遺跡発掘調査報告書」 |
| | 1999 | 「平成10年度花巻市内遺跡発掘調査報告書」 |
| | 1985 | 「方丁目遺跡発掘調査報告書」岩文振報告書第102集 (財)岩文振 |
| | 1985 | 「古館Ⅱ遺跡発掘調査報告書」岩文振報告書第103集 (財)岩文振 |
| 中村直美ほか | 1998 | 「庫理遺跡発掘調査報告書」岩文振報告書第302集 (財)岩文振 |
| (財)岩文振 | 1999 | 「埋蔵文化財調査略報(平成10年度分)」岩文振第311集 |
| (財)岩文振 | 2000 | 「埋蔵文化財調査略報(平成11年度分)」岩文振第340集 |
| 鳥居達人ほか | 1999 | 「狼沢Ⅱ・高松寺・上駒板遺跡発掘調査報告書」岩文振報告書第319集
(財)岩文振 |



1 : 50,000 花巻

図6 周辺の遺跡

表1 周辺の遺跡一覧表

(石鳥谷町)

番号	遺跡名	時代	種別	遺構・遺物	所在地
1	塚の森Ⅰ	縄文・平安	散布地	縄文土器・土師器・須恵器	字関口
2	塚の森Ⅱ	平安	散布地	土師器	字関口
3	七ツ森	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字関口
4	貝の淵Ⅰ	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字関口
5	猪鼻	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字関口
6	蒲沢	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字戸塚
7	戸塚笹原	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字戸塚
8	蟹沢Ⅰ	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字戸塚
9	端館	平安・中世	散布地・城館跡	土師器・須恵器	字滝田
10	滝田硯石	平安	散布地	土師器	字滝田
11	滝田歳之神	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字滝田
12	宿	縄文・古代	集落跡	縄文土器・土師器	字八重畑
13	沢流	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字五大堂
14	安堵屋敷	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器	字五大堂

(花巻市)

15	源明Ⅰ	平安	散布地	須恵器	葛
16	葛	縄文・平安	散布地	縄文土器・土師器土師器	田力
17	十三塚	不明	祭祀跡	塚、古銭	東宮野目
18	三岳	古代	散布地	土師器	西宮野目
19	石持Ⅱ	古代	散布地	土師器	東宮野目
20	源明Ⅱ	古代	散布地	土師器	田力
21	馬立Ⅰ	平安	散布地	土師器	馬立
22	馬立Ⅱ	平安	散布地	土師器	馬立
23	田力中野	縄文・平安	散布地	縄文土器・土師器	才後
24	庫理	平安	居住域	土師器・須恵器	田力
25	矢沢古堂	古代	集落跡	土師器・須恵器、鉄製鍬	矢沢字古堂
26	上幅	縄文・古代	集落跡	竪穴式住居・縄文土器・石器	矢沢
27	下幅	平安	居住域	竪穴式住居・土師器・須恵器	矢沢字古倉
28	似内	平安	集落跡	土師器・須恵器	上似内
29	上似内	古代	散布地	土師器・須恵器	上似内
30	下似内	古代	散布地	土師器・須恵器	下似内

31	下東	古代	散布地	土師器・須恵器	下似内
32	矢沢八幡	平安・江戸	集落跡・城館跡	竪穴住居・掘立柱建物跡・土師器・ 須恵器・陶磁器他	矢沢字八幡
33	胡四王山館	平安	城館跡	空濠・二重空堀・竪穴状遺構・ 縄文土器・土師器・須恵器	矢沢
34	槻ノ木Ⅲ	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器・石器	矢沢
35	経塚森	古代	経塚	土師器・塚	高松
36	寺場	古代	集落跡	竪穴住居・土師器・須恵器	高松
37	堰袋Ⅱ	古代	散布地	土師器・須恵器・土錘	高松字堰袋
38	高松Ⅰ	縄文	散布地	縄文土器（中期）	高松
39	高松Ⅱ	縄文～平安	散布地	縄文土器・弥生土器・土師器	高松
40	サイノ神	縄文	散布地	縄文土器（大木9式）	高木
41	堰袋Ⅰ	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器・石器	高木字堰袋
42	久田野Ⅰ	縄文	集落跡	焼土遺構・縄文土器（大木7～8式） スクレイパー	高木
43	久田野Ⅱ	縄文	集落跡	竪穴住居・縄文土器（中期）	高木
44	安野Ⅲ	縄文・古代	散布地	縄文土器・土師器・石器	安野
45	中野C	縄文・古代	集落跡	焼土遺構・縄文土器（大木7b式、後期） 石器・土製耳栓・土師器・石	高松
46	桜町	縄文・古代	集落跡	竪穴住居・土師器・須恵器・鉄製品	桜町
47	八ツ森	縄文・古代	集落跡	竪穴住居・縄文土器・土師器・石器	東十二丁目
48	荒屋敷	古代	集落跡	焼土・土師器	東十二丁目
49	大沢Ⅰ	古代	集落跡	土師器・須恵器	字竹原
50	明戸Ⅱ	縄文・平安	集落跡	縄文土器・土師器・石器	高松字平良木
	狼沢Ⅱ	平安	集落跡	土師器	宮野目
	谷地	古代	散布地	土師器	南方八丁目
	方丁目	縄文・古代 ～近世	集落跡	竪穴住居・炉・掘立柱建物跡・ 縄文土器・土師器・須恵器・石器	中根子
	古館Ⅱ	奈良～近世	集落跡	竪穴住居・柱穴群・井戸跡・墓坑・ 土坑・土師器・須恵器・土製品・刀	上根子字古館
	熊堂古墳群	縄文・古代	古墳群	方頭太刀・蕨手刀・刀子・玉類・古銭・ 土師器・須恵器・青磁椀・縄文土器・石器他	上根子字熊堂

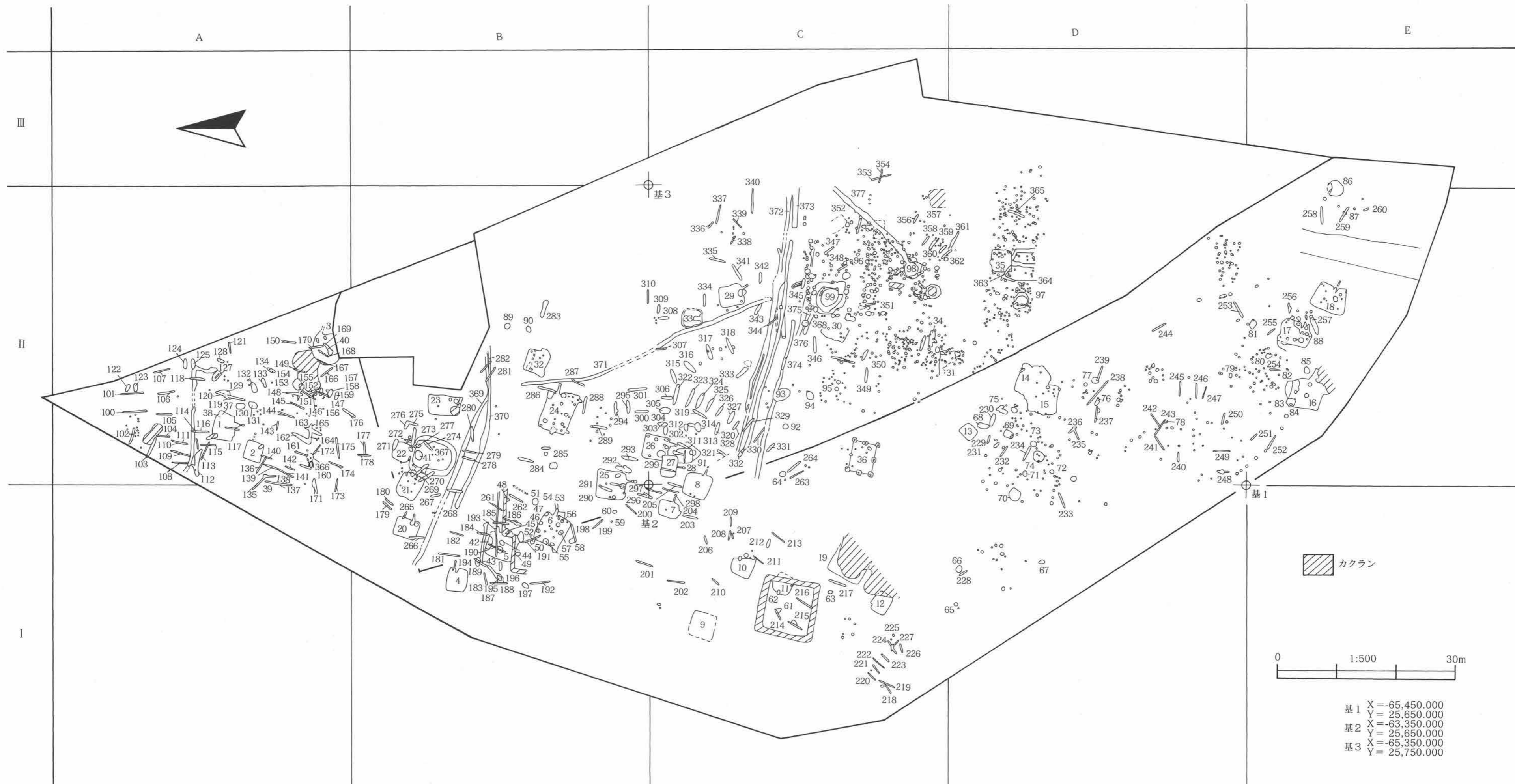


図7 遺構配置図(A区)

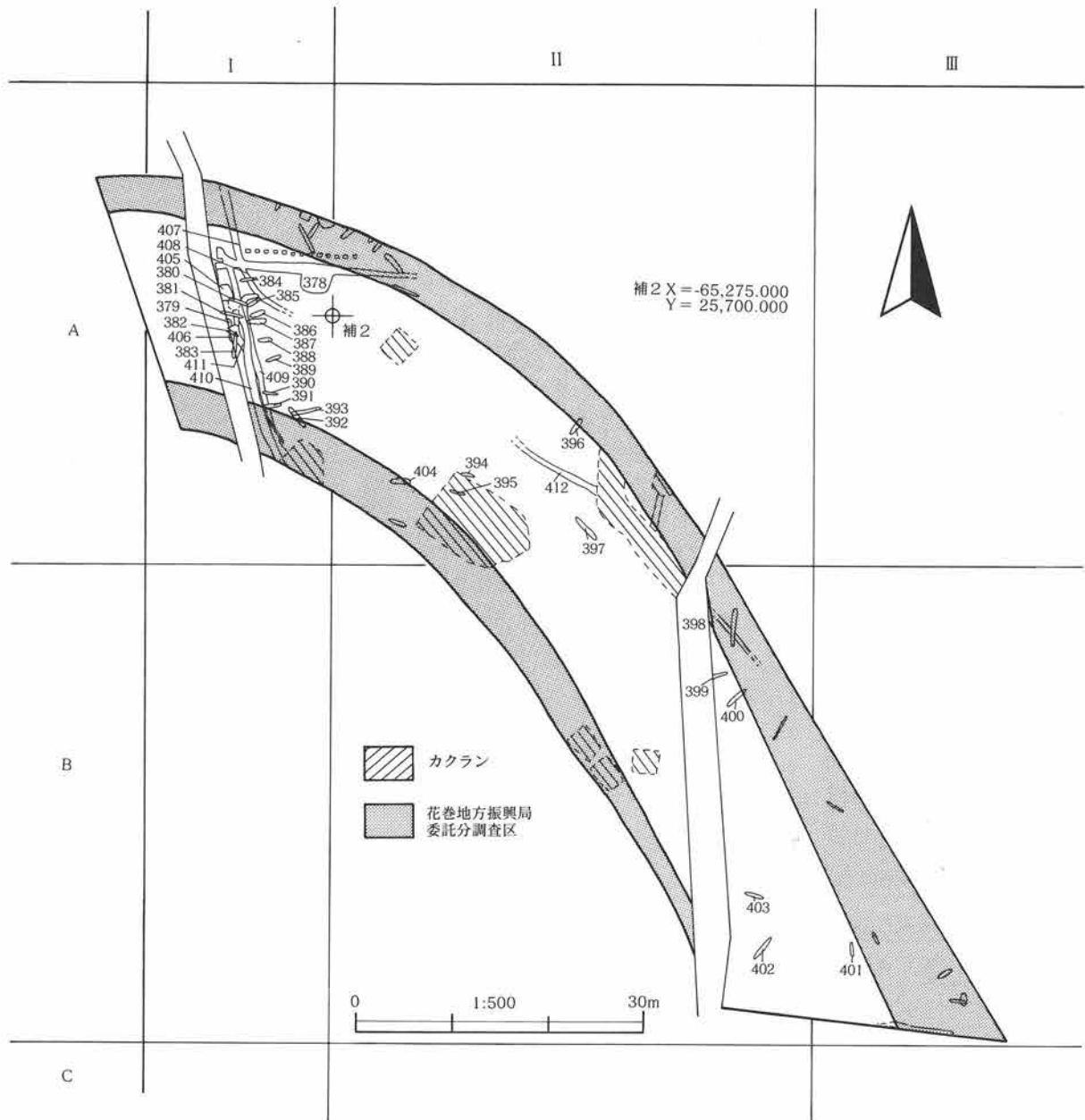


図8 遺構配置図(B区)

番号	遺構名	番号	遺構名	番号	遺構名	番号	遺構名
1	第1号竪穴住居跡	36	掘立柱建物跡	71	第35号土坑	106	第7号陥し穴
2	第2号竪穴住居跡	37	第1号土坑	72	第36号土坑	107	第8号陥し穴
3	第3号竪穴住居跡	38	第2号土坑	73	第37号土坑	108	第9号陥し穴
4	第4号竪穴住居跡	39	第3号土坑	74	第38号土坑	109	第10号陥し穴
5	第5号竪穴住居跡	40	第4号土坑	75	第39号土坑	110	第11号陥し穴
6	第6号竪穴住居跡	41	第5号土坑	76	第40号土坑	111	第12号陥し穴
7	第7号竪穴住居跡	42	第6号土坑	77	第41号土坑	112	第13号陥し穴
8	第8号竪穴住居跡	43	第7号土坑	78	第42号土坑	113	第14号陥し穴
9	第9号竪穴住居跡	44	第8号土坑	79	第43号土坑	114	第15号陥し穴
10	第10号竪穴住居跡	45	第9号土坑	80	第44号土坑	115	第16号陥し穴
11	第11号竪穴住居跡	46	第10号土坑	81	第45号土坑	116	第17号陥し穴
12	第12号竪穴住居跡	47	第11号土坑	82	第46号土坑	117	第18号陥し穴
13	第13号竪穴住居跡	48	第12号土坑	83	第47号土坑	118	第19号陥し穴
14	第14号竪穴住居跡	49	第13号土坑	84	第48号土坑	119	第20号陥し穴
15	第15号竪穴住居跡	50	第14号土坑	85	第49号土坑	120	第21号陥し穴
16	第16号竪穴住居跡	51	第15号土坑	86	第50号土坑	121	第22号陥し穴
17	第17号竪穴住居跡	52	第16号土坑	87	第51号土坑	122	第23号陥し穴
18	第18号竪穴住居跡	53	第17号土坑	88	第52号土坑	123	第24号陥し穴
19	第19号竪穴住居跡	54	第18号土坑	89	第53号土坑	124	第25号陥し穴
20	第20号竪穴住居跡	55	第19号土坑	90	第54号土坑	125	第26号陥し穴
21	第21号竪穴住居跡	56	第20号土坑	91	第55号土坑	126	第27号陥し穴
22	第22号竪穴住居跡	57	第21号土坑	92	第56号土坑	127	第28号陥し穴
23	第23号竪穴住居跡	58	第22号土坑	93	第57号土坑	128	第29号陥し穴
24	第24号竪穴住居跡	59	第23号土坑	94	第58号土坑	129	第30号陥し穴
25	第25号竪穴住居跡	60	第24号土坑	95	第59号土坑	130	第31号陥し穴
26	第26号竪穴住居跡	61	第25号土坑	96	第60号土坑	131	第32号陥し穴
27	第27号竪穴住居跡	62	第26号土坑	97	第61号土坑	132	第33号陥し穴
28	第28号竪穴住居跡	63	第27号土坑	98	第63号土坑	133	第34号陥し穴
29	第29号竪穴住居跡	64	第28号土坑	99	第64号土坑	134	第35号陥し穴
30	第30号竪穴住居跡	65	第29号土坑	100	第1号陥し穴	135	第36号陥し穴
31	第31号竪穴住居跡	66	第30号土坑	101	第2号陥し穴	136	第37号陥し穴
32	第1号住居状遺構	67	第31号土坑	102	第3号陥し穴	137	第38号陥し穴
33	第2号住居状遺構	68	第32号土坑	103	第4号陥し穴	138	第39号陥し穴
34	第3号住居状遺構	69	第33号土坑	104	第5号陥し穴	139	第40号陥し穴
35	第4号住居状遺構	70	第34号土坑	105	第6号陥し穴	140	第41号陥し穴

番号	遺構名
141	第42号陥し穴
142	第43号陥し穴
143	第44号陥し穴
144	第45号陥し穴
145	第46号陥し穴
146	第47号陥し穴
147	第48号陥し穴
148	第49号陥し穴
149	第50号陥し穴
150	第51号陥し穴
151	第52号陥し穴
152	第53号陥し穴
153	第54号陥し穴
154	第55号陥し穴
155	第56号陥し穴
156	第57号陥し穴
157	第58号陥し穴
158	第59号陥し穴
159	第60号陥し穴
160	第61号陥し穴
161	第62号陥し穴
162	第63号陥し穴
163	第64号陥し穴
164	第65号陥し穴
165	第66号陥し穴
166	第67号陥し穴
167	第68号陥し穴
168	第69号陥し穴
169	第70号陥し穴
170	第71号陥し穴
171	第72号陥し穴
172	第73号陥し穴
173	第74号陥し穴
174	第75号陥し穴
175	第76号陥し穴

番号	遺構名
176	第77号陥し穴
177	第78号陥し穴
178	第79号陥し穴
179	第80号陥し穴
180	第81号陥し穴
181	第82号陥し穴
182	第83号陥し穴
183	第84号陥し穴
184	第85号陥し穴
185	第86号陥し穴
186	第87号陥し穴
187	第88号陥し穴
188	第89号陥し穴
189	第90号陥し穴
190	第91号陥し穴
191	第92号陥し穴
192	第93号陥し穴
193	第94号陥し穴
194	第95号陥し穴
195	第96号陥し穴
196	第97号陥し穴
197	第98号陥し穴
198	第99号陥し穴
199	第100号陥し穴
200	第101号陥し穴
201	第102号陥し穴
202	第103号陥し穴
203	第104号陥し穴
204	第105号陥し穴
205	第106号陥し穴
206	第107号陥し穴
207	第108号陥し穴
208	第109号陥し穴
209	第110号陥し穴
210	第111号陥し穴

番号	遺構名
211	第112号陥し穴
212	第113号陥し穴
213	第114号陥し穴
214	第115号陥し穴
215	第116号陥し穴
216	第117号陥し穴
217	第118号陥し穴
218	第119号陥し穴
219	第120号陥し穴
220	第121号陥し穴
221	第122号陥し穴
222	第123号陥し穴
223	第124号陥し穴
224	第125号陥し穴
225	第126号陥し穴
226	第127号陥し穴
227	第128号陥し穴
228	第129号陥し穴
229	第130号陥し穴
230	第131号陥し穴
231	第132号陥し穴
232	第133号陥し穴
233	第134号陥し穴
234	第135号陥し穴
235	第136号陥し穴
236	第137号陥し穴
237	第138号陥し穴
238	第139号陥し穴
239	第140号陥し穴
240	第141号陥し穴
241	第142号陥し穴
242	第143号陥し穴
243	第144号陥し穴
244	第145号陥し穴
245	第146号陥し穴

番号	遺構名
246	第147号陥し穴
247	第148号陥し穴
248	第149号陥し穴
249	第150号陥し穴
250	第151号陥し穴
251	第152号陥し穴
252	第153号陥し穴
253	第154号陥し穴
254	第155号陥し穴
255	第156号陥し穴
256	第157号陥し穴
257	第158号陥し穴
258	第159号陥し穴
259	第160号陥し穴
260	第161号陥し穴
261	第162号陥し穴
262	第163号陥し穴
263	第164号陥し穴
264	第165号陥し穴
265	第166号陥し穴
266	第167号陥し穴
267	第168号陥し穴
268	第169号陥し穴
269	第170号陥し穴
270	第171号陥し穴
271	第172号陥し穴
272	第173号陥し穴
273	第174号陥し穴
274	第175号陥し穴
275	第176号陥し穴
276	第177号陥し穴
277	第178号陥し穴
278	第179号陥し穴
279	第180号陥し穴
280	第181号陥し穴

番号	遺構名
281	第182号陥し穴
282	第183号陥し穴
283	第184号陥し穴
284	第185号陥し穴
285	第186号陥し穴
286	第187号陥し穴
287	第188号陥し穴
288	第189号陥し穴
289	第190号陥し穴
290	第191号陥し穴
291	第192号陥し穴
292	第193号陥し穴
293	第194号陥し穴
294	第195号陥し穴
295	第196号陥し穴
296	第197号陥し穴
297	第198号陥し穴
298	第199号陥し穴
299	第200号陥し穴
300	第201号陥し穴
301	第202号陥し穴
302	第203号陥し穴
303	第204号陥し穴
304	第205号陥し穴
305	第206号陥し穴
306	第207号陥し穴
307	第208号陥し穴
308	第209号陥し穴
309	第210号陥し穴
310	第211号陥し穴
311	第212号陥し穴
312	第213号陥し穴
313	第214号陥し穴
314	第215号陥し穴
315	第216号陥し穴

番号	遺構名
316	第217号陥し穴
317	第218号陥し穴
318	第219号陥し穴
319	第220号陥し穴
320	第221号陥し穴
321	第222号陥し穴
322	第223号陥し穴
323	第224号陥し穴
324	第225号陥し穴
325	第226号陥し穴
326	第227号陥し穴
327	第228号陥し穴
328	第229号陥し穴
329	第230号陥し穴
330	第231号陥し穴
331	第232号陥し穴
332	第233号陥し穴
333	第234号陥し穴
334	第235号陥し穴
335	第236号陥し穴
336	第237号陥し穴
337	第238号陥し穴
338	第239号陥し穴
339	第240号陥し穴
340	第241号陥し穴
341	第242号陥し穴
342	第243号陥し穴
343	第244号陥し穴
344	第245号陥し穴
345	第246号陥し穴
346	第247号陥し穴
347	第248号陥し穴
348	第249号陥し穴
349	第250号陥し穴
350	第251号陥し穴

番号	遺構名
351	第252号陥し穴
352	第253号陥し穴
353	第254号陥し穴
354	第255号陥し穴
355	第256号陥し穴
356	第257号陥し穴
357	第258号陥し穴
358	第259号陥し穴
359	第260号陥し穴
360	第261号陥し穴
361	第262号陥し穴
362	第263号陥し穴
363	第264号陥し穴
364	第265号陥し穴
365	第266号陥し穴
366	複式炉
367	第1号墓坑
368	第2号墓坑
369	第1号溝跡
370	第2号溝跡
371	第3号溝跡
372	第4号溝跡
373	第5号溝跡
374	第6号溝跡
375	第7号溝跡
376	第8号溝跡
377	第9号溝跡
378	第5号住居状遺構
379	第62号土坑
380	第267号陥し穴
381	第268号陥し穴
382	第269号陥し穴
383	第270号陥し穴
384	第271号陥し穴
385	第272号陥し穴

番号	遺構名
386	第273号陥し穴
387	第274号陥し穴
388	第275号陥し穴
389	第276号陥し穴
390	第277号陥し穴
391	第278号陥し穴
392	第279号陥し穴
393	第280号陥し穴
394	第281号陥し穴
395	第282号陥し穴
396	第283号陥し穴
397	第284号陥し穴
398	第285号陥し穴
399	第286号陥し穴
400	第287号陥し穴
401	第288号陥し穴
402	第289号陥し穴
403	第290号陥し穴
404	第291号陥し穴
405	第3号墓坑
406	第4号墓坑
407	第10号溝跡
408	第11号溝跡
409	第12号溝跡
410	第13号溝跡
411	第14号溝跡
412	第15号溝跡

Ⅲ 野外調査と室内整理の方法

1. 野外調査

(1) 調査区の設定

調査区中央部に基準点3点を設定し、それを基にグリッドを区画した。基準点1から基準点3の成果値は以下のとおりである。

基準点1 X=-65450.000m Y=25650.000m H=77.210m

基準点2 X=-65350.000m Y=25650.000m H=78.349m

基準点3 X=-65350.000m Y=25700.000m H=78.489m

調査区内には上記の基準点のほか、補点を7カ所に設置している。この基準点と補点を結んだ線を延長し、50×50mを1区画として全調査区を区画した。この区画には北西端を起点として、東西方向はⅠからⅢまで、南北方向はAからEまでの記号を与え、その組み合わせによってグリッド名とした。(ⅠC区、ⅡB区など)さらに、この大区画を10等分して5×5mに小区画し、西から1～O北からa～jを付し、大グリッドとあわせてグリッド名を表示した。(ⅠC O a区、ⅡB 8 d区など)なお、基準点1はⅡE 1 a区、基準点2はⅡC 1 a区、基準点3はⅢC 1 a区の各グリッドにあたる。

(2) 粗掘・遺構検出

調査はまず雑物の除去後に、文化課が実施した試掘結果の確認とトレンチのクリーニングを行った。そして、表土の厚さや遺構の有無、遺物の出土状況を確認する目的で、2m幅のトレンチを調査区北側に4本設定した。その後、遺構検出面までの深さや層序を確認し、重機及び人力によって表土除去を行った。南側についても同様の方法で表土除去を行い、遺構の検出されなかった箇所では重機によって、およそ50cmの深さまで掘り下げて、遺物の有無を確認した。

遺構の検出は、Ⅱ層(褐色土を含む黒褐色土)下面およびⅢ層(にぶい黄褐色土)上面で行った。Ⅱ層で検出されたものはわずかであり、ほとんどがⅢ層上面である。

(3) 遺構名の付け方

検出された遺構は、住居跡に関してはその属するグリッド名を付して、ⅡA 2 f住居跡・ⅡE 7 c住居跡などのように呼称した。土坑、陥し穴状遺構に関しては、遺構の種類と検出順に、RD01、RZ02などのように区別して呼称した。なお、本報告書では、第1号住居跡・第2号土坑、第3号陥し穴状遺構などとすべて遺構名を付け替えている。

(4) 精査・実測

住居跡は4分法で、土坑・焼土等は2分法で精査し、必要に応じて使い分けた。実測は簡易遣り方で行い、遺構の平・断面図は、20分の1の縮尺を基本とした。遺物の取り上げ方は、埋土と床面の大きく2つに分け、埋土の遺物は4分割したものをQ1～Q4の区画名にして取り上げた。床面の遺物は番号を付し平面図に図化した後に取り上げた。

(5) 写真撮影

野外での写真撮影は、35mm版2台(モノクローム・カラーリバーサル1台ずつ)と6×7cm版モノクロームを使用した。また、メモ的にポラロイドカメラも使用した。調査終了前には、セスナ機による空中写真撮影を行った。

2. 室内整理

(1) 遺物の処理

遺物は、野外調査と並行して雨天時などに水洗まで行い、その後室内で注記・接合・復元の順に作業を進めた。土器類は報告書掲載用のものを選別後、登録作業・実測・拓本・写真撮影・トレースを行い、遺物図版を作成した。石器類は器種毎に登録し、土器類と同様に進めた。

(2) 遺構図面

野外調査で得られた図面類は、標高等の確認・平断面図の点検をし、必要に応じて合成した。その後トレース・遺構図版作成の順に進めた。

(3) 図版について

遺物の図版は遺構種別毎にⅣ章に、遺構外出土のものはⅤ章にまとめて作成・掲載した。縮尺は、土器実測図が3分の1（土師器・須恵器・縄文土器）および4分の1（須恵器）、拓影図は3分の1、石器類及び土製品は2分の1である。なお、各図版内にはそれぞれスケールを付している。また、須恵器の断面は黒く塗りつぶし、土師器のそれと区別した。須恵器の拓影図は、左側に表面、右側に裏面のものを貼付している。土師器の実測図の表現は、図7に示したとおりである。

遺構図版は、遺構の種類毎に掲載した。縮尺は以下の通りである。

竪穴住居跡・掘立柱建物跡・複式炉・柱穴状土坑を除く土坑の平面図・断面図・・・1/50、陥し穴状遺構の平面図・断面図・・・1/60、溝跡の平面図1/200・断面図1/40、柱穴状小土坑・・・1/100。

遺構の図版に使用したスクリーントーンについては、図7に凡例として示した。

(4) 遺物写真図版について

遺物写真図版の縮尺は、剥片石器原寸、礫石器2分の1、土器の立体が2分の1（坏類）・3分の1（甕類）、土器破片2分の1、土製品原寸、石製品類は3分の1を原則とした。なお、一部この縮尺に合わないものがある。

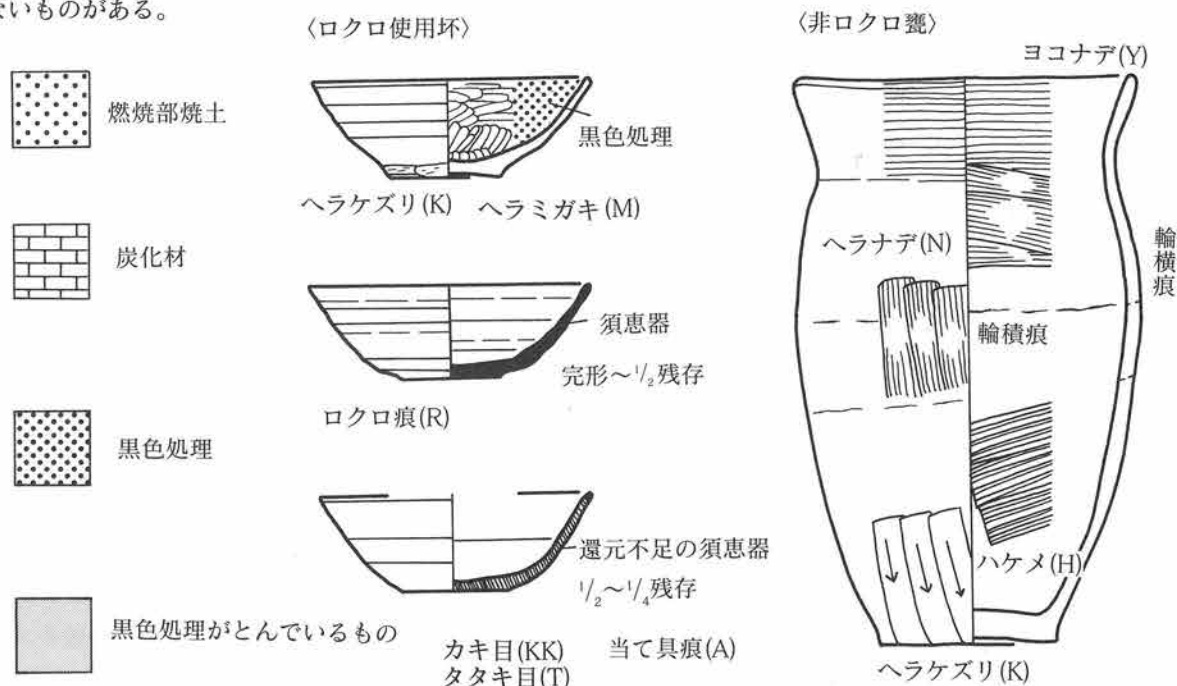


図9 実測図凡例

Ⅳ 検出された遺構と遺構内出土遺物

1. 竪穴住居跡と出土遺物

本遺跡では、竪穴住居跡が31棟検出された。すべて平安時代の遺構である。時期は9世紀中頃から10世紀代の年代が与えられる。これらの住居跡は、調査区中央北寄りの微高地に集中して検出された。

住居跡の遺構名は、98年度調査区内の北側に位置するものから順に番号を付し、第1号住居跡、第2号住居跡・・・と呼称した。同様に99年度調査区内に位置するものは、第20号住居跡から順に遺構名を付した。

第1号住居跡（ⅡA2 f 住）

遺構（図10、写真図版4）

（位置）調査区最北端に位置し、第2号住居跡と南西方向に3m、第3号住居跡とは南東方向に17mほどの距離を置く。第1号土坑、第2号土坑と重複、第19号陥し穴の一部が床面から検出されている。また、カマド焼き口であったと思われる部分と住居北西端が攪乱により削平されている。

（埋土）黒色土、黒褐色土主体。畑の畝等により部分的に攪乱を受けている。

（平面形）隅丸長方形（規模）3.10m×4.05m

（壁）直立ぎみに外傾するものがほとんどだが、西壁が内湾気味に立ち上がっている。壁高は9cm～22cmである。

（床面）Ⅲ層上の粘土層を床面とする。西・北壁からカマド方向に緩やかに傾斜している。

（柱穴）検出されなかった。

（土坑）カマド左脇に貯蔵穴が1基検出された。規模・平面形は95cm×98cmのほぼ円形を呈し、深さは最大で16cmを測る。

（カマド）〈位置〉南壁中央部より0.65m南東隅寄り〈主軸方向〉N—185°—W

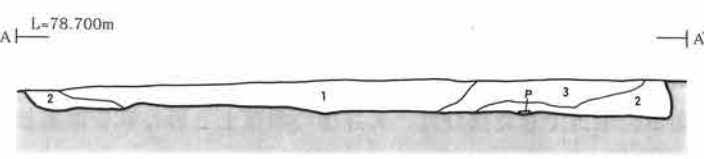
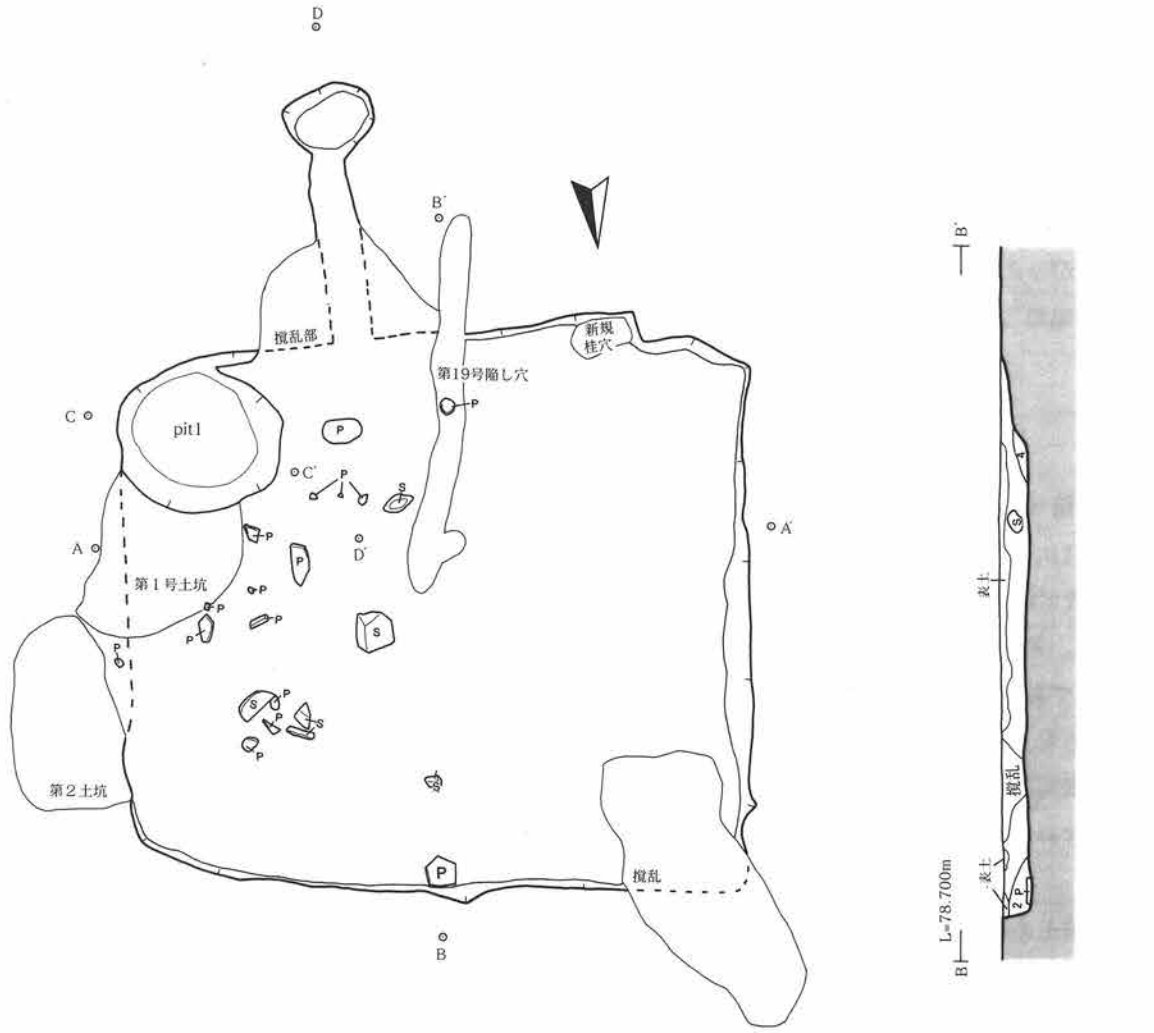
〈本体〉攪乱を受けているため詳細は不明である。検出できた部分は、天井部の崩落土と思われる埋土と焼土粒を含んだ埋土がわずかである。

〈煙道部・煙出部〉底面はほぼ水平に延びていると思われる。煙道部埋土は刳り貫式の煙道部の天井が崩落した様相を示していた。煙出部には、埋め込んでいたと思われる甕の破片の一部が散在していた。煙出部は60cm×50cmの楕円形を呈し、煙道部底面からはわずかに掘り込まれている。

遺物（図161・162、写真図版117・118）

1・2は酸化焰焼成の坏である。いずれもロクロ成形で内面は黒色処理されないいわゆる赤焼き土器である。底部の切り離し技法は回転系切りである。1には胴部下端に再調整が施されているが、一般的な再調整とは異なり雑な感がある。3・4は還元焰焼成の坏である。底部切り離し技法は回転系切りである。3はカマド脇の貯蔵穴からの出土である。5～7は酸化焰焼成の甕である。5・6はロクロ整形である。7はロクロ不使用で内面調整はヘラナデ、外面はヘラケズリの後ナデである。8～10は還元焰焼成の甕・大甕の胴部破片である。内面調整は9がカキメ、10は当て具痕、外面調整はいずれもタタキ目である。11は住居跡床面北東部から出土した安山岩質の溶岩製砥石である。2面ほど使用されており、置き砥石と思われる。

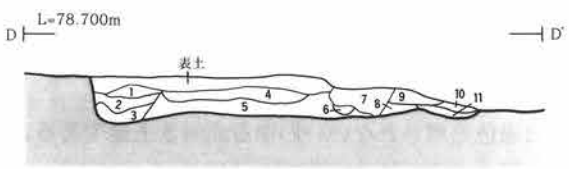
時期 出土遺物から9世紀後半以降に存在していた遺構であると考えられる。



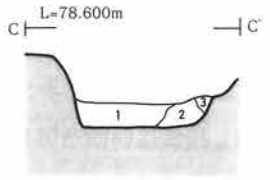
- (A-A'・B-B')
1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト 黄褐色土ブロックを全体に含む。
 4. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。

カマド (cm)

本 体	長さ	—	煙道部 幅	長さ	126	煙出部 深さ	径	59
	幅	—		幅	28		深さ	31



- (D-D')
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をこくわずかに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土・にぶい黄褐色土との混土。
 4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 剣り貫きの地山崩落土?
 5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 剣り貫きの煙道部埋土。
 6. 10YR4/4 褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 7. 10YR2/2 黒褐色 シルト 焼土粒を全体に含む。
 8. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒を全体に含む。7層に似る。
 9. 10YR3/3 暗褐色 シルト すすけた焼土粒をまばらに含む。天井部崩落土。
 10. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒をまばらに含む。天井部崩落土。
 11. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒をまばらに含む。



- (C-C')
1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土・黒色土を小ブロック状に含む。焼土粒わずか、炭化材をまばらに含む。
 2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。

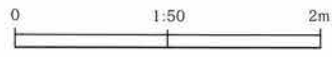


図10 第1号住居跡

第2号住居跡（ⅡA2 g 住）

遺構（図11、写真図版5）

（位置）調査区北側の中央部に位置し、第1号住居跡と北東方向に3m、第3号住居跡と東南東方向に17m、第22号住居跡とは南方向に21mの距離を置く。

（埋土）畑の畝、ゴミ穴等による攪乱を受け残存状況はあまり良くない。検出できた部分は、上部が³にぶい黄褐色土と黒褐色土の混土、下部と地山崩落土は黒色土・黒褐色土が主体となっている。

（平面形）隅丸方形（規模）3.15m×3.20m

（壁）全て外傾し立ち上がっている。壁高は11cm～22cmである。

（床面）Ⅲ層上の粘土層を床面とする。ほぼ平坦である。（柱穴）検出されなかった。

（土坑）カマド右脇に貯蔵穴と思われる土坑を1基検出した。規模・平面形は72cm×61cm楕円形を呈し、深さは最大で20cmを測る。

（カマド）＜位置＞東壁中央部より0.70m北東隅寄り＜主軸方向＞N—110°—E

＜本体＞支脚、燃烧部焼土、袖部の下部が残存している。支脚は円礫で粒径は9cm前後である。燃烧部焼土は26cm×34cmの楕円形を呈し、厚さは7cm程度、焼成は比較的良好である。袖部は上部が削平されており、芯材である礫と構築土の一部が残存している。礫は両袖に据えられており粒径は左袖の礫が15cm程度、右側の礫が25cm程度である。粘土質のにぶい黄褐色土の周囲に黒褐色土を貼り付けている。

＜煙道部・煙出部＞底面は一端16°の角度で立ち上がった後水平になり煙出部に至る。煙道部の途中から削平されており、煙道部のつくり等詳細は不明である。煙出部は径35cmほぼ円形で検出面から26cm掘り込まれている。埋土は焼土粒・炭化材をわずかに含む。

遺物（図162、写真図版117）

土師器の坏・甕類があわせて小コンテナ1箱出土している。出土量は少ない方である。

12・13は酸化炭焼成の坏である。いずれも内面黒色処理されている。一般的な例から調整はヘラミガキが施されていたと思われるが、摩滅のため調整の単位・方向等詳細は不明である。底部の切り離し技法は回転糸切りであり、12は胴部下端が再調整されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第3号住居跡（ⅡA5 j 住）

遺構（図12、写真図版6）

（位置）調査区北側の南東端に位置し、住居の一部が調査区外に延びている。第1号住居跡とは北西方向に、第2号住居跡とは西北西方向にそれぞれ17mの距離を置く。また、第22号住居跡とは南西方向に16mの距離を置く。住居床面より第47・68・69・70号陥し穴状遺構及び第4号土坑が検出された。いずれの遺構も本遺構よりも古い。

（埋土）東壁以外は住居の壁面が木根により攪乱されている。中央部に黒色土が堆積し、地山崩落土と思われる黒褐色土が埋土端に入る。

（平面形）隅丸方形と思われる。（規模）不明だが4m前後と思われる。

（壁）20cm前後と思われる。（床面）Ⅲ層上の粘土層が床面であると思われる。

（柱穴）検出されなかった。

カマド(cm)

本体	長さ	58	煙道部	長さ	116	煙出口部	径	34
	幅	68		幅	—		深さ	27

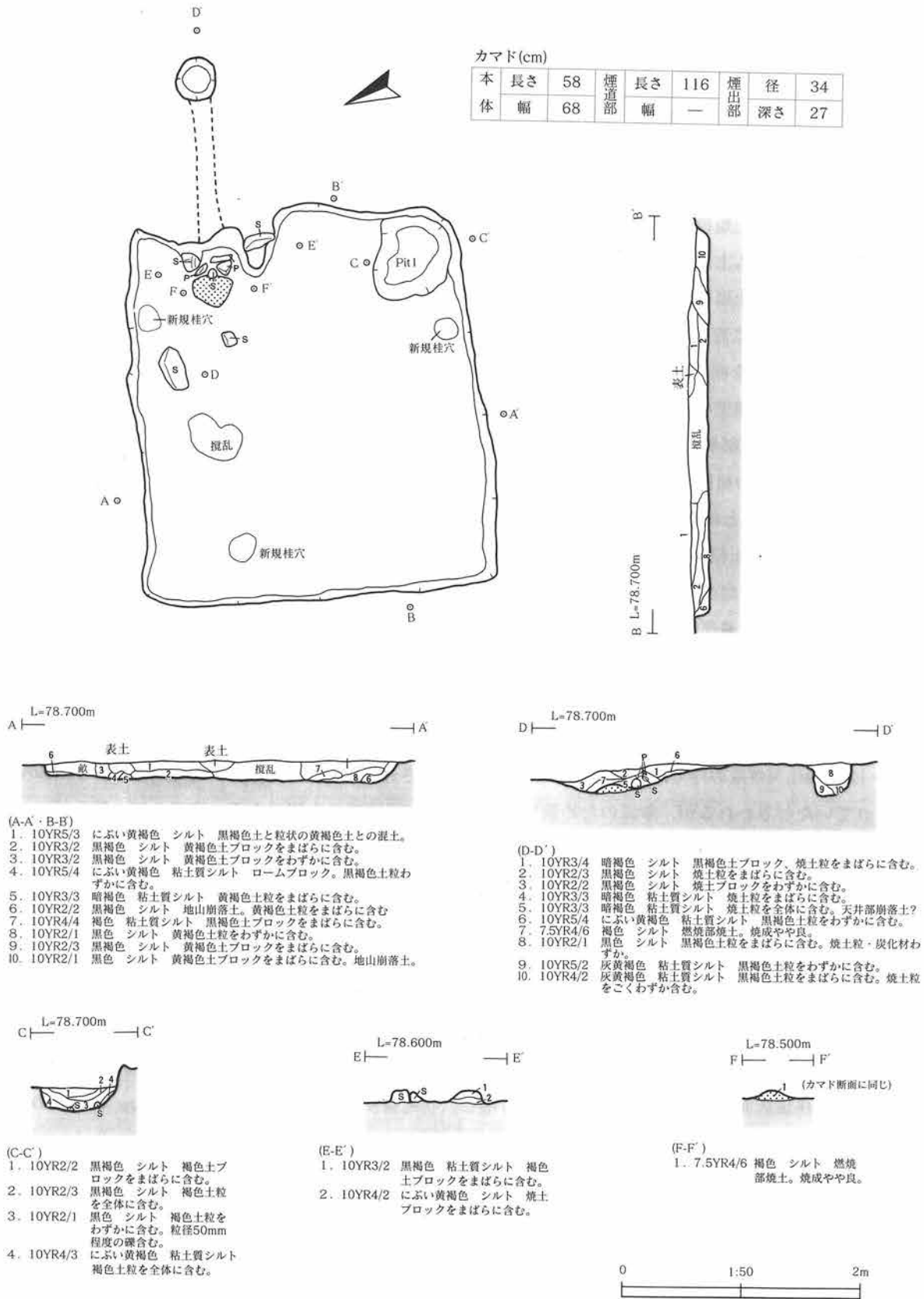
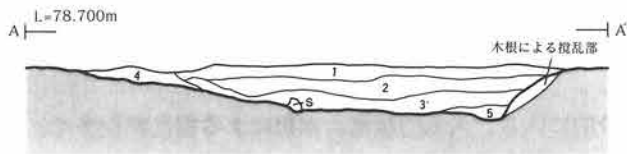
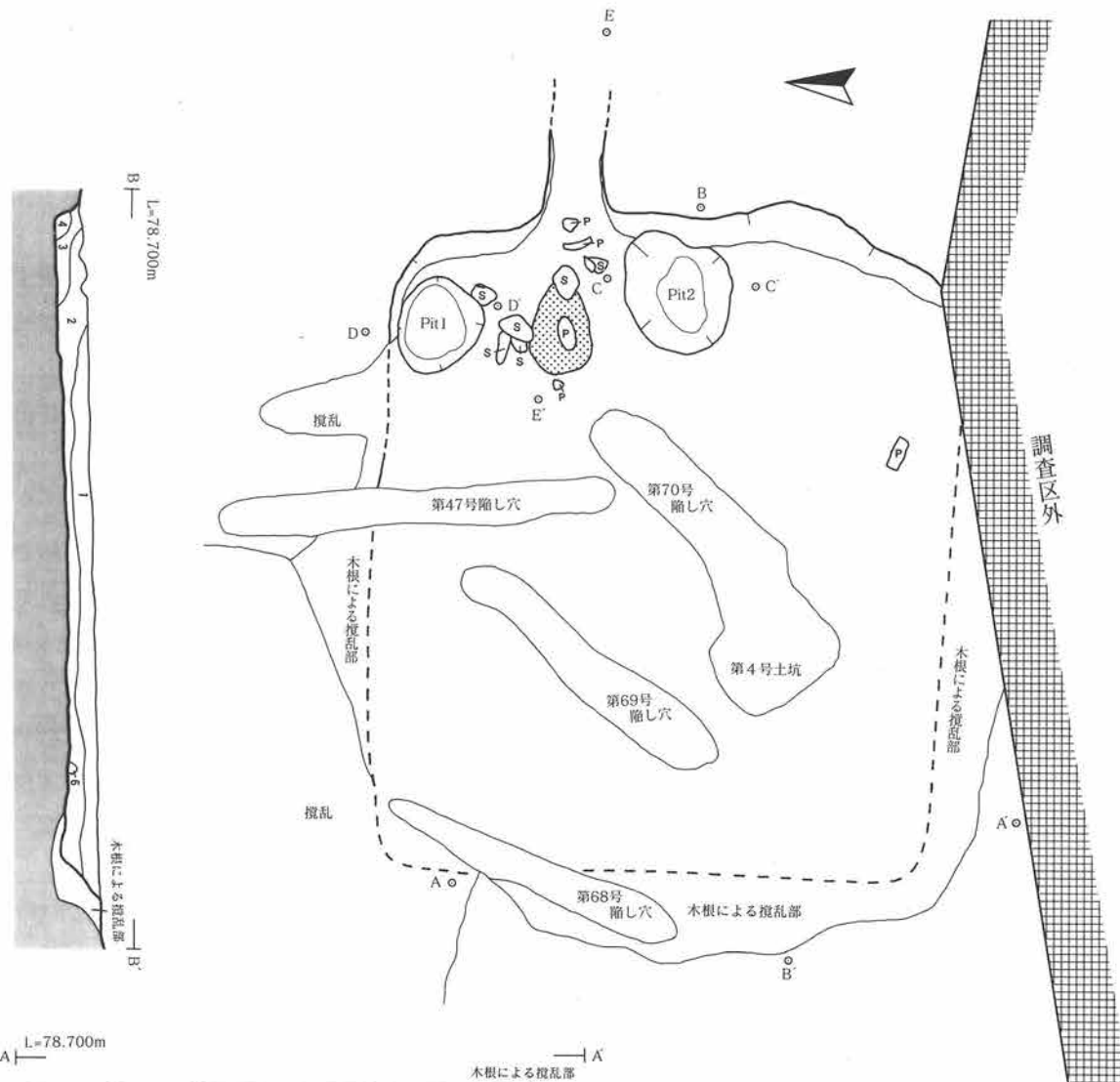
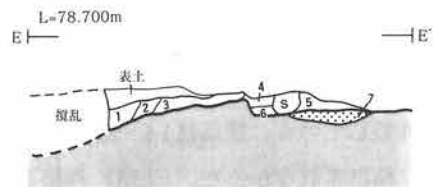


図11 第2号住居跡



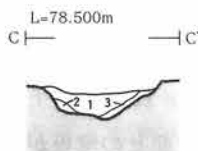
(A-A'・B-B')

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土粒、植根をまばらに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山崩落土。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 褐色土ブロックを全体に含む。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト ロームブロック。



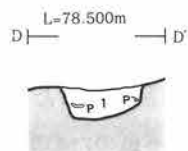
(E-E')

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土小ブロックをわずかに含む。煙出口埋土?
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土ブロックを全体に含む。煙出口埋土。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土と黒褐色土との混土。固く締まる。天井部崩壊土?
5. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 焼土粒を全体に含む。
7. 5YR5/6 赤褐色 シルト 燃焼部焼土。焼成やや良。



(C-C')

1. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒・炭化物をこくわずかに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 シルト 焼土粒・炭化物をわずかに含む。1層より含有量多い。
3. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。



(D-D')

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 焼土粒をまばらに、炭化物をわずかに含む。

カマド(cm)

本 体	長さ	92	煙 道 部	長さ	—	煙 出 部	径	—
	幅	71		幅	35		深さ	—

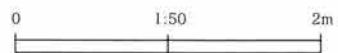


図12 第3号住居跡

(土坑) カマド両脇に貯蔵穴と思われる土坑が1基ずつ検出された。カマド左脇の土坑は、57cm×67cmの楕円形を呈し、深さは最大で19cmを測る。カマド右脇の土坑は、72cm×96cmの不整形で深さは17cmを測る。

(カマド) <位置>東壁中央部よりやや北東隅寄り<主軸方向>N-91°-E

<本体>支脚と燃焼部焼土が残存している。支脚には粒径20cm前後の礫が使用されており、燃焼部焼土の東端に据えられていた。燃焼部焼土は、41cm×61cmの楕円形を呈し、厚さは最大で7cmを測る。焼成は比較的良好である。

<煙道部・煙出部>煙道部は一旦急角度で立ち上がった後、やや下がっている。煙道部の途中から煙出部にかけて削平されており詳細は不明である。

遺物 (図162~164、写真図版118~120)

土師器の坏・甕類が中コンテナ1箱弱出土している。14~17は内面黒色処理された酸化炎焼成の坏である。底部の切り離し技法はいずれも回転系切りである。14・16は口縁部・胴部にヘラミガキが施されている。15は摩滅のため調整は不明である。17はヘラミガキの前に多少ヘラナデによる調整が施されている。18~20は黒色処理されていない酸化炎焼成の坏である。18・19の底部の切り離し技法は回転系切りである。21~26は酸化炎焼成の甕である。21~23・25非ロクロ成形で器面調整はいずれも口縁部はヨコナデ、胴部はヘラナデである。24・26はロクロ使用の甕で26はロクロ成形後ヘラケズリの調整が施されている。27・28は須恵器の大甕の胴部破片である。外面調整はいずれもタタキ目、27は内面に当て具痕である。

時期 出土遺物から9世紀後半に存在していた遺構であると考えられる。

第4号住居跡 (I B 8 d 住)

遺構 (図13、写真図版7)

(位置) 調査区内北側を東西に走る市道の南側に位置し、第20号住居跡とは北東方向に6m、第5号住居跡とは南東方向に約5mの距離を置く。

(埋土) 黒褐色土主体で下層ににぶい黄褐色土が部分的に入る。人為的攪乱、木根による攪乱部が多く、堆積状況は明瞭ではない。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.32m×4.75m

(壁) 外傾している。壁高は14~29cmである。(床面) III層上の粘土層を床面とする。ほぼ平坦である。

(柱穴) 検出されなかった。(土坑) 検出されなかった。

(カマド) <位置>東壁中央から0.75m北東隅寄り<主軸方向>N-101°-E

<本体>袖部、燃焼部焼土が残存している。袖部は粒径10cm前後の礫を芯材とし、その上部にシルト質土を貼り付けている。袖部上部が締まりがないのは木根による攪乱であるためと思われる。燃焼部焼土は42cm×46cmの楕円形で、厚さは最大で約4cmであるが、焼成不良のため燃焼部焼土と床面との境界が明瞭ではなく、正確な値とは言い難い。

<煙道部・煙出部>削り貫式と思われる煙道を持つ。底面は一旦約50°の急角度で立ち上がった後水平になり煙出部に至る。煙出部は径25cmの円形を呈し、約6cmの掘り込みを伴う小ピットを伴っている。煙道部の埋土にはわずかに焼土粒が入っている。

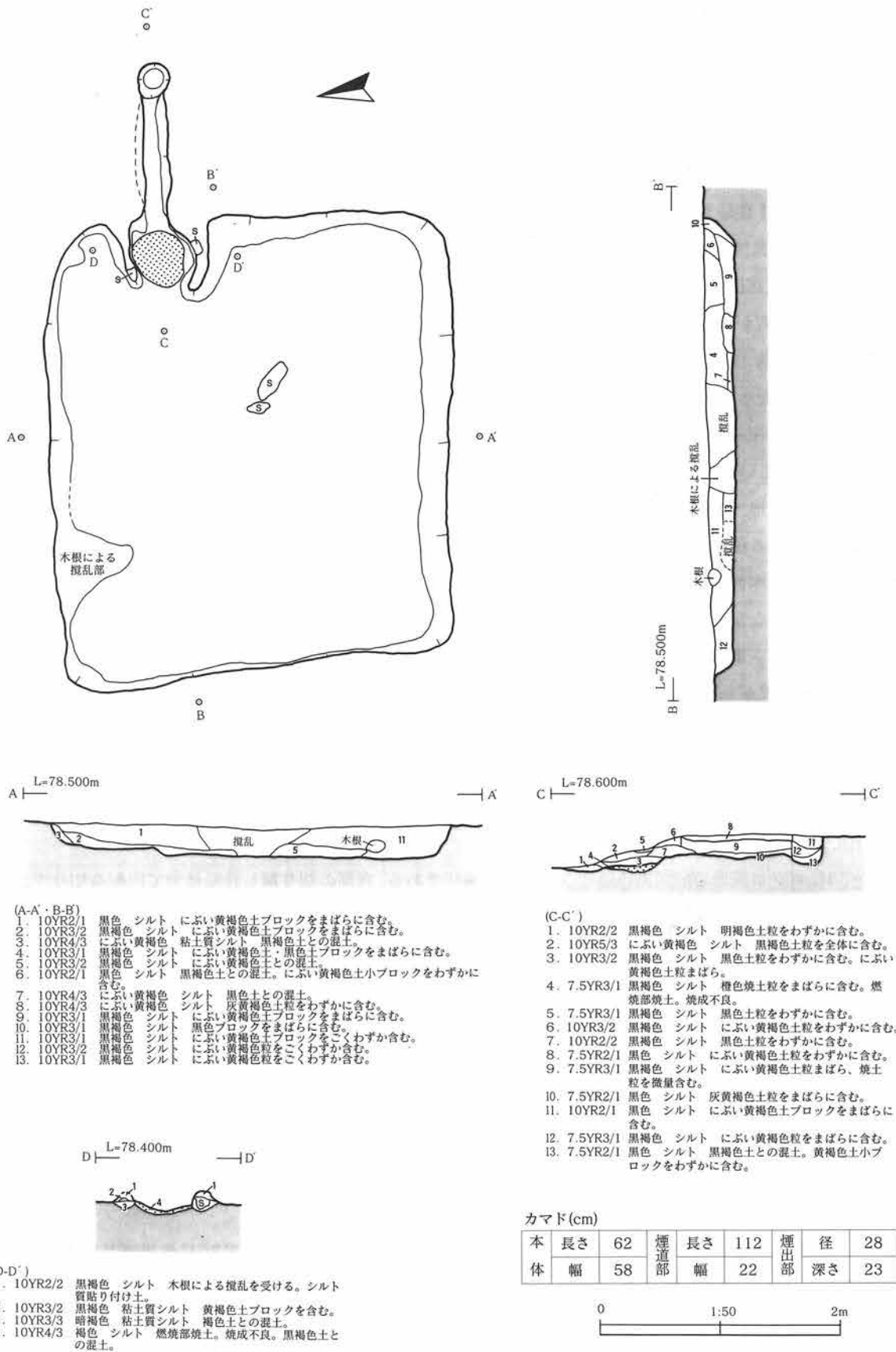


図13 第4号住居跡

遺物 (図164、写真図版120)

出土遺物は29高台付坏と30石鍬のみである。高台付坏はロクロ成形で内面黒色処理されている。底部の切り離し技法は摩滅のため不明である。石鍬は埋土上位からの出土であり流れ込みの可能性はある。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第5号住居跡 (IB9f住)

遺構 (図14、写真図版8)

(位置) 第4号住居跡、第6号住居跡にはさまれる形で存在している。それぞれの距離は、前者からは北西方向に4m、後者からは南東方向に3.5mである。また、本遺構は第91号陥し穴・第94号陥し穴と第6号土坑・第7号土坑・第8号土坑・第9号土坑の合わせて2本の陥し穴状遺構と4基の土坑と重複している。なお、本遺構は配水管及び基礎工事による削平を受けている。

(埋土) 層上部は黒褐色土、下部は黒色土主体で全体に褐色土がブロック状に入る。また、木根による攪乱を部分的に受けている。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 4.86m×4.89m

(壁) 残存している部分は緩く外傾する部分と外傾する部分に分かれる。壁高は8cm～16cmである。

(床面) Ⅲ層上を床面とする。平坦で全体に締まりがある。

(柱穴) 検出されなかった。(土坑) 検出されなかった。

(カマド) <位置>東壁北東隅寄り<カマド軸方向>不明

<本体>残存状況が悪く、焼土粒が煙出部～煙道部の延長上にわずかに散乱していた。

<煙道部・煙出部>上部が削平されているため、煙道のつくりは不明である。煙道の形態は水平であると思われる。検出できた部分の埋土は黒褐色土主体だが、ブロック状に焼土塊を含んでいる。特に、煙出部の底部と思われる部分に粒径18cm程度の焼土塊ブロックが入る。

遺物 (図164・165、写真図版120・121)

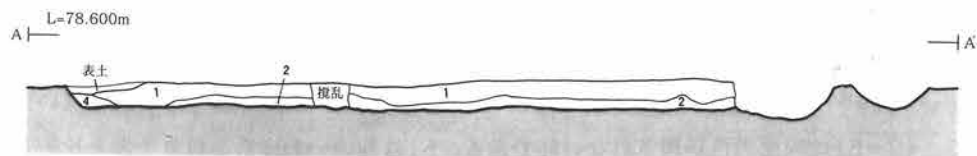
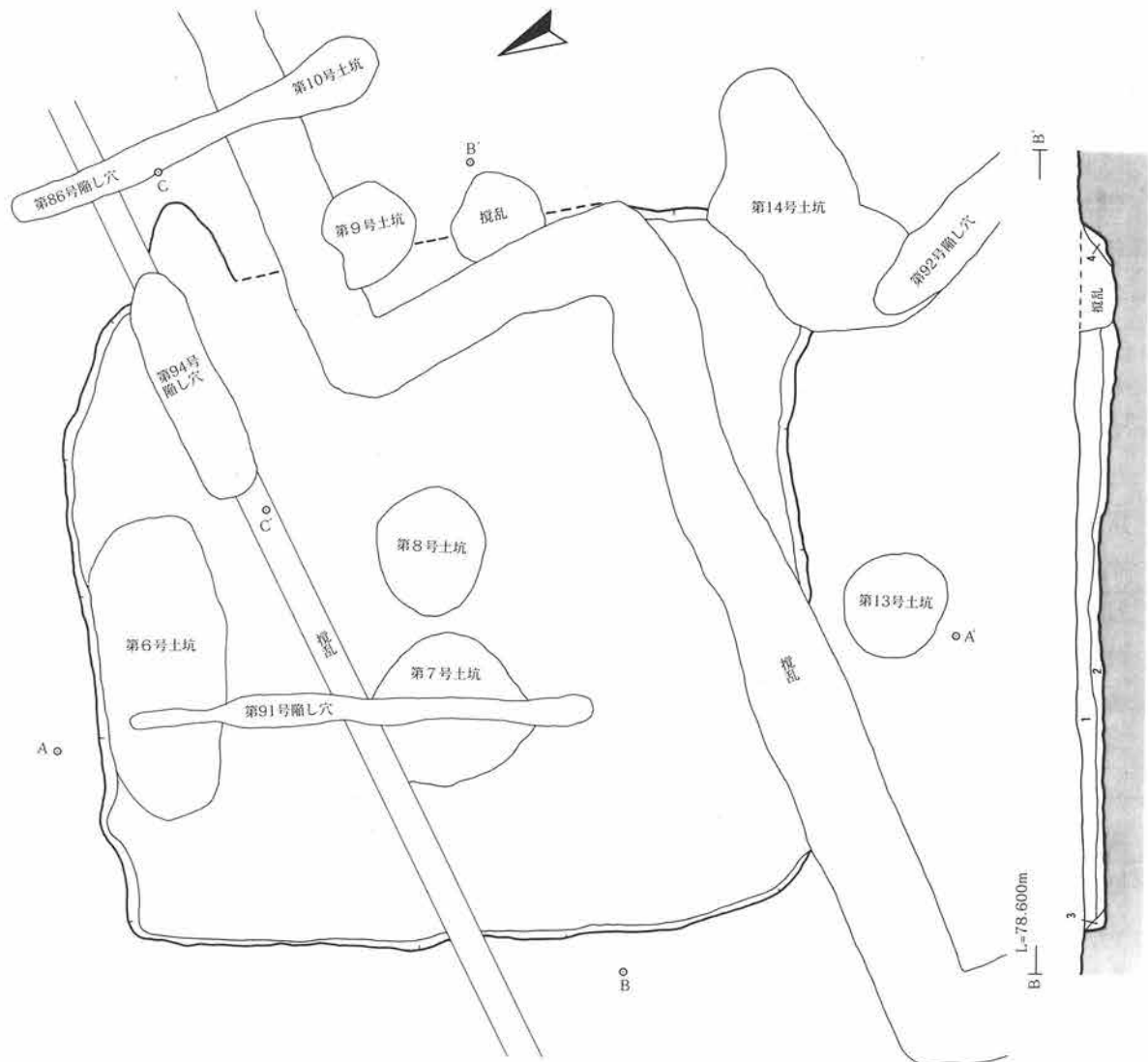
31～34はロクロ成形の内面黒色処理された土師器坏である。底部の切り離し技法は全て回転系切りである。32は胴部下端に再調整が施されている。35～40は黒色処理されていない土師器坏である。35～37・40の底部切り離し技法は回転系切りである。41は還元炎焼成の坏である。42～44は酸化炎焼成の甕である。42は内外面とも口縁部にはヨコナデが、胴部は外面がヘラケズリ内面は明瞭なヘラナデとハケメが施されている。43の胴部は外面がヘラナデ内面はハケメが施されている。44はロクロ成形されており、底部の切り離し技法は回転系切りである。45は須恵器甕の胴部破片で外面はタタキ目、内面はカキ目調整が施されている。

時期 出土遺物から9世紀後半に存在していた遺構であると考えられる。

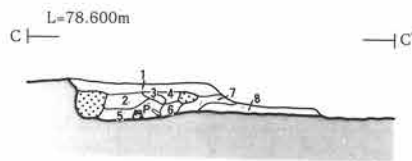
第6号住居跡 (IB9g住)

遺構 (図15・16、写真図版9)

(位置) 第5号住居跡と北東方向に3.5m、第24号住居跡とは東方向に12m、第25号住居跡とは南東方向に7mの距離を置く。また、第10号、第16号、第17号、第19号、第20号、第21号土坑と第92号陥し穴と重複している。土坑はいずれも床面からの検出であり、第10・17・19・20・21号土坑の5基については住居に伴う可能性がある。なお、本遺構も宅地基礎工事により東壁及びカマド煙道部の一部が削平されている。



- (A-A' · B-B')
1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。植根を全体に含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 シルト 地山崩落土?木根による攪乱を受けている。
 4. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。



- (C-C')
1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 焼土塊をわずかに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 シルト 焼土塊をまばらに含む。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 4. 10YR3/2 黒褐色土 シルト 焼土塊、焼土ブロックをまばらに含む。
 5. 7.5YR5/6 にふい褐色 粘土質シルト 焼土粒、焼土塊を全体に含む。
 6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 焼土粒をまばらに含む。
 7. 10YR2/3 黒褐色 シルト くすんだ焼土粒を全体に含む。
 8. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒をまばらに含む。

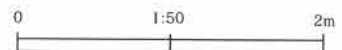


図14 第5号住居跡

(埋土) 上部は黒色土、下部は黒褐色土主体でその違いは褐色土を含む割合による。下部に入るに従って褐色土の割合が増える。地山崩落土と思われる部分は黒褐色土主体で黄褐色土が部分的に入る。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 4.70m×5.18m

(壁) 直立気味に外傾している。壁高は18cm～38cmである。

(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。平坦で固く締まっている。

(柱穴) PP1からPP4の計4基検出された。いずれも主柱穴と思われる。それらは台形状に配置され、各柱穴間の距離はPP1とPP2が1.55m、PP2とPP3が1.27m、PP3とPP4が1.85m、PP4とPP1が1.28mである。また、柱穴の配置は、北壁：柱穴間：南壁の距離の比がほぼ1：1：1となっている。

(土坑) カマド右脇に2基、左脇に1基、計3基検出されている。カマド右脇に位置するものをPit1、その南側に位置するものをPit2、北側に位置するものをPit3として記述する。Pit1は58cm×72cmの楕円形を呈し、深さは最大で16cmを測る。埋土下位には焼土塊・焼土粒が入る。Pit2は径55cmのほぼ円形を呈し、深さは最大で14cmを測る。また、Pit2の南側から壁際に向かって、5cm前後の低い落ち込みがみられた。床面の落ち込みとも考えられるが、貯蔵穴として利用された可能性がある。Pit3は67cm×77cmの楕円形を呈し、深さは最大で38cmを測る。

(カマド) <位置>東壁中央より0.62m北東隅寄り<カマド軸方向>N-110°-E

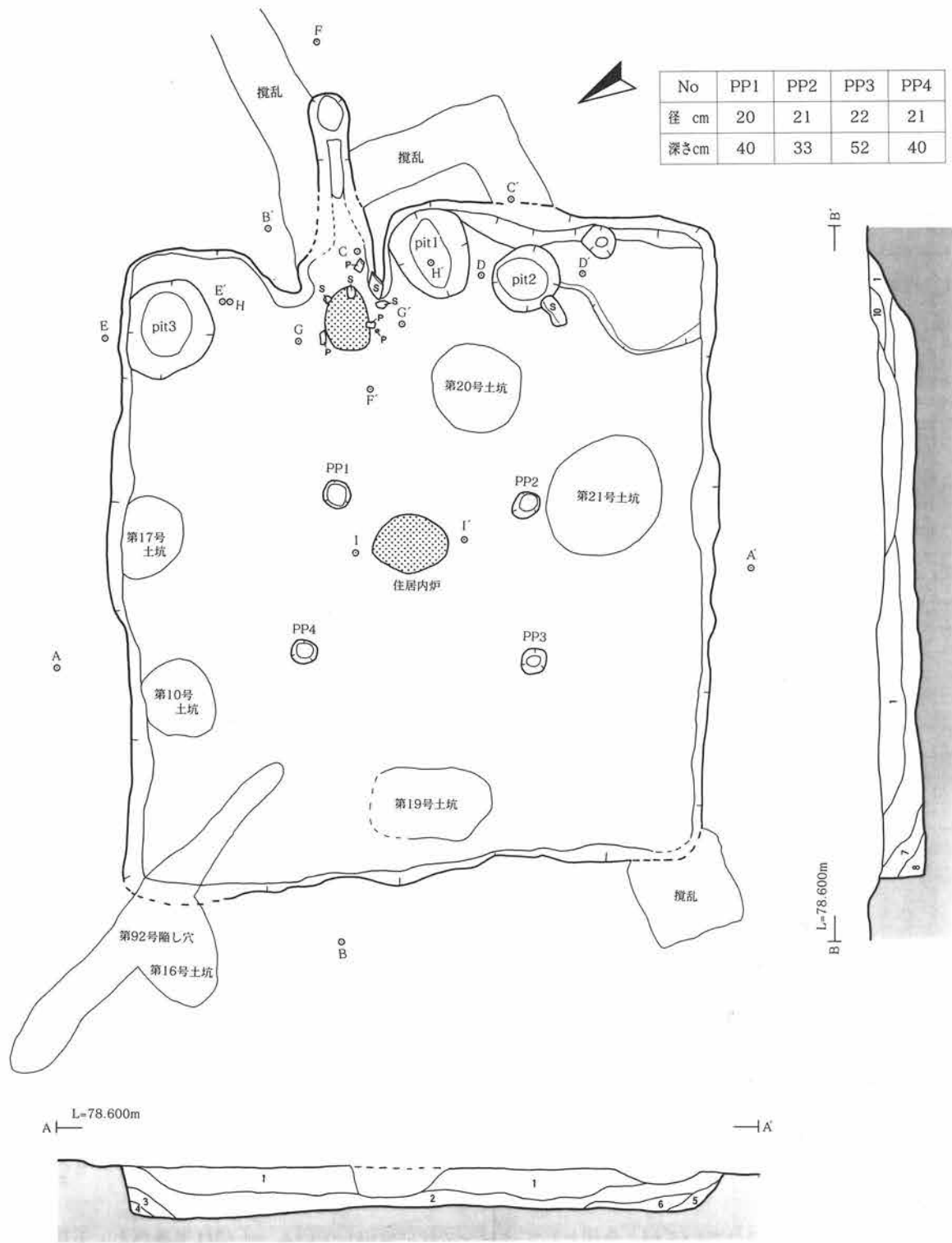
<本体>袖部、支脚と燃焼部焼土が残存している。右袖部は10cm×20cmの角礫を芯材とし、その周辺に粘土質土を貼り付けている。左袖は粘土質の灰黄褐色土の周辺にシルト質の黒褐色土を貼り付けていると思われる。燃焼部焼土は33cm×49cmの楕円形を呈し、厚さは最大で8cmである。

<煙道部・煙出部>煙道部は、上部～中部にかけてそのほとんどが住宅の基礎工事により削平されている。そのため、煙道のつくりは不明である。煙道部の底面はほぼ水平で、煙出部手前から徐々に下がり、底面から小ピット状に浅く(3～4cm)掘り込まれている。煙道部埋土には、焼土粒が入るが詳細については不明である。

遺物 (図166・167、写真図版122・123)

46～48は酸化炎焼成の内面黒色処理された坏である。いずれも、内面にはヘラミガキが施されていたと思われるが摩滅がひどく46・47にわずかにその痕が見られる程度である。底部の切り離し技法はいずれも回転系切りである。49～51は内面黒色処理されない坏である。51は他のいわゆる赤焼き土器と比較して底径が小型化している。底部の切り離し技法は回転系切りである。52は還元炎焼成の坏である。53～57は酸化炎焼成の甕である。53はロクロ成形の甕でありヘラによる調整は見られない。54～57は非ロクロ成形の甕である。いずれも、口縁部ヨコナデ胴部はヘラナデを基調とする調整が施されるが、55のみ口縁部外面にヨコナデ後にヘラナデ調整が見られる。58は還元炎焼成の甕の胴部破片である。外面にはタタキ目調整が見られる。59～61は全て住居内土坑からの出土である。59・60は磨石である。60は一部剥落している。61は砥石で両面に使用した痕が見られる。

時期 出土遺物から9世紀後半に存在していた遺構であると考えられる。



- (A-A・B-B)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックを全体に含む。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。
 4. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土粒をわずかに含む。
 5. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。
 6. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。5層よりやや明るい。
 7. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。3層に似る。
 8. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。4層に似る。
 9. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。根根をまばらに含む。
 10. 10YR2/3 黒褐色 シルト 表土ブロック含む。1層に似る。

カマド (cm)

本 体	長さ	89	煙 道 部	長さ	78	煙 出 部	径	32
	幅	85		幅	28		深さ	46

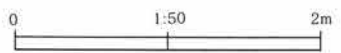


図15 第6号住居跡(1)

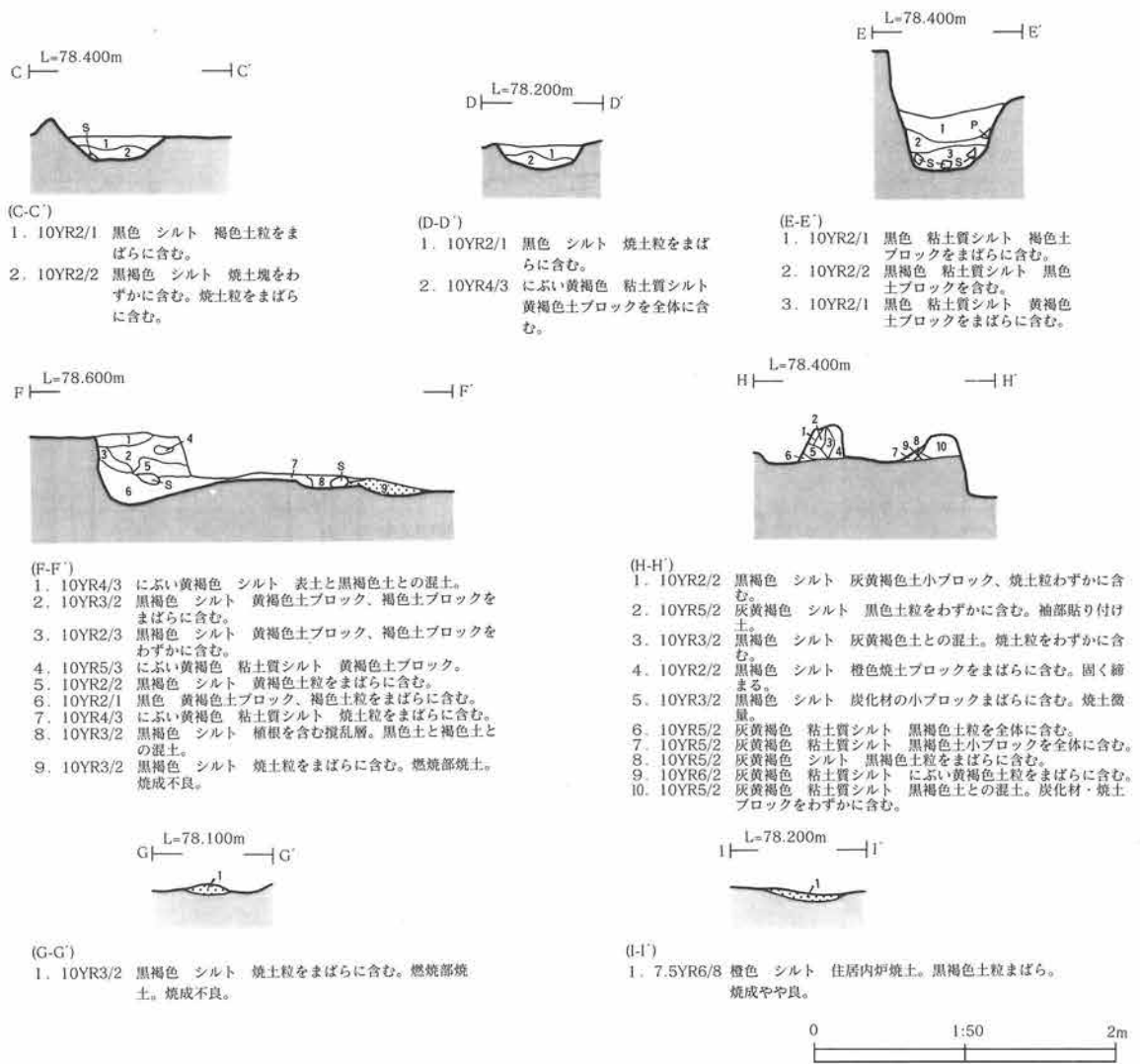


図16 第6号住居跡(2)

第7号住居跡 (IC0a住)

遺構 (図17、写真図版10)

(位置) 第25号住居跡とは北北東方向に6m、第27号住居跡とは東方向に4m、第8号住居跡とは南東方向に2mの距離を置く。

(埋土) 部分的に攪乱を受けているが、全体としてはレンズ状に堆積している。上部は黒褐色土、下部は黒色土主体で黄褐色土小ブロックを含む。地山崩落土と思われる層は黒褐色土に褐色土が入る。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.35m×2.45m

(壁) 全て外傾する。壁高は12cm~26cmである。

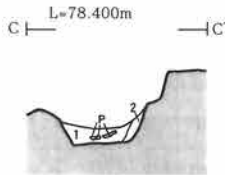
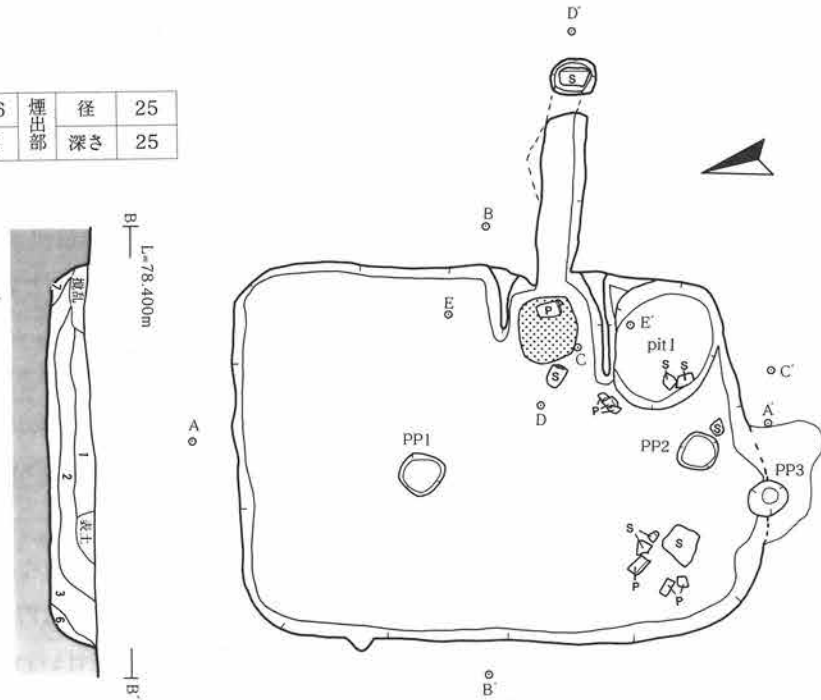
(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。全体に固く締まり、南西隅に向かってやや下がる

(柱穴) PP1からPP3の計3基検出された。床面から検出されたPP1とPP2は埋土の状況から主柱穴と思われるが、PP3は遺構に伴うかどうかは不明である。PP1、PP2は南北に縦列し、東西軸の中央やや西寄りに配置されている。柱穴間の距離は1.85mである。

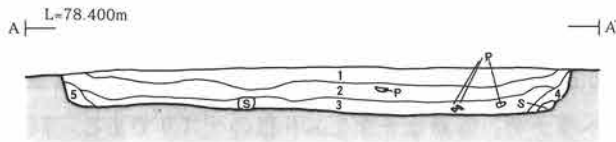
カマド(cm)

本体	長さ	76	煙道部	長さ	106	煙出部	径	25
	幅	70	幅	28	幅	25	深さ	25

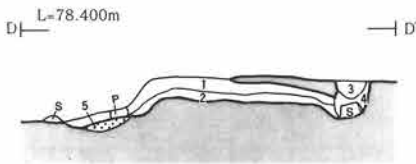
No	PP1	PP2
径 cm	31	29
深さcm	48	54



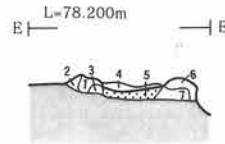
- (C-C')
- 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 焼土粒・炭化材をまばらに含む。
 - 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



- (A-A'・B-B')
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 表土を部分的に含む。粒径5mm程度の礫を含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土小ブロックまばら。1層よりやや明るい。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土と褐色土との混土。地山崩落土。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。地山崩落土。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。地山崩落土。
 - 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土と褐色土との混土。地山崩落土。



- (D-D')
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 焼土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 焼土ブロックをまばらに含む。焼土粒を全体に含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。3層よりやや暗い。
 - 10YR7/4 にぶい橙色 砂質シルト 燃焼部焼土。焼成やや良。



- (E-E')
- 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒を全体に含む。2層よりやや暗い。
 - 10YR4/6 褐色 シルト 焼土粒をわずかに含む。
 - 10YR4/6 褐色 シルト 焼土粒をまばらに含む。燃焼部焼土。焼成不良。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 袖部構築土。黒褐色土粒をまばらに含む。



図17 第7号住居跡

(土坑) カマド右脇から1基検出されている。規模・平面形は68cm×85cmの楕円形であり、深さは最大で14cmを測る。埋土上位には、焼土粒・炭化材が入る。

(カマド) <位置>東壁中央より0.50m南東隅寄り<主軸方向>N-110° -E

<本体>残存状況は良好で、袖部、支脚と燃焼部焼土が残存している。袖部は粘土質土を芯材とし、その周辺または上部にシルト質土を貼り付ける形で構築されている。支脚には粒径15cm前後の礫を使用している。燃焼部焼土は、37cm×43cmの楕円形を呈し厚さは最大で5cmを測ると思われるが、焼成不良のため、焼土の範囲は明確ではない。

<煙道部・煙出部>割り貫式と思われる煙道である。底面は40°～45°の急角度で一旦立ち上がった後水平になり煙出部に至る。煙出部には6cm前後の掘り込みがあり、その底面には半頭大の扁平な礫が敷いてある。埋土は、焼土粒を含む黒褐色土で煙出部に近い部分はくすんだ色調をなしている。

遺物 (図167・168、写真図版123・124)

62は内外面黒色処理された酸化炎焼成の坏である。内外面ともヘラミガキが施されている。底部切り離し技法は回転系切りで胴部下端にヘラによる再調整が施されている。63は内面のみ黒色処理された坏である。底部は回転系切り後指ナデにより再調整が施されている。64～72はいわゆる赤焼き土器である。底部切り離し技法は全て回転系切りである。(67・70は摩滅のため回転の痕がわずかに見える程度である。) 73は内外面黒色処理された酸化炎焼成の高台付坏である。ヘラミガキによる調整は内面にのみ施されている。底部は回転系切り後ヘラによる再調整が施されている。なお、高台部は欠損している。74・75は還元炎焼成の坏である。74は還元不足のためくすんだ色調を施している。75の底部及び胴部下端にはヘラによる粗い再調整が施されている。77・78は酸化炎焼成の非ロクロ成形の甕である。77は底部が砂底である。調整は内面はヘラナデ、外面はナタケズリ様のケズリである。78の外面はヘラケズリ、内面にはハケメ調整されているが雑な感がある。76・79は酸化炎焼成のロクロ成形の甕である。76は成形後外面にヘラケズリ調整されている。79の底部切り離し技法は回転系切りである。80は還元炎焼成の甕である。頸部にはロクロ成形前に施された縦の条痕が見られる。81は土錘で、長さ6.4cm、重さは約5.7gである。

時期 出土遺物から9世紀後半に存在していた遺構であると考えられる。

第8号住居跡 (ICOb住)

遺構 (図18、写真図版11)

(位置) 第7号住居とは北西約2m、第27号、第28号住居跡とは北東方向にそれぞれ、2m、1mの距離を置く。なお、本遺構は98年度と99年度調査区にまたがっているが、98年度に調査を終了した。

(埋土) 上部～下部にかけて褐色土を含む黒褐色土主体である。いずれの層も木根による攪乱を受けている。

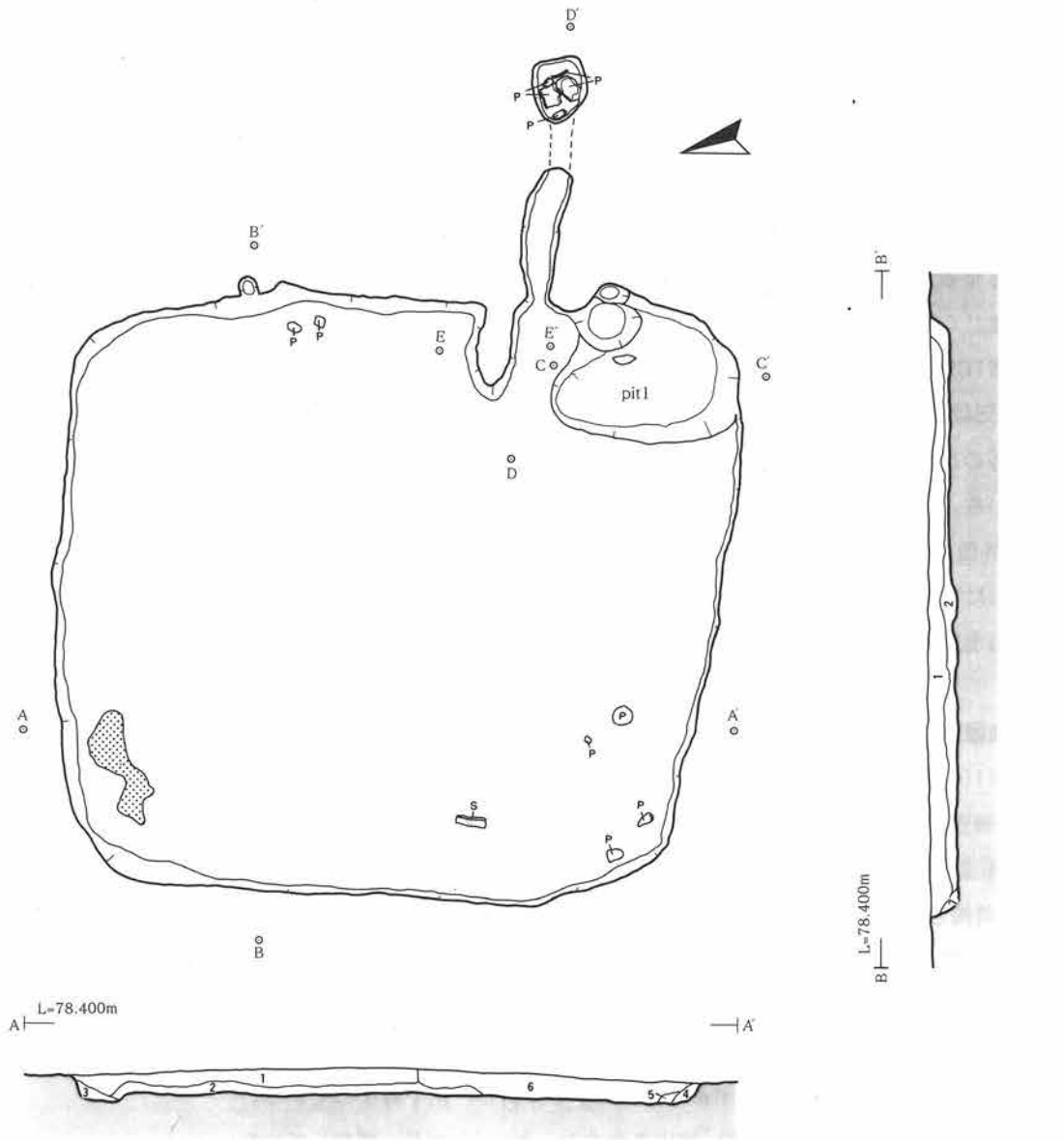
(平面形) 隅丸台形 (規模) 4.50m×4.04m

(壁) 全て外傾している。壁高は8～22cmである。

(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面としている。平坦であったと思われる。攪乱の影響を受けているためか、縮まりはあまりない。

(柱穴) 壁際に2基検出されたが、遺構に伴うかどうかは不明である。

(土坑) カマド右脇に貯蔵穴が1基検出された。規模・平面形は90cm×125cmの楕円形であり、深さは最大で14cmを測る。ただし、右袖部があったと思われる部分にまで土坑が広がっていることから、部分的に木根による攪乱を受けている可能性がある。

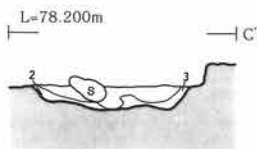


(A-A' · B-B')

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックを全体に含む。植根をまばらに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックまばら含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。地山崩落土。
4. 10YR3/3 暗褐色 シルト 褐色土ブロックを全体に含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト ロームブロック。
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土と黒褐色土との混土。木根による攪乱を受ける。
7. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。

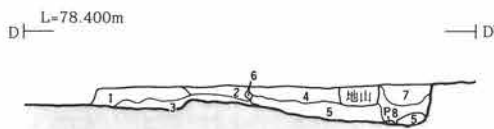
カマド (cm)

本 体	長さ	66	煙 道 部	長さ	126	煙 出 部	径	40
	幅	67		幅	25		深さ	27



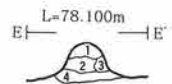
(C-C')

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色小ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。砂粒が若干混入。



(D-D')

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 木根による攪乱を受ける。褐色土粒まばら。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 焼土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 褐色土粒をまばらに含む。植根をわずかに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト ぐすんだ焼土粒、焼土ブロックをまばらに含む。
6. 7.5YR5/6 明褐色 粘土質シルト 焼土ブロック。
7. 10YR3/3 暗褐色 シルト 表土を部分的に含む。
8. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。



(E-E')

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 木根による攪乱を受ける。褐色土と黒褐色土との混土。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 シルト 焼土粒をこくわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。固く締まる。

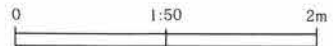


図18 第8号住居跡

(カマド) <位置>東壁中央部より0.85m南東隅寄り<主軸方向>N-112°-E

<本体>残存状況はあまり良くなく、左袖部のみ残存している。右袖部は、木根による攪乱を受けた可能性もあり、埋土との区別がはっきりとしなかった。左袖部は粘土質土を芯材とし、その上にシルト質土を貼り付ける形で構築されたいた。

<煙道部・煙出部>削り貫式と思われる煙道をもっている。底面は一旦立ち上がった後やや下がり気味で煙出部に至る。煙出部の底面は、わずかに掘り込まれその上に土師器甕の破片が散乱していた。煙道部の埋土には、くすんだ焼土粒が含まれている。

遺物 (図169・170、写真図版124・125)

82～85は酸化炎焼成の坏でいずれも、ロクロ痕以外の器面調整は持たない。また、底部切り離し技法がわかるものは全て回転糸切りである。86は還元炎焼成の坏である。還元不足のため胎土はくすんだ色調を為している。87～89は酸化炎焼成のロクロ成形の甕である。87・88はロクロ痕以外に器面調整を持たず、89には外面にヘラケズリが施されている。90は酸化炎焼成、非ロクロ成形の甕である。口縁部の調整は内外面ともにヨコナデ、胴部内面はヘラナデ調整が、外面にはヘラケズリが全体に施されている。

時期 出土遺物から9世紀後半以降に存在していた遺構であると考えられる。

第9号住居跡 (IC6b住)

遺構 (図19、写真図版12)

(位置) 調査区内の最も西側、斜面の手前に位置する。第7号・第8号住居跡とは東北東にそれぞれ15m、19mの距離を置き、第10号住居跡とは東南東に8mの距離を置く。

(埋土) 黄褐色土を含む黒褐色土主体だが、南東隅は宅地工事のため西壁は木根により攪乱されており、堆積状況は明瞭ではない。

(平面形) 北東隅は隅丸を呈しているが、全体の平面形は把握できなかった。(規模) 不明である。

(壁) 北壁及び東壁は直立気味に外傾している。壁高は24cm×29cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。西側にやや傾斜し、固く締まっている。

(柱穴) 検出されなかった。(土坑) 検出されなかった。(カマド) 残存していない。

遺物 (図170、写真図版125)

出土遺物は土師器甕1点のみである。90は酸化炎焼成、非ロクロ成形である。摩滅がひどく器面調整は内面にわずかにヘラナデ痕が見える程度である。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第10号住居跡 (IC8d住)

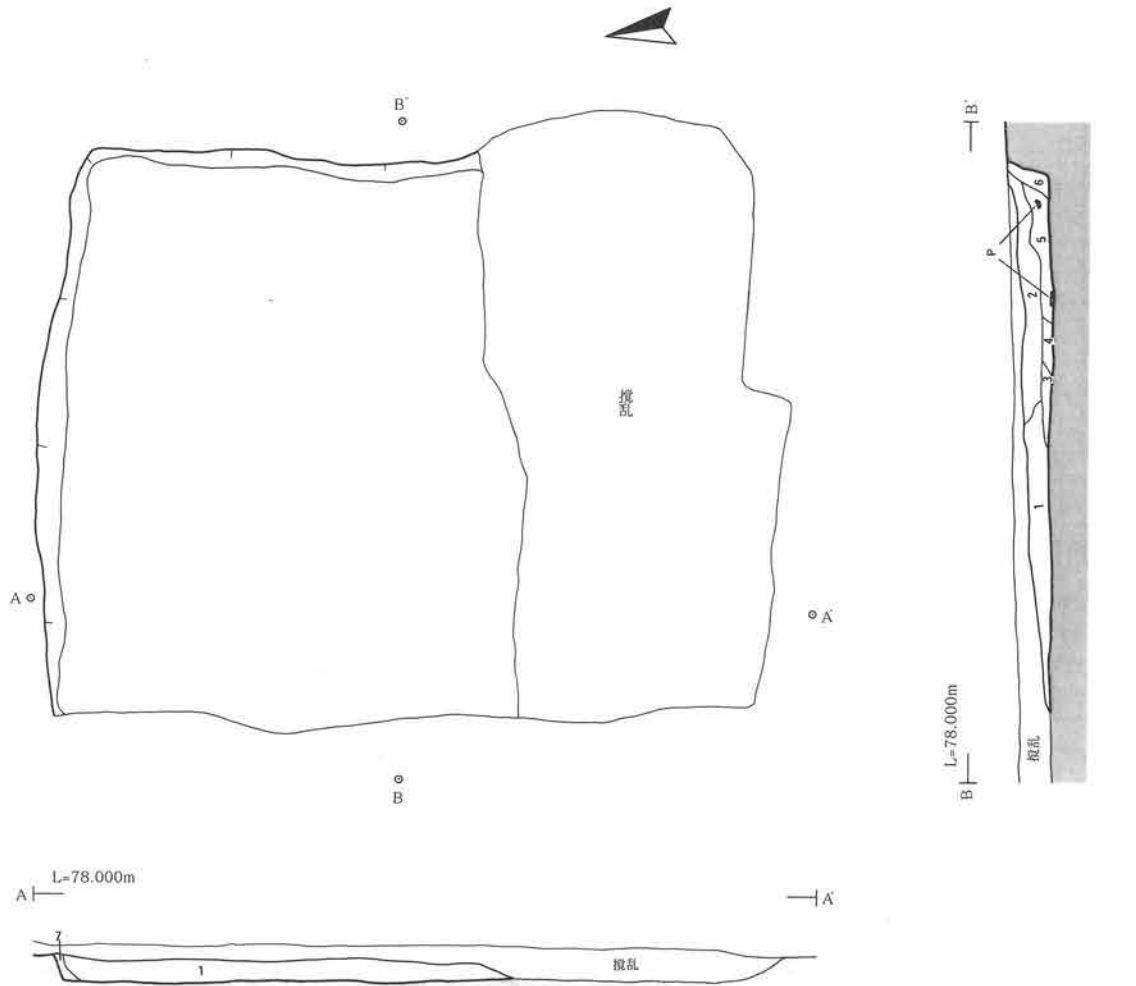
遺構 (図20、写真図版13)

(位置) 第8・9・11号の3棟の住居跡に囲まれる形で存在する。第8号住居跡とは東北東方向に11m、第9号住居跡とは西南西に8m、第11号住居跡とは南南東に4mの距離を置く。

(埋土) 黄褐色土ブロックを含む黒色土主体。排水による汚水の浸食を受け埋土全体が変色している。

(平面形) 隅丸長方形であったと思われる。(規模) 2.80m前後×3.40m前後

(壁) 北壁は配水管工事、東壁は宅地造成のための工事により削平されている。西壁及び南壁は直立気味に外傾している。壁高は7cm～19cmである。



(A-A'・B-B')

1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色土小ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。炭化材こくわずか含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土と黄褐色土との混土
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土粒をわずかに含む。地山崩落土。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。攪乱?

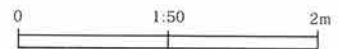


図19 第9号住居跡

(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。西方向に緩やかに傾斜している。(柱穴) 検出されなかった。

(土坑) 住居跡北東隅と思われる位置に貯蔵穴と思われるものが1基検出された。規模、平面形は60cm×83cmの楕円形を呈し、深さは最大で20cmを測る。

(カマド) <位置>東壁南東隅寄り<主軸方向>N-105° -E

<本体>そのほとんどが削平されており、袖部の芯材として使用されたとと思われる半頭大の礫のみが残存している。なお、カマドの主軸方向は、この礫を右袖部と判断して求めた推定値である。

<煙道部・煙出部>煙出部の小ピットのみ残存し、煙道部は削平されている。小ピットは径33cmの円形を呈しており、埋土下位には焼土粒を含んでいる。

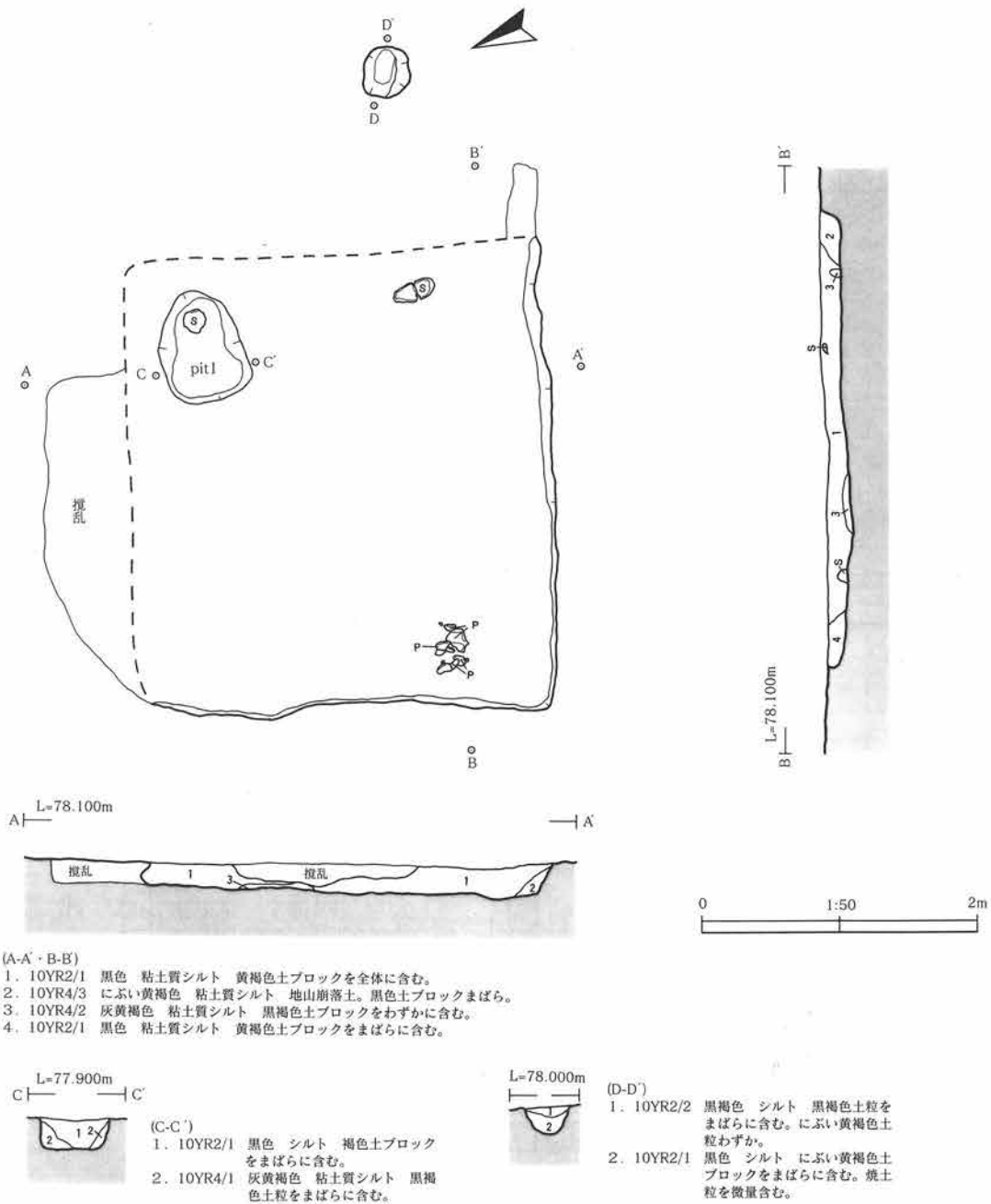


図20 第10号住居跡

遺物 (図170、写真図版125・126)

92は酸化炭焼成の坏である。底部切り離し技法は回転系切りである。93・94は酸化炭焼成の甕で、ロクロにより成形されている。94はさらに胴部外面の上半部ヘラナデ、下半部にヘラケズリが施されている。95は還元炭焼成の甕で、ロクロにより成形され、胴部外面にヘラケズリ、内面にヘラナデが施されている。

時期 出土遺物から9世紀後半以降に存在していた遺構である可能性が高い。

第11号住居跡 (IC7e住)

遺構 (図21、写真図版14)

(位置) 第10号住居跡を北北東方向に、第19号住居跡を南南東方向にみる。前者とは4m、後者とは6mの距離を置く。なお、この住居跡は第26号土坑と重複している。

(埋土) 上部は黒褐色土、下部は黒色土主体。部分的に攪乱を受けている。

(平面形) 不明 (規模) 3.15m × (不明)

(壁) 東壁は宅地基礎工事により削平されている。北壁及び西壁は外傾、南壁は緩く外傾している。壁高は、8~13cmである。

(床面) III層下の粘土層を床面とする。

(柱穴) 南東隅から1基、西壁の土坑内から1基計2基検出された。前者は床面から検出され、後者は埋土中に掘り込みがあったが、遺構に伴うかどうかは不明である。

(土坑) 検出されなかった。

(カマド) 検出されていない。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

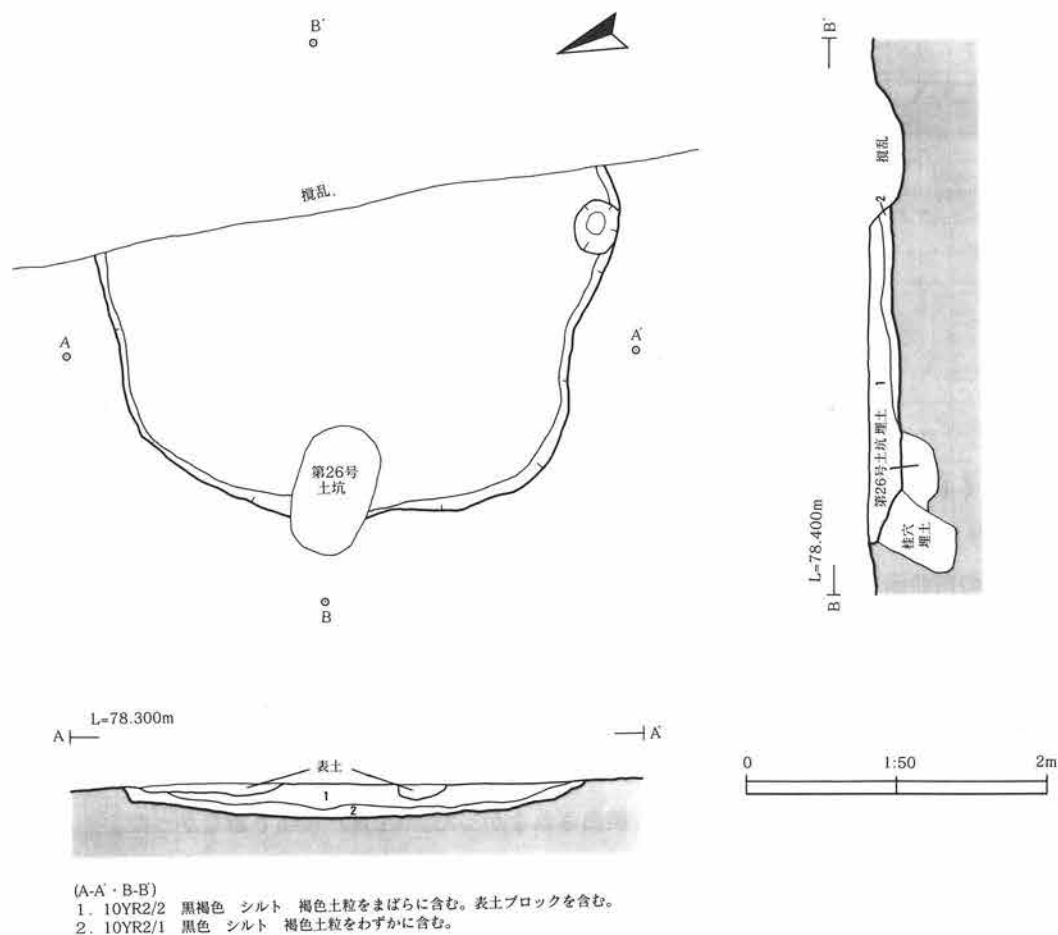
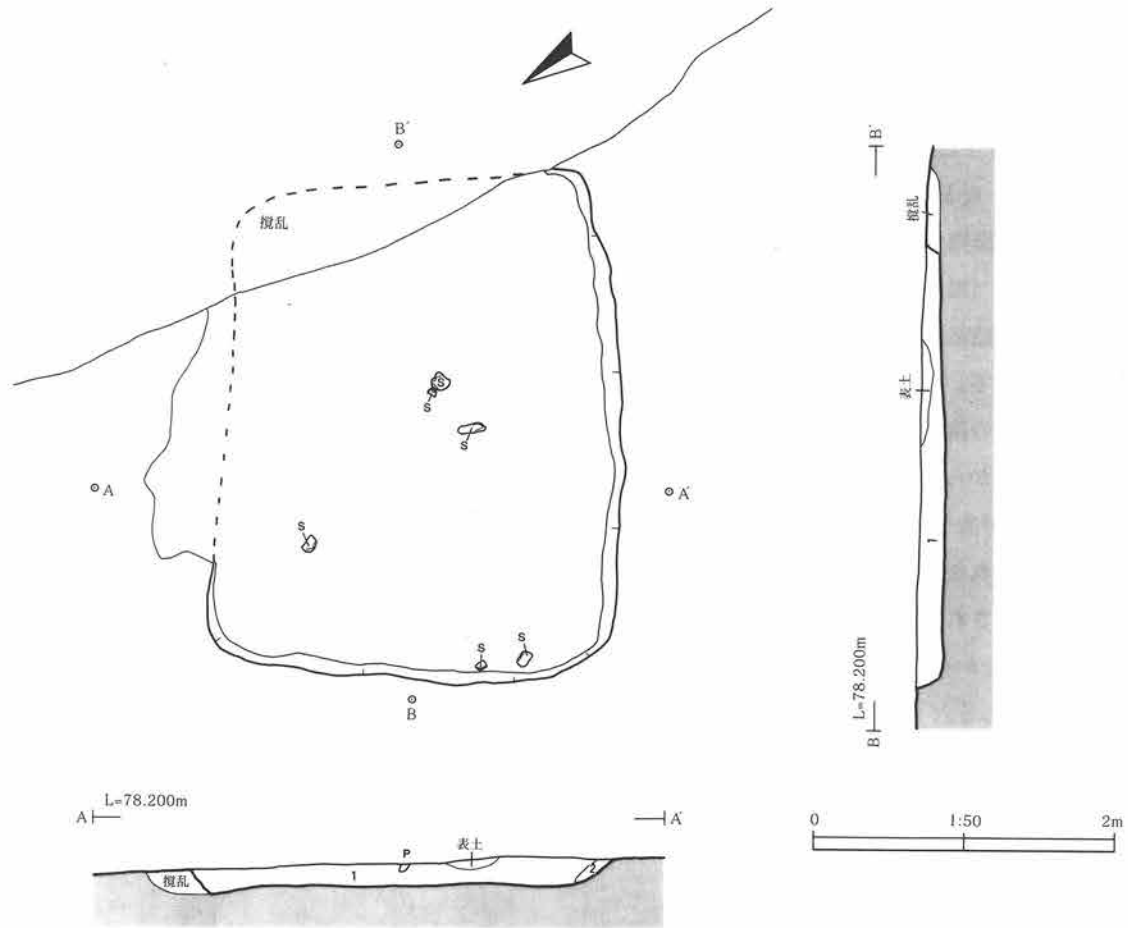


図21 第11号住居跡



(A-A' - B-B')

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックを全体に含む。

2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。1層より暗い。

図22 第12号住居跡

第12号住居跡 (IC7h住)

遺構 (図22、写真図版15)

(位置) 調査区の南西隅に位置し、第11号住居跡とは北北東に13m、第19号住居跡とは北東方向に3mの距離を置く。なお、この住居跡の東側の一部が宅地造成のため削平されている。

(埋土) 褐色土ブロックを含む黒褐色土主体。部分的に攪乱を受けている。

(平面形) 隅丸長方形? (規模) 2.70m×3.35m

(壁) 南壁及び西壁が残存。どちらも緩く外傾しており壁高は8cm~17cmである。

(床面) IV b層上の礫層を床面とする。(柱穴) 検出されなかった。(土坑) 検出されなかった。

(カマド) 検出されなかった。

(その他) 他の住居跡のカマドがほとんど東壁に設置されていることから、本遺構もカマドが削平された竪穴住居跡として扱ったが、実際には、住居跡ほどの規模をもつカマドのもたないいわゆる住居状遺構である可能性もある。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第13号住居跡 (ⅡD2a住)

遺構 (図23、写真図版15)

(位置) 第31号住居跡を東方向に、第14号住居跡を南東方向にみる。前者とは9mほど、後者とは8mほどの距離を置く。なお、この住居跡の北東隅と南西隅は配水管工事のため攪乱を受けている。

(埋土) 褐色土混じりの暗褐色土主体。

部分的に黄褐色土ブロックが入る。

(平面形) 隅丸長方形と思われる。

(規模) 2.60m前後×2.30m

(壁) 残存している部分は全て直立気味に外傾している。壁高は11cm～17cmである。

(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

(柱穴) 検出されなかった。

(土坑) 検出されなかった。

(カマド) 住居跡の北東隅の攪乱部とその東側に焼土粒が散在していた。本遺構に伴うものでありこの位置にカマドがあった可能性がある。

遺物 (図171、写真図版126)

96は酸化炎焼成の坏である。器面調整はロクロ痕のみで、底部切り離し技法は回転糸切りである。97は還元炎焼成の甕である。外面はヘラケズリ、内面はヘラナデ調整されている。98は磨石である。埋土からの出土で流れ込みの可能性がある。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第14号住居跡 (ⅡD4c住)

遺構 (図24、写真図版16)

(位置) 第13号住居跡と北西方向に9m、第31号住居跡と北方向に10m、第4号住居状遺構と東方向に16mの距離を置く。また、本遺構の南西部と第15号住居跡の北東部が重複している。埋土の状況から、本遺構の方が新しいと思われる。

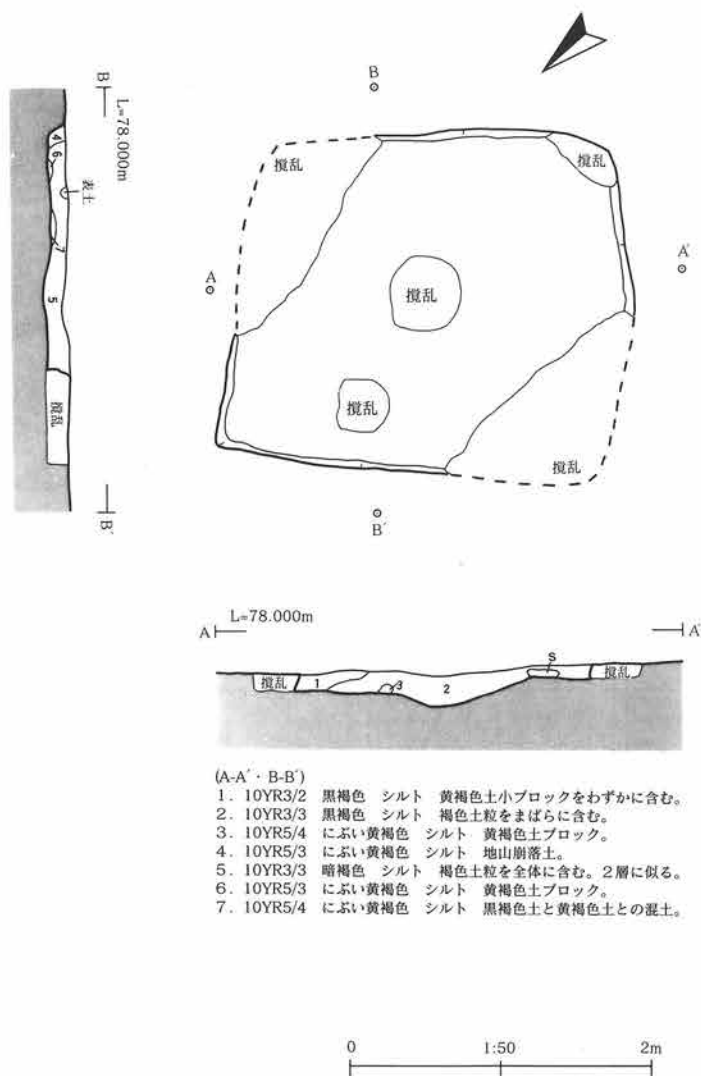
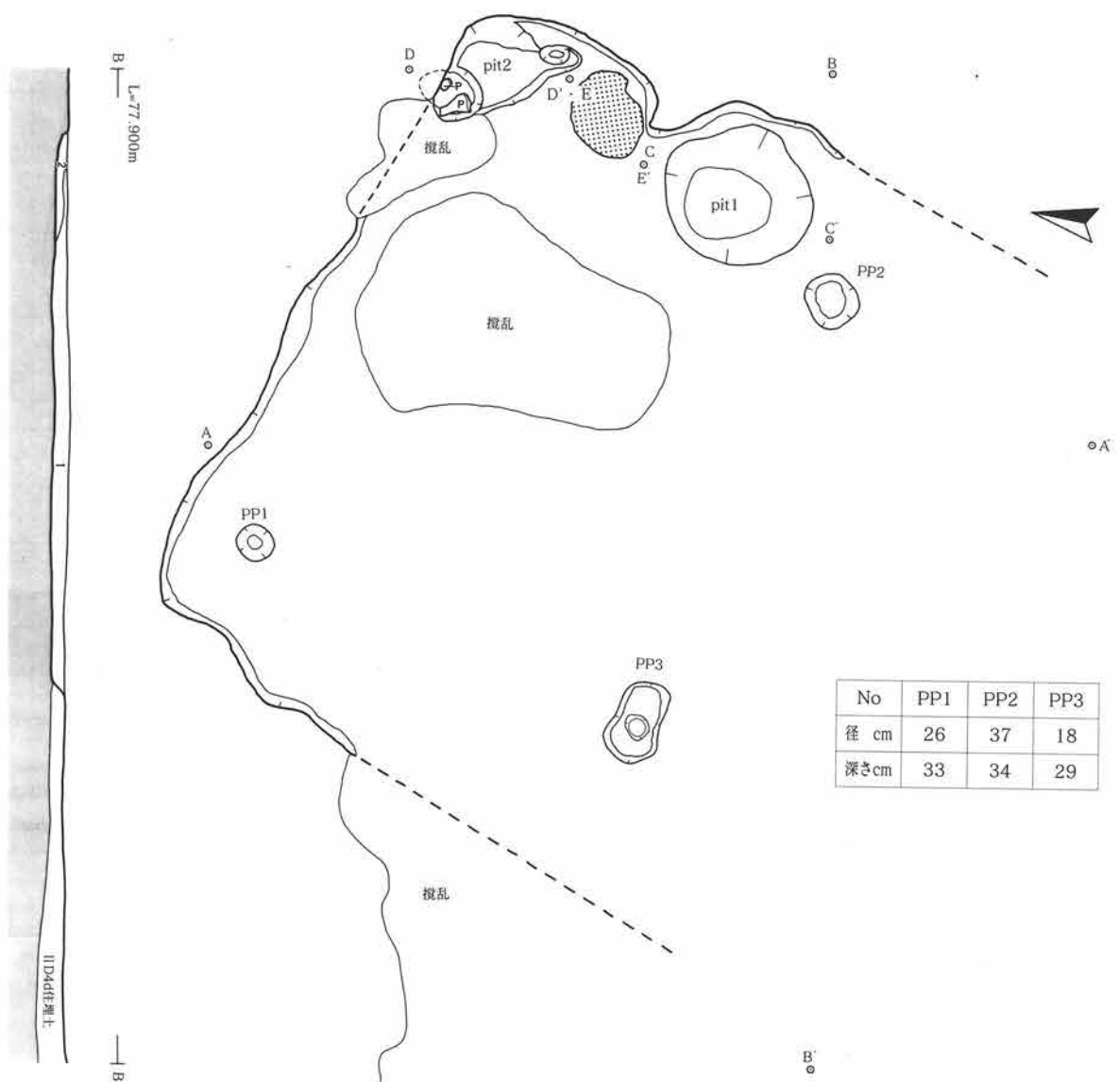
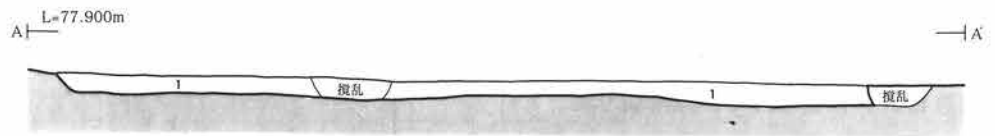


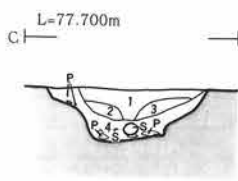
図23 第13号住居跡



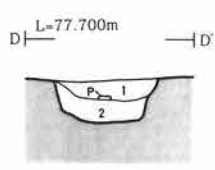
No	PP1	PP2	PP3
径 cm	26	37	18
深さcm	33	34	29



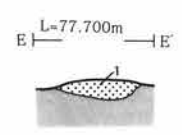
- (A-A' - B-B')
- 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土小ブロックを全体に含む。



- (C-C')
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロック、黄褐色土ブロックをわずかに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土粒をまばらに含む。2層に似る。
 - 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックまばら。半拳大の礫含む。



- (D-D')
- 10YR2/1 黒色 シルト 焼土ブロックをわずかに含む。褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。



- (E-E')
- 7.5YR5/6 明赤褐色 締まりのある燃焼部焼土。焼土良好。

図24 第14号住居跡

(埋土) にぶい黄褐色土を含む黒色土主体。部分的に攪乱を受けている。

(平面形) 不明(規模) 北壁は4.98m、東・南・西側は不明。

(壁) 残存する部分は全て外傾している。壁高は5～16cmである。

(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。攪乱部を含めて凹凸がある。

(柱穴) 3基検出された。いずれも主柱穴と思われる。柱穴間の距離はPP1とPP3が3.0m、PP2とPP3が3.31mである。

(土坑) 燃焼部焼土の右脇から1基、左脇から1基、計2基検出された。前者をPit1、後者をPit2として記述する。Pit1の規模は107cm×101cmのほぼ円形で、深さは最大で32cmを測る。Pit2の規模は70cm×72cmの不整形円で、深さは最大で27cmを測る。

(カマド) <位置> 東壁北東隅寄り? <主軸方向> 不明

<本体> 燃焼部焼土のみ残存。規模は50cm×55cmの楕円形で、厚さは最大で12cmを測る。焼成は良好である。

遺物 (図171・172、写真図版126・127)

99～102は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。底部切り離し技法は、摩滅のため明瞭でないものもあるが、全て回転系切りであると思われる。103・104は内面黒色処理されない坏である。104の底部切り離し技法は回転系切りである。105は酸化炎焼成、ロクロ成形の甕である。口縁部は内外面ともヨコナデ、胴部は外面にヘラケズリ調整されている。106は還元炎焼成の大甕の胴部破片である。外面はタタキ目、内面には当て具痕が見られる。

時期 出土遺物から9世紀後半に存在していた遺構である可能性が高い。

第15号住居跡(ⅡD4d住)

遺構 (図25、写真図版17)

(位置) 第13号住居跡を北西方向にみる。その距離は9mである。また、本遺構の北東部と第14号住居跡の南西部が重複している。前述したように、埋土の状況から本遺構の方が古いと思われる。

(埋土) 黒褐色土主体。埋土に黄褐色土が入ることもあって攪乱部との判別が明確ではない。

(平面形) 不明(規模) 南壁は4.85m、その他については不明。

(壁) 残存する南壁は外傾しており、壁高は4～10cmである。

(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。攪乱部を含めて多少凹凸がある。

(柱穴) 検出されなかった。(土坑) 検出されなかった。

(その他) 本遺構も第12号住居跡と同様、カマドが削平された竪穴住居跡として扱ったが、実際には、住居跡ほどの規模をもつがカマドのもたないいわゆる住居状遺構である可能性がある。

遺物 (図172、写真図版126・127)

107～110は酸化炎焼成の坏である。107・108は内面黒色処理され、109・110は黒色処理されていない。底部切り離し技法は、摩滅のため不明瞭なものもあるがその他は全て回転系切りである。111・112は埋土からの出土である。111は搔器で縁辺部がわずかに二次加工されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

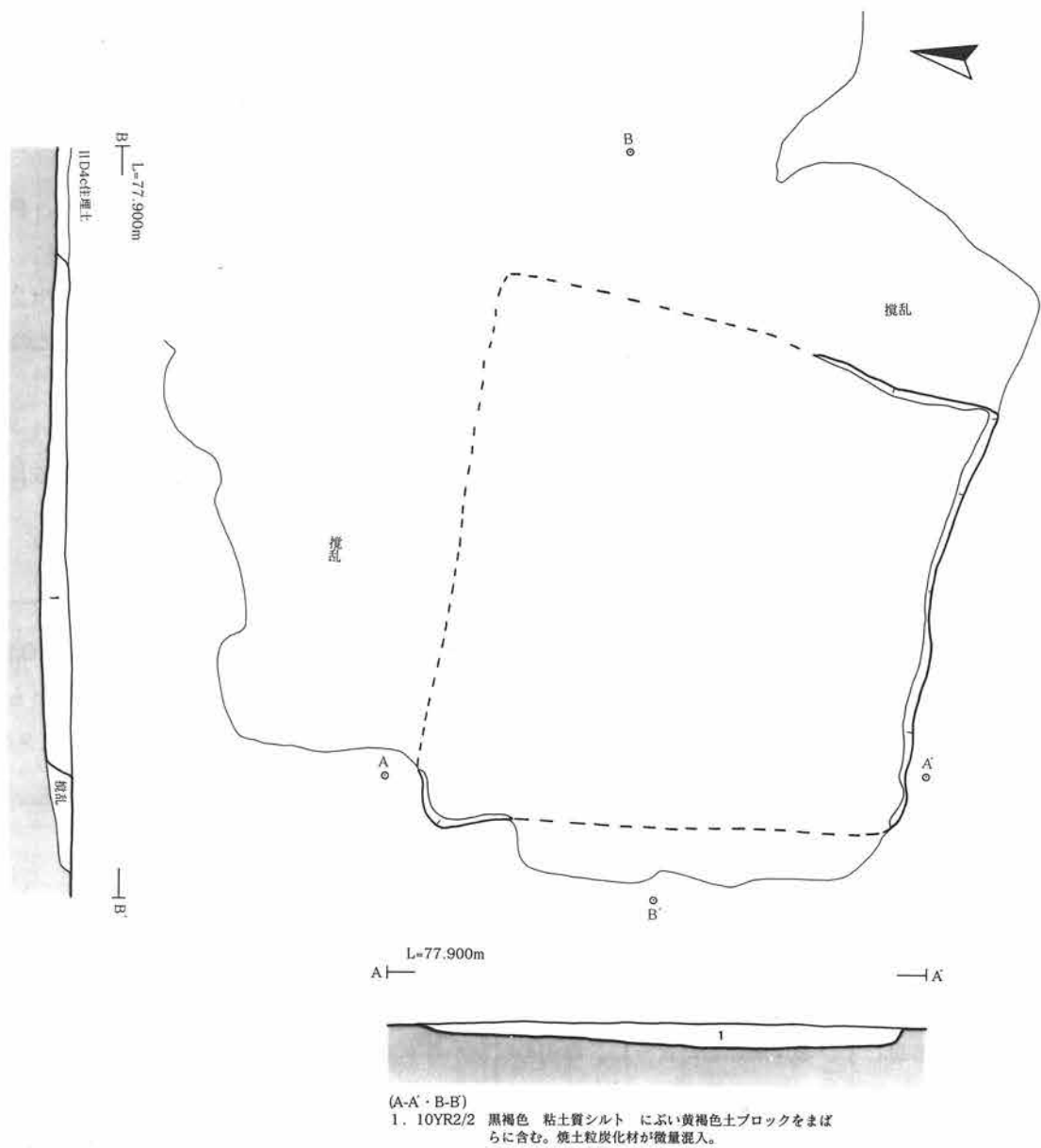


図25 第15号住居跡

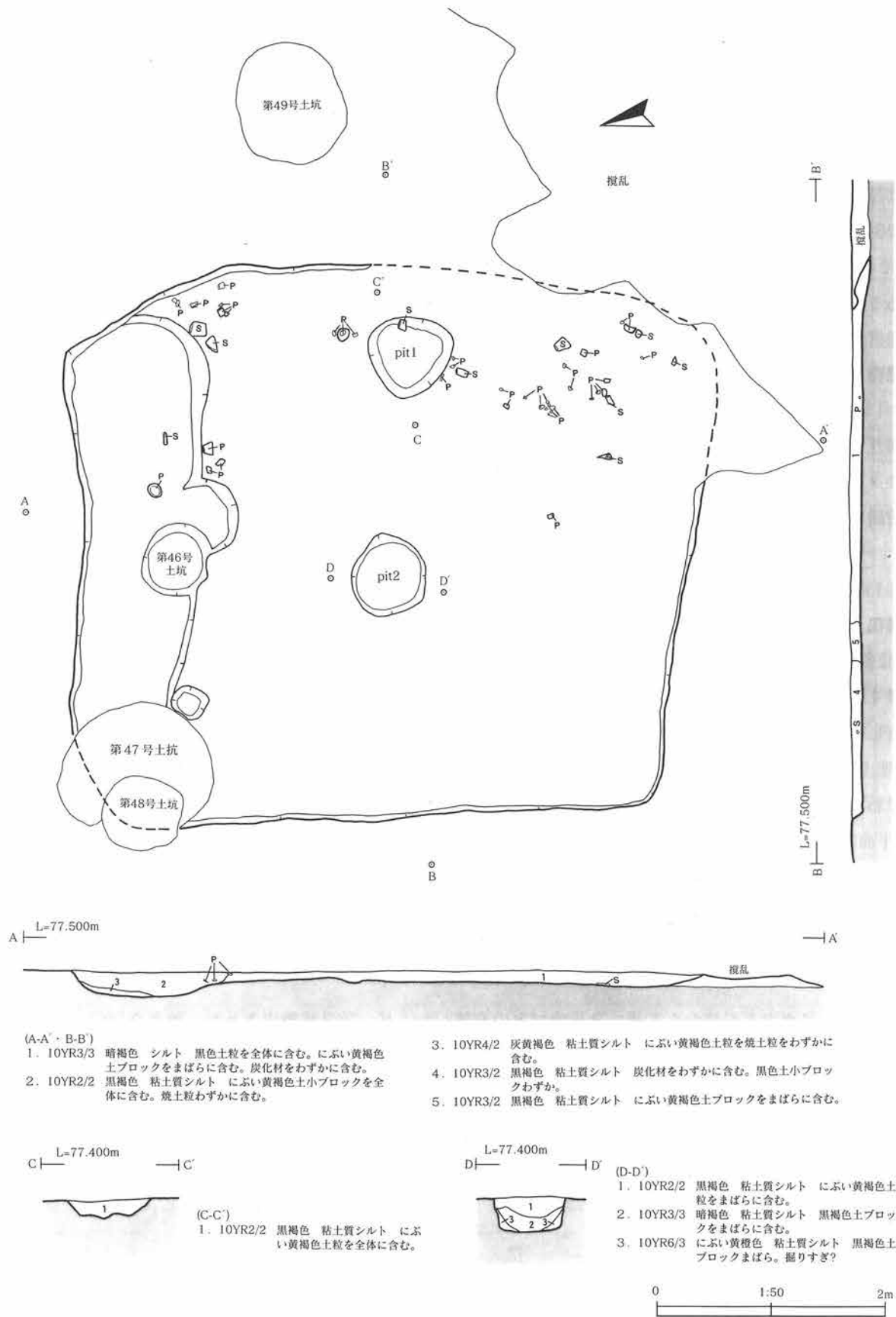
第16号住居跡 (II E 4 b 住)

遺構 (図26、写真図版18)

(位置) 調査区南西隅に位置し、第14・15号住居跡とは北方向に37m、第17号住居跡とは東北東方向に5mの距離を置く。なお、本遺構は第46・47・48号土坑と重複している。第46・47号土坑は床面からの検出であり本遺構に伴う可能性があるが、ここでは別遺構として後述する。また、第48号土坑が埋土上からの掘り込みであることから本遺構の方が古い。

(埋土) 暗褐色土、黒褐色土主体。部分的に炭化材が入る。南東隅が削平されている。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 5.30m×4.30m



(A-A'・B-B')

1. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒色土粒を全体に含む。にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。炭化材をわずかに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックを全体に含む。焼土粒わずかに含む。

3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を焼土粒をわずかに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化材をわずかに含む。黒色土小ブロックわずか。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。

(C-C')

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。

(D-D')

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックまばら。掘りすぎ?

図26 第16号住居跡

(壁) 残存する部分は全て外傾し、壁高は5～17cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。平坦で締まりがある。

(柱穴) 検出されなかった。

(土坑) 東壁寄り中央と住居跡中央部に2基検出された。前者をPit 1、後者をPit 2として記述する。Pit 1は径70cm前後のほぼ円形を呈し、深さは最大で15cmを測る。Pit 2は径65cmの円形を呈し、深さは最大で30cmを測る。

(その他) 住居跡北壁側に幅約1.2m、深さ約20cm程度の浅めの掘り込みがみられた。周溝または作業場であるとも考えられるが、詳細は不明である。また、カマドが検出されなかったことから、本遺構も住居状遺構である可能性がある。

遺物 (図172・173、写真図版127)

113～118は酸化炎焼成、内面黒色処理されない坏である。底部切り離し技法がわかるものは全て回転糸切りである。115のみ底部にヘラによる再調整が見られる。119は還元炎焼成の甕の胴部破片である。外面はタタキメ、内面はカキメ調整されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第17号住居跡 (ⅡE6b住)

遺構 (図27、写真図版19)

(位置) 第16号住居跡と第18号住居跡にはさまれる形で存在する。前者とは6m、後者とは3mの距離を置く。なお、カマドの右袖下から第52号土坑を検出した。重複関係から、本遺構の方が第52号土坑よりも新しい。

(埋土) 黒色土、黒褐色土主体。西側及び南側には攪乱部が入る。全体としてはレンズ状に堆積していたと思われる。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 4.51m×3.95m

(壁) 残存する部分は全て外傾し、壁高は5～19cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。多少凹凸があり、また、西方向にやや傾斜し下がる。

(柱穴) PP 1、PP 2の2基検出された。いずれも支柱穴と思われる。PP 1とPP 2の距離は2.65mである。

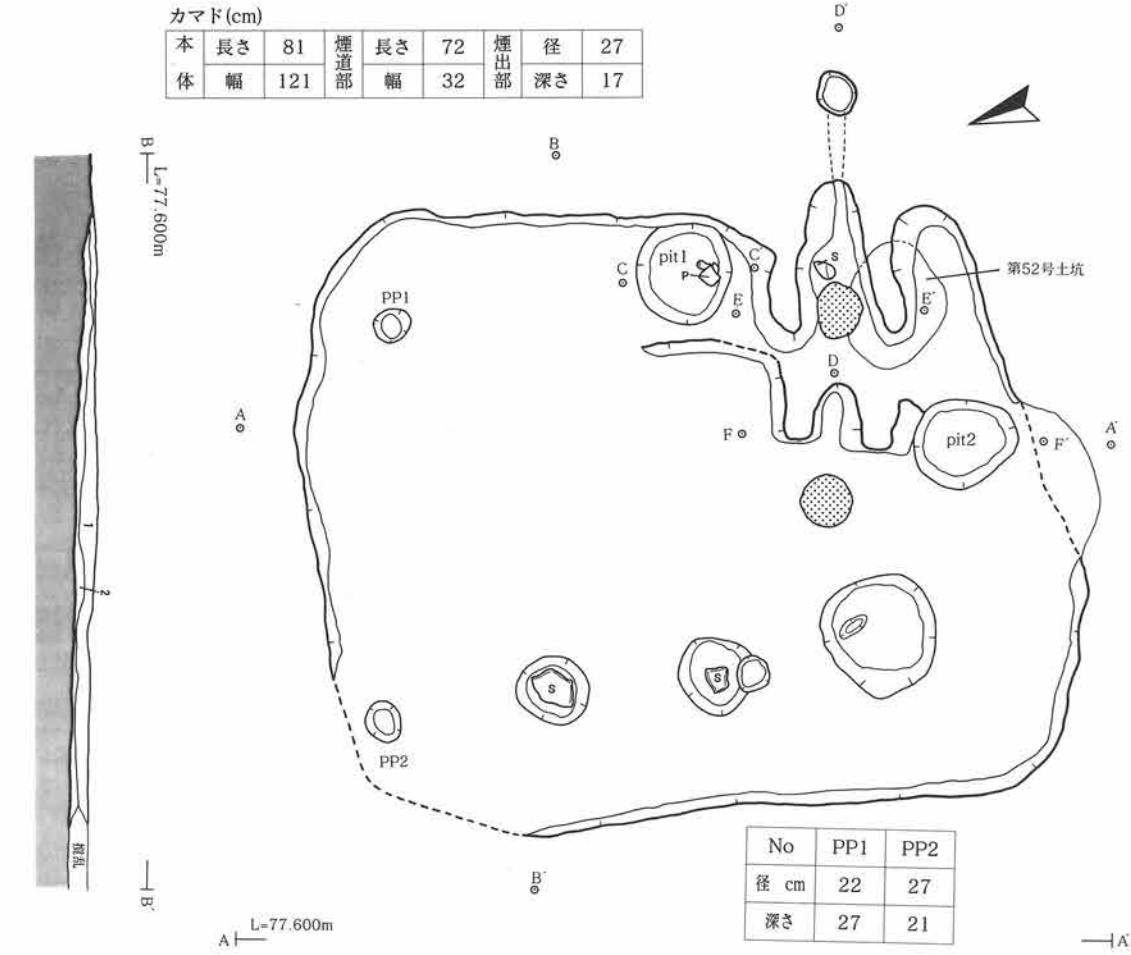
(土坑) 1号カマド左脇から1基、2号カマドの右脇から1基、計2基検出された。前者をPit 1、後者をPit 2として記述する。Pit 1の規模は径64cmのほぼ円形を呈し、深さは最大で15cmを測る。Pit 2は62cm×70cmの楕円形を呈し、深さは最大で21cmを測る。カマドと土坑の位置関係から、Pit 1は1号カマドと、Pit 2は2号カマドが使用された際の貯蔵穴と思われる。

(その他) 住居床面より西寄りに南北に縦列する形で柱穴状ピットが3基検出された。うち、2基は底面に平らな石を敷いている。本遺構に伴うものか、または、本遺構よりも古いものかについては埋土からは判断できなかった。

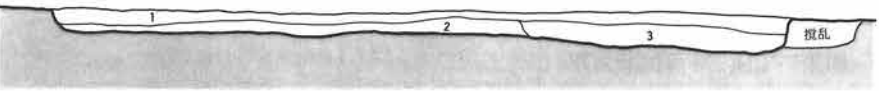
(カマド) 東方向に2基縦列するような形で検出された。最も東側に位置するものを1号カマド、西側に位置するものを2号カマドとして記述する。残存状況から、1号カマドは立て替え拡張に伴って構築されたものと思われる。よって、1号カマドは2号カマドより新しい。

カマド(cm)

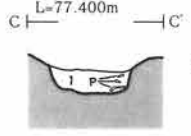
本 体	長さ	81	煙 道 部	長さ	72	煙 出 部	径	27
	幅	121		幅	32		深さ	17



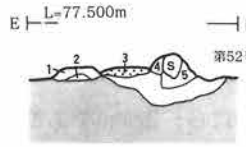
No	PP1	PP2
径 cm	22	27
深さ	27	21



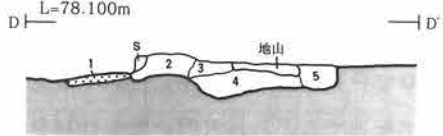
- (A-A' - B-B')
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒を全体に含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 焼土粒・焼土ブロックをまばらに含む。



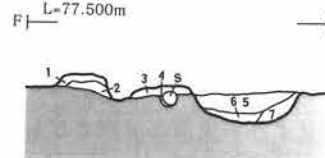
- (C-C')
- 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。



- (E-E')
- 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土と黒褐色土の混土。黒色土の割合多い。固く締まる。
 - 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒まばらに含む。袖部構築土。
 - 7.5YR4/6 褐色 焼土部焼土。焼成やや良。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒まばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。袖部構築土。



- (D-D')
- 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒を全体に含む。焼土部焼土?
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト 焼土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。



- (F-F')
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
 - 7.5YR2/2 黒褐色 シルト 明褐色土ブロックをまばらに含む。炭化材わずかに含む。
 - 7.5YR3/1 黒褐色 シルト 褐色焼土粒を全体に含む。炭化材まばらに含む。
 - 7.5YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 粘性強い。石を据えるための掘り込み。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。



図27 第17号住居跡

○1号カマド<位置>東壁中央から1.30m南東隅寄り<主軸方向>N-110°-E

<本体>残存状況は比較的良好で、支脚、袖部、燃焼部焼土が残存する。支脚には半頭大の礫を使用している。左袖部は粘土質土にシルト質土を貼り付け、右袖部は礫を芯材としてその周辺にシルト質土を貼り付けている。燃焼部焼土は29cm×37cmの楕円形を呈し、厚さは最大で6cm、焼成は比較的良好である。

<煙道部・煙出部>削り貫式と思われる煙道をもつ。底面は、燃焼部焼土付近から水平に延び、一旦40°の角度で下がった後、煙出し部に向かって徐々に上がる。燃焼部焼土に近い埋土には、焼土ブロックが入る。

○2号カマド<位置>東壁中央から南東隅寄り、1号カマドより約1m西寄り<主軸方向>N-95°-E

<本体>袖部の一部と燃焼部焼土が残存している。左袖部はシルト質土で、右袖部は礫を埋め込みその周辺にシルト質土を貼り付ける形で構築されている。燃焼部焼土は径33cmのほぼ円形を呈し、厚さは5cm前後、焼成は比較的良好である。

遺物 (図173・174、写真図版127・128)

120~124は酸化炭焼成の坏である。120のみ内面黒色処理されている。底部切り離し技法が分かるものは全て回転系切りである。125・126は内面黒色処理された高台付坏である。いずれも、底部は回転系切り後高台部を貼り付けている。125はその際につまみ上げた部分をヘラによって装飾し、126は再調整している。127は非ロクロ成形、砂底の甕である。内面はヘラナデ、外面はナタケズリ様のケズリによる調整が施されている。128~130はロクロ成形の甕である。128にはロクロ痕以外に口縁部にヨコナデ、胴部にヘラケズリ調整がされている。131・132は還元炭焼成の甕である。(同一個体か?) いずれもロクロ成形の後外面にヘラケズリが施されている。

時期 出土遺物から9世紀後半に存在していた遺構であると考えられる。

第18号住居跡 (ⅡE7c住)

遺構 (図28・29、写真図版20)

(位置) 調査区の南端に位置し、第17号住居跡と西北西方向に3mの距離を置く。

(埋土) 褐色土を含む黒褐色土主体。含まれる褐色土の割合によって上・下部に細分される。下部に入るに従って褐色土の割合が増える。また、部分的に攪乱部が入る。

(平面形) 隅丸台形 (規模) 5.28m×4.25m

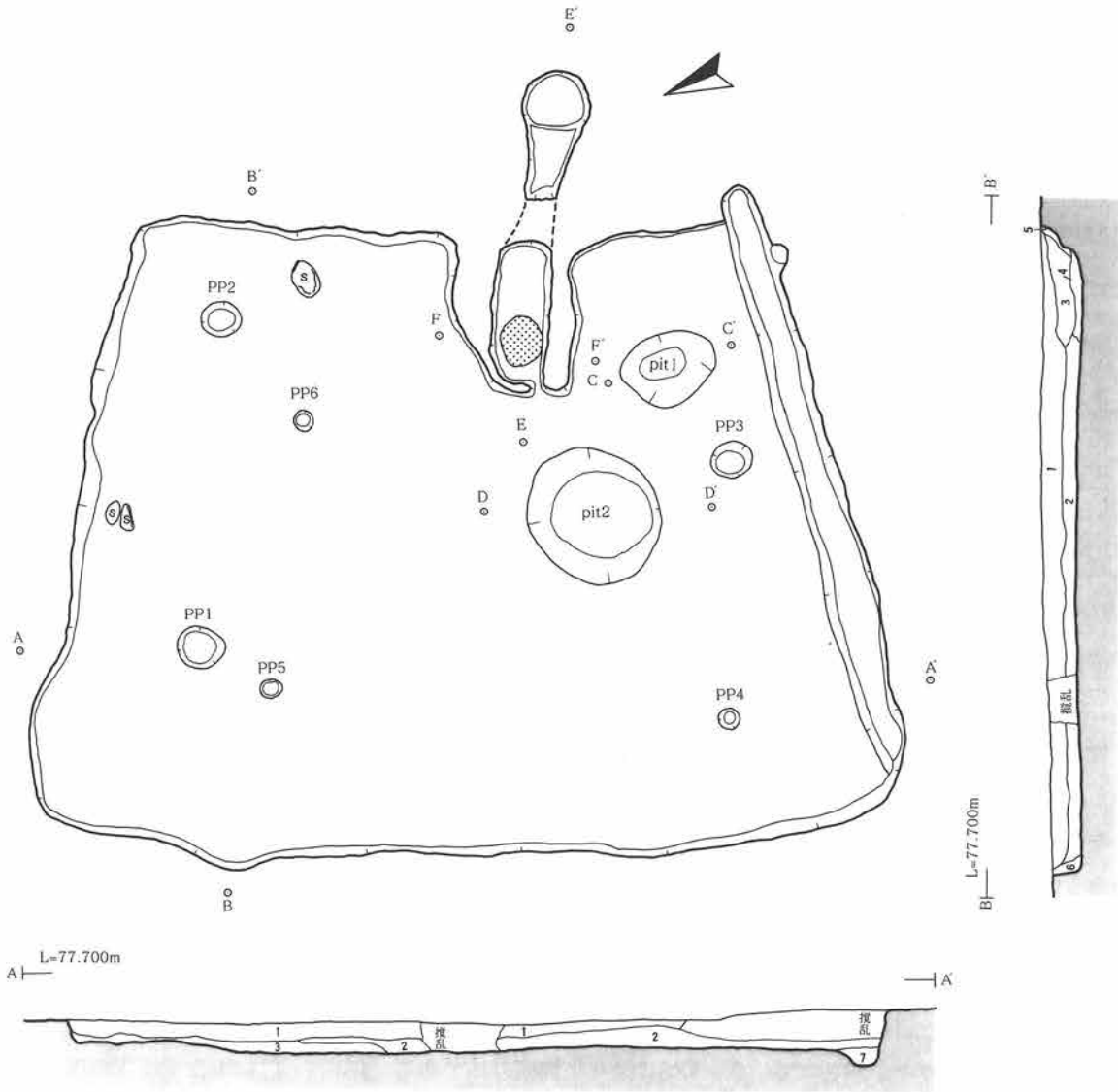
(壁) 直立気味に外傾する。壁高は6~28cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。平坦で締まりがある。

(柱穴) 6基検出された。北側に4基位置するのは建て替え拡張のためか? 北西隅に位置するものをPP1、同様に北東隅をPP2、南東隅をPP3、南西隅をPP4、北西寄りでPP1より中央部に位置するものをPP5、北東寄りでPP2より中央部に位置するものをPP6として記述する。各柱穴間の距離はPP1とPP2が2.25m、PP2とPP3が3.61m、PP3とPP4が1.77m、PP4とPP1が3.65m、PP5とPP6が1.87m、PP6とPP3が2.93m、PP4とPP5が3.12mである。

(土坑) カマド右脇から1基、カマドから中央部寄りに1基計2基検出した。前者をPit1、後者をPit2として記述する。Pit1の規模・平面形は55cm×64cmの楕円形を呈し、深さは最大で16cmを測る。Pit2は径が90cmの円形を呈し、深さは最大で27cmを測る。

(その他) 南壁に周溝と思われる深さ7cm前後の掘り込みがみられた。



(A-A・B-B)

1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックを全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 褐色土と黄褐色土の混土。
5. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土粒をまばらに含む。地山崩落土。
7. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。

カマド(cm)

本体	長さ	98	煙道部	長さ	88	煙出口部	径	40
	幅	91	幅	28	深さ	19		

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6
径 cm	28	25	26	14	15	14
深さ cm	13	9	25	19	28	27

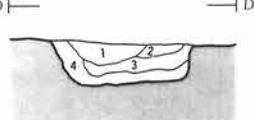
L=77.300m



(C-C')

1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。

L=77.300m



(D-D')

1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黒褐色土と褐色土の混土。黒褐色土の割合多い。
4. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。

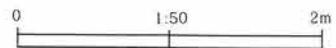


図28 第18号住居跡(1)

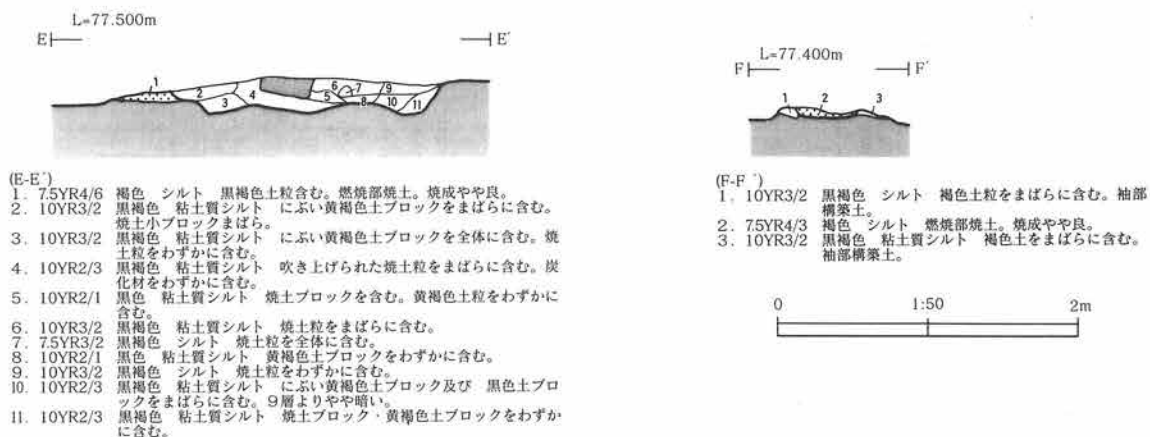


図29 第18号住居跡(2)

(カマド) <位置>東壁中央より0.5m南東隅寄り<主軸方向>N—120°—E

<本体>袖部と燃焼部焼土が残存している。左袖部はシルト質、右袖部は粘土質土で下部が構築されている。燃焼部焼土は、27cm×33cmの楕円形を呈し、厚さは最大で5cm、焼成は比較的良好である。

<煙道部・煙出部>削り貫式と思われる煙道をもつ。底面は、一旦40度の角度で下がった後凹凸をもちながら煙出部に至る。煙出部は40cm×47cmの楕円形を呈し、煙道部底面から8cm程度掘り込まれた小ピットを伴う。煙道部埋土は黒色土・黒褐色土主体で、焼土粒が入る。

遺物 (図174、写真図版129)

133～135は内面黒色処理されない酸化炎焼成の坏で、いずれもロクロ痕以外は器面調整は持たない。また底部の切り離し技法は全て回転系切りである。136・137は内面黒色処理された高台付坏である。136の内面は摩滅しており器面調整は不明である。底部は回転系切り後へラにより丁寧に再調整されている。137の内面にはへラミガキが施されている。138は還元炎焼成の坏である。139～141は酸化炎焼成の甕である。器面調整は摩滅のため不明である。141はロクロ成形されている。142は還元炎焼成の甕の胴部破片である。内面調整は当て具痕、外面調整はタタキ目である。

時期 出土遺物から9世紀後半の遺構である可能性が高い。

第19号住居跡 (IC8g住)

遺構

(位置) 第11号住居跡を北北西方向に、第12号住居跡を南西方向にみる。前者とは6.5m、後者とは3.5mの距離を置く。住居跡のほとんどは宅地造成のために削平され、住居跡北西部床面と思われる踏みしめられた土がわずかに残り、地山との境界を示していた。竪穴住居跡が存在していた可能性がある。遺構配置図にのみその範囲を示した。

遺物 (図175、写真図版129)

143・144は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。143の底部切り離し技法は回転系切りであり、その後胴部下端と底部に再調整が施されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構である可能性が高い。

第20号住居跡（ⅠB9b住）

遺構（図30、写真図版21）

（位置）調査区北側の道路北壁際から検出された4棟の住居跡のうち最も西側に位置する。第4号住居を南西方向に、第21号住居跡を東方向に見る。前者とは11m、後者とは3mの距離を置く。また、本遺構は第166号・第167号陥し穴状遺構と重複しており、2基の遺構の埋土を床面の一部としている。

（埋土）黒色土と黒褐色土を主体とする。上位には褐色土粒を多く含み、層下位に入るに従ってその割合が少なくなる。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示している。なお、耕作土が部分的に深く入り込んでいる箇所がある。

（平面形）隅丸長方形（規模）3.98m×3.17m

（壁）外傾し立ち上がっている。壁高は14～28cmである。

（床面）Ⅲ層上の粘土層を床面とする。ほぼ平坦で締まりがある。

（柱穴）床面から2基検出された。位置・規模ともに主柱穴とは考えにくく遺構に伴うかどうかは不明である。

（土坑）カマド右脇から検出。規模・平面形は70cm×80cmの楕円形であり、深さは最大で18cmを測る。埋土上位には焼土粒を中位には炭化材が入る。

（カマド）〈位置〉東壁中央より0.55m南東隅寄り〈主軸方向〉N—110°—E

〈本体〉残存状況は良好で袖部、支脚と燃烧部焼土が残存している。袖部は左右合わせて10個前後の角礫に粘土質土を間に埋める形で構築されている。支脚は粒径15cm前後の礫を使用している。燃烧部焼土は、40cm×48cmの楕円形で厚さは最大で5cmを測る。焼成は良好である。

〈煙道部、煙出部〉煙道部上部の一部が削平されており掘り込み式か削り抜き式かは不明である。底面は45°の急角度で一旦立ち上がった後水平になる。また、煙道部の延長線上には煙出部の底面と思われる小ピット状の掘り込みが見られた。小ピットの埋土にはくすんだ焼土粒が含まれている。

遺物（図175・176、写真図版129～131）

145～147は酸化炎焼成の坏である。145・146は内外面黒色処理されている。ヘラミガキは内面にのみ施されている。147は内面黒色処理されていたと思われるが、再加熱を受け内黒ではなくなっている。148・149は還元炎焼成の坏である。148は還元不足のため酸化炎焼成の坏と似た色調である。151～154は酸化炎焼成の甕である。150・151いずれも外面がヘラケズリ調整されている。151は小型の甕とした。152は口縁部がヨコナデ調整、内面胴部はヘラナデ調整されている。153はの口縁部は152と同様ヨコナデ、胴部外面はヘラケズリ、内面はヘラナデ調整されている。154は胴部外面にヘラケズリ・内面にヘラナデ調整がされている。155は還元炎焼成の甕である。外面はカキ目調整、内面には当て具痕が見られる。

時期 出土遺物から9世紀中頃から後半の遺構であると考えられる。

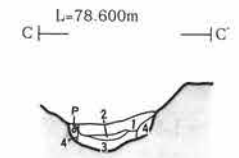
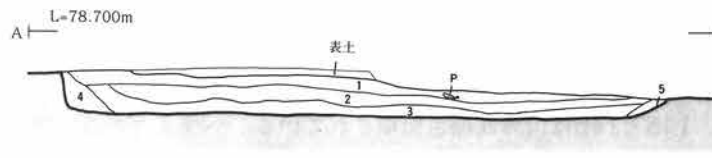
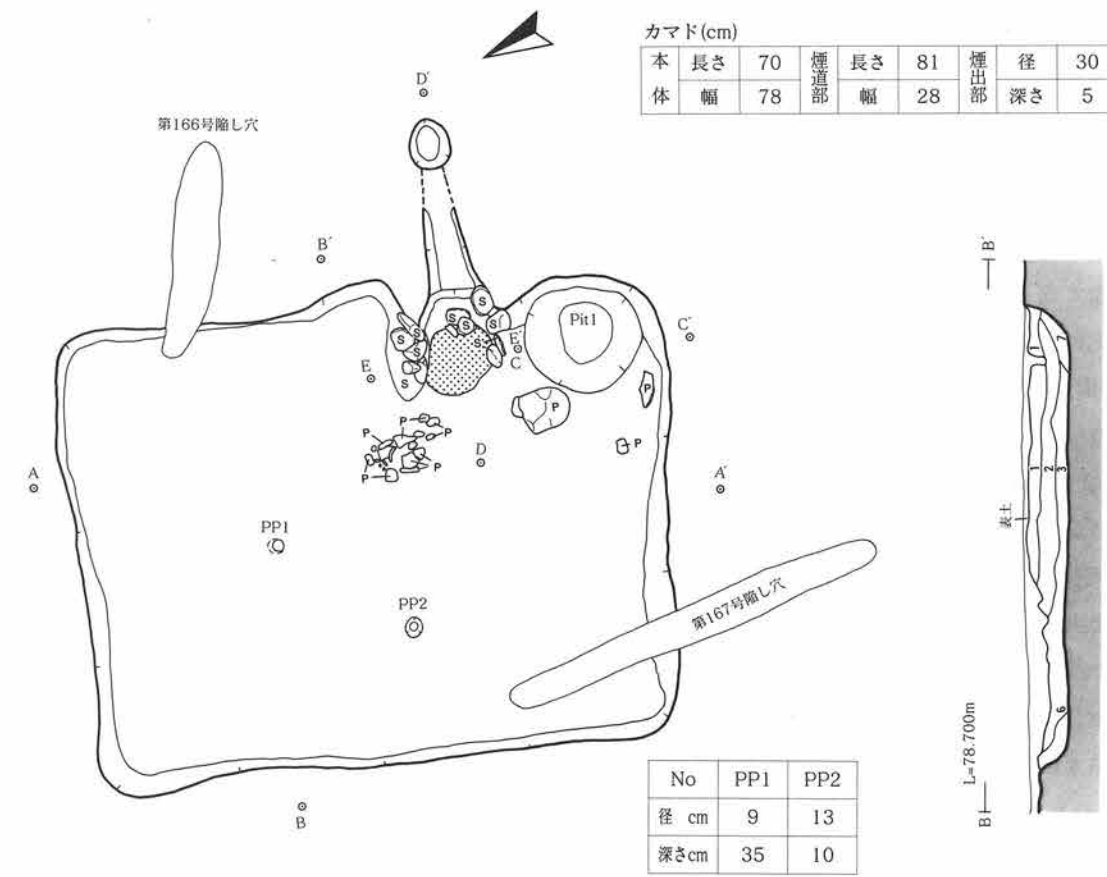
第21号住居跡（ⅡB1b住）

遺構（図31・32、写真図版22）

（位置）第20号住居跡と第22号住居跡にはさまれる形で存在する。第20号住居跡とは西に3m、第22号住居跡とは北東に2mの距離を置く。本遺構は第170号陥し穴と重複し同遺構の埋土を床面の一部としているほか、第1号墓坑にカマド煙道部の一部が削平されている。

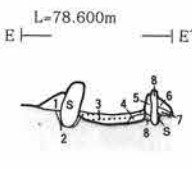
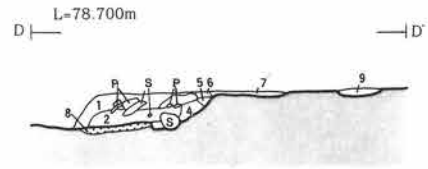
カマド(cm)

本 体	長さ	70	煙 道 部	長さ	81	煙 出 部	径	30
	幅	78		幅	28		深さ	5



- (A-A'・B-B')
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。櫛根をわずかに含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックを全体に含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 3層に似る。褐色土粒の割合がわずかに少ない。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をこくわずかに含む。地層崩落土。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。固く締まる。

- (C-C')
- 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。焼土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色土との混土。径5mm程度の炭化材含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



- (D-D')
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。固く締まる。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土との混土。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 7.5YR5/6明褐色の焼土粒を全体に含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 7.5YR6/8橙色焼土粒をわずかに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 7.5YR6/8橙色焼土塊をまばらに含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト すすんだ焼土粒を全体に含む。
 - 7.5YR7/6 橙色 シルト 焼土部焼土。固く締まる。焼成良好。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト すすんだ焼土粒をまばらに含む。

- (E-E')
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。固く締まる。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 礫の廻り方。締まりあまりなし。
 - 7.5YR7/6 橙色 シルト 焼土部焼土。
 - 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土粒との混土。地山層?
 - 7.5YR5/6 明褐色 シルト 黒褐色土との混土。天井部崩落土。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。袖部構築土。
 - 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 袖部構築土。
 - 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 礫の廻り方。

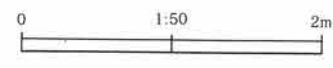


図30 第20号住居跡

(埋土) 埋土の約1/2が攪乱されていた。残存する埋土は黒色土・黒褐色土主体で上位は褐色土粒を多く含み下位に入るに従ってその割合が少なくなる。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.83m×4.25m

(壁) 全て外傾している。壁高は24cm～47cmである。

(床面) II層下の粘土層を床面とする。平坦であったと思われるが床面に締まりがなく掘り方との境界が明瞭ではなかった。

(柱穴) PP1からPP6の計6基検出された。うちPP1～PP3までが支柱穴であると思われる。柱穴間の距離はPP1とPP2が2.05m、PP2とPP3が2.84mである。

(土坑) カマド右脇から1基検出している。規模は67cm×69cmのほぼ円形を呈し深さは最大で14cmを測る。土坑埋土には焼土粒、炭化材が含まれている。

(炭化材) 焼失に伴う炭化材と焼土が確認された。材は中央部から北・東・南の三方向に概ね放射状に広がる状態で検出された。角材と思われるものが多く材質は全てクリである。焼土は南東隅から検出された。焼成はあまり良くない。

(カマド) <位置> 東壁中央部より約1.30m北東隅寄り<主軸方向> N-119° -E

<本体> 左袖部と燃烧部焼土が残存している。袖部は、残存状況が良くなくその位置を把握するにとどまった。燃烧部焼土は30cm×35cm楕円形を呈し、深さは2cm程度で、焼成はやや良である。

<煙道部・煙出部> 底面は一旦30°の角度で立ち上がりその後水平となる。煙道部東側の約2/3は第1号墓坑に削平されており、煙出部の底面が残存するのみで詳細は不明である。

遺物 (図176～178、写真図版131～133)

156は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。外面胴部下端及び底部は回転系切り後へラにより再調整されている。157～164は酸化炎焼成の黒色処理されない坏である。全て底部切り離し技法は回転系切りで159・160・163・164の底部はその後へラにより再調整されている。165・166は内面黒色処理された高台付坏である。いずれも底部は回転系切り後、へラで再調整されている。166の高台部は欠損している。167は内面黒色処理されない高台付坏である。口径が21cm前後と他の高台付坏と比較して大振りである。168・169は還元炎焼成の坏である。いずれも還元不足のためくすんだ色調を為している。168は墨書土器であり「い」と思われる文字が外面に書かれている。170・171は酸化炎焼成、ロクロ成形の甕である。170は口縁部がヨコナデ、外面胴部がへラナデ調整されている。171は内面がへラナデ調整されている。172～174は非ロクロ成形の甕である。いずれも口縁部はヨコナデ調整されている。胴部は172の外面はへラナデ、内面はハケメ、173は内外面ともにへラナデ調整されている。174は内面にへラナデ調整が見られる。175は鉢とした。非ロクロ成形で、内面はハケメとしたが、その調整は粗く、底部には凹凸がかなりある。

時期 出土遺物から9世紀後半の遺構であると考えられる。

第22号住居跡 (II B 2 b 住)

遺構 (図33、写真図版23)

(位置) 第21号住居跡を南西方向に第23号住居跡を南東方向に見る。前者とは1.5m後者とは5mの距離を置く。また、第1号墓坑と172号・第173号陥し穴状遺構と重複している。埋土の状況から同墓坑より本遺構の方が古いと考えられる。

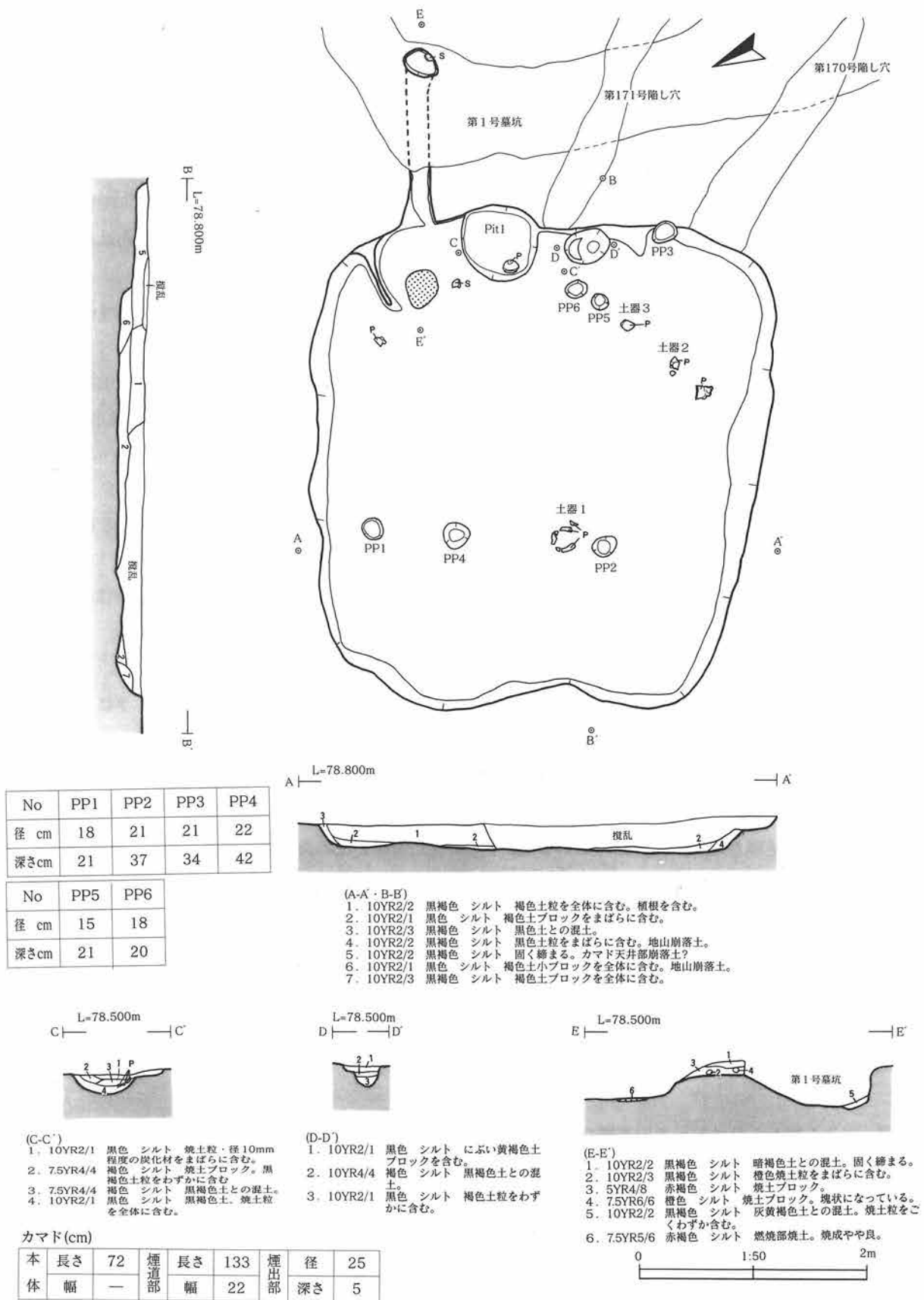


図31 第21号住居跡(1)

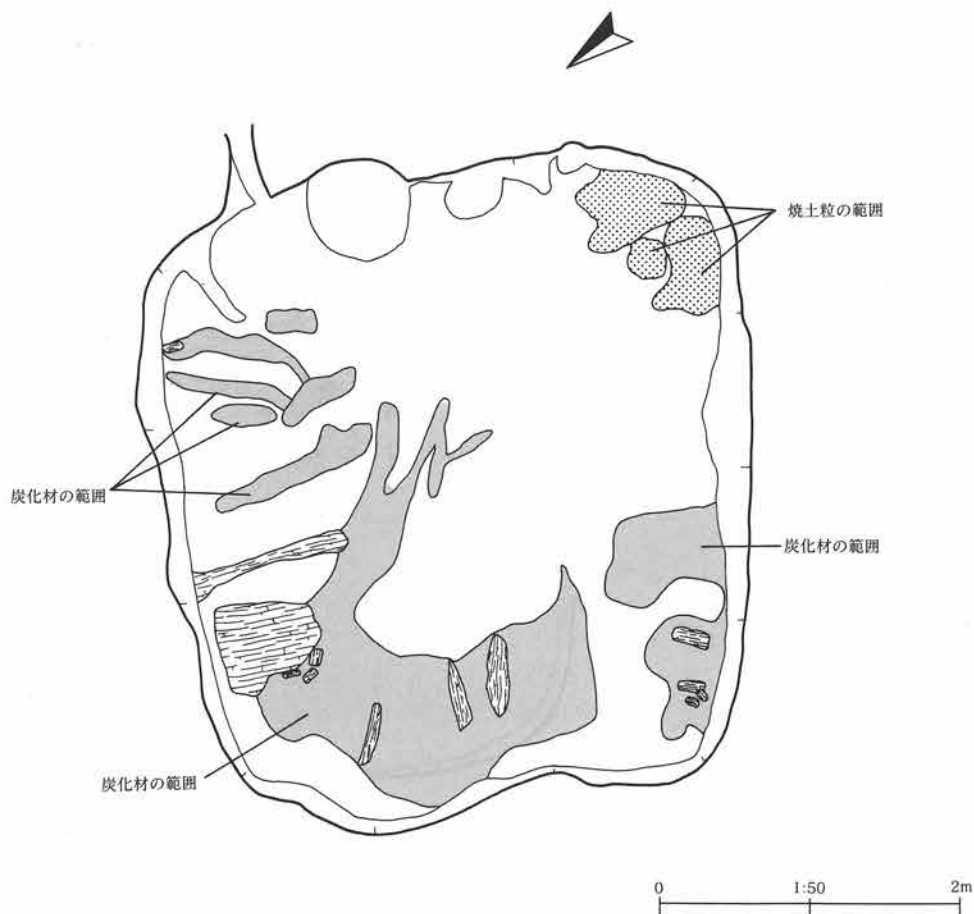


図32 第21号住居跡(2)

(埋土) 黒色土・黒褐色土主体。上部は褐色土がブロック状に入る。層下位に入るに従って黒色土の割合が多くなる。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示している。

(平面形) 隅丸方形(規模) 3.05m×3.08m

(壁) 直立気味に外傾している。壁高は27~32cmである。また、第172号陥し穴埋土を壁面としているが特に固めた様子は見られなかった。

(床面) II層下の粘土層を床面とする。ほぼ平坦で全体に締まりがある。(柱穴) 検出されなかった。

(土坑) カマド右脇、住居南東隅と思われる位置から1基検出された。規模は45cm×89cmの不定形で深さは最大で16cmを測る。

(カマド) <位置> 東壁ほぼ中央<主軸方向> N-115° - E

<本体> 燃焼部焼土のみが残存している。規模は35cm×43cmの楕円形を呈し、厚さは最大で5cmを測る。焼成良好である。

<煙道部・煙出部> 部分的に割り抜いたと思われる煙道である。底面は30°の角度で立ち上がり、その後煙出部底面に向かって下がる。煙出部は径48cmの円形を呈し、フラスコ状に検出面から53cm掘り込まれている。また、東壁際には円礫が配してある。

カマド (cm)

本体	長さ	71	煙道部	長さ	117	煙出部	径	49
	幅	—	幅	20	高さ	53		

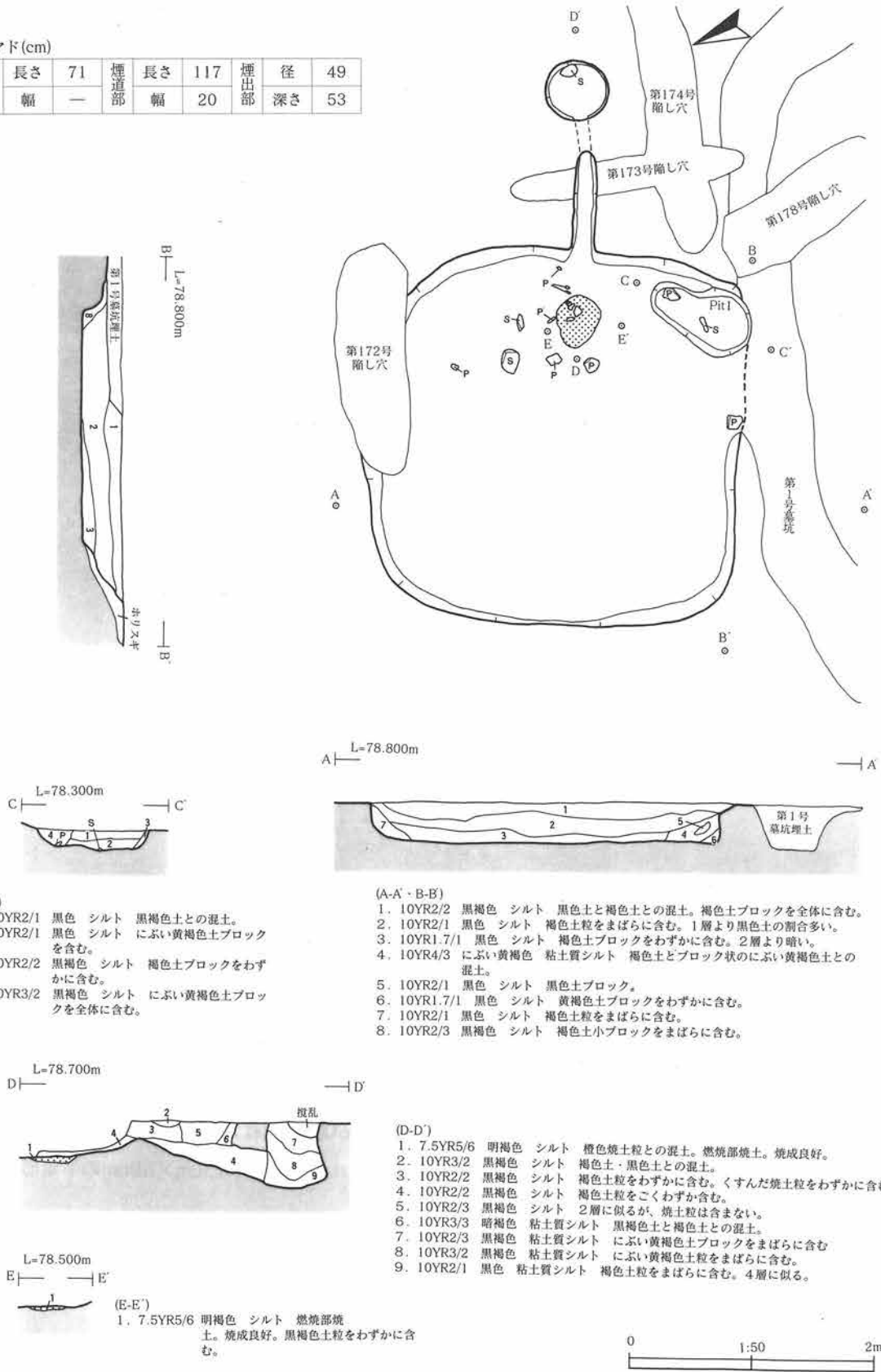


図33 第22号住居跡

遺物 (図178、写真図版133)

176・177は酸化炎焼成、内面黒色処理されない坏である。底部切り離し技法は回転糸切りである。178(179と同一個体)は酸化炎焼成の甕で、胴部下端がヘラケズリ調整されている。

時期 出土遺物から9世紀後半以降の遺構であると考えられる。

第23号住居跡 (ⅡB3c住)

遺構 (図34、写真図版24)

(位置) 調査区北側の道路北壁際から検出された4棟の住居跡のうち最も東側に位置する。第23号住居跡を北西方向に見る。なお、住居の約1/2と思われる部分は調査区外東側に延びている。

(埋土) 黒色土、黒褐色土主体。下部に入るに従って混入する褐色土粒の割合が増える。攪乱によって削られている部分が多いが、レンズ状に堆積していたと思われる。

(平面形) 不明 (規模) 5.31m×?

(壁) 西壁は外傾して、南北壁は直立気味に外傾して立ち上がっている。壁高は10cm~28cmである。

(床面) Ⅱ層下の粘土層を床面とする。(柱穴) 床面北側から1基検出された。径は21cm、深さ43cmである。また、住居外西側に1基検出された。住居に伴うものかどうかは不明である。

(土坑) 焼土南側から3基検出された。それぞれPit1~Pit3として記述する。Pit1の規模・平面形は76cm×85cmの楕円形を呈し、深さは最大で27cmを測る。Pit2は38cm×58cmの不整形円で、深さは最大で10cmを測る。同じくPit3は12cm×35cmの楕円形を呈し、深さは最大で12cmを測る。いずれの土坑も埋土に焼土粒が入る。

(カマド) 検出されなかったと考えているが、本遺構の平面形が極端な隅丸長方形である可能性はある。そう仮定すれば後述する炉の焼土がカマドの燃焼部焼土であり煙道が調査区外に延びていることになる。後の調査結果を見て判断したい。

(その他) 検出された部分の南東隅寄りから燃焼部焼土が検出された。周辺を礫で囲まれており炉的に使用されたものと思われる。燃焼部焼土は32cm×57cmの不整形円で厚さは最大で5cmを測る。

遺物 (図179、写真図版133・134)

180~182は酸化炎焼成の坏である。182のみ内面黒色処理されない。180の底部切り離し技法は回転糸切りで再調整されていない。183・184は高台付坏で、183は内外面黒色処理されている。底部は回転糸切り後ヘラで再調整されている。なお、高台部は欠損している。185・186は酸化炎焼成の坏である。いずれも還元不足のためくすんだ色調である。187~190は酸化炎焼成、非ロクロ成形の甕である。口縁部が残存しているものはいずれもヨコナデ調整されている。187・190の胴部はケズリ調整されている。188は内外面ともヘラナデ、189は外面にヘラナデ、内面はハケメ調整されている。

時期 出土遺物から9世紀後半の遺構であると考えられる。

第24号住居跡 (ⅡB3g住)

遺構 (図35・36、写真図版25)

(位置) 調査区北側の集落の中央東寄りに位置する。第23号住居跡を北に第1号住居状遺構を北東方向に第6号住居跡を西方向にみる。それぞれ14m、3m、17mの距離を置く。

(埋土) 黒褐色土・黒色土主体。上部は混入する褐色土の割合が多い。

No	PP1	PP2
径 cm	21	26
深さ cm	43	23

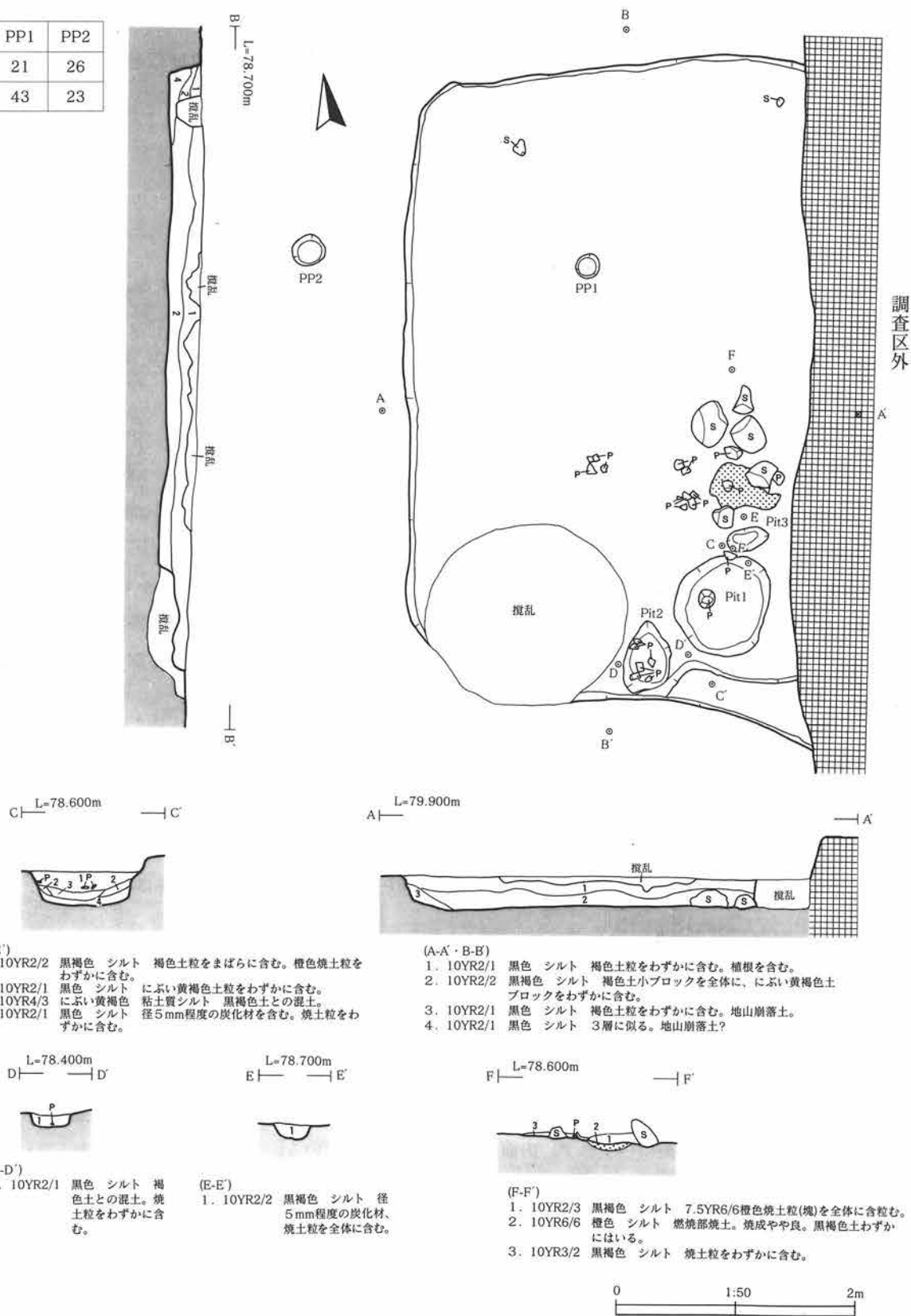
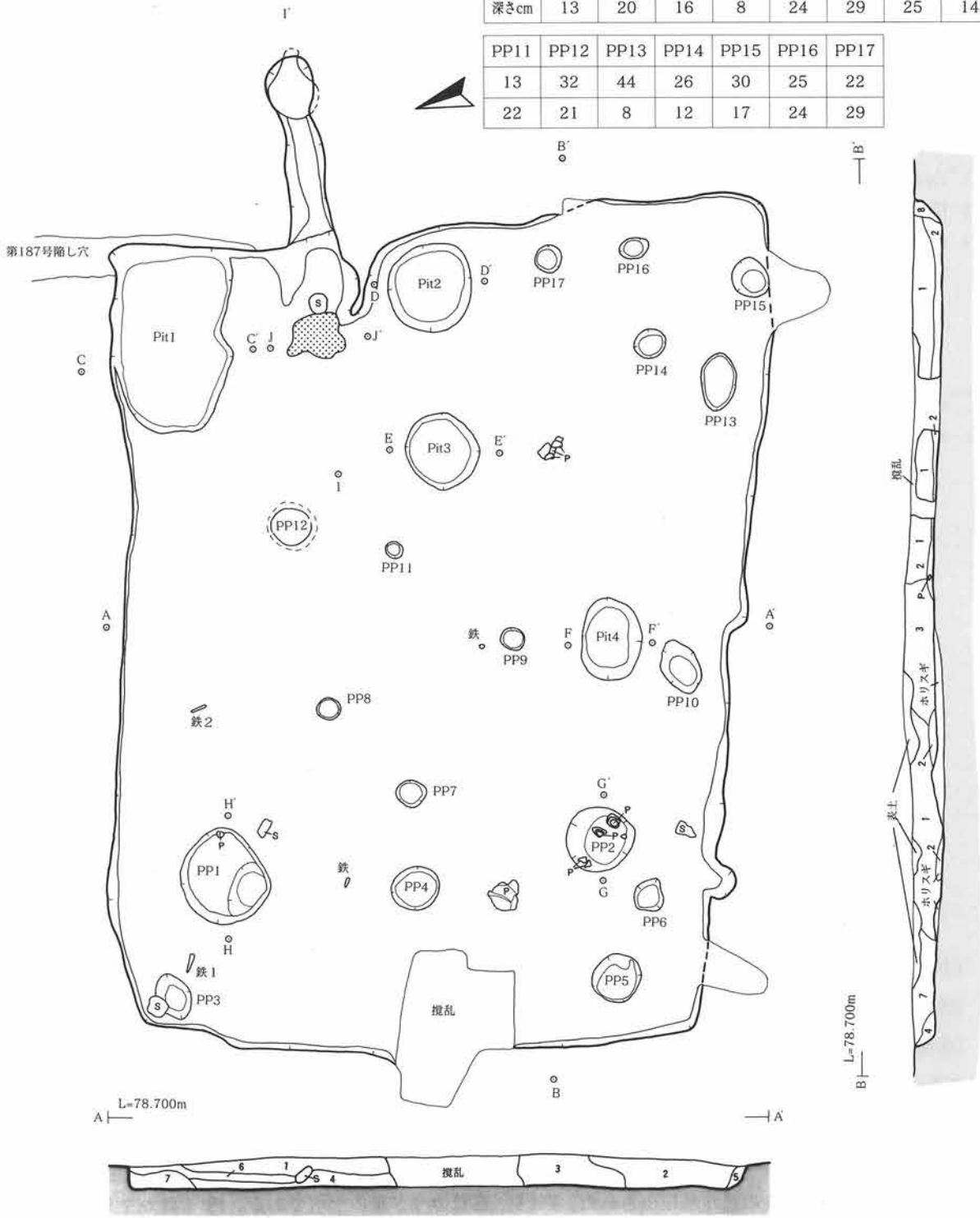


図34 第23号住居跡

No	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7	PP8	PP9	PP10
径 cm	38	40	40	23	25	20	20	36
深さ cm	13	20	16	8	24	29	25	14

PP11	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16	PP17
13	32	44	26	30	25	22
22	21	8	12	17	24	29



- (A-A'・B-B')
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒を全体に含む。固く締まる。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。地山崩落土。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土の割合が3層より多い。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト 褐色土粒とにぶい黄褐色土との混土。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックを含む。地山崩落土。

カマド (cm)

本 体	長さ	91	煙道 部	長さ	108	煙出 部	径	51
	幅	75		幅	31		深さ	28

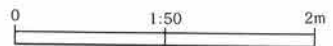


図35 第24号住居跡(1)

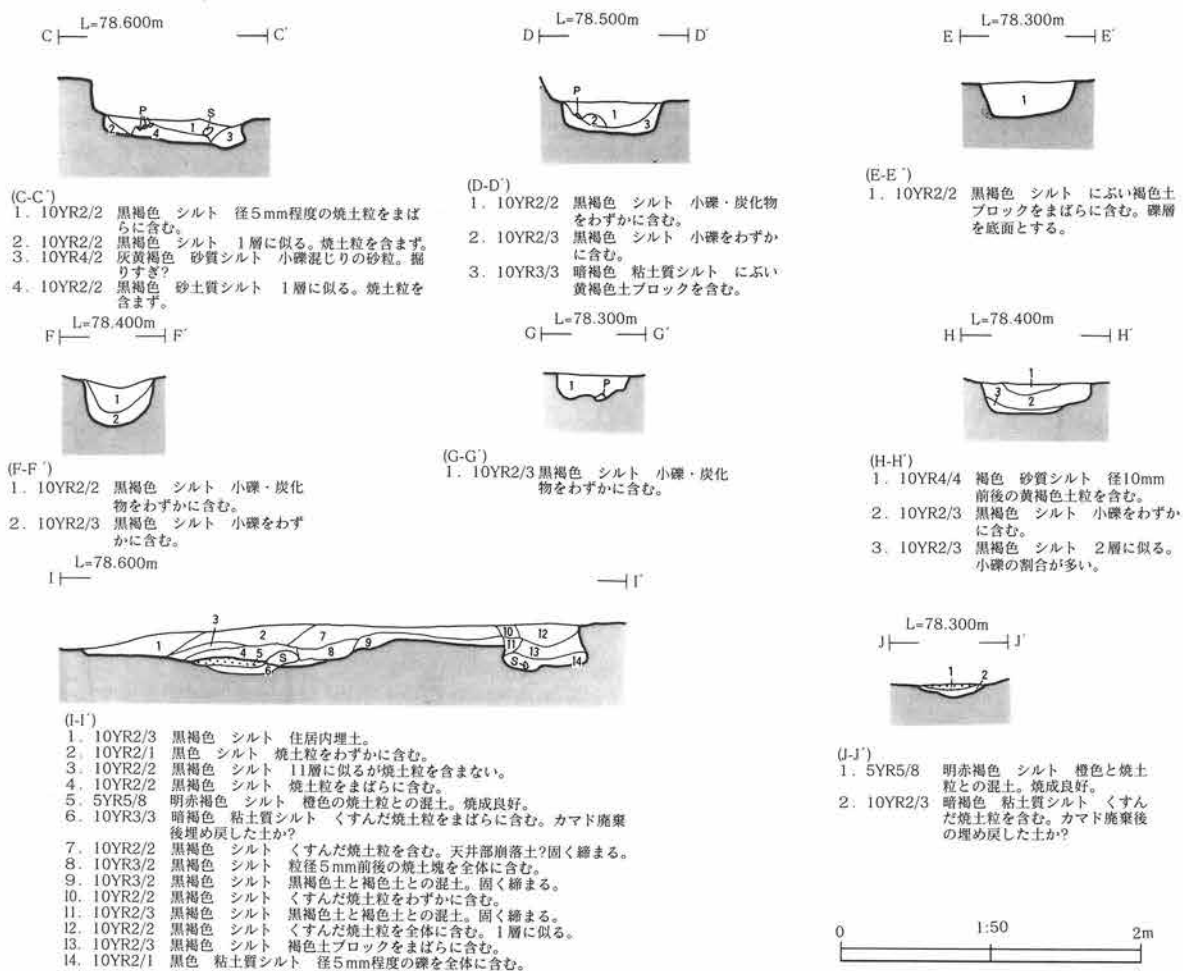


図36 第24号住居跡(2)

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 4.97m×6.80mであり本遺跡内では最大規模の竪穴住居跡である。

(壁) 直立気味に立ち上がる。壁高は15~30cmである。

(床面) III層下の粘土層を床面とする。土坑など住居跡の床面を掘り込んだ遺構はIV b層 (礫層) を床面とする。

(柱穴) PP 1~PP 17の計17基の柱穴が検出された。うちPP 1、PP 2の2基が支柱穴と思われるが、住居東側には支柱穴と思われるものを特定できなかった。柱穴間の距離は290cmである。

(土坑) Pit 1からPit 4の計4基検出された。Pit 1・2はカマド脇の土坑である。Pit 1はカマド左脇北東隅に位置し、規模は95cm×152cmの楕円形で深さは最大で14cmを測る。Pit 2はカマド右脇に位置し、規模は70cmのほぼ円形を呈し深さは最大で20cmを測る。以下Pit 3は径61cmの円形・深さは23cm、Pit 4は69cm×49cmの楕円形・深さは15cmである。

(カマド) <位置>東壁中央から1.1m北東隅寄り<主軸方向>N-103°-E

<本体>Pit 1の上に焼土を伴う土塊が検出された。袖部と思われる部分が残存することから、カマドを破棄する際に移動したと思われる。よって、支脚・燃焼部焼土と思われるものが残存しているが、人為的に

動かされている可能性がある。支脚には径15cm程度の礫を用いている。燃烧部焼土は径約35cmの不整形を呈し、厚さは最大で6cmを測る。焼成は良好である。

<煙道部・煙出部>上部が削平されており、掘り込み式か割り抜き式かは不明である。煙道の底面は15°の角度で緩やかに立ち上がった後に水平になりそのまま煙出部に至る。煙出部は開口部は径50cm前後の楕円形で東側は底面に向かってフラスコ状に広がっている。煙出部底面は、煙道部底面から約15cm掘り込まれている。

遺物 (図180~182、写真図版134~137)

191~195は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。いずれも底部切り離し技法は回転糸切りである。193は胴部下端から底部にかけて、194は底部にのみヘラによる再調整が見られる。196~200は酸化炎焼成、内面黒色処理されない坏である。底部切り離し技法は全て回転糸切りである。201~205は高台付坏である。201は内外面を黒色処理され、底部は201は回転糸切り後のヘラによる再調整が明瞭である。202・203は内面のみ黒色処理されている。206~210は還元炎焼成の坏である。206・207は還元不足のためくすんだ色調を為している。底部の切り離し技法がわかるものは全て回転糸切りである。211~215は酸化炎焼成、非ロクロ成形の甕である。211~213の口縁部はヨコナデ調整され、213・215の胴部外面は口縁部方向にヘラケズリ調整されている。214胴部外面はヘラケズリの後にヘラナデ調整、内面はヘラナデ調整されている。216は酸化炎焼成、ロクロ成形の甕である。ロクロ痕以外には器面調整は見られない。217は還元炎焼成の大甕のである。外面はカキメ調整、内面には当て具痕が見られる。218は箸置きといわれている耳皿である。カマド右脇土坑付近から出土した。内外面ともに黒色処理され、底部は回転糸切り後ヘラミガキ様に再調整されている。219は土錘で長さ4.9cm、重さ18.7gである。220・221は床面から出土した石器である。220は磨石、221は石皿と思われる1/2弱は欠損している。222は刀子と思われる。223は中央から先端部にかけて螺旋状に捻れている。用途は不明である。

時期 出土遺物から9世紀後半の遺構であると考えられる。

第25号住居跡 (ⅡB1i住)

遺構 (図37・38、写真図版26)

(位置) 第6号・第7号・第24号・第26号住居跡に四方を囲まれるような形で存在している。それぞれ7m、6m、5m、10mの距離を置く。なお、本遺構は第191号・第192号陥し穴を切り、埋土の一部を床面としている。

(埋土) 上部黒褐色土、下部黒色土主体。下部に入るに従って含まれる褐色土の割合が増える。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 4.74m×4.68m

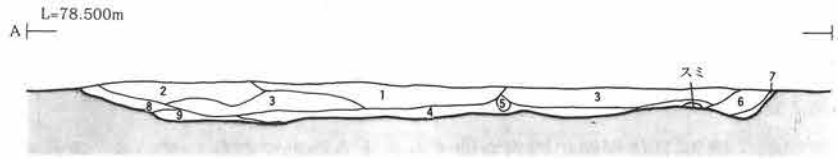
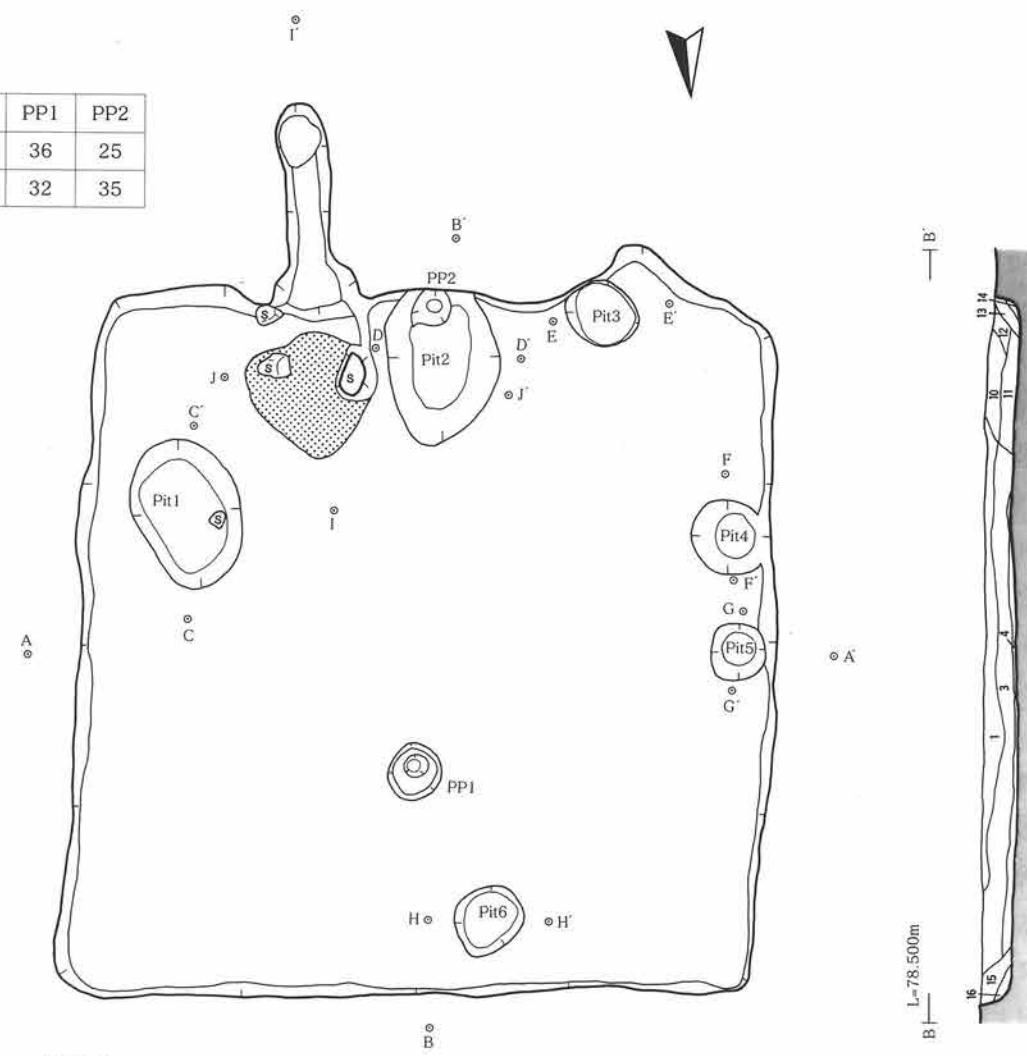
(壁) 外傾して立ち上がる。壁高は7~26cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。中央部がややせり上がる。

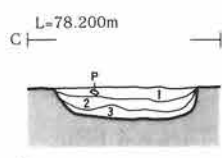
(柱穴) PP1、PP2の2基検出されている。主柱穴かどうかは不明である。柱穴間の距離は3.15mである。

(土坑) Pit1~Pit6まで計6基検出されている。Pit1は75cm×98cmの楕円形を呈し、深さは最大で21cmを測る。Pit2はカマド右脇に位置する。規模は75cm×103cmの楕円形を呈し、深さは最大で25cmを測る。Pit3は40cm×45cmの楕円形を呈し深さは最大で26cmを測る。Pit4~6は掘り込みが浅いことから掘方である可能性もあるが土坑とした。Pit4は径49cm、Pit5は径37cm、Pit6は径48cmの円形を呈

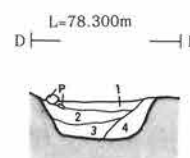
No	PP1	PP2
径 cm	36	25
深さcm	32	35



- (A-A'・B-B')
- 10YR2/3 黒褐色 シルト II層と黒褐色土との混土。にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。2層に似る。
 - 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒色土と褐色土との混土。炭化材まばらに含む。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロック。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土小ブロックをまばらに含む。地山崩落土。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 黄土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土小ブロックを全体に含む。4層に似る。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト I層に似る。黒褐色土の割合が多い。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 3層に似る。やや暗いか?
 - 10YR2/2 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土粒を全体に含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックを全体に含む。



- (C-C')
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土との混土。焼土粒・炭化材わずかに含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土との混土。1層より明るい。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト 焼土ブロックをわずかに含む。



- (D-D')
- 10YR2/1 黒色 シルト 炭化材をわずかに含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 橙色焼土粒をわずかに含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト 橙色焼土粒をまばらに含む。

カマド(cm)

本 体	長さ	91	煙 道 部	長さ	90	煙 出 部	径	43
	幅	85		幅	29		深さ	35

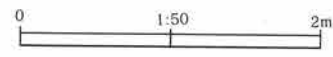


図37 第25号住居跡(1)

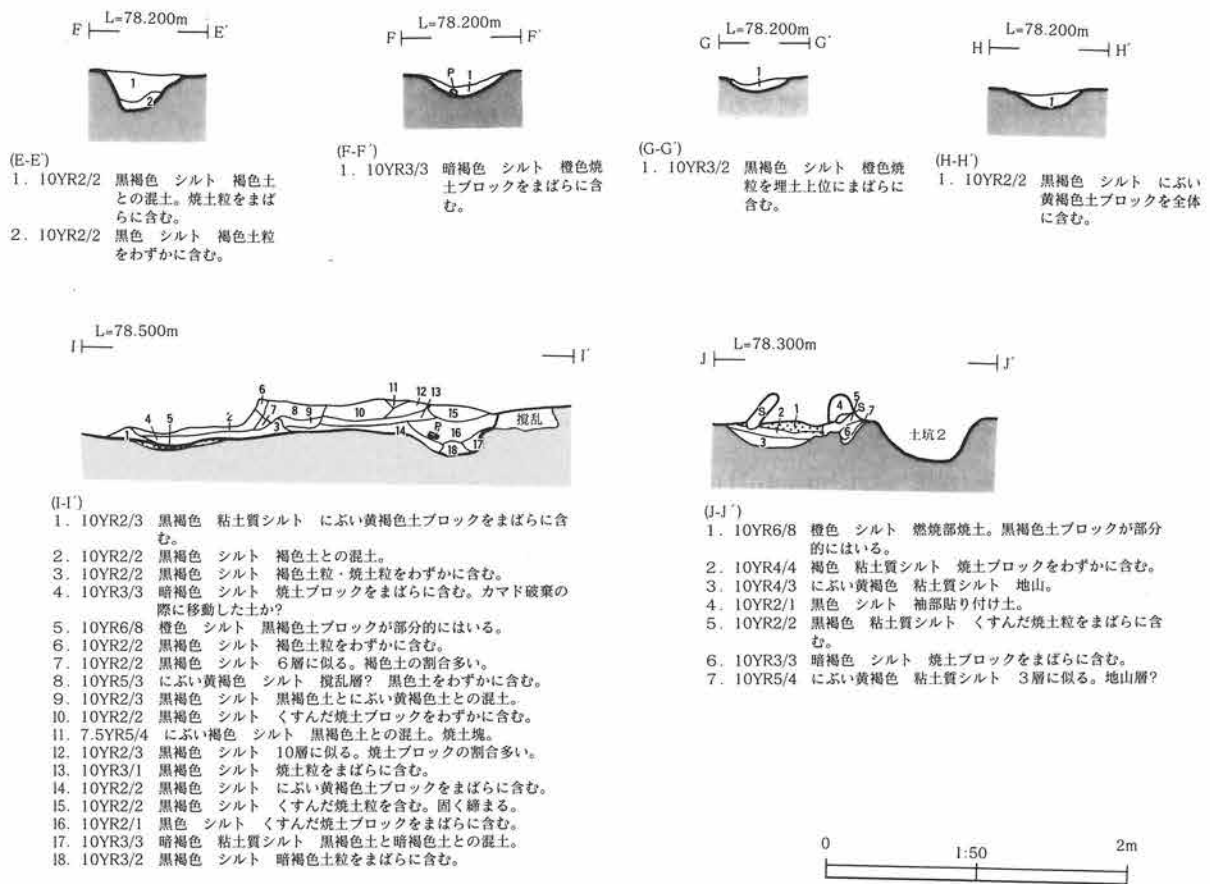


図38 第25号住居跡(2)

し、深さはそれぞれ6cm、5cm、7cmである。

(カマド) <位置>南壁中央より0.8m南東隅寄り<主軸方向>N-180°-E

<本体>袖の一部と燃焼部焼土が残存している。左側には袖を構築していたと思われる礫が掘り方を伴って残存している。右側は礫を芯材としその周辺に粘土質土を貼り付けている。焼土粒を含む範囲は80cm×85cmのほぼ円形を呈しているが、黒褐色土粒が混じる部分と、焼成が良好である部分とに分けられる。焼土粒が構築礫の下にまで入り込んでいることから、燃焼部焼土は図版に示した範囲よりも狭かったと思われる。焼成良好な部分の深さは最大で4cmを測る。

<煙道部・煙出部>上部が削平されているため、掘り込み式か削り抜き式かは不明である。底面は約5°の角度で緩やかに立ち上がった後水平になり煙出部に至る。煙出部は32cm×45cmの楕円形を呈し、約13cmの掘り込みを持つ。

遺物 (図182・183、写真図版137・138)

224~227は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。224の底部は再調整されているため切り離し技法は不明である。225~227の底部切り離し技法は全て回転系切りである。228~232は酸化炎焼成、内面黒色処理されない坏である。いずれもロクロ痕以外の器面調整を持たない。底部切り離し技法がわかるものは全て回転系切りである。233・234は酸化炎焼成、非ロクロ成形の甕である。233は輪積痕が明瞭な砂

底土器である。外面にはヘラケズリ、内面にはハケメ様の粗い調整が施されている。234は口縁部ヨコナデ、胴部にはヘラナデ調整が施されている。

時期 出土遺物から9世紀後半の遺構であると考えられる。

第26号住居跡（ⅡC2a住）

遺構（図39、写真図版27）

（位置）第25号住居跡と北西方向に4mの距離を置く。また、第27号住居跡と南西隅で重複している。埋土の状況から本遺構の方が新しいと思われる。

（埋土）黒褐色土・黒色土主体。下部に入るに従って褐色土粒の割合が増える。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示す。

（平面形）隅丸方形（規模）4.19m×4.01m

（壁）直立気味に立ち上がる。壁高は14cm～33cmである。

（床面）Ⅲ層上の粘土層を床面とする。ほぼ平坦で固く締まる。

（柱穴）PP1～PP3の3基検出された。柱穴間の距離は、PP1とPP2が2.05m、PP2とPP3が3.01mである。

（土坑）カマド両脇から3基、その他住居内に2基、計5基検出された。Pit1～Pit5としてそれぞれ記述する。Pit1はカマド左脇に位置する。規模は50cm×76cmの楕円形を呈し、深さは最大で30cmを測る。Pit2・3はカマド右脇に位置する。前者はカマド袖部があったと思われる箇所に位置することから、カマド構築の際の掘り込みである可能性がある。規模は径50cm、深さは最大で7cmを測る。Pit3は60cm×62cmの円形を呈し深さは最大で30cmを測る。Pit4は105cm×128cmの楕円形を呈し、深さは最大で27cmを測る。Pit5は住居内北西隅に位置する。規模は40cm×48cmの楕円形で深さは最大で14cmを測る。

（カマド）＜位置＞南壁中央より1.0m南東隅寄り＜主軸方向＞N—190°—E

＜本体＞袖の一部・支脚・燃烧部焼土が残存している。左袖部はシルト質土を固めて構築されている。支脚には棒状の礫が用いられている。また、支脚礫の上には土師器坏が伏して置かれていた。支脚の高さの調節のためか？燃烧部焼土は44cm×50cmの楕円形を呈し、深さは最大で9cmを測る。焼成は良好である。＜煙道部・煙出部＞前述した住居と同様で、掘り込み式か削り抜き式かは不明である。底面は60°の急角度で立ち上がった後水平になり煙出部に至る。煙出部は径45cmの円形を呈し、円筒状に煙道部底面より約40cm掘り込まれている。煙道埋土上部にはくすんだ焼土粒が、下部には焼土粒がまばらに入る。

遺物（図183・184、写真図版138・139）

235～242は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。底部切り離し技法がわかるものは全て回転系切りである。うち236・238は切り離し後にヘラで再調整されている。なお、本遺構からは酸化炎焼成、内面黒色処理されない坏は破片で約3個体分出土している。243は還元炎焼成の坏である。底部切り離し技法は回転系切りで、還元不足のためくすんだ色調を為す。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第27号住居跡（ⅡC1a住）

遺構（図40、写真図版28）

（位置）第26号住居跡、第28号住居跡と重複している。本遺構の北東部を第26号住居跡に切られ、第28号

No	PP1	PP2
長さcm		
深さcm	39	25

カマド (cm)

本	長さ	92	煙	長さ	107	煙	径	45
体	幅	72	道	幅	43	出	深	51
			部			部		

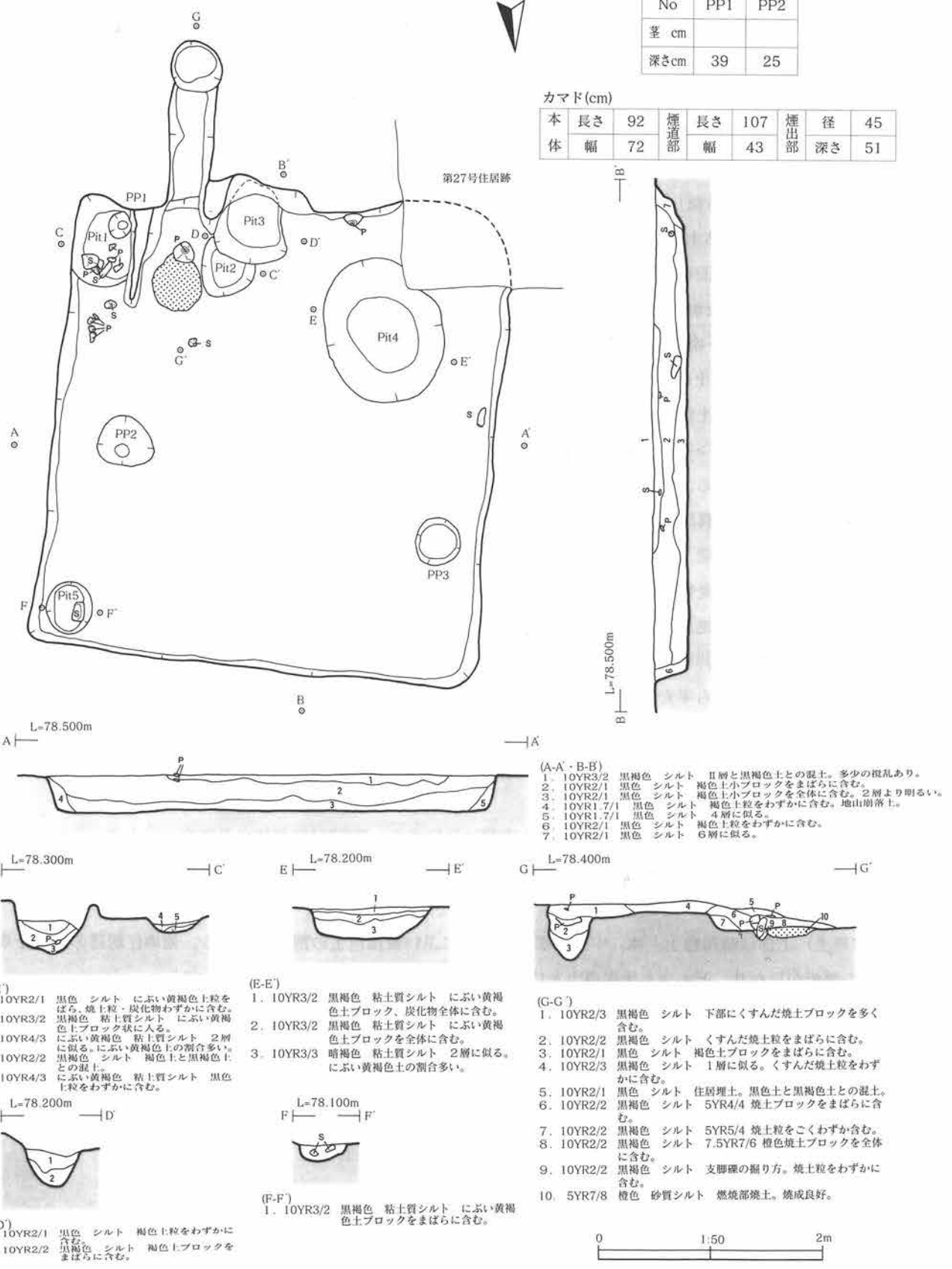


図39 第26号住居跡

住居跡の北西部を切る。3棟の新旧関係は、第28号住居跡が最も古く次いで第27号、第26号住居跡が最も新しい遺構である。

(埋土) 黒褐色土主体、上部はⅡ層との混土。中～下部に入ると褐色土粒、にぶい黄褐色土粒の割合が増える。全体としては自然堆積の様相を示している。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 2.53m×3.60m

(壁) どの壁面も外傾して立ち上がる。壁高は27cm～35cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面としほぼ平坦である。全面に掘り方を持ち、黒褐色土とにぶい黄褐色土の混土を主体として床面を構築している。

(柱穴) 検出されなかった。(土坑) 検出されなかった。

(カマド) <位置>南壁ほぼ中央<主軸方向>N—187°—E

<本体> 燃焼部焼土のみが残存している。規模は30cm×33cmの不整形円で、厚さは最大で4cmである。焼成良好な橙色焼土粒である。

<煙道部・煙出部> 掘り込み式か削り抜き式かは不明である。底面は約30°の角度で立ち上がった後水平になり煙出部に至る。煙出部は底面より約8cm掘り込まれている。

遺物 (図184、写真図版139)

244は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。底部切り離し技法は回転糸切りで、再調整はされていない。245は還元炎焼成の坏である。底部切り離しは回転糸切り、その後ヘラにより粗い調整が施されている。246は酸化炎焼成、ロクロ成形の甕である。口縁部はヨコナデ、内面調整はヘラナデである。247は還元炎焼成の甕の破片を硯に転用した猿面硯である。長さ12cm前後、厚さは1.0cmで緩やかに外傾している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第28号住居跡 (ⅡC1b住)

遺構 (図41、写真図版29)

(位置) 重複した3棟の住居跡のうち最も南側に位置する。第27号住居跡に北西部の壁を切られている。よって本遺構の方が古い。また、第56号土坑に南壁の一部を第212号陥し穴にカマド煙道部の一部を切られている。

(埋土) 上部は暗褐色土主体。中～下部に入るとにぶい黄褐色土の割合が増える。他の住居跡の埋土と堆積の様相が異なり、どの層も黒褐色土とにぶい黄褐色土との混土が主体となっている。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 2.56m×2.45m

(壁) 北・南・西壁は外傾して東壁は緩やかに外傾して立ち上がる。壁高は9～17cmである。

(床面) ほぼ中央から北側と南側に分かれるように段差がある。北側が低くその差は8cm前後である。

(柱穴) 検出されなかった。(土坑) 検出されなかった。

(カマド) <位置>東壁南東隅寄り<主軸方向>N—125°—E

<本体> 残存していない。

<煙道部・煙出部> 攪乱により煙道部はほとんど残存していない。煙出口と思われる柱穴状小ピットが検出された。規模は径40cm円形を呈し、深さは35cm、煙道部底面からは15cm掘り込まれている。埋土中には各層に焼土粒・焼土ブロックが入る。

<その他> 本遺構の周辺にくすんだ焼土粒を埋土に含む小土坑が検出されたため煙出口と想定している。

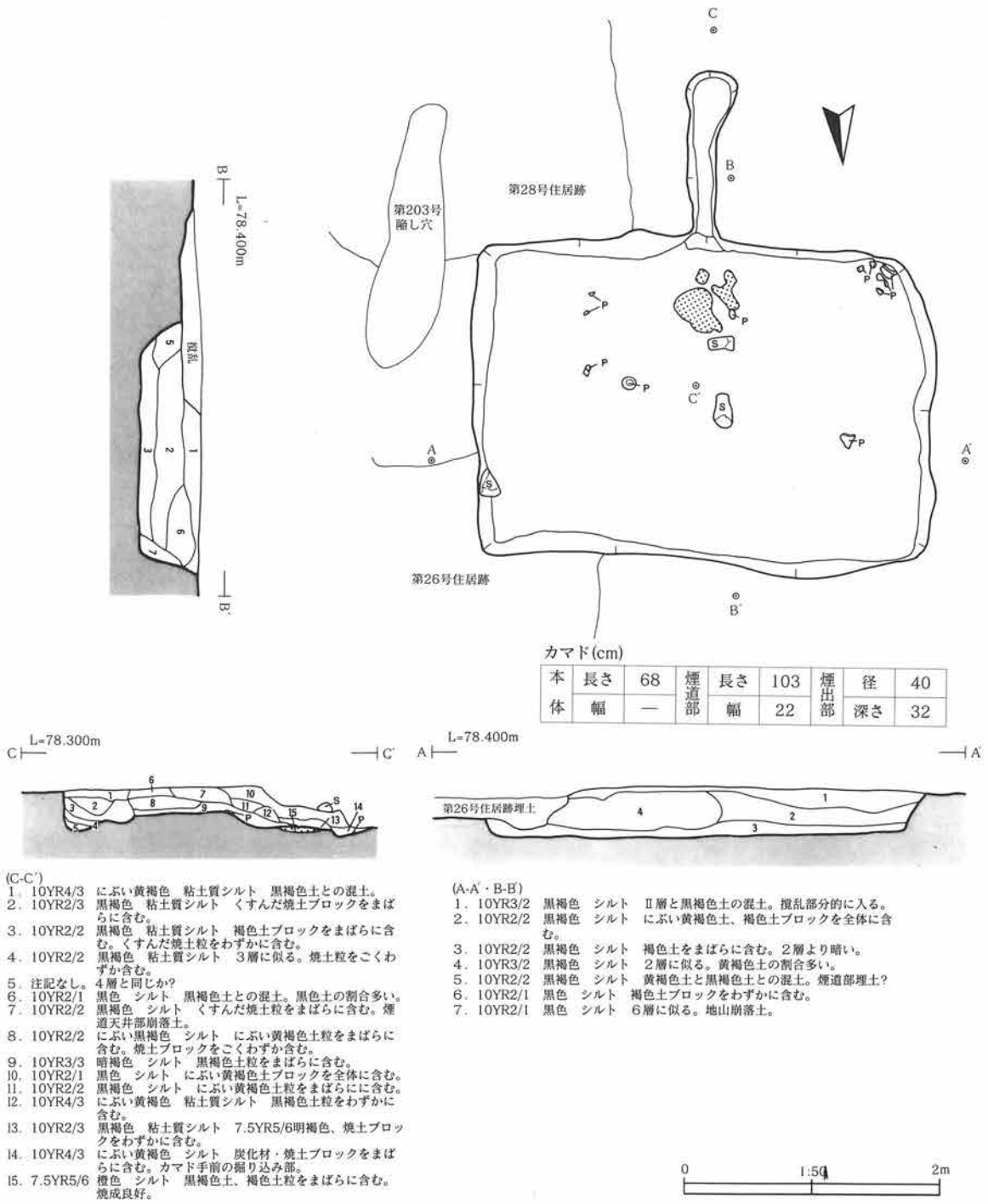


図40 第27号住居跡

しかし、カマド本体や燃焼部焼土が残存していないこと、煙道の方向が住居壁面と直角になっていないことなどから、煙出口と想定したのは別遺構で、本遺構は住居状遺構となる可能性がある。

遺物 (図184、写真図版139)

出土土器は248の酸化炎焼成、非ロクロ成形の甕1点のみである。外面はヘラケズリの後胴部下端にヘラ

カマド (cm)

本	長さ	—	煙道	長さ	55	煙出部	径	40
体	幅	—	幅	—	—	部	深さ	35

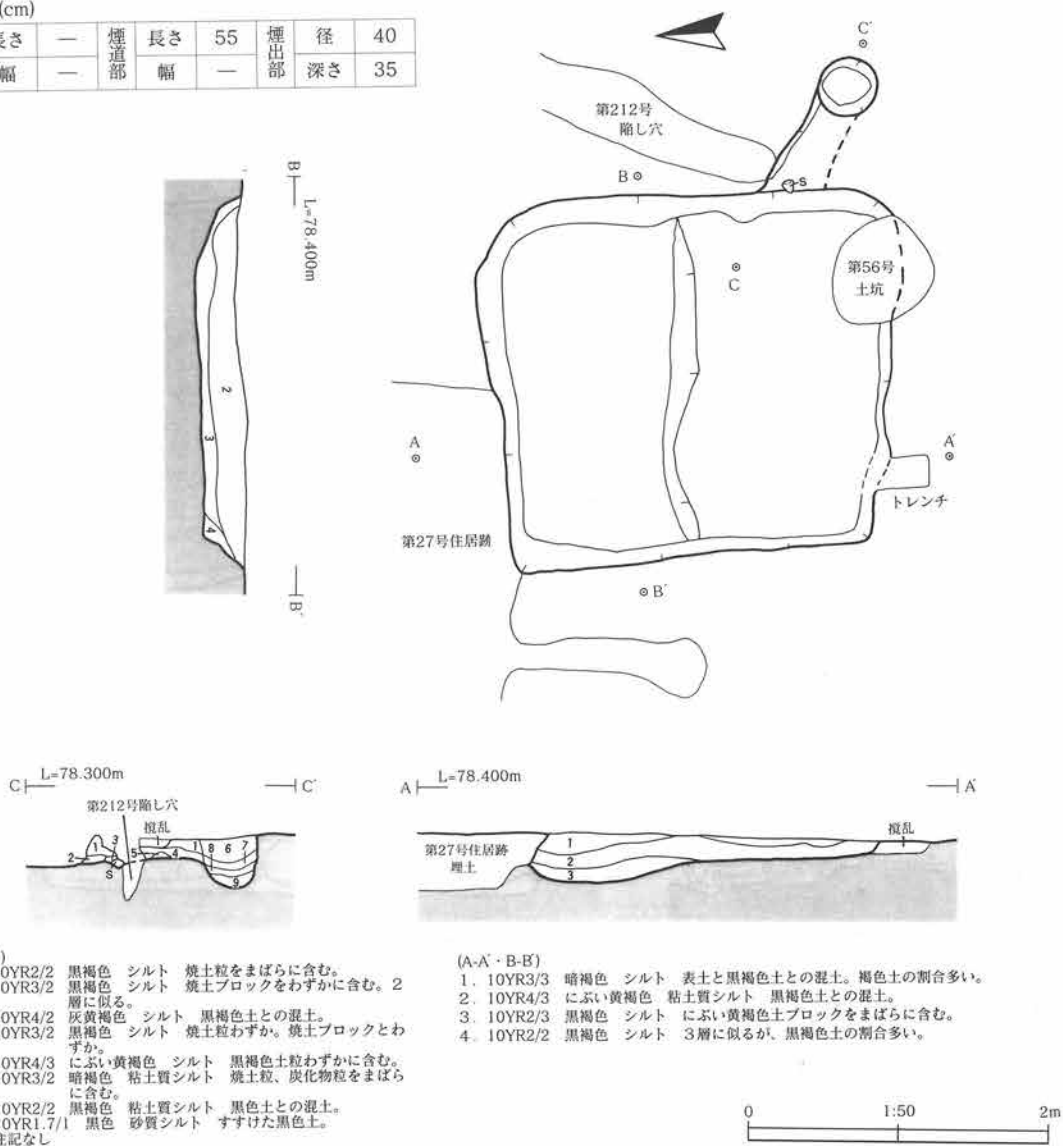


図41 第28号住居跡

ナデ調整されている。内面はハケメ調整だが、雑な感がある。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第29号住居跡 (ⅡC7c住)

遺構 (図42、写真図版30)

(位置) 本遺跡内で検出された竪穴住居跡の中で最も東側に位置する。第2号住居跡遺構とは北西方向に、3.5mの距離を置く。

(埋土) 黒色土・黒褐色土主体。上部は褐色土を粒状に含み、下部に入るに従ってブロック状となり含有率

が増す。全体としてはレンズ状の自然堆積である。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 3.88m×3.52m

(壁) 北壁は直立気味に、その他の壁は外傾して立ち上がる。壁高は25cm～35cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。平坦で固く締まる。

(柱穴) 住居内から1基、周辺から3基検出された。住居周辺の柱穴が遺構に伴うかどうかは不明である。

(土坑) カマド右脇から1基検出された。約78cmのほぼ円形で深さは最大で18cmを測る。

(カマド) <位置>南壁南東隅寄り<主軸方向>N—162°—E

<本体>残存状況は良好で、袖部・支脚土器・燃焼部焼土が残存している。袖部は礫を芯材としその周辺にシルト質土を貼り付けている。さらに、その上に礫と礫間に須恵器・土師器甕の破片を貼り付ける方法で構築されていた。支脚には棒状の礫が用いられている。燃焼部焼土は径約48cmの円形を呈し厚さは最大で6cmである。焼成は良好である。

<煙道部・煙出部>削り抜き式の煙道である。底面は20°の角度で立ち上がり水平になった後に煙出部に至る。煙出部は径50cmのほぼ円形で、検出面からは20cm、煙道底面からは7cm掘り込まれている。

(その他) カマド脇の土坑南側に階段状の張り出しが見られた。出入り口か棚として利用した可能性があるが、土坑の機能を加味すると後者の可能性が強いと思われる。

遺物 (図184・185、写真図版139)

249は酸化炎焼成、内面黒色処理された坏である。底部切り離し技法は回転系切りで再調整されていない。250・251は酸化炎焼成、内面黒色処理されない坏である。250の底部はわずかに切り離した痕が見えるが摩滅のため技法等詳細は不明である。251の底部切り離し技法は回転系切りである。252は鉢とした。ロクロ成形であり、底部切り離し技法は回転系切りである。253は酸化炎焼成、非ロクロ成形の甕である。外面は単位の大きいヘラケズリ、内面はヘラナデ調整されている。

時期 出土遺物から9世紀後半の遺構であると可能性が高い。

第30号住居跡 (ⅡC6b住)

遺構 (図43、写真図版31)

(位置) 第29号住居跡と14mの距離を置き、北北東の方向に見る。また、本遺構の西・南側には柱穴群が位置している。なお、第64号土坑と本遺構は重複している。新旧関係は不明である。

(埋土) 上部が削平され残存していない。

(平面形) 隅丸長方形か? (規模) 4.12m?×4.72m?

(壁) 残存していない。

(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。全面に掘り方を持ち、固く踏みしめられていた。

(柱穴) PP1～PP6の計6基検出された。位置・深さからPP1～PP3が主柱穴であると思われる。柱穴間の距離はPP1とPP2が2.50m、PP2とPP3が4.15mである。

(土坑) 住居の南東隅と思われる位置からPit1、Pit2の2基検出された。Pit1は58cm×120cmの不定形で深さは最大で32cmを測る。埋土内には焼土粒・焼土塊が含まれている。Pit2は80cm×81cmのほぼ円形で深さは最大で34cmを測る。

(カマド) 残存していない。

(その他) 本遺構は上部のほとんどが削平されており、明瞭ではないものの固く踏みしめられた貼り床と思

No	PP1	PP2	PP3	PP4
径 cm	49	29	33	26
深さ cm	13	38	17	17

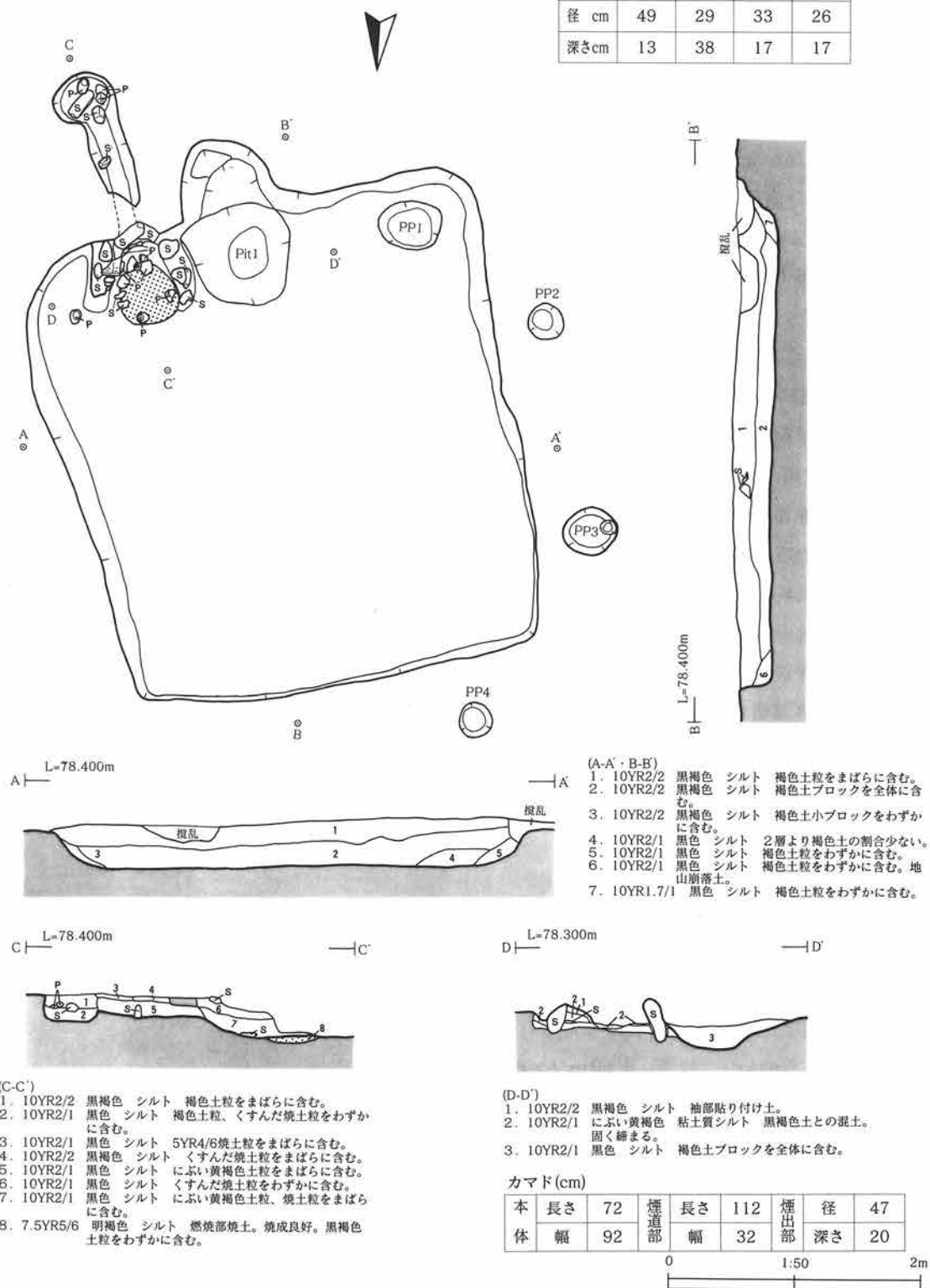


図42 第29号住居跡

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6
径 cm	35	29	28	25	21	18
深さcm	51	32	28	43	33	14

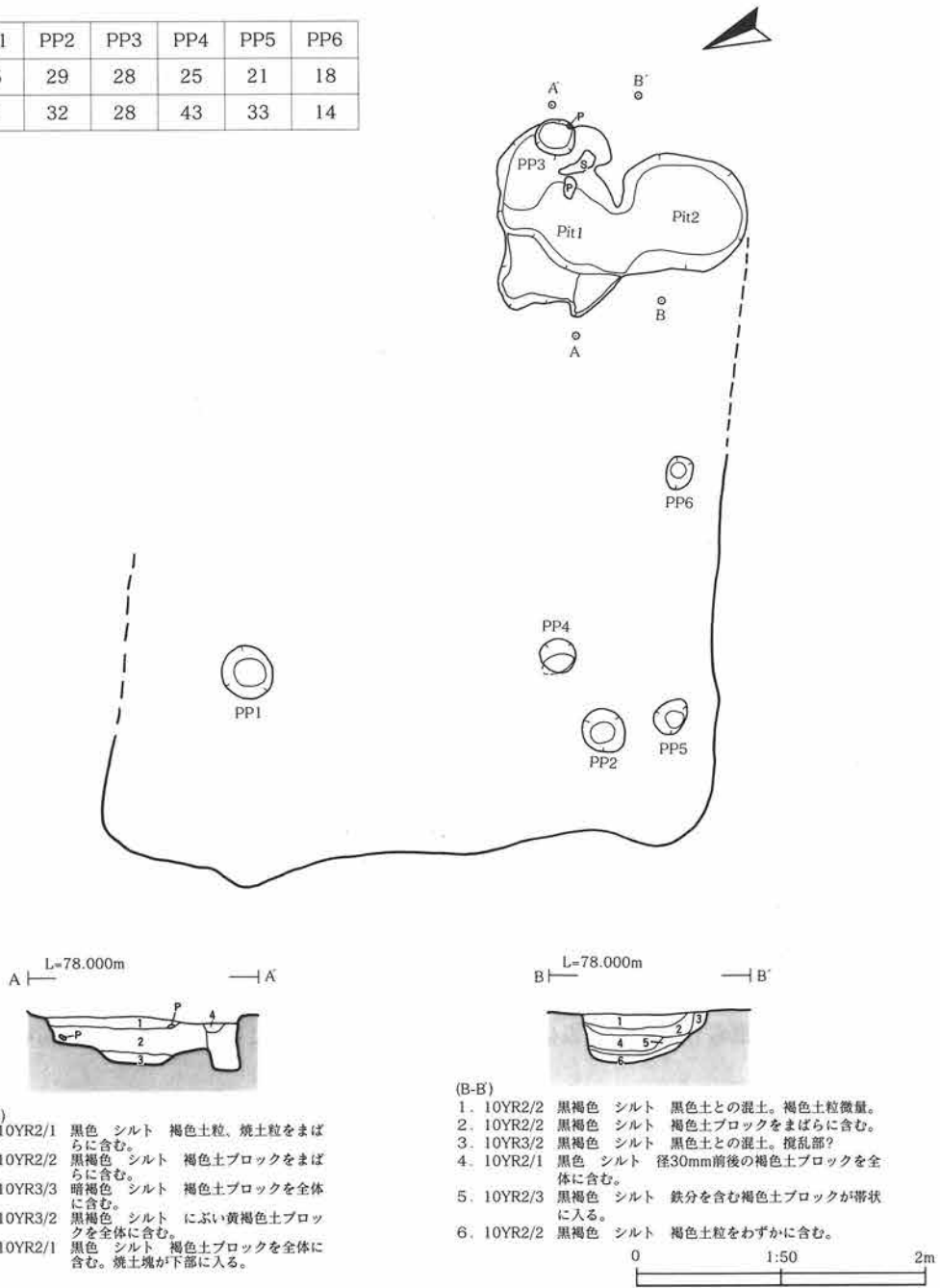


図43 第30号住居跡

われる部分が地山との境界を示していた。貼り床が施された部分を住居の一応の範囲として掲載している。

遺物 (図185、写真図版139・140)

254・255は酸化炎焼成の坏である。254は内面黒色処理され、底部切り離し技法は回転系切りである。255は回転系切り？後ヘラにより底部が再調整されている。256は還元炎焼成の坏である。底部切り離し技法は回転系切りである。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第31号住居跡 (ⅡC4j住)

遺構 (図44、写真図版31)

(位置) 第3号住居状遺構を北東方向に、第13号住居跡を西方向に第14号住居跡を南西方向に見る。それぞれ、2m・9m・10mの距離を置く。

(埋土) 上部・南東部約1/2が削平されており、最下層の黒褐色土のみ残存する。

(平面形) 不明 (規模) 3.22m×?

(壁) 残存している部分は外傾して立ち上がる。壁高は4～9cmである。

(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。ほぼ平坦である。

(柱穴) 床面と思われる部分から11個の柱穴が検出された。新規の柱穴も含まれていると思われ本遺構に伴うかどうかは不明である。

(土坑) 北東隅から1基、南東隅から1基検出された。前者をPit 1、後者をPit 2として記述する。Pit 1は径62cm前後のほぼ円形を呈し、深さは、最大で26cmである。また、中央部に柱穴状の小ピットを伴っている。Pit 2は87cm×95cmの楕円形を呈し、深さは最大で32cmを測る。

(カマド) <位置> 東壁中央より0.5m北東隅寄り <主軸方向> 不明

<本体> 燃烧部焼土のみ残存する。上部のほとんどが削平されわずかにその範囲を示す程度残存していた。径21cmのほぼ円形であり、焼成現況は不良であった。

<煙道部・煙出部> 煙道らしき掘り込みはあったが、柱穴状小土坑に切られている部分が多く詳細は不明である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

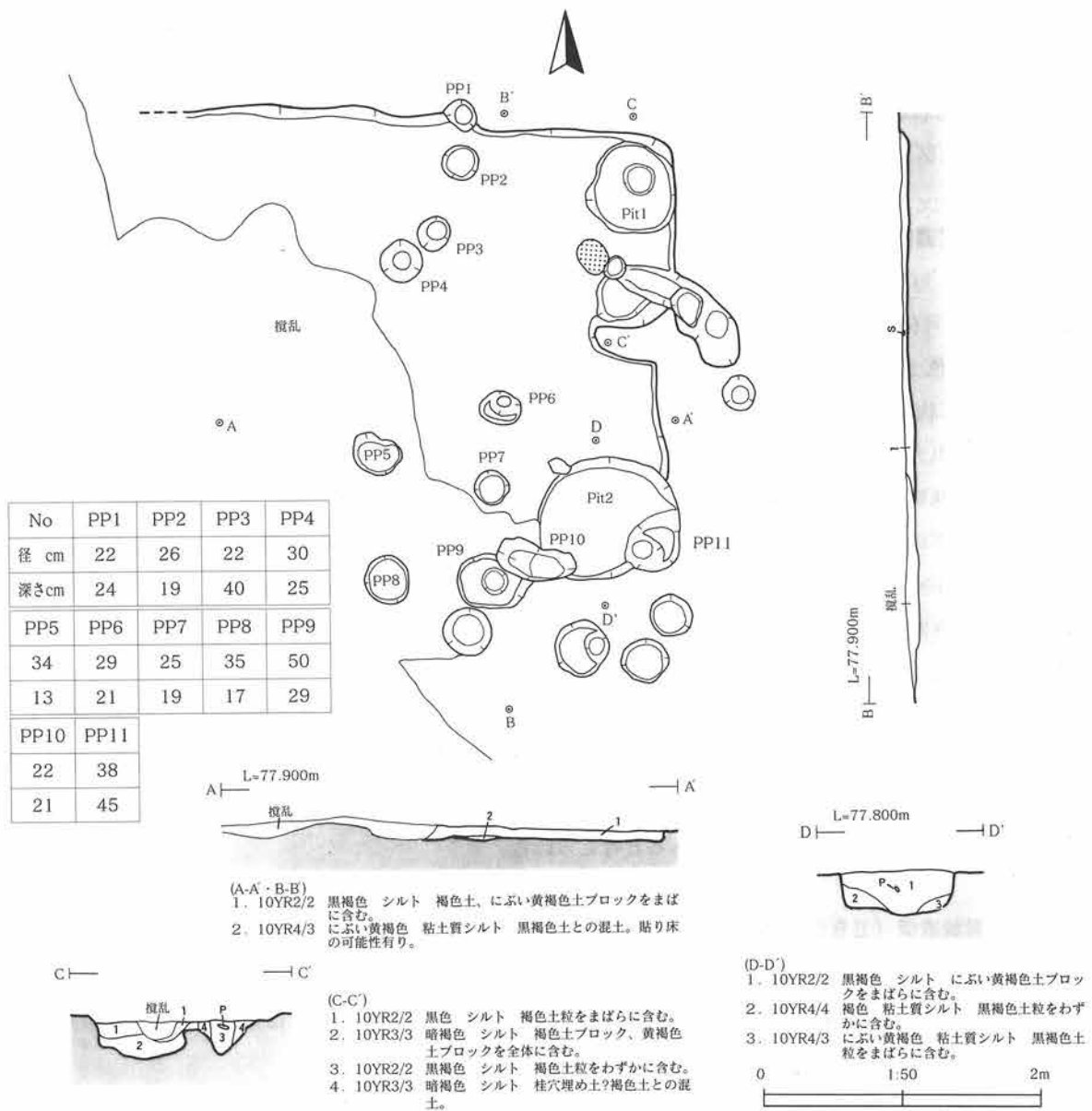


図44 第31号住居跡

2. 住居状遺構と出土遺物

標準的な住居跡ほどの規模で、明瞭なカマド施設をもたないものを住居状遺構として報告する。5棟検出された。A区から検出された4棟のうち2棟は平安時代のもの。他3棟は時期不明である。

第1号住居状遺構（ⅡB5g住）

遺構（図45、写真図版32）

（位置）第24号住居跡を第3号溝跡を隔てて南西にみる。2.5mの距離を置く。

（埋土）黒褐色土、黒色土主体。にぶい黄褐色土の割合から若干差異が見られる。残存している埋土の状況から、レンズ状に自然堆積していたと思われる。

（平面形）隅丸方形（規模）3.58m×3.70m

（壁）直立気味に立ち上がる。壁高は7～19cmである。

（床面）Ⅲ層下の粘土層を床面とする。ほぼ平坦である。配水管工事のため東西に攪乱が入っている。

（柱穴）PP1～PP4の4基検出されている。主柱穴であるかどうかは不明である。

（土坑）検出されなかった

遺物（図185、写真図版140）

257は酸化炎焼成の内外面ともに黒色処理された坏である。258も内外黒色処理された高台付坏である。底部は回転糸切り後へうで再調整されている。高台部は欠損している。259・260は還元炎焼成の坏である。259は還元不足のためくすんだ色調である。いずれも底部切り離し技法は回転糸切りである。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第2号住居状遺構（ⅡB6b住）

遺構（図46、写真図版33）

（位置）第29号住居跡を南東方向に見る。3.5mの距離を置く。また、本遺構は第3号溝跡に住居西端を切られている。

（埋土）黒褐色土主体。下部に入るに従って含まれる褐色土の割合が増える。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示す。

（平面形）隅丸方形（規模）3.32m×3.19m

（壁）外傾しながら立ち上がる。壁高は15～20cmである。

（床面）Ⅲ層下を床面とする。ほぼ平坦であるが、南壁の一部に高まりがある。

（柱穴）検出されなかった。（土坑）検出されなかった。

（その他）住居中央部から南壁に高まりがある。焼土粒を含み高さは約15cmである。その性格など詳細は不明である。

遺物（図186、写真図版140）

261・262は酸化炎焼成の坏である。261は内面黒色処理されており、底部切り離し技法は回転糸切りである。262の底部にはわずかに回転糸切り痕が見える。263は内面黒色処理されない高台付坏である。底部は回転糸切り後にへうで再調整されたものと思われる。264～267は酸化炎焼成の甕である。264は非ロクロ成形で口縁部はヨコナデ、胴部はヘラナデ調整されている。265～267はロクロ成形され、265は成形後

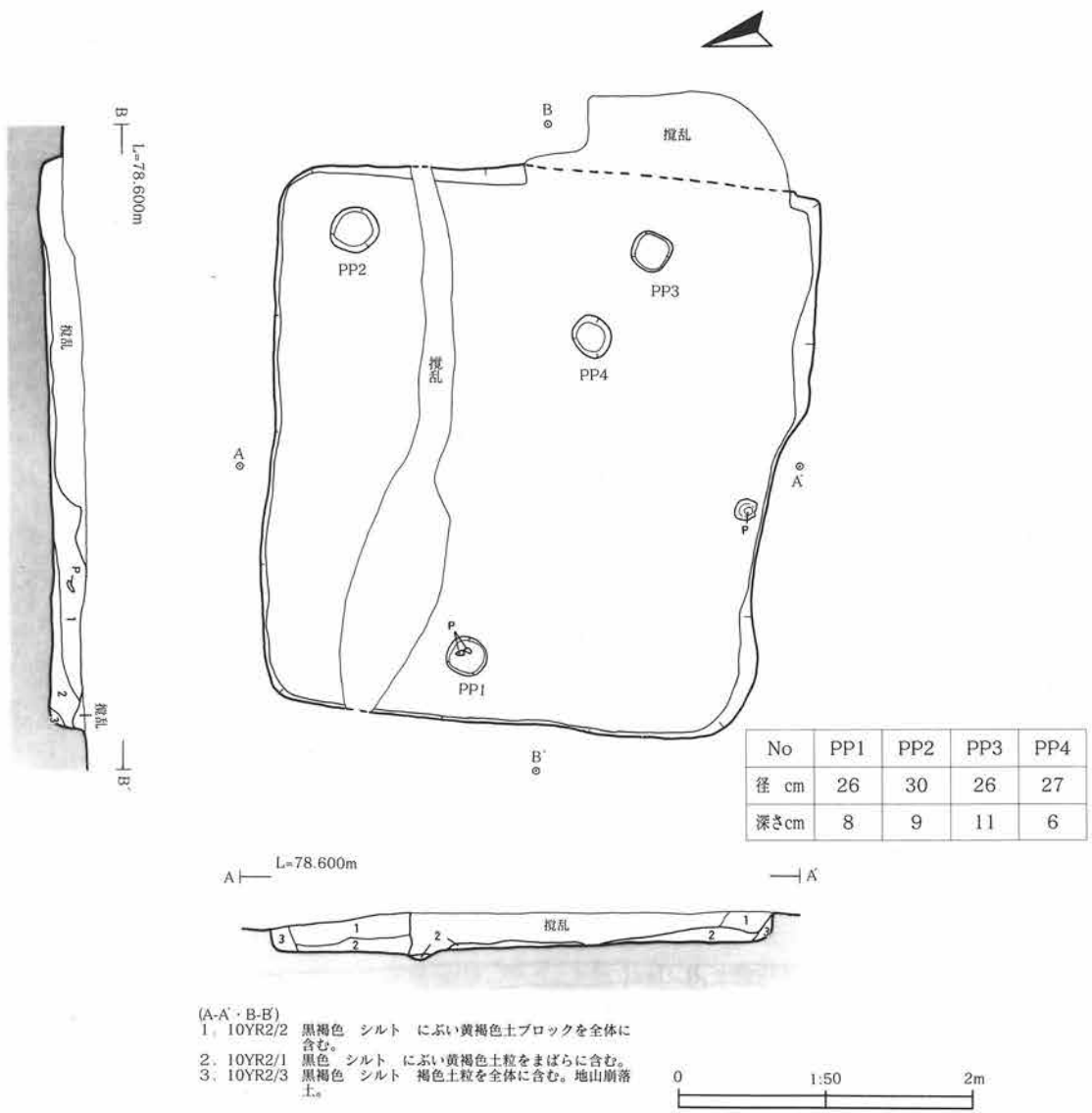


図45 第1号住居状遺構

に口縁部がヨコナデ調整されている。267の底部には回転糸切り痕がわずかに残る。
時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第3号住居状遺構 (IIc5j住)

遺構 (図47、写真図版34)

(位置) 第31号住居跡と南西部で隣接している。距離は2mである。

(埋土) 上部が削平され残存していない。

(平面形) 不明 (規模) 3.22m×?

(壁) 残存していない。

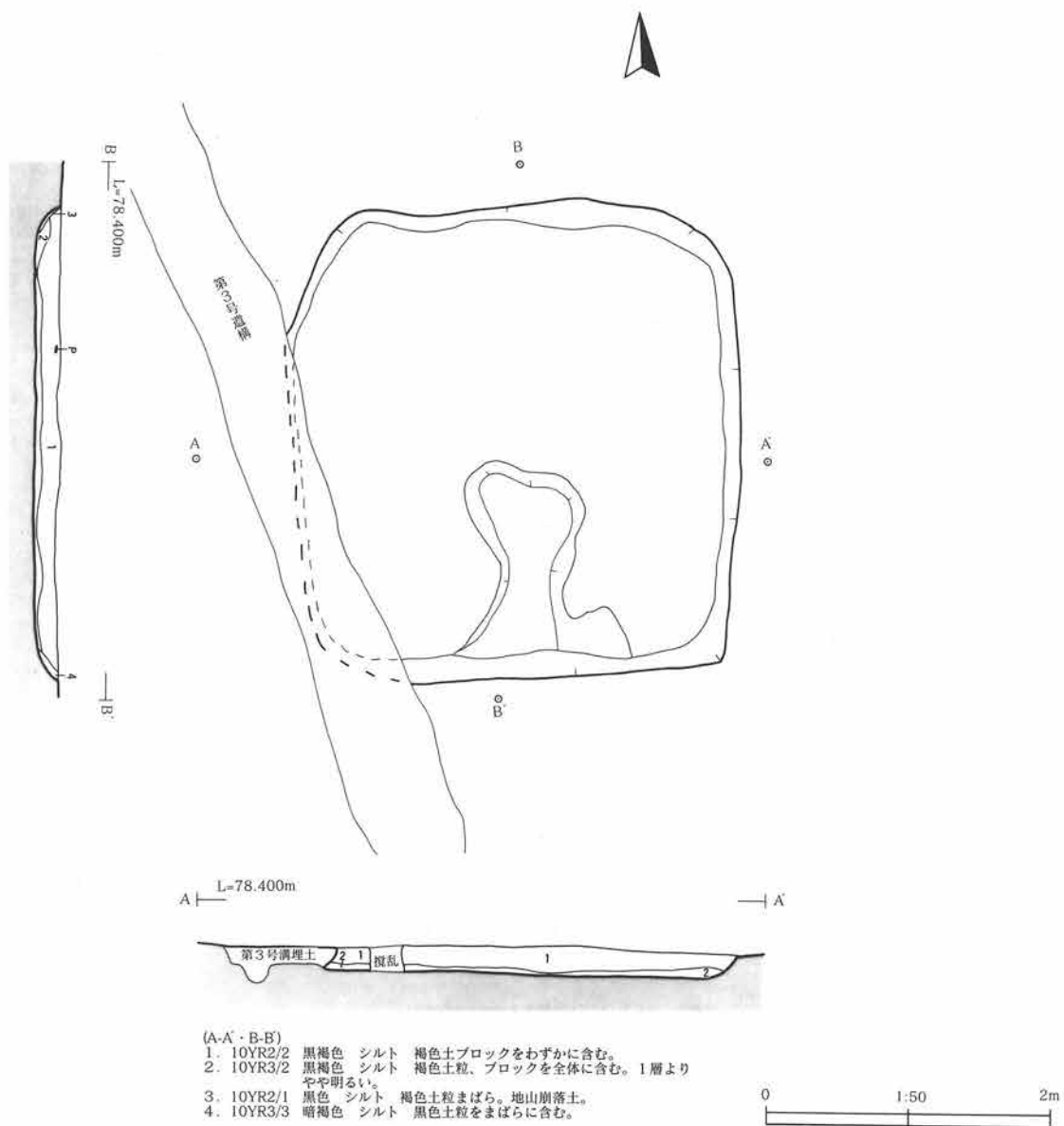


図46 第2号住居状遺構

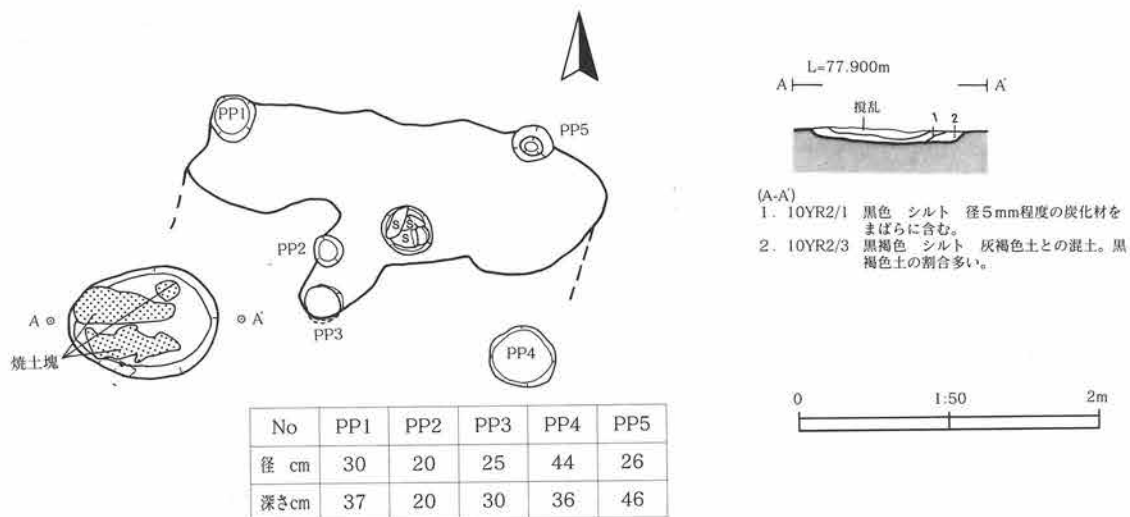


図47 第3号住居状遺構

(床面) III層下の粘土層を床面としていたと思われる。

(柱穴) 数基検出されたが、配列が不規則で遺構に伴うかどうかは不明である。

(土坑) 検出されなかった。

(その他) 本遺構は上部のほとんどが削平されており、掘り方の一部と思われる部分が残存していた。よって、この位置に住居状が存在していた可能性はあるが詳細は不明である。また、西壁中央北寄りに焼土塊を伴う掘り込みが見られた。深さはおよそ7cmである。本遺構に伴うものか、また、その性格等は不明である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第4号住居状遺構 (ⅡD8b住)

遺構 (図48、写真図版34)

(位置) 第31号住居跡を西北西方向に、第14号住居跡を西南西方向に見る。距離はそれぞれ15m・14mである。竪穴状遺構の中で最も東側に位置する。

(埋土) 上部が削平され下層の黒褐色土が残存する。埋土には褐色土がブロック状に入る。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.28m×3.58m

(壁) 残存している部分の南北壁は外傾して、東西壁は緩く外傾して立ち上がる。

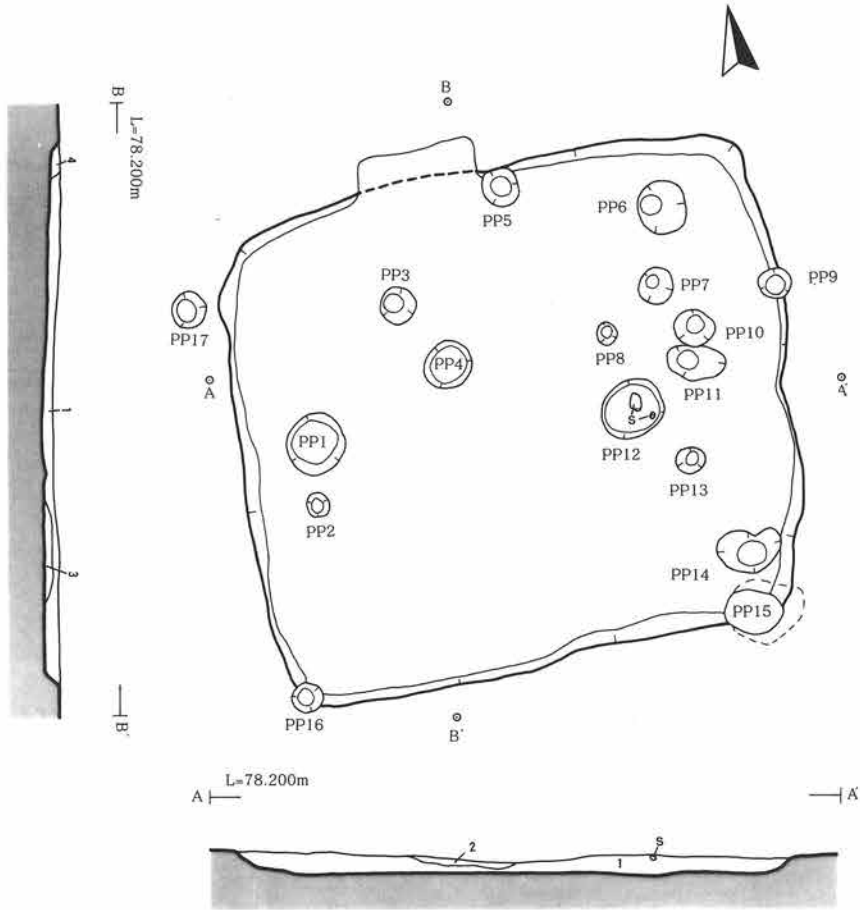
(床面) III層下の粘土層を床面とする。ほぼ平坦である。

(柱穴) 合わせて、17個の柱穴が検出されているが、配列が不規則で遺構に伴うかどうかは不明である。

(土坑) 検出されなかった。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。



- (A-A・B-B)
1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 シルト 溝埋土?黒褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色土との混土。黄褐色土がブロック状に入る。
 4. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7	PP8	PP9	PP10	PP11	PP12
径 cm	39	15	24	33	24	32	23	13	21	26	23	43
深さcm	19	8	26	15	36	21	17	9	32	31	21	7

PP13	PP14	PP15	PP16	PP17
20	25	39	21	23
10	48	30	11	25

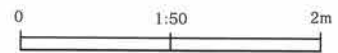


図48 第4号住居状遺構

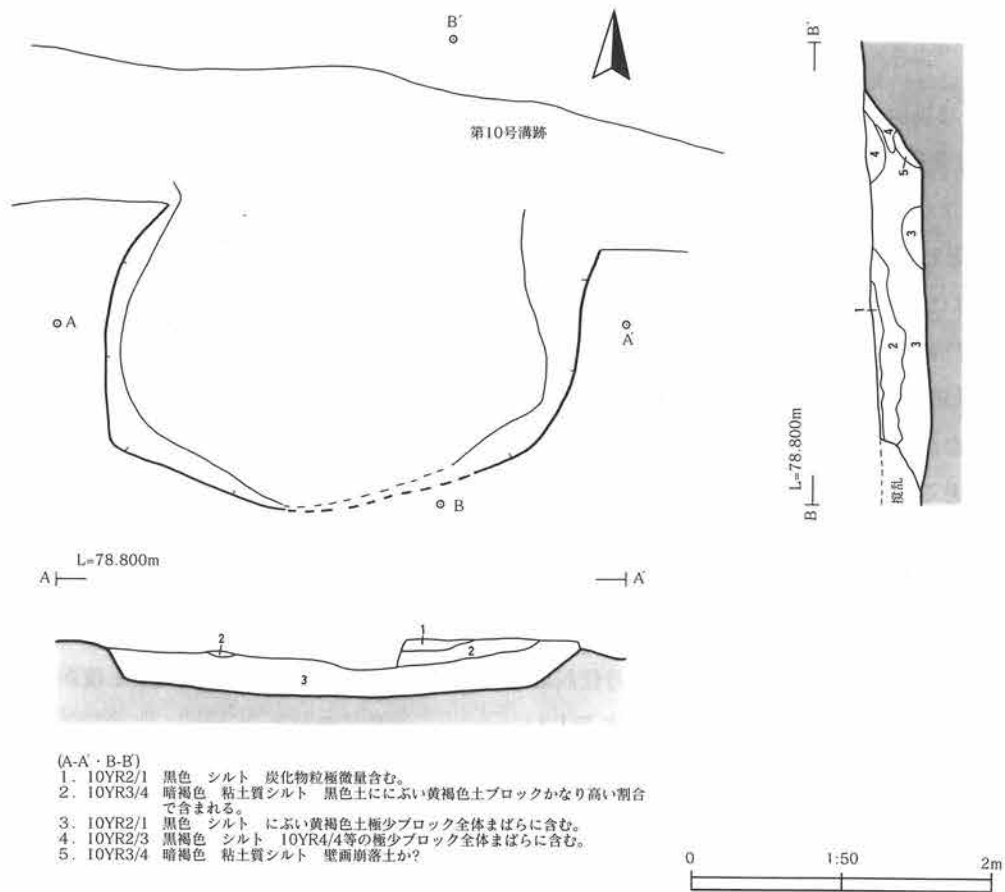


図49 第5号住居状遺構

第5号住居状遺構（ⅡA O e 住）

遺構（図49）

（位置）飛び地の西側に位置している。第10号溝跡と重複。

（埋土）黒褐色土主体。にふい黄褐色土小ブロックをまばらに含む。

（平面形）楕円形か？（規模）3.16m×？

（壁）南壁については削平されているため立ち上がりは確認できなかった。残存状況が比較的良好な東西壁は外傾して立ち上がっている。（床面）Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

（柱穴）検出されなかった。（土坑）検出されなかった。

（その他）床面から縄文土器が出土したことから住居状遺構として記載したが、土坑または攪乱層である可能性もある。

遺物 底面から縄文土器の細片が2～3点出土した。

時期 不明である。

3. 土坑と出土遺物

第1号土坑

遺構 (図50、写真図版36)

(位置) 調査区北側の第1号住居跡(ⅡA2f住)の東壁を切る。この住居に伴う可能性もあるが攪乱のため東側の壁の立ち上がりは明瞭ではなく、また、遺構に伴うと考えた場合、住居跡の平面形が多少歪むことから別遺構とした。

(埋土) 上位はにぶい黄褐色土を含む黒色土を基調とし、下位はにぶい黄褐色土と黒褐色土の混土である。

(平面形) 不整楕円形(規模)116cm×95cm(深さ)16cm

(壁) 東壁は直立気味に、西壁は緩く外傾する。(底面)Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第2号土坑

遺構 (図50、写真図版36)

(位置) 第1号土坑同様、調査区北側の第1号住居跡(ⅡA2f住)の東壁を切る。埋土上位からの検出であることから本遺構の方が、第1号住居跡より新しい。

(埋土) 黒色土主体。自然堆積の様相を示す。

(平面形) 不整楕円形(規模)129cm×73cm(深さ)30cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(底面)Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第3号土坑

遺構 (図50、写真図版36)

(位置) ⅡA1g区に位置し、第36号、第39号号陥し穴を切る。形状から陥し穴状遺構とも考えられるが、他のグリッドでは長方形(楕円形)の陥し穴状遺構の方が溝状の陥し穴状遺構より古いこと、他の長方形(楕円形)の陥し穴状遺構の一群から距離を置くことを根拠として、土坑として記載した。

(埋土) 上部は黒褐色土、下部は黒褐色土と暗褐色土との混土。最下部には第36号陥し穴状遺構の埋土が入る。

(平面形) 楕円形であったと思われる。(規模)80cm前後×50cm前後(深さ)46cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面)Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明だが縄文時代か？

第4号土坑

遺構 (図50、写真図版36)

(位置) 第3号住居跡床面から検出。また、第70号陥し穴に切られる。よって、本遺構は第70号陥し穴、第3号住居跡よりも古い。

(埋土) 黒褐色土を基調とし、下部は粘性が強い。3層は地山崩落土、4、5層は第70号陥し穴の埋土と思われる。

(平面形) 楕円形 (規模) 80cm×62cm (深さ) 44cm

(壁) やや内反するように立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 縄文時代の遺構と思われる。

第5号土坑

遺構 (図50、写真図版37)

(位置) II B 1 c区～II B 2 c区の2グリッドに位置する。また、第22号住居跡と隣接している。

(埋土) 黒色土、黒褐色土主体。下部には7層に似たにぶい黄褐色土と黒褐色土との混土が入る。7層は木根による攪乱層か？

(平面形) 楕円形 (規模) 168cm×136cm (深さ) 30cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) II層下の粘土層を床面とする。

遺物 土師器細片が埋土中位から出土している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と思われる。

第6号土坑

遺構 (図50、写真図版37)

(位置) 第5号住居跡床面から検出。第5号住居跡に伴う可能性がある。

(埋土) 黒褐色土、暗褐色土を基調とする。

(平面形) 長楕円形 (規模) 205cm×92cm (深さ) 19cm

(壁) 外傾するように立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 1個体分の土師器甕片が出土している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第7号土坑

遺構 (図50、写真図版37)

(位置) 第6号土坑同様、第5号住居跡 (I B 9 f 住) 床面から検出し、同住居跡に伴う可能性がある。また、本遺構は第91号陥し穴を切っている。

(埋土) 黒褐色土を基調とする。一部配水管工事により攪乱を受けている。

(平面形) 円形 (規模) 径101cm (深さ) 13cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 (図186、写真図版140)

甕2個体分の土師器細片と礫石器が1点出土している。156は円形の礫石器の一部である。凹石か？

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第8号土坑

遺構 (図50、写真図版37)

(位置) 第6、7号土坑同様、第5号住居跡 (I B 9 f 住) 床面から検出し、同住居跡に伴う可能性がある。

(埋土) 黒色土、黒褐色土を基調とする。埋土中部に焼土塊が入る。下部は粘性の強い黒褐色土。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 80cm×75cm (深さ) 24cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

(その他) 埋土上位から焼土が検出されたことで、炉的に使用された遺構と当初考えたが、さらに掘り込みがあることから、断定はできず詳細は不明である。

遺物 (図186、写真図版140)

269～271は酸化炭焼成の甕である。269は内外面とも口縁部にヨコナデが施され、胴部は外面がケズリ、内面がヘラナデにより器面調整が施されている。270・271はロクロ成形により、その他の器面調整は施されていない。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と思われる。

第9号土坑

遺構 (図51、写真図版38)

(位置) 第5号住居跡 (I B 9 f 住) 東壁際から検出。

(埋土) 褐色土混じりの黒色土を基調とし、焼土粒、焼土ブロックが入る。

(平面形) 不整円形 (規模) 74cm×70cm (深さ) 31cm

(壁) 外傾して立ち上がる部分と内傾して立ち上がる部分がある。

遺物 (図187、写真図版141)

土師器甕が1点のみ出土している。272は酸化炭焼成の甕で非ロクロ成形である。口縁部は内外面ともヨコナデ、胴部は外面はナデ、内面はハケメ調整が施されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と思われる。

第10号土坑

遺構 (図51、写真図版38)

(位置) I B 9 f 区に位置し、第86号陥し穴の南端部を切る。

(埋土) 上部は黒色土、下部は灰黄褐色土主体。下部埋土には木根が入り、攪乱を受けている。

(平面形) 楕円形 (規模) 65cm×45cm (深さ) 45cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第11号土坑

遺構 (図51、写真図版38)

(位置) I B 9 f 区に位置し、第87号陥し穴の南端部を切る。

(埋土) にぶい黄褐色土を含む黒褐色土主体。下部に入るに従って粘性が強くなる。

(平面形) 楕円形 (規模) 80cm×60cm (深さ) 35cm

(壁) 外傾しながら立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第12号土坑

遺構 (図51、写真図版38)

(位置) I B O f 区、第162号、163号陥し穴の間に位置している。本遺構の北端は基礎工事により削平されている。

(埋土) にぶい黄褐色土混じりの黒褐色土。

(平面形) 楕円形 (規模) 66cm×45cm (深さ) 19cm

(壁) 緩く外傾しながら立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第13号土坑

遺構 (図51、写真図版39)

(位置) I B 8 f 区、第5号住居跡 (I B 9 f 住) の南壁際に位置する。

(埋土) にぶい黄褐色土を含む黒色土、黒褐色土を基調とする。

(平面形) 楕円形 (規模) 75cm×65cm (深さ) 27cm

(壁) 緩く外傾しながら立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第14号土坑

遺構 (図51、写真図版39)

(位置) I B 9 f 区に位置し、第5号住居跡 (I B 9 f 住) の南東隅を切る。

(埋土) 上部は黒色土、下部は粘性の強い黒色土主体。自然堆積の様相を示す。

(平面形) 不整楕円形 (規模) 171cm×63cm (深さ) 33cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第15号土坑

遺構 (図51、写真図版39)

(位置) I B O g 区に位置し、第6号住居跡 (I B 9 g 住) と南西方向に2mの距離を置く。

(埋土) 上部は黒色土、下部は粘性の強い黒褐色土を基調とする。

(平面形) 楕円形 (規模) 124cm×97cm (深さ) 34cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第16号土坑

遺構 (図51、写真図版39)

(位置) I B O g 区に位置し、第94号陥し穴と重複。

(埋土) 上部は黒色土主体。下部にはいるにしたがって褐色土の割合が増え、色調が明るくなる。

(平面形) 楕円形であったと思われる。(規模) 100cm前後×51cm (深さ) 46cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第17号土坑

遺構 (図52、写真図版40)

(位置) 第6号住居跡 (I B 9 g 住) 床面から検出、住居内北壁際に位置する。第6号住居跡に伴う遺構の可能性はある。

(埋土) 上部は黒褐色土主体、下部は黒褐色土混じりの灰黄褐色土主体。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 55cm×51cm (深さ) 11cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 (図187、写真図版141)

酸化炎焼成の坏・甕、還元炎焼成の壺がそれぞれ1点ずつ出土している。273は内面黒色処理されない土師器坏である。底部の切り離し技法は回転糸切りである。274は非ロクロ成形の土師器甕である。摩滅のため調整は外面にヘラナデを施した痕がわずかに見られる程度である。275は長頸壺の胴部破片である。外面にはナデの器面調整が施されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第18号土坑

遺構 (図52、写真図版40)

(位置) 第17号土坑同様、第6号住居跡 (I B 9 g 住) 床面から検出、第6号住居跡に伴う遺構の可能性はある。

(埋土) にぶい黄褐色土粒混じりの黒褐色土を基調とする。下部に入るにしたがって粘性が強くなる。埋土上位にはわずかに焼土粒が入る。

(平面形) 円形 (規模) 59cm×55cm (深さ) 28cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 土師器細片が数点出土している。

時期 検出状況、出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第19号土坑

遺構 (図52、写真図版40)

(位置) 第17、18号土坑同様、第6号住居跡 (I B 9 g 住) 床面から検出、西壁際に位置する。本遺構も同住居に伴う可能性がある。

(埋土) 上部は黒褐色土主体、下部は黒褐色土混じりの灰黄褐色土主体。

(平面形) 楕円形であったと思われる。(規模) 100cm前後×56cm (深さ) 13cm

(壁) 直立気味に外傾し立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第20号土坑

遺構 (図52、写真図版40)

(位置) 第17～19号土坑同様、第6号住居跡 (I B 9 g 住) 床面から検出、住居内南東隅寄りに位置する。本遺構も同住居に伴う可能性がある。

(埋土) 上部に灰黄褐色土、下部に黒褐色土が入る。下部には焼土粒、炭化材が入る。

(平面形) 円形 (規模) 74cm×72cm (深さ) 20cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 酸化炭焼成の内面黒色処理されていない坏の破片が数点出土している。

時期 検出状況、出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第21号土坑 (R D 50)

遺構 (図52、写真図版41)

(位置) 第6号住居跡 (I B 9 g 住) 床面から検出。第20号土坑から約1m南西寄りに位置する。本遺構も第6号住居に伴う可能性がある。

(埋土) 上部は黒色土主体。下部は黒褐色土を含む黄褐色土主体。上部は人的な埋め戻しの様相を示す。

(平面形) 楕円形 (規模) 104cm×87cm (深さ) 53cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 検出状況から平安時代かそれ以前の遺構であると思われる。

第22号土坑

遺構 (図52、写真図版41)

(位置) I B 9 h 区に位置し、第6号住居跡の南壁から約1mの距離を置く。また、第99号陥し穴と重複。

(埋土) 上部は黒褐色土、下部はにぶい黄褐色土を基調とする。一部木根による攪乱を受けている。

(平面形) 楕円形であったと思われる。(規模) <長軸は不明>×73cm (深さ) 16cm

(壁) 北壁は直立気味に外傾し立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第23号土坑

遺構 (図52、写真図版41)

(位置) I B 9 i 区に位置する。

(埋土) 黒褐色土粒を主体とする、底面から壁際に立ち上がるように焼土塊が入る。

(平面形) 円形 (規模) 41cm×40cm (深さ) 11cm

(壁) 直立気味に外傾し立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 (図187、写真図版141)

土師器坏が数点、須恵器片が数点出土している。276・277は酸化炎焼成の内面黒色処理されない坏である。底部切り離し技法はいずれも回転糸切りである。278は還元炎焼成の甕の胴部破片である。内面はカキメ、外面にはタタキメが施されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第24号土坑

遺構 (図52、写真図版41)

(位置) I B O i 区、第23号土坑の1.5m東に位置する。

(埋土) 黒褐色土粒を主体とする、底面から壁際に立ち上がるように焼土塊が入る。

(平面形) 楕円形 (規模) 80cm×58cm (深さ) 10cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

(その他) 埋土、焼土塊の入り方、出土遺物等、第23号土坑と類似する点が多く、同時期に存在していた遺構である可能性が高い。

遺物 (図187、写真図版141)

土師器坏が4点出土している。279は内外面ともに黒色処理された酸化炎焼成の坏である。280は内面に黒色処理が施されている。281・282は内面黒色処理されない坏である。底部切り離し技法は全て回転糸切りである。281の底部は回転が弱かったため糸切り痕の間隔が大きくなったものと思われる。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第25号土坑

遺構 (図53、写真図版42)

(位置) I C 6 e 区に位置し、第115号陥し穴の北東端上部を切る。

(埋土) 上部は黒褐色土、下部はにぶい黄褐色土主体。2層は木根によって攪乱をうけた汚れた地山層か？

(平面形) 楕円形であったと思われる。(規模) 102cm×82cm (深さ) 27cm

(壁) 直立気味に外傾し立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第26号土坑

遺構 (図53、写真図版42)

(位置) I C 7 e 区、第11号住居跡西壁際に位置する。第11号住居跡床面からの検出し、西側を柱穴状ピ

ットに切られていることから、同住居跡より古い遺構であると思われる。

(埋土) 上部は黒褐色土、下部は黒色土主体。

(平面形) 楕円形 (規模) 89cm×53cm (深さ) 24cm

(壁) 残存する東壁は外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第27号土坑

遺構 (図53、写真図版42)

(位置) I C 7 f 区～I C 7 g 区に位置する。

(埋土) 黒褐色土を基調とする単層である。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 82cm×66cm (深さ) 12cm

(壁) 直立気味に外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第28号土坑

遺構 (図53、写真図版42)

(位置) II C 1 e 区に位置する。

(埋土) 上部は黒色土、下部は黒褐色土粒混じりのにぶい黄褐色土。

(平面形) 楕円形 (規模) 107cm×84cm (深さ) 15cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第29号土坑

遺構 (図53、写真図版43)

(位置) I D 7 a 区に位置する。

(埋土) 黒褐色土粒を主体とする。

(平面形) 楕円形 (規模) 62cm×48cm (深さ) 11cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) IV b 層上の礫層を底面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第30号土坑

遺構 (図53、写真図版43)

(位置) I D 8 a 区に位置する。

(埋土) 黒褐色土を基調とする。

(平面形) 楕円形 (規模) 123cm×103cm (深さ) 15cm
(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 土師器細片が十数点出土している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第31号土坑

遺構 (図53、写真図版43)

(位置) I D 9 a 区に位置する。

(埋土) 黒褐色土主体、焼土粒を全体に含む。特に、底面から壁際にかけて入る焼土は固く締まっている。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 78cm×76cm (深さ) 24cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) IV層上の礫層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明だが、第23号・24号土坑と埋土の状況が類似していることから平安時代の遺構の可能性はある。

第32号土坑

遺構 (図53、写真図版43)

(位置) II D 2 b 区、第13号住居跡の1 m南に位置する。

(埋土) 焼土粒、炭化材を含む黒褐色土が主体である。

(平面形) 長楕円形 (規模) 198cm×71cm (深さ) 16cm

(壁) 直立気味に外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第33号土坑

遺構 (図54、写真図版44)

(位置) II D 2 b 区～II D 2 c 区に位置する。

(埋土) 上部がかなり削平されていると思われる。残存している部分は上部黒色土、下部は色調の異なる黄褐色土主体で、人為的に埋め戻された様相を示す。

(平面形) 隅丸台形 (規模) 165cm×107cm (深さ) 10cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第34号土坑

遺構 (図54、写真図版44)

(位置) I D 0 c 区に位置する。

(埋土) 黒褐色土主体。6層は掘り過ぎか？

(平面形) ほぼ円形 (規模) 径209cm (深さ) 38cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第35号土坑

遺構 (図54、写真図版44)

(位置) ⅡD1c区に位置する。

(埋土) 黄褐色土混じりの黒色土主体。

(平面形) 楕円形 (規模) 111cm×83cm (深さ) 19cm

(壁) 緩く外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 (図187、写真図版141)

出土遺物は土師器坏が1点(283)のみである。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第36号土坑

遺構 (図54、写真図版44)

(位置) ⅡD1d区に位置する。

(埋土) 黒褐色土主体の単層。

(平面形) 楕円形 (規模) 77cm×54cm (深さ) 8cm

(壁) 緩く外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第37号土坑

遺構 (図54、写真図版45)

(位置) ⅡD2c区に位置する。

(埋土) 上部は黒色土主体。下部及び壁際に黄褐色土が入る。

(平面形) 楕円形 (規模) 111cm×80cm (深さ) 17cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第38号土坑

遺構 (図54、写真図版45)

(位置) ⅡD1c区、ⅡD1d区、ⅡD2c区、ⅡD2d区の4グリッドの中間点に位置する。

(埋土) 上部黒色土、下部黒褐色土主体。一部攪乱を受ける。

(平面形) 隅丸方形に近い。(規模) 191cm×181cm (深さ) 22cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 (図188、写真図版141)

土師器坏が2点、高台付坏1点の他土師器片が数点出土している。284・285は酸化炎焼成の内面黒色処理された土師器坏である。284の底部の切り離し技法は回転糸切りである。287は内面黒色処理されない高台付坏である。底部は回転糸切り後ヘラにより粗い調整が施されている。

時期 出土遺物より平安時代の遺構であると思われる。

第39号土坑

遺構 (図54、写真図版45)

(位置) ⅡD3c区に位置する。

(平面形) 楕円形 (規模) 104cm×82cm (深さ) 14cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 (図188、写真図版141)

土師器坏 (288) が1点のみ出土している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第40号土坑

遺構 (図54、写真図版45)

(位置) ⅡD3e区に位置する。

(埋土) 上部は黒褐色土、下部は色調の異なる黄褐色土主体。

(平面形) 長方形 (規模) 138cm×63cm (深さ) 38cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第41号土坑

遺構 (図55、写真図版46)

(位置) ⅡD4e区に位置し、第140号陥し穴を切る。

(埋土) 上部は黒色土、下部は粘性の強い黒褐色土主体。

(平面形) 楕円形 (規模) 127cm×94cm (深さ) 22cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第42号土坑

遺構 (図55、写真図版46)

(位置) ⅡD3h区に位置し、第144号陥し穴を切る。

(埋土) 上部黒褐色土、下部は黒色土主体。

(平面形) 楕円形か? (規模) <長軸は不明>×48cm (深さ) 30cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第43号土坑

遺構 (図55、写真図版46)

(位置) ⅡD4j区に位置する。東側を柱穴状ピットに切られる。

(埋土) 上部は黒褐色土、下部は粘性の強い黒色土主体。

(平面形) 楕円形 (規模) 94cm×70cm (深さ) 24cm

(壁) 直立気味に外傾する。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第44号土坑

遺構 (図55、写真図版46)

(位置) ⅡE5a区に位置する。

(埋土) 褐色土ブロックを含む黒褐色土主体。

(平面形) 楕円形 (規模) 119cm×96cm (深さ) 17cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 (図188、写真図版141・142)

小コンテナ0.5箱分の土師器が出土している。286は酸化炎焼成の内面黒色処理された坏である。底部の切り離し技法は回転糸切りである。289・290は内面黒色処理されない土師器坏である。292～294は酸化炎焼成の甕である。292は小型の甕でロクロによって成形されたものである。底部の切り離し技法は回転糸切りである。293は非ロクロ成形の甕で内面にはヘラナデ、外面にはケズリが施されている。294はロクロ成形の後胴部外面にヘラナデの調整が施されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第45号土坑

遺構 (図55、写真図版47)

(位置) ⅡE6a区に位置する。

(埋土) 黒褐色土主体で、焼土粒・炭化材をまばらに含む。検出面では、焼土粒がドーナツ状に円形を呈していた。

(平面形) 楕円形 (規模) 158cm×101cm (深さ) 15cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明だが、第23・24・31号土坑と堆積状況が似ていることから平安時代の遺構の可能性はある。

第46号土坑

遺構 (図55)

(位置) 第16号住居跡 (Ⅱ E 4 b 住) 床面から検出。同住居跡に伴う可能性がある。

(平面形) 円形 (規模) 63cm (深さ) 20cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明だが検出状況から平安時代かそれ以前の遺構と思われる。

第47号土坑

遺構 (図55、写真図版47)

(位置) 第16号住居跡 (Ⅱ E 4 b 住) 床面から検出。同住居跡に伴う可能性がある。

(埋土) 下部には黒褐色土粒混じりの粘性の強い黒色土粒を含む。

(平面形) 楕円形 (規模) 133cm×110cm (深さ) 15cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明だが検出状況から平安時代かそれ以前の遺構と思われる。

第48号土坑

遺構 (図55)

(位置) 第16号住居跡 (Ⅱ E 4 b 住) 床面から検出。同住居跡に伴う可能性がある。

(平面形) 円形 (規模) 68cm×64cm (深さ) 41cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明だが検出状況から平安時代かそれ以前の遺構と思われる。

第49号土坑

遺構 (図56、写真図版47)

(位置) Ⅱ E 4 b～Ⅱ E 4 c 区に位置する。

(埋土) 褐色土、黄褐色土混じりの黒褐色土主体。4層は木根による攪乱層か？

(平面形) 楕円形 (規模) 108cm×94cm (深さ) 13cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土していない

時期 不明である。

第50号土坑

遺構 (図56、写真図版47)

(位置) Ⅱ E 0 c 区、Ⅱ E 0 d 区、Ⅲ E 1 c 区、Ⅲ E 1 d 区の4グリッドの中間点に位置する。

(埋土) 黒色土、黒褐色土主体。埋土下部から床面に掛けて炭化材、焼土塊を含む部分がある。

(平面形) 円形 (規模) 278cm (深さ) 20cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) IV層上の粘土層を床面とする。

遺物 (図189、写真図版142)

小コンテナ0.5箱分の土師器と2個体分の須恵器の破片が出土している。295～297は酸化炎焼成の坏である。295・296には内面黒色処理が施され、297には施されていない。298は還元炎焼成の坏で焼成は良好である。299～301は酸化炎焼成の甕である。299は非ロクロ成形で内面黒色処理されており、内外面ともに口縁部にヨコナデが施されている。300・301はロクロ成形されており300はその後に内面にヘラナデ調整が施されている。302は還元炎焼成の大甕の口縁部破片である。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると考えられる。

第51号土坑

遺構 (図56、写真図版48)

(位置) II E O d 区に位置し、第160号陥し穴を切る。

(埋土) 褐色土を含む黒褐色土主体。

(平面形) 円形 (規模) 66cm (深さ) 37cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) III層下の粘土層及び第160号陥し穴埋土。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第52号土坑

遺構 (図56)

(位置) 第17号住居跡 (II E 6 b 住) 2号カマド袖部下から検出。

(埋土) 締まりのある黒色土主体。

(平面形) 不整形円形 (規模) 77cm×64cm (深さ) 18cm

(壁) 緩く外傾して立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 検出状況から平安時代かそれ以前の土坑であると思われる。

第53号土坑

遺構 (図56、写真図版48)

(位置) II B 6 f 区に位置する。調査区北側の道路の下からの検出である。

(埋土) 黒褐色土主体。含まれる褐色土の割合から2層に細分される。3層は 植根による攪乱層か？

(平面形) 楕円形 (規模) 100cm×93cm (深さ) 17cm

(壁) 緩く外傾して立ち上がる。(床面) III層上の粘土層を床面とする。

遺物 土師器片が数点出土した。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第54号土坑

遺構 (図56、写真図版48)

(位置) 第53号土坑と同様ⅡB6f区に位置する。

(埋土) 上部は黒色土、下部は暗褐色土主体。下部に入るに従って褐色土の割合が増える。

(平面形) 楕円形 (規模) 119cm×83cm (深さ) 39cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。部分的にⅣb層を床面としている。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第55号土坑

遺構 (図56、写真図版48)

(位置) ⅡC1c区に位置する。第28号居跡の南壁を切る。よって本遺構の方が新しい。

(埋土) 黒色土主体。焼土ブロックを含む。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 72cm×67cm (深さ) 33cm

(壁) 直立気味に立ち上がる。(床面) Ⅲ層上の粘土層を床面とする。

遺物 酸化炎焼成の内面黒色処理されない土師器坏の破片が数点出土している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第56号土坑

遺構 (図56、写真図版49)

(位置) ⅡC2e区～ⅡC3e区の2グリッドの中間点に位置する。

(埋土) 上部が削平され、下層の黒褐色土のみ残存する。

(平面形) 円形 (規模) 径90cm (深さ) 6cm

(壁) 残存する部分は外傾して立ち上がる。(床面) Ⅳ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第57号土坑

遺構 (図57、写真図版49)

(位置) ⅡC3e区～ⅡC4e区に位置する。第6号溝跡に北端上部を切られる。

(埋土) 黒褐色土主体。含まれるにぶい黄褐色土の割合によって6層に細分される。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示す。

(平面形) 楕円形 (規模) 285cm×185cm (深さ) 60cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅳa層上の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第58号土坑

遺構 (図57、写真図版49)

(位置) II C 3 f 区～II C 4 f 区の2グリッドの中間点に位置する。

(埋土) 上部が削平され、下層の黒色土のみ残存する。

(平面形) 楕円形 (規模) 150cm×104cm (深さ) 11cm

(壁) 残存する部分は緩やかに外傾し立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第59号土坑

遺構 (図57、写真図版49)

(位置) II C 4 g 区内北西部に位置する。

(埋土) 上部が削平され、下層の黒褐色土のみ残存する。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 66cm×62cm (深さ) 11cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第60号土坑

遺構 (図57、写真図版50)

(位置) II C 8 h 区の柱穴群内に位置する。

(埋土) 上部が削平され、下層の黒褐色土のみ残存する。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 径57cm (深さ) 10cm

(壁) 残存する部分は緩く外傾して立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 酸化炎焼成の坏の破片が数点出土している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構であると思われる。

第61号土坑

遺構 (図57、写真図版50)

(位置) 99年度調査区最南端であるII D 7 c 区に位置する。

(埋土) 黒色土・黒褐色土主体だが、埋土中に固く締まったにぶい黄褐色土が入る。

(平面形) 不整形円形 (規模) 291cm×248cm (深さ) 39cm

(壁) 緩く外傾して立ち上がる。(床面) IV a 層下の粘土層を床面とする。

(柱穴) 土坑の壁面やその周辺から十数基の柱穴が検出された。配列が不規則であることなどから遺構に伴うかどうかは不明である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第62号土坑

遺構 (図57、写真図版50)

(位置) 飛び地であるⅡA8e区に位置する。Ⅲ層上面から検出。円形にプランが見えた。

(埋土) 黒色土ににぶい黄褐色土ブロックを混入する。

(平面形) ほぼ円形(規模) 径85cm(深さ) 23cm

(壁) 緩く外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第63号土坑

遺構 (図58、写真図版51)

(位置) ⅡC8i区に位置する。第9号溝跡に伴うと思われる土坑である。

(埋土) 上部は黒褐色土主体、中部に水の作用を受け変色したと思われる灰黄褐色土が入る。最下層は黒褐色土と砂質の灰黄褐色土の混土が入る。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示している。

(平面形) ほぼ円形(規模) 320cm×318cm(深さ) 61cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅲ層下の粘土層を床面とする。

(その他) 本遺構は豊富に湧水することから井戸跡であると思われるが、溝が本遺構から遠ざかるに従って標高が高くなっていることから、その用途はため池である可能性もある。

遺物 (図57、写真図版49)

304・305は土坑埋土から出土した酸化炎焼成の坏である。流れ込みによるものか?

本遺構に伴うと思われる溝跡に柱材が数本残存している。(詳細は第9号溝跡の欄に記載)

時期 出土した柱材の年代から近・現代の遺構であると思われる。

第64号土坑

遺構 (図58、写真図版50)

(位置) ⅡC6f区・ⅡC7f区・ⅡC6g区・ⅡC7g区の4グリッドにまたがる形で存在する。また、第30号住居跡の北東部を切っていたと思われる。

(埋土) 上部・下部は黒褐色土主体。中部に水の作用を受け変色した褐灰色が入る。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示す。

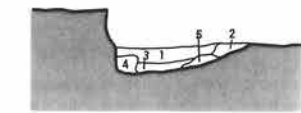
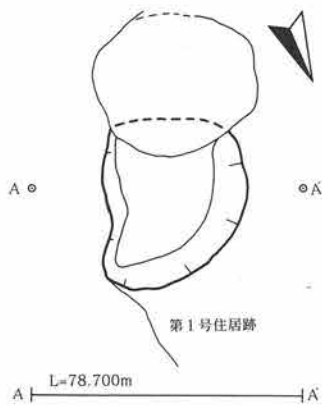
(平面形) 楕円形であったと思われる。(規模) 592cm×538cm(深さ) 85cm

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) Ⅳc層の砂層を底面とする。

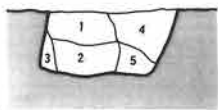
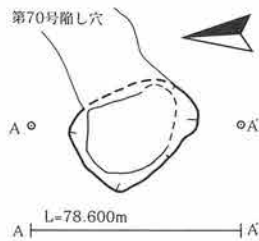
(その他) 本遺構は豊富に湧水すること、本遺構に伴うと思われる溝跡が数本検出されていることから井戸跡である可能性がある。

遺物 本遺構に伴うと思われる柱穴群に柱材が数本残存している。

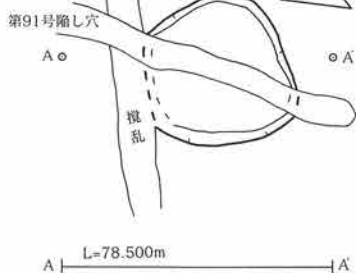
時期 出土した柱材の年代から近・現代の遺構であると思われる。



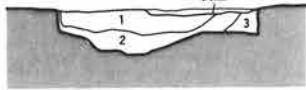
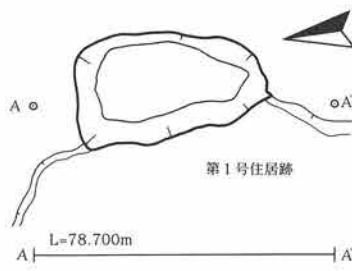
- (第1号土坑)
1. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。焼土粒をこくわずかに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。黒色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
 5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



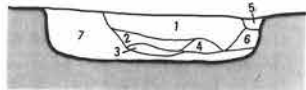
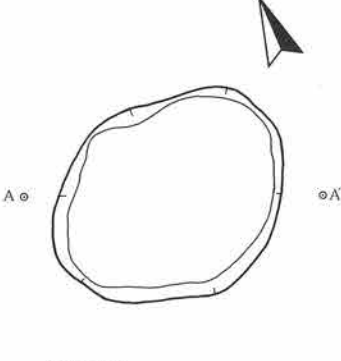
- (第4号土坑)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土小ブロックをこくわずかに含む。



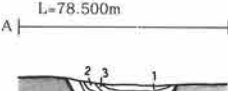
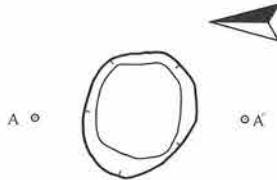
- (第7号土坑)
1. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 汚れた地山層?
 2. 10YR3/3 黒褐色 シルト にぶい黄褐色粒をまばらに含む。焼土ブロックをわずかに含む。



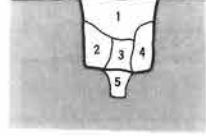
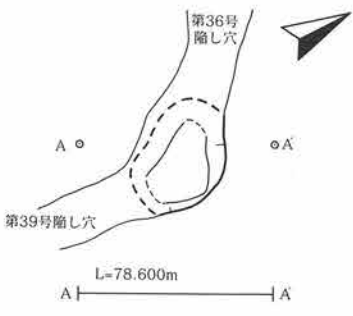
- (第2号土坑)
1. 10YR1.7/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
 2. 10YR1.7/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。



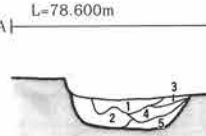
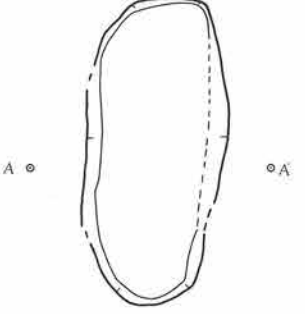
- (第5号土坑)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土、褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土との混土。黄褐色土ブロックを全体に含む。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックを含む。
 5. 10YR3/4 暗褐色 シルト Ⅱ層との混土。固く締まる。
 6. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 7. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックを全体に含む。



- (第6号土坑)
1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色、褐色土小ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土をまばらに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックを全体に含む。



- (第3号土坑)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 5. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックをまばらに含む。第36号陥し穴埋土。



- (第8号土坑)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土をこくわずかに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR6/6 明黄褐色 シルト 焼土。黒褐色土粒をまばらに含む。
 4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
 5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト。
 6. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。

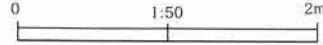
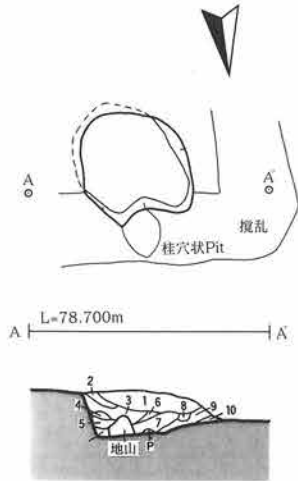
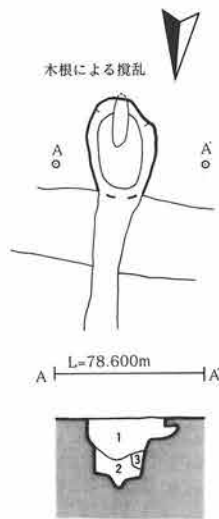


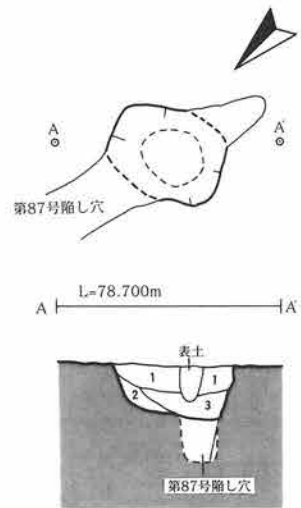
図50 土坑(1)



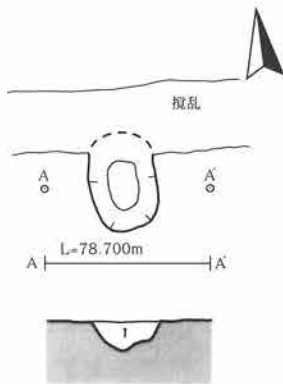
- (第9号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒を全体に含む。
 2. 7.5YR4/4 褐色 シルト 黒色土との混土。
 3. 10YR1.7/1 黒色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色土、褐色土との混土。
 5. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒、焼土ブロックをわずかに含む。
 6. 10YR1.7/1 黒色 シルト 焼土粒、焼土ブロックをまばらに含む。
 7. 10YR1.7/1 黒色 シルト 焼土粒、黄褐色土ブロックをわずかに含む。
 8. 5YR5/4 にぶい褐色 粘土質シルト 焼土ブロック、黒色土ブロックを含む。
 9. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 焼土粒を全体に含む。
 10. 10YR2/1 黒色 シルト 焼土粒をこくわずかに含む。



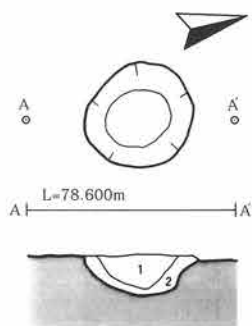
- (第10号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色粒をまばらに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。



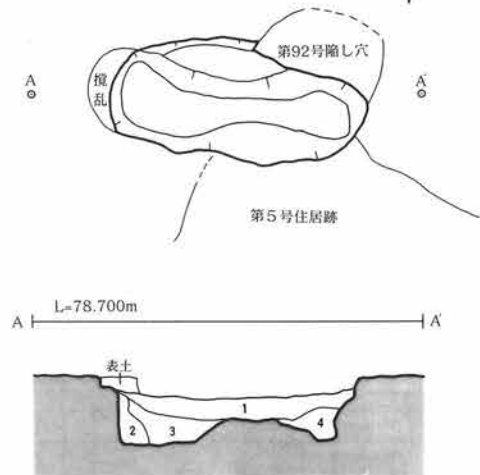
- (第11号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色ブロックをまばらに含む。



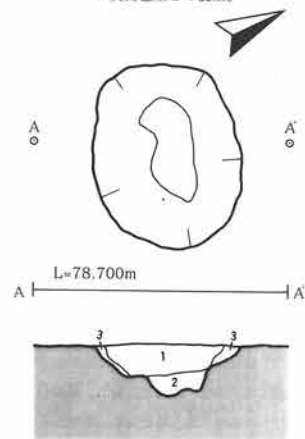
- (第12号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。



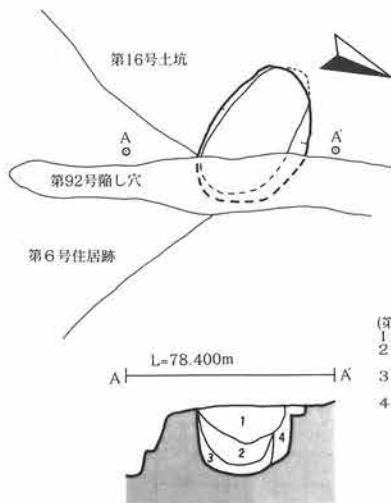
- (第13号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色小ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



- (第14号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
 2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。



- (第15号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土と黒褐色土との混土。



- (第16号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 4. 10YR3/4 暗褐色 シルト 黒褐色土、褐色土との混土。

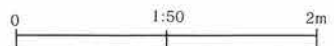


図51 土坑(2)

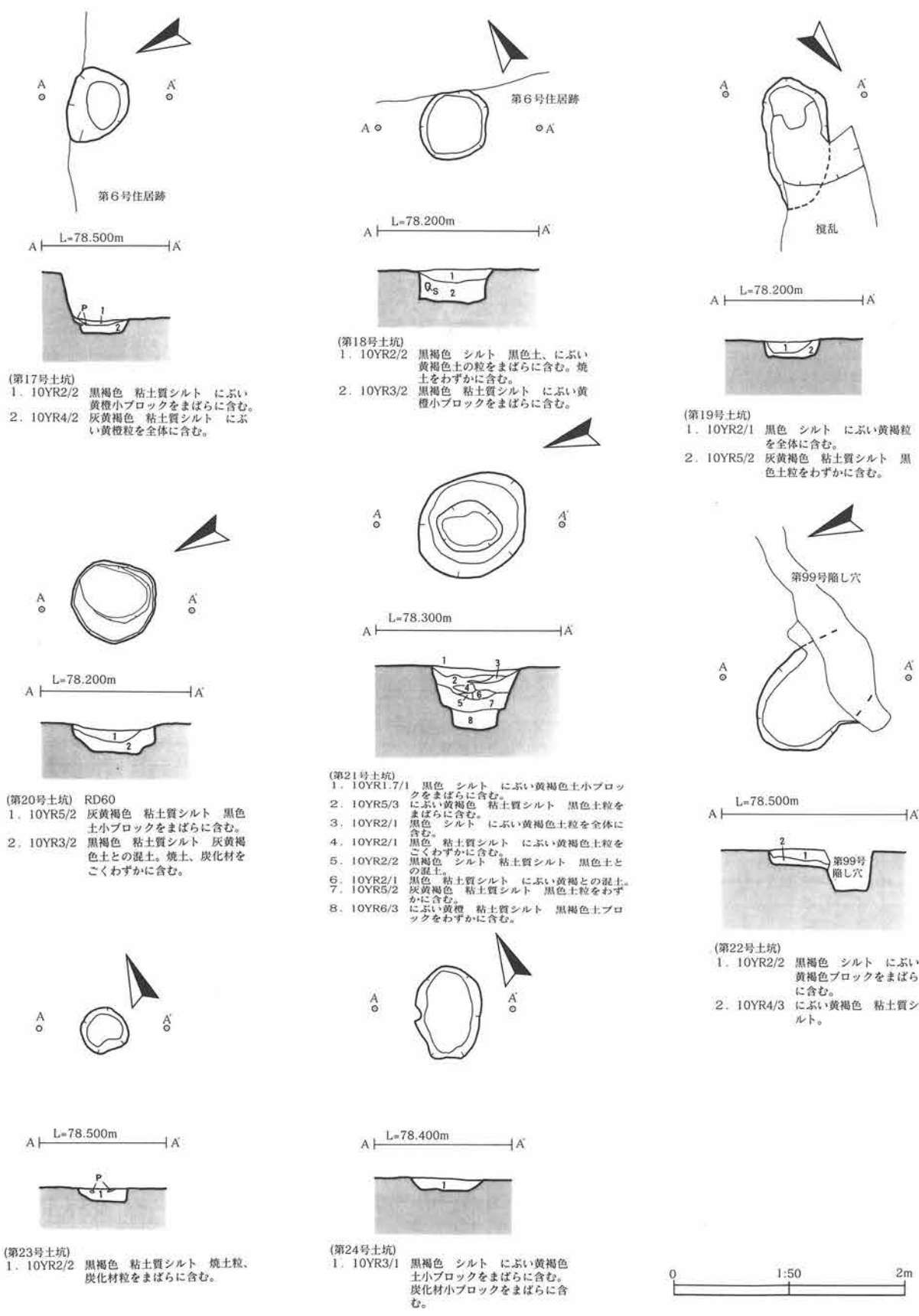
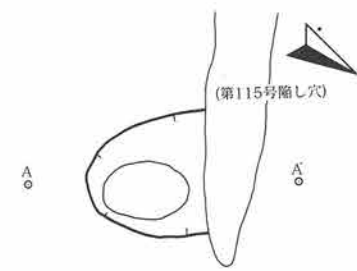
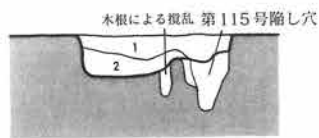


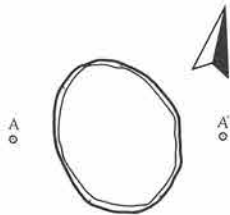
図52 土坑(3)



L=78.400m



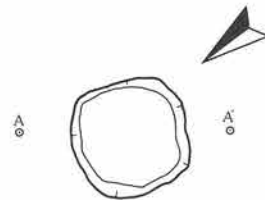
- (第25号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。



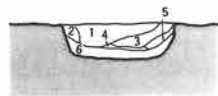
L=78.200m



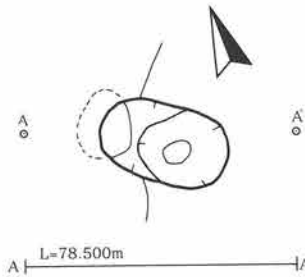
- (第28号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
 2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



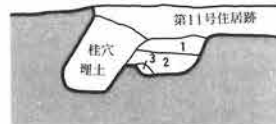
L=77.600m



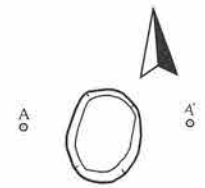
- (第31号土坑)
 1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 焼土粒をまばらに含む。
 2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 焼土粒を全体に含む。
 3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 4. 10YR1.7/1 黒色 シルト 焼土粒をわずかに含む。
 5. 10YR2/3 黒褐色 シルト 焼土粒を全体に含む。
 6. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。



L=78.500m



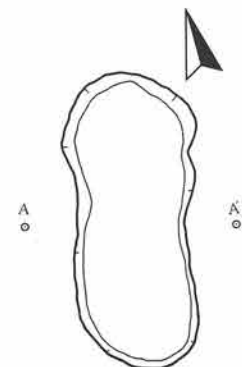
- (第26号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックを全体に含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト。



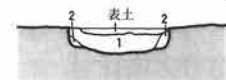
L=78.900m



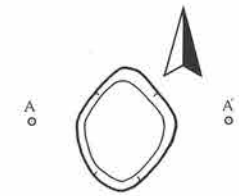
- (第29号土坑)
 1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。



L=78.000m



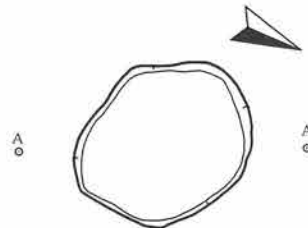
- (第32号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 焼土ブロックをわずかに含む。
 2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



L=78.300m



- (第27号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



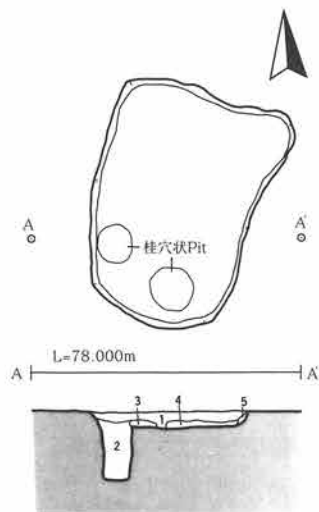
L=78.000m



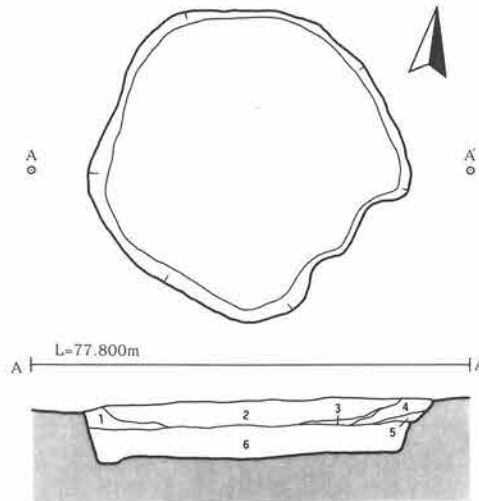
- (第30号土坑)
 1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。

0 1:50 2m

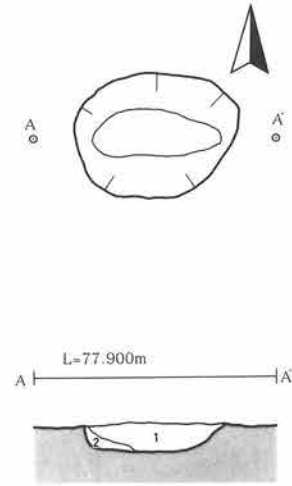
図53 土坑(4)



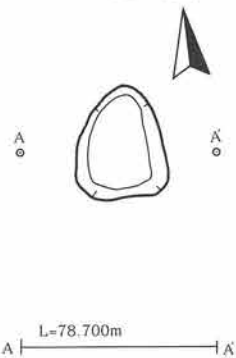
- (第33号土坑)
 1. 10YR2/1 黑色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 3. 10YR5/3 にぶい黄褐色をまばらに含む。黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土との混土。



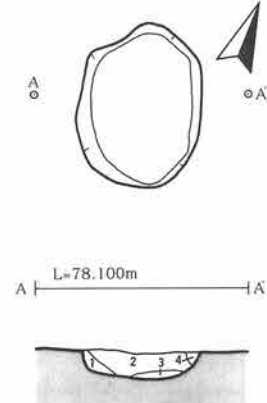
- (第34号土坑)
 1. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをわずかに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 シルト
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色粒をまばらに含む。
 5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 汚れた地山層?



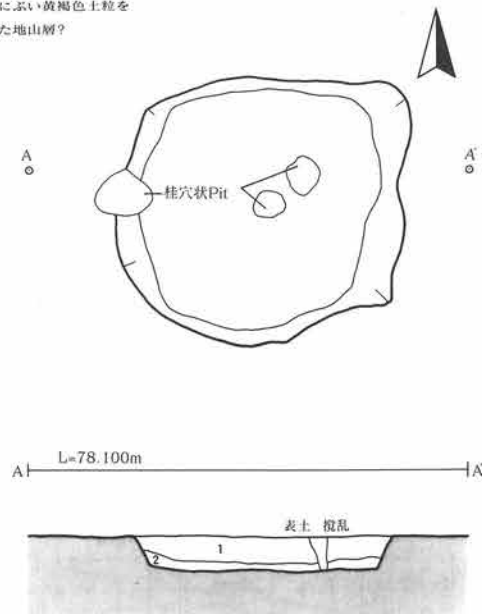
- (第35号土坑)
 1. 10YR2/1 黑色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



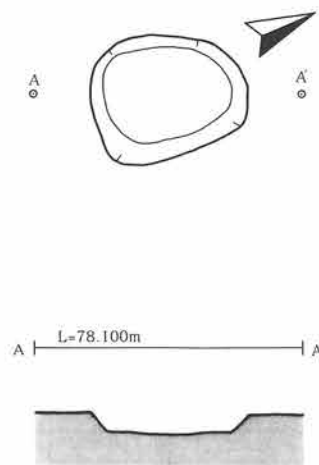
- (第36号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。



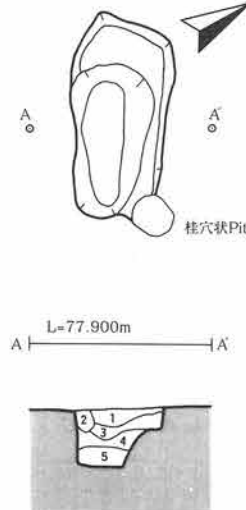
- (第37号土坑)
 1. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR2/1 黑色 シルト にぶい黄褐色土小ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土との混土。
 4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒を全体に含む。



- (第38号土坑)
 1. 10YR2/1 黑色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。



(第39号土坑)
 断面注記なし。



- (第40号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土小ブロックを全体に含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色小ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 明褐色土粒をまばらに含む。
 5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 明褐色土粒をまばらに含む。

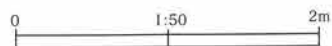
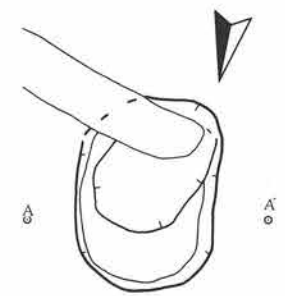
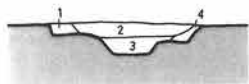


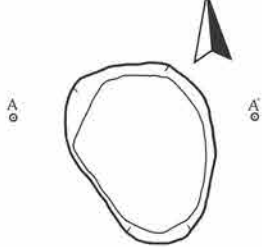
図54 土坑(5)



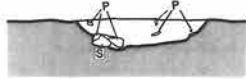
L=78.000m



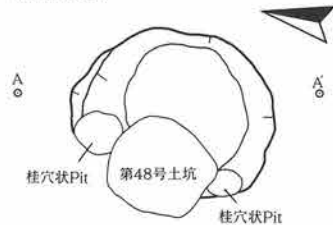
- (第41号土坑)
 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒を全体に含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色小ブロックをまばらに含む。褐色土小ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



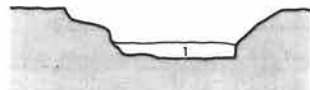
L=77.600m



(第44号土坑)
断面注記なし。



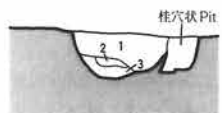
L=77.400m



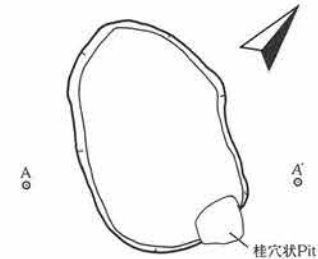
- (第47号土坑)
 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。



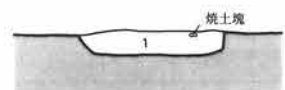
L=77.000m



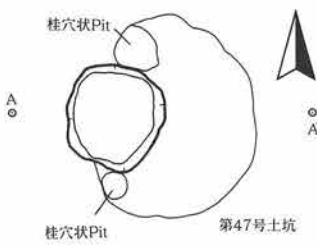
- (第42号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色粒をわずかに含む。
 3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックを全体に含む。



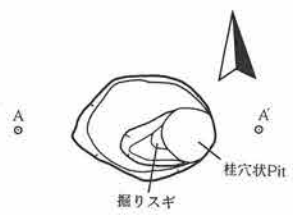
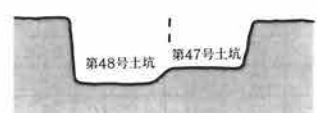
L=77.700m



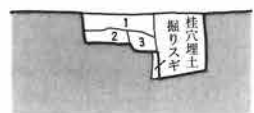
- (第45号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 炭化材まばらに含む。焼土塊を含む。



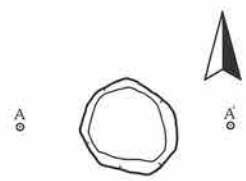
L=77.500m



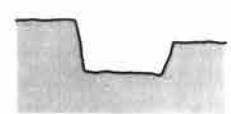
L=77.900m



- (第43号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックを全体に含む。
 3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



L=77.500m



(第46号土坑)
断面注記なし。

(第48号土坑)
断面注記なし。

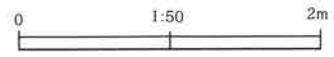
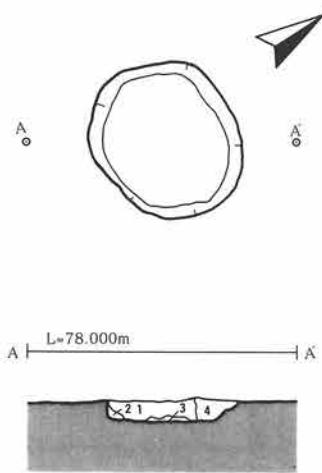
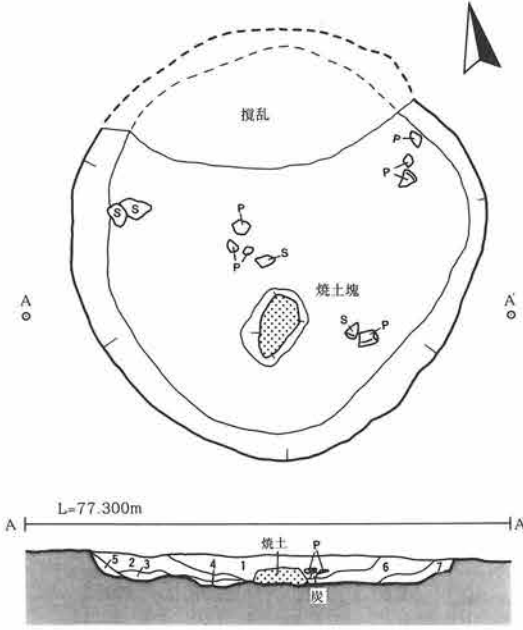


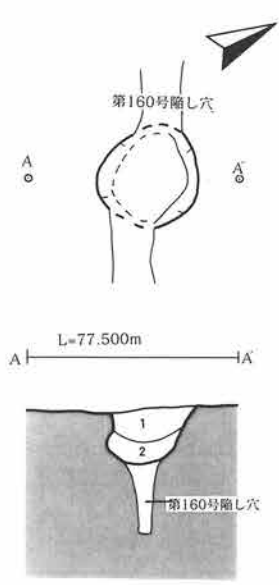
図55 土坑(6)



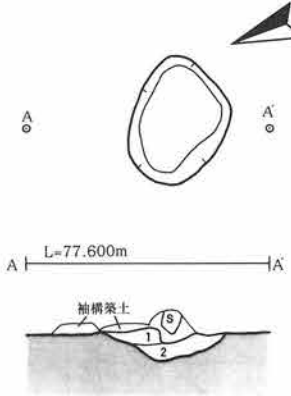
(第49号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土、黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR5/3 にぶい褐色土 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 木根による攪乱?



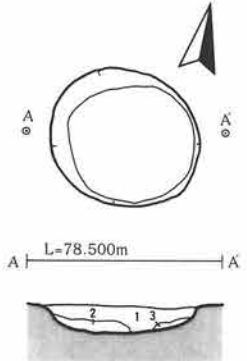
(第50号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
 3. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 炭化材をまばらに含む。
 4. 10YR2/1 黒色 シルト 炭化材をまばらに含む。
 5. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黒色土との混土。
 6. 10YR3/2 黒褐色 シルト 炭化材を含む。褐色土ブロックをわずかに含む。
 7. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。炭化材をわずかに含む。



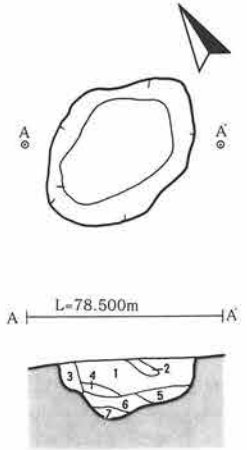
(第51号土坑)
 1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。



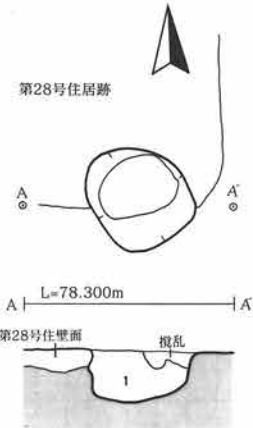
(第52号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。



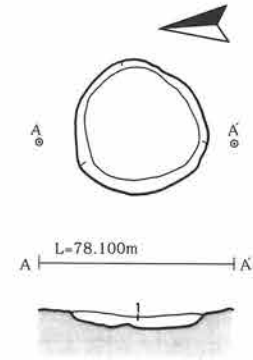
(第53号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 シルト 植根が部分的にはいる。黒褐色土粒をわずかに含む。



(第54号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 混入物ほとんどなし。
 2. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックを全体に含む。褐色土にわずかに黒色土が入る。3層に似る。黒色土の割合がや多い。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト
 4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト
 5. 10YR2/2 黒褐色 シルト 混入物ほとんどなし。
 6. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 褐色土にわずかに黒色土が入る。
 7. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。



(第55号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックを全体に、焼土ブロックをわずかに含む。



(第56号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。

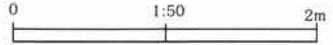
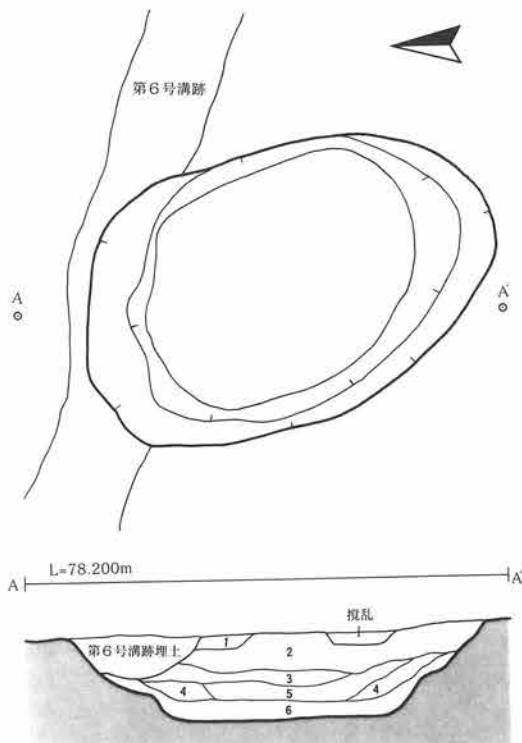
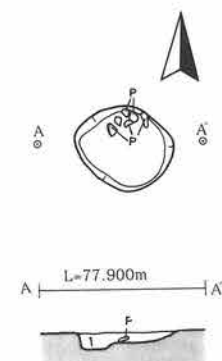


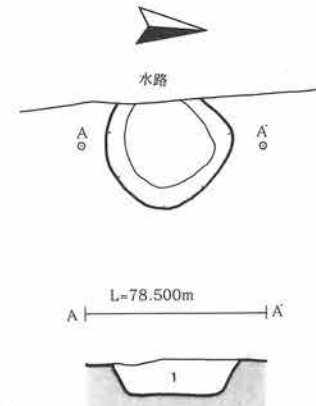
図56 土坑(7)



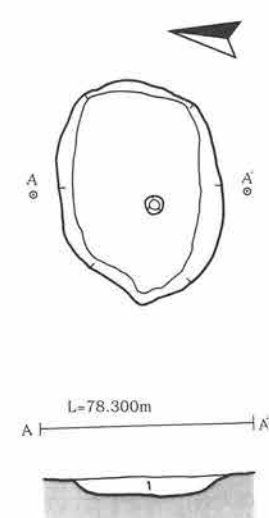
- (第57号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土ブロック、褐色土粒、炭化物粒をまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 暗褐色土との混土。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。黒色土が筋状に入る。
 5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 6. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックを全体に含む。



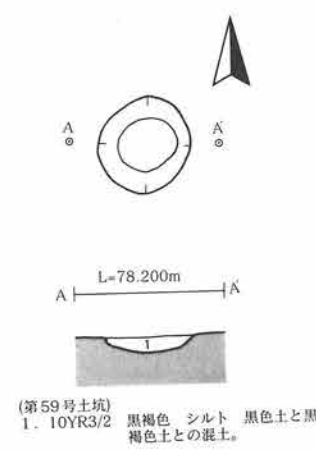
- (第60号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト褐色土ブロックをまばらに含む。



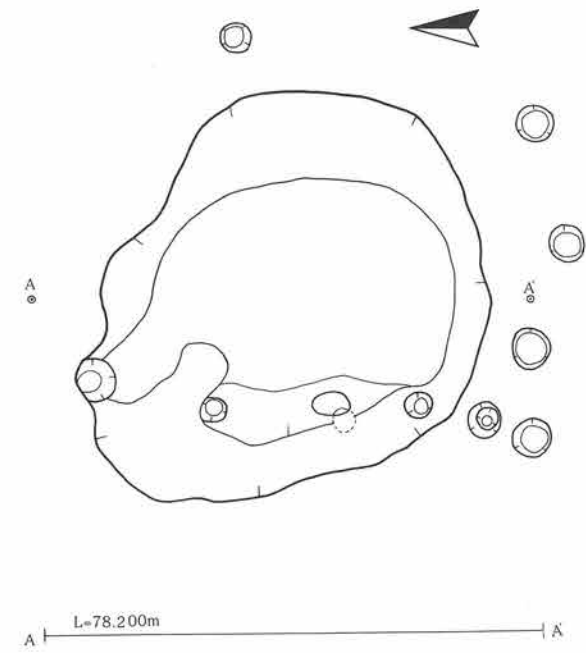
- (第62号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。下層はその割合が増える。壁面土は暗褐色土でクライ化している。



- (第58号土坑)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。



- (第59号土坑)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土と黒褐色土との混土。



- (第61号土坑)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。固く締まる。
 3. 10YR2/3 黒褐色 シルト 1層に似る。褐色土の割合少ない。
 4. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 5. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土、赤褐色土ブロックをまばらに含む。

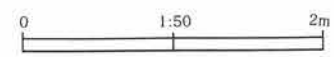
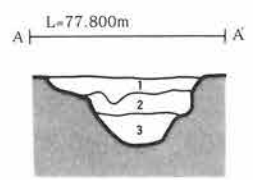
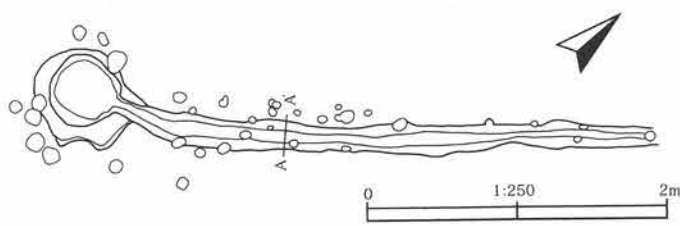
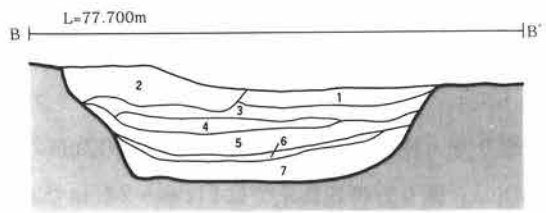
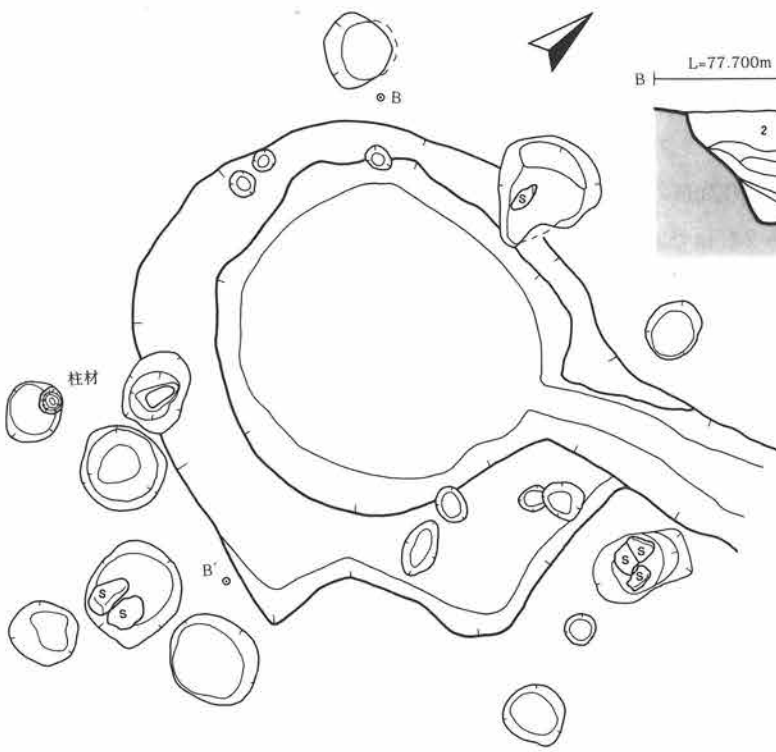


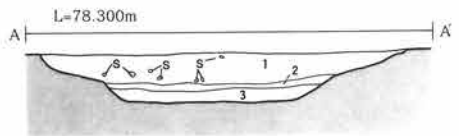
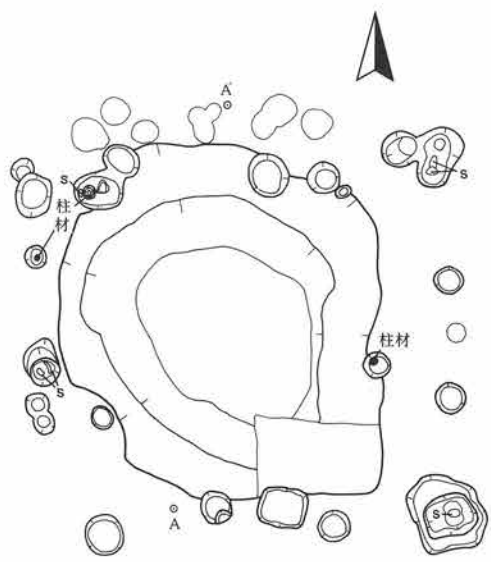
図57 土坑(8)



- 第9号溝跡
1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 赤褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。褐灰色の砂粒を含む。



- (第63号土坑)
1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 径5mm程度の小礫を全体に含む。
 3. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 褐色土粒をこくわずかに含む。
 5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 水的作用を受け変色している。
 6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
 7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 5層に似る。黒褐色土粒がまばらに入る。



- (第64号土坑)
1. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 褐色土粒、粒径30mm程度の礫をまばらに含む。
 2. 10YR4/1 褐灰色 粘土質シルト 5Y5/1灰色土ブロックを全体に含む。
 3. 10YR2/1 黒褐色 粘土質シルト 5Y5/1灰色土ブロックをまばらに含む。

図58 土坑(9)・溝跡(1)

4. 掘立柱建物跡と出土遺物

遺構 (図59、写真図版35)

(位置) II C 1 a区、II C 1 b区、II C 2 a区、II C 2 b区の4グリッドにわたって配置されている。

(規模・構造・方向) 北北東—南南西5.15m 2間、西北西—東南東4.05m 2間の規模をもち、建物方向はN—14°—Eである。

(柱位置・柱間) 柱位置は矩形に配置されている。柱間はP 1—P 2 : 2.25m、P 2—P 3 : 2.01m、P 3—P 4 : 2.80m、P 4—P 5 : 2.32m、P 5—P 6 : 2.18m、P 6—P 7 : 1.91m、P 7—P 8 : 2.65m、P 8—P 1 : 2.35mで多少ばらつきがある。

(掘り方・柱痕) 掘り方は径48cm~102cmの隅丸方形または隅丸長方形を呈し、深さは、柱痕が22cm~40cm、掘り方の底面までは11cm~24cmである。埋土は締まりのある黒色土・黒褐色土とにぶい黄褐色土との混土である。

遺物 P 1の埋土上位から土師器片が数点出土した。

時期 出土遺物から平安時代の建物跡である可能性が高い。

PNO.	掘り方径	深さ	柱痕径	PNO.	掘り方径	深さ	柱痕径
1	74×72	38	20×17	5	64×63	33	26×23
2	92×82	37	47×42	6	67×53	40	27×26
3	71×68	22	40×37	7	71×60	30	26×22
4	102×65	25	42×41	8	48×46	11	

規模は、両端柱穴の柱痕の中心を、柱痕が不明なものは掘り方の底部の中央を計測している。また、「深さ」は、検出面から柱痕の底面までを計測した値である。

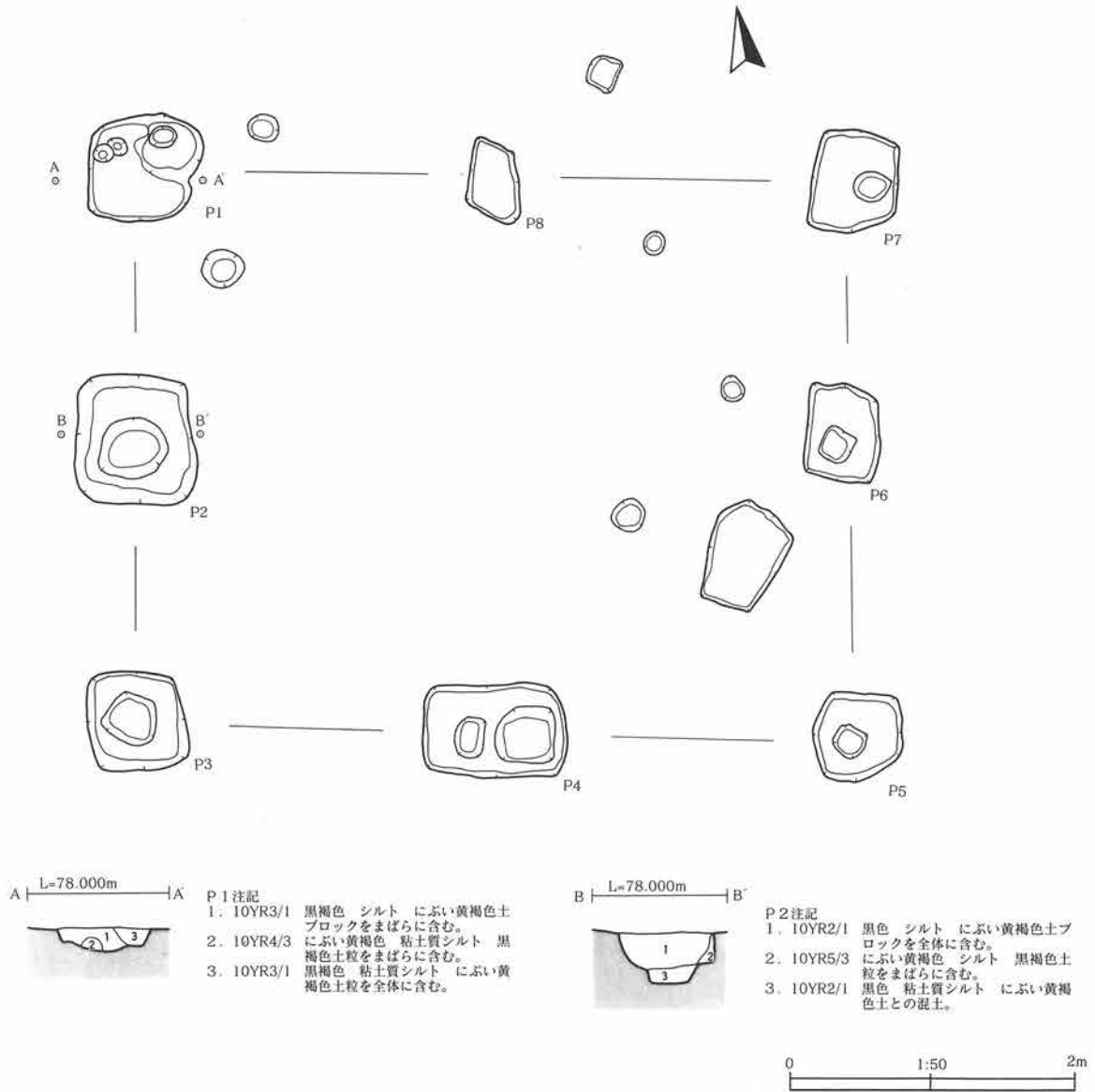
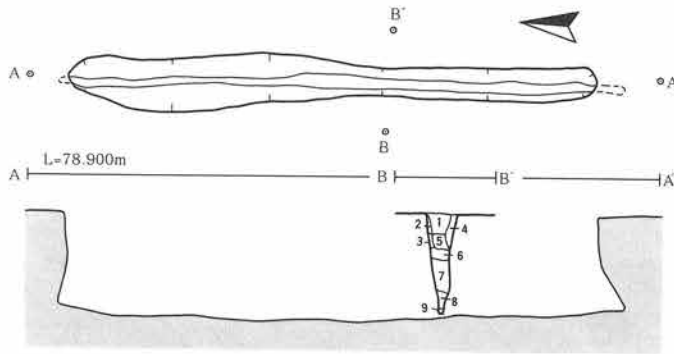


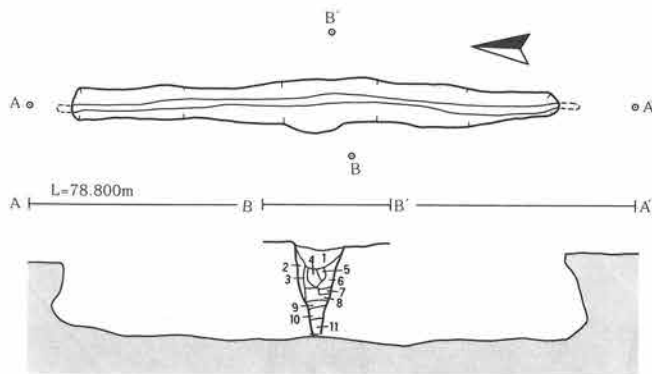
図59 掘立柱建物跡

5. 陥し穴状遺構と出土遺物



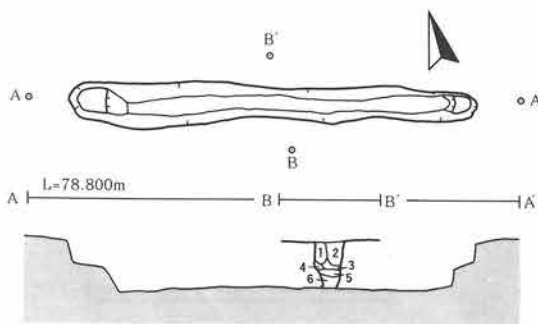
(第1号陥し穴)

1. 10YR1.7/1 黒色 シルト 明褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。2層に似る。
5. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。
7. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
8. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
9. 10YR1.7/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。



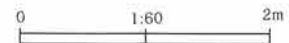
(第2号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 地山との混土。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色粒をわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色粒をまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色粒をわずかに含む。3層に似る。
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。2層に似る。
7. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土と地山との混土。
8. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
9. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 黄褐色土粒をわずかに含む。
10. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒・暗赤褐色土粒を含む。
11. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらにふくむ。



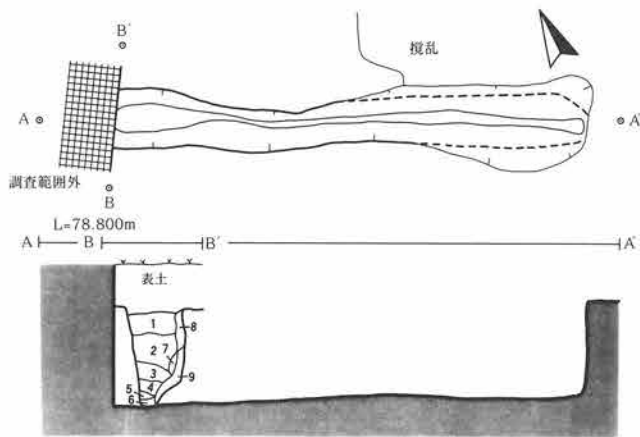
(第3号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 暗赤褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR3/1 黒褐色 シルト 灰黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
6. 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト 灰黄褐色土ブロックをまばらに含む。



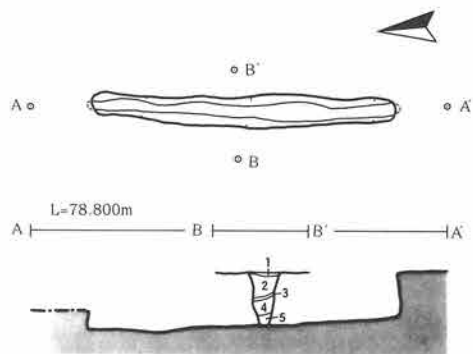
遺構名	第1号陥し穴	第2号陥し穴	第3号陥し穴	
写真図版	52	52	52	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	416×32cm	394×30cm	324×24cm
	底部径	445×9cm	415×6cm	255×11cm
	深さ	83cm	69cm	37cm
長軸方向	N-5° -W	N-3° -W	N-75° -W	
埋土	上部は黒色土。中部はにぶい黄褐色土。下部に粘性の強い黒色土が入る。	上部~中部に黒色土・黒褐色土、中部~下部ににぶい黄褐色土、下部に粘性の強い黒色土が入る。	黒褐色土主体、下部の5、6層は砂粒が入る。	
底面	ほぼ平坦	ほぼ平坦	両端に段差あり	
分類	AⅢ2	AⅢ2	A12	

図60 陥し穴状遺構(1)



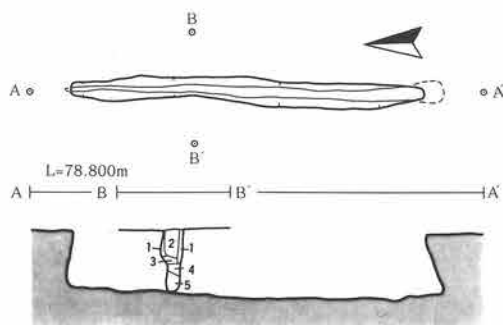
(第4号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土との混土。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色粒・黄褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 砂粒をわずかに含む。
7. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黄褐色土との混土。
8. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
9. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。



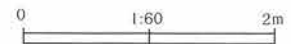
(第5号陥し穴)

1. 10YR3/1 黒褐色 シルト 黒色ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックを全体に含む。



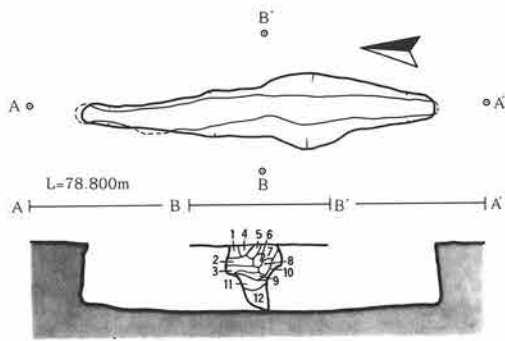
(第6号陥し穴)

1. 10YR3/1 黒褐色 シルト 暗褐色土との混土。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黒色土ブロックを含む。締まり強。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 灰黄褐色土を若干含む。
4. 10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土との混土。
5. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。

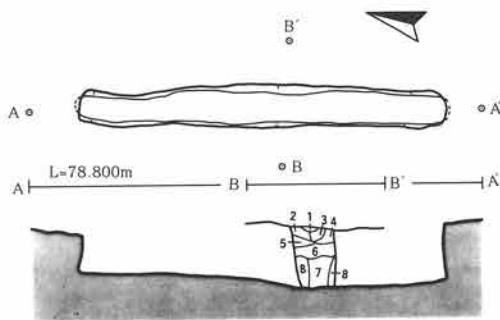


遺構名	第4号陥し穴	第5号陥し穴	第6号陥し穴
写真図版	52	52	53
検出状況 重複関係			
形平面形	溝状	溝状	溝状
状断面形	(縦) 長方形? (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状
規模	開口部径	400cm前後×32cm	239×22cm
	底部径	380cm前後×9cm	248×10cm
	深さ	75cm	40cm
長軸方向	N-63° -W	N-5° -E	N-2° -E
埋土	黒褐色土とにぶい黄褐色土が交互に入る。最下層は粘性の強い黒褐色土。	黒色土と黒褐色土主体。にぶい黄褐色土はほとんど入っていない。	上部は黒褐色土、中部ににぶい黄褐色土、最下層に粘性の強い黒色土が入る。
底面	ほぼ平坦	北方向へ微傾斜	ほぼ平坦
分類	A?2	AⅢ2	AⅢ2

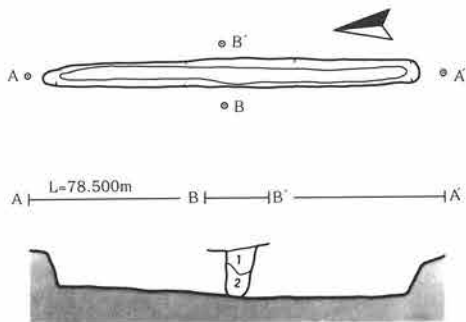
図61 陥し穴状遺構(2)



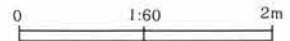
- (第7号陥し穴)
1. 10YR4/3 ぶい黄褐色 シルト。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土をまばらに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色土をまばらに含む。
 5. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土小ブロックをわずかに含む。
 6. 10YR2/1 黒色 シルト ぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 7. 10YR3/1 黒褐色 シルト 褐色土との混土。
 8. 10YR3/1 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 9. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土とぶい黄褐色土との混土。
 10. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土ブロックを全体に含む。
 11. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
 12. 10YR4/3 ぶい黄褐色 砂質シルト 黒褐色土との混土。地山層?



- (第8号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト ぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
 4. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
 5. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 暗赤褐色土粒をわずかに含む。
 6. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
 7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト ぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 8. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。

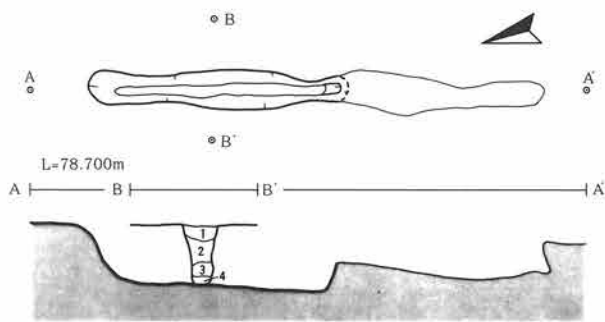


- (第9号陥し穴)
1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
1層より暗い。



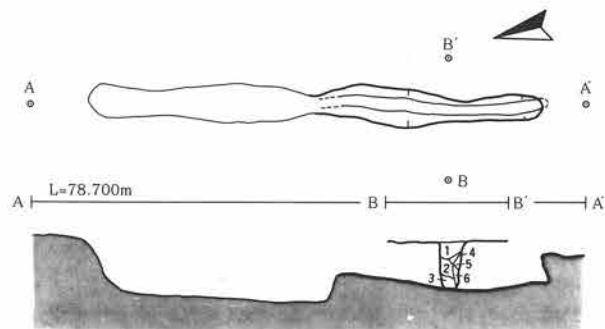
遺構名	第7号陥し穴	第8号陥し穴	第9号陥し穴
写真図版	53	53	53
検出状況 重複関係			攪乱部除去後検出。
形状	平面形	溝状	溝状
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状?	(縦) 台形 (横) U字状
	開口部径	278×25cm	290×29cm
	底部径	285×13cm	296×24cm
	深さ	51cm	44cm
長軸方向	N-8° -W	N-15° -W	N-4° -E
埋土	崩落土あり。上部は黒褐色土主体、中部から下部にかけて黒褐色土と灰黄褐色土の混土が入る。	上部は黒色土、黒褐色土主体。中部にぶい黄褐色土が最下層に粘性の強い黒色土が入る。	粘性の強い黒褐色土が主体。下部のみ残存か?
底面	平坦	ほぼ平坦	南方向に微傾斜
分類	AⅢ2?	AⅢ3	A13

図62 陥し穴状遺構(3)



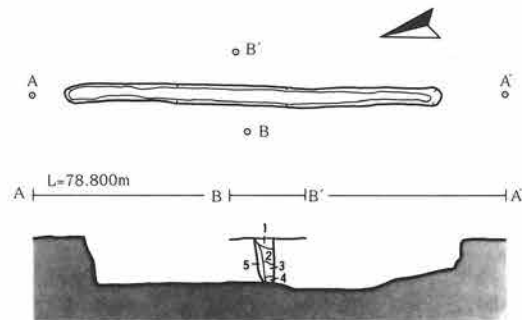
(第10号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土との混土。黒褐色土の割合多い。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。割合ほぼ同じ。
4. 10YR1.7/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。



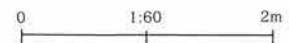
(第11号陥し穴)

1. 10YR3/3 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色に灰黄褐色土小ブロックを含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土小ブロックを含む。地山層?
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。地山層。



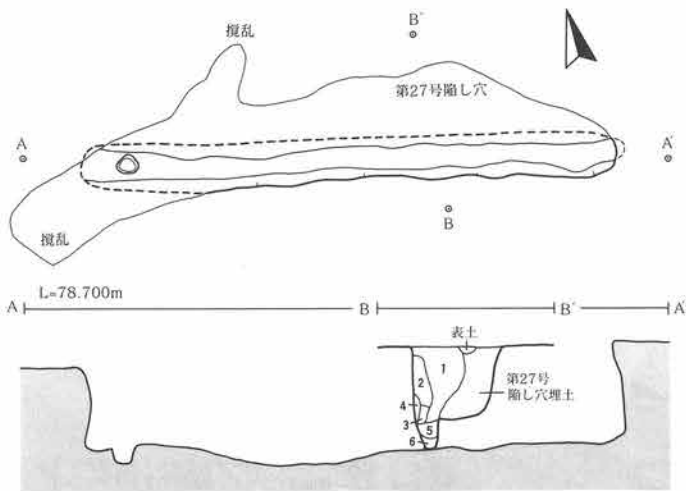
(第12号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黒色ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色粒をまばらに含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。



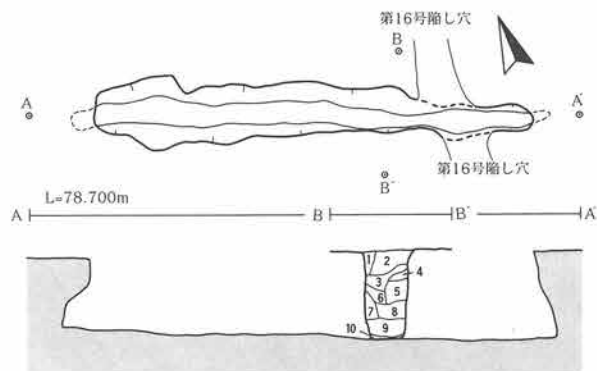
遺構名	第10号陥し穴	第11号陥し穴	第12号陥し穴	
写真図版	53	54	54	
検出状況	第11号陥し穴と南端が重複。	第10号陥し穴と北端が重複。		
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) U字状
規模	開口部径	201×55cm	(不明)×19cm	300×15cm
	底部径	168×11cm	(不明)×10cm	285×10cm
	深さ	48cm	33cm	35cm
長軸方向	N-17°-E	N-18°-E	N-15°-E	
埋土	上部黒褐色土、中部にぶい黄褐色土が、最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上部は暗褐色土、中部～下部に黒色土を含んだにぶい黄褐色土が入る。上位から縄文土器深鉢の胴部破片(309)出土。	上部～中部は黒褐色土主体。最下層に黒褐色土を含んだにぶい黄褐色土が入る。	
底面	南南西方向に微傾斜。	南南西方向にややせり上がる。	南南西端がせり上がる。	
分類	A12	A113	A13	

図63 陥し穴状遺構(4)



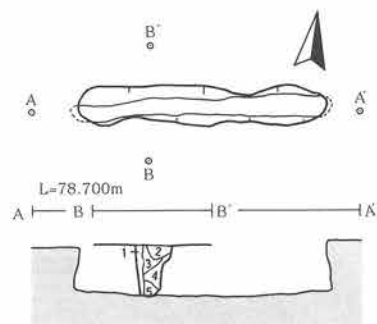
(第13号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



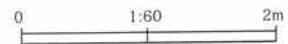
(第14号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色粒をこくわずか含む。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずか含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 黄褐色土と黒褐色土との混土。黄褐色土の割合多い。
7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色粒をわずかに含む。
8. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土、黄褐色土ブロックをわずかに含む。
9. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
10. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。



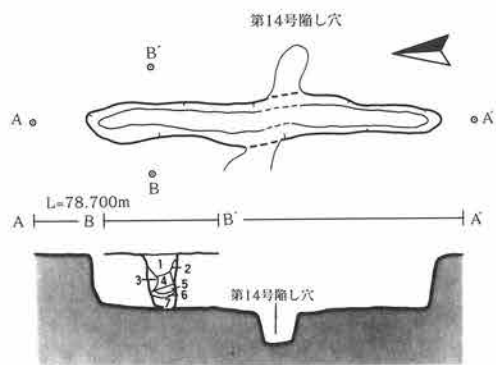
(第15号陥し穴)

1. 10YR3/3 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色粒を全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。



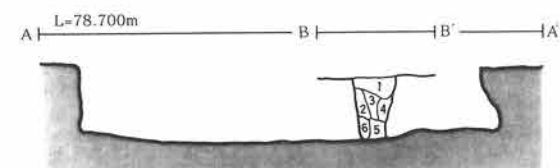
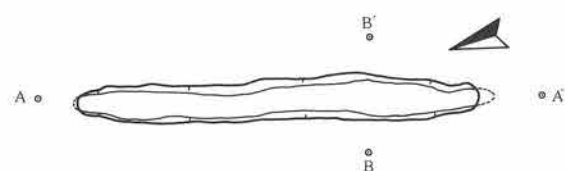
遺構名	第13号陥し穴	第14号陥し穴	第15号陥し穴	
写真図版	54	54	54	
検重複関係	第27号陥し穴を本遺構が切っている。	第16号陥し穴と重複。		
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) V字状
規模	開口部径	420前後×35cm	351×40cm	195×28cm
	底部径	430×12cm	379×30cm	206×14cm
	深さ	78cm	68cm	40cm
長軸方向	N-77° -W	N-66° -W	N-82° -E	
埋土	黒色土主体。南側に崩落土と思われる混土が入る。最下層は粘性が強い。	上部に黒褐色土と黄褐色土。その下に黒褐色土とにぶい黄褐色土が交互に入る。最下層は黒褐色土。	上部ににぶい黄褐色土。中部に黒褐色土が入る。最下層は粘性の強い黒褐色土。	
底面	多少凸凹がある。	ほぼ平坦	平坦	
分類	AⅢ2	AⅢ3	AⅢ2	

図64 陥し穴状遺構(5)



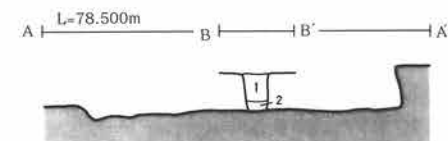
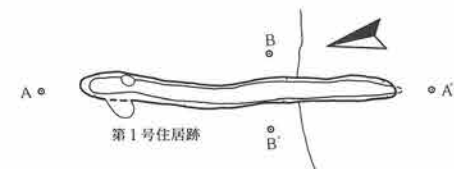
(第16号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色粒を全体に含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色粒を全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土との混土。
4. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
6. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。



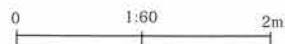
(第17号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土ブロックを全体に含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土と黄褐色土との混土。黄褐色土の割合多い。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒を全体に含む。
6. 10YR3/3 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



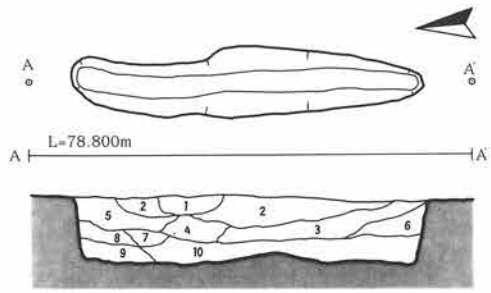
(第18号陥し穴)

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。

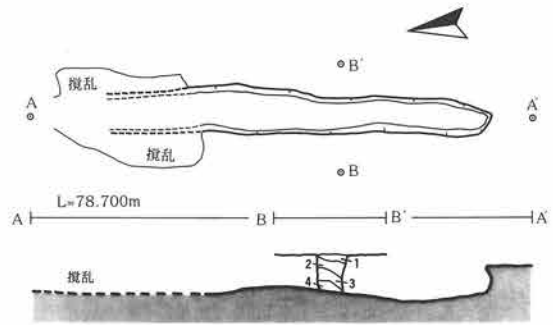


遺構名	第16号陥し穴	第17号陥し穴	第18号陥し穴	
写真図版	55	55	55	
検出状況 重複関係	第14号陥し穴と重複。			
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) U字状
規模	開口部径	280×24cm	318×35cm	250×19cm
	底部径	260×14cm	335×27cm	255×13cm
	深さ	41cm	52cm	31cm
長軸方向	N-4°-E	N-4°-E	N-14°-E	
埋土	黒褐色土主体。にぶい黄褐色土を含む層が交互に入る。	上・下部は黒褐色土。にぶい黄褐色土主体だが、いずれの層も混土で境界がはっきりしない。	にぶい黄褐色土の下に黒褐色土が入る。上部が削平され中下部のみ残存？	
底面	両端方向にややせり上がる。	両端方向にややせり上がる。	北北東方向に緩やかに傾斜。	
分類	AⅢ3	AⅢ3	AⅢ3	

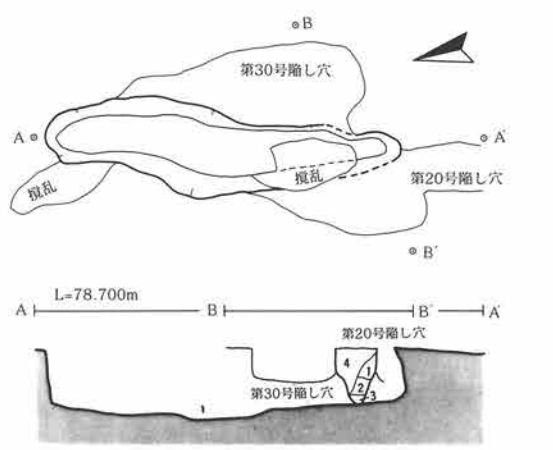
図65 陥し穴状遺構(6)



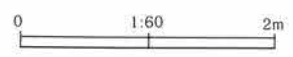
- (第19号陥し穴)
- 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。新規溝跡埋土。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR4/4 褐色 シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをわずかに含む。
 - 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。7層より暗い。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 - 10YR4/4 褐色 粘土質シルト 褐色土と黒褐色土との混土。



- (第20号陥し穴)
- 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色ブロックをまばらに含む。
 - 10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト 黒色ブロックをまばらに含む。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 赤褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。

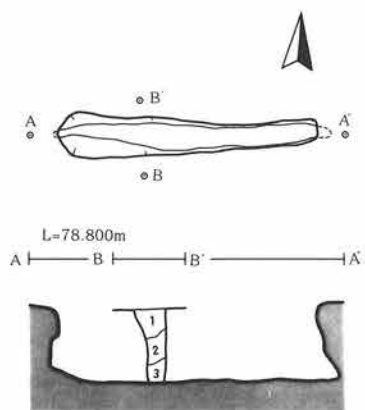


- (第21号陥し穴)
- 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。攪乱部?



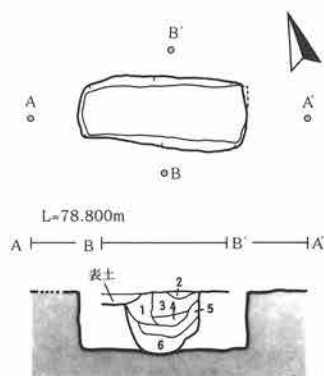
遺構名	第19号陥し穴	第20号陥し穴	第21号陥し穴	
写真図版	55	55	56	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) V字状
規模	開口部径	280×32cm	370×29cm	280×33cm
	底部径	272×15cm	(不明)×22cm	272×10cm
	深さ	55cm	29cm	45cm
長軸方向	N-4°-E	N-9°-E	N-17°-E	
埋土	上部は黒色土及び黒褐色土、中部は暗褐色土主体。下部は黒褐色土粒を含むにぶい黄褐色土。	上部に黒色土。にぶい黄褐色土をはさみ、最下層に粘性の強い灰黄褐色土が入る。	上部黒褐色土、下部に黒褐色土粒を含む。にぶい黄褐色土が入る。攪乱を受けている可能性あり。	
底面	ほぼ平坦であったと思われる。	不明	両端方向にややせり上がる。	
分類	A12	AⅢ3	AⅣ2	

図66 陥し穴状遺構(7)



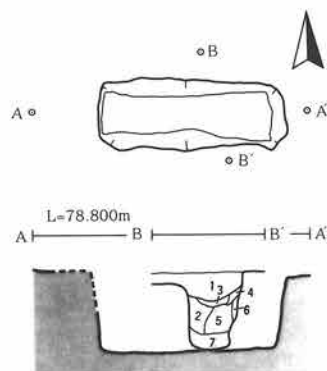
(第22号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 灰黄褐色土との混土。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
3. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。にぶい黄褐色土粒を含む。



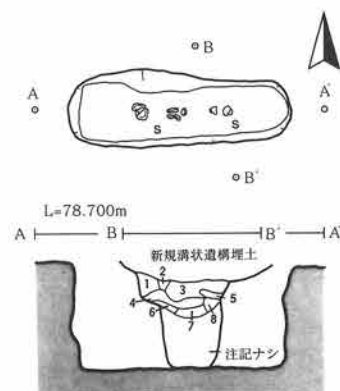
(第23号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト。
4. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土をまばらに含む。



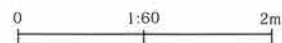
(第24号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。表土?
2. 10YR3/3 暗褐色 シルト。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 暗赤褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 シルト 灰黄褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色粒をまばらに含む。



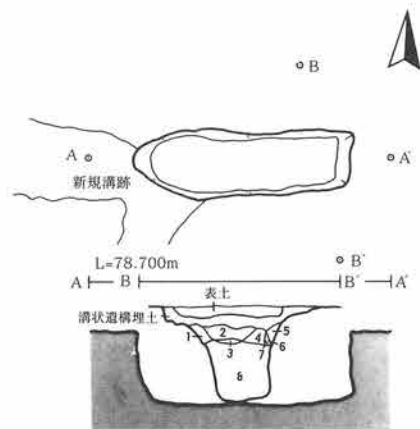
(第25号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒を含む。1層より暗い。
3. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。1層より明るい。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色ブロックをまばらに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色粒をまばらに含む。
6. 10YR1.7/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
8. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 灰黄褐色土ブロックをまばらに含む。

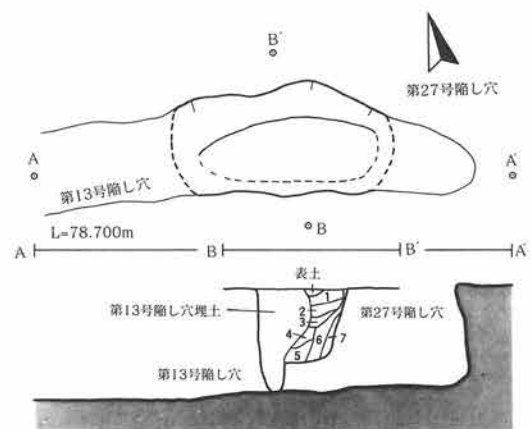


遺構名	第22号陥し穴	第23号陥し穴	第24号陥し穴	第25号陥し穴
写真図版	56	56	56	57
検出状況				
重複関係				
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 台形 (横) U字状	平面形 長方形 断面形 (縦) 長方形 (横) U字状	平面形 長方形 断面形 (縦) 逆台形 (横) U字状	平面形 長方形 断面形 (縦) 長方形 (横) U字状
規模	開口部径 206×21cm 底部径 221×16cm 深さ 58cm	開口部径 133×55cm 底部径 130×41cm 深さ 45cm	開口部径 154×55cm 底部径 136×33cm 深さ 65cm	開口部径 178×55cm 底部径 165×37cm 深さ 68cm
長軸方向	N-86°-E	N-70°-E	N-89°-E	N-90°-E
埋土	上部は黒褐色土、中部に灰黄褐色土が入り最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上部は黒色土、中部はにぶい黄褐色と黒褐色土との混土。下部に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部に黒褐色土、灰黄褐色土をはさみ下部は黒褐色土が占める。最下層は粘性が強い。	上部は黒土主体、中部以下はにぶい黄褐色をはさみ黒褐色土が入っていたと思われる。上部から深鉢の銅破片(310)出土。
底面	ほぼ平坦	ほぼ平坦	ほぼ平坦	配石有り、陥し穴を墓坑に転用したものか? ほぼ平坦。
分類	AⅢ3	CⅡ3	CⅠ3	CⅡ3

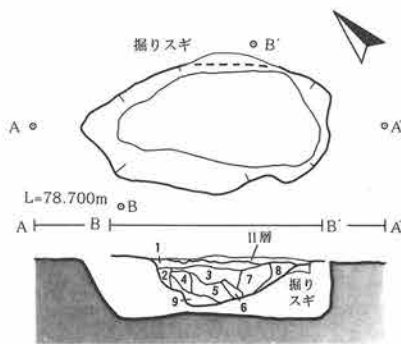
図67 陥し穴状遺構(8)



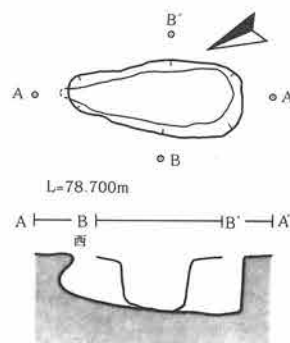
- (第26号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。1層より薄い。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR2/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
 5. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 6. 10YR3/1 黒褐色 シルト。
 7. 10YR2/1 黒色 シルト。
 8. 注記なし



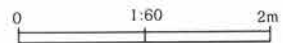
- (第27号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土との混土。
 3. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
 5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
 6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
 7. 10YR5/6 黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。地山崩落土。



- (第28号陥し穴)
1. 10YR1.7/1 黒色 シルト 明褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 明褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
 5. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
 6. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 暗赤褐色土粒をわずかに含む。
 7. 10YR3/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土及び黒色土ブロックをわずかに含む。
 8. 10YR4/3 にふい黄褐色 シルト 黒褐色土、褐色土粒をわずかに含む。
 9. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックを全体に含む。

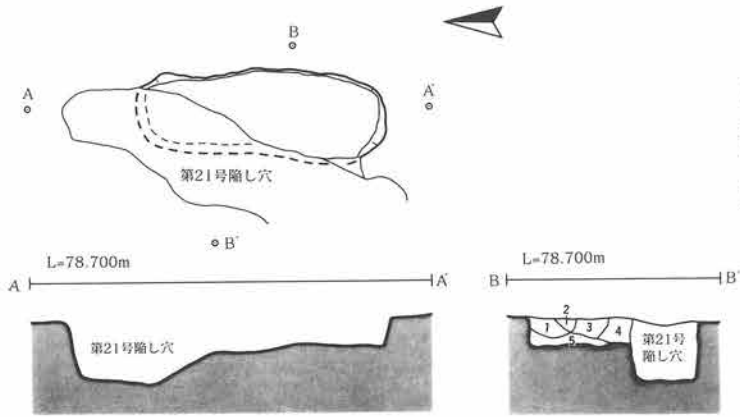


- (第29号陥し穴)
注記なし



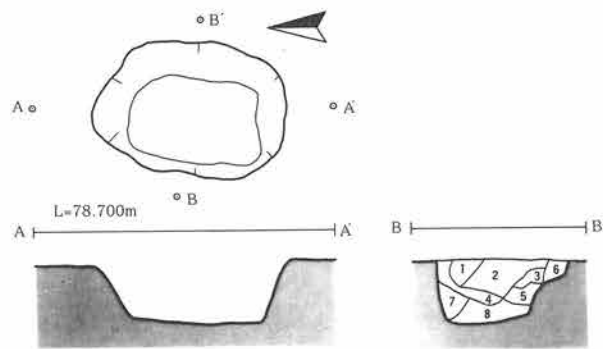
遺構名	第26号陥し穴	第27号陥し穴	第28号陥し穴	第29号陥し穴
写真図版	57	57	57	
検出状況 重複関係		本遺構が第13号陥し穴に切られる。 本遺構の方が古い。		
形状	平面形 楕円形 断面形 (縦) 長方形 (横) U字状	平面形 楕円形 断面形 (縦) 逆台形? (横) 不明	平面形 楕円形 断面形 (縦) 逆台形 (横) U字状	平面形 楕円形 断面形 (縦) 不定形 (横) U字状
規模	開口部径 171 × 50cm 底部径 148 × 41cm 深さ 62cm	不明 不明 52cm	195 × 95cm 159 × 65cm 48cm	140 × 58cm 120 × 44cm 39cm
長軸方向	N-85°-E	N-70°-W前後	N-48°-W	N-25°-E
埋土	上部は黒色土主体。中部以下はにふい黄褐色土の下に黒褐色土が入ると思われる。	上部は黒褐色土主体。中部に灰黄褐色土と灰黄褐色をはさみ。粘性の強い地山との混土が層下層に入る。	黒色土、黒褐色土主体。にふい黄褐色土がブロック状に入る。	
底面	平坦	不明	ほぼ平坦	
分類	BII3	BII?	B13	BIV3

図68 陥し穴状遺構(9)



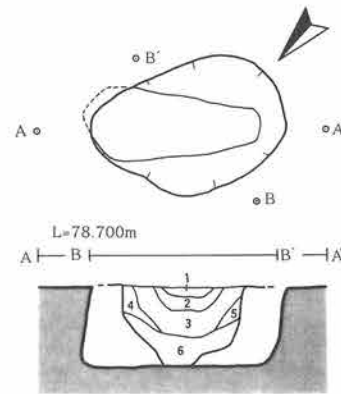
(第30号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR1.7/1 黒色 シルト にぶい黄褐色筒地ブロックをわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



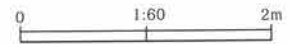
(第31号陥し穴)

1. 10YR1.7/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 暗褐色土粒を含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。3層より明るい。
7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
8. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。粘性強い。



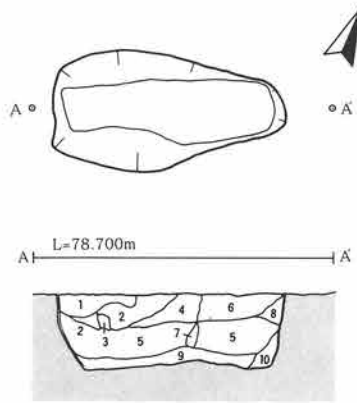
(第32号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト。
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト 灰黄褐色土との混土。色調は地山に似る。
3. 10YR1.7/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。4層に似る。
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト 灰黄褐色土粒をまばらに含む。



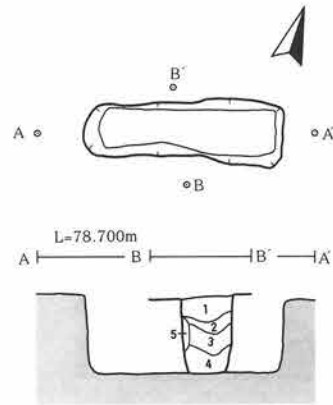
遺構名	第30号陥し穴	第31号陥し穴	第32号陥し穴
写真図版	58	58	58
検出状況 重複関係			
形状	平面形 楕円形	楕円形	楕円形
断面形	(縦) 逆台形? (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) U字状?	(縦) 不定形 (横) U字状
規模	開口部径 200cm前後×70cm前後	155×103cm	155×102cm
底部径	180cm前後×60cm前後	100×67cm	139×48cm
深さ	22cm	50cm	53cm
長軸方向	N-12°-E	N-1°-E	N-48°-E
埋土	上下層ともに黒色土とにぶい黄褐色土との混土。下層はにぶい黄褐色土との割合が多い。	上部黒色土。中部にぶい黄褐色土主体、最下層の粘性の強い暗褐色土が入る。	上部は黒色土とにぶい黄褐色土。中部から下部にかけては黒褐色土主体。
底面	ほぼ平坦?	ほぼ平坦	平坦
分類	BI3	BI3	BV3

図69 陥し穴状遺構(10)



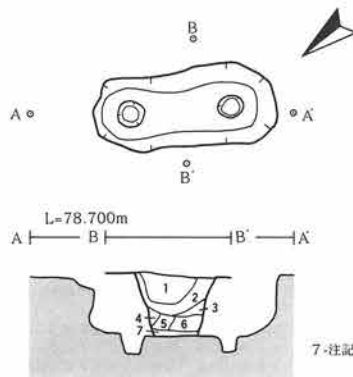
(第33号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックを含む。2層より暗い。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色粒をこくわずかに含む。
5. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックを全体に含む。
7. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロック。
8. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土粒をわずかに含む。
9. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。
10. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。



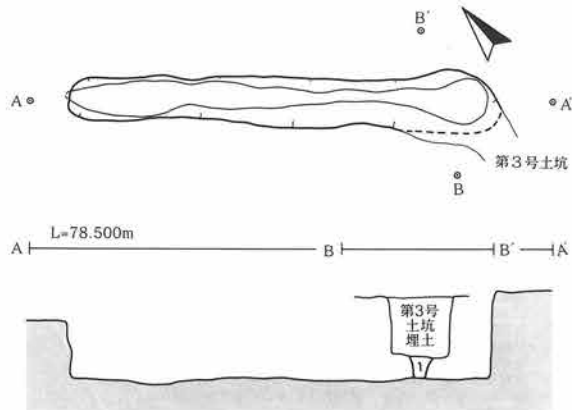
(第34号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土と黒褐色土との混土。
5. 10YR5/6 黄褐色 粘土質シルト 地山崩落土?



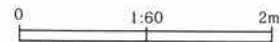
(第35号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



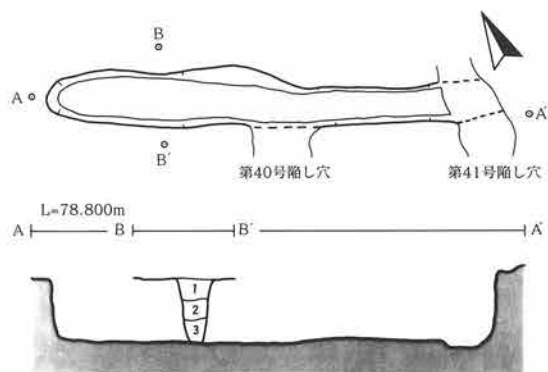
(第36号陥し穴)

1. 10YR3/4 暗褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。



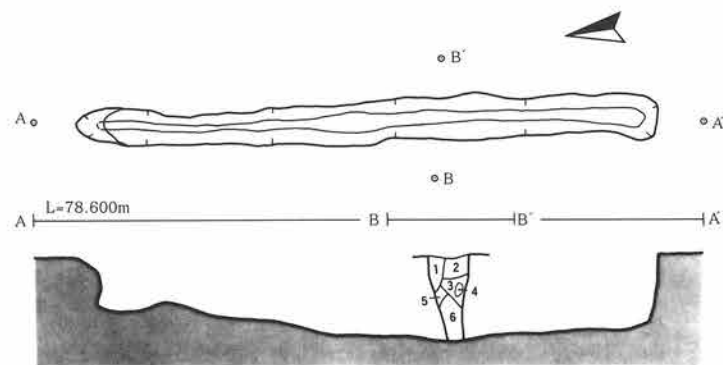
遺構名	第33号陥し穴	第34号陥し穴	第35号陥し穴	第36号陥し穴
写真図版	58	59	59	59
検出状況 重複関係				第30号土坑と重複。本遺構の方が古い。
形状	平面形	楕円形	長方形	溝状
	断面形	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 長方形 (横) U字状	(縦) 長方形 (横) V字状
規模	開口部径	185×72cm	156×45cm	(不明) × 33cm
	底部径	168×44cm	140×35cm	(不明) × 21cm
	深さ	57cm	61cm	50cm
長軸方向	N-67° -E	N-71° -E	N-37° -E	N-48° -W
埋土	上部黒色土ブロックを含むにぶい黄褐色土。中部に黒褐色土が入り。下部はにぶい黄褐色土。	上部は黒色土。下部に行くに従ってにぶい黄褐色土の割合が増える。	黒褐色土主体。下部の層は粘性が強い。	上部が第30号土坑に切られ。最下層の暗褐色土のみ記録に残る。
底面	ほぼ平坦	平坦	逆茂木痕と思われる罅穴2個両端に有する	平坦
分類	BI3	CI3	BI2	AII2

図70 陥し穴状遺構(11)



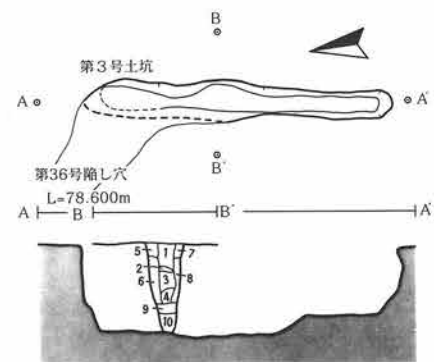
(第37号陥し穴)

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 褐色土・黒褐色土との混土。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土・黒褐色土との混土。後者の割合多い。
3. 10YR3/4 暗褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。



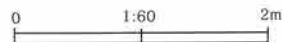
(第38号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土小ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR5/6 黄褐色土 シルト 黄褐色土ブロック。
5. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 地山崩落土?
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。



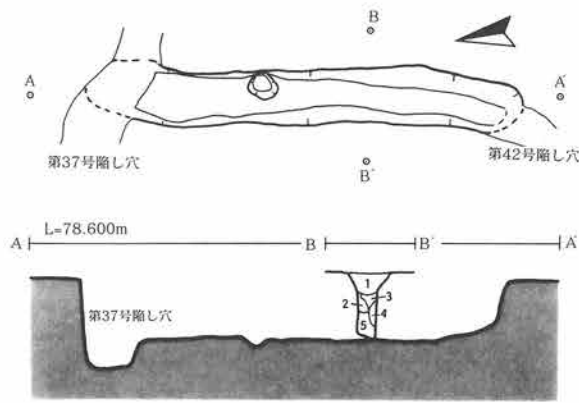
(第39号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 暗褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土との混土。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR3/1 黒褐色 粘土シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
6. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土をまばらに含む。
8. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
9. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト わずかに黒褐色土粒を含む。
10. 10YR2/1 黒色 シルト 灰黄褐色土との混土。



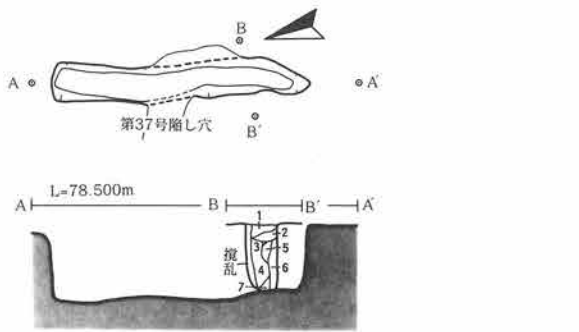
遺構名	第37号陥し穴	第38号陥し穴	第39号陥し穴	
写真図版	59	60	60	
検出状況 重複関係	南東端を第41号陥し穴に切られる。第40号陥し穴を切る。			
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形? (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	(不明)×38cm	458×30cm	(不明)×28cm
	底部径	(不明)×25cm	431×9cm	(不明)×9cm
	深さ	54cm	68cm	72cm
長軸方向	N-57°-W	N-7°-E	N-8°-E	
埋土	上部は褐色土・黒褐色土主体の混土。3層は下部だが、粘性はそれほど強くない。	黒褐色土主体。黄褐色土をブロック状・粒状に含む。	黒褐色土と黄褐色土が上部から下部にかけて交互に入る。最下層は粘性がさほど強くない黒色土。	
底面	ほぼ平坦	両端方向にせり上がる。	北側がやや下がる。	
分類	A12	A12	A12	

図71 陥し穴状遺構(12)



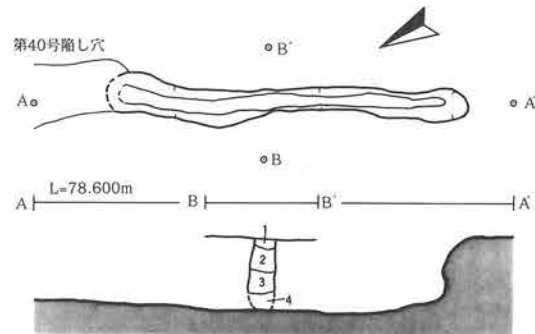
(第40号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR5/6 黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土小ブロックをまばらに含む。



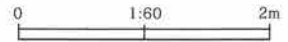
(第41号陥し穴)

1. 10YR7/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 攪乱か?
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
3. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色粒をまばらに含む。
7. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。



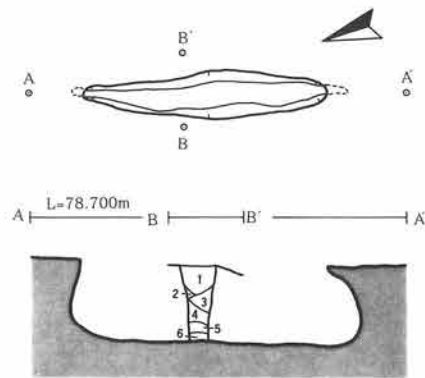
(第42号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 注記無し



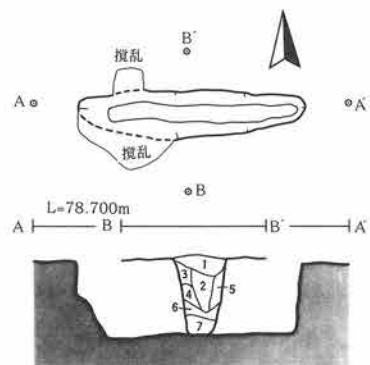
遺構名	第40号陥し穴	第41号陥し穴	第42号陥し穴
写真図版	60	60	60
検出状況 重複関係	第37号陥し穴に北部を切られる。		
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 逆台形 (横) V字状	溝状 (縦) 長方形 (横) U字状	溝状 (縦) 逆台形 (横) U字状
規模	開口部径 (不明) × 41cm 底部径 (不明) × 17cm 深さ 53cm	206 × 28cm 189 × 18cm 52cm	(不明) × 25cm (不明) × 20cm 57cm
長軸方向	N-14°-E	N-17°-E	N-31°-E
埋土	上部に黒褐色土、中部にぶい黄褐色土が入る。最下層は粘性の強い黒褐色土。	上部に黒褐色土、中部には厚めに黄褐色土が入る。最下層は粘性の強い黒褐色土。	上部に黒褐色土、最下層には黒色土または黒褐色土が入っていたと思われる。
底面	逆茂木痕と思われる副穴1個有す	多少凸凹がある。	ほぼ平坦。
分類	A12	A13	A13

図72 陥し穴状遺構(13)



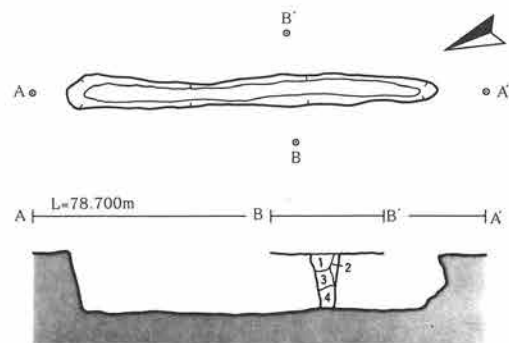
(第43号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックを含む。2層より暗い。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。



(第44号陥し穴)

1. 10YR1.7/1 黒色 シルト。
2. 10YR1.7/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土ブロックをこくわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土との混土。
6. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色粒をまばらに含む。
7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。



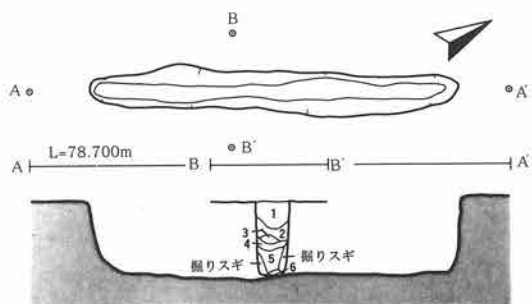
(第45号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックを全体に含む。

0 1:60 2m

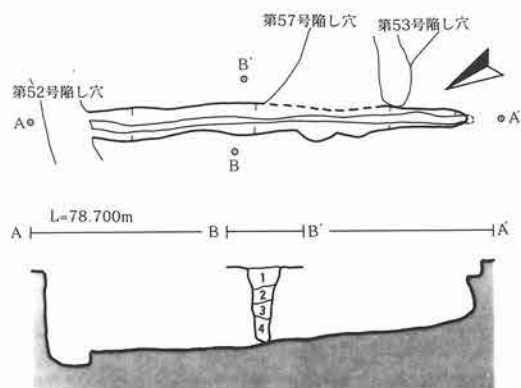
遺構名	第43号陥し穴	第44号陥し穴	第45号陥し穴	
写真図版	61	61	61	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	194×28cm	182×38cm	295×25cm
	底部径	221×16cm	162×14cm	268×13cm
	深さ	61cm	62cm	44cm
長軸方向	N-18° -E	N-87° -W	N-22° -E	
埋土	上部黒褐色土、中部は黄褐色土と暗褐色土の互層。最下層は粘性がきつど強くない。	上部は黒色土主体。中部に灰黄褐色土が入り、最下層に粘性の強い黒色土と黄褐色土の混土入る。	上部は黒褐色土、中部は暗褐色土主体。最下層に粘性の強いにぶい黄褐色土が入る。	
底面	ほぼ平坦	平坦	ほぼ平坦	
分類	AⅢ2	AⅠ2	AⅠ2	

図73 陥し穴状遺構(14)



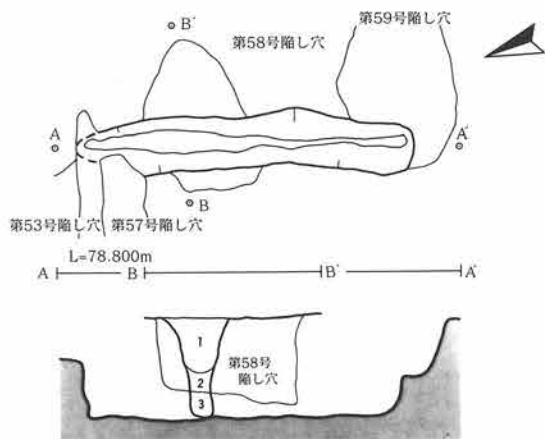
(第46号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。にぶい黄褐色土ブロック含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色粒をまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土との混土。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
6. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黄褐色土小ブロックをまばらに含む。



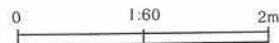
(第47号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。わずかに砂粒含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロック、黄褐色土ブロック含む。



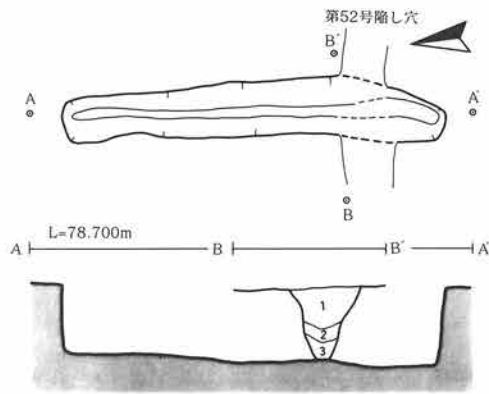
(第48号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
3. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずに含む。



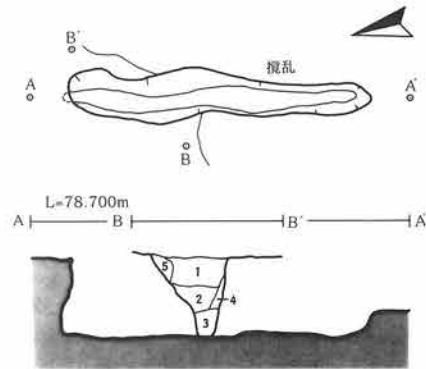
遺構名	第46号陥し穴	第47号陥し穴	第48号陥し穴	
写真図版	61	61	62	
検出状況 重複関係			第53号、第57号、第58号、第59号、陥し穴と重複。	
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	292×33cm	300cm前後×24cm	280cm前後×43cm
	底部径	279×12cm	300cm前後×7cm	267×9cm
	深さ	58cm	60cm	79cm
長軸方向	N-26°-E	N-30°-E	N-21°-E	
埋土	上部は黒色土。中部は黒褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上部は黒色土。黒褐色土主体。にぶい黄褐色土をはさみ、最下層に黒褐色土が入る。	上部黒褐色土、灰黄褐色土をはさみ最下層は粘性の強い黒色土。	
底面	平坦	南西側にせり上がる。	ほぼ平坦。	
分類	A12	A112	A11	

図74 陥し穴状遺構(15)



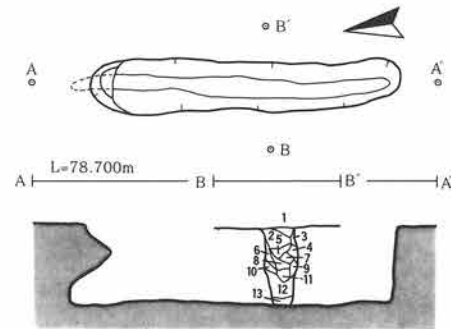
(第49号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土小ブロックを全体に含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。2層より暗い。



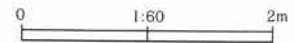
(第50号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。地山層?



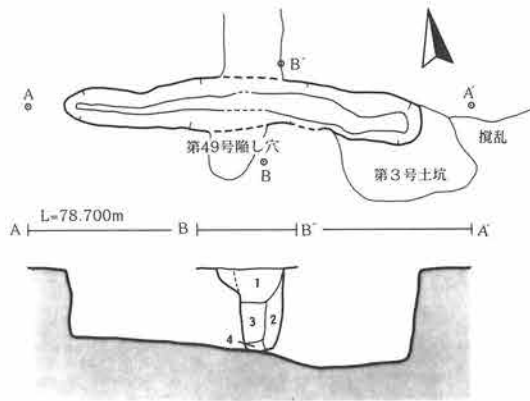
(第51号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土ブロックを25%~30%含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土ブロックを10%程度含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒を若干含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土粒を若干含む。
7. 10YR3/1 黒褐色 シルト 灰黄褐色土粒をわずかに含む。
8. 10YR3/1 黒褐色 シルト 灰黄褐色土粒をまばらに含む。7層より明るい。
9. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
10. 10YR3/2 黒褐色 シルト 10YR3/1黒褐色土との混土。
11. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土を若干含む。
12. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
13. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。

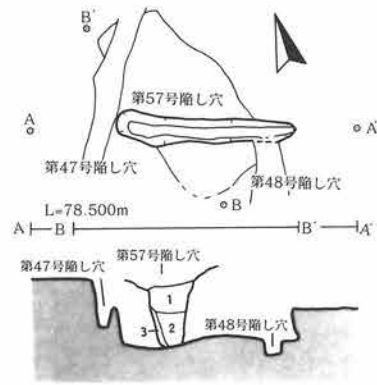


遺構名	第49号陥し穴	第50号陥し穴	第51号陥し穴	
写真図版	62	62	62	
検出状況 重複関係	第52号陥し穴を切る。			
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)長方形 (横)V字状	(縦)台形? (横)V字状	(縦)不定形 (横)V字状
規模	開口部径	304×43cm	241×27cm	246×38cm
	底部径	290×7cm	233×13cm	267×17cm
	深さ	57cm	65cm	62cm
長軸方向	N-9°-E	N-15°-E	N-7°-E	
埋土	黒褐色土主体。下層は粘性が強い。	上部は黒色土主体。灰黄褐色土をはさみ粘性の強い黒褐色土が最下層にはいる。	上部は黒色土。中部は黒褐色土主体。にぶい黄褐色土をはさみ最下層に黒色土が入る。	
底面	南端へ傾斜し下がる。	ほぼ平坦。	平坦。	
分類	AII2	AIII2	AIV2	

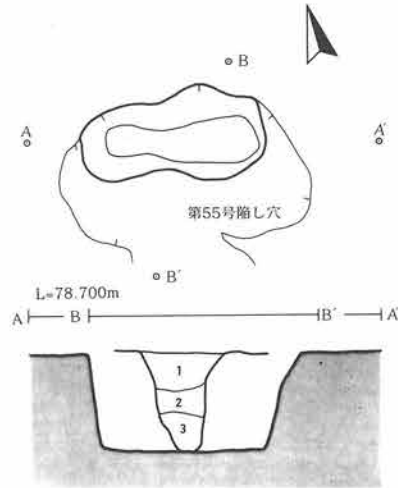
図75 陥し穴状遺構(16)



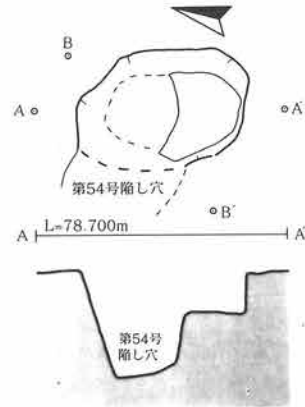
- (第52号陥し穴)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 10YR3/1黒褐色土との混土。
 2. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
 4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土との混土。



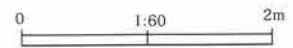
- (第53号陥し穴)
 1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。黄褐色土ブロックまばらに。
 2. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。地山?



- (第54号陥し穴)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 10YR3/1黒褐色土との混土。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 10YR3/1黒褐色土ブロックを含む。

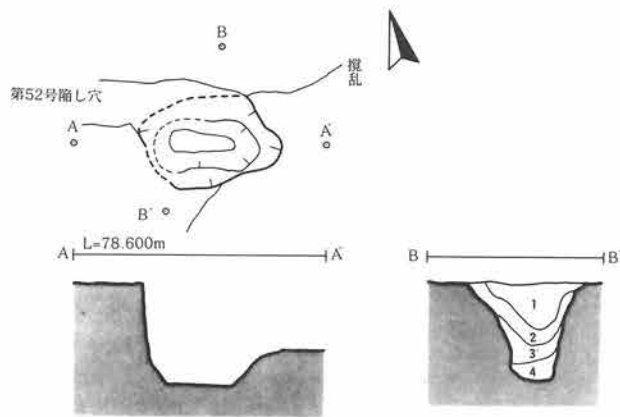


- (第55号陥し穴)
 注記なし。RD15に切られている。

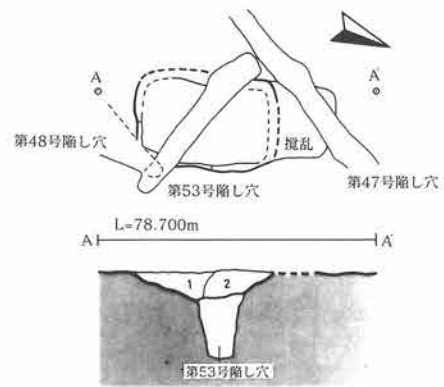


遺構名	第52号陥し穴	第53号陥し穴	第54号陥し穴	第55号陥し穴
写真図版	62	63	63	63
検出状況 重複関係	第49号陥し穴に切られる。	第57号陥し穴に上部を切られる。 第47号・第48号陥し穴と重複。		第54号陥し穴に北部を切られる。
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 逆台形 (横) V字状	溝状 (縦) 不定形 (横) V字状	長方形 (縦) 逆台形 (横) U字状	楕円形 (縦) 長方形? (横) 不明
規模	開口部径 272×39cm 底部径 261×16cm 深さ 66cm	141×21cm 132×10cm 49cm	148×55cm 120×28cm 77cm	130×87cm 120cm前後×58cm 30cm
長軸方向	N-78° -W	N-71° -W	N-74° -E	N-16° -E
埋土	上部は黒褐色土、下部は粘性の強い灰黄褐色土主体。	下部の粘性の強い黒褐色土のみ残る。	上部は黒色土、中～下部は黒褐色土。最下層は粘性が強い。	
底面	東側が下がる。	北西側がやや下がる。	平坦	不明
分類	A12	AV2	CI3	不明

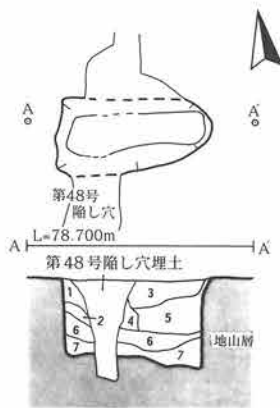
図76 陥し穴状遺構(17)



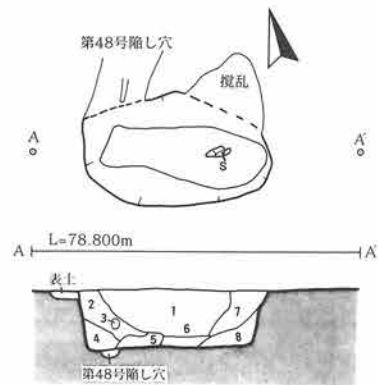
- (第56号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をブロック状に含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土と黄褐色土との混土。



- (第57号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。



- (第58号陥し穴)
1. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土小ブロックをわずかに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
 3. 10YR3/1 黒褐色 シルト 灰黄褐色土ブロック小ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
 5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
 6. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。

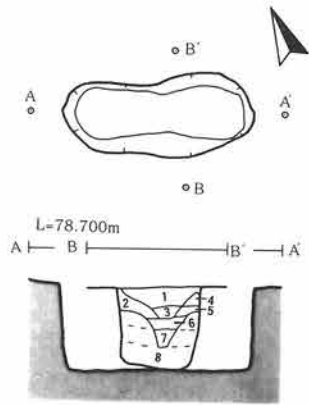


- (第59号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロック、黒褐色土含む。
 4. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土わずかに含む。
 5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土まばらに含む。
 6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
 7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックまばら。
 8. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。



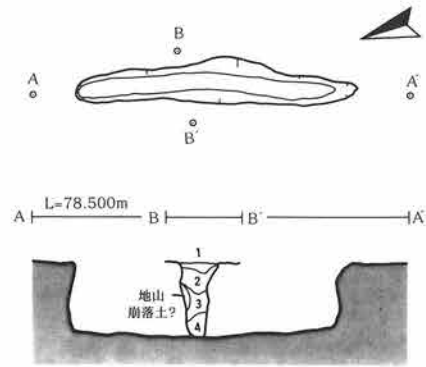
遺構名	第56号陥し穴	第57号陥し穴	第58号陥し穴	第59号陥し穴
写真図版	63	64	64	64
検出状況 重複関係	第52号陥し穴に切られる。	第53号陥し穴を切る。	第48号陥し穴に切られる。	第48号陥し穴に切られる。
形状	平面形 楕円形	不明	楕円形	楕円形
断面形	(縦) 長方形? (横) Y字状	不明	(縦) 長方形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	112×60cm前後	110cm前後×(不明)	121×55cm前後
	底部径	53×16cm	100cm前後×(不明)	108×25cm
	深さ	76cm	22cm	67cm
長軸方向	N-69° -W	N-15° -E	N-82° -E	N-71° -W
埋土	上部は黒色土、黒褐色土主体、中部~下部に入るに従って黄褐色土の割合が増える。最下層は粘性強。	黒色主体、下部のみ残存か?	上部は黒褐色土主体、中部~下部は灰黄褐色土主体。下部にはいるに従って灰黄褐色土の割合が増える。	上部は黒色土主体。下部はレンズ状に黒褐色土が入る。
底面	両端がせり上がる。	不明	西側がやや上がる。	底面に配石有り。
分類	BII1	土坑の可能性もある。	BII2	BI2

図77 陥し穴状遺構(18)



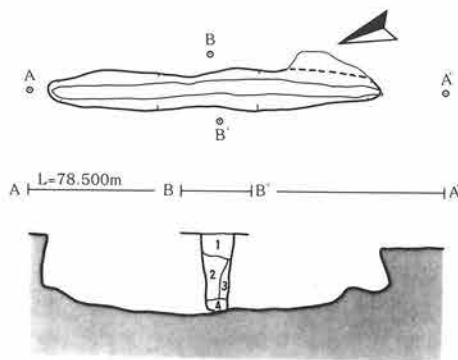
(第60号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 シルト 10YR3/1 黒褐色土との混土。
5. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。2層に似る。
6. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土・砂粒がわずかに混入。
8. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 暗褐色土粒をわずかに含む。



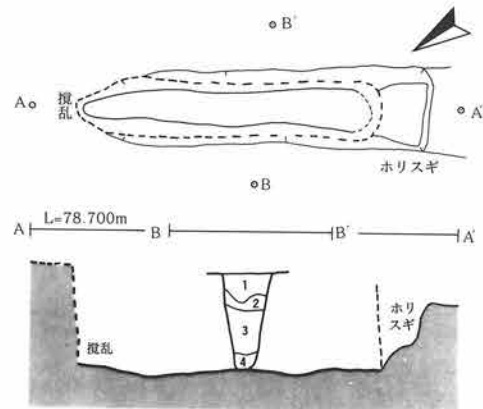
(第61号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土粒をわずかに含む。



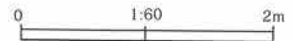
(第62号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土をこくわずかに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。



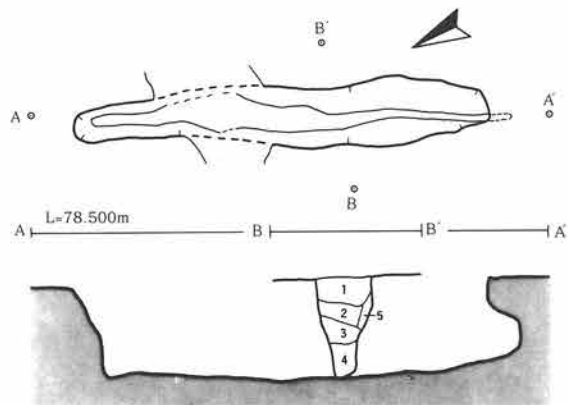
(第63号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 褐色土と黄褐色土との混土。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。



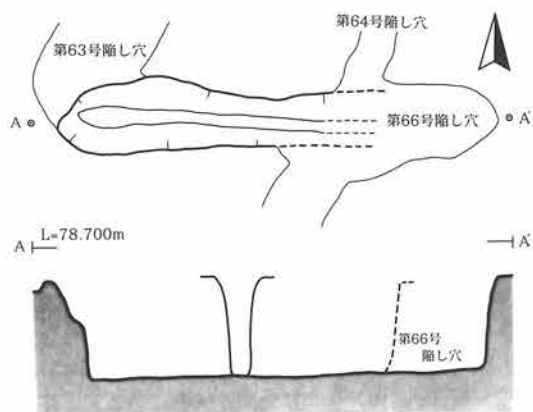
遺構名	第60号陥し穴	第61号陥し穴	第62号陥し穴	第63号陥し穴
写真図版	64	65	65	65
検出状況 重複関係		複式炉と重複。本遺構の方が古い。	複式炉と重複。本遺構の方が古い。	
形状	平面形	楕円形	溝状	溝状
	断面形	(縦)長方形 (横)U字状	(縦)長方形 (横)V字状	(縦)合形 (横)V字状
規模	開口部径	151×61cm	223×28cm	240cm前後×41cm
	底部径	131×37cm	203×14cm	220cm前後×16cm
	深さ	65cm	60cm	61cm
長軸方向	N-66°-E	N-19°-E	N-18°-E	N-29°-E
埋土	上部黒色土主体。中～下部は黒褐色土主体。粘性は徐々に強くなる。	上部は黒色土主体。中～下部は粘性の強い黒褐色土と暗褐色土が互層を為している。	上部は黒色土主体。中～下部は粘性の強い黒褐色土主体。	上部は黒褐色土主体。中部にぶい黄褐色土が入り、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。
底面	平坦	ほぼ平坦	両端にせり上がる。	凸凹がある。
分類	BII3	AII2	AIII3	不明

図78 陥し穴状遺構(19)



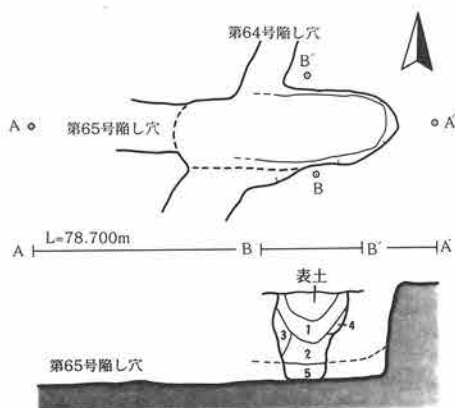
(第64号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土と黄褐色土との混土。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



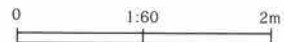
(第65号陥し穴)

断面注記なし



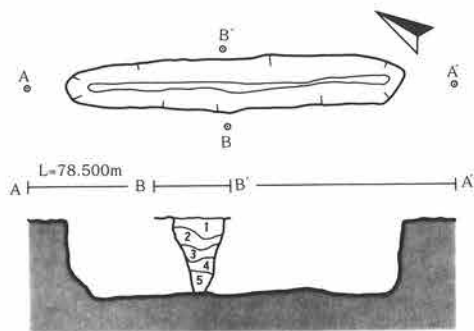
(第66号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
5. 断面注記なし



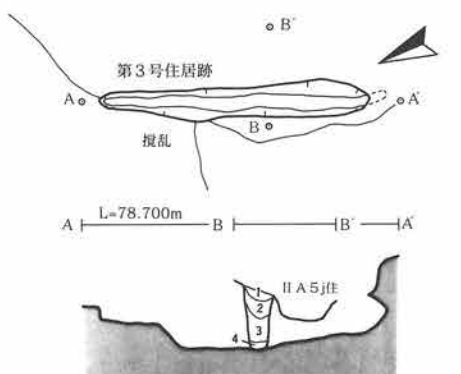
遺構名	第64号陥し穴	第65号陥し穴	第66号陥し穴	
写真図版	65	65	66	
検出状況 重複関係	第65号陥し穴と重複。	第64号陥し穴と重複。		
形状	平面形	溝状	楕円形	
	断面形	(縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 逆台形? (横) U字状
規模	開口部径	328 × 44cm	(不明) × 27cm	(不明) × 62cm
	底部径	331 × 18cm	(不明) × 13cm	(不明) × 54cm
	深さ	81cm	79cm	58cm
長軸方向	N-22°-E	N-88°-E	N-87°-E	
埋土	上部黒色土、中部黒褐色土主体。最下層に粘性の強い黒褐色土と黄褐色土の混土が入る。		上部黒色土。下部は粘性の強い黒褐色土主体。	
底面	南西側にややせり上がる。	ほぼ平坦。	平坦。	
分類	AIV2	AI2	BII3	

図79 陥し穴状遺構(20)



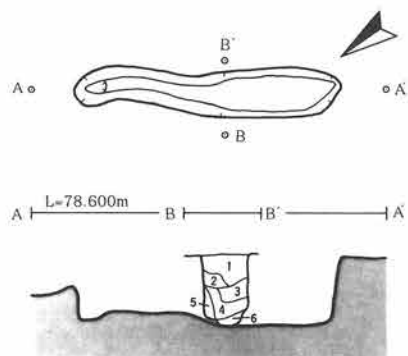
(第67号陥し穴)

1. 10YR3/1 黒褐色 シルト にふい黄褐色土ブロックを全体に含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土との混土。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土をわずか。砂粒をわずかに混入。



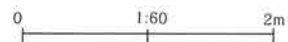
(第68号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土をわずかに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。砂粒わずかに混じる。



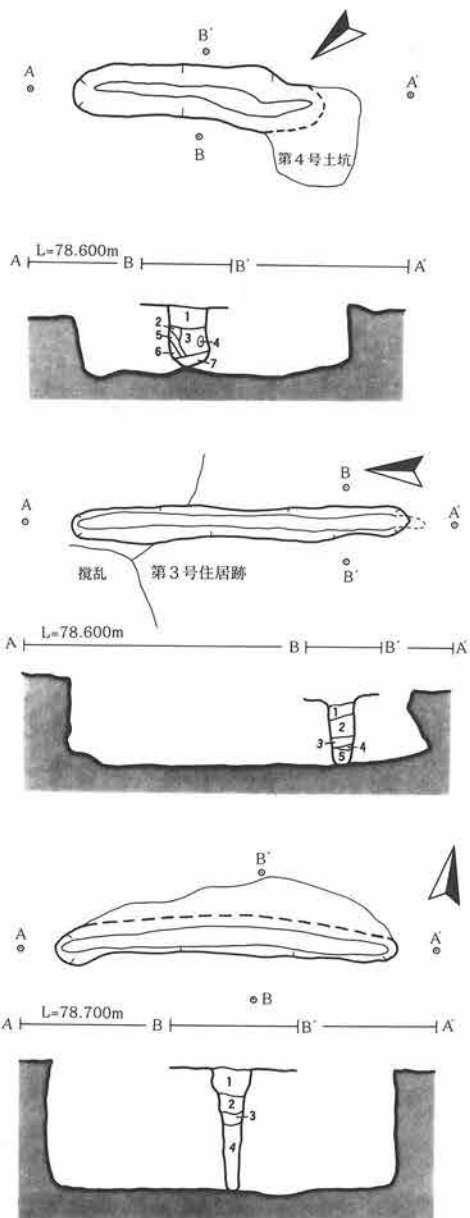
(第69号陥し穴)

1. 10YR2/3 黒褐色 シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 10YR5/3にふい黄褐色土ブロックを含む。
5. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。



遺構名	第67号陥し穴	第68号陥し穴	第69号陥し穴	
写真図版	66	66	66	
検出状況 重複関係		第3号住居跡床面から検出		
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) U字状
規模	開口部径	267×39cm	221×24cm	211×35cm
	底部径	239×9cm	223×14cm	195×25cm
	深さ	60cm	48cm	58cm
長軸方向	N-33°-E	N-23°-E	N-34°-E	
埋土	上部は黒褐色土主体。中部に灰黄褐色土をはさみ、最下層に粘性の強い黄褐色土が入る。	上部は黒褐色土主体。中部は灰黄褐色土。下部は粘性の強い黒色土。	上部は黒褐色土主体。中～下部は灰黄褐色土。にふい黄褐色土主体。最下層は黒色土ブロック入る。	
底面	ほぼ平坦	両端にせり上がる。	北東側にせり上がる。	
分類	A12	AV3	AI3	

図80 陥し穴状遺構(21)



(第70号陥し穴)

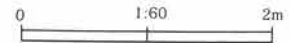
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
6. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずに含む。
7. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。

(第71号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色ブロックをわずかに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色小ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。

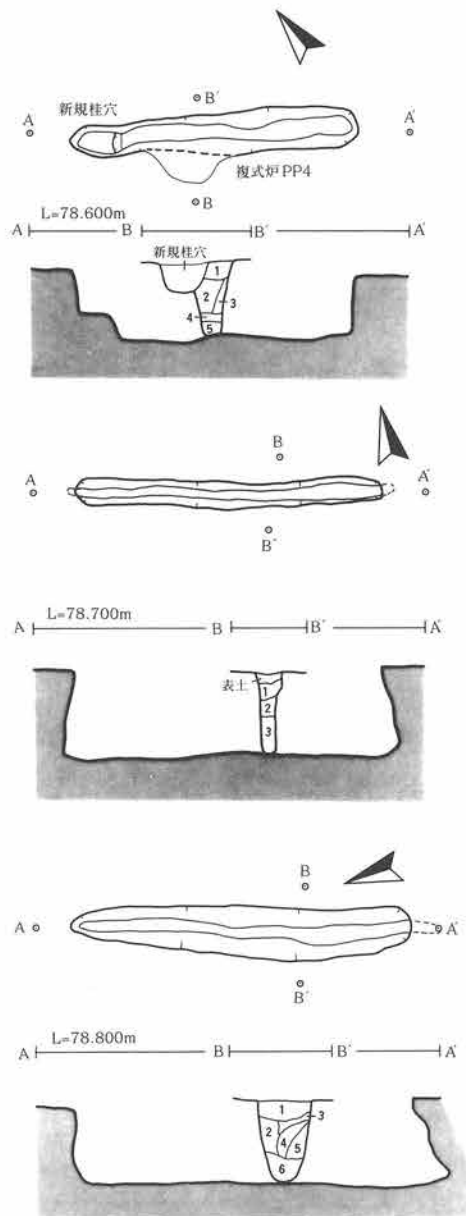
(第72号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロック含む。2層に似る。



遺構名	第70号陥し穴	第71号陥し穴	第72号陥し穴	
写真図版	67	67	67	
検出状況 重複関係	第3号住居跡床面から検出	第3号住居跡床面から検出		
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 長方形 (横) V字状
規模	開口部径	200cm前後×30cm	268×26cm	272×25cm
	底部径	172×12cm	275×9cm	259×9cm
	深さ	47cm	52cm	96cm
長軸方向	N-44° -E	N-1° -W	N-79° -E	
埋土	上~中部黒褐色土主体。最下層は粘性の強い黒褐色土混じりのにぶい黄褐色土。	黒褐色土とにぶい黄褐色土にぶい黄褐色土が互層を成す。全体に粘性が強い。	上部黒色土、黒褐色土主体、灰黄褐色土をほきんで、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	
底面	全体に凸凹がある。	両端にややせり上がる。	ほぼ平坦。	
分類	A13	AⅢ2	AⅡ2	

図81 陥し穴状遺構(22)



(第73号陥し穴)

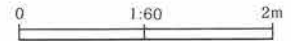
1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 10YR3/1黒褐色土との混土。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。にぶい黄褐色土粒を含む。
4. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/1 褐灰色 粘土質シルト 褐色土ブロックを含む。汚水により変色している。

(第74号陥し穴)

1. 10YR3/1 黒褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。

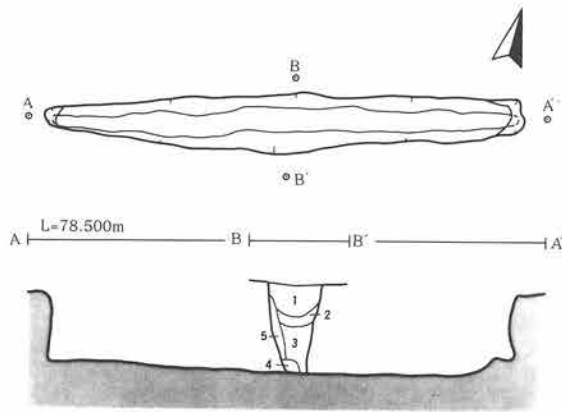
(第75号陥し穴)

1. 10YR1.7/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
2. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 明褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックを全体に含む。

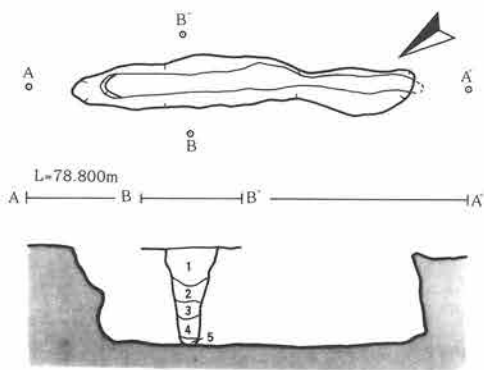


遺構名	第73号陥し穴	第74号陥し穴	第75号陥し穴	
写真図版	67	67	68	
検出状況 重複関係	複式炉と重複。本遺構の方が古い。			
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)長方形 (横)V字状	(縦)台形 (横)V字状	(縦)不定形 (横)V字状
規模	開口部径	227×34cm	242×21cm	269×41cm
	底部径	215×15cm	256×8cm	285×11cm
	深さ	59cm	62cm	67cm
長軸方向	N-55° -E	N-79° -W	N-19° -E	
埋土	上部は黒褐色土、中部は灰黄褐色土。最下層は黒褐色土であったと思われるが変色している。	上~中部は黒褐色土。最下層は粘性の強い黒色土。	上部は黒色土、中部は黒褐色土とにぶい黄褐色土が断層的に層を成す。最下層は粘性が強い。	
底面	段差があり北西側が下がる。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	
分類	AII2	AIII2	AIV2	

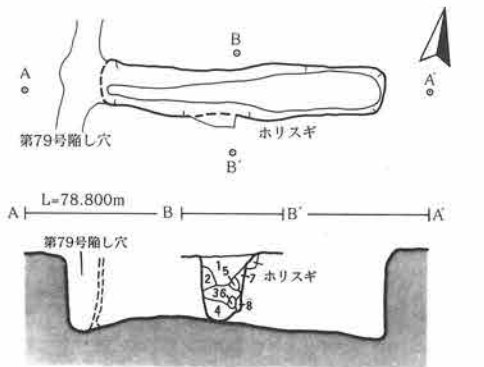
図82 陥し穴状遺構(23)



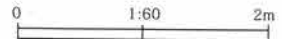
- (第76号陥し穴)
1. 10YR3/1 黒褐色 シルト。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
 3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
 4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 灰褐色土粒をまばらに含む。
 5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。



- (第77号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。

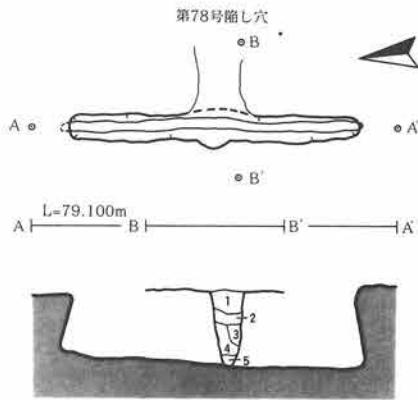


- (第78号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
 2. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土小ブロックをわずかに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土小ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 5. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 6. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土粒をわずかに含む。
 7. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
 8. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。地山か?



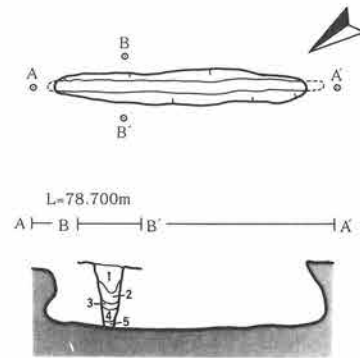
遺構名	第76号陥し穴	第77号陥し穴	第78号陥し穴	
写真図版	68	68	68	
検出状況 重複関係			第79号陥し穴とは距離が近いが重複はしていない。(壁が崩落)	
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 長方形 (横) V字状
規模	開口部径	379×43cm	270×41cm	224×42cm
	底部径	366×16cm	251×13cm	214×17cm
	深さ	70cm	78cm	51cm
長軸方向	N-74° -E	N-33° -E	N-85° -E	
埋土	上部は黒褐色土。中部~下部に灰・にぶい黄褐色土が入り、最下層は粘性の強い黒色土。	黒色土・黒褐色と灰黄褐色土・にぶい黄褐色土が互層を成す。全体的に粘性が強い。	上部は黒色土、中部は黒褐色土主体。最下層にあまり締まりのない灰黄褐色土が入る。	
底面	両端に向かってせり上がる。	平坦。	中央部が盛り上がる。	
分類	AⅢ2	AV2	AⅡ2	

図83 陥し穴状遺構(24)



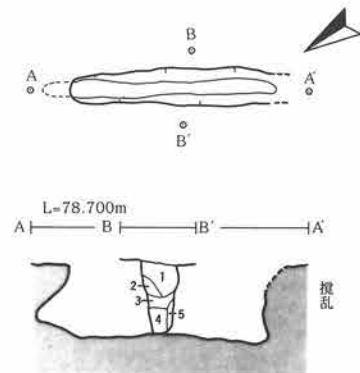
(第79号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
2. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
5. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



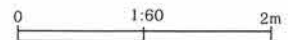
(第80号陥し穴)

1. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。



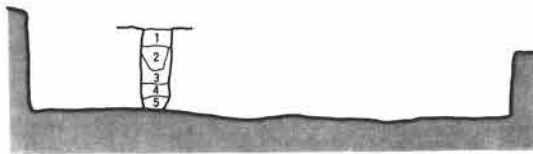
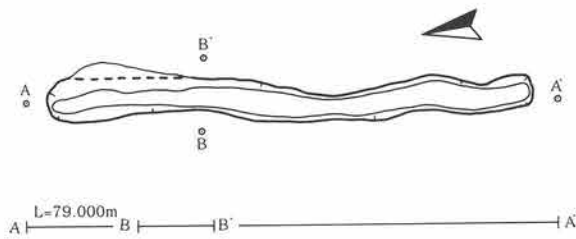
(第81号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
4. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒を全体に含む。



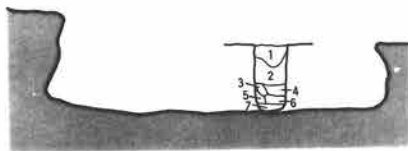
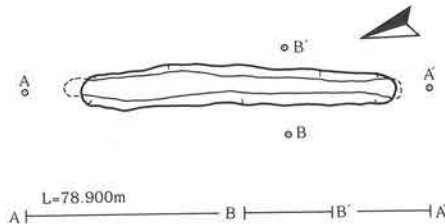
遺構名	第79号陥し穴	第80号陥し穴	第81号陥し穴	
写真図版	68	69	69	
検出状況 重複関係	第78号陥し穴とは重複していない。(壁が崩落)			
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状
規模	開口部径	230×25cm	199×24cm	(不明)×27cm
	底部径	239×9cm	218×10cm	185×12cm
	深さ	60cm	50cm	56cm
長軸方向	N-3° -E	N-38° -E	N-34° -E	
埋土	上部は黒色土。中～下部に灰・黒褐色土主体。下層に行くに従って粘性が強くなる。	黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。下層は粘性が強い。	上部は黒色土・黒褐色土主体。中部ににぶい黄褐色土が入り、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	
底面	南方向に緩やかに下がる。	両端がややせり上がる。	北東部がせり上がる。	
分類	AⅢ2	AⅢ2	AⅢ2	

図84 陥し穴状遺構(25)



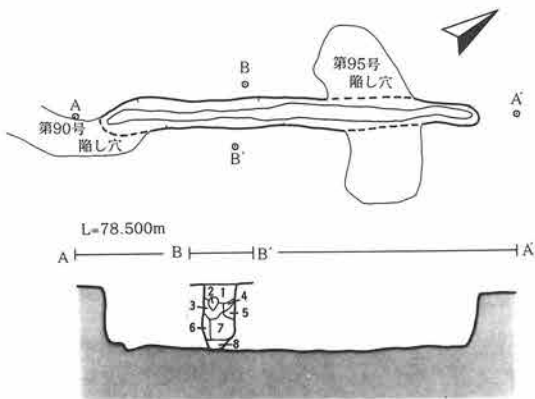
(第82号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。



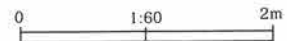
(第83号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
3. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
6. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
7. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。



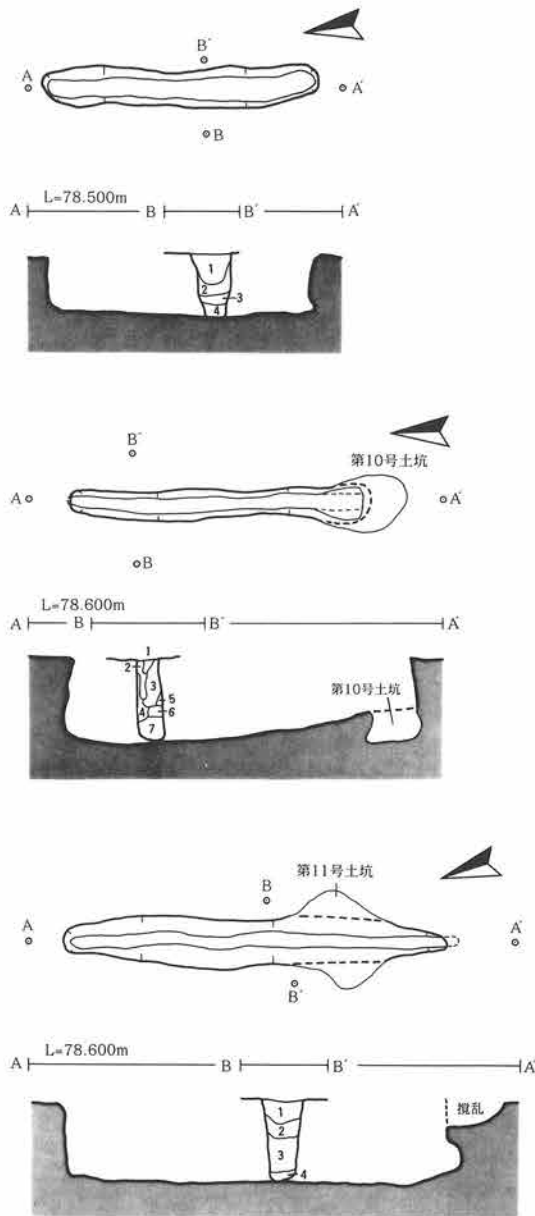
(第84号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
6. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
7. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
8. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックを全体に含む。砂粒が混入。



遺構名	第82号陥し穴	第83号陥し穴	第84号陥し穴	
写真図版	69	69	69	
検出状況			第95号陥し穴と重複。	
重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 長方形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	385×22cm	249×25cm	300×25cm
	底部径	376×15cm	266×17cm	289×8cm
	深さ	64cm	55cm	52cm
	長軸方向	N-8°-E	N-17°-E	N-33°-E
埋土	上部は黒色土・黒褐色土、中部はにぶい黄褐色主体。最下層は粘性が強く黒褐色土が混じる。	黒褐色土と灰黄褐色土・にぶい黄褐色土が互層を成す。下層に入るに従って粘性が強くなる。	上部黒褐色土。中～下部は黒褐色土とにぶい黄褐色土との混土。全体に粘性が強い。	
底面	南方向に緩やかに下がる。	北方向がややせり上がる。	ほぼ平坦。	
分類	AII3	AIII3	AI2	

図85 陥し穴状遺構(26)



(第85号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土をまばらに含む。

(第86号陥し穴)

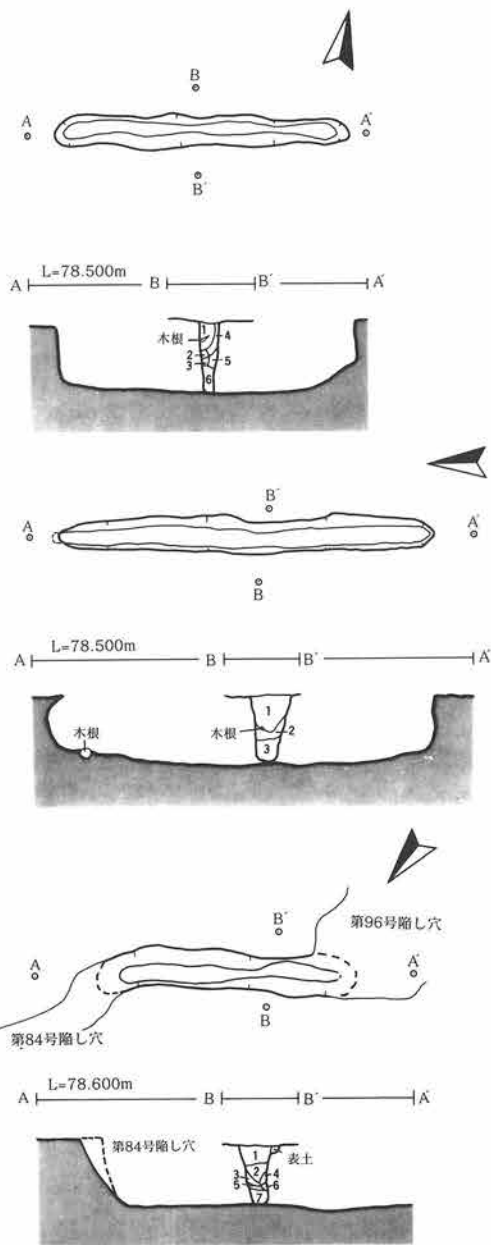
1. 10YR6/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土との混土。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
5. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をこくわずかに含む。
6. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。

(第87号陥し穴)

1. 10YR1.7/1 黒色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。

遺構名	第85号陥し穴	第86号陥し穴	第87号陥し穴	
写真図版	70	70	70	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 長方形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) V字状
規模	開口部径	385×31cm	270×21cm	304×38cm
	底部径	212×14cm	270×19cm	308×10cm
	深さ	51cm	65cm	65cm
長軸方向	N-6° -E	N-3° -E	N-18° -E	
埋土	上部は黒褐色土。中部は色調の異なる黄褐色土の混土。最下層に粘性の強い黒褐色土がはいる。	上部は黒褐色土。中～下部は黄褐色土が主体。最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部は黒色土・黒褐色土主体。灰黄褐色土をほさみ、粘性の強い黒褐色土が入る最下層に入る。	
底面	ほぼ平坦。	南方向がせり上がる。	南端がせり上がる。	
分類	AII2	AIII3	AIV2	

図86 陥し穴状遺構(27)



(第88号陥し穴)

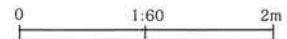
1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土小ブロックをまばらに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 地山に似る。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR2/2 黒褐色 シルト。

(第89号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。

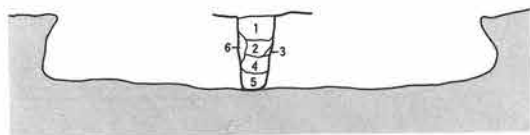
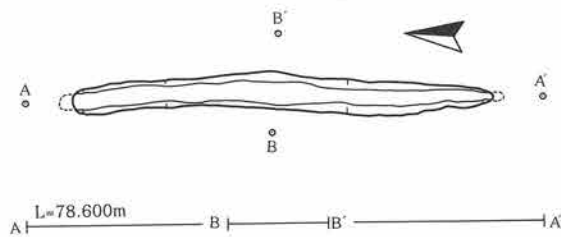
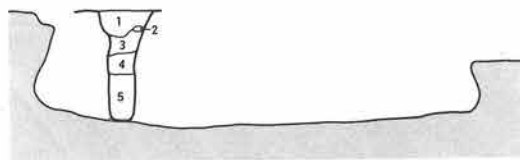
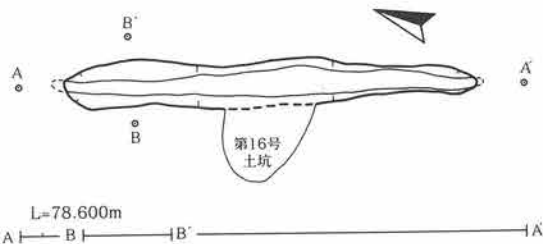
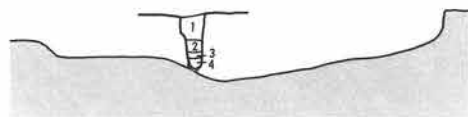
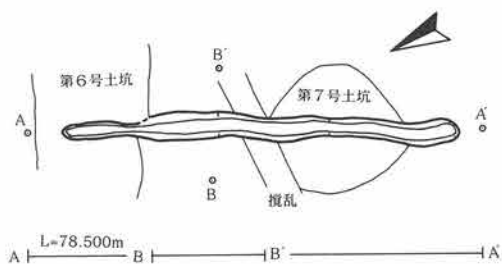
(第90号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずに含む。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。



遺構名	第88号陥し穴	第89号陥し穴	第90号陥し穴
写真図版	70	70	71
検出状況 重複関係			第96号陥し穴と重複。
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 長方形 (横) V字状	溝状 (縦) 台形 (横) V字状	溝状 (縦) 不明 (横) V字状
規模	開口部径 235×18cm 底部径 216×7cm 深さ 55cm	298×31cm 300×14cm 54cm	(不明)×31cm (不明)×10cm 47cm
長軸方向	N-77° -E	N-1° -E	N-54° -E
埋土	上部は黒褐色土、中部は灰黄褐色土主体。最下層は粘性の余り強くない黒褐色土。	上部黒褐色土、中部にぶい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部黒色土、中部は色調の異なる黄褐色土主体。下部に黒色土と黒褐色土の混土が入る。
底面	両端がせり上がる。	両端がややせり上がる	ほぼ平坦。
分類	AII2	AIII2	A?2

図87 陥し穴状遺構(28)



(第91号陥し穴)

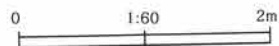
1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。

(第92号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
2. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒を全体に含む。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土との混土。

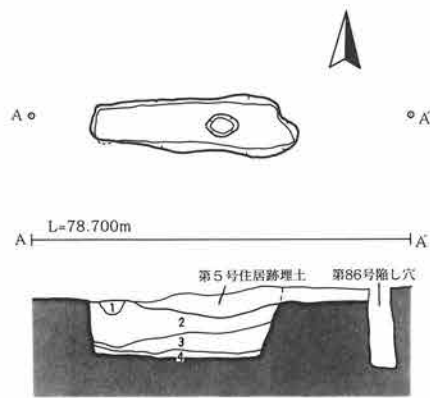
(第93号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト。
2. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR6/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
6. 10YR6/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



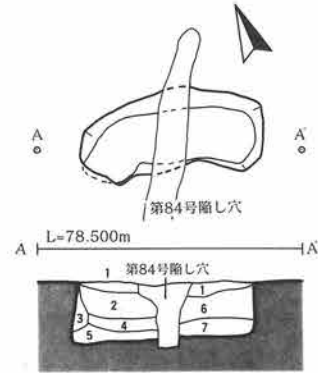
遺構名	第91号陥し穴	第92号陥し穴	第93号陥し穴
写真図版	71	71	71
検出状況 重複関係	第5号住居跡床面から検出。 第6・7号土坑と重複。	第16号土坑に切られる。	
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 逆台形 (横) U字状	溝状 (縦) 台形 (横) V字状	溝状 (縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	314×19cm	325×38cm
	底部径	308×11cm	342×13cm
	深さ	41cm	87cm
長軸方向	N-25°-E	N-21°-E	N-10°-E
埋土	上部黒色土。中～下部は黒褐色土主体。	黒褐色土主体。下部に入るに従ってにふい黄褐色土の割合増える。	上部黒褐色土、中部にふい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土が入る。
底面	中央部へ下がる。	両端がせり上がる。	両端がややせり上がる。
分類	A13	AⅢ2	AⅢ2

図88 陥し穴状遺構(29)



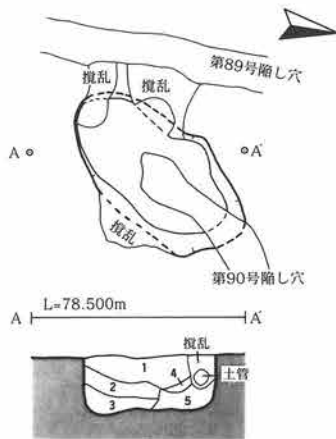
(第94号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色を全体に含む。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックをまばらに含む。



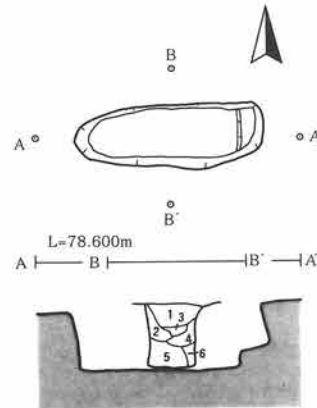
(第95号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土をまばらに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



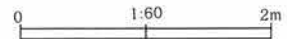
(第96号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロック、にぶい黄褐色土粒まばら。
4. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



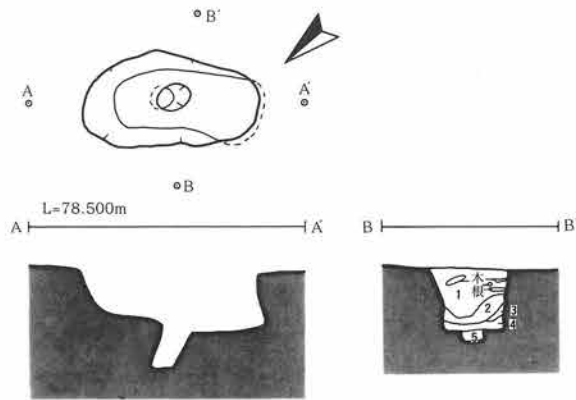
(第97号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロック、黒褐色土粒を含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロック、黒色土ブロックを含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。



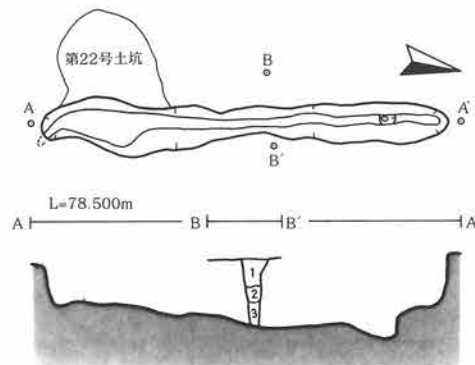
遺構名	第94号陥し穴	第95号陥し穴	第96号陥し穴	第97号陥し穴
写真図版	72	72	72	72
検出状況	第5号住居跡床面から検出。	第84号陥し穴に切られる。	第90号陥し穴と重複。	
重複関係				
形平面形	溝状	長方形	楕円形	楕円形
断面形	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 長方形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) U字状
規模	開口部径	162×45cm	145×58cm	152×75m
	底部径	151×32cm	129×39cm	140前後×53cm
	深さ	44cm	48cm	44cm
長軸方向	N-88° -W	N-68° -E	N-42° -E	N-81° -W
埋土	上部黒褐色土、中部灰黄褐色土主体で、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部黒褐色土主体。中部は灰黄褐色土と黒褐色土の混土。下部は粘性の強い黒褐色土。	黒褐色土主体。埋土右側は攪乱の可能性あり。	黒褐色土主体。にぶい黄褐色土が部分的に入る。
底面	逆茂木根と思われる副穴1個有。	ほぼ平坦	ほぼ平坦	東側に段差有り。
分類	BI3	CII3	BII3	BIV3

図89 陥し穴状遺構(30)



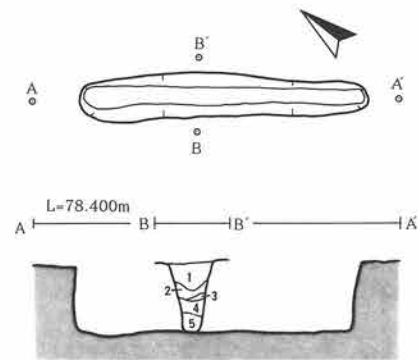
(第98号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 注記なし。



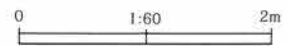
(第99号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
3. 注記なし。



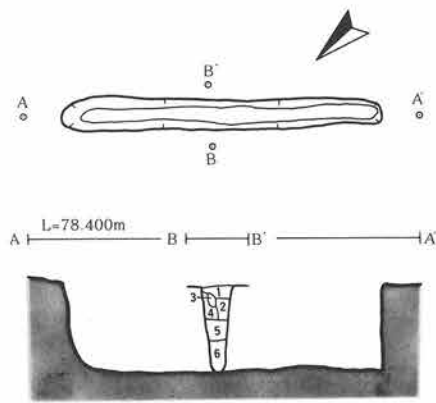
(第100号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒を全体に含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



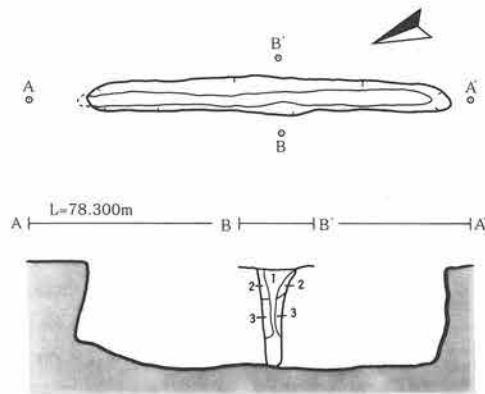
遺構名	第98号陥し穴	第99号陥し穴	第100号陥し穴
写真図版	73	73	73
検出状況			
重複関係			
形状	平面形	楕円形	溝状
	断面形	(縦) 不定形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
	開口部径	150×49cm	321×23cm
	底部径	131×11cm	317×6cm
規模	深さ	52cm	56cm
	長軸方向	N-40° -E	N-10° -W
埋土	上部は黒褐色土、下部はにぶい黄褐色土主体。木根による擾乱受ける。	黒色土・黒褐色土主体。最下層は粘性の強い黒褐色土。	黒色土粒・黒褐色土粒とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性が強い。
底面	中央部に副穴1個有り。	北側に副穴有り。	平坦
分類	BIV3	AI2	AII2

図90 陥し穴状遺構(31)



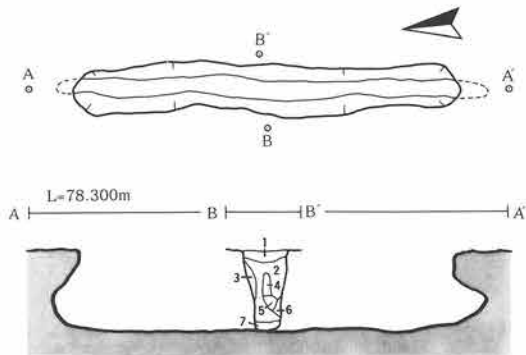
(第101号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト
5. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



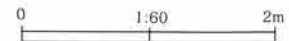
(第102号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



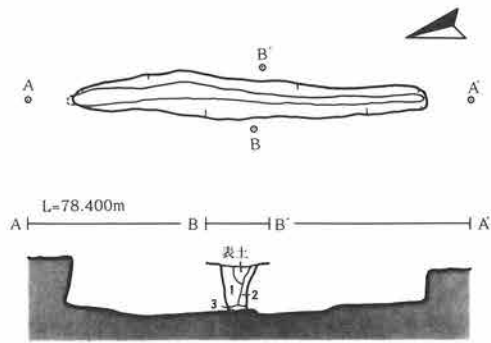
(第103号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックを含む。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをわずかに含む。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
7. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。



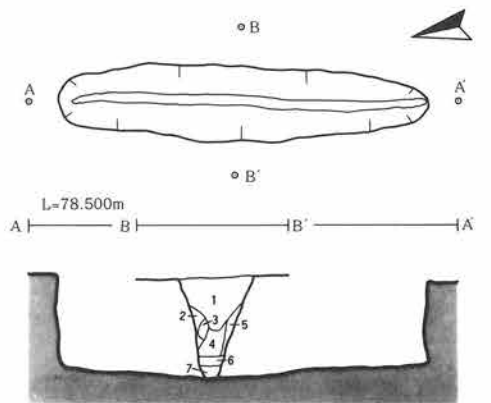
遺構名	第101号陥し穴	第102号陥し穴	第103号陥し穴
写真図版	73	74	74
検出状況 重複関係			
形状	平面形	溝状	溝状
	断面形	(縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) V字状
規模	開口部径	254×23cm	308×39cm
	底部径	235×9cm	280×11cm
	深さ	70cm	77cm
長軸方向	N-42°-E	N-20°-E	N-7°-E
埋土	上部黒褐色土、中部は色調の異なる灰黄褐色土主体、下部は黒褐色土と黄褐色土との混土。	上部中央から下部にかけて黒褐色土が入る。他とは入り方が異なる。	黒褐色土主体。4・5・6層は木根による擾乱か?
底面	ほぼ平坦	北端がせり上がる	両端がややせり上がる
分類	AII2	AIV2	AIII2

図91 陥し穴状遺構(32)



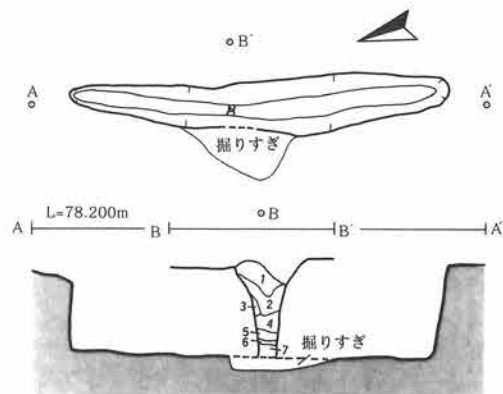
(第104号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



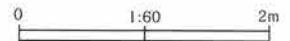
(第105号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色ブロックを全体に含む。
5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色との混土。
6. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
7. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。



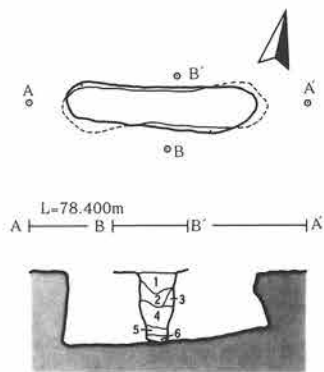
(第106号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
5. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
7. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。



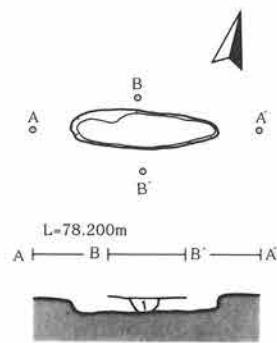
遺構名	第104号陥し穴	第105号陥し穴	第106号陥し穴
写真図版	74	74	74
検出状況 重複関係			
形 状	平面形 溝状 断面形 (縦) 不定形(横) V字状	溝状 (縦) 長方形 (横) V字状	溝状 (縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径 279×30cm 底部径 288×11cm 深さ 38cm	278×59cm 280×12cm 81cm	300×45cm 287×14cm 76cm
長軸方向	N-12° -E	N-14° -E	N-17° -E
埋 土	黒褐色土主体。最下層に粘性の強いにぶい黄褐色土が入る。	上部黒褐色土、中部にぶい黄褐色土主体。下部はにぶい黄褐色土に黒褐色土が入る。	上部黒褐色土。中～下部は色調の異なる黒褐色土ブロックが入った黄褐色土が層を成す。
底 面	多少凸凹がある。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦であったと思われる。
分 類	AI2	AI2	AI2

図92 陥し穴状遺構(33)



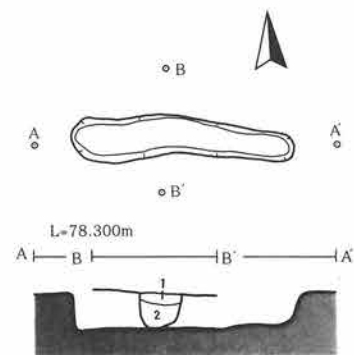
(第107号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト しぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト しぶい黄褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR5/3 しぶい黄褐色 シルト 黒褐色土との混土。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト しぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/3 しぶい黄褐色 粘土質シルト 褐色土と黄褐色土との混土。
6. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックをまばらに含む。



(第108号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。

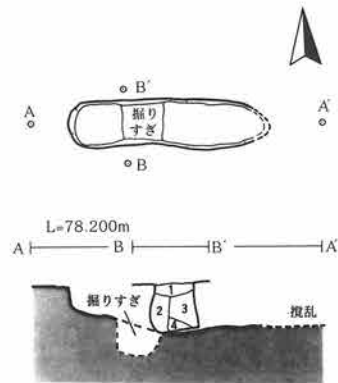


(第109号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しぶい黄褐色土との混土。

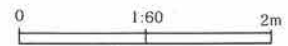
(第110号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト しぶい黄褐色土粒を全体に含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒まばら、黄褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性のある灰黄褐色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト しぶい黄褐色土粒を全体に含む。



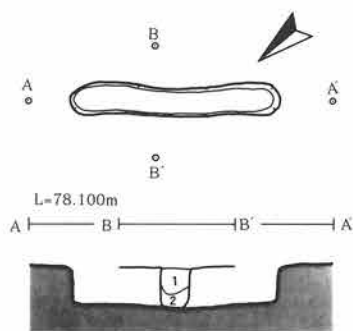
(第110号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト しぶい黄褐色土粒を全体に含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒まばら、黄褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性のある灰黄褐色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト しぶい黄褐色土粒を全体に含む。



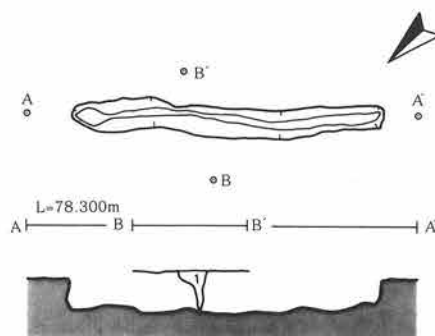
遺構名	第107号陥し穴	第108号陥し穴	第109号陥し穴	第110号陥し穴
写真図版	75	75	75	75
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) 不明	(縦) 逆台形 (横) U字状?
規模	開口部径	150×36cm	116×28cm	179×31cm
	底部径	162×28cm	109×25cm	170×22cm
	深さ	57cm	11cm	28cm
長軸方向	N-80°-E	N-79°-E	N-83°-E	N-89°-W
埋土	上部は黒褐色土、中部は色調の異なる黄褐色土主体。最下層は粘性の強い黒褐色土。	上部が削平され、最下層の粘性の強い黒褐色土のみ残存する。	上部が削平され、下部の粘性の強い黒褐色土(しぶい黄褐色土含む。)のみ残存する。	黒褐色土主体が、下部は土質が砂状になっている。
底面	東側に傾斜し上がる。	ほぼ平坦	ほぼ平坦	不明
分類	AⅢ3	AⅡ?	A13	A?3

図93 陥し穴状遺構(34)



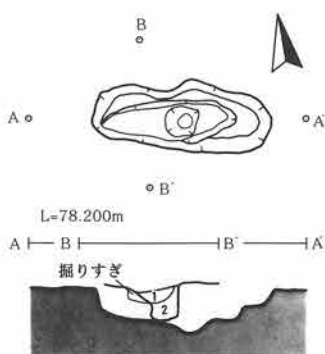
(第111号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/1 褐灰色 粘土質シルト 汚れた地山層?



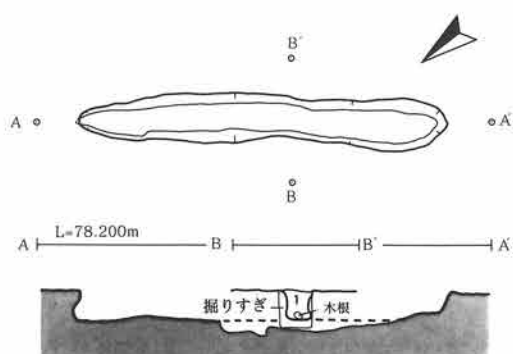
(第112号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。



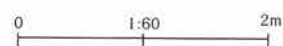
(第113号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土小ブロックをこくわずに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。



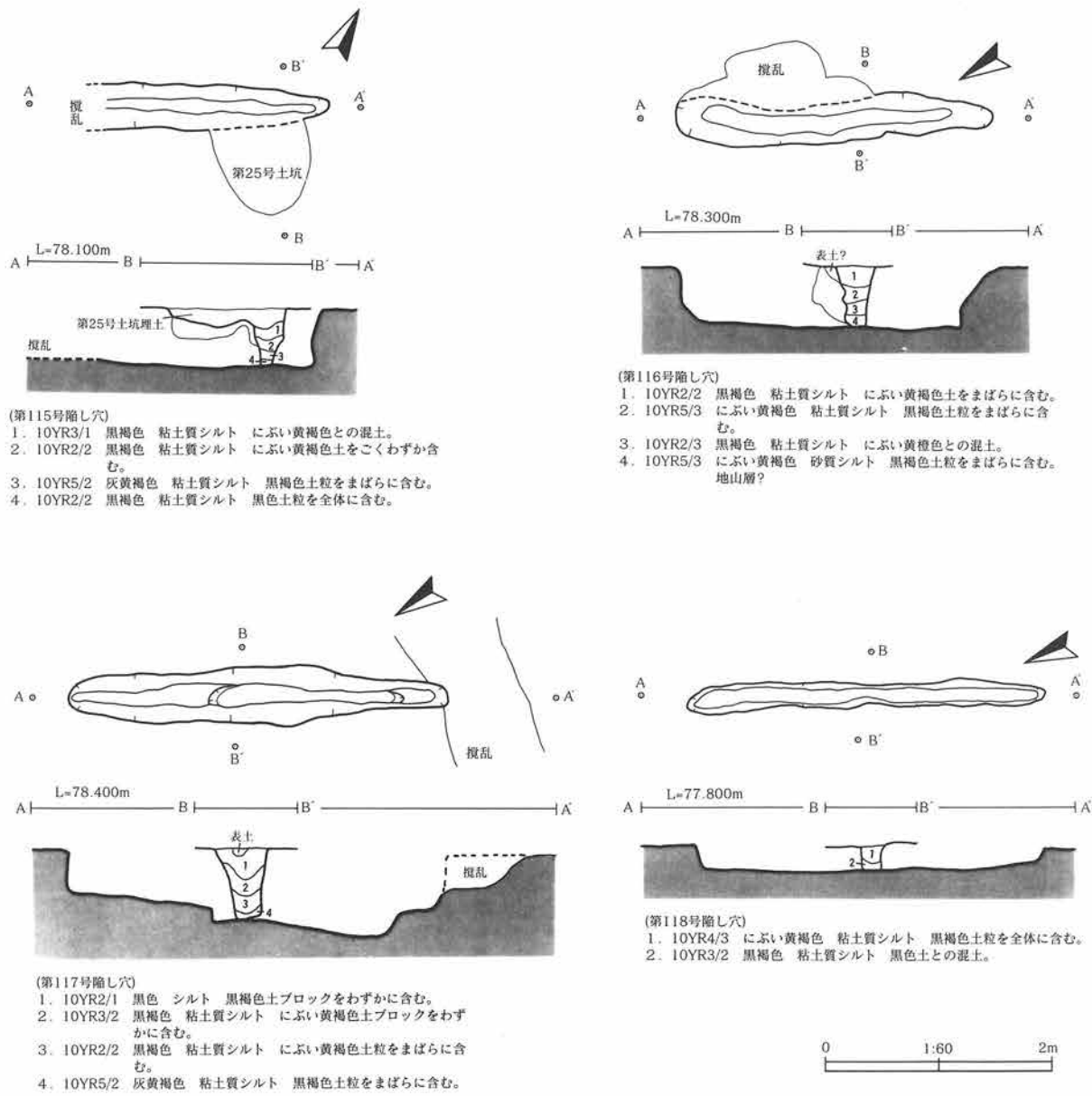
(第114号陥し穴)

1. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。



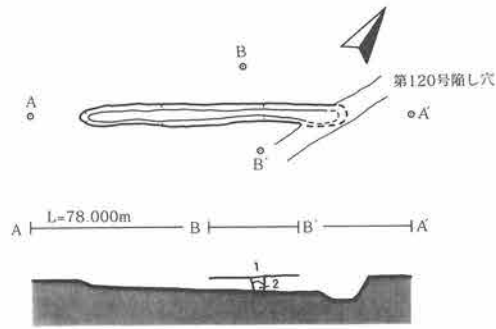
遺構名	第111号陥し穴	第112号陥し穴	第113号陥し穴	第114号陥し穴
写真図版	75	76	76	76
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦)長方形 (横)U字状	(縦)長方形 (横)V字状	(縦)逆台形 (横)不明
規模	開口部径	165×22cm	249×22cm	141×38cm
	底部径	155×19cm	239×5cm	124×25cm
	深さ	32cm	32cm	25cm
長軸方向	N-41° -W	N-44° -E	N-82° -W	N-40° -E
埋土	上部が削平され、最下層の黒褐色土のみ残る。粘性は強くない。	上部が削平され、最下層の黒褐色土のみ残る。	黒褐色土主体。上部削平され、下部のみ残存。	上部が削平され、最下層の灰黄褐色土(黒色土入る)のみ残存する。
底面	ほぼ平坦	凸凹有り。	中央部に副穴1個有する。	南西側がやや上がる。
分類	AII3	AII2	BII?	AIV3

図94 陥し穴状遺構(35)



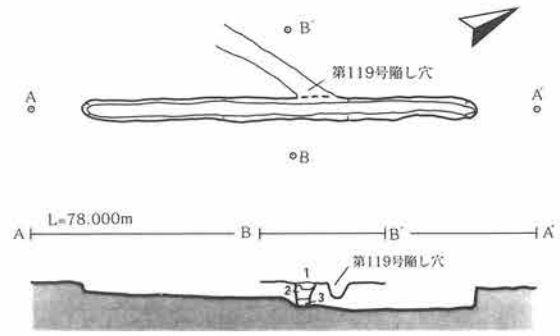
遺構名	第115号陥し穴	第116号陥し穴	第117号陥し穴	第118号陥し穴	
写真図版	76	76	77	77	
検出状況 重複関係	第25号土坑と重複。				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形? (横) V字状	(縦) 逆台形? (横) V字状	(縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) U字状?
規模	開口部径	(不明)×39cm	277×36cm	335×48cm	314×21cm
	底部径	(不明)×11cm	227×17cm	317×20cm	301×16cm
	深さ	49cm	53cm	63cm	22cm
長軸方向	N-64° -E	N-30° -E	N-33° -E	N-19° -E	
埋土	上部は黒褐色土、中部は灰黄褐色土主体。最下層は粘性の強い黒褐色土。	黒褐色土とにふい黄褐色土が互層を成す。最下層は砂粒が混入。	上部黒褐色土、中部黒褐色土主体。最下層は、灰黄褐色土の割合が多い。	上部が削平され、下部ににふい黄褐色土と最下層の黒褐色土のみ残存する。	
底面	ほぼ平坦	ほぼ平坦	南西方向に傾斜し下がる。凸凹有り。	両端がわずかにせり上がる。	
分類	A?2	AI2	AI2	AI3	

図95 陥し穴状遺構(36)



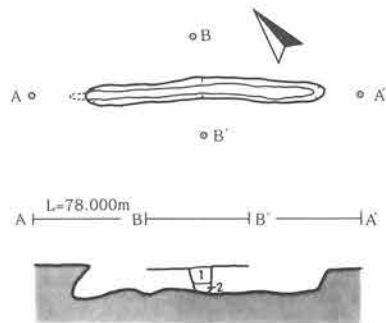
(第119号陥し穴)

1. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 若干砂粒が混入。



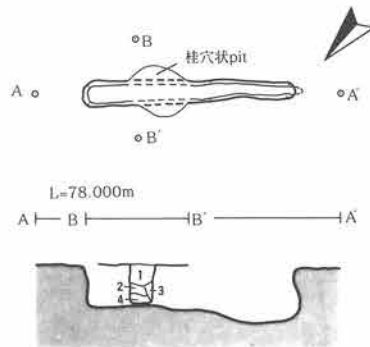
(第120号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒を全体に含む。



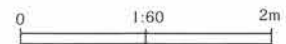
(第121号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土との混土。



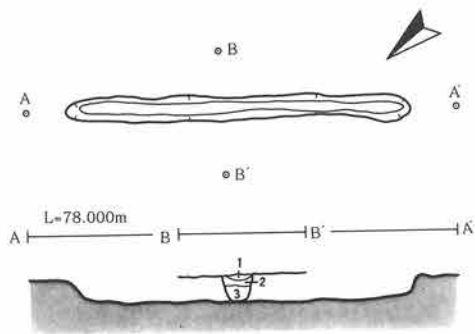
(第122号陥し穴)

1. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色土 粘土質シルト にふい黄褐色土との混土。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。

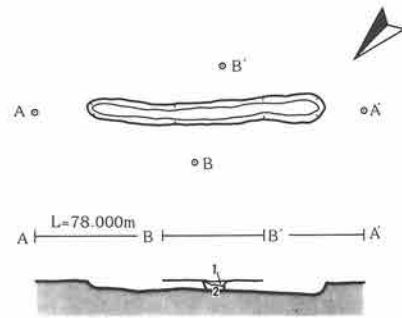


遺構名	第119号陥し穴	第120号陥し穴	第121号陥し穴	第122号陥し穴	
写真図版	77	77	77	78	
検出状況 重複関係	第120号陥し穴に切られる。	第119号陥し穴を切る。			
形状	平面形	溝状	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形? (横) 不明	(縦) 長方形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) U字状
規模	開口部径	210cm前後×13cm	313×17cm	165×22cm	168×20cm
	底部径	195cm前後×5cm	307×9cm	156×18cm	168×13cm
	深さ	12cm	18cm	31cm	33cm
長軸方向	N-58° -E	N-25° -E	N-40° -E	N-48° -E	
埋土	上部が削平され、下部にふい黄褐色土と最下層の黒褐色土のみ残存する。	上部が削平され、中~下部の層が残存。下部はふい黄褐色土の下に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部が削平され、下部にふい黄褐色土混じりの黒褐色土のみ残存する。	上部が削平され、中~下部の層が残存する。どの層も比較的粘性が強く、最下層は黒褐色土のみ入る。	
底面	ほぼ平坦	段差があり北側が下がる。	多少凸凹がある。	南西側が落ち込む。	
分類	AII?	AII2	AIV3	AIV3	

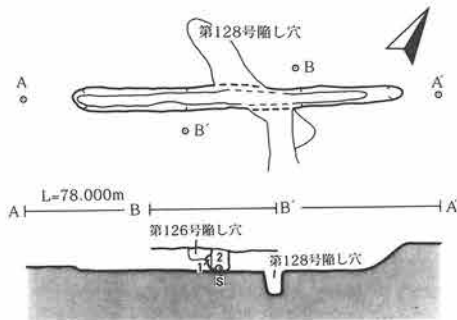
図96 陥し穴状遺構(37)



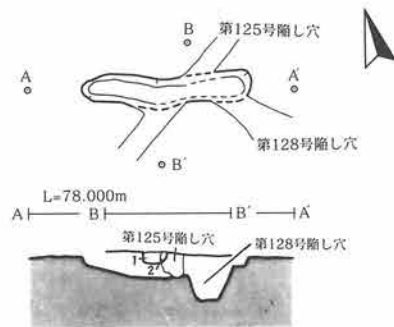
- (第123号陥し穴)
1. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
 2. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土小ブロックまばら、砂粒が混入。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘土質シルト 黒色土粒まばらに含む。地山層?



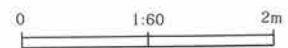
- (第124号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色粘土質シルト にふい黄褐色土粒をまばらに含む。
 2. 2.5YR8/2 灰黄褐色 粘土質シルト。黒褐色粒ブロックをまばらに含む。地山層?



- (第125号陥し穴)
1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 粒径5mm程度の礫をわずかに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。

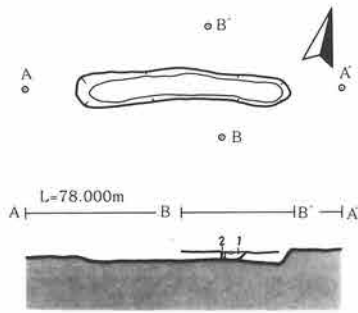


- (第126号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土との混土。
 2. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。

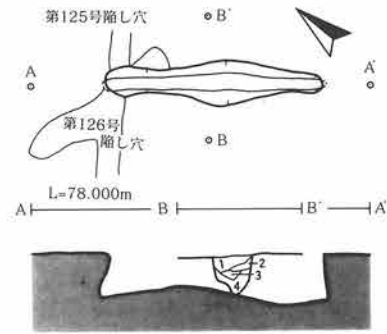


遺構名	第123号陥し穴	第124号陥し穴	第125号陥し穴	第126号陥し穴
写真図版	78	78	78	78
検出状況 重複関係			第126号、第128号陥し穴と重複。	第125号陥し穴、第128号陥し穴と重複。第125号より新しい。
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 逆台形 (横) V字状?	溝状 (縦) 逆台形 (横) V字状?	溝状 (縦) 逆台形 (横) V字状?	溝状 (縦) 逆台形 (横) 不明
規模	開口部径 272×21cm 底部径 255×13cm 深さ 21cm	188×17cm 180×10cm 6cm	252×19cm 226×9cm 17cm	134×23cm 123×12cm 9cm
長軸方向	N-41° -E	N-46° -E	N-56° -E	N-76° -E
埋土	上部が削平され、最下層にふい黄褐色土のみ残存する。	上部が削平され、下部のみ残存。最下層は黒色土混じりの灰黄褐色土。粘性は強い。	上部が削平され、下部の黒褐色土のみ残存。	上部が削平され、下部のみ残存。最下層はふい黄褐色土。
底面	ほぼ平坦	ほぼ平坦	ほぼ平坦	両端がせり上がる。
分類	A13	A12	A12	A11?

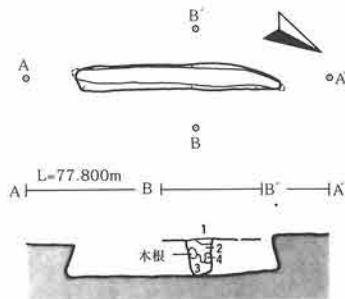
図97 陥し穴状遺構(38)



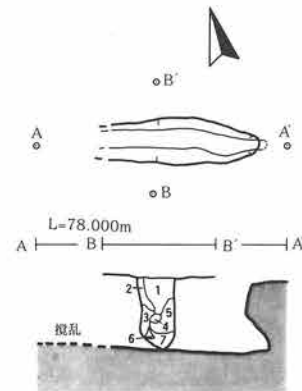
- (第127号陥し穴)
 1. 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト 粒径1mm程度の礫をわずかに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 黄褐色土との混土。



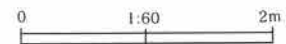
- (第128号陥し穴)
 1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒を全体に含む。
 4. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土小ブロックを含む。2層より暗い。



- (第129号陥し穴)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土と黒褐色土との混土。
 3. 10YR2/3 黒褐色 シルト 粒径2mm程度の礫をわずかに含む。
 4. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。

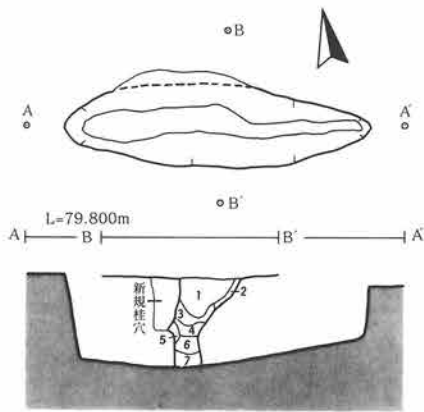


- (第130号陥し穴)
 1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 6. 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土との混土。
 7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



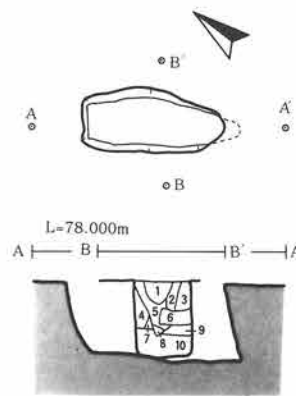
遺構名	第127号陥し穴	第128号陥し穴	第129号陥し穴	第130号陥し穴
写真図版	79	79	79	79
検閲関係				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦) 逆台形 (横) 不明	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) U字状
規模	開口部径	170×21cm	152×31cm	160×20cm
	底部径	151×15cm	167×13cm	167×15cm
	深さ	7cm	30cm	28cm
長軸方向	N-77°-E	N-41°-E	N-25°-E	N-67°-E
埋土	ほとんどが削平され、最下層の一部が残る。底面である礫層の上にわずかに埋土が残る。	黒褐色土にふい黄褐色土が互層を成す。全体に粘性が強い。	黒褐色土主体。木根に攪乱され層位が明確ではない。	最下層に粘性の強い黒色土が入る。上部～中部は攪乱または人為的な埋戻しか？
底面	ほぼ平坦	中央やや北よりせり上がる。	南西方向に傾斜し下がる。	ほぼ平坦。
分類	A?2	AⅢ2	AⅢ3	A?2

図98 陥し穴状遺構(39)



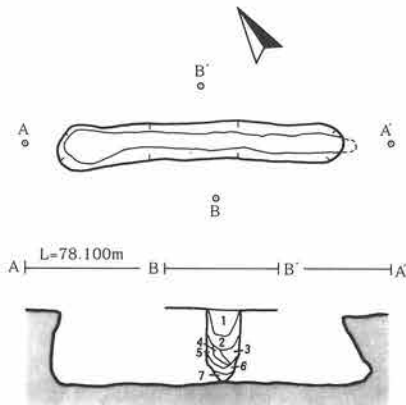
(第131号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックを全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を、まばらに含む。
7. 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト にぶい黄褐色土との混土。



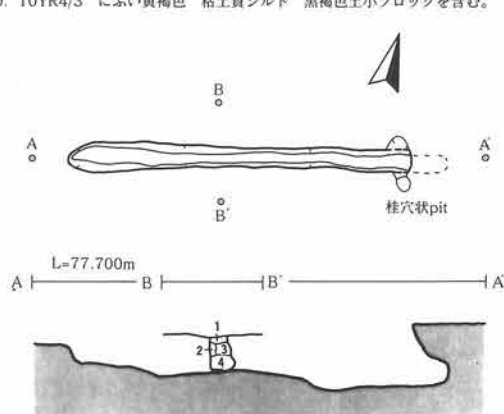
(第132号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土小ブロックを全体に含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。
7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
8. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
9. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをこくわずかに含む。
10. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックを含む。



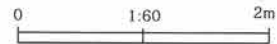
(第133号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。小礫わずか。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



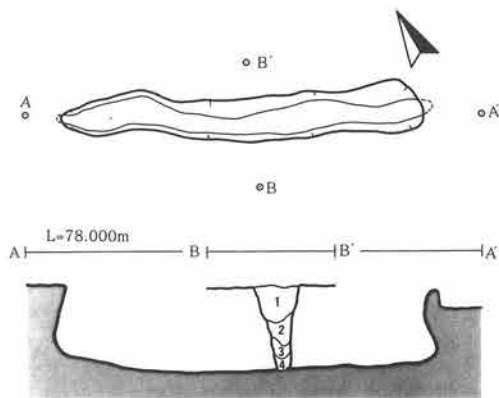
(第134号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。2層より暗い。



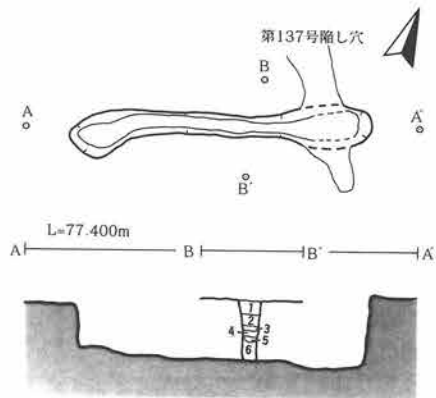
遺構名	第131号陥し穴	第132号陥し穴	第133号陥し穴	第134号陥し穴	
写真図版	79	80	80	80	
検出状況 重複関係					
形状	平面形	溝状	楕円形	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) Y字状	(縦) 不定形 (横) ビーカー形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) U字状
規模	開口部径	242×66cm	111×46cm	227×26cm	273×15cm
	底部径	221×18cm	134×38cm	242×13cm	297×10cm
	深さ	71cm	60cm	58cm	26cm
長軸方向	N-78° -W	N-38° -W	N-57° -E	N-74° -E	
埋土	上部は黒褐色土主体。中部にぶい黄褐色土が入り、最下層に砂粒の混入した黒褐色土が入る。	上部は黒褐色土と灰黄褐色土の混土主体。最下層は黒褐色土混じりのぶい黄褐色土。	上～中部は黒褐色土主体。中～下部は粘性が強い。6層は地山との境が明確でない。	上部は黒褐色土。中部はぶい黄褐色土主体。最下層に黒褐色土が入る。粘性はどの層も強い。	
底面	中央西寄りから両端へ上がる。	ほぼ平坦	ほぼ平坦	段差をつけながら東に傾斜し下がる。	
分類	A11	BIV3	AIII2	AV3	

図99 陥し穴状遺構(40)



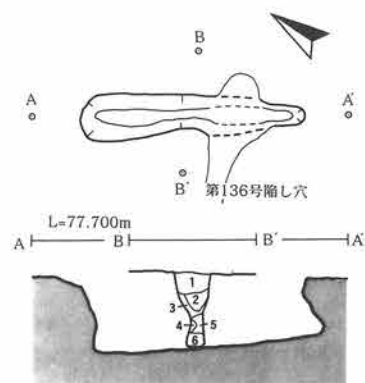
(第135号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
3. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックを全体に含む。
4. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 灰黄褐色土ブロックをまばらに含む。



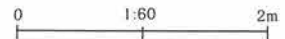
(第136号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。



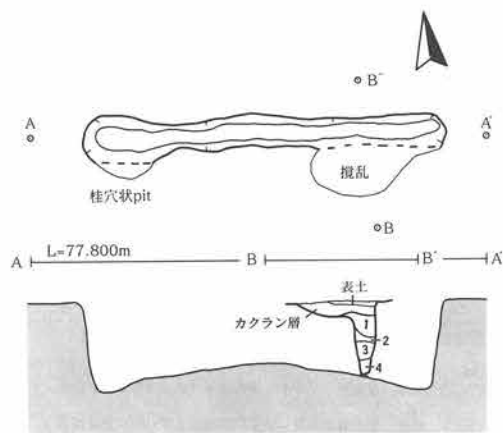
(第137号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをわずかに含む。
4. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



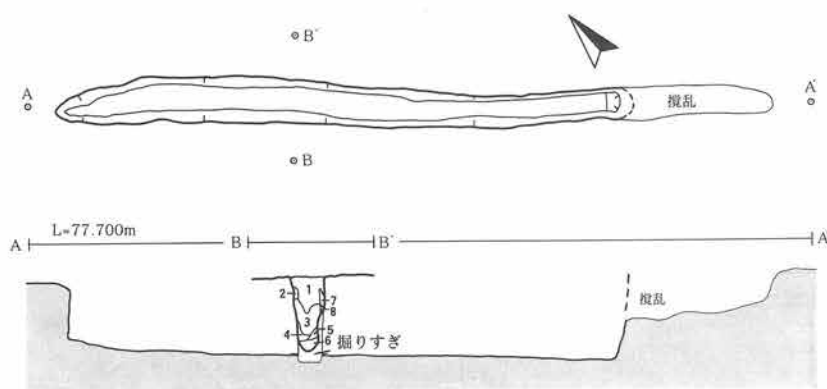
遺構名	第135号陥し穴	第136号陥し穴	第137号陥し穴	
写真図版	80	80	81	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	284 × 35cm	239 × 17cm	177 × 28cm
	底部径	296 × 12cm	222 × 10cm	156 × 13cm
	深さ	68cm	50cm	59cm
長軸方向	N-63°-E	N-72°-E	N-36°-E	
埋土	上部は黒色土。中部にぶい黄褐色土。最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上部は黒褐色土主体。中部~下部は黒褐色土混じりにぶい黄褐色土。	上部は黒褐色土。中~下部はにぶい黄褐色土主体。全体に粘性が強い。	
底面	両端がわずかにせり上がる。	東側に微傾斜し下がる。	北西側に傾斜し下がる。	
分類	AⅢ2	AⅠ3	AⅣ2	

図100 陥し穴状遺構(41)



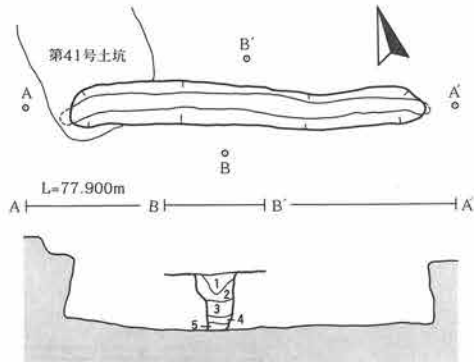
(第138号陥し穴)

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土と黄褐色土との混土。
4. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。



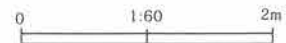
(第136号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックを全体に含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックを全体に含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒を全体に含む。
7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
8. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



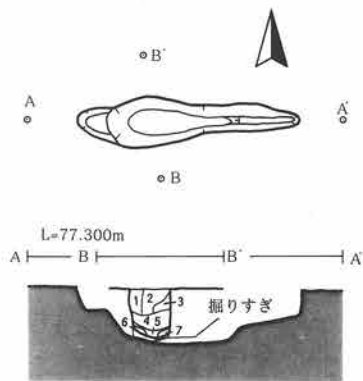
(第140号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土小ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。



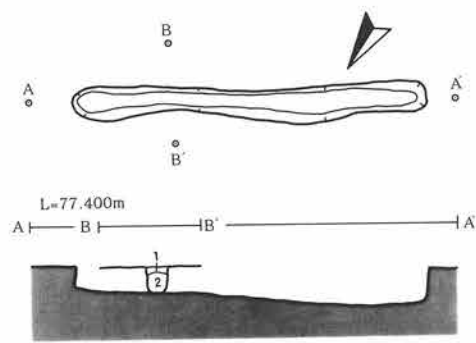
遺構名	第138号陥し穴	第139号陥し穴	第140号陥し穴	
写真図版	81	81	81	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 長方形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) U字状
	開口部径	285×25cm	446×28cm	281×30cm
	底部径	271×10cm	428×15cm	286×13cm
規模	深さ	49cm	60cm	46cm
長軸方向	N-82°-W	N-50°-E	N-72°-E	
埋土	上部はにぶい黄褐色土。中部はにぶい黄褐色土。黒褐色土との混土。最下層は粘性は強くない。	上部は黒褐色土。中部ににぶい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い黒褐色土入る。	上部は黒色土。中～下部はにぶい黄褐色土と黒色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒色土。	
底面	中央部がせり上がる。	南東側に微傾斜し下がる。	北西側に傾斜し下がる。	
分類	AⅡ2	AⅡ2	AⅢ3	

図101 陥し穴状遺構(42)



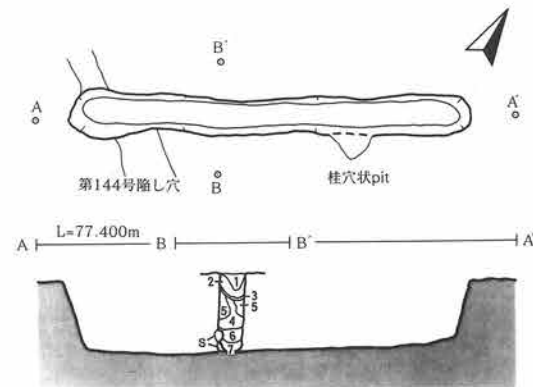
(第141号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
5. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。
7. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



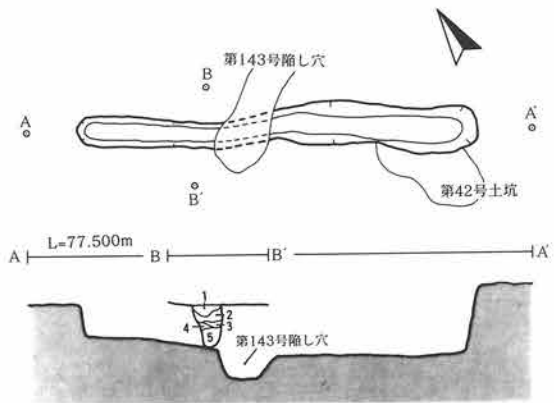
(第142号陥し穴)

1. 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。



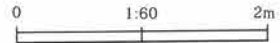
(第143号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト ブロック状に黄褐色土を含む。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト。
7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



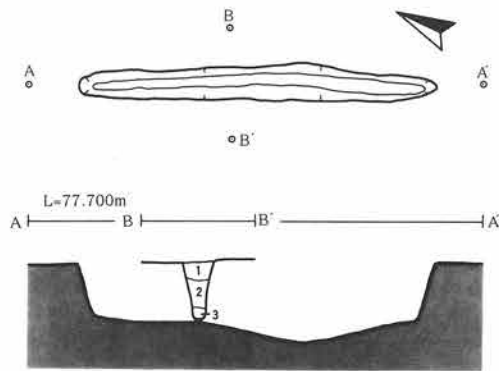
(第144号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をこくわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。

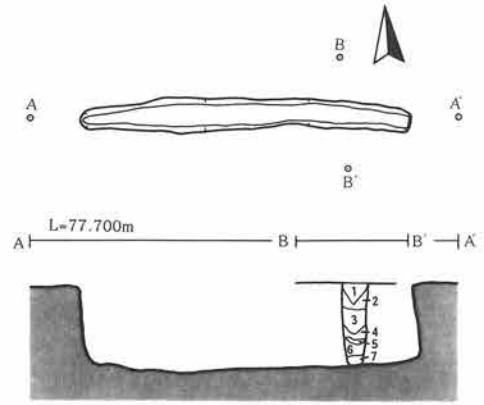


遺構名	第141号陥し穴	第142号陥し穴	第143号陥し穴	第144号陥し穴
写真図版	81	82	82	82
検出状況 重複関係			第144号の陥し穴を切る。本遺構の方が新しい。	第143号陥し穴に切られる。本遺構の方が古い。
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 不定形 (横) U字状	溝状 (縦) 長方形 (横) U字状	溝状 (縦) 台形 (横) U字状	溝状 (縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径 174×32cm 底部径 131×23cm 深さ 42cm	281×18cm 269×12cm 21cm	317×21cm 296×19cm 62cm	318×22cm 300×9cm 35cm
長軸方向	N-89° -W	N-57° -E	N-59° -E	N-56° -W
埋土	上部は黒色土・黒褐色土。中部はにぶい黄褐色土主体。最下層は地山崩落土が入る。	上部が削平され、下部のにぶい黄褐色土が残存する。	上部は黒褐色土。中～下部にはにぶい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上～中部は黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は黒褐色土混じりのにぶい黄褐色土。
底面	段差があり西側に下がる。	東側がややせり上がる。	ほぼ平坦	南東方向に傾斜し下がる。
分類	A?3	AII3	A I 3	A I 2

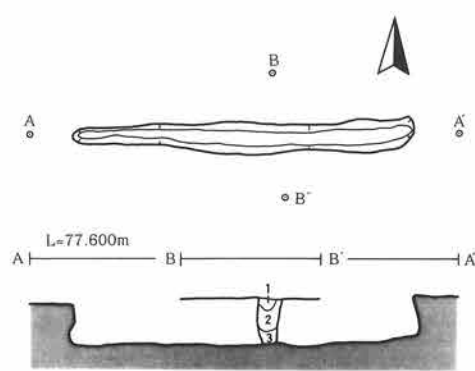
図102 陥し穴状遺構(43)



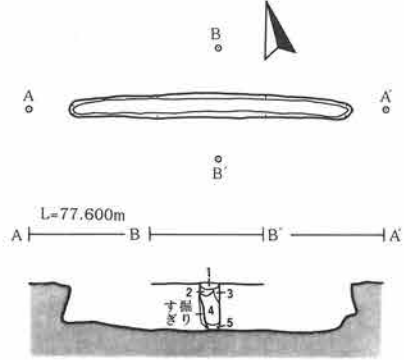
- (第145号陥し穴)
 1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土と黒褐色土との混土。黄褐色土ブロックわずかに含む。
 3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土粒をわずかに含む。



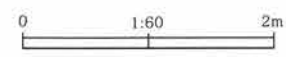
- (第146号陥し穴)
 1. 10YR2/3 黒褐色 シルト。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。
 3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 5. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 6. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 7. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。



- (第147号陥し穴)
 1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。

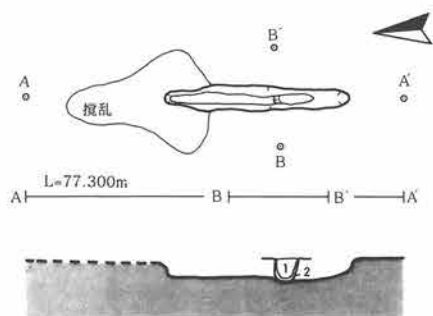


- (第148号陥し穴)
 1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色小ブロックをまばらに含む。
 5. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色との混土。わずかに砂粒混入。



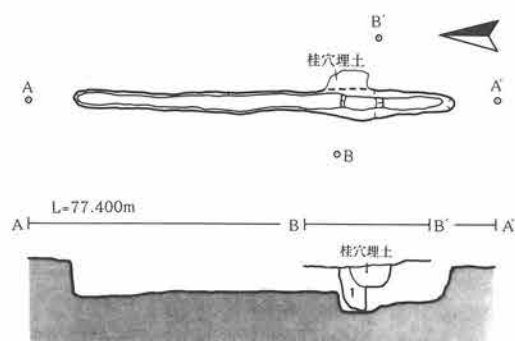
遺構名	第145号陥し穴	第146号陥し穴	第147号陥し穴	第148号陥し穴
写真図版	82	82	83	83
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦)逆台形 (横) V字状	(縦)長方形 (横) U字状	(縦)台形 (横) U字状
規模	開口部径	283×25cm	264×20cm	272×19cm
	底部径	262×7cm	260×12cm	278×11cm
	深さ	46cm	66cm	36cm
長軸方向	N-25°-W	N-86°-W	N-89°-E	N-77°-E
埋土	黒褐色土主体。最下層は粘性の強い黒褐色土。	上~中部は黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒褐色土。	上部は黒褐色土主体。にぶい黄褐色土をはさまみ。最下層に黒褐色土が入る。粘性はどの層も強い。	上部は黒褐色土。中~下部は灰黄褐色土主体。最下層は粘性の強い黒褐色土。
底面	中央やや南寄り傾斜し下がる。。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦	南東側にやや傾斜する。
分類	AⅡ2	AⅡ3	AⅢ3	AⅢ3

図103 陥し穴状遺構(44)



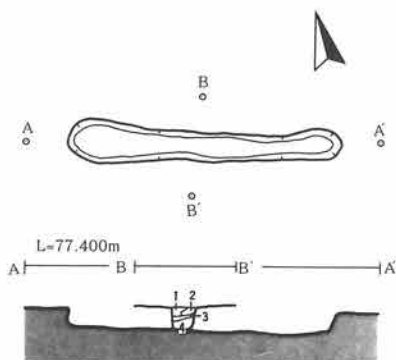
(第149号陥し穴)

- 10YR3/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
- 10YR5/3 にふい黄褐色 砂質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



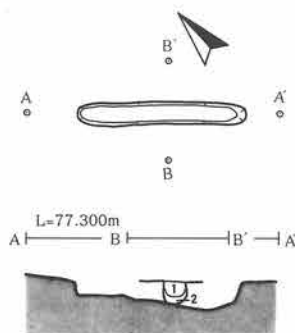
(第150号陥し穴)

- 10YR6/3 にふい黄褐色 砂質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



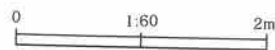
(第151号陥し穴)

- 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土と黄褐色土との混土。黒褐色土の割合多い。
- 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 1層より黄褐色土の割合多い。
- 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 褐色土をまばらに含む。
- 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。



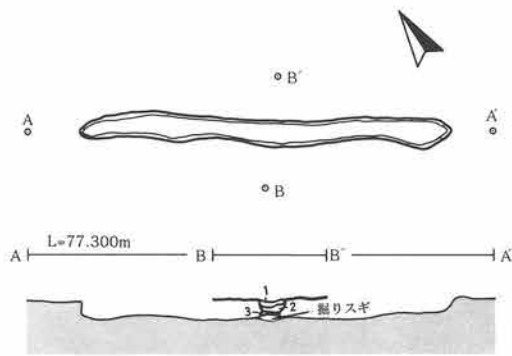
(第152号陥し穴)

- 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
- 10YR4/3 にふい黄褐色 砂質シルト 黒色土粒をわずかに含む。地山層?



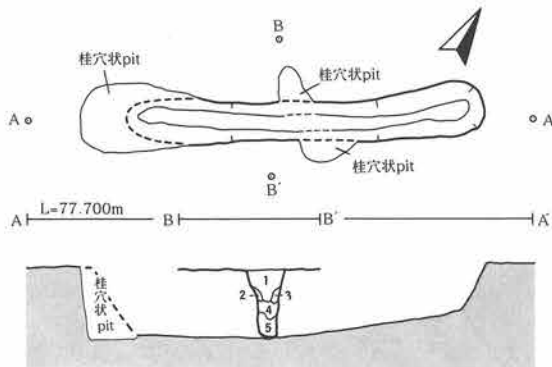
遺構名	第149号陥し穴	第150号陥し穴	第151号陥し穴	第152号陥し穴	
写真図版	83	83	83	84	
検出状況 重複関係		柱穴状ビットと重複。断面の一部が切られる。			
形状	平面形	溝状	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) U字状?	(縦) 逆台形 (横) U字状?
規模	開口部径	146 × 18cm	302 × 16cm	216 × 22cm	185 × 17cm
	底部径	115 × 12cm	297 × 12cm	203 × 16cm	174 × 13cm
	深さ	17cm	35cm	18cm	17cm
長軸方向	N-5°-E	N-1°-E	N-76°-E	N-49°-W	
埋土	上部が稍平され、下部の黒褐色土のみ残る。粘性はさほど強くない。2層は掘りすぎか?	にふい黄褐色土主体。地山との境界線が明確ではない。	上部が稍平され、中~下部が現存。にふい黄褐色土のFに粘性の強い暗褐色土が入る。	上部が稍平され、下部のみ残存。2層は掘りすぎの可能性有。	
底面	ほぼ平坦。	右端に凹凸有。	ほぼ平坦	南東方向に傾斜し下がる。	
分類	A13	A13	A13?	A13?	

図104 陥し穴状遺構(45)



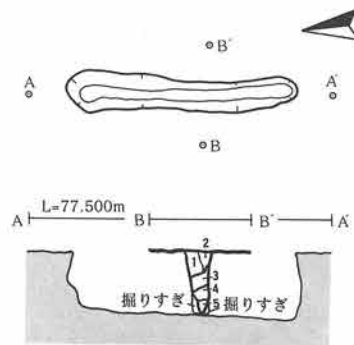
(第153陥し穴)

1. 10YR5/2 灰黄褐色 シルト 黒色土小ブロックをわずかに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にふい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。



(第154陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。2層に似る。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土と黄褐色土との混土。黒褐色土の割合多い。



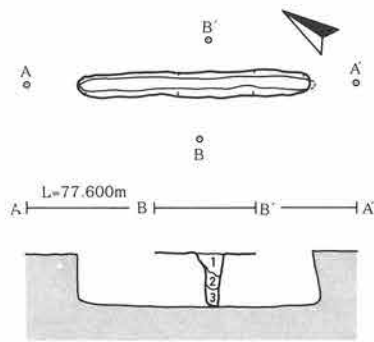
(第155陥し穴)

1. 10YR4/2 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをわずかに含む。



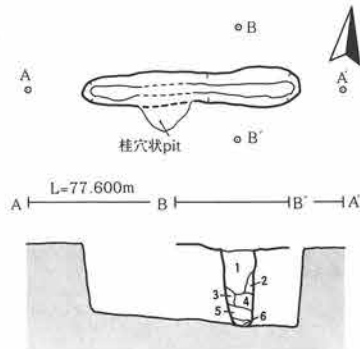
遺構名	第153号陥し穴	第154号陥し穴	第155号陥し穴
写真図版	84	84	84
検出状況 重複関係			
形状	平面形	溝状	溝状
	断面形	(縦)長方形(横)U字状?	(縦)逆台形 (横)V字状
	開口部径	294×20cm	280cm前後×28cm
	底部径	289×18cm	261×13cm
規模	深さ	10cm	51cm
	長軸方向	N-57°-E	N-58°-E
埋土	上部が削平され、下部のみ残存。最下層の黒褐色土は粘性はさほど強くない。	黒褐色土主体。最下層は黒褐色土とにふい黄褐色土の混土。	上部はにふい黄褐色土。下部は黒褐色土と黒色土主体。いずれの層も粘性は強い。
	底面	ほぼ平坦。	北東方向にせり上がる。
分類	AII3?	AI2	AI2

図105 陥し穴状遺構(46)



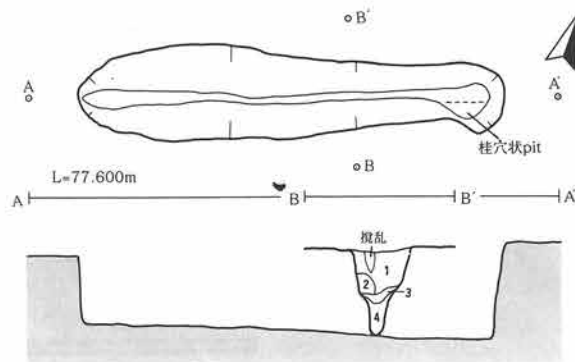
(第156陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。植根含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒褐色土と暗褐色土との混土。黒褐色土の割合多い。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。



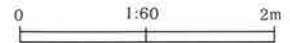
(第157陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土と黄褐色土との混土。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 褐色土粒をまばらに含む。



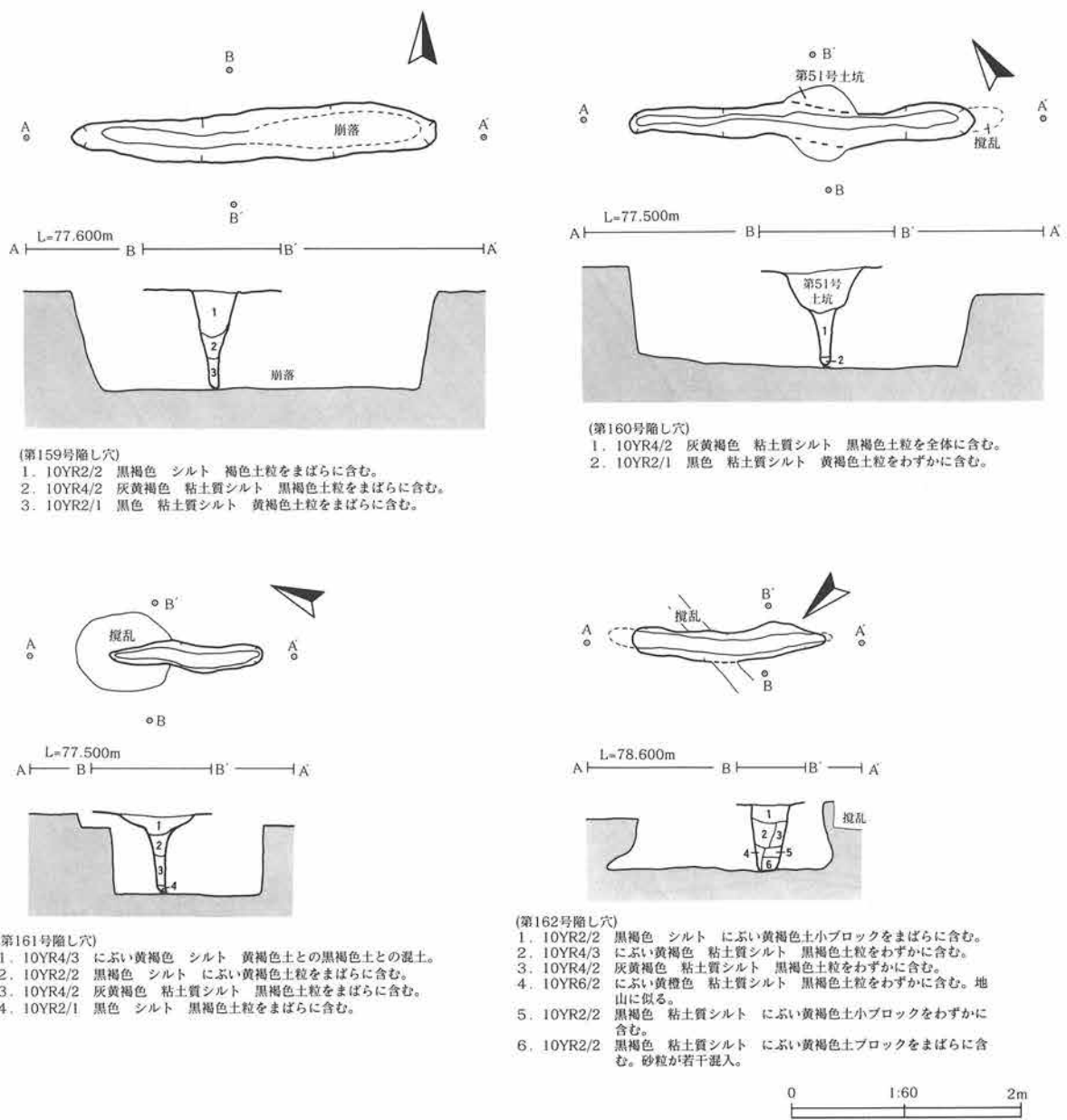
(第158陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト ぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックまばら。1層よりやや暗い。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



遺構名	第156号陥し穴	第157号陥し穴	第158号陥し穴	
写真図版	84	85	85	
検出状況 重複関係				
形状 規模	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
	開口部径	183×22cm	173cm前後×27cm	348×55cm
	底部径	186×8cm	161×10cm	326×7cm
	深さ	43cm	59cm	68cm
長軸方向	N-33°-W	N-83°-E	N-70°-E	
埋土	黒褐色土主体。下部は粘性が強い。	上~中部は黒色土、黒褐色土主体。ぶい黄褐色土をはさみ最下層に粘性の強い黒色土入る。	上部は黒色土、中~下部は黒褐色土主体。粘性はやや有。	
底面	ほぼ平坦。	東側に微傾斜し下がる。	東側に微傾斜し下がる。	
分類	AⅢ2	AⅢ3	AⅠ1	

図106 陥し穴状遺構(47)



- (第159号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黄褐色土粒をまばらに含む。

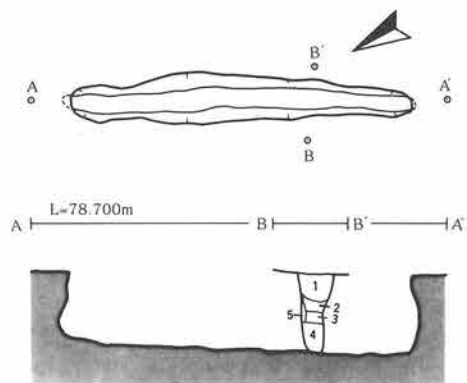
- (第160号陥し穴)
1. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒を全体に含む。
 2. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黄褐色土粒をわずかに含む。

- (第161号陥し穴)
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黄褐色土との黒褐色土との混土。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 4. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。

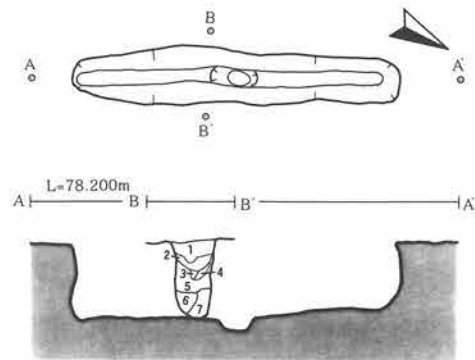
- (第162号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土小ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 4. 10YR6/2 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。地山に似る。
 5. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
 6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。砂粒が若干混入。

遺構名	第159号陥し穴	第160号陥し穴	第161号陥し穴	第162号陥し穴	
写真図版	85	85	85	86	
検出状況 重複関係		第51号土坑に切られる。			
形状	平面形	溝状	溝状	溝状	
	断面形	(縦)逆台形 (横)V字状	(縦)逆台形 (横)V字状	(縦)長方形 (横)V字状	(縦)台形 (横)V字状?
規模	開口部径	318×42cm	303×27cm	133×20cm	194×32cm
	底部径	278×10cm	281×6cm	125×10cm	168×17cm
	深さ	86cm	86cm	66cm	57cm
長軸方向	N-87°-E	N-59°-W	N-21°-W	N-43°-E	
埋土	上部は黒褐色土主体。灰黄褐色土をはさみ最下層に粘性の強い黒色土が入る。	中~下部が残存。灰褐色土の下に粘性の強い黒色土が入る。	上部は黒色土主体。灰褐色土をはさんで、最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上部は黒褐色土主体。にぶい黄褐色土をはさみ、下部に黒褐色土が入る。	
底面	平坦。	北西部がわずかにせり上がる。	ほぼ平坦	ほぼ平坦。	
分類	A I 2	A I 2	A II 2	A III 2	

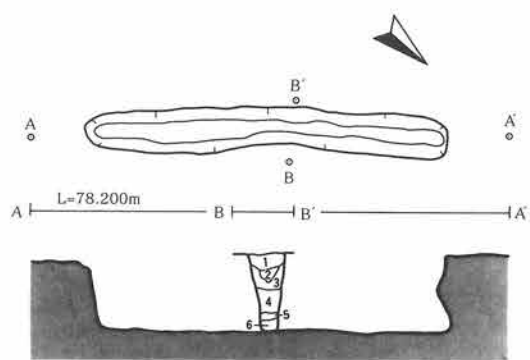
図107 陥し穴状遺構(48)



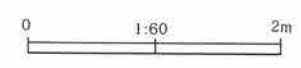
- (第163号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
 4. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をごくわずかに含む。



- (第164号陥し穴)
1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。
 7. 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。

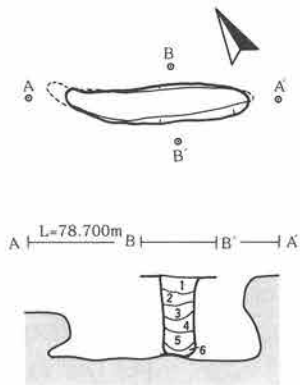


- (第165号陥し穴)
1. 10YR3/1 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土小ブロックをまばらに含む。
 5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



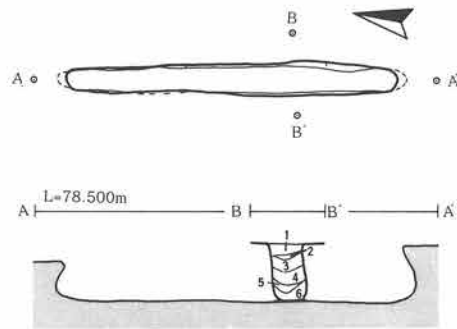
遺構名	第163号陥し穴	第164号陥し穴	第165号陥し穴	
写真図版	86	86	86	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) V字状
	開口部径	270×28cm	262×38cm	279×30cm
	底部径	282×14cm	245×15cm	265×11cm
	深さ	62cm	62cm	63cm
長軸方向	N-28°-E	N-27°-W	N-39°-W	
埋土	上部は黒色土・黒褐色土主体、中部に灰黄褐色土が入り、最下層は粘性の強い黒褐色土。	上~中部は黒色土・黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は黒褐色土と黄褐色土の混土。	黒褐色土と灰褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒褐色土。	
底面	南西部に微傾斜し下がる。	中央部に陥穴1個有。	ほぼ平坦。	
分類	AⅢ2	AN3	AN2	

図108 陥し穴状遺構(49)



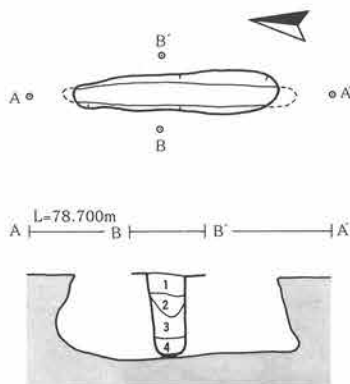
(第166号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土をこくわずかに含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒との混土。
5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。
6. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。



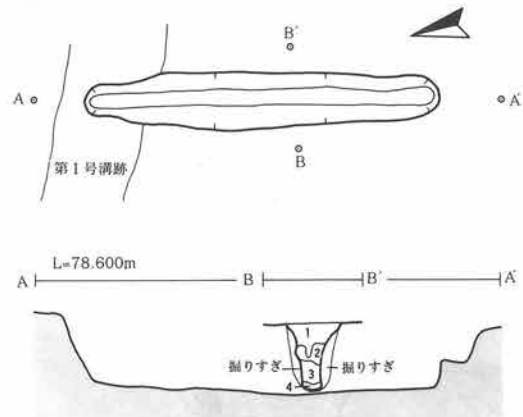
(第167号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR2/3 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒との混土。
6. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



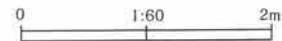
(第168号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土との混土。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。粘性強い。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。



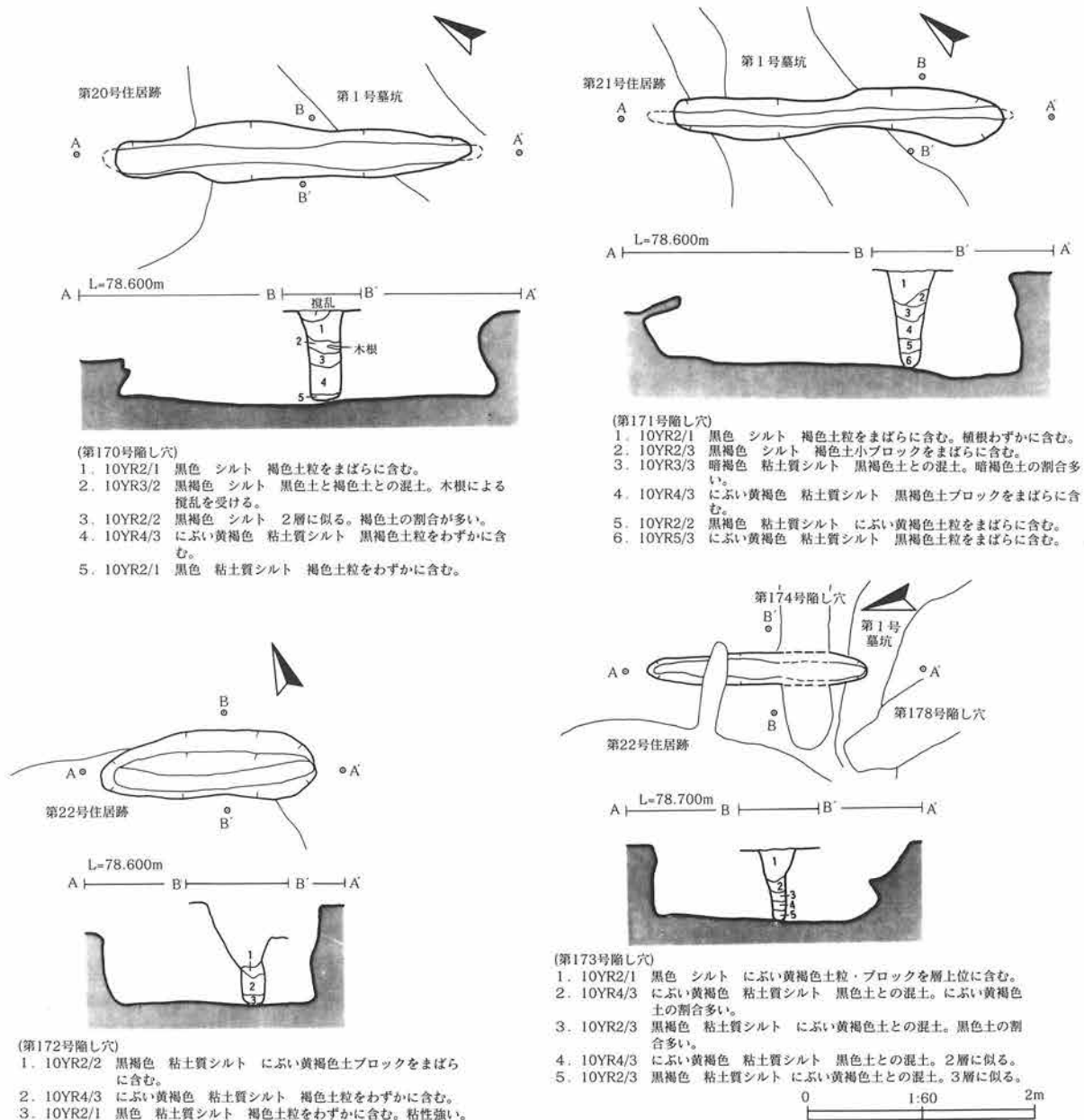
(第169号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/4 暗褐色 シルト 黒褐色土との混土。暗褐色土の割合が多い。
4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



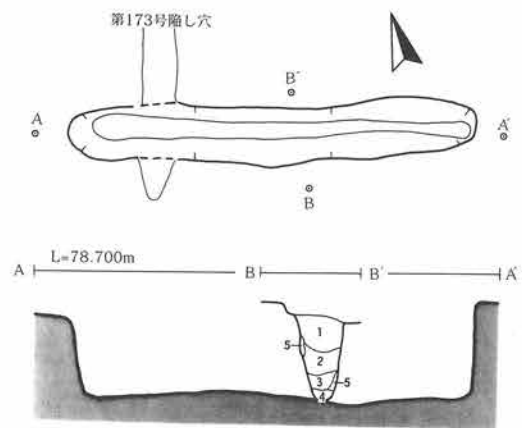
遺構名	第166号陥し穴	第167号陥し穴	第168号陥し穴	第169号陥し穴
写真図版	86	87	87	87
検出状況 重複関係	第20号住居跡と重複	第20号住居跡と重複。		第1号溝跡と重複。溝跡に上部を切られる。
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	146 × 28cm	262 × 28cm	165 × 29cm
	底部径	164 × 26cm	276 × 24cm	185 × 22cm
	深さ	63cm	46cm	65cm
長軸方向	N-122°-E	N-164°-E	N-169°-E	N-21°-E
埋土	黒色土・黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。下層は粘性が強い。	黒色土・黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上部黒色土・黒褐色土、中部にぶい黄褐色土主体、最下層に粘性の強い黒色土が入る。	上部黒褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土入る。にぶい黄褐色土があまり入らない。
底面	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	北側がやや上がる。	中央から両端にせり上がる。
分類	AⅢ3	AⅢ3	AⅢ3	AⅠ2

図109 陥し穴状遺構(50)

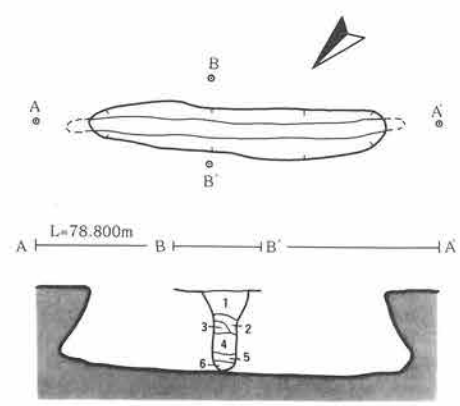


遺構名	第170号陥し穴	第171号陥し穴	第172号陥し穴	第173号陥し穴	
写真図版	87	87	88	88	
検出状況	第20号住居跡、第1号墓坑と重複。上部を切られる。	第21号住居跡、第1号墓坑と重複。上部を切られる。	第22号住居跡と重複。南側の上部を切られる。	第22号住居跡煙道部、第1号墓坑に切られる。第174号陥し穴との新旧関係は不明。	
平面形	溝状	溝状	溝状	溝状	
断面形	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 長方形 (横) V字状?	(縦) 不定形 (横) V字状	
規模	開口部径	312 × 35cm	291 × 42cm	182 × 55cm	195 × 29cm
	底部径	335 × 25cm	323 × 10cm	176 × 16cm	187 × 10cm
	深さ	82cm	85cm	58cm	62cm
長軸方向	N-132°-E	N-137°-E	N-113°-E	N-15°-E	
埋土	上部黒色土・黒褐色土主体。下層はにぶい黄褐色土の下に粘性の強い黒色土が入る。	上部黒褐色土主体。下層は粘性が強く、黒褐色土の下ににぶい黄褐色土が入る。	上部は黒褐色土主体であったと思われる。最下層部に粘性の強い黒色土が入る。	黒褐色土・黒色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒褐色土。	
底面	ほぼ平坦。	南側に向かって下がる。	ほぼ平坦。	南側がやや下がる。	
分類	AⅢ3	AⅢ2	AⅢ2	AⅣ2	

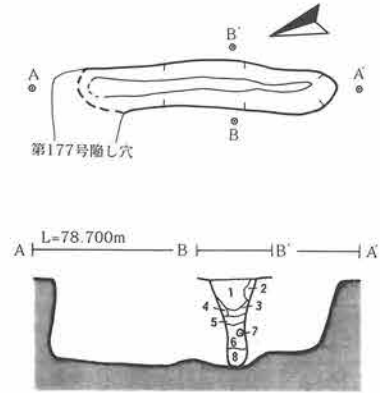
図110 陥し穴状遺構(51)



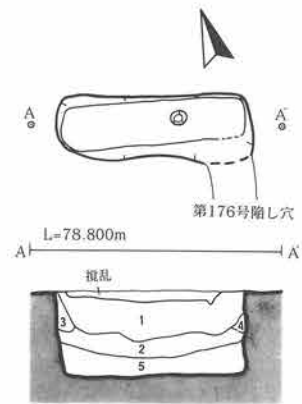
- (第174号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土と暗褐色土との混土。木褐色土ブロックを含む。
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘土質シルト 褐色土と暗褐色土との混土。
 4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。3層との混土。
 5. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



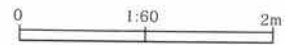
- (第175号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR3/1 黒褐色 シルト 褐色土小ブロックをわずかに含む。
 5. 10YR3/2 黒褐色 シルト 5層に似る。褐色土の割合が多い。
 6. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土小ブロックを全体に含む。



- (第176号陥し穴)
1. 10YR2/3 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
 3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。1層よりやや暗い。
 4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。地山に似る。
 5. 10YR3/3 暗褐色 シルト 褐色土と黒褐色土との混土。褐色土の割合少ない。
 6. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 7. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黄褐色ブロック。
 8. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。

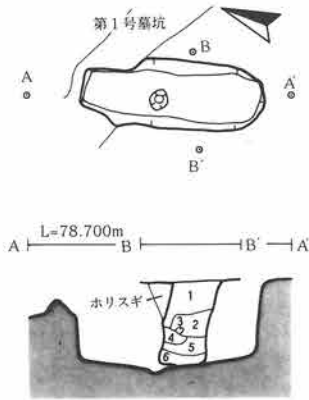


- (第177号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒を全体に含む。
 3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
 4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土ブロックをわずかに含む。
 5. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。



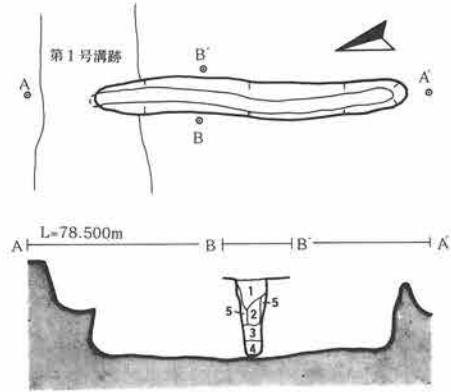
遺構名	第174号陥し穴	第175号陥し穴	第176号陥し穴	第177号陥し穴
写真図版	88	88	88	89
検出状況	第173号陥し穴と重複。新旧関係は不明。		第177号の陥し穴と重複。本遺構の方が新しい。	第176号陥し穴と重複。本遺構の方が古い。
形	溝状	溝状	溝状	長方形
断面形	(縦)長方形 (横) V字状	(縦)台形 (横) V字状	(縦)逆台形 (横) V字状	(縦)長方形 (横) U字状
規模	開口部径 325×34cm 底部径 299×12cm 深さ 67cm	245×36cm 267×13cm 65cm	207×37cm 176×11cm 70cm	154×52cm 148×36cm 67cm
長軸方向	N-105°-E	N-48°-E	N-20°-E	N-110°-E
埋土	上部黒色土主体。中部はにぶい黄褐色土。下部は入るに従って黒褐色土の割合増える。	黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土がほとんど入らない。	黒色土・黒褐色土主体。ブロック状ににぶい黄褐色土が入る。	黒色土・黒褐色土主体。下部に入るに従って粘性が強くなる。
底面	ほぼ平坦。	両端がややせり上がる。	南側に段差をつけて上がる。	ほぼ平坦。東側に逆茂木隆痕1基有。
分類	AⅡ2	AⅢ2	AⅠ2	CⅡ3

図111 陥し穴状遺構(52)



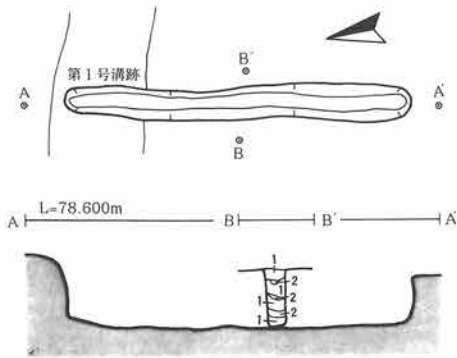
(第178号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土微量混入。
3. 10YR4/4 褐色 粘土質シルト 褐色土ブロック。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒との混土。
5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
6. 10YR2/1 黒褐色 シルト。



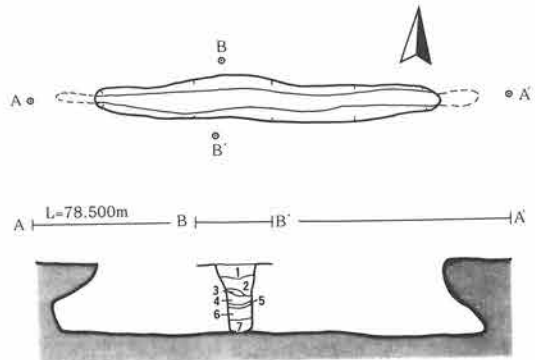
(第179号陥し穴)

1. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックわずか。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックまばらに入る。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
4. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
5. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



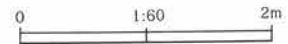
(第180号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 暗褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。



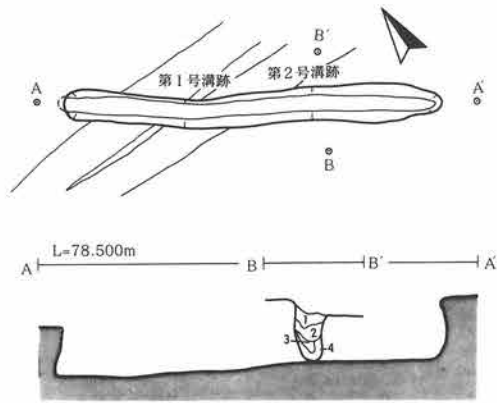
(第181号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土との混土。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 褐色土との混土。
4. 10YR3/3 暗褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土、にぶい黄褐色土との混土。
7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。粘性強い。



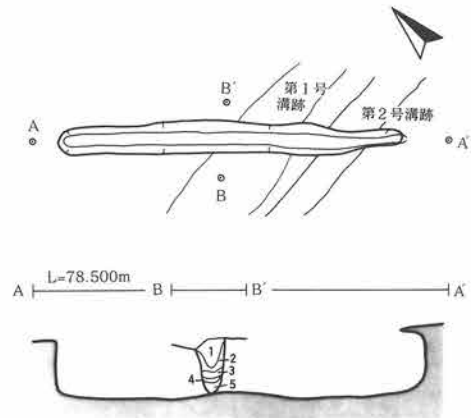
遺構名	第178号陥し穴	第179号陥し穴	第180号陥し穴	第181号陥し穴
写真図版	89	89	89	89
検出状況 重複関係	第1号墓坑と重複。北側上部を切られる。	第1号溝跡と重複。北側上部を切られる。	第1号溝跡と重複。北側上部を切られる。	
形状	平面形 長方形 断面形 (縦) 逆台形 (横) U字状	溝状 (縦) 不定形 (横) V字状	溝状 (縦) 逆台形 (横) U字状	溝状 (縦) 台形 (横) V字状
規模	開口部径 145×48cm 底部径 137×38cm 深さ 67cm	247×27cm 249×11cm 62cm	275×21cm 268×12cm 47cm	273×30cm 335×17cm 53cm
長軸方向	N-168°-E	N-16°-E	N-14°-E	N-87°-E
埋土	黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土はわずかに入る。	上部は黒褐色土主体。下部は粘性の強い灰黄褐色と褐色土との混土。	黒褐色土と暗褐色土が互層を成す。にぶい黄褐色土は入らない。	にぶい黄褐色土まじりの黒色土・黒褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土入る。
底面	両端がややせり上がる。副穴1基有。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦	ほぼ平坦。
分類	CⅡ3	AV2	AI3	AⅢ2

図112 陥し穴状遺構(53)



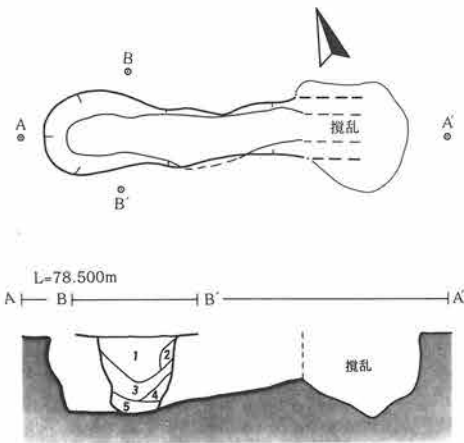
(第182号陥し穴)

1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土との混土。
4. 10YR3/4 暗褐色 シルト 小礫をまばらに含む。水の作用を受けくすんだ色調を為す。



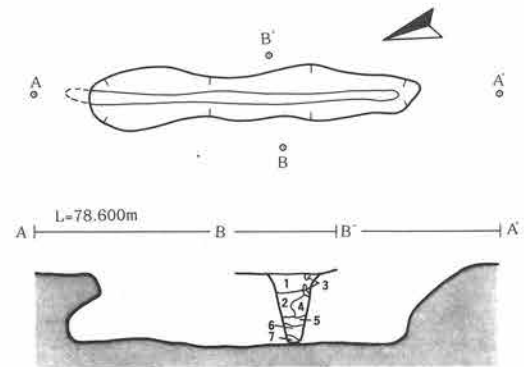
(第183号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 暗褐色土ブロックをまばらに含む。



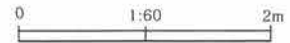
(第184号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 シルト 黒色土粒わずかに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土とにぶい黄褐色土との混土。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 3層に似る。にぶい黄褐色土の割合が多い。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。黒褐色土の割合が多い。



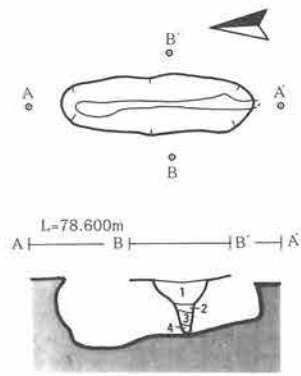
(第185号陥し穴)

1. 10YR1.7/1 黒色 シルト 褐色土粒をこくわずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロック。
4. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。ほぼ同じ割合。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。黒色土の割合5層より多い。
7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 混入物ほとんどなし。



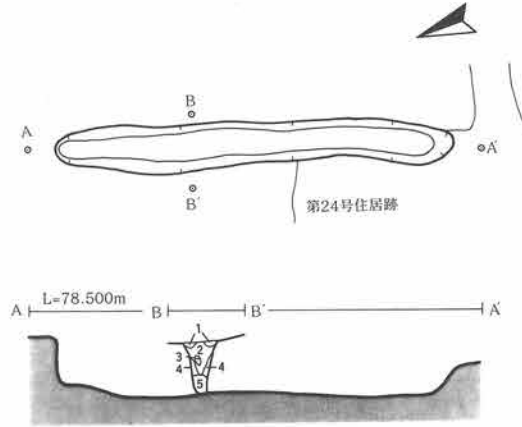
遺構名	第182号陥し穴	第183号陥し穴	第184号陥し穴	第185号陥し穴
写真図版	90	90	90	90
検出状況	第1号、第2号溝跡と重複。北側の上部を切られる。	第1号、第2号溝跡と重複。南側の上部を切られる。	木根による攪乱を受ける。境界が明瞭でない。	
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 不定形 (横) V字状	溝状 (縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 不明 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) V字状
規模	開口部径 301×25cm 底部径 300×13cm 深さ 47cm	273×24cm 273×10cm 42cm	(不明)×48cm (不明)×42cm 61cm	262×38cm 263×10cm 47cm
長軸方向	N-125°-E	N-135°-E	N-110°-E	N-16°-E
埋土	黒褐色土・暗褐色土主体。全体に水の作用を受け変色している。	上部は黒褐色土主体。下層はにぶい黄褐色土の下に粘性の強い黒色土が入る。	にぶい黄褐色土まじりの黒色土・黒褐色土主体。	黒褐色土・黒色土主体。にぶい黄褐色土が混入しない。最下層部は粘性の強い黒色土。
底面	東方向に上がる。	ほぼ平坦。	東方向に上がる。	ほぼ平坦。
分類	AN2	AN2	不明	AN2

図113 陥し穴状遺構(54)



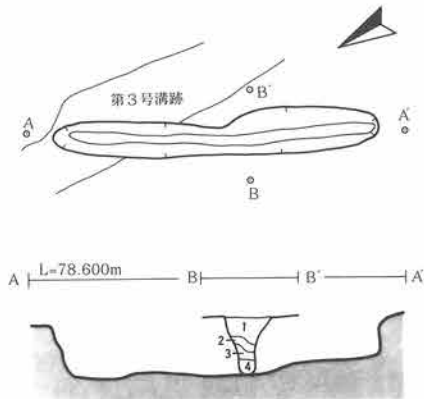
(第186号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをこくわずか含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 鉄分を含む。
3. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。粘性強い。



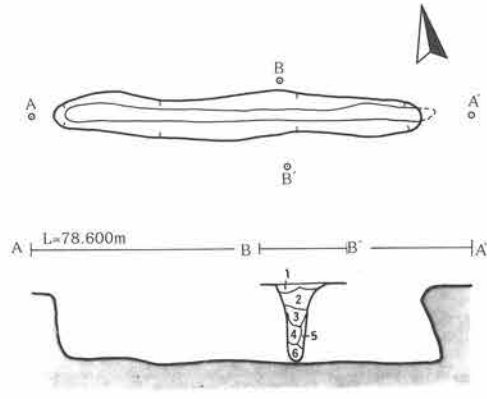
(第187号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土まばらに入る。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土と黒色土との混土。
4. 10YR4/4 褐色 粘土質シルト 黒色土微量混じる。
5. 10YR2/1 黒色 シルト 混入物ほとんどなし。



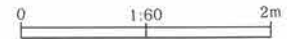
(第188号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR2/3 黒褐色土 粘土質シルト 褐色土と黒色との混土。
3. 10YR3/2 黒褐色土 粘土質シルト 2層に似る。褐色土の割合多い。
4. 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 混入物ほとんどなし。



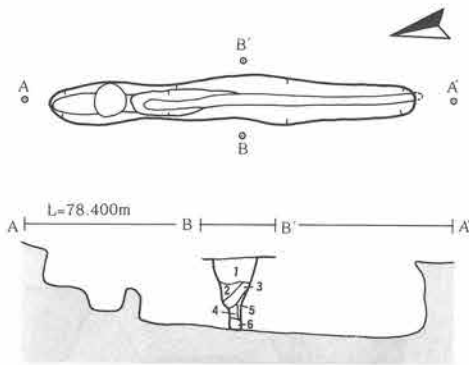
(第189号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土を全体に含む。
5. 10YR4/4 褐色 粘土質シルト 黒色土を全体に含む。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土を全体に含む。



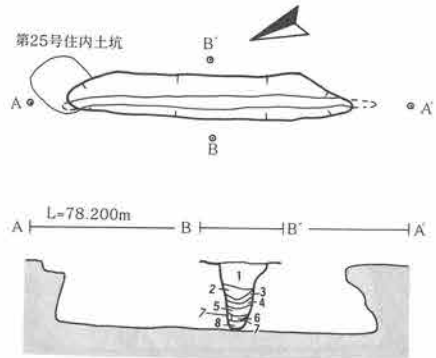
遺構名	第186号陥し穴	第187号陥し穴	第188号陥し穴	第189号陥し穴	
写真図版	90	91	91	91	
検出状況 重複関係		第24号住居跡と重複。南側上部を切られる。	第3号住居跡と重複。北側の上部を切られる。		
形状	平面形 溝状	溝状	溝状	溝状	
断面形	(縦)不定形(横)V字状	(縦)逆台形 (横)V字状	(縦)逆台形(横)V字状	(縦)不定形(横)V字状?	
規模	開口部径	154×45cm	317×32cm	258×33cm	292×32cm
	底部径	147×6cm	300×16cm	241×11cm	293×9cm
	深さ	42cm	40cm	45cm	63cm
長軸方向	N-3°-E	N-19°-E	N-28°-E	N-100°-E	
埋土	黒色土・黒褐色土主体。にふい黄褐色土が混入しない。	黒色土・黒褐色土主体。にふい黄褐色土が混入しない。	黒色土・黒褐色土主体。にふい黄褐色土が混入しない。	黒色土・黒褐色土主体。にふい黄褐色土が混入しない。	
底面	南方向に上がる。	ほぼ平坦。礫層を底面とする。	南方向に上がる。礫層が底面。	ほぼ平坦。礫層を底面とする。	
分類	AIV2	AI2	AI2	AIV2	

図114 陥し穴状遺構(55)



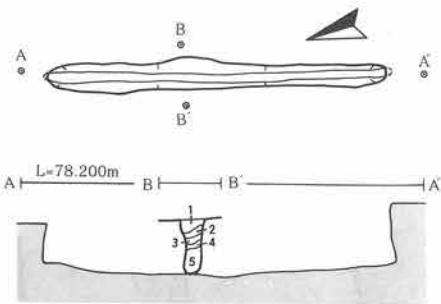
(第190号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒全体に微量含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土と褐色土との混土。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックをわずかに含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックを全体に含む。
5. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
6. 10YR2/1 黒色 シルト 混入物ほとんどなし。



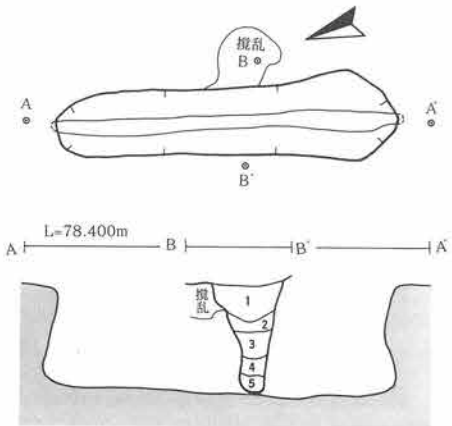
(第191号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土がブロック状に入る。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土がまばらに入る。
3. 10YR3/2 黒褐色 シルト 黒色土にぶい黄褐色土ブロックが入る。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土がわずかに入る。
5. 10YR2/3 黒褐色 シルト 3層に似る。にぶい黄褐色土ブロックわずか。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 4層に似る。4層よりやや暗い。
7. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山に似る。
8. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 3層に似る。にぶい黄褐色土をごくわずかに含む。



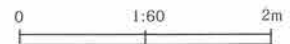
(第192号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土がブロック状に入る。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土に微量黒色土、褐色土入る。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 2層に似る。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 3層に似る。



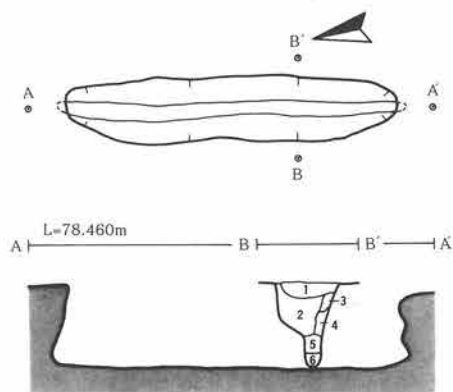
(第193号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土ブロックわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土と暗褐色土との混土。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をまばらに含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土がわずかに入る。

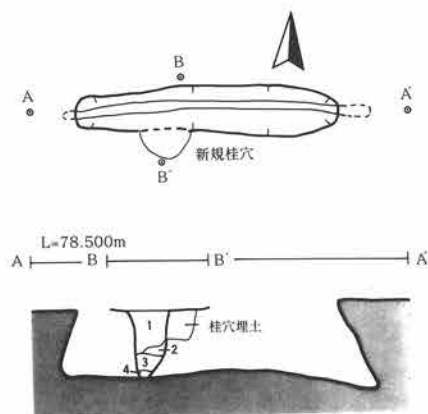


遺構名	第190号陥し穴	第191号陥し穴	第192号陥し穴	第193号陥し穴
写真図版	91	91	92	92
検出状況 重複関係	新規柱穴と重複。柱穴北側は陥し穴ではなく柱穴の掘り方か？	第25号住居跡床面から検出。住居内土坑に北側上部を切られる。		
形状	平面形 溝状 断面形 (縦)不定形 (横) V字状	溝状 (縦)台形 (横) V字状	溝状 (縦)台形 (横) U字状	溝状 (縦)台形 (横) V字状
規模	開口部径 290×35cm 底部径 294×9cm 深さ 57cm	224×34cm 246×11cm 56cm	270×19cm 276×10cm 45cm	269×57cm 278×18cm 87cm
長軸方向	N-13°-E	N-21°-E	N-19°-E	N-18°-E
埋土	黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土粒混入しない。	黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒褐色土。	黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒褐色土。	上部黒褐色土、中部にぶい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土が入る。
底面	北側に凹凸がある。	ほぼ平坦。	わずかに両端がせり上がる。	ほぼ平坦。
分類	A?2	AⅢ2	AⅢ3	AⅢ2

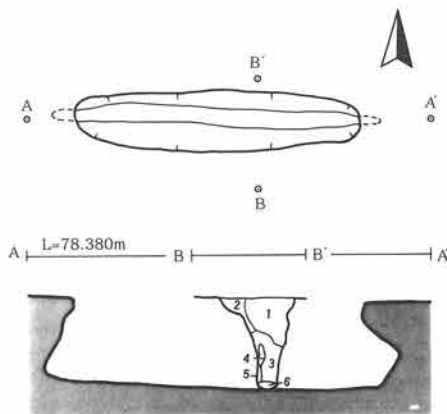
図115 陥し穴状遺構(56)



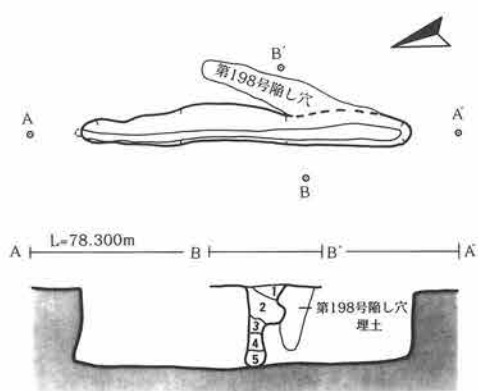
- (第194号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。暗褐色土混じる。
 3. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒色土、にぶい黄褐色土ブロック微量含む。
 4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 3層に似る。黒色土の割合多い。
 5. 10YR4/4 褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒色土との混土。
 6. 10YR2/1 黒色 シルト 混入物ほとんどなし。



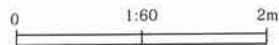
- (第195号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒、小礫をわずかに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土と黒色土の混土。
 3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土小ブロックをまばらに含む。
 4. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい褐色土粒をわずかに含む。



- (第196号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
 4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒色土との混土。
 5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土がわずかに入る。地山に似る。
 6. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土小ブロックがわずかに入る。

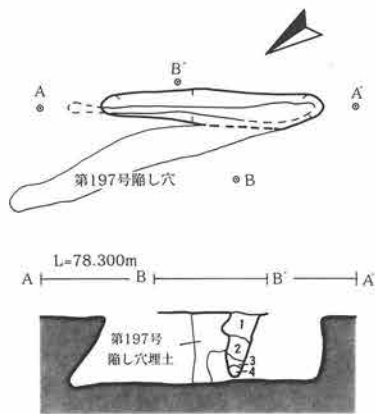


- (第197号陥し穴)
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。にぶい黄褐色土はブロック状に入る。
 2. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒がわずかに入る。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
 4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土がまばらに入る。
 5. 10YR2/1 黒色 シルト 混入物ほとんどなし。



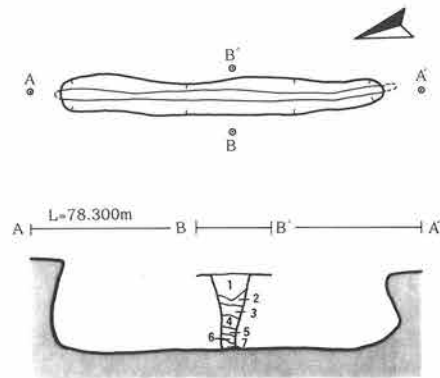
遺構名	第194号陥し穴	第195号陥し穴	第196号陥し穴	第197号陥し穴
写真図版	92	92	92	93
検出状況 重複関係	新規柱穴に切られる。			第198号陥し穴と重複。本遺構の方が新しい。
形状	溝状	溝状	溝状	溝状
断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 不明 (横) V字状
規模	開口部径	261 × 51cm	208 × 37cm	225 × 48cm
	底部径	273 × 10cm	235 × 11cm	260 × 14cm
	深さ	67cm	53cm	73cm
長軸方向	N-14°-E	N-88°-E	N-89°-E	N-16°-E
埋土	黒色土・黒褐色土主体。最下層は粘性の強い黒色土。	黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土は最下層の黒色土にわずかに混入する。	黒褐色土・暗褐色土主体。最下層は粘性の強い黒色土。	上部は黒色土。中部が灰黄褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土入る。
底面	ほぼ平坦。	中央部から両端方向に下がる。	東側に向かってやや下がる。	ほぼ平坦。
分類	AⅢ2	AⅢ2	AⅢ2	AⅣ2

図116 陥し穴状遺構(57)



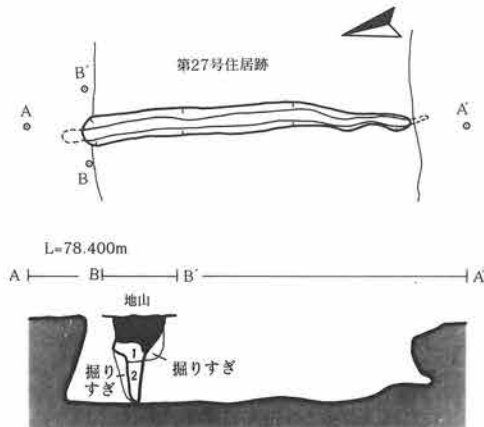
(第198号陥し穴)

1. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト 褐色土粒、炭化物わずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
4. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土のブロック。



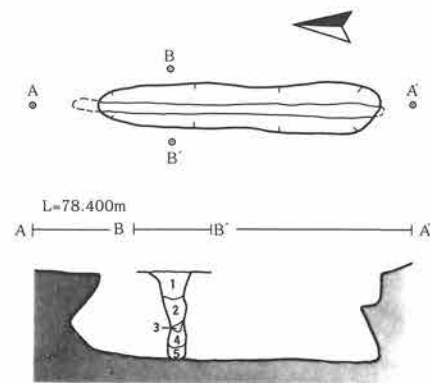
(第199号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒わずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土わずかに入る。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土とにぶい黄褐色土との混土。
4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 3層に似る。やや暗い色調を為す。
5. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土がまばらに入る。
6. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒色土との混土。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒を全体に含む。



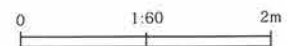
(第200号陥し穴)

1. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒色土の混土。褐色土粒まばら。
2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土がわずかに入る。



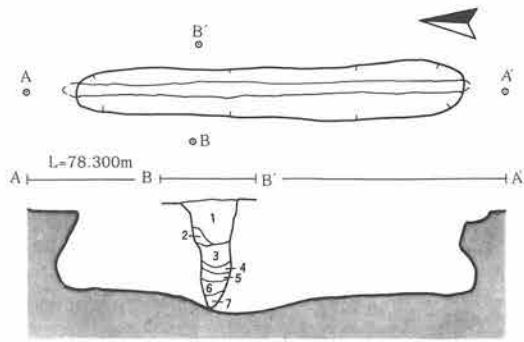
(第201号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土をこくわずかに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 暗褐色土をまばらに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土をわずかに含む。
5. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土をわずかに含む。



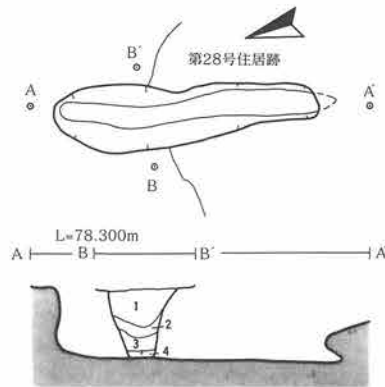
遺構名	第198号陥し穴	第199号陥し穴	第200号陥し穴	第201号陥し穴	
写真図版	93	93	93	93	
検出状況 重複関係	第197号陥し穴と重複。本遺構の方が古い。		第27号住居床面から検出。		
形状	平面形	溝状	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 不明 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) 不明	(縦) 台形 (横) Y字状
規模	開口部径	175×23cm	254×30cm	260×(不明)	224×33cm
	底部径	195×9cm	272×8cm	291×9cm	246×11cm
	深さ	51cm	61cm	48cm	68cm
長軸方向	N-35°-E	N-18°-E	N-14°-E	N-1°-E	
埋土	黒色土主体。にぶい黄褐色土の下に最下層の黒色土が入る。	黒褐色土とにぶい黄褐色土との混土が主体。	北端下層の埋土のみ記録。最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	黒色土・黒褐色土主体。灰黄褐色土の下、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	
底面	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	南側がやや上がる。	ほぼ平坦。	
分類	AⅣ2	AⅢ2	AⅢ2	AⅢ1	

図117 陥し穴状遺構(58)



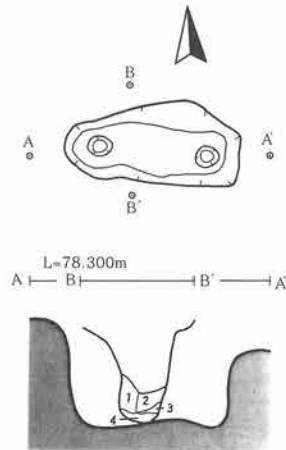
(第202号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/4 褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土と黒色土の混土。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色、褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土、褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色、褐色土粒をまばらに含む。
7. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土をまばらに含む。



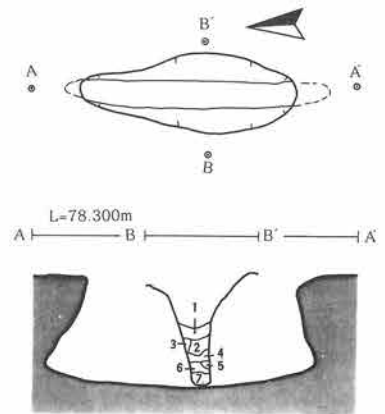
(第203号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト ぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土と暗褐色土との混土。
3. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土がわずかに入る。
4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト ぶい黄褐色土粒をこくわずかに含む。



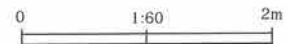
(第204号陥し穴)

1. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土粒をまばらに含む。褐色土粒入る。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土と黒色土との混土。
4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 混入物ほとんどなし。



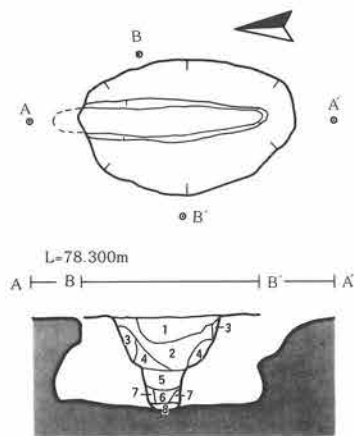
(第205号陥し穴)

1. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
2. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土との混土。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト ぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR5/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土との混土。黒褐色土の割合多い。
6. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土の混土。
7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト ぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



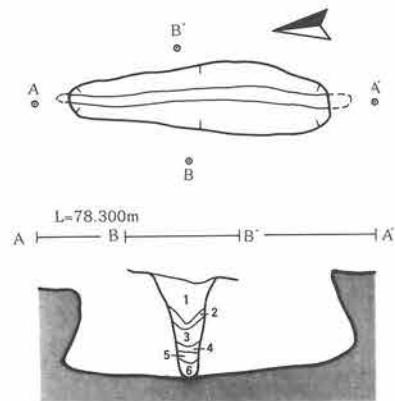
遺構名	第202号陥し穴	第203号陥し穴	第204号陥し穴	第205号陥し穴	
写真図版	93	94	94	94	
検出状況 重複関係					
形状	平面形	溝状	楕円形	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) 不定形	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 台形 (横) Y字状
規模	開口部径	309×45cm	211×45cm	140×65cm	174×52cm
	底部径	321×9cm	219×17cm	120×41cm	211×18cm
	深さ	89cm	53cm	75cm	82cm
長軸方向	N-175°-E	N-18°-E	N-93°-E	N-4°-E	
埋土	黒褐色と黒色土・ぶい黄褐色土が交互に入る。最下層はぶい黄褐色土。	上部黒色土、中部ぶい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い黒色土が入る。	下層のみ記録。黒褐色土とぶい黄褐色土の混土の下に、粘性の強い黒色土が入る。	ぶい黄褐色土と黒色土・黒褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒色土。	
底面	中央部が下がる。	ほぼ平坦。	中央がせり上がる。	両端がせり上がる。	
分類	AⅢ2	AⅣ2	BⅠ3	AⅢ1	

図118 陥し穴状遺構(59)



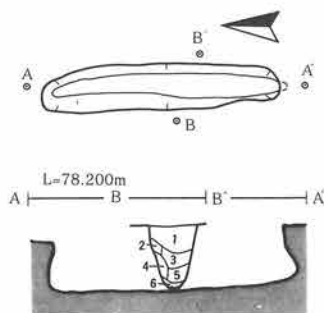
(第206号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 木根が多量に入る。
2. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土と暗褐色土との混土。黒色土の割合多い。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土がわずかに入る。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。ほぼ同じ割合。
5. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒色土との混土。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
7. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をこくわずか含む。
8. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 混入物ほとんどなし。



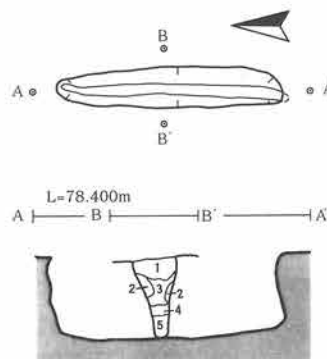
(第207号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 上部に木根を多く含む。にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 暗褐色土と黒色土との混土。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土との混土。3層に似る。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土をわずかに含む。



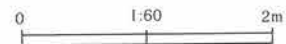
(第208号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土との混土。にぶい黄褐色土ブロックを含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 暗褐色土をまばらに含む。1層に似る。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土を全体に含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒がわずかに入る。
5. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒がわずかに入る。



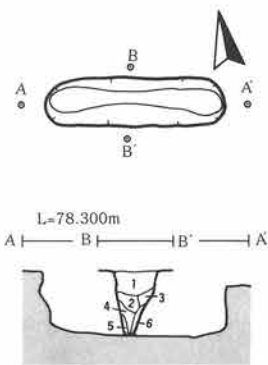
(第209号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 崩落土?
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土をまばらに含む。
5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土をまばらに含む。



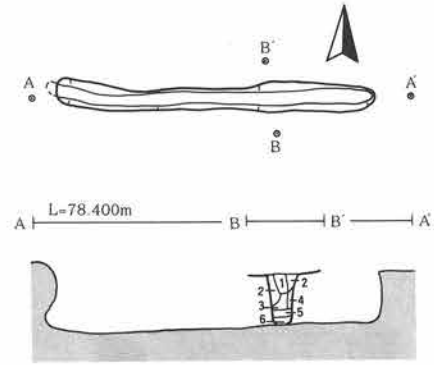
遺構名	第206号陥し穴	第207号陥し穴	第208号陥し穴	第209号陥し穴
写真図版	94	95	95	95
検出状況 重複関係				
形状	楕円形	溝状	溝状	溝状
断面形	(縦) 不定形 (横) Y字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) V字状
規模	開口部径	170×93cm	207×44cm	188×38cm
	底部径	168×21cm	234×14cm	188×14cm
	深さ	73cm	77cm	51cm
長軸方向	N-4°-E	N-7°-E	N-0°-E	N-0°-E
埋土	黒色土・黒褐色土主体。部分的ににぶい黄褐色土が入る。最下層は粘性の強い黒色土。	黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土の下、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	にぶい黄褐色土粒を含んだ黒褐色土・暗褐色土主体。	上部黒色土、中部ににぶい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い暗褐色土が入る。
底面	ほぼ平坦。	中央部下がる。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。
分類	BIV1	AIII2	AV2	AV2

図119 陥し穴状遺構(60)



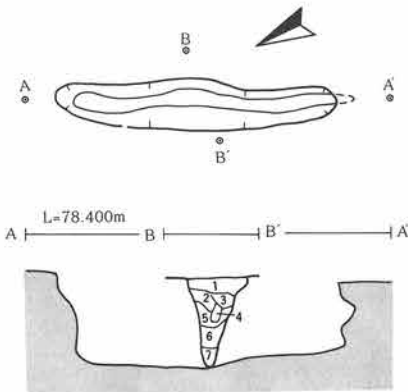
(第210号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土との混土。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 暗褐色土をまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土を全体に含む。
4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 崩落土?
6. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



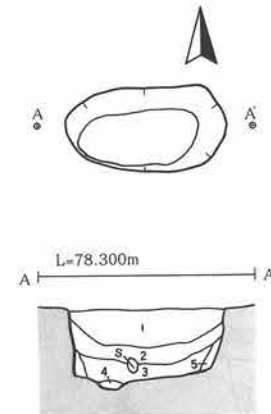
(第211号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土と黒色土との混土。黒色土の割合多い。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。黒色土の割合多い。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土と黒色土との混。ほぼ同じ割合。
4. 10YR3/4 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土をわずかに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土がわずかに混じる。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土をまばらに含む。



(第212号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト ぶい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 シルト ぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR2/1 黒色 シルト 混入物ほとんどなし。
5. 10YR3/3 暗褐色 シルト ぶい黄褐色土粒を全体に含む。
6. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 褐色土粒、黒色土をわずかに含む。
7. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 混入物ほとんどなし。



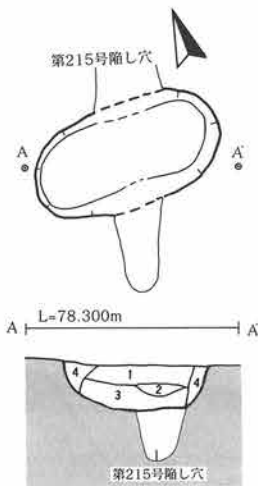
(第213号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト ぶい黄褐色土粒、褐色粒、炭化物粒極微量含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 シルト ぶい黄褐色土粒、褐色粒まばらに含む。
3. 10YR3/4 暗褐色 シルト ぶい黄褐色土粒を全体に含む。
4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト ぶい黄褐色土ブロックに黒色入る。

0 1:60 2m

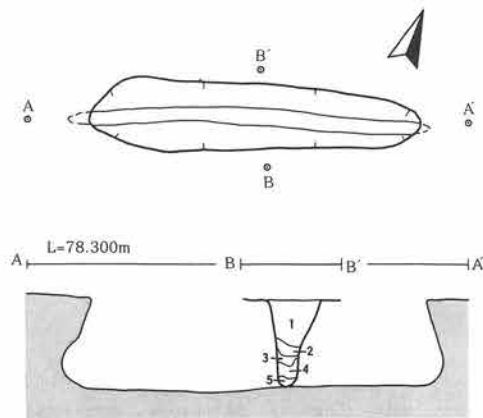
遺構名	第210号陥し穴	第211号陥し穴	第212号陥し穴	第213号陥し穴	
写真図版	95	95	96	96	
検出状況 重複関係					
形平面形	溝状	溝状	溝状	楕円形	
状断面形	(縦)長方形(横)V字状	(縦)不定形(横)U字状	(縦)逆台形(横)V字状	(縦)逆台形(横)V字状	
規模	開口部径	142×35cm	252×21cm	224×34cm	125×65cm
	底部径	136×16cm	255×13cm	223×9cm	90×44cm
	深さ	51cm	41cm	72cm	58cm
長軸方向	N-82°-E	N-88°-E	N-26°-E	N-90°-E	
埋土	上部は黒色土。中・下部は黒褐色土・暗褐色土主体。ぶい黄褐色土はわずかに入る。	ぶい黄褐色土を含んだ黒褐色土主体。最下層は粘性の強い黒褐色土。	上部黒褐色土主体。ぶい黄褐色土の下(最下層)に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部黒色土。下部は黒褐色土主体。両端に崩落土と思われるぶい黄褐色土が入る。	
底面	両端がわずかにせり上がる。	ほぼ平坦。	南側に段差があり上がる。	両端がややせり上がる。	
分類	AII2	AV3	AII2	BII2	

図120 陥し穴状遺構(61)



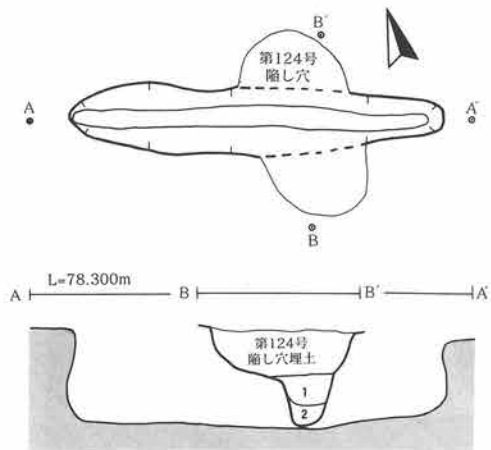
(第214号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土粒、褐色粒、炭化物粒わずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 1層に似る。におい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR2/3 黒褐色 シルト におい黄褐色土粒含む。



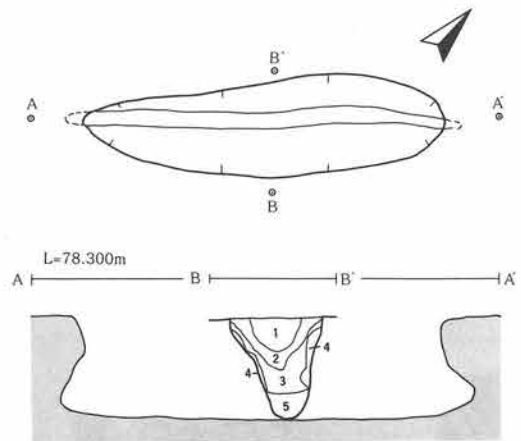
(第216号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土小ブロックわずかに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土におい黄褐色土と混入。
3. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混入。
4. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色土 粘土質シルト 混入物ほとんどなし。



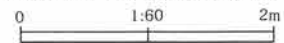
(第215号陥し穴)

1. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト におい黄褐色土粒を全体に含む。
2. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をこくわずかに含む。



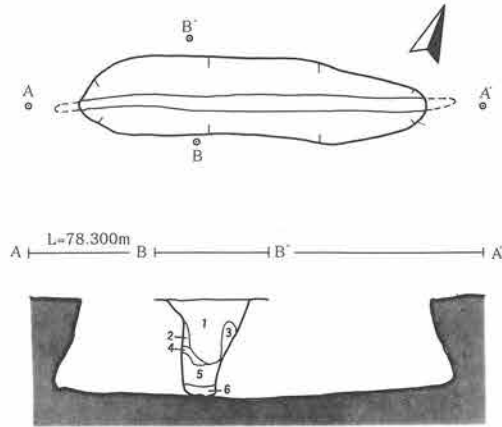
(第217号陥し穴)

1. 10YR4/2 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土微量含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土小ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト におい黄褐色土ブロック、褐色土粒まばら。
4. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
5. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 暗褐色土をまばらに含む。



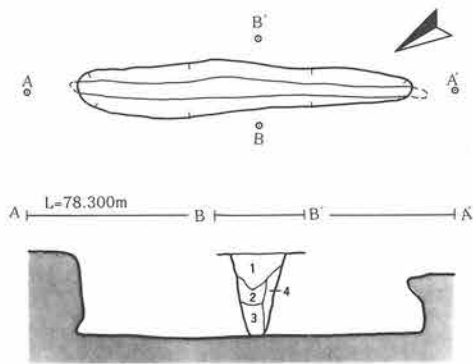
遺構名	第214号陥し穴	第215号陥し穴	第216号陥し穴	第217号陥し穴
写真図版	96	96	97	97
検出状況 重複関係	第215号陥し穴と重複。本遺構の方が新しい。	第214号陥し穴と重複。本遺構の方が古い。		
形 平面形	楕円形	溝状	溝状	溝状
状 断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 逆台形 (横) V字状?	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状
規模				
開口部径	155 × 86cm	296 × 51cm	263 × 48cm	286 × 71cm
底部径	140 × 55cm	284 × 14cm	287 × 11cm	312 × 15cm
深さ	36cm	79cm	70cm	81cm
長軸方向	N-89°-E	N-108°-E	N-70°-E	N-49°-E
埋土	黒色土主体。両端におい黄褐色土を含む黒褐色土が入る。	上部は別遺構に切られる。暗褐色土の下に黒褐色土を含んだにおい黄褐色土が入る。	上部黒色土主体。灰黄褐色土の最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部は黒色土・暗褐色土主体。最下層におい黄褐色土が入る。
底面	(ほぼ平坦) 第215号陥し穴埋土を部分的に底面とする。	東側が緩やかに上がる。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。
分類	B I 2	A I 2	A III 2	A III 2

図121 陥し穴状遺構(62)



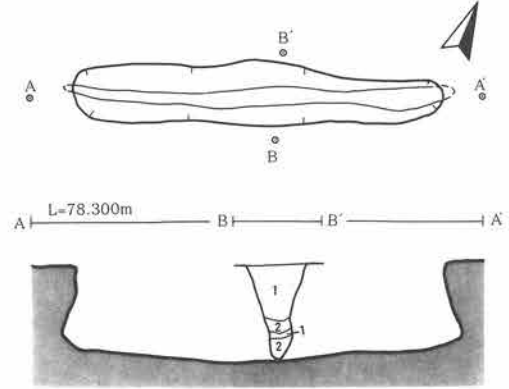
(第218号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 2層よりやや暗い。
4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR5/4 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
6. 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をまばらに含む。



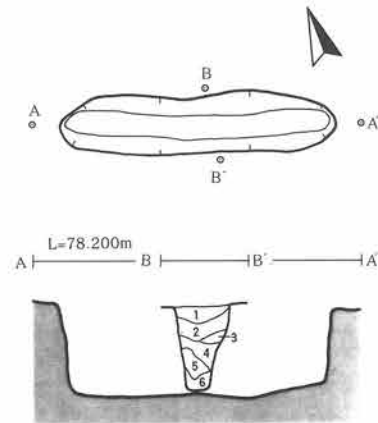
(第220号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土粒、褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土とにふい黄褐色土との混土。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒色土わずかに含む。



(第219号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒、にふい黄褐色土粒をこくわずか含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。褐色土粒わずかに入る。



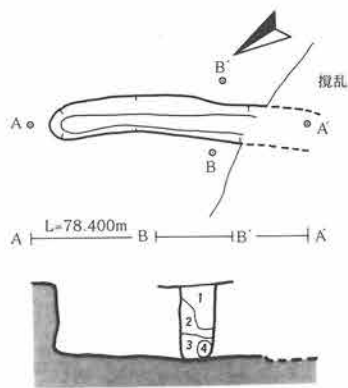
(第221号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。植根をわずかに含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土小ブロックをまばらに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。暗褐色土の割合多い。
4. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
5. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



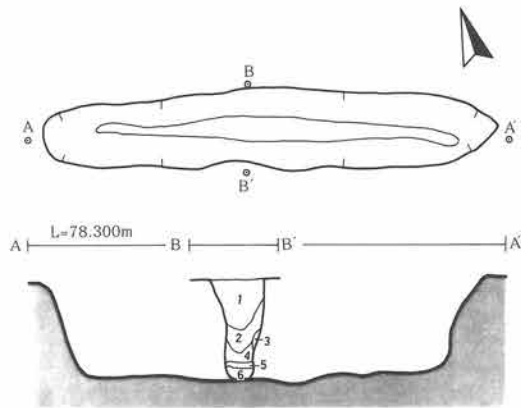
遺構名	第218号陥し穴	第219号陥し穴	第220号陥し穴	第221号陥し穴
写真図版	97	97	97	98
検出状況 重複関係				
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 台形 (横) V字状	溝状 (縦) 台形 (横) V字状	溝状 (縦) 台形 (横) V字状	溝状 (縦) 長方形 (横) V字状
規模	開口部径 275×64cm 底部径 316×17cm 深さ 79cm	396×46cm 312×12cm 76cm	266×41cm 283×12cm 65cm	218×45cm 208×18cm 68cm
長軸方向	N-71°-E	N-63°-E	N-32°-E	N-108°-E
埋土	上部は黒色土・黒褐色土主体。にふい黄褐色土の下、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	黒褐色と灰黄褐色土が互層を成す。	黒色土主体。にふい黄褐色土混じり黒色土の下、最下層に粘性の強い黒色土が入る。	黒褐色土とにふい黄褐色土が互層を成す。最下層は黒褐色土粒を含んだにふい黄褐色土。
底面	両端がやや上がる。	両端がやや上がる。	ほぼ平坦。	東側がやや上がる。
分類	AⅢ2	AⅢ2	AⅢ2	AⅡ2

図122 陥し穴状遺構(63)



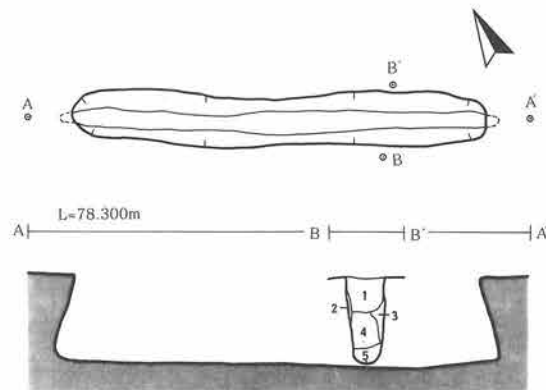
(第222号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土小ブロックをわずかに含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
3. 10YR5/3 におい黄褐色 砂質シルト 褐色の砂質土と灰黄褐色土との混土。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト わずかに褐色土粒を含む。



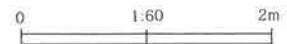
(第223号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土、におい黄褐色土わずかに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR2/2 黒褐色 シルト 混入物ほとんどなし。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をごくわずかに含む。掘りすぎか?



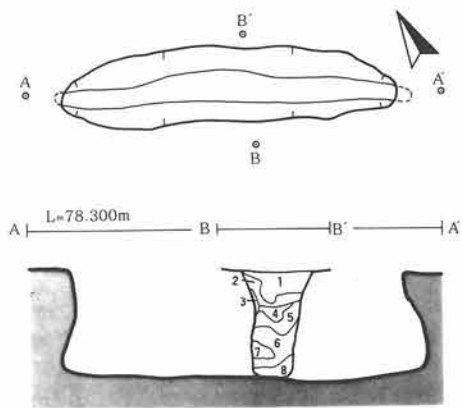
(第224号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
3. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト におい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR4/4 褐色 粘土質シルト 3層に似る。におい黄褐色土粒の割合多い。
5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト におい黄褐色土粒をわずかに含む。



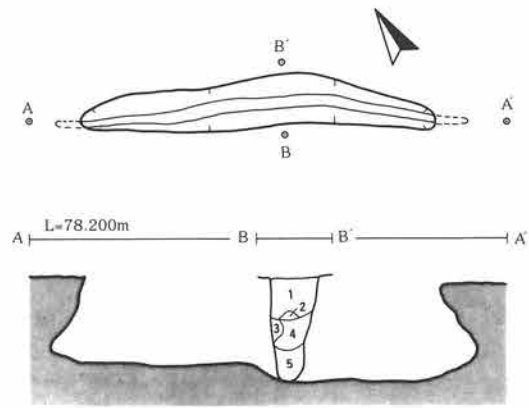
遺構名	第222号陥し穴	第223号陥し穴	第224号陥し穴	
写真図版	98	98	98	
検出状況 重複関係	南西部約1/2攪乱を受けている。			
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)不明(横)U字状	(縦)逆台形 (横)V字状	(縦)逆台形 (横)U字状
	開口部径	(不明)×28cm	362×43cm	330×29cm
	底部径	(不明)×20cm	287×19cm	351×20cm
規模	深さ	58cm	80cm	68cm
長軸方向	N-32°-E	N-107°-E	N-117°-E	
埋土	上部黒色土。下部は砂質のにおい黄褐色土主体。	上部は黒色土主体。におい黄褐色土の下に粘性の強い黒色土入る。	上部黒色土、下部は暗褐色土主体。におい黄褐色土が全体にまばらに入る。	
底面	ほぼ平坦。	多少凹凸がある。	ほぼ平坦。	
分類	A?3	A I 2	A III 3	

図123 陥し穴状遺構(64)



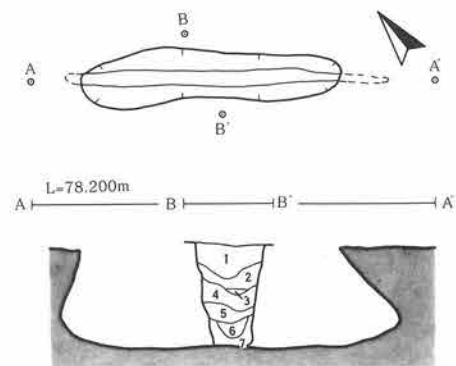
(第225号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土との混土。褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックを全体に含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土わずかに入る。
4. 10YR3/2 黒褐色 シルト 1層に似る。
5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 2層に似る。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
7. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土とにぶい黄褐色土との混土。
8. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 5層に似る。



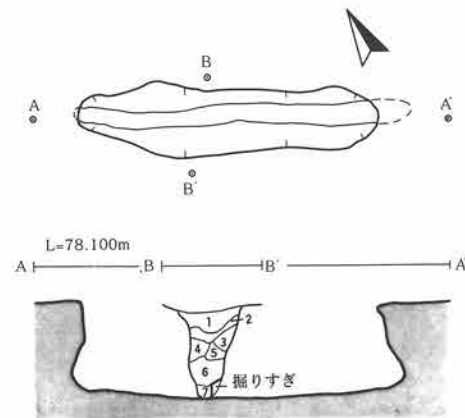
(第226号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/3 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土ブロックをまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。3層より暗い。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土が筋状に入る。



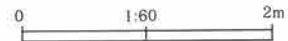
(第227号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黄褐色土ブロック、褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土とにぶい黄褐色土との混土。
3. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロック入る。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土わずかに入る。
5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒色土との混土。黒色土の割合やや多い。
6. 10YR4/2 灰褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をこくわずかに含む。
7. 10YR4/4 褐色 砂質シルト 混入物ほとんどなし。掘りすぎか?



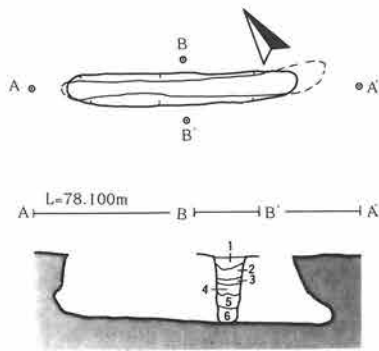
(第228号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土との混土。褐色土粒ブロック状に入る。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒が筋状に入る。
4. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。暗褐色土の割合多い。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをわずかに含む。
6. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 4層に似る。暗褐色土の割合少ない。
7. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 粘性の強い最下層の黒褐色土。褐色土粒わずか。



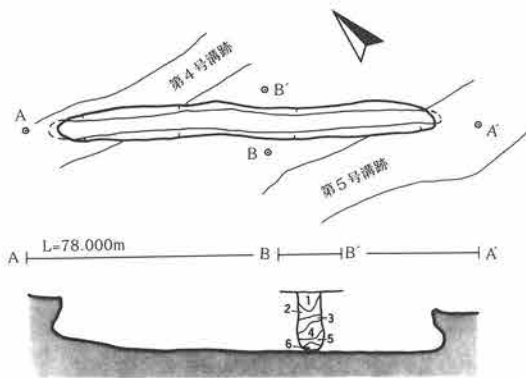
遺構名	第225号陥し穴	第226号陥し穴	第227号陥し穴	第228号陥し穴	
写真図版	98	99	99	99	
検出状況 重複関係					
形	溝状	溝状	溝状	溝状	
断面形	(縦)台形 (横) Y字状	(縦)台形 (横) V字状	(縦)台形 (横) V字状	(縦)台形 (横) V字状	
規模	開口部径	265×58cm	281×27cm	204×37cm	239×49cm
	底部径	283×29cm	328×11cm	255×12cm	268×13cm
	深さ	85cm	82cm	81cm	69cm
長軸方向	N-120°-E	N-123°-E	N-128°-E	N-122°-E	
埋土	上部は黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土の下に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部は黒色土。中～下部は黒色土・黒褐色土を含む灰黄褐色土主体。	上部は黒色土・黒褐色土主体。下部はにぶい黄褐色土の下に粘性の強い暗褐色が入る。	上部は黒色土主体。中部は混土。最下層は粘性の強い黒褐色土。	
底面	ほぼ平坦。	中央から南側に段差がある。	両側がせり上がる。	中央部がやや下がる。	
分類	AⅢ3	AⅢ2	AⅢ2	AⅢ2	

図124 陥し穴状遺構(65)



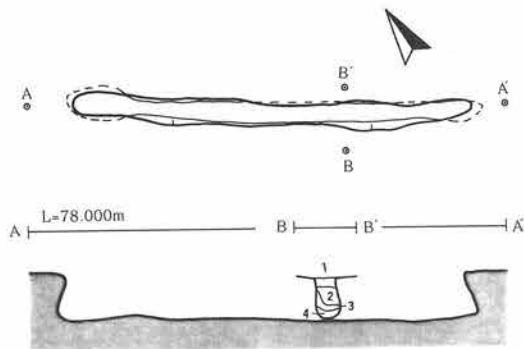
(第229号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックを含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 シルト ぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
5. 10YR4/3 ぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土、ぶい黄褐色土がブロック状に混じる。
6. 10YR2/2 黒褐色 シルト ぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



(第230号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土、褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト ぶい黄褐色土との混土。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 径20mm程度の褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 鉄分を含む褐色土をブロック状にまばらに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 暗褐色土との混土。4層に似る。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックを全体に含む。



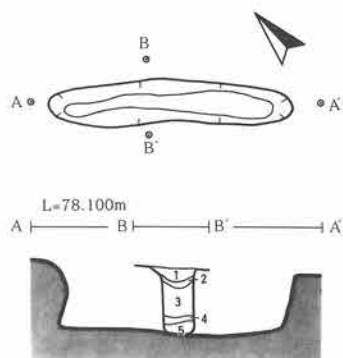
(第231号陥し穴)

1. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土をわずかに含む。
2. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックを含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。粘性強い。
4. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。

0 1:60 2m

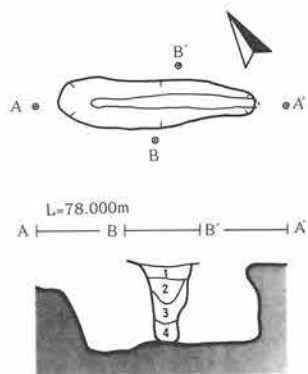
遺構名	第229号陥し穴	第230号陥し穴	第231号陥し穴	
写真図版	99	99	100	
検出状況 重複関係				
形状 規模	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)台形 (横)U字状	(縦)台形 (横)U字状	(縦)台形 (横)U字状
	開口部径	182×24cm	301×26cm	318×16cm
	底部径	209×15cm	312×16cm	330×17cm
深さ	52cm	48cm	34cm	
長軸方向	N-125°-E	N-134°-E	N-125°-E	
埋土	上部黒色土・黒褐色土主体。ぶい黄褐色土の下、最下層に黒褐色土が入る。	上～中部は黒色土・黒褐色土主体。最下層は粘性の強い灰黄褐色土。	黒褐色土・暗褐色土主体。ぶい黄褐色土は含まない。	
底面	北西部がやや上がる。	北西部がやや上がる。	ほぼ平坦。	
分類	AⅢ3	AⅢ3	AⅢ3	

図125 陥し穴状遺構(66)



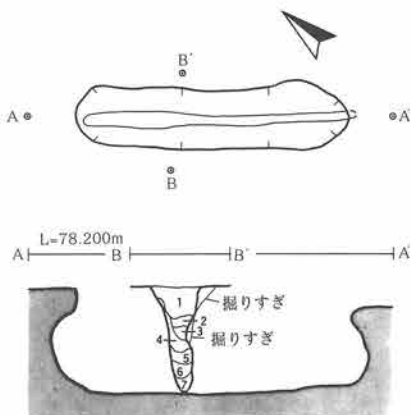
(第232号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土粒を全体に含む。炭化物粒まばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 暗褐色土との混土。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
4. 10YR2/3 黒褐色 シルト 1層に似る。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 黒色土がわずかに混じる。



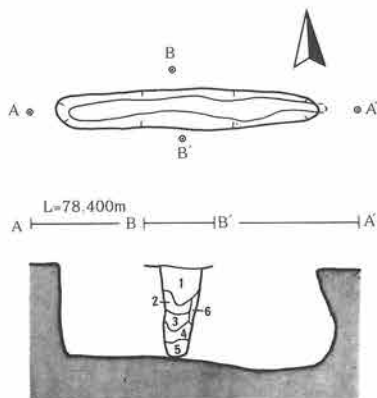
(第233号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土との混土。
2. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土にぶい黄褐色土との混土。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 2層に似る。黒色土の割合多い。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土少量含む。



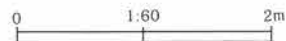
(第234号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロック、炭化物粒をわずかに含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 褐色土粒を全体に含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 褐色土粒を全体に含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
6. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
7. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土をこくわずかに含む。



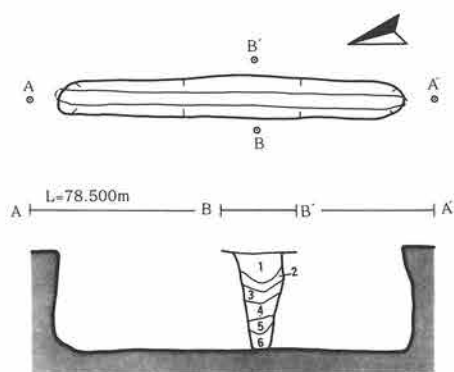
(第235号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロック、褐色土粒を全体に含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒色土との混土。
3. 10YR2/2 黒褐色 シルト 2層に似る。黒色土少量含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 黒色土少量含む。
5. 10YR4/1 灰褐色 砂質シルト 黒色土こくわずかに含む。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土をわずかに含む。崩落土?



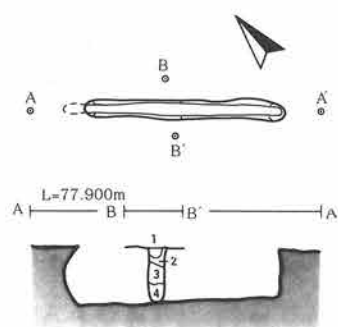
遺構名	第232号陥し穴	第233号陥し穴	第234号陥し穴	第235号陥し穴
写真図版	100	100	100	100
検出状況 重複関係				
形状	平面形 溝状	溝状	平面形 溝状	溝状
断面形	(縦) 不定形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) Y字状	(縦) 不定形 (横) V字状
規模	開口部径 194×35cm 底部径 165×10cm 深さ 53cm	157×34cm 136×14cm 59cm	218×43cm 216×8cm 83cm	208×32cm 206×13cm 72cm
長軸方向	N-133°-E	N-124°-E	N-140°-E	N-93°-E
埋土	黒褐色土にぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は砂質のにぶい黄褐色土。	黒色土・黒褐色土にぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は砂質のにぶい黄褐色土。	上部は黒色土主体。黒色土の最下層に粘性の強い灰黄褐色土が入る。	上部黒褐色土主体。砂質の灰黄褐色土の下に粘土質のにぶい黄褐色土が入る。
底面	ほぼ平坦。	北西部に段差があり上がる。	ほぼ平坦。	東側が下がる。
分類	AV3	AV3	AⅢ1	AV2

図126 陥し穴状遺構(67)



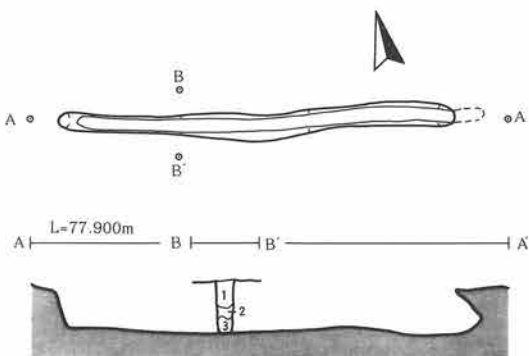
(第236号陥し穴)

1. 10YR1.7/1 黒色 シルト 暗褐色土小ブロック、褐色土粒をわずかに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
5. 10YR2/1 黒色 シルト 灰黄褐色土ブロックをわずかに含む。
6. 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 灰黄褐色土をまばらに含む。



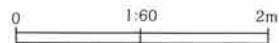
(第237号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 砂粒状の褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 小礫をわずかに含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



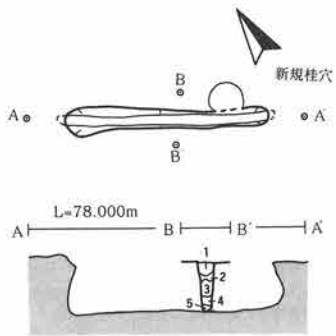
(第238号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 小礫をまばらに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。



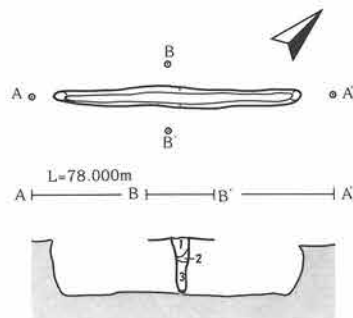
遺構名	第236号陥し穴	第237号陥し穴	第238号陥し穴
写真図版	101	101	101
検出状況 重複関係		攪乱により上部削平。下部のみ残存。	攪乱により上部削平。下部のみ残存。
形状 平面形	溝状	溝状	溝状
断面形	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) U字状
規模 開口部径	273 × 38cm	159 × 14cm	316 × 19cm
底部径	279 × 17cm	173 × 9cm	325 × 12cm
深さ	77cm	43cm	43cm
長軸方向	N - 13° - E	N - 130° - E	N - 101° - E
埋土	上部は黒色土主体。灰黄褐色土の下にシルト質の黒色土。そのさらに下に砂質の暗褐色土が入る。	上部は黒色土。砂質のにぶい黄褐色土の下に灰黄褐色土が入る。	上部黒色土主体。砂質のにぶい黄褐色土の下にシルト質の灰黄褐色土が入る。
底面	ほぼ平坦。	東南方向に徐々に上がる。	ほぼ平坦。
分類	AⅢ2	AV3	AV3

図127 陥し穴状遺構(68)



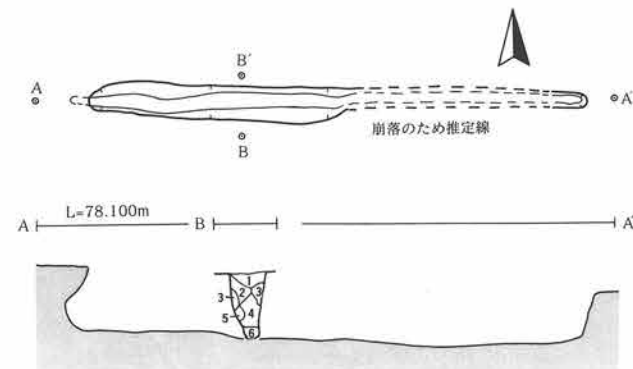
(第239号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 小礫をまばらに含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト にぶい黄褐色土との混土。



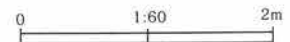
(第240号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 水の作用を受け変色。黒褐色土粒わずか。



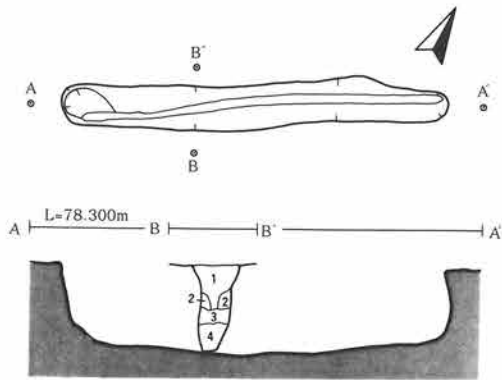
(第241号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黄灰色小ブロックを微量含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
3. 10YR4/1 灰黄褐色 粘土質シルト 2層に似る。黒色土の割合少ない。
4. 5YR2/2 オリーブ黒 粘土質シルト 2層に似る。水の作用を受け変色している。
5. 5YR3/2 オリーブ黒 粘土質シルト 4層に似る。黒色土の割合少ない。
6. 5YR2/1 黒色 粘土質シルト 水の作用を受け 青く変色している。



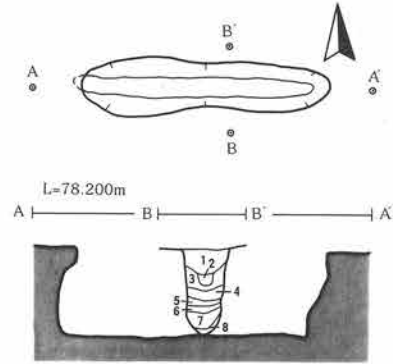
遺構名	第239号陥し穴	第240号陥し穴	第241号陥し穴	
写真図版	101	101	102	
検出状況 重複関係	攪乱により上部削平。下部のみ残存。	攪乱により上部削平。下部のみ残存。		
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) U字状	(縦) 不定形 (横) V字状
	開口部径	162 × 13cm	196 × 13cm	397 × 28cm
	底部径	173 × 7cm	182 × 5cm	405 × 11cm
深さ	38cm	44cm	52cm	
長軸方向	N-122°-W	N-45°-E	N-91°-E	
埋土	上部は黒褐色土主体。中～下部の埋土は砂質となる。最下層は黒褐色土。	上部黒色土主体。砂質の泥に黄褐色土の下にシルト質の灰黄褐色土入る。	上部黒色土主体。中～下部は水の作用を受け変色。最下層は粘性の強い黒色土。	
底面	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	東方向に緩く傾斜する。	
分類	AⅢ3	AⅠ3	AⅣ2	

図128 陥し穴状遺構(69)



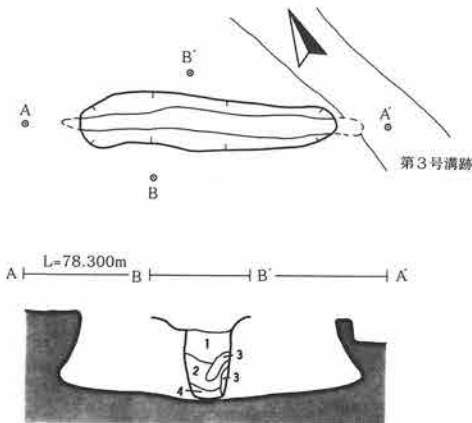
(第242号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土ブロック、褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒を全体に含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト におい硫黄褐色土との混土。黒褐色土の割合多い。
4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 3層に似る。におい黄褐色土の割合がやや多い。



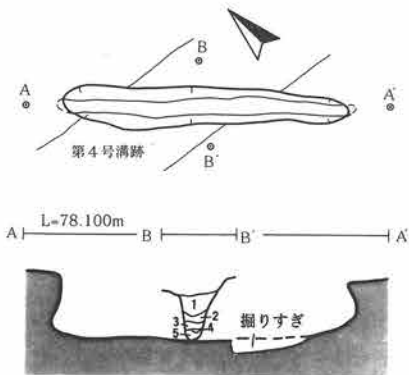
(第243号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土ブロック、褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト におい黄褐色土ブロックを全体に含む。
3. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。
4. 10YR2/3 黒褐色 シルト におい黄褐色土粒をまばらに含む。2層に似る。
5. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒を全体に含む。3層に似る。
6. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土粒をまばらに含む。2層に似る。
7. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。3層に似る。
8. 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト におい黄褐色土との混土。



(第244号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土ブロック、暗褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト におい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト におい黄褐色土ブロックをわずかに含む。鉄分含む。



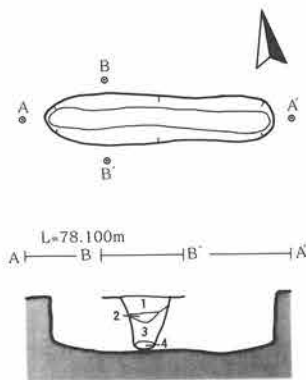
(第245号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒褐色土との混土。におい黄褐色土ブロックまばら。
2. 10YR4/3 におい黄褐色 シルト 黒褐色土との混土。におい黄褐色土の割合多い。
3. 10YR3/3 黒色 シルト におい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 粘性の強い褐色土粒をわずかに含む。

0 1:60 2m

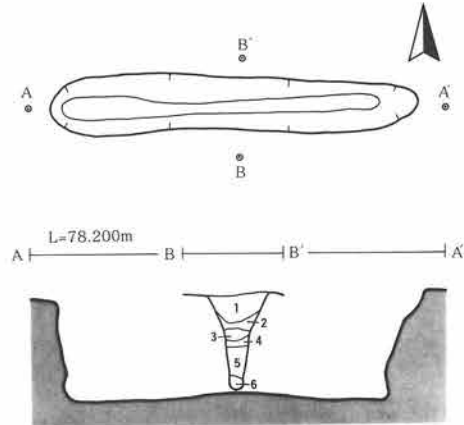
遺構名	第242号陥し穴	第243号陥し穴	第244号陥し穴	第245号陥し穴
写真図版	102	102	102	102
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 不定形 (横) V字状	(縦) 台形 (横) V字状
規模	開口部径	309 × 36cm	198 × 36cm	205 × 43cm
	底部径	289 × 9cm	191 × 14cm	241 × 18cm
	深さ	69cm	68cm	54cm
長軸方向	N-62°-E	N-93°-E	N-117°-E	N-135°-E
埋土	黒色土・黒褐色土主体。におい黄褐色土との埋土の下に黒褐色土が入る。	黒色土・黒褐色土におい黄褐色土が互層を成す。最下層は砂質の灰黄褐色土。	上部黒色土主体。におい黄褐色土の下に粘性の強い黒色土が入る。	黒色土におい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒色土が入る。
底面	中央部がやや下がる。	ほぼ平坦。	両端がややせり上がる。	南西部がせり上がる。
分類	AⅡ2	AⅡ3	AⅡ2	AⅡ2

図129 陥し穴状遺構(70)



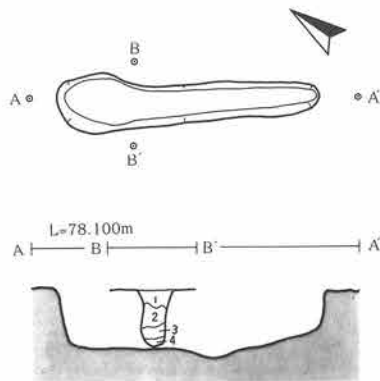
(第246号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。鉄分微量に含む。
2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土、にぶい黄褐色土との混土。



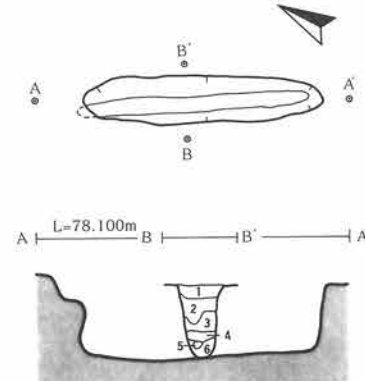
(第247号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 暗褐色土との混土。
4. 10YR2/2 黒褐色 シルト 3層に似る。暗褐色土の割合多い。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。



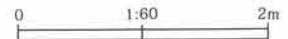
(第248号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックを、まばらに含む。
2. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロックを全体に含む。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土との混土。鉄分微量。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土をまばらに含む。



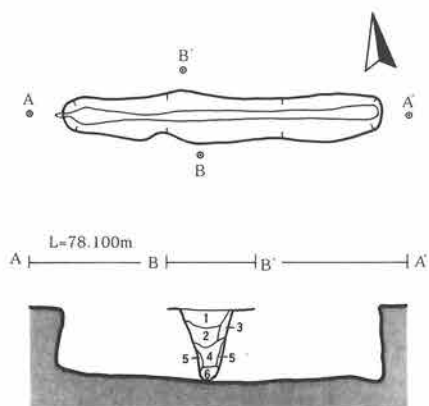
(第249号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロック、褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土わずかに混じる。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 暗褐色土と黒色土の混土。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土わずかに入る。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロックがまばらに入る。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。4層に似る。



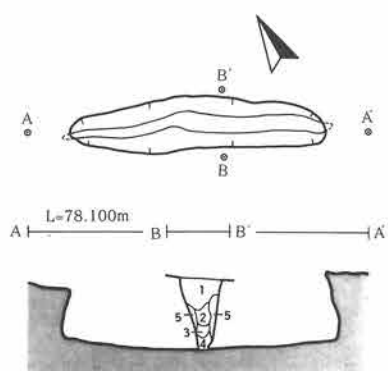
遺構名	第246号陥し穴	第247号陥し穴	第248号陥し穴	第249号陥し穴
写真図版	103	103	103	103
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦)長方形(横)V字状	(縦)逆台形(横)V字状	(縦)逆台形(横)U字状
規模	開口部径	179×40cm	292×43cm	208×29cm
	底部径	174×15cm	253×11cm	200×20cm
	深さ	43cm	77cm	47cm
長軸方向	N-99°-E	N-90°-E	N-146°-E	N-152°-E
埋土	上部は黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土の下、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部は黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土の下、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	上部は黒色土・黒褐色土主体。最下層ににぶい黄褐色土が入る。	上部は黒色土、中部はにぶい黄褐色土主体。最下層には粘性の強い黒褐色土が入る。
底面	わずかに段差がある。	中央がややせり上がる。	中央が下がる。	ほぼ平坦。
分類	AII2	AI2	AI3	AIV2

図130 陥し穴状遺構(71)



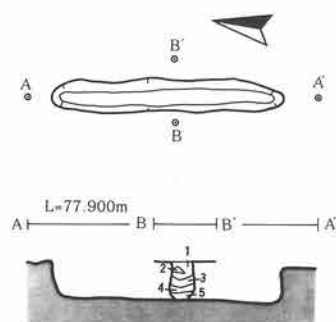
(第250号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土わずかに入る。
2. 10YR2/3 黒褐色 シルト におい黄褐色土との混土。褐色土粒まばら。
3. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をまばらに含む。
4. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。
6. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト におい黄褐色土と黒色土との混土。2層に似る。



(第251号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土ブロックをわずかに含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト におい黄褐色土ブロックを全体に含む。
3. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト におい黄褐色土粒をまばらに含む。
4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト におい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土をわずかに含む。



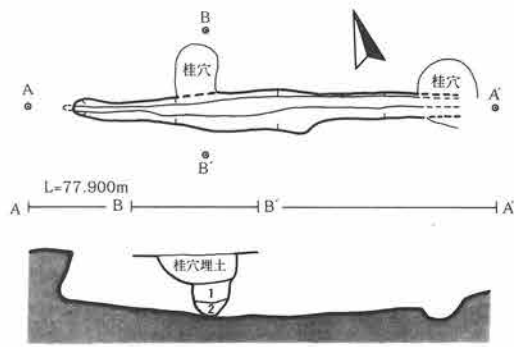
(第252号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土 におい黄褐色土との混土。
2. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黄褐色土ブロックを含む。
3. 10YR4/3 におい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をまばらに含む。
4. 10YR2/1 黒色 シルト におい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR3/3 暗褐色 シルト におい黄褐色土との混土。

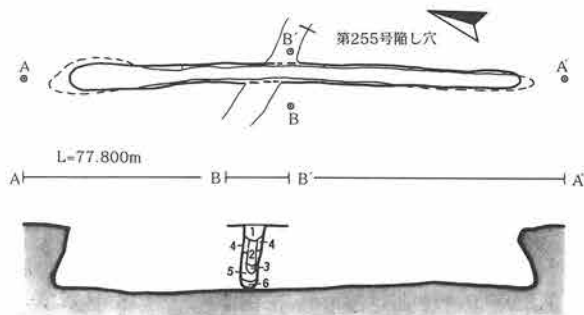
0 1:60 2m

遺構名	第250号陥し穴	第251号陥し穴	第252号陥し穴	
写真図版	103	104	104	
検出状況 重複関係				
形状 規模	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)台形(横)V字状	(縦)台形(横)V字状	(縦)長方形(横)U字状
	開口部径	252×36cm	204×35cm	185×24cm
	底部径	255×9cm	214×10cm	171×14cm
深さ	56cm	57cm	31cm	
長軸方向	N-98°-E	N-118°-E	N-170°-E	
埋土	上部黒色土。中部はにおい黄褐色土主体。最下層に粘性の強い暗褐色土が入る。	におい黄褐色土を含んだ黒色土・黒褐色土主体。	上部は黒色土。におい黄褐色土の下は2層に別れ。最下層はにおい黄褐色土と暗褐色土の混土。	
底面	多少傾斜がある。	北西部がやや傾斜する。	ほぼ平坦。	
分類	AⅢ2	AⅢ2	AⅡ3	

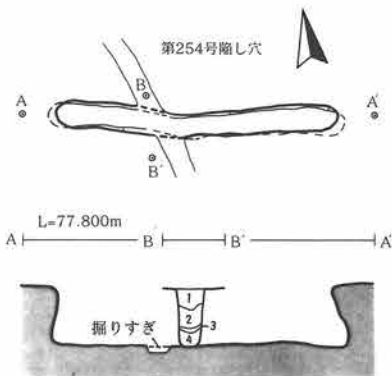
図131 陥し穴状遺構(72)



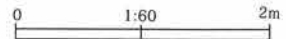
- (第253号陥し穴)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



- (第254号陥し穴)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土との混土。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土粒をわずかに含む。
 4. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 5. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 水的作用を受け変色している。
 6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土粒をわずかに含む。

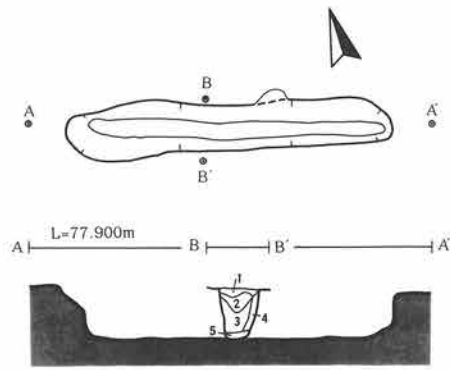


- (第255号陥し穴)
 1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 2. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
 4. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。

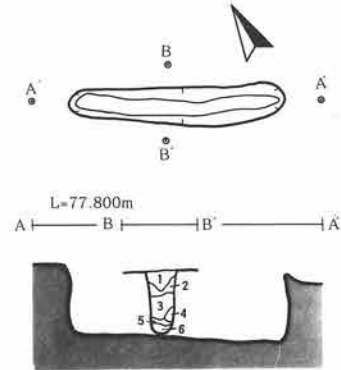


遺構名	第253号陥し穴	第254号陥し穴	第255号陥し穴	
写真図版	104	104	104	
検出状況 重複関係		第255号陥し穴と重複。本遺構の方が新しい。	第254号陥し穴と重複。本遺構の方が古い。	
形状 規模	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)不明 (横) V字状	(縦)台形 (横) U字状	(縦)台形 (横) U字状
	開口部径	(不明) × 33cm	357 × 18cm	223 × 22cm
	底部径	(不明) × 15cm	385 × 12cm	235 × 15cm
深さ	51cm	52cm	46cm	
長軸方向	N-107°-E	N-163°-E	N-101°-E	
埋土	上部は新規柱穴に切られ下部のみ残存。	他の陥し穴と埋土の状況が異なる。他遺構との重複か? 下部は灰褐色土の下に黒褐色土が入る。	黒色土とにふい黄褐色土が互層を成す。最下層にはにふい黄褐色土。	
底面	西側がせり上がる。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	
分類	A?2	AⅢ3	AⅢ3	

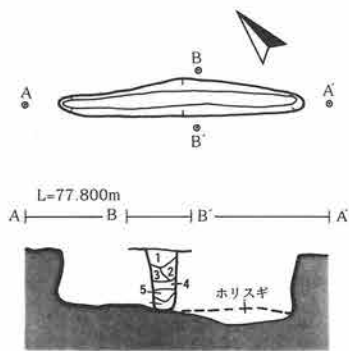
図132 陥し穴状遺構(73)



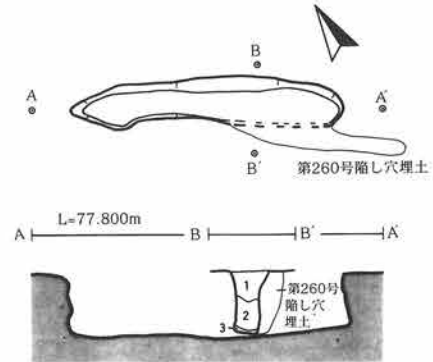
- (第256号陥し穴)
- 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土ブロックをまばらに、鉄分微量含む。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 褐色土ブロック、黒褐色土ブロックわずか。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 3層に似るが、黒褐色土が筋状に入る。
 - 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土粒をわずかに含む。



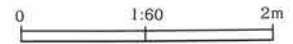
- (第257号陥し穴)
- 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 暗褐色土ブロックをわずかに含む。
 - 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
 - 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土との混土。



- (第258号陥し穴)
- 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土との混土。
 - 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
 - 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR3/2 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。

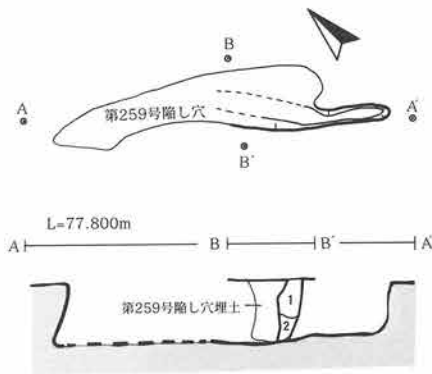


- (第259号陥し穴)
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 赤褐色土ブロックをまばらに含む。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
 - 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。



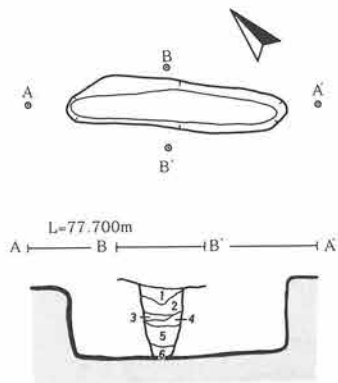
遺構名	第256号陥し穴	第257号陥し穴	第258号陥し穴	第259号陥し穴
写真図版	105	105	105	105
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 長方形 (横) V字状	(縦) 長方形 (横) U字状
規模	開口部径	258×33cm	162×25cm	195×25cm
	底部径	234×18cm	161×12cm	186×15cm
	深さ	41cm	52cm	49cm
長軸方向	N-108°-E	N-117°-E	N-131°-E	N-122°-E
埋土	上部は黒色土・黒褐色土主体。にぶい黄褐色土の下、最下層に粘性の強い黒褐色土が入る。	黒色土・黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒褐色土。	黒色土・黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層はにぶい黄褐色土。	上部は黒褐色土主体。にぶい黄褐色土の下、最下層に粘性の強い黒色土が入る。
底面	ほぼ平坦。	南東方向にやや下がる。	ほぼ平坦であったと思われる。	ほぼ平坦。
分類	A I 2	A II 2	A II 3	A II 3

図133 陥し穴状遺構(74)



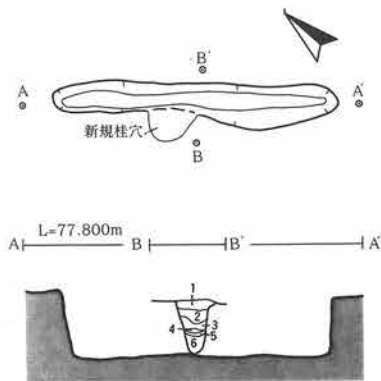
(第260号陥し穴)

1. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 赤褐色土ブロックを全体に含む。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



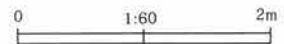
(第261号陥し穴) RZ85

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒との混土。
5. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。5層に似る。



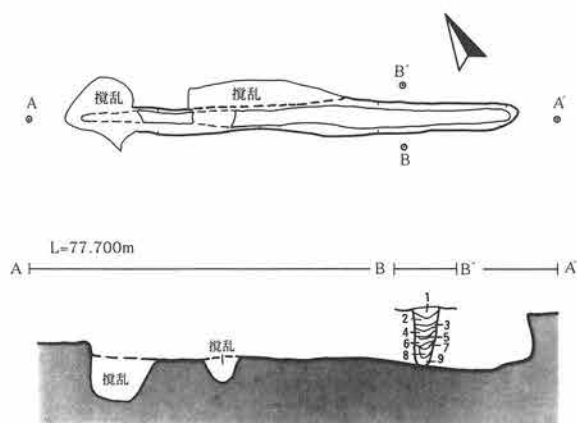
(第262号陥し穴)

1. 10YR3/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 赤褐色ブロックを含む。
4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒を全体に含む。
6. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。



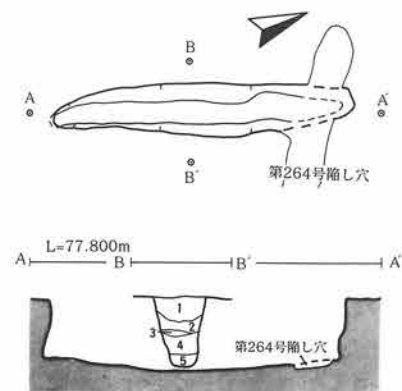
遺構名	第260号陥し穴	第261号陥し穴	第262号陥し穴	
写真図版	105	105	106	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)不明(横)U字状?	(縦)長方形(横)V字状	(縦)逆台形(横)V字状
	開口部径	(不明)×14cm	175×38cm	228×30cm
	底部径	(不明)×8cm	163×26cm	210×10cm
規模	深さ	50cm	56cm	44cm
	長軸方向	N-135°-E	N-132°-E	N-140°-E
埋土	黒褐色土主体。全体に粘性は強い。	上~中部は黒色土・黒褐色土とぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒色土。	黒色土・黒褐色土とぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は粘性の強い黒褐色土。	
底面	不明	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	
分類	A?3	AII2	A I 2	

図134 陥し穴状遺構(75)



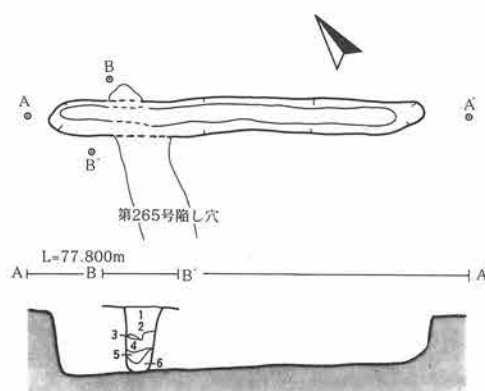
(第263号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土との混土。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
3. 10YR2/1 黒色 シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
4. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒色土粒をわずかに含む。
5. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土入る。
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。
7. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロック入る。
8. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
9. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土との混土。



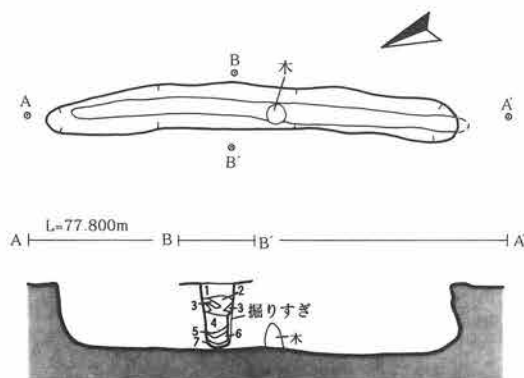
(第265号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土との混土。にぶい黄褐色土周辺に入る。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒まばら。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土質シルト 鉄分を含む、赤褐色土との混土。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をわずかに含む。
5. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土ブロックをわずかに含む。



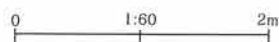
(第264号陥し穴)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒、鉄分を含む赤褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/4 褐色 シルト 褐色土ブロック。
3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 混入物なし。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 粘性がやや強い。黒褐色土粒まばら。
5. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をこくわずかに含む。
6. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 地山に似る。



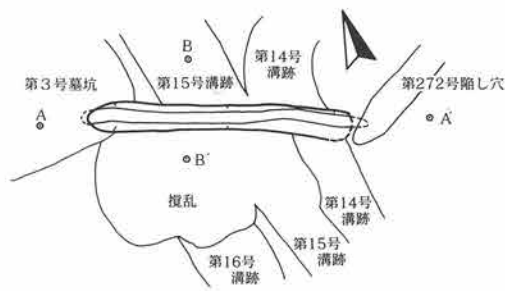
(第266号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土と黒褐色土との混土。
4. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をまばらに含む。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 黒褐色土粒をまばらに含む。
6. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土粒をわずかに含む。
7. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト にぶい黄褐色土との混土。

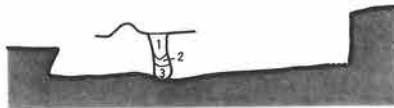


遺構名	第263号陥し穴	第264号陥し穴	第265号陥し穴	第266号陥し穴	
写真図版	106	106	106	106	
検出状況 重複関係		第265号陥し穴と重複。本遺構の方が新しい。	第264号陥し穴と重複。本遺構の方が古い。		
形状	平面形	溝状	溝状	溝状	
	断面形	(縦)不明(横)U字状	(縦)逆台形(横)U字状	(縦)不定形(横)V字状	(縦)不定形(横)U字状
規模	開口部径	360前後×22cm	298×29cm	238×41cm	329×26cm
	底部径	341×12cm	266×19cm	231×20cm	315×19cm
	深さ	47cm	52cm	60cm	52cm
長軸方向	N-117°-E	N-127°-E	N-18°-E	N-22°-E	
埋土	黒色土・黒褐色土とにぶい黄褐色土が互層を成す。最下層は暗褐色土と黒褐色土の混土。	黒色土・黒褐色土と灰黄褐色土が互層を成す。	上部黒褐色土主体。にぶい黄褐色土の下に黒色土が入る。	黒色土とにぶい黄褐色土の互層を成す。最下層は粘性の強い黒色土。	
底面	東方向にやや下がる。	南東方向に傾斜し下がる。	両面がややせり上がる。	ほぼ平坦。木は近・現代の杭である。	
分類	A?3	A13	AIV2	AIV3	

図135 陥し穴状遺構(76)

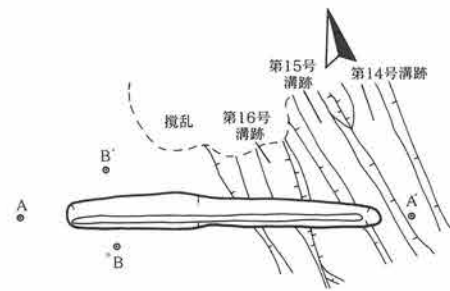


L=78.500m
A | B | B' | A'



(第267号陥し穴)

1. 10GY2/1 緑黒 粘土質シルト 黒色土に約1cm緑灰色土(壁面土)小ブロック全体まばらに少量含む。
2. 2.5GY4/1 暗オリーブ灰 粘土質シルト 緑灰色土(壁面土)に黒色土少量含む。割合6:4。
3. 2.5GY2/1 黒色 粘土質シルト 黒色土に極微量5mmの緑灰色土(壁面土)小ブロックまばらに含む。

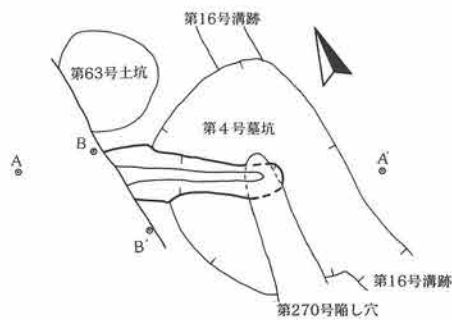


L=78.400m
A | B | B' | A'

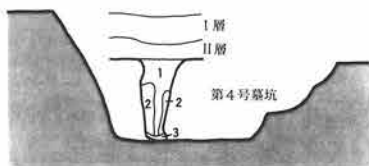


(第268号陥し穴)

1. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土にふい黄褐色土との混合土。
2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土に黒色土が混じる。割合6:4。
3. 10YR2/1 黒褐色 粘土質シルト 黒色土にふい黄褐色土ブロック少量含む。



L=78.900m
A | B | B' | A'



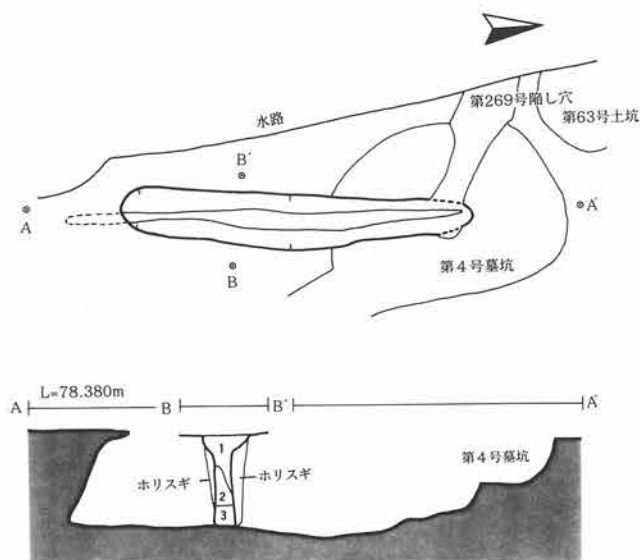
(第269号陥し穴)

1. 10YR3/4 暗褐色 砂質粘土 鉄分多くグライ化している。水路に近い所では、層と層の上に見られる。
2. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土に黒色土混じる。
3. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土に極微量にふい黄褐色土含む。

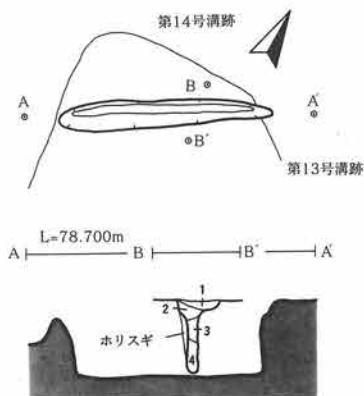
0 1:60 2m

遺構名	第267号陥し穴	第268号陥し穴	第269号陥し穴	
写真図版	107	107		
検出状況 重複関係	第3号墓坑・第14号 第15号墓坑に上位を切られている。	第15号・第16号溝跡に東側の上部を切られている。	第4号墓坑・第270号陥し穴を重複。本遺構の方が古い。	
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) V字状	(縦) 不明 (横) U字状
規模	開口口径	210×30cm	250×25cm	(不明)×43cm
	底部口径	228×8cm	229×5cm	(不明)×10cm
	深さ	50cm	54cm	65cm
長軸方向	N-110°-E	N-104°-E	N-112°-E	
埋土	水の作用を受けている。上部は黒褐色土主体。下層には暗オリーブ灰色土の下に黒色土が入る。	黒色土にふい黄褐色土の混合土主体。各層ごとに、割合異なる。	黒褐色土にふい黄褐色土混じりの黒色土主体。最下層に黒色土入る。	
底面	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	
分類	AⅢ3	AⅡ2	A?3	

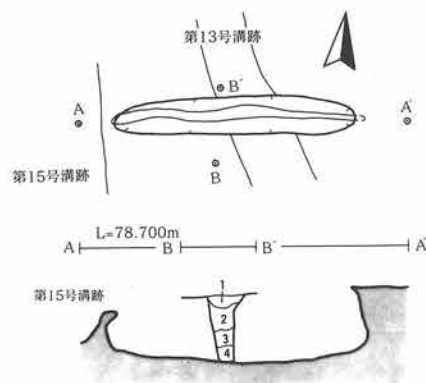
図136 陥し穴状遺構(77)



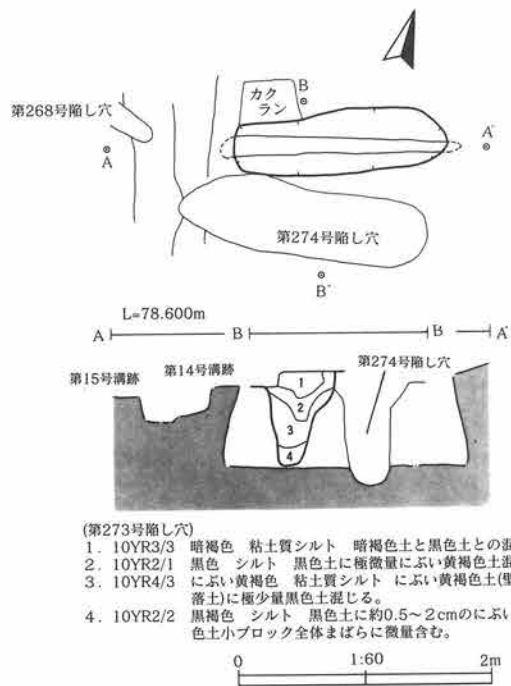
- (第270号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土にふい黄褐色土との混合土。
 2. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 壁面崩落土(にふい黄褐色土)。
 3. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 黒色土にふい黄褐色土ブロック少量含む。



- (第272号陥し穴)
1. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロック全体まばらに含む。
 2. 10YR2/2 黒褐色 シルト 混入物なし。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土にふい黄褐色土(壁土)との混合土。割合黒色土少し多い。
 4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土ブロック少量全体まばらに含む。



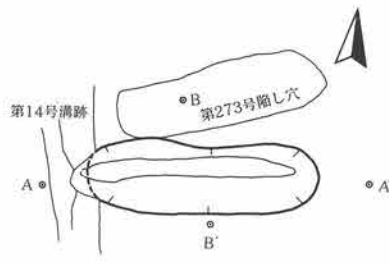
- (第271号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト II層と思われる土混入。
 2. 10YR2/3 黒褐色 シルト 黒色土・灰黄褐色土微量との混合土。
 3. 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 灰黄褐色土(壁面崩落土)との混合土。
 4. 10YR2/1 黒色 粘土質シルト 灰黄褐色土ブロック微量含む。



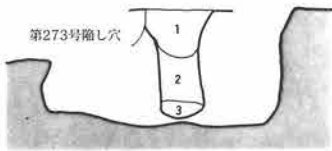
- (第273号陥し穴)
1. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 暗褐色土と黒色土との混合土。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土に極微量にふい黄褐色土混じる。
 3. 10YR4/3 にふい黄褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土(壁面崩落土)に極少量黒色土混じる。
 4. 10YR2/2 黒褐色 シルト 黒色土に約0.5~2cmにふい黄褐色土小ブロック全体まばらに微量含む。

遺構名	第270号陥し穴	第271号陥し穴	第272号陥し穴	第273号陥し穴
写真図版	107	107	107	
検出状況	第4号墓坑に、第269号陥し穴と共に切られている。	第13号溝と中央部の上位を切られる。	第13号溝と重複。東端部の上位を切られる。	第274号陥し穴と重複。南側上位で第274号陥し穴を切っている。
重複関係	第269号陥し穴と重複。本遺構の方が新しい。			
形状	平面形 溝状	溝状	溝状	溝状
断面形	(縦) 不定形 (横) Y字状	(縦) 台形 (横) V字状	(縦) 長方形 (横) Y字状	(縦) 台形 (横) V字状
規模	開口部径 280×48cm	190×28cm	172×20cm	168×49cm
底部径	316×6cm	198×9cm	146×7cm	190×13cm
深さ	73cm	53cm	58cm	76cm
長軸方向	N-5°-E	N-83°-E	N-61°-E	N-74°-E
埋土	上部は黒褐色土主体。下部はにふい黄褐色土の下に黒色土が入る。	黒褐色土主体。下層は灰黄褐色土の下に黒色土が入る。	にふい黄褐色土まじりの黒色土と黒褐色土主体。	黒褐色土ににふい黄褐色土混じりの黒色土主体。
底面	北側に段差をもって上がる。	東側・西側ともせり上がる。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。
分類	AⅣ1	AⅢ2	AⅡ1	AⅢ2

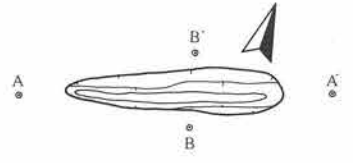
図137 陥し穴状遺構(78)



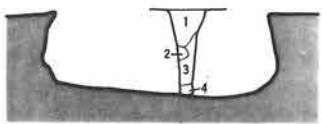
L=78.600m



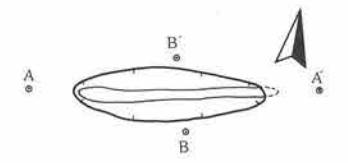
- (第274号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 混入物なし。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土とにぶい黄褐色土(壁面)との混合土。割合黒色土少し多い。
 3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロック少量全体まばらに含む。



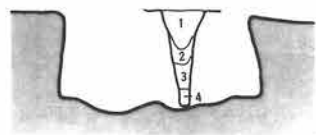
L=78.700m



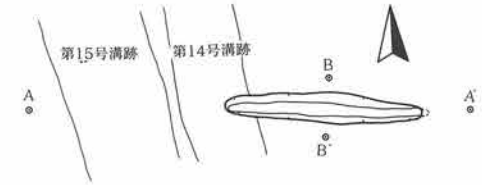
- (第276号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト。
 2. 10YR3/2 黒褐色 シルト 1層によく似るが、1層より明るい。
 3. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土とにぶい黄褐色土(壁土)との混合土。割合黒色土少し多い。
 4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロック少量全体まばらに含む。



L=78.700m



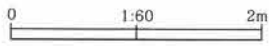
- (第275号陥し穴)
1. 10YR2/2 黒褐色 シルト にぶい黄褐色土ブロック全体まばらに含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒色土とにぶい黄褐色土(壁土)との混合土。割合黒色土少し多い。
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 2層に似るが、2層より明るい。
 4. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト にぶい黄褐色土ブロック少量全体まばらに含む。



L=78.700m

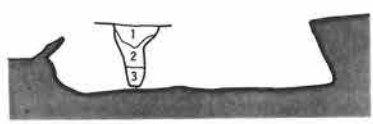
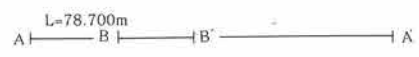
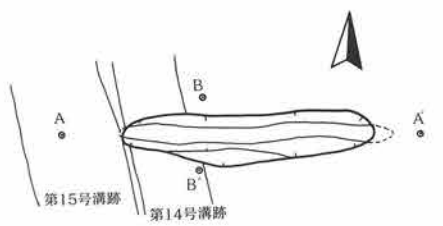


- (第277号陥し穴)
1. 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土とにぶい黄褐色土ブロック少量全体まばらに含む。
 2. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土とにぶい黄褐色土ブロック極微量含む。

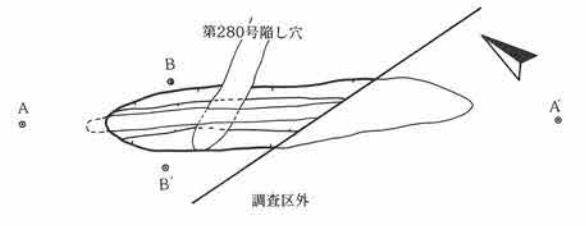


遺構名	第274号陥し穴	第275号陥し穴	第276号陥し穴	第277号陥し穴
写真図版		108	108	108
検出状況 重複関係	第273号陥し穴と重複し、北側上位で切られている。 又、西側を第14号溝跡に切られている。			第14号溝跡と重複し、西側上位が切られている。
形状	平面形 溝状 断面形 (縦) 台形 (横) U字状	溝状 (縦) 台形 (横) V字状	溝状 (縦) 台形 (横) V字状	溝状 (縦) 台形 (横) U字状
規模	開口部径 198×55cm 底部径 172×19cm 深さ 88cm	152×44cm 157×9cm 77cm	174×34cm 154×8cm 68cm	157×24cm 159×11cm 50cm
長軸方向	N-80°-E	N-80°-E	N-70°-E	N-94°-E
埋土	黒色土とにぶい黄褐色土混じりの黒色土主体。	黒褐色土と黒色土混じりにぶい黄褐色土主体。	黒褐色土主体で、各層ごとに、にぶい黄褐色土の混入割合が異なる。	黒褐色土主体で、最下層に黒色土が入る。
底面	西側にせり上がる。	波状に凹凸をもつ。	西側に傾斜して上がる。	ほぼ平坦。
分類	AⅢ3	AⅢ2	AⅢ2	AⅢ3

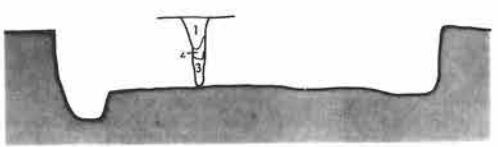
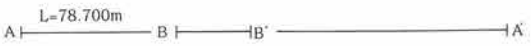
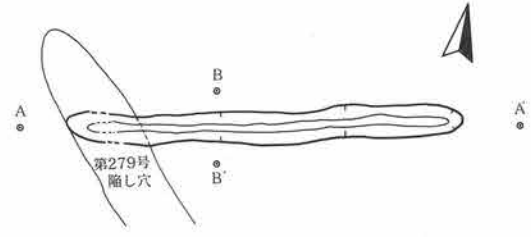
図138 陥し穴状遺構(79)



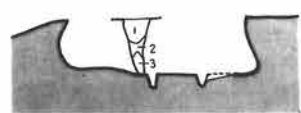
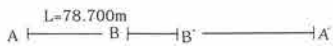
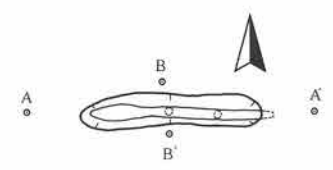
- (第278号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土約2cmのブロック全体まばらに少量混じる。
 2. 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土と少量の黒色土との混合土。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土に少量にふい黄褐色土混じる。



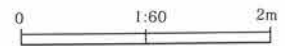
- (第279号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土に微量2層の土混入。10YR4/3にふい黄褐色土粒小ブロック全体まばらに含む。
 2. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土とにふい黄褐色土(壁面崩落土)との混合土。



- (第280号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト 黒色土に微量2層の土混入。10YR4/3にふい黄褐色土粒小ブロック全体まばらに含む。
 2. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 黒色土とにふい黄褐色土(壁面崩落土)との混合土。
 3. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土小ブロック(約2mm~5mm)全体まばらに含む。

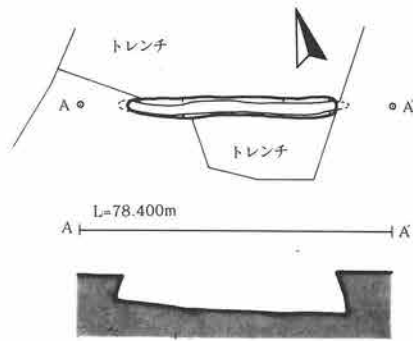


- (第281号陥し穴)
1. 10YR2/3 黒褐色 シルト 約2cmのふい黄褐色土ブロック極微量含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土(壁面崩落土)と黒色土との混合土。
 3. 10YR2/3 黒褐色 シルト 約2mm~4mmのふい黄褐色土小ブロック全体まばらに含む。

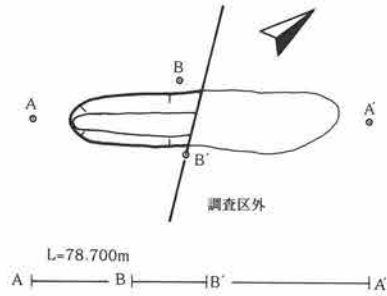


遺構名	第278号陥し穴	第279号陥し穴	第280号陥し穴	第281号陥し穴
写真図版	108	108	109	109
検出状況	第14号溝跡と重複し、西側上位が切られている。	第280号陥し穴と重複している。新旧は不明。	第279号陥し穴と西端部で重複している。新旧は不明。	
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦)不定形(横)U字状	(縦)台形(横)Y字状	(縦)長方形(横)V字状
規模	開口部径	202×38cm	294×48cm	316×24cm
	底部径	220×12cm	344×13cm	146×8cm
	深さ	48cm	80cm	55cm
長軸方向	N-86°-E	N-141°-E	N-80°-E	N-100°-E
埋土	黒褐色土主体で各層ごとに、にふい黄褐色土の混入割合が異なる。	にふい黄褐色土混じりの黒色土主体。	黒色土とにふい黄褐色の混合土各層ごとに、割合異なる。	にふい黄褐色土混じりの黒褐色土と、暗褐色土主体。
底面	ほぼ平坦。	中央部が高く両端に緩やかに下がる。	中央から東側に緩やかに下がる。	逆茂木痕を2基有する。
分類	AⅣ3	AⅢ1	AⅡ2	AⅢ2

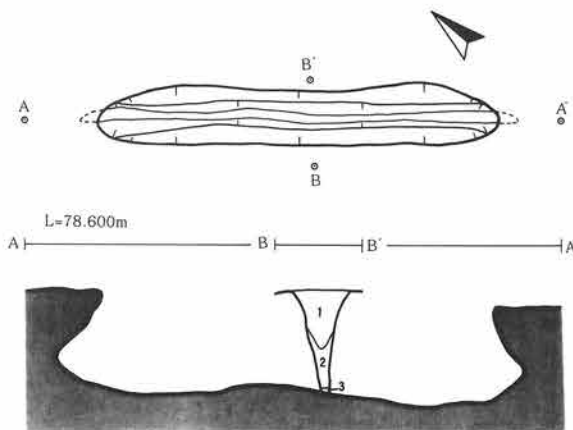
図139 陥し穴状遺構(80)



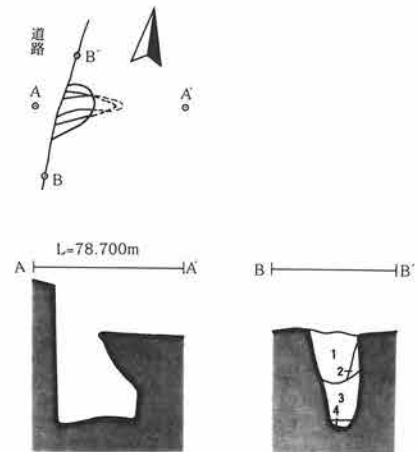
(第282号陥し穴)
断面図・注記なし。



(第283号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土小ブロック約1cm程全体極微量含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト にふい黄褐色土と黒色土との混合土。



(第284号陥し穴)
1. 10YR2/1 黒色 シルト にふい黄褐色土小ブロック約1cm程全体極微量含む。
2. 10YR3/4 にふい黄褐色 粘土質シルト 橙色粒全体まばらに見られる。にふい黄褐色土に黒色土少量混入。
3. 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黒色土に2層の土が微量混じる。

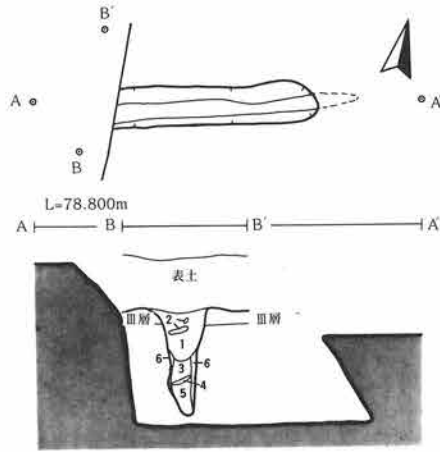


(第285号陥し穴)
1. 10GY2/1 緑黒 粘土質シルト 黒色土に約2~4cmの灰色土(壁面土)ブロック極微量含む。
2. 10Y2/1 オリーブ黒 粘土質 灰色土(壁面土)と黒色土との混合土 割合1:1。
3. 5GY4/1 暗オリーブ灰 粘土質 緑灰路土(壁面土)に極少量の黒色土含む。
4. 10GY2/1 緑黒 黒色土に緑灰色土をまばらに含む。

0 1:60 2m

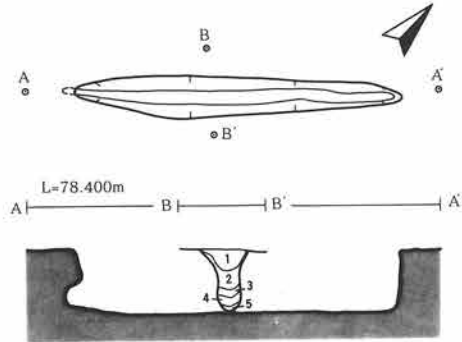
遺構名	第282号陥し穴	第283号陥し穴	第284号陥し穴	第285号陥し穴
写真図版	109	109	109	
検出状況 重複関係	攪乱の底面に極僅かに検出した。残存状況はかなり悪い。	岩手県委託調査区に一部含まれている。		遺構の東側が一部検出されただけで殆どが調査区域外のびている為、遺構全体の把握が不可。
形状	平面形	溝状	溝状	溝状
	断面形	(縦)不定形(横)V字状	(縦)台形(横)Y字状	(縦)不明(横)U字状
規模	開口部径	217×44cm	324×44cm	(不明)×40cm
	底部径	208×19cm	350×7cm	(不明)×10cm
	深さ	59cm	83cm	76cm
長軸方向	N-106°-E	N-34°-E	N-140°-E	N-70°-E
埋土	検出時の最下層は黒色土~黒褐色土が戦土として残った。	黒色土とにふい黄褐色土混じりの黒色土主体。	上部は黒色土主体、下層はにふい黄褐色土の下に黒色土が入る。	水的作用を受けている。黒色土と黒色土混じりの灰色土主体、最下層に黒色土入る。
底面	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	両端せり上がる。	東側が少々上がる。
分類	AⅢ?	AⅣ2	AⅢ1	A?3

図140 陥し穴状遺構(81)



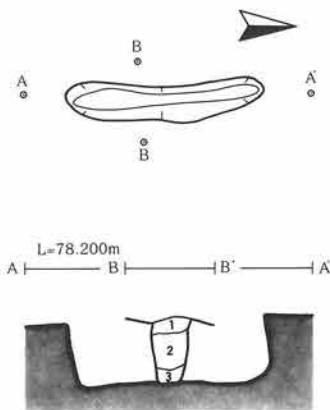
(第286号陥し穴)

1. 2.5GY2/1 黒色 シルト 黒色土に極々微量の灰色土(壁面崩落土)が含まれる。鉄分多い。
2. 7.5GY4/2 灰オリーブ 粘土質 壁面土(灰色土)によく似たブロックを含む。
3. 7.5GY4/1 暗緑灰色 粘土質シルト 黒色土と壁面土(緑灰色土)との混合土 1:1の割合。
4. 7.5GY2/1 緑黒 粘土質シルト 黒色土に少量の緑灰色土(壁面土)含む。
5. 10GY3/1 暗緑灰色 粘土質シルト 4層に似るが4層より暗い。
6. 10GY5/1 緑灰色 粘土質シルト 壁面土(緑灰色土)に少量の黒色土混じる。



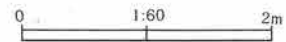
(第287号陥し穴)

1. 7.5Y2/1 黒色 シルト 壁面土(灰色土)と黒色土との混合土。黒色土割合多い。
2. 7.5GY4/1 暗緑灰色 粘土質シルト 壁面土(緑灰色土)と黒色土との混合土。黒色土割合少ない。
3. 2.5GY2/1 黒色 粘土質シルト 壁面土(灰色土)と黒色土との混合土。黒色土割合多い。
4. 5GY4/1 暗オリーブ色 粘土質シルト 壁面土(緑灰色土)と黒色土との混合土。黒色土割合少ない。
5. 5GY2/1 オリーブ黒色 シルト 極微量緑灰色土(壁面土)混じる。



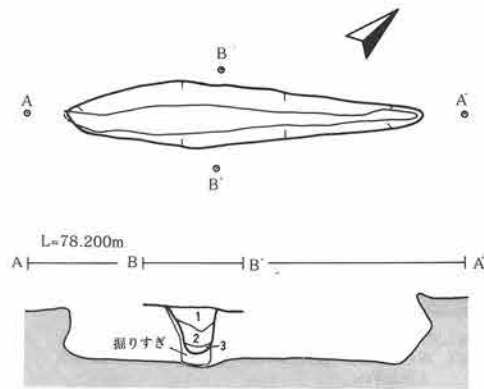
(第288号陥し穴)

1. 10Y3/1 黒色 粘土質シルト 黒色土に灰色土(壁面土)ブロック約3~4cmで入る。黒多し鉄分微量。
2. 7.5GY4/1 暗緑灰色 粘土質 緑灰色土(壁面土)がほとんどで、極微量黒色土含む。
3. 7.5GY2/1 緑黒 粘土質シルト 混入物ほとんど見られない。



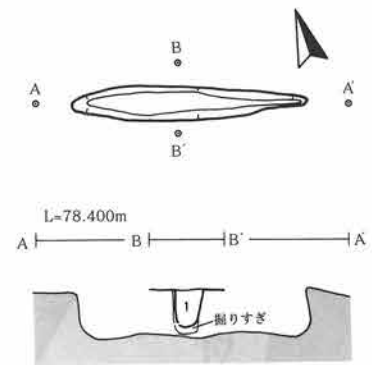
遺構名	第286号陥し穴	第287号陥し穴	第288号陥し穴	
写真図版	110	110	110	
検出状況 重複関係	西側が調査区域外にのびている為遺構全体の把握が不可能。			
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦)不明(横)V字状	(縦)不定形(横)U字状	(縦)不定形(横)U字状
	開口部径	164×33cm	263×32cm	157×27cm
	底部径	196×13cm	264×11cm	149×11cm
規模	深さ	86cm	50cm	53cm
長軸方向	N-73°-E	N-47°-E	N-174°-E	
埋土	水の作用を受けている。黒色土と灰色土・緑灰色土の混合土が各層ごとに割合異なる。			
底面	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	
分類	A?2	AN3	AN3	

図141 陥し穴状遺構(82)



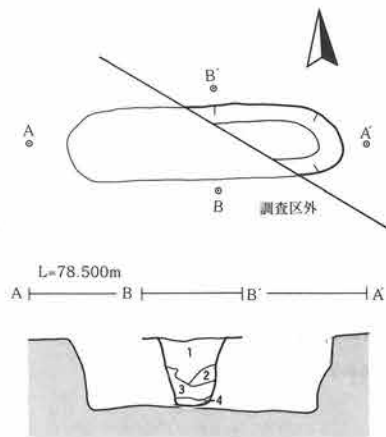
(第289号陥し穴)

1. 7.5GY3/1 オリーブ黒 粘土質シルト 緑灰色土(壁面土)と黒色土との混土。割合1:1。
2. 2.5GY4/1 暗オリーブ灰 粘土質シルト 緑灰色土(壁面土)に極微量黒色土含む。
3. 2.5GY2/1 黒色 粘土質シルト 黒色土に極微量の緑灰色土(壁面土)含む。



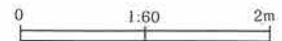
(第290号陥し穴)

1. 7.5GY3/1 オリーブ黒 粘土質シルト 黒色土に緑灰色土(壁面土)約1~4cmのブロックで少量全体まばらに含む。



(第291号陥し穴)

1. 10YR2/1 黒色 シルト 壁面崩落土と思われる約2cmのふい黄褐色土ブロック含む。
2. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 到ふい黄褐色土と黒色土との混合土。
3. 10YR4/3 到ふい黄褐色 粘土質シルト ほぼ到ふい黄褐色土であるが、極微量黒色土を混じる。
4. 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 到ふい黄褐色土を極々微量含む黒色土。



遺構名	第289号陥し穴	第290号陥し穴	第291号陥し穴	
写真図版	110	110	110	
検出状況 重複関係				
形状	平面形	溝状	溝状	
	断面形	(縦) 台形 (横) U字状	(縦) 長方形 (横) U字状	(縦) 逆台形 (横) V字状
規模	開口部径	286 × 50cm	189 × 26cm	221 × 60cm
	底部径	283 × 21cm	171 × 16cm	180 × 23cm
	深さ	38cm	29cm	54cm
	長軸方向	N-39°-E	N-107°-E	N-94°-E
埋土	水の作用を受けている。黒色土混じりの緑灰色土主体。最下層に黒色土入る。	水の作用を受けている。緑灰色土混じりの黒色土主体。	黒色土と黒色土混じりに、黄褐色土主体。最下層に黒色土入る。	
底面	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	ほぼ平坦。	
分類	AⅢ3	AⅡ3	AⅠ2	

図142 陥し穴状遺構(83)

6. 複式炉と出土遺物

遺構 (図143、写真図版111)

(位置) II A 2 i 区に位置している。住居跡の上部はほとんど削平され、炉と柱穴のみが残存している。また、炉と第61号・62号・73号陥し穴状遺構とが重複している。3基の陥し穴が埋まった後に炉を構築している。

(柱穴) PP 1からPP 5の5基検出した。それらは五角形に配置され、各柱穴間の距離はPP 1とPP 2が、PP 1とPP 2が2.02m、PP 2とPP 3が3.22m、PP 3とPP 4が1.80m、PP 4とPP 5は3.69m、PP 1とPP 5は3.52mである。

(炉) 方形の石囲炉に前庭部を有する複式炉的な形態のものである。石囲炉は扁平な20数個の礫を100cm×95cmの長方形に配置して構築されている。前庭部に接する部分以外の三方は二重に礫を巡らせている部分がある。前庭部は160cm×155cmの規模をもち、固く踏みしめられた部分が地山との境界を示していた。炉内における焼土の残存状況は不良で、厚さ4cm程度の汚れた焼土が残存する程度である。

遺物 (図190、写真図版143)

314～316は石囲炉焼土上からの出土した深鉢の胴部破片である。312は大木8b式期に相当すると思われる。その他の土器はも中期中葉に比定されると思われるが、摩滅のため詳細は不明である。

時期 出土遺物から縄文時代中期中葉に属すると考えられる。

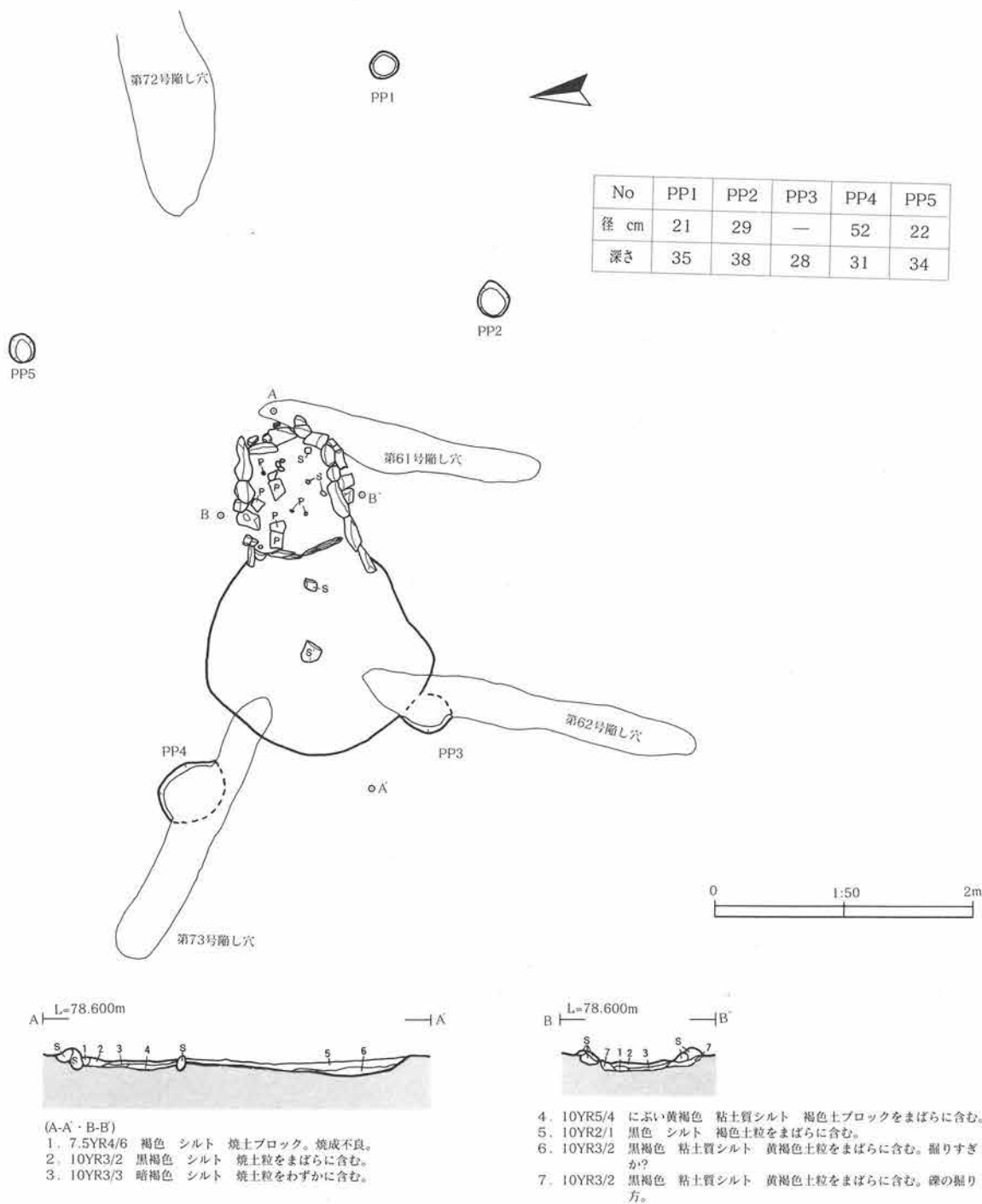


図143 複式炉

7. 墓坑と出土遺物

第1号墓坑

遺構 (図144、写真図版112)

(位置) II B 1 c 区・II B 1 d 区・II B 2 c 区・II B 2 d 区の4グリッドにわたって位置する。また、第22号住居跡南壁を切る。本遺構の方が同住居跡より新しい。

(埋土) 黒褐色土主体。下部に入るとにぶい黄褐色土の割合が増える。

(平面形) 楕円形 (規模) 直径742cm×620cm 溝幅70cm~110cm (深さ) 31cm

(床面) III層上の粘土層を床面とする。

(その他) 本遺構は一般的には周溝状遺構と呼ばれる遺構である。遺構の性格は不明だが、他遺跡の類例から墓坑として記載した。

遺物 出土しなかった。

時期 平安時代の遺構の可能性が高い。

第2号墓坑

遺構 (図145、写真図版112)

(位置) II C 6 f 区北側から検出。新規溝跡に上部を切られる。

(埋土) 上部が削平されていたため、下部の黒褐色土が残存している。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 112cm×105cm (深さ) 10cm

(壁) 外傾し立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 (図189、写真図版142)

棺を組み立てるために使用されたと思われる角釘が4点 (うち3点が残存) 出土している。詳細は遺物観察表を参照されたい。

時期 検出状況・出土遺物から中世~近世の遺構であると思われる。

第3号墓坑

遺構 (図145、写真図版113)

(位置) II A 8 e 区に位置する。本遺構の東壁側は調査区内であるものの水路となっており未調査である。

(埋土) 黒色土ににぶい黄褐色土ブロックが混入する。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 165cm×110cm前後 (深さ) 60cm前後か? (床板までの深さ)

(壁) 直立気味に外傾して立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とすると思われる。

遺物 棺の材と思われる平板。部位不明の骨片、寛永通宝他小銭数枚。

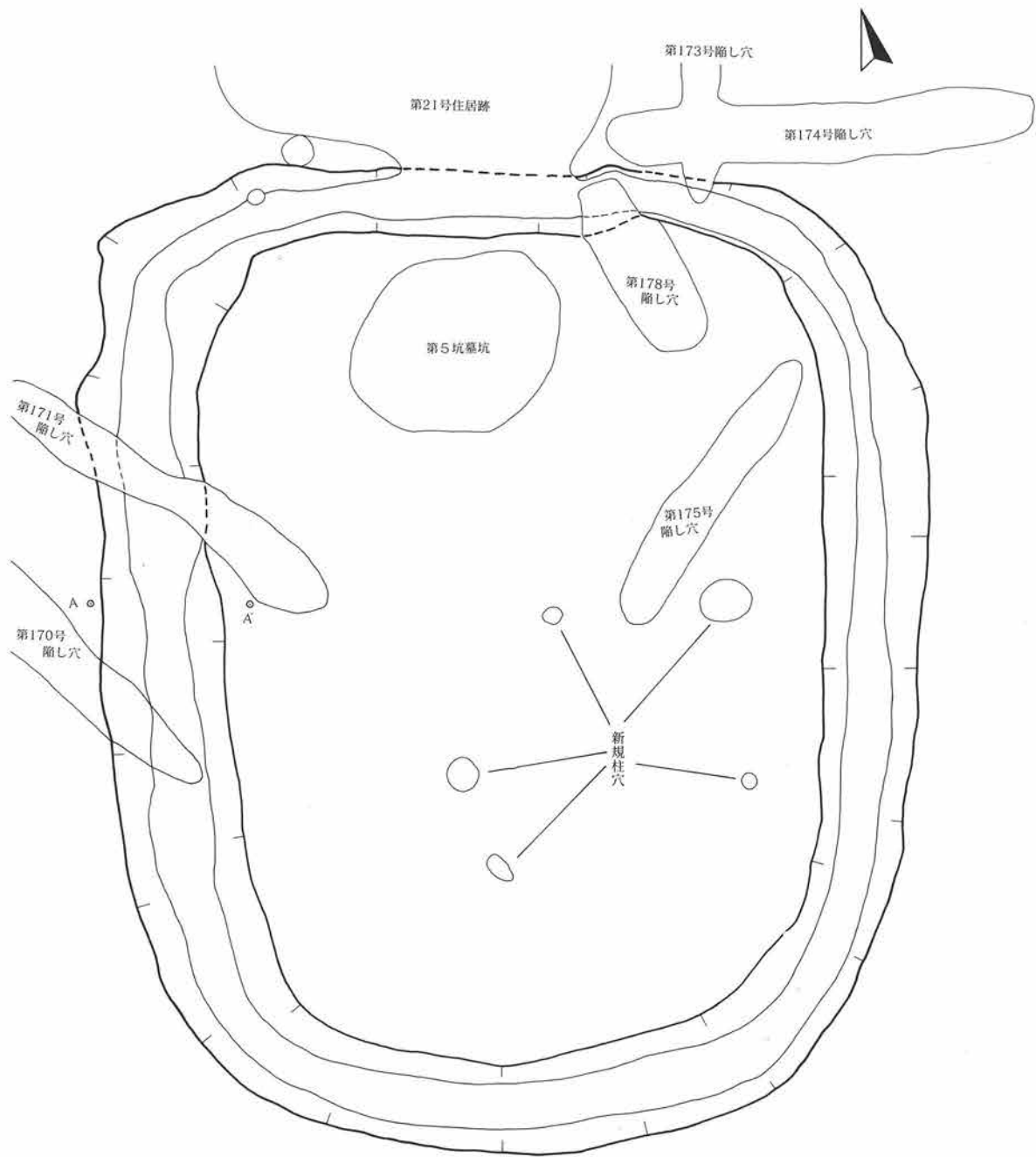
時期 出土遺物から近世・近代の遺構であると思われる。

第4号墓坑

遺構 (図145、写真図版113)

(位置) II A 8 f ~ II A 9 f 区に位置する。第269号・第270号陥し穴の上部を切る。

(埋土) 黒色土ににぶい黄褐色土ブロック多量に混入する。



L=78.800m
A |-----| A



(第1号墓坑)

1. 10YR2/2 黒褐色 シルト 褐色土粒をまばらに含む。
2. 10YR3/1 黒褐色 シルト 濃い黄褐色土ブロックをまばらに含む。

0 1:50 2m

図144 墓坑(1)

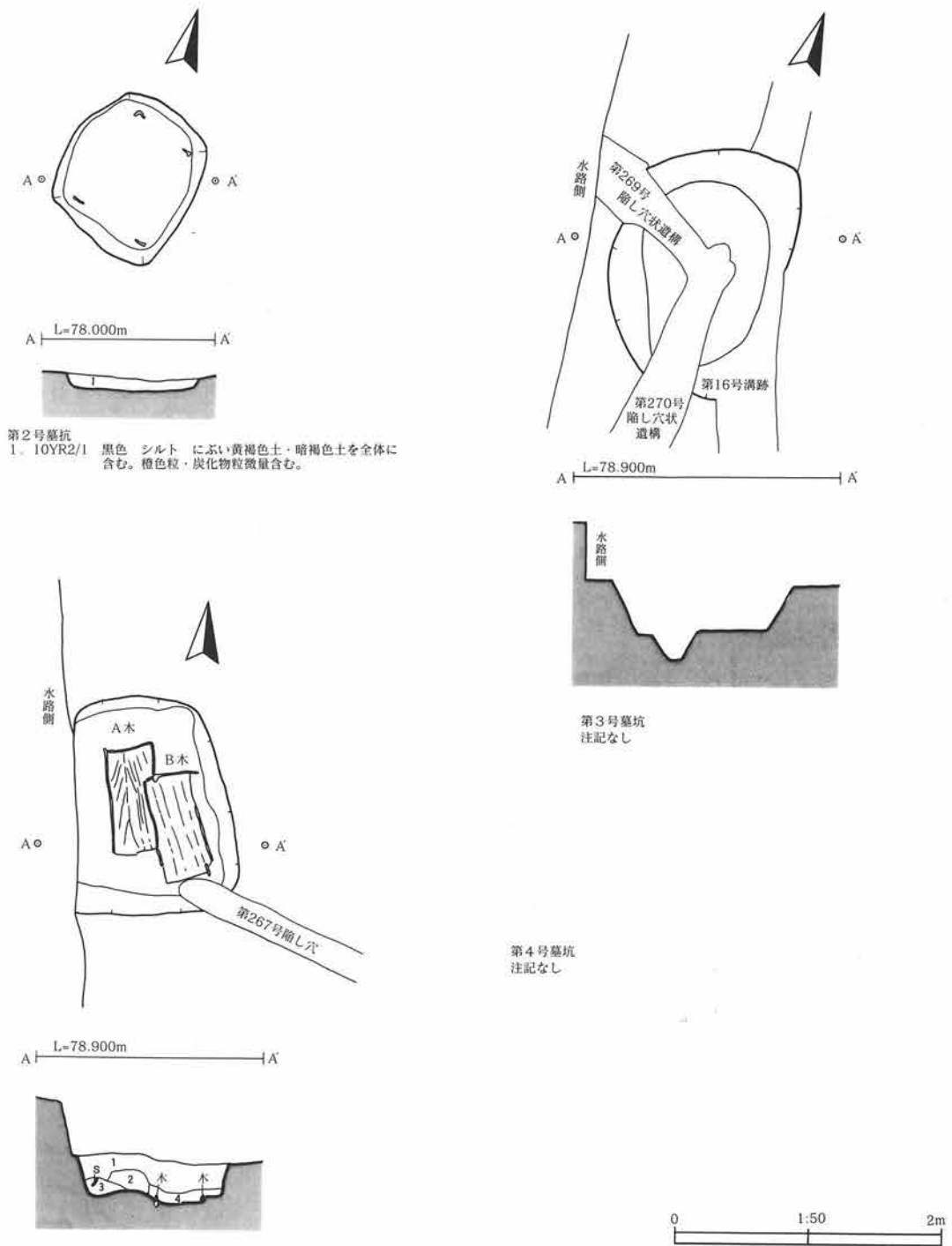


図145 墓坑(2)

(平面形) 楕円形 (規模) 175cm×125cm (深さ) 40cm前後

(壁) 外傾して立ち上がる。(床面) III層下の粘土層を床面とする。

遺物 棺の材と思われる木片。

時期 不明だが遺構の性格が第3号墓坑と類似しているため同時期 (近世・近代) の可能性がある。

8. 溝跡と出土遺物

第1号溝跡

遺構 (図146)

(位置) I B 8 c 区～II B 2 d 区～II B 5 e 区に位置する。第179～第183号陥し穴状遺構の一部上部と重複し切っている。また、東側約10m上部は攪乱により削平されている。

(軸方向) N—110° —E～N—88° —E

(埋土) にぶい黄褐色土混じりの暗褐色土。他の溝跡と比較して明るい色調が明るく締まりがない。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅35cm～87cm、下端幅17cm～39cm、深さ8cm～53cmで、全長は約37mである。断面は逆台形を呈する。方向は調査区北西端から西北西—東南東に延び、II B 4 e 区で東へやや曲がる。東端部は調査区外に延びている。

遺物 出土しなかった。

時期 埋土の状況から近・現代の遺構であると思われる。

第2号溝跡

遺構 (図146、写真図版113)

(位置) I B O d 区～II B 2 e 区～II B 5 e 区に位置する。第182・183号陥し穴状遺構の一部上部と重複し切っている。また、東側約10m上部は攪乱により削平されている。

(軸方向) N—70° —E～N—90° —E

(埋土) にぶい黄褐色土混じりの黒褐色土。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅34cm～84cm、下端幅15cm～30cm、深さ18cm～32cmで、全長は約27mである。断面形はU字状である。方向は西北西—東南東でやや湾曲する。西端部は緩やかに立ち上がり切れる。東端部は調査区外に延びている。

遺物 (図191、写真図版143)

北西隅から近世以降の陶磁器の小破片と埴塼が出土している。317は完形の埴塼である。長さ3cm前後、直径1.3cmと小ぶり、二次焼成を受けたためかガラス化し銅滓状の付着物が見られる。

時期 出土遺物から近世以降の遺構であると思われる。

第3号溝跡

遺構 (図146、写真図版113)

(位置) II B 4 f 区～II B 4 i 区・II C 5 a 区～II C 7 d 区に位置する。第188号・第208号陥し穴状遺構と第2号住居状遺構と重複しこれらを切っている。

(軸方向) N—160° —E～N—170° —E

(埋土) 褐色土粒をまばらに含む黒褐色土。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅は38cm～70cm、下端幅は30cm～53cm、深さは9cm～22cmで、全長は約38mであったと思われる。断面形は緩いU字状を呈する。方向は北北西—南南東でありほぼ直線的である。北端・南端ともに緩く立ち上がり切れる。また、宅地造成のため溝中央からやや北寄りの約6mの範囲が削平されている。

遺構 埋土から土師器片が数点出土している。

時期 埋土の状況、出土遺物から平安時代の遺構である可能性が高い。

第4号溝跡

遺構 (図146、写真図版114)

(位置) II C 2 c 区～II C 6 d 区～II C O e 区に位置する。第230号・245号陥し穴状遺構と重複しこれらを切る。また、第5号・第6号溝跡が南側にはほぼ平行して位置している。なお、本遺構はII C 3 d 区で二手に分かれII C 5 d 区で再び合流しているが一条として記載している。

(軸方向) N-95° -E～N-100° -E

(埋土) 上部が削平されており、下層の褐色土粒をわずかに含む黒褐色土が残存する。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅は35cm～118cm、下端幅は21cm～55cm、深さは3cm～16cmで全長は約45mである。断面形は緩いU字状を呈する。方向は西北西―東南東でありほぼ直線的である。西端は緩やかに立ち上がり、東端は湿地帯へと延びている。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第5号溝跡

遺構 (図146、写真図版114)

(位置) II C 2 d 区～II C 6 e 区～II C O e 区に位置する。第230号陥し穴状遺構と重複し切っている。北に第4号溝跡、南に第6号溝跡がほぼ平行に走っている。

(軸方向) N-100° -E～N-105° -E

(埋土) にぶい黄褐色土を含む黒褐色土主体。いずれの層も固く締まる。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅40cm～63cm、下端幅7cm～22cm、深さ8～23cmで全長は約44mである。断面形は部分的に深く掘り込まれた箇所があるが概ね緩いU字状を呈している。方向は西北西―東南東であり、ほぼ直線的である。西端は緩やかに立ち上がり切れる。東端は第4号溝跡と同様湿地帯へと延びている。

遺物 石鏃(318)が一点出土している。流れ込みか？

時期 不明である。

第6号溝跡

遺構 (図146)

(位置) II C 1 d 区～II C 4 e 区～II C 6 e 区に位置する。第57号土坑と重複し切る。また、北側に第4号・第5号溝跡がほぼ平行に走っている。

(軸方向) N-102° -E～N-105° -E

(埋土) 上部は削平されており、下層の褐色土粒混じりの黒褐色土が残存している。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅35cm～80cm、下端幅22cm～48cm、深さ3～13cmで全長は約27mである。断面形は緩いU字状を呈している。方向は西北西―東北東であり、ほぼ直線的である。西端・東端ともに緩やかに立ち上がり切れる。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第7号溝跡

遺構 (図146、写真図版114)

(位置) II C 6 e 区～II C 7 f 区に位置する。第2号墓坑と重複しその北側上部を切る。

(軸方向) N—105° —E

(埋土) 上部が削平され、下層の褐色土粒を含む黒褐色土が残存している。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅62cm～73cm、下端幅45cm～60cm、深さ6～12cmで、全長は約7mである。断面形は逆台形を呈している。方向は西北西—東北東でありほぼ直線的である。西端は上部が削平されているために切れ、東端は湿地帯方向に延びていると思われるが他遺構と重複しており、詳細は不明である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第8号溝跡

遺構 (図146、写真図版114)

(位置) II C 6 f 区に位置する。第2号墓坑と重複しその南端上部を切る。第7号溝跡と平行している。

(軸方向) N—108° —E

(埋土) 褐色土混じりの黒褐色土主体。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅44cm～50cm、下端幅32cm～36cm、深さ4cm～6cmで、全長は約4mである。断面形は緩いU字状を呈している。方向は西北西—東北東でありほぼ直線的である。西端は緩やかに立ち上がり切れる。東端は第64号土坑につながるが同土坑に伴うかどうかは不明である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第9号溝跡

遺構 (図58、写真図版51)

(位置) II C O g 区～II C 8 i 区に位置する。第62号土坑に伴う遺構であると考えられる。

(軸方向) N—44° —E

(埋土) 上部は黒褐色土、下部は粘性の強い黒褐色土。最下層は水の作用を受け変色している。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅75cm～101cm、下端幅18cm～55cm、深さ24cm～40cmで全長約18mである。断面形はやや緩いU字状を呈している。方向は北東—南西でありほぼ直線的である。高低差は26cmで南西方向に下がる。北端は湿地帯へと延び、南端は第62号土坑に入る。

遺物 遺構に伴うと思われる柱材が数本出土している。うち1本を掲載(319)した。

時期 柱材の年代から近・現代の遺構であると思われる。

第10号溝跡

遺構 (図147、写真図版115)

(位置) II A 8 c 区～II A 8 d 区～III A 2 d 区に位置する。第5号住居状遺構と重複しこれを切る。

(軸方向) N—167° —E・N—93° —E

(埋土) にぶい黄褐色土まじりの黒褐色土主体。

(規模・形態・方向) 規模は上端幅40～100cm、下端幅18～30cm、深さ15～40cmで、全長は南北方向に8m、東西方向に18m計26mにわたっている。断面形は部分的にY字状を呈する箇所があり、その他の箇所は緩いU字状を呈する。方向は調査区北端隅からほぼ南—北に延び、II A 8 d 区で東方向に曲がった後、IV A 2 d 区に至っている。東端部は上部が削平されているために検出されなかったと思われる。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第11号溝跡

遺構 (図147、写真図版115)

(位置) II A 9 e 区に位置する。第10号溝跡の一部と方向を同じにしていることから、同一遺構である可能性がある。

(埋土) にぶい黄褐色土混じりの黒褐色土。第10号溝跡埋土に似る。

(軸方向) N—125° —E～N—150° —E

(規模・形態・方向) 規模は上端幅50cm前後、下端幅は20cm～30cm、深さは6～10cmである。全長は残存部分は約6mであり、南端部の上部は削平されているため詳細は不明である。断面形は緩いU字状を呈する。方向は北西—南東で全体に湾曲している。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第12号溝跡

遺構 (図147、写真図版116)

(位置) II A 9 e 区～II A 9 h 区に位置する。第11号溝跡と重複しているが新旧関係は不明である。また、第13号溝跡と重複し切られている。

(埋土) にぶい黄褐色土ブロックを含む黒褐色土。

(軸方向) N—168° —E～N—179° —E

(規模・形態・方向) 規模は上端幅40cm～80cm、下端幅10cm～60cm、深さは17～30cmである。全長は約19mで、南端部は調査区外に延びている。断面形は緩いU字状である。方向はほぼ北—南方向で直線的である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第13号溝跡

遺構 (図147、写真図版116)

(位置) II A 8 d 区～II A 9 e 区～II A 9 h 区に位置する。第268号陥し穴、第12号・第14号溝跡と重複しこれらを切っている。

(埋土) にぶい黄褐色土を全体に含む黒褐色土。第12号溝跡よりもにぶい黄褐色土の含む割合が多い。

(軸方向) N-168° -E

(規模・形態・方向) 規模は上端幅70cm～80cm、下端幅20cm～30cm、深さ18cm～31cmで、全長は約23mである。南端部は調査区外に延びている。断面形は緩いU字状を呈する。方向はほぼ北-南で直線的である。第12号溝跡と概ね平行している。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第14号溝跡

遺構 (図147)

(位置) II A 8 e 区～II A 9 e 区～II A 9 f 区に位置する。北端部で第4号墓坑と、南端部で第14号溝跡と重複し切られる。

(埋土) にぶい黄褐色土混じりの黒褐色土主体。

(軸方向) N-75° -E

(規模・形態・方向) 規模は上端部40cm～60cm前後、下端部20cm前後、深さ10cm～14cmで、全長は約6mである。断面形は緩いU字状を呈する。方向はほぼ北-南で、検出された部分は概ね直線的である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

第15号溝跡

遺構 (図147、写真図版116)

(位置) II A 4 h 区～II A 6 i 区に位置する。第11号溝跡と同一遺構か？

(埋土) にぶい黄褐色土をまばらに含む黒褐色土。

(軸方向) N-121° -E

(規模・形態・方向) 規模は上端部40cm～60cm、下端部20cm～30cm、深さ5～10cmで、残存する部分の全長は約8.8mである。北西部は宅地造成のため、南東部は用水路工事のため削平されている。断面形は緩いU字状を呈する。方向は北西-南東で、検出された部分は概ね直線的である。

遺物 出土しなかった。

時期 不明である。

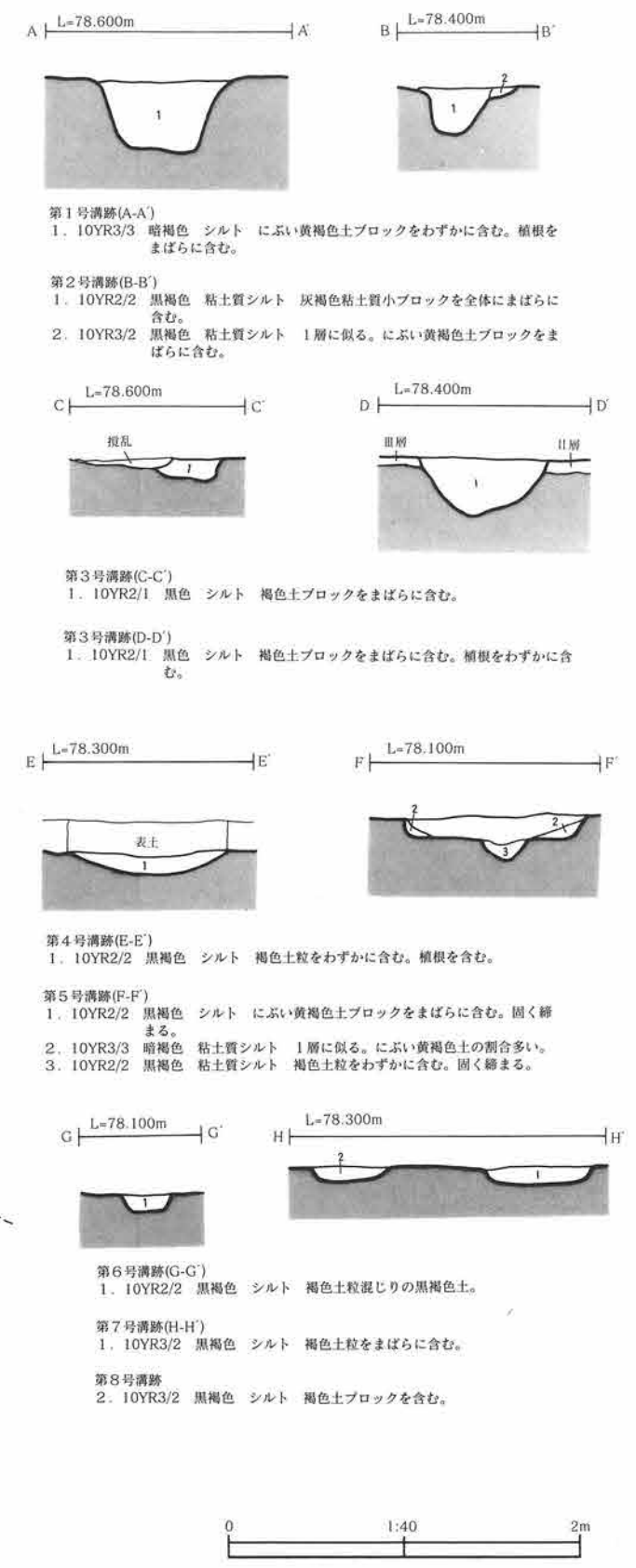
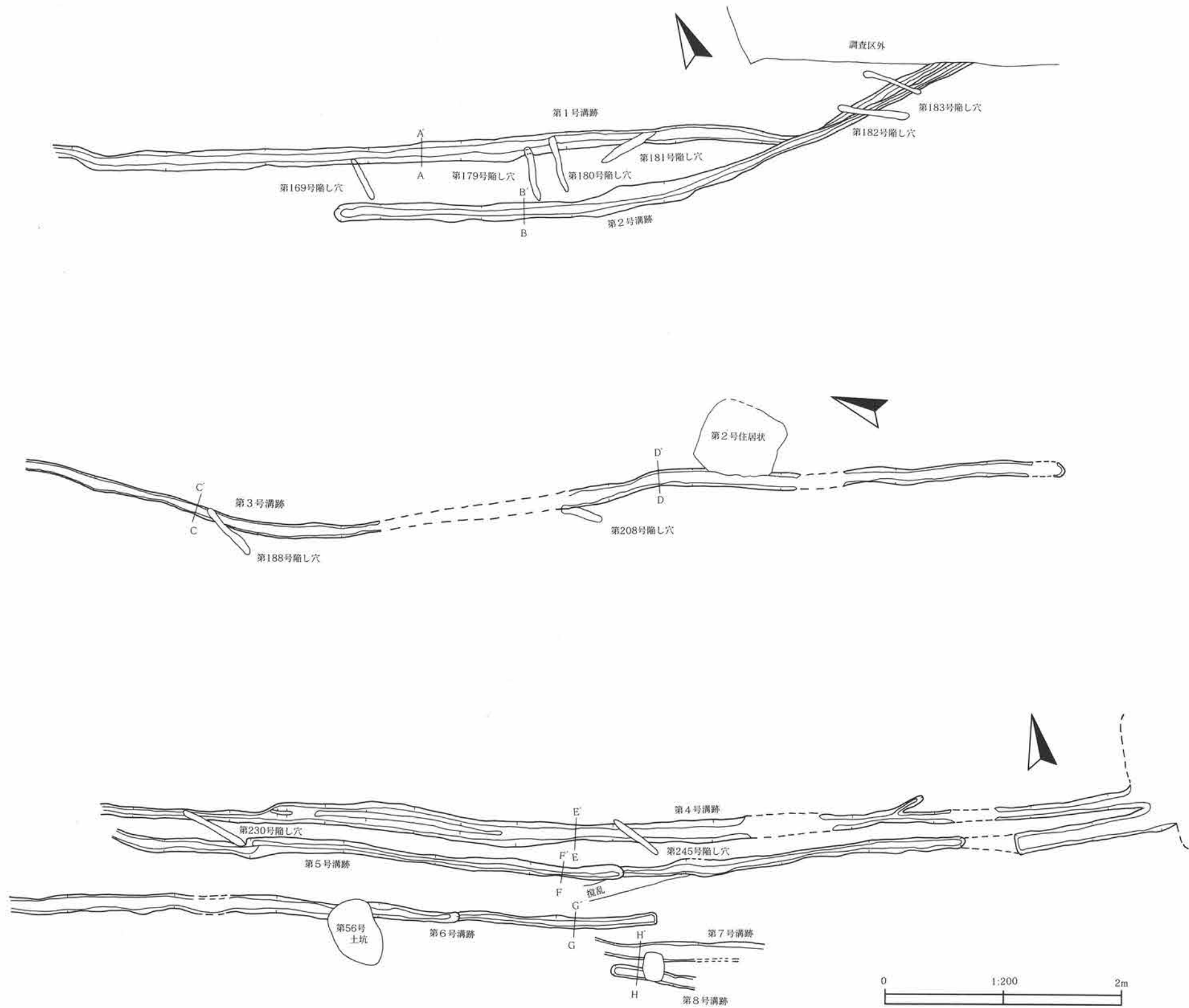


図146 溝跡(1)

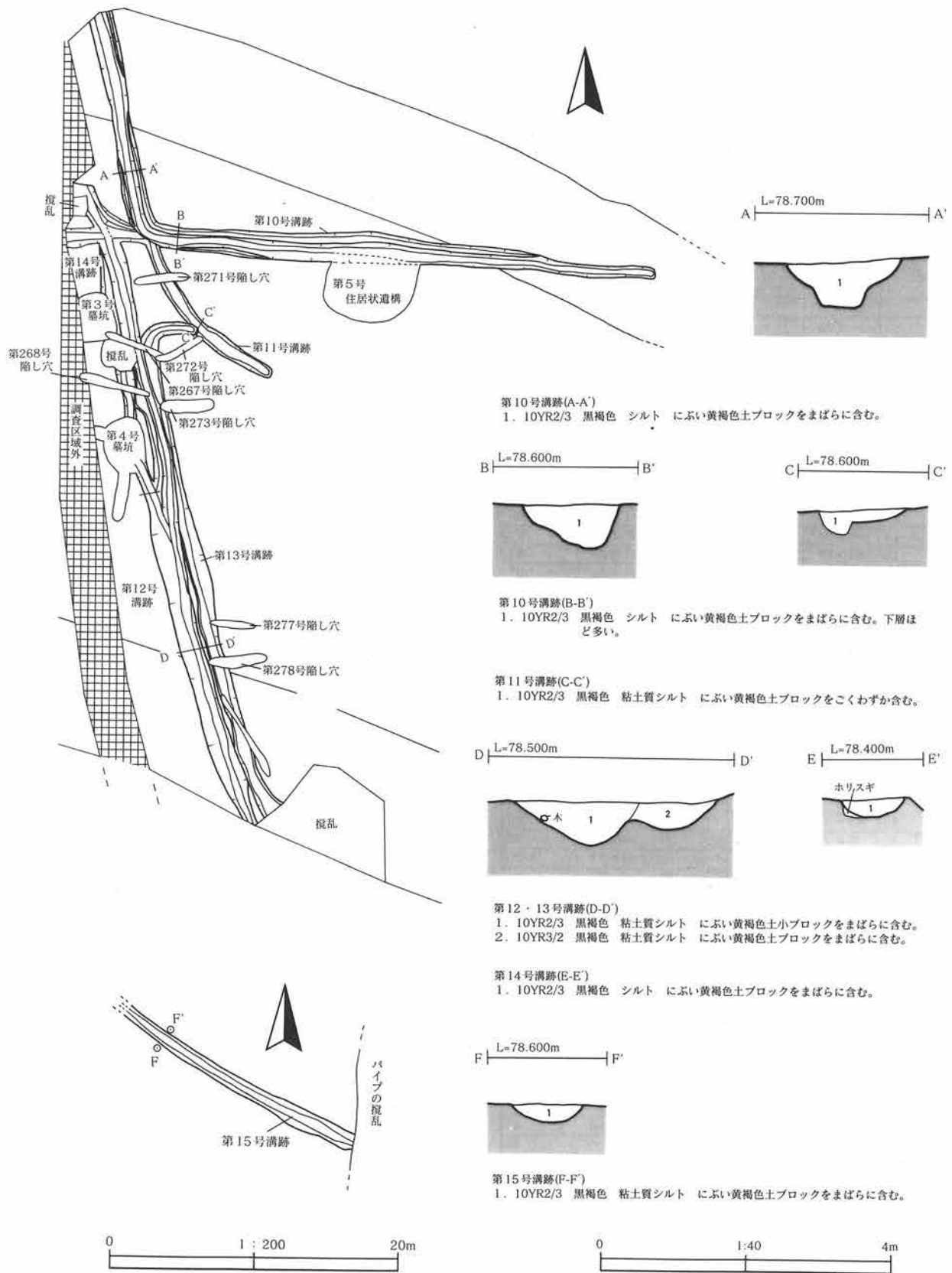


図147 溝跡(2)

9. 柱穴状小土坑

調査区全体で902基検出している。ⅡC区からⅡE区までの調査区中央から南端にかけて集中して分布している。規則的な配置をなすものはないと考え、位置と規模のみを示している。埋土は近・現代のものと思われる柱穴は暗褐色土主体。時期が不明なものは黒色土・黒褐色土が主体となっている。また、柱材が出土した柱穴状小土坑が数基あるが、分析鑑定の結果近・現代のものであることが判明している。

P No.	径 cm	深さ cm
1	30×25	26
2	23×19	16
3	29×25	26
4	19×18	17
5	26×24	32
6	29×28	27
7	28×25	22
8	22×21	30
9	21×16	33
10	26×24	14
11	28×27	14
12	28×26	24
13	25×22	15
14	30×21	10
15	30×27	23
16	35×35	39
17	20×18	17
18	20×18	11
19	29×22	21
20	21×17	25
21	20×17	21
22	16×14	12
23	29×28	18
24	31×29	39
25	30×22	12
26	27×26	30
27	31×22	24
28	29×28	24
29	43×39	12
30	46×41	22
31	48×36	31
32	31×22	11
33	29×29	23
34	21×20	16
35	24×23	18
36	21×18	30
37	15×14	11
38	25×24	33
39	31×27	32
40	24×21	17
41	33×32	15
42	27×25	18
43	20×17	40
44	29×26	32
45	56×45	27
46	16×12	10
47	22×21	10
48	22×21	15
49	38×36	15
50	23×22	28
51	29×24	18
52	37×36	25
53	22×19	24

P No.	径 cm	深さ cm
54	26×21	39
55	34×32	28
56	31×28	28
57	33×31	41
58	19×17	34
59	59×32	49
60	52×50	62
61	76×75	34
62	55×47	31
63	35×31	48
64	28×24	28
65	40×39	38
66	71×68	29
67	32×29	22
68	27×25	37
69	35×26	37
70	26×25	28
71	85前後	60
72	71×67	35
73	48×33	62
74	37×33	62
75	44×43	54
76	58×50	69
77	22×21	24
78	52×43	30
79	23×21	39
80	23×18	31
81	41×38	23
82	24×23	32
83	24×23	22
84	30×27	20
85	38×34	34
86	47×46	70
87	44×43	58
88	27×26	20
89	44×42	28
90	34×33	28
91	30×27	43
92	30×25	26
93	26×24	37
94	29×26	47
95	35×32	12
96	38×25	37
97	26×25	22
98	62×60	43
99	67×60	48
100	24×23	27
101	19×18	27
102	40×28	15
103	48×38	28
104	34×31	47
105	46×38	37
106	55前後	18

P No.	径 cm	深さ cm
107	87×85	39
108	80×63	41
109	26×25	15
110	46×42	40
111	35×35	54
112	35×34	25
113	36×29	20
114	43×38	40
115	63×62	54
116	19×17	56
117	39×37	55
118	47×42	39
119	32×28	27
120	42×41	44
121	51×44	21
122	67×60	55
123	63×44	66
124	30×25	34
125	40×38	36
126	36×35	26
127	37×32	42
128	35×34	27
129	33前後	32
130	37前後	19
131	47前後	20
132	60×57	62
133	35×33	31
134	35×33	15
135	63×50	50
136	25×24	20
137	35×33	38
138	22×19	21
139	50×49	33
140	33×32	26
141	38×28	37
142	34×31	44
143	36×32	29
144	47前後	62
145	22×20	24
146	32×29	40
147	37×34	25
148	39×30	18
149	37×31	22
150	35×29	19
151	28×22	45
152	56×46	55
153	31×30	16
154	24×24	11
155	35×32	61
156	28×27	51
157	39×36	44
158	37×34	27
159	51×48	50

P No.	径 cm	深さ cm
160	55×50	18
161	54×48	45
162	41前後	27
163	32×30	12
164	34×33	27
165	35×32	27
166	49×39	29
167	34×31	58
168	31×30	43
169	38×35	41
170	30×25	35
171	25×23	48
172	30×28	57
173	27×26	52
174	65×55	54
175	35前後	20
176	55×50	15
177	47×42	28
178	52×42	29
179	75×58	48
180	50×45	39
181	70×55	70
182	27×25	28
183	50×44	54
184	30×25	19
185	70×60	38
186	38×36	48
187	20×19	53
188	22×19	38
189	57×44	29
190	31×30	43
191	25×30	40
192	50×44	44
193	48×47	22
194	73×54	45
195	45×42	43
196	32×30	32
197	58×48	45
198	65×45	63
199	75×70	65
200	56×55	48
201	30×24	44
202	30×29	25
203	95×70	44
204	25×24	49
205	30×27	30
206	27×24	46
207	40×37	42
208	30×27	25
209	30×28	15
210	26×25	29
211	33×32	48
212	56×43	46

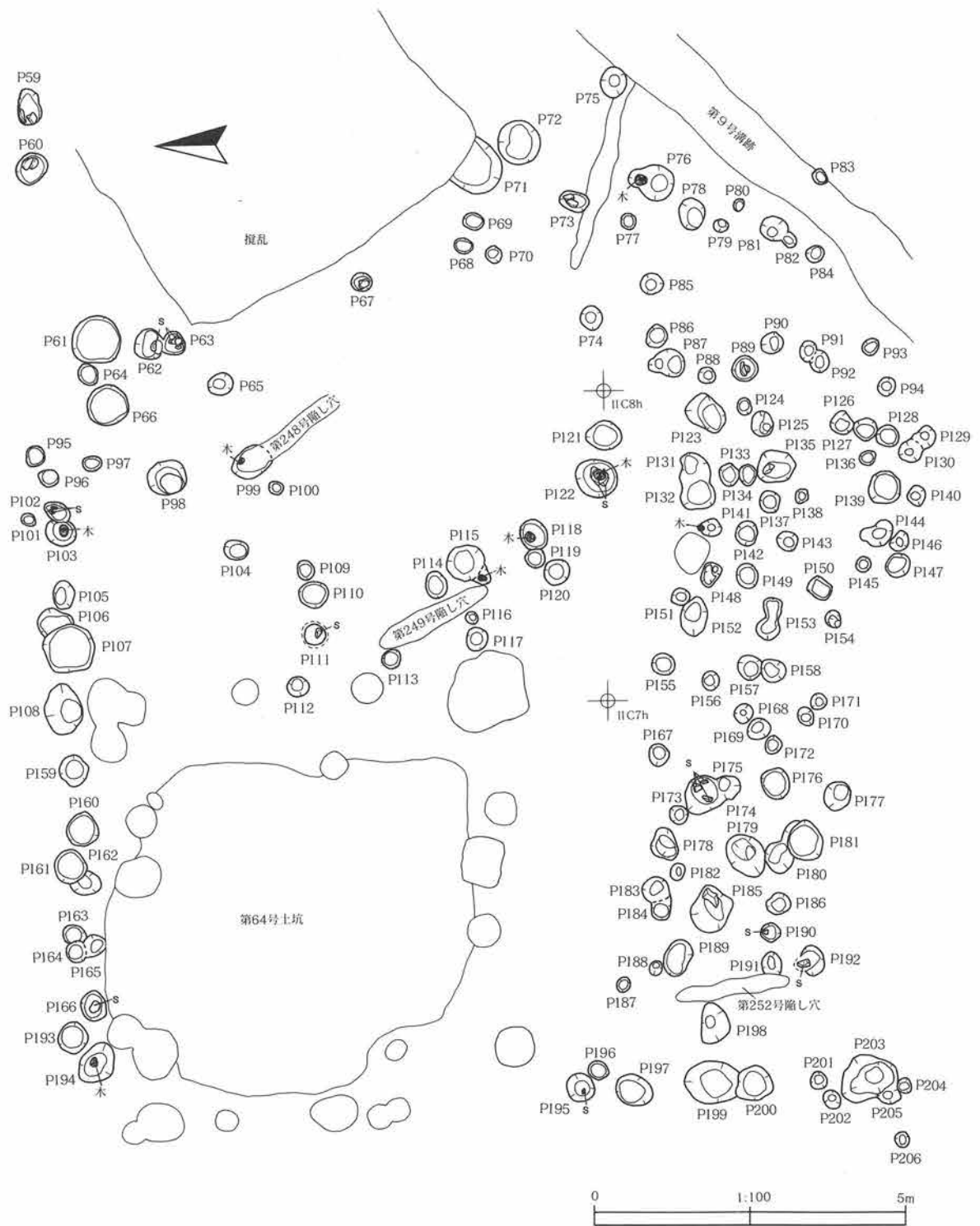


图 149 柱穴群(2)

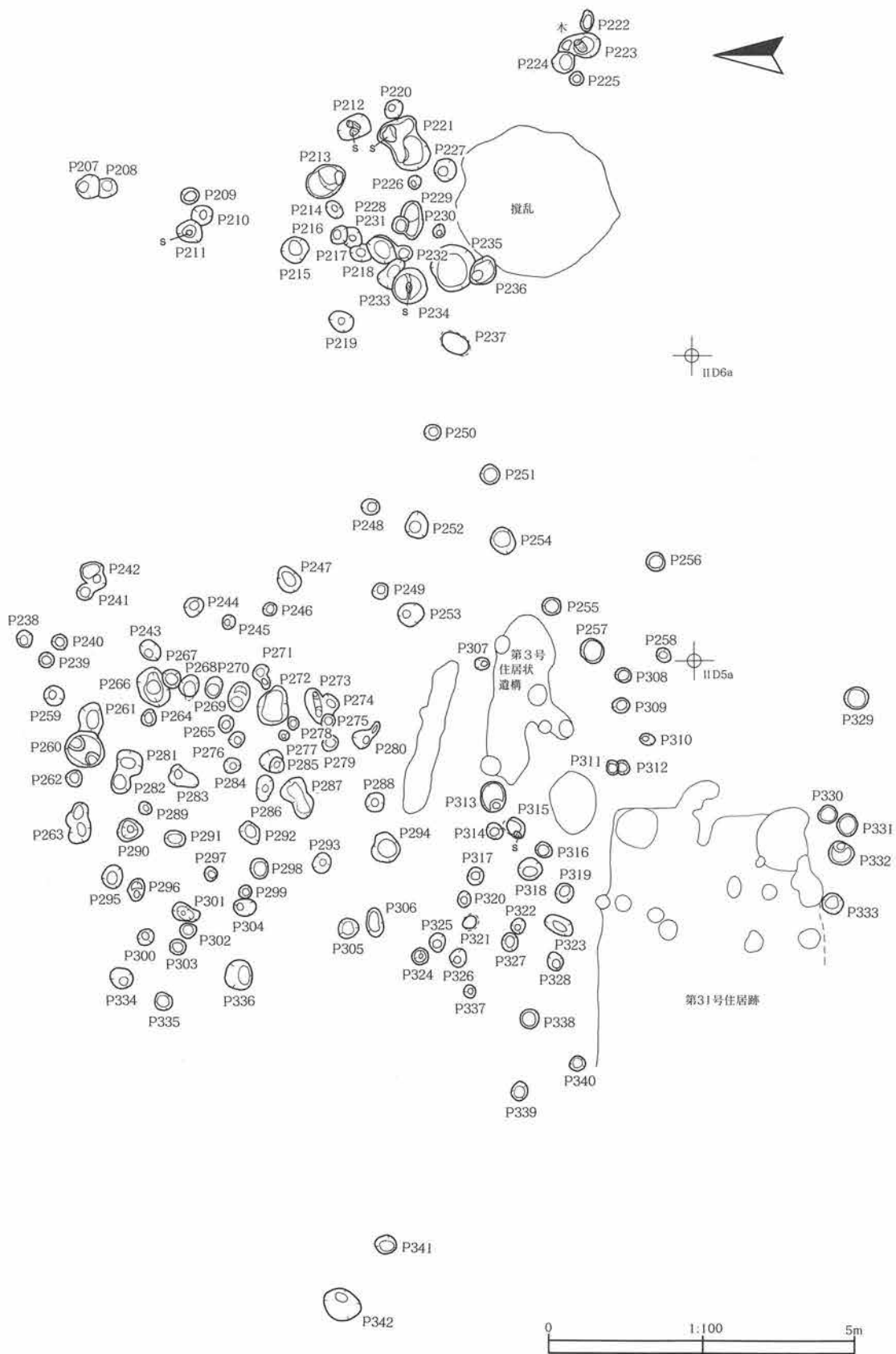


图 150 柱穴群(3)

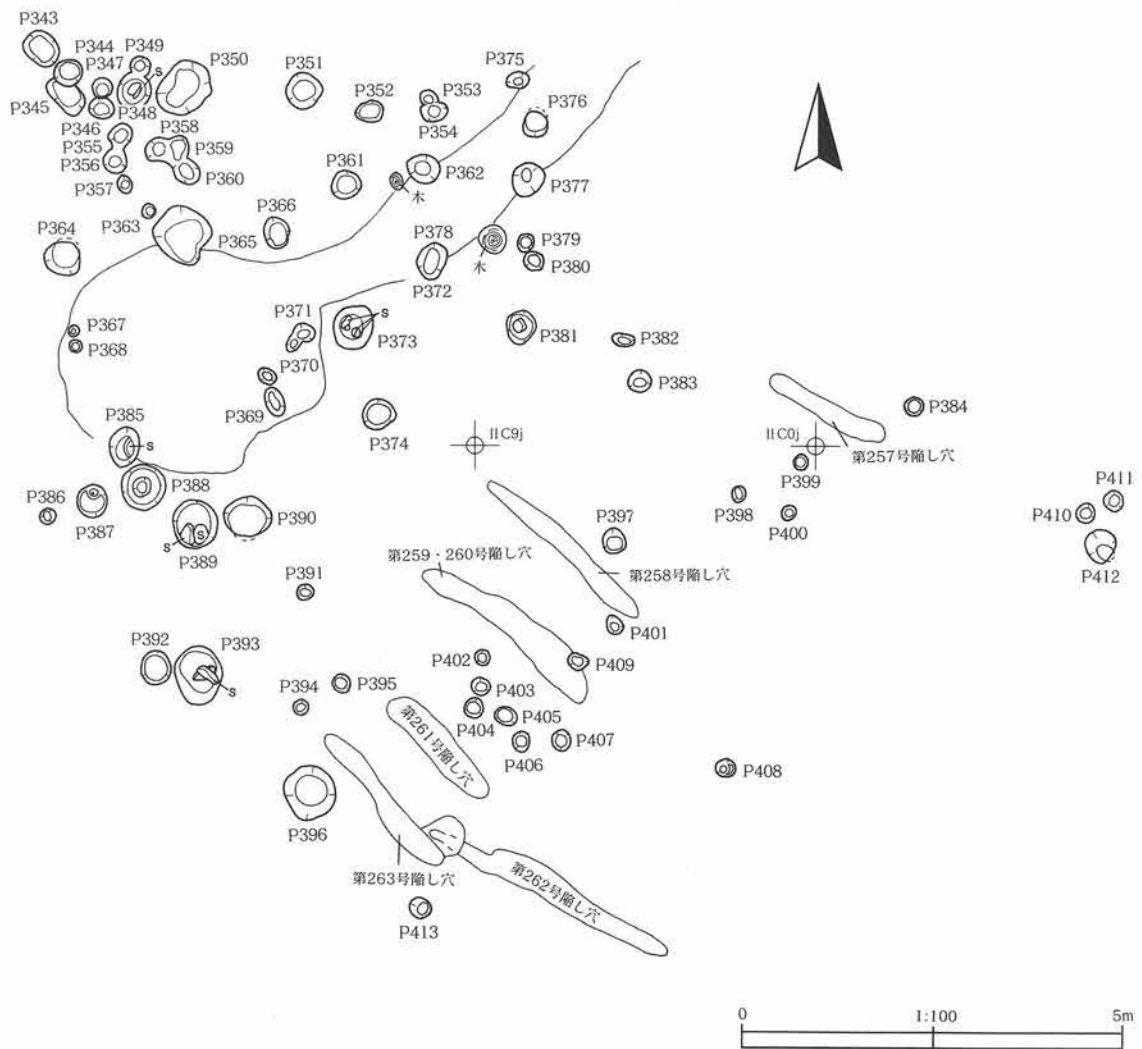


図 151 柱穴群(4)

P No.	径 cm	深さ cm
213	47 × 42	34
214	32 × 25	38
215	42 × 41	31
216	32 × 27	47
217	33 前後	40
218	28 前後	43
219	33 × 32	39
220	32 × 27	39
221	85 × 68	40
222	25 × 18	28
223	55 × 45	46
224	37 × 32	30
225	25 × 24	31
226	25 × 22	24
227	36 × 35	50
228	30 × 28	30
229	60 × 38	31
230	21 × 20	16

P No.	径 cm	深さ cm
231	56 × 49	49
232	22 × 21	16
233	55 前後	44
234	60 × 54	29
235	76 × 74	54
236	45 × 42	36
237	50 × 31	56
238	26 × 25	40
239	27 × 24	45
240	25 × 23	26
241	26 × 25	29
242	40 × 35	14
243	39 × 34	41
244	32 × 29	60
245	25 × 22	27
246	23 × 19	36
247	45 × 36	36
248	31 × 26	31

P No.	径 cm	深さ cm
249	26 × 24	19
250	24 × 22	46
251	33 × 28	44
252	45 × 37	56
253	43 × 42	39
254	43 × 39	25
255	31 × 30	30
256	34 × 30	16
257	42 × 38	33
258	25 × 23	28
259	32 × 30	22
260	66 × 48	27
261	50 × 43	23
262	26 × 22	27
263	69 × 35	54
264	29 × 25	21
265	65 × 47	73
266	28 × 25	47

P No.	径 cm	深さ cm
267	37 × 32	59
268	35 × 22	43
269	46 × 33	21
270	35 × 30	24
271	57 × 55	25
272	50 × 32	21
273	36 前後	20
274	22 前後	12
275	26 × 22	11
276	25 × 23	25
277	18 × 17	18
278	18 × 16	13
279	24 × 23	34
280	33 × 28	15
281	50 × 43	37
282	37 × 32	25
283	38 × 35	52
284	31 × 25	11

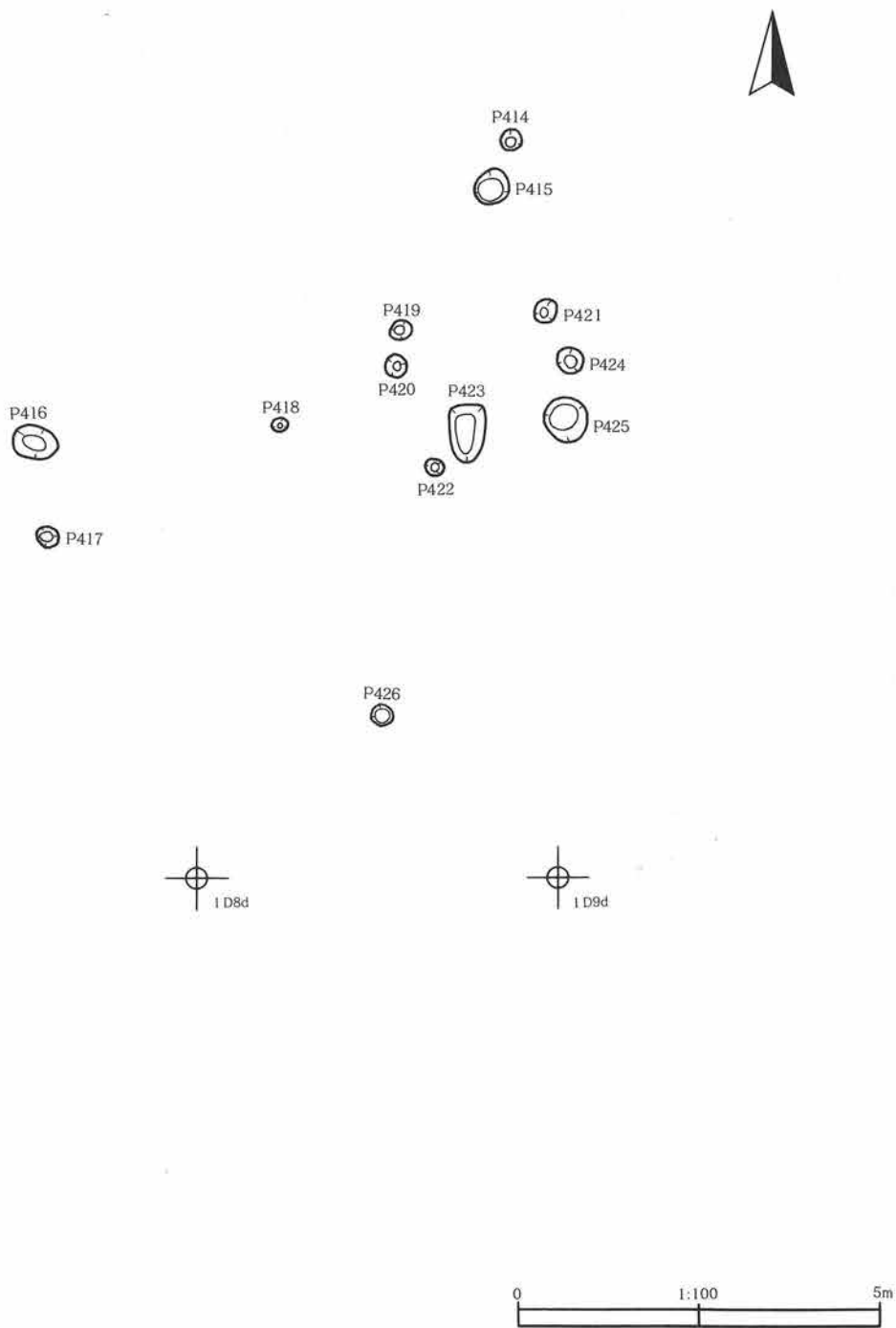


图 152 柱穴群(5)

P No.	径 cm	深さ cm
285	43 × 37	35
286	45 × 27	51
287	69 × 41	25
288	69 × 41	22
289	32 × 30	20
290	22 × 17	57
291	41 × 39	48
292	33 × 27	39
293	39 × 30	38
294	31 × 30	53
295	47 × 45	27
296	43 × 33	11
297	35 × 25	
298	13 × 12	13
299	28 × 27	22
300	17 × 16	65
301	40 × 35	16
302	40 × 28	41
303	27 × 21	23
304	25 × 23	19
305	40 × 29	14
306	35 × 34	30
307	42 × 32	46
308	25 × 21	28
309	23 × 22	33
310	28 × 24	27
311	22 × 17	19
312	21 × 18	33
313	21 × 18	39
314	52 × 40	25
315	27 × 25	37
316	30 × 28	23
317	29 × 28	33
318	26 × 25	35
319	42 × 38	36
320	30 × 29	30
321	32 × 25	31
322	23 × 22	23
323	25 × 23	41
324	45 × 28	52
325	28 × 26	41
326	30 × 27	41
327	28 × 26	36
328	29 × 27	37
329	38 × 36	15
330	32 × 30	35
331	35 × 32	31
332	42 × 38	32
333	36 × 35	45
334	35 × 30	41
335	28 × 26	42
336	48 × 45	56
337	19 × 18	14
338	29 × 27	19
339	30 × 26	22
340	25 × 24	11
341	35 × 30	37
342	62 × 55	38
343	47 × 41	45
344	39 × 37	23
345	54 × 36	19
346	32 × 32	38
347	31 × 28	11
348	50 × 42	38
349	28 × 27	33
350	74 × 61	45
351	47 × 46	49
352	35 × 26	15
353	20 × 18	16
354	32 × 23	21
355	32 × 30	31
356	27 × 18	17
357	18 × 16	12
358	35 × 32	32
359	33 × 26	33
360	34 × 32	53
361	42 × 39	16
362	33 × 30	38
363	18 × 16	18
364	48 × 45	58
365	75 × 70	38
366	37 × 33	37
367	15 × 13	20
368	18 × 16	16
369	37 × 23	12
370	23 × 20	16
271	26 × 25	12
372	49 × 35	44
373	65 × 45	40
374	42 × 41	48
375	36 × 35	54
376	36 × 34	35
377	47 × 35	58
378	36 × 35	43
379	24 × 23	25
380	26 × 24	29
381	46 × 45	61
382	40 × 20	38
383	32 × 31	58
384	22 × 21	25
385	53 × 46	55
386	24 × 23	24
387	45 × 32	32
388	61 × 55	43
389	65 × 61	48
390	62 × 57	44
391	19 × 18	
392	46 × 41	11
393	75 × 65	51
394	20 × 17	
395	23 × 22	
396	71 × 70	63
397	30 × 28	52
398	22 × 21	21
399	22 × 21	22
400	18 × 16	12
401	22 × 21	34
402	19 × 17	25
403	25 × 22	24
404	25 × 24	43
405	27 × 24	46
406	25 × 22	22
407	25 × 23	26
408	26 × 23	24
409	25 × 23	22
410	36 × 34	26
411	30 × 27	30
412	38 × 37	36
413	30 × 26	29
414	29 × 25	20
415	47 × 38	23
416	60 × 48	7
417	35 × 27	13
418	17 × 16	20
419	22 × 21	27
420	28 × 25	43
421	26 × 25	22
422	21 × 21	19
423	73 × 49	9
424	29 × 29	21
425	67 × 57	32
426	32 × 34	40
427	22 × 21	16
428	29 × 28	49
429	19 × 18	13
430	54 × 40	59
431	25 × 25	22
432	42 × 35	56
433	24 × 23	31
434	40 × 33	23
435	17 × 16	11
436	17 × 16	17
437	17 × 16	16
438	29 × 28	42
439	23 × 23	18
440	27 × 21	11
441	19 × 18	11
442	31 × 27	60
443	25 × 23	36
444	54 × 49	29
445	47 × 34	11
446	30 × 29	45
447	20 × 18	18
448	30 × 30	32
449	47 × 40	40
450	42 × 33	58
451	45 × 45	39
452	24 × 24	29
453	30 × 27	17
454	39 × 32	28
455	21 × 20	45
456	21 × 20	20
457	26 × 21	49
458	23 × 21	22
459	14 × 13	18
460	17 × 5	12
461	27 × 26	33
462	29 × 27	36
463	26 × 26	34
464	21 × 20	28
465	31 × 25	16
466	38 × 19	13
467	37 × 32	20
468	33 × 23	34
469	38 × 35	11
470	21 × 17	14
471	22 × 20	17
472	36 × 33	15
473	23 × 19	23
474	44 × 38	20
475	25 × 21	12
476	67 × 52	45
477	28 × 23	28
478	33 × 32	38
479	20 × 18	18
480	62 × 55	26
481	60 × 58	41
482	29 × 27	44
483	44 × 42	31
484	23 × 21	17
485	20 × 20	18
486	30 × 29	29
487	19 × 16	32
488	24 × 20	18
489	44 × 38	20
490	17 × 16	17
491	33 × 33	7
492	24 × 21	34
493	39 × 32	7
494	24 × 21	19
495	56 × 44	44
496	22 × 22	14
497	34 × 29	12
498	48 × 42	44
499	16 × 16	10
500	26 × 26	12
501	21 × 20	18
502	38 × 32	48
503	25 × 24	33
504	51 × 49	11
505	50 × 48	11
506	18 × 14	9
507	48 × 47	45
508	45 × 39	19
509	56 × 53	33
510	16 × 14	28
511	36 × 28	26
512	24 × 23	24
513	19 × 18	12
514	25 × 22	13
515	25 × 23	45
516	32 × 22	54
517	23 × 21	19
518	30 × 28	60
519	18 × 16	14
520	23 × 21	20
521	20 × 20	15
522	20 × 18	15
523	23 × 20	18
524	24 × 23	17
525	31 × 30	32
526	28 × 25	33
527	27 × 22	19
528	31 × 30	34
529	36 × 33	40
530	37 × 25	19
531	27 × 25	30
532	32 × 31	35
533	31 × 26	50
534	21 × 19	12
535	38 × 33	29
536	65 × 50	37
537	20 × 17	49
538	30 × 27	31
539	23 × 22	44
540	20 × 12	22
541	33 × 30	49
542	45 × 30	47
543	29 × 28	21
544	29 × 27	51
545	20 × 19	41
546	19 × 18	20
547	25 × 23	28
548	25 × 24	55
549	27 × 23	50
550	25 × 23	30
551	30 × 27	30
552	28 × 27	34

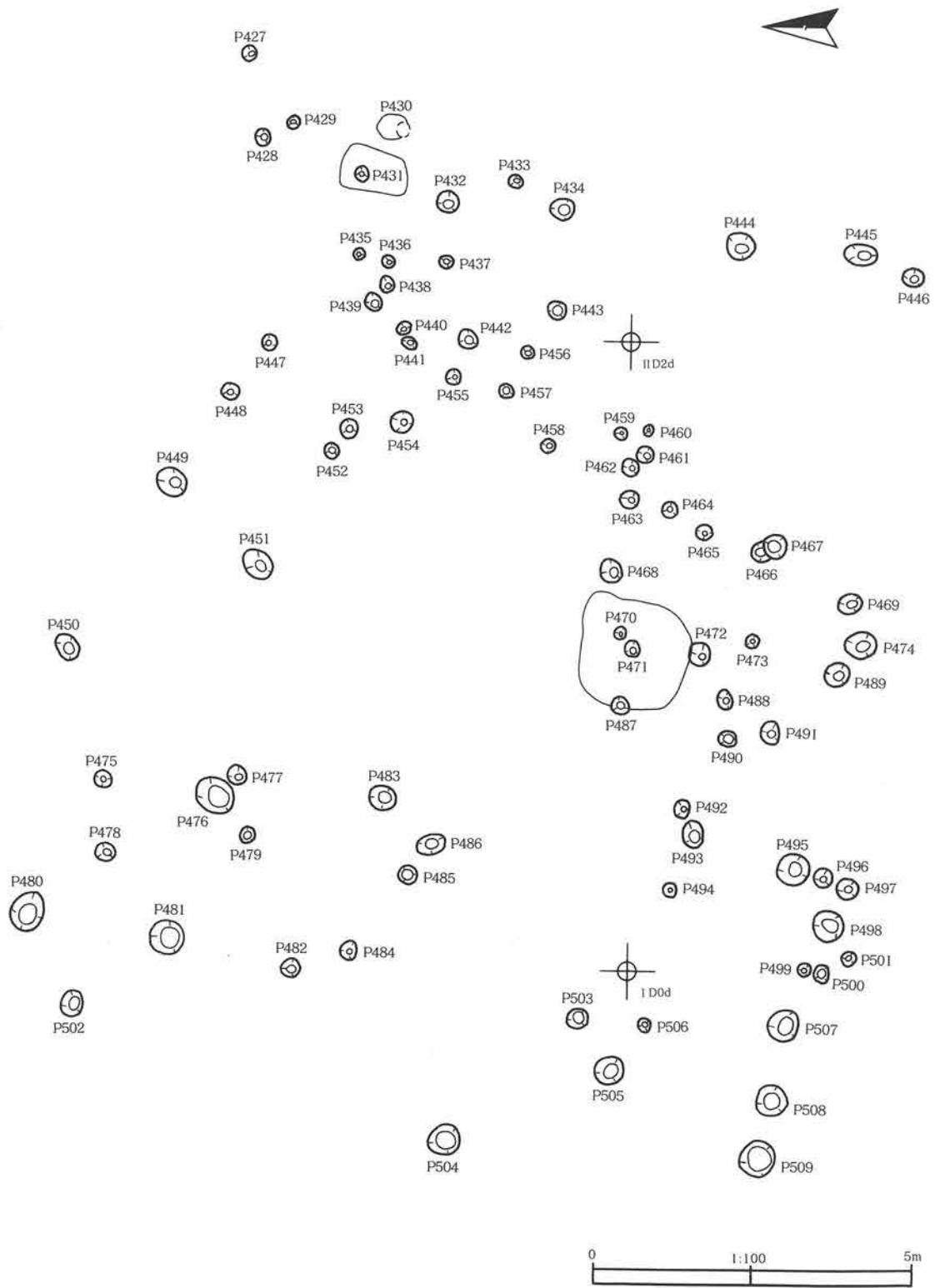


图 153 柱穴群(6)

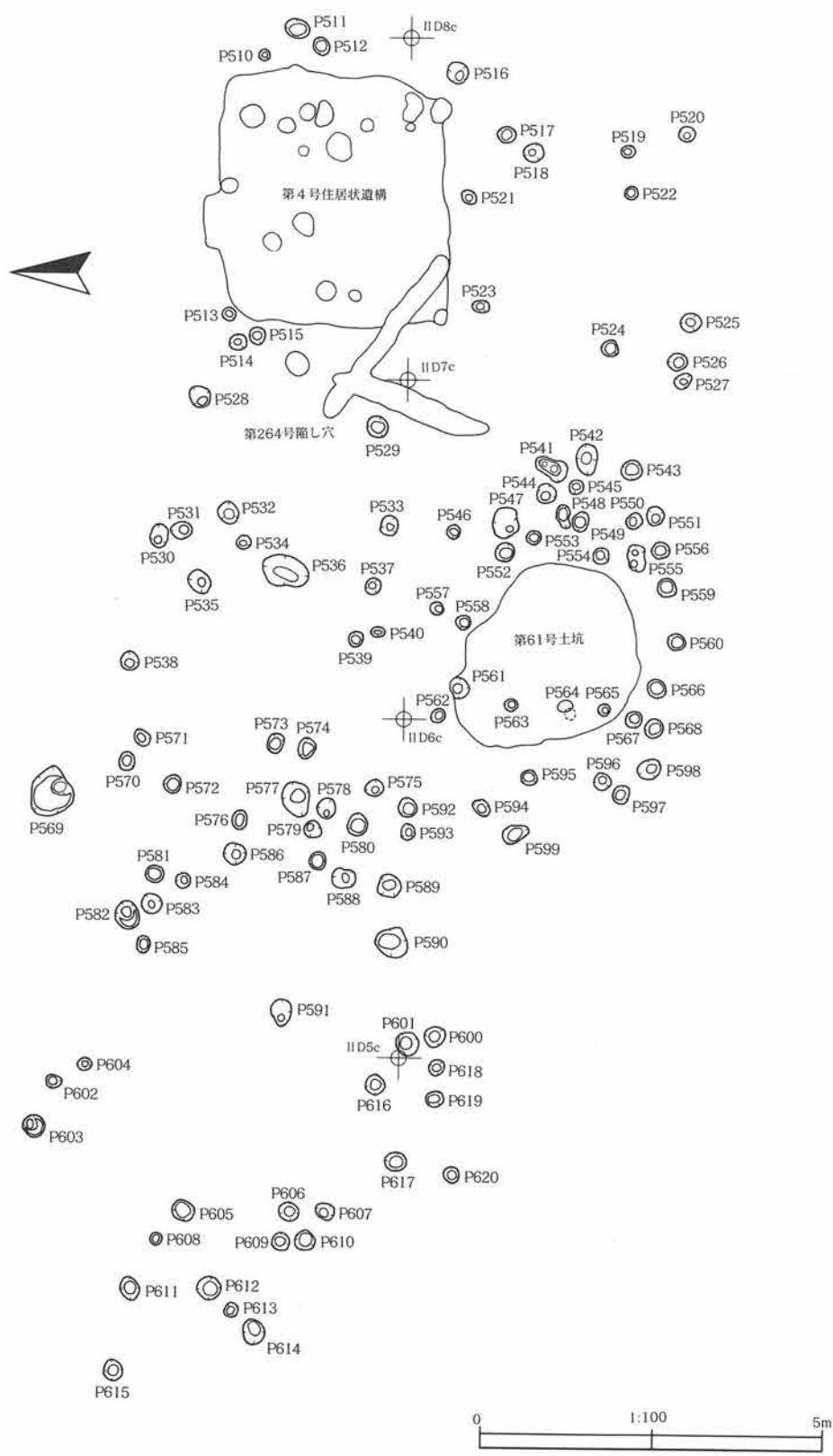


图 154 柱穴群(7)

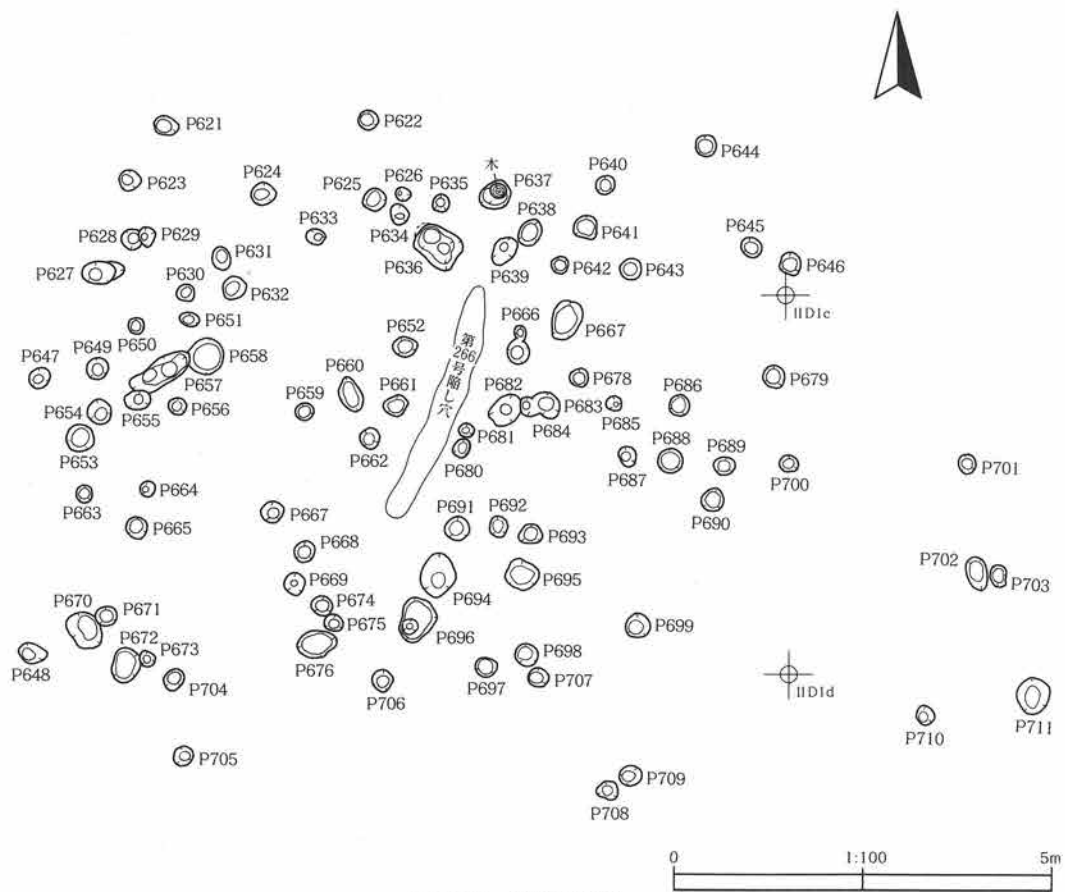


図 155 柱穴群(8)

P No.	径 cm	深さ cm
553	22 × 18	54
554	27 × 26	36
555	37 × 28	37
556	24 × 20	35
557	21 × 20	24
558	23 × 22	41
559	27 × 26	43
560	26 × 24	41
561	29 × 28	72
562	17 × 13	43
563	18 × 17	26
564	24 × 17	48
565	18 × 17	46
566	27 × 26	34
567	23 × 22	35
568	27 × 24	36
569	65 × 60	19
570	25 × 24	35
571	24 × 23	27
572	28 × 25	41
573	38 × 24	14
574	27 × 26	22
575	26 × 25	28

P No.	径 cm	深さ cm
576	24 × 23	38
577	50 × 45	57
578	31 × 30	11
579	26 × 25	19
580	30 × 28	11
581	23 × 21	13
582	32 × 29	30
583	30 × 28	25
584	18 × 16	12
585	22 × 20	19
586	38 × 36	26
587	24 × 23	20
588	33 × 30	48
589	38 × 33	33
590	48 × 43	36
591	33 × 30	24
592	35 × 28	24
593	20 × 19	17
594	26 × 22	29
595	25 × 22	37
596	25 × 24	40
597	25 × 24	14
598	31 × 30	48

P No.	径 cm	深さ cm
599	40 × 28	31
600	30 × 28	37
601	33 × 30	47
602	24 × 23	14
603	31 × 31	22
604	18 × 17	12
605	32 × 30	15
606	32 × 28	32
607	28 × 26	26
608	18 × 16	25
609	27 × 26	55
610	30 × 28	12
611	28 × 26	19
612	35 × 33	28
613	19 × 18	27
614	38 × 29	32
615	29 × 27	15
616	27 × 26	30
617	32 × 30	27
618	23 × 21	15
619	25 × 21	12
620	22 × 22	30
621	32 × 27	10

P No.	径 cm	深さ cm
622	24 × 23	19
623	32 × 29	28
624	31 × 30	41
625	31 × 29	16
626	18 × 16	20
627	55 × 32	68
628	28 × 25	36
629	25 × 21	32
630	22 × 21	13
631	30 × 23	19
632	32 × 28	39
633	21 × 20	20
634	28 × 25	30
635	24 × 23	24
636	60 × 48	66
637	40 × 35	43
638	34 × 26	29
639	40 × 27	46
640	23 × 20	27
641	26 × 25	24
642	23 × 21	27
643	26 × 24	15
644	30 × 28	28

P No.	径 cm	深さ cm
645	26×24	24
646	28×27	22
647	30×23	20
648	35×28	32
649	31×30	22
650	18×17	17
651	21×18	24
652	29×22	18
653	42×37	20
654	33×32	22
655	48×45	71
656	22×22	16
657	34×30	44
658	48×44	20
659	22×21	23
660	44×26	23
661	28×25	25
662	27×26	27
663	21×18	22
664	22×22	20
665	30×28	65
666	27×26	25
667	26×25	32
668	30×26	34
669	53×40	79
670	24×23	21
671	47×46	30
672	23×19	16
673	24×23	35
674	22×21	34
675	53×36	40
676	31×30	32
677	51×37	45
678	22×21	13
679	28×27	25
680	24×20	38
681	21×18	34
682	44×33	54
683	41×30	50
684	25×18	32
685	20×20	19
686	26×25	21
687	26×23	20
688	31×30	33
689	33×25	47
690	27×25	14
691	33×32	19
692	28×22	23
693	27×24	17
694	58×45	73
695	44×40	37
696	58×44	39
697	26×24	50
698	29×28	15
699	30×30	30
700	24×21	27
701	25×24	17
702	43×35	23
703	28×18	20
704	28×27	26
705	28×24	26
706	29×28	40
707	26×26	37
708	27×26	38
709	27×25	38

P No.	径 cm	深さ cm
710	25×19	45
711	48×45	43
712	32×29	
713	95×88	
714	25×23	21
715	21×21	11
716	45×43	33
717	21×20	19
718	24×22	18
719	41×40	30
720	45×39	
721	30×23	16
722	42×31	13
723	51×46	
724	31×29	28
725	33×29	17
726	59×50	22
727	50×46	12
728	39×39	19
729	35×28	9
730	40×31	
731	28×25	36
732	40×32	35
733	40×37	14
734	37×32	22
735	19×17	29
736	17×15	22
737	25×20	19
738	32×27	7
739	26×24	14
740	25×23	16
741	22×21	41
742	32×26	47
743	31×29	44
744	59×44	34
745	32×20	32
746	20×18	47
747	40×31	34
748	51×48	40
749	59×42	21
750	53×36	49
751	19×17	28
752	47×45	34
753	43×39	14
754	41×40	14
755	22×21	13
756	27×21	8
757	20×20	19
758	66×51	42
759	52×44	35
760	40×36	22
761	31×28	19
762	67×65	33
763	49×44	41
764	63×58	39
765	70×60	67
766	30×23	26
767	37×36	22
768	45×45	33
769	23×22	12
770	23×20	16
771	28×26	14
772	28×24	15
773	30×27	25
774	39×34	27

P No.	径 cm	深さ cm
775	24×17	20
776	25×21	16
777	22×20	6
778	25×21	9
779	22×20	33
780	33×33	38
781	29×25	15
782	53×50	29
783	40×36	20
784	50×44	43
785	22×22	18
786	30×26	14
787	28×28	23
788	26×26	23
789	29×23	16
790	46×42	26
791	53×53	26
792	53×50	20
793	59×50	18
794	26×24	20
795	46×38	11
796	32×30	18
797	65×59	27
798	42×35	33
799	33×29	54
800	35×35	50
801	47×41	22
802	39×33	55
803	31×25	45
804	23×22	20
805	32×26	40
806	22×19	32
807	39×34	39
808	30×25	23
809	59×44	42
810	52×38	23
811	34×32	28
812	31×29	22
813	39×26	34
814	29×23	19
815	34×29	27
816	49×36	45
817	37×34	22
818	31×27	45
819	26×23	25
820	32×28	49
821	30×20	27
822	29×25	38
823	35×26	32
824	30×21	32
825	32×28	35
826	65×59	13
827	38×36	34
828	46×46	28
829	32×30	34
830	30×28	39
831	34×27	69
832	29×28	11
833	37×33	37
834	40×38	17
835	37×33	21
836	29×23	32
837	26×23	26
838	19×19	16
839	29×29	32

P No.	径 cm	深さ cm
840	24×21	36
841	39×34	20
842	40×38	42
843	50×50	22
844	23×17	33
845	29×25	33
846	30×30	28
847	31×22	16
848	28×28	36
849	37×31	39
850	45×19	28
851	40×30	33
852	40×36	23
853	58×50	54
854	40×38	48
855	53×43	59
856	51×51	29
857	40×34	42
858	32×30	38
859	21×16	24
860	34×26	52
861	34×31	35
862	30×24	25
863	37×33	32
864	46×35	46
865	61×49	70
866	56×48	40
867	30×27	28
868	33×24	25
869	51×39	50
870	56×41	35
871	61×40	65
872	51×22	28
873	30×28	42
874	28×26	24
875	29×16	33
876	27×25	31
877	28×26	42
878	51×42	30
879	55×53	40
880	48×43	45
881	53×43	46
882	42×40	32
883	32×28	49
884	39×39	25
885	48×35	28
886	28×26	33
887	31×28	26
888	31×28	34
889	32×29	37
890	33×30	24
891	87×80	13
892	43×35	28
893	42×33	37
894	26×23	28
895	30×22	21
896	35×29	25
897	28×28	18
898	28×27	40
899	56×53	40
900	62×42	11
901	22×22	32
902	29×27	21

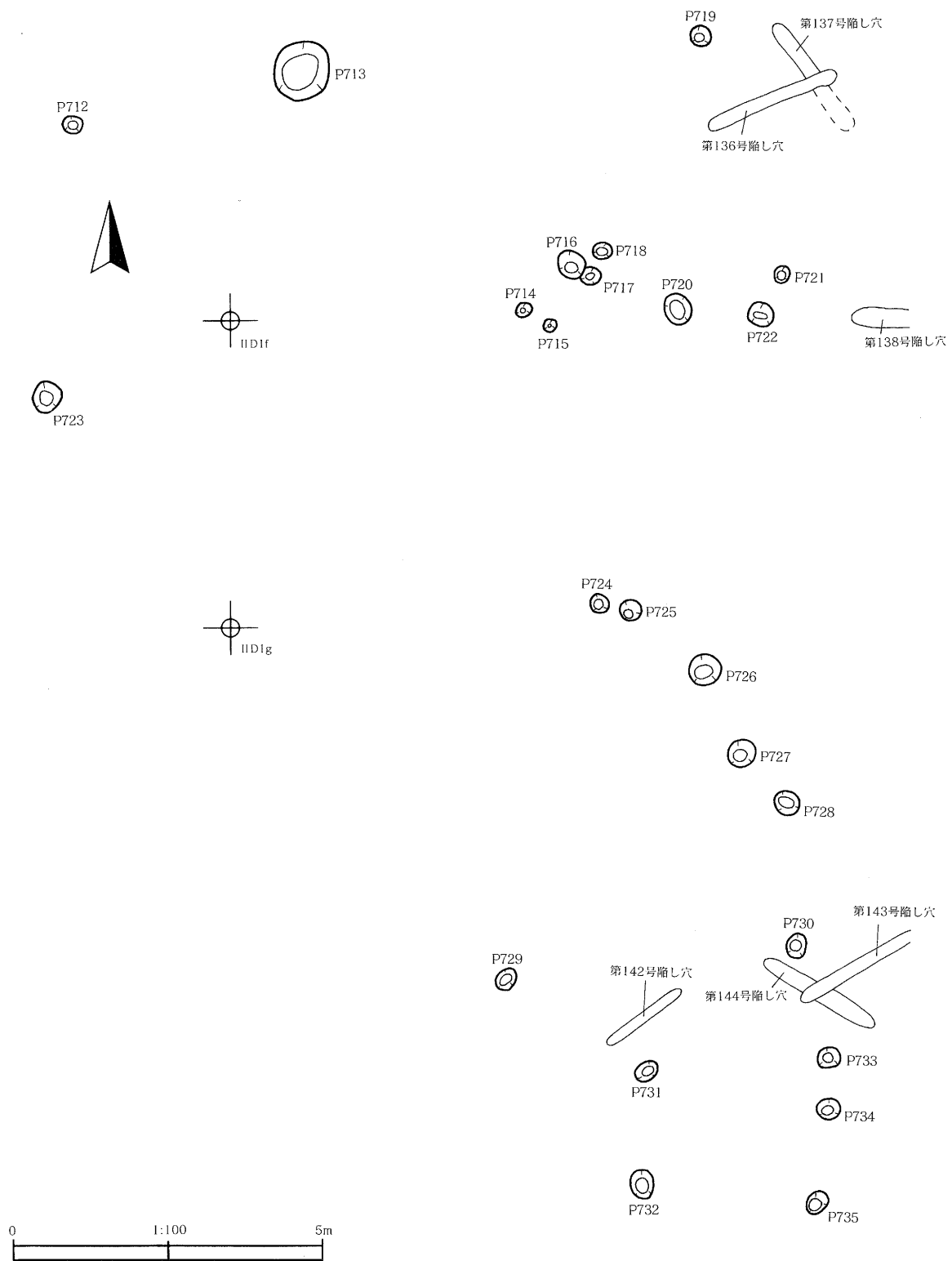


図 156 柱穴群(9)

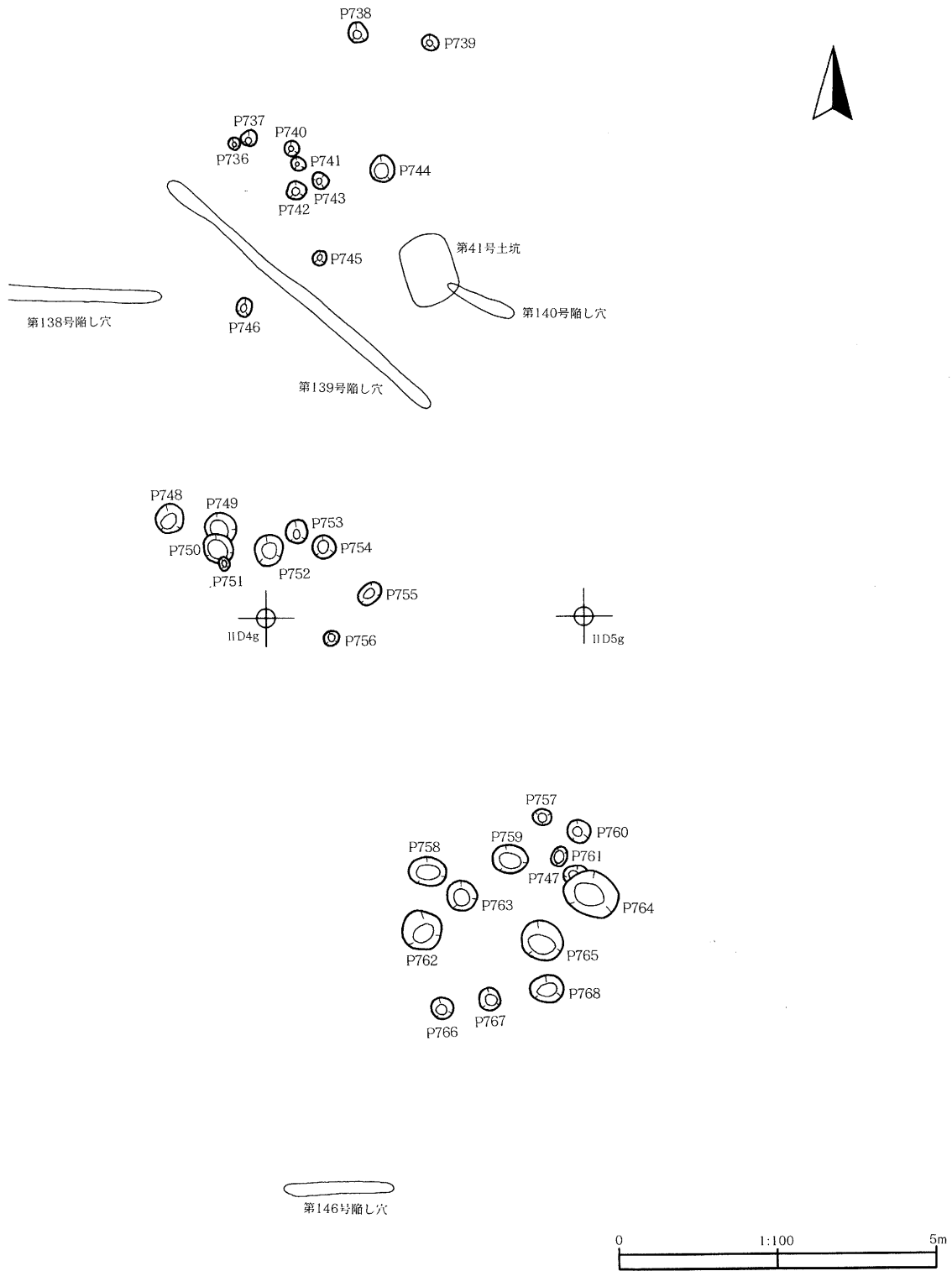


图 157 柱穴群(10)

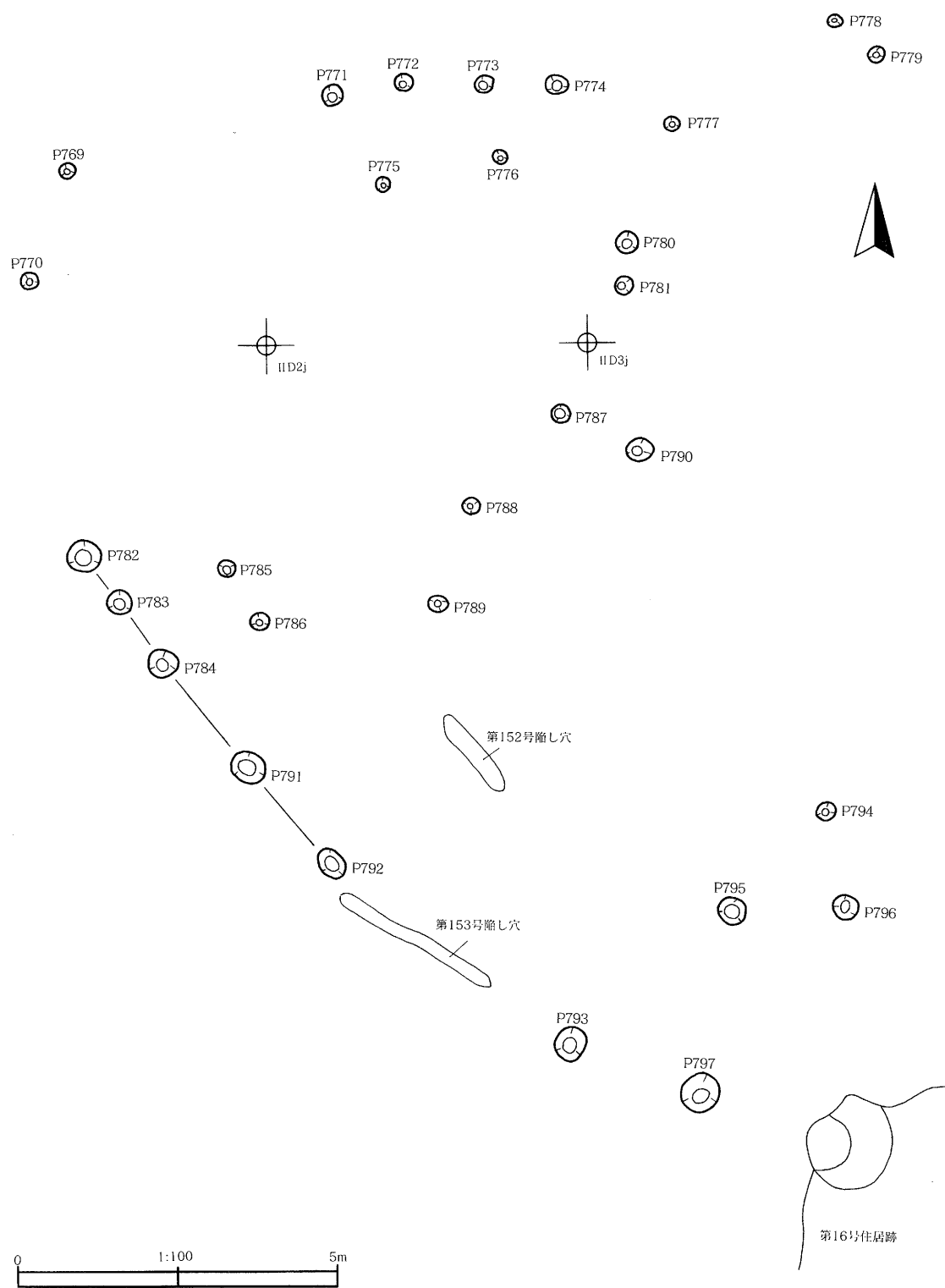


图 158 柱穴群(11)



图 159 柱穴群(12)

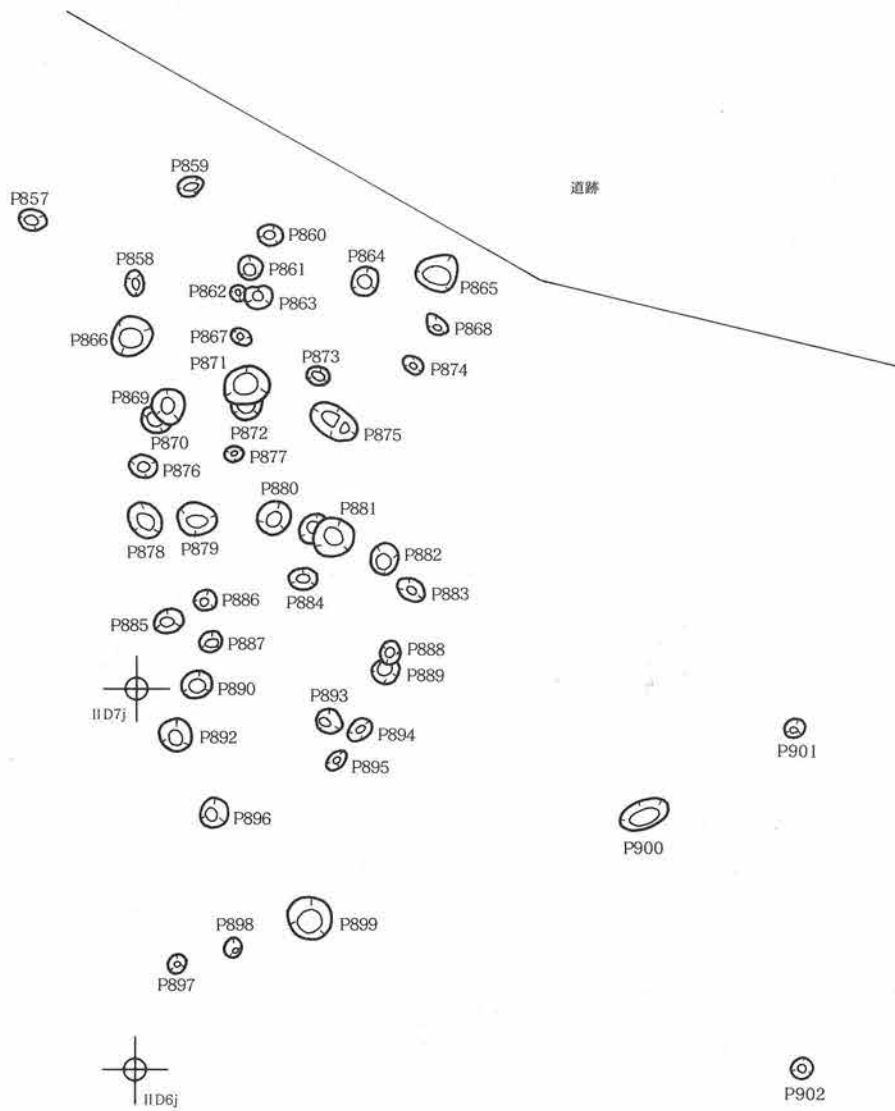


图 160 柱穴群(13)

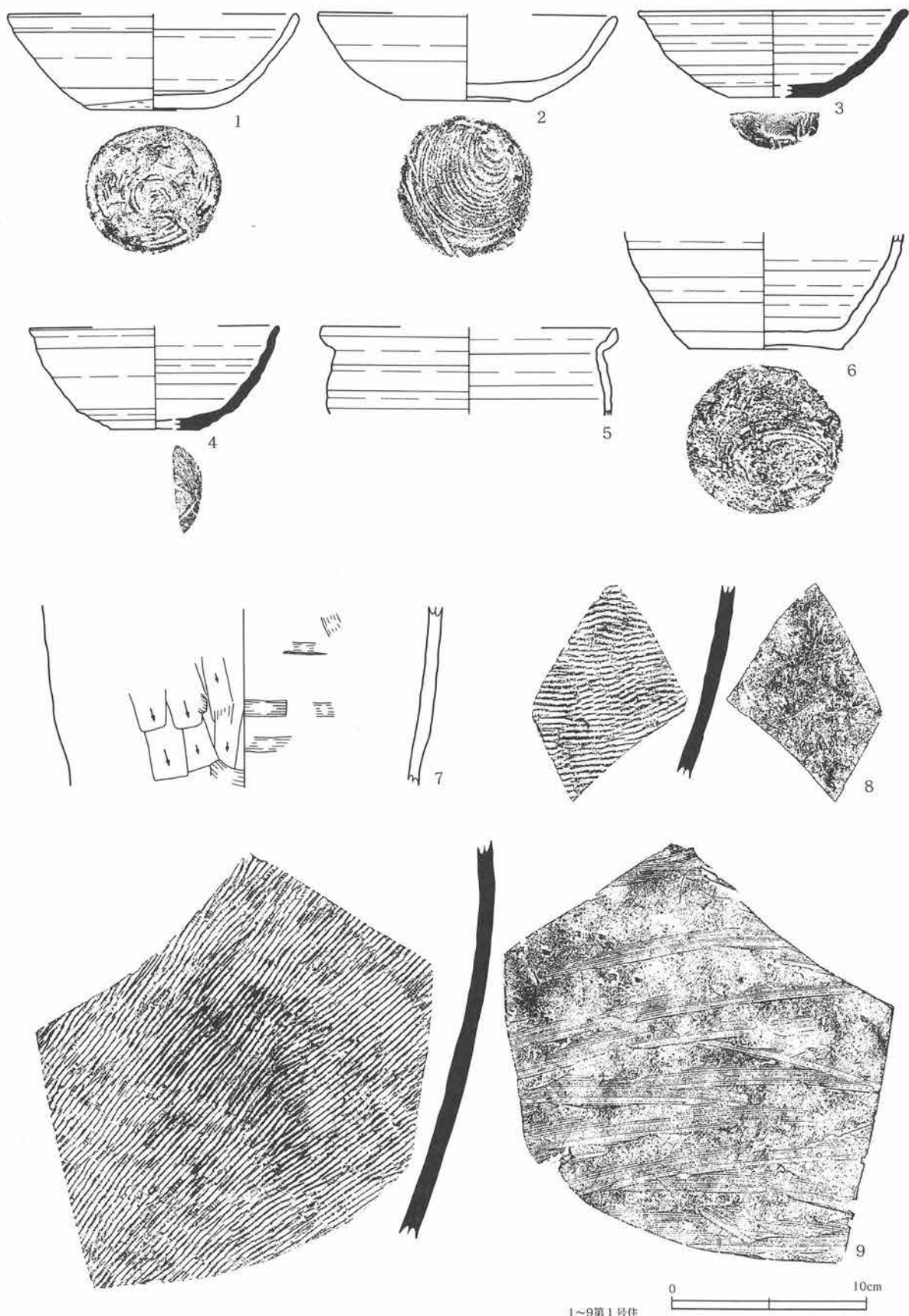
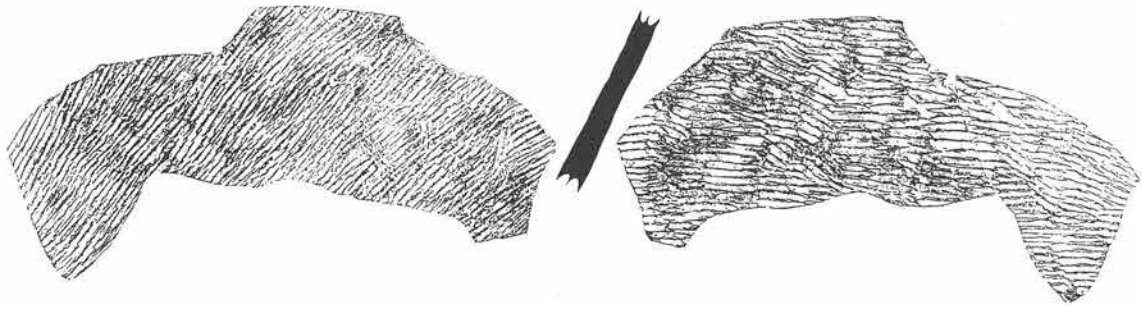
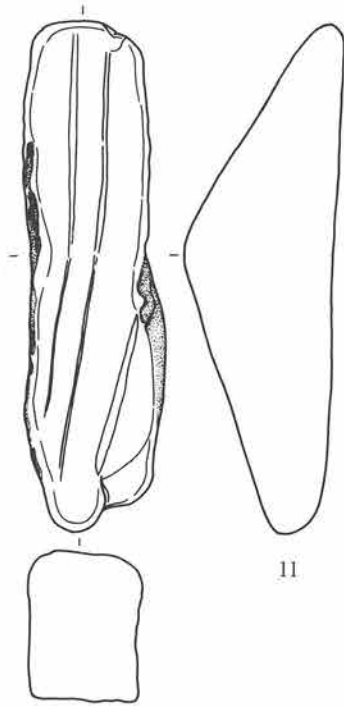


图161 遺構内出土遺物(1)

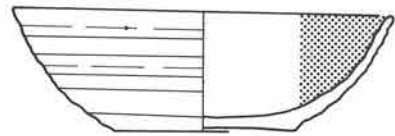


10
S-1/5

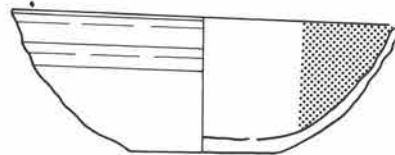
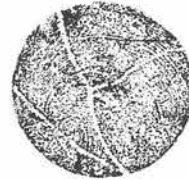


11

10~11第1号住



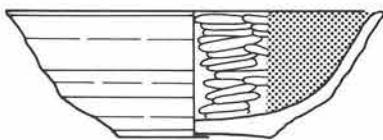
12



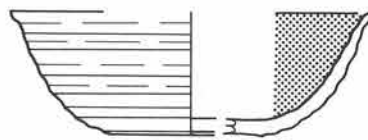
13



12~13第2号住



14



15



14~16第3号住



16



0 10cm

图162 遺構内出土遺物(2)

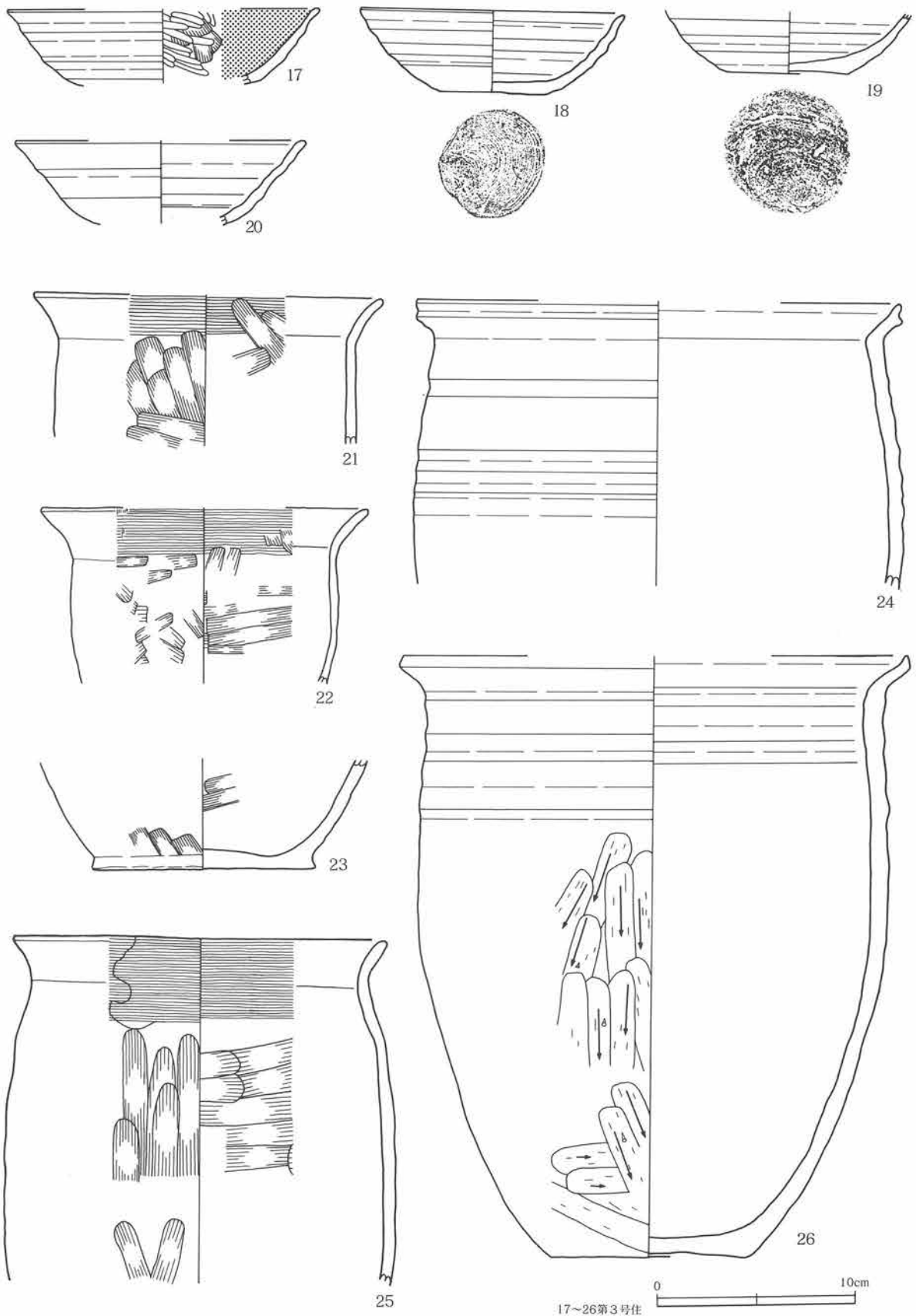
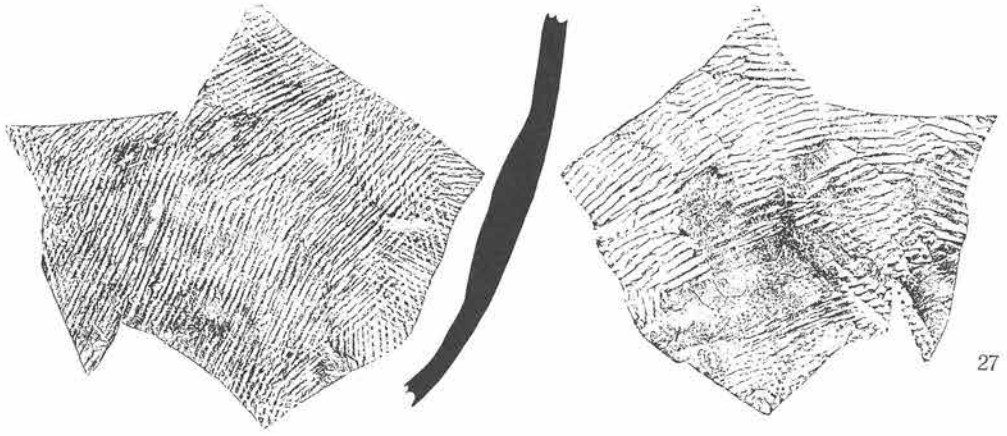
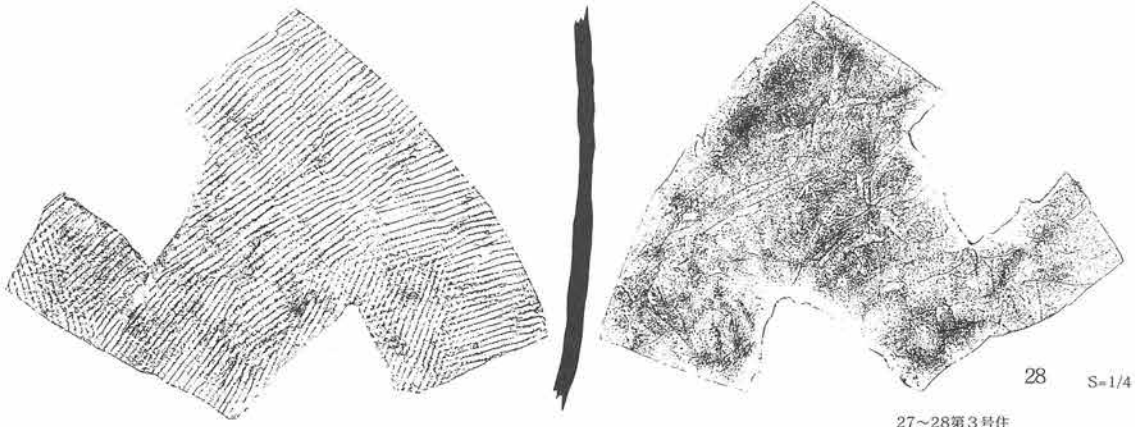


图163 遺構内出土遺物(3)



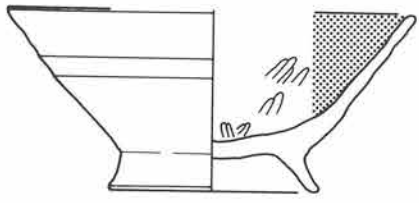
27



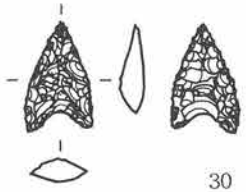
28

S=1/4

27~28第3号住



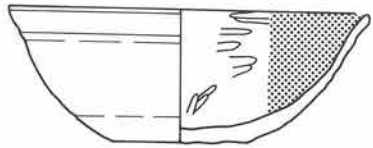
29



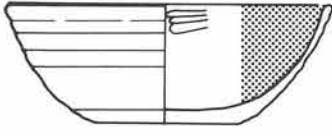
30

S=1/2

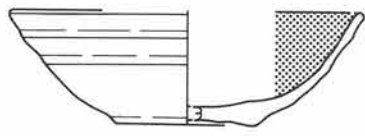
29~30第4号住



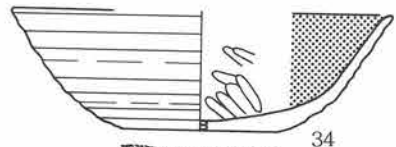
31



32



33



34



31~34第5号住



图164 遺構内出土遺物(4)

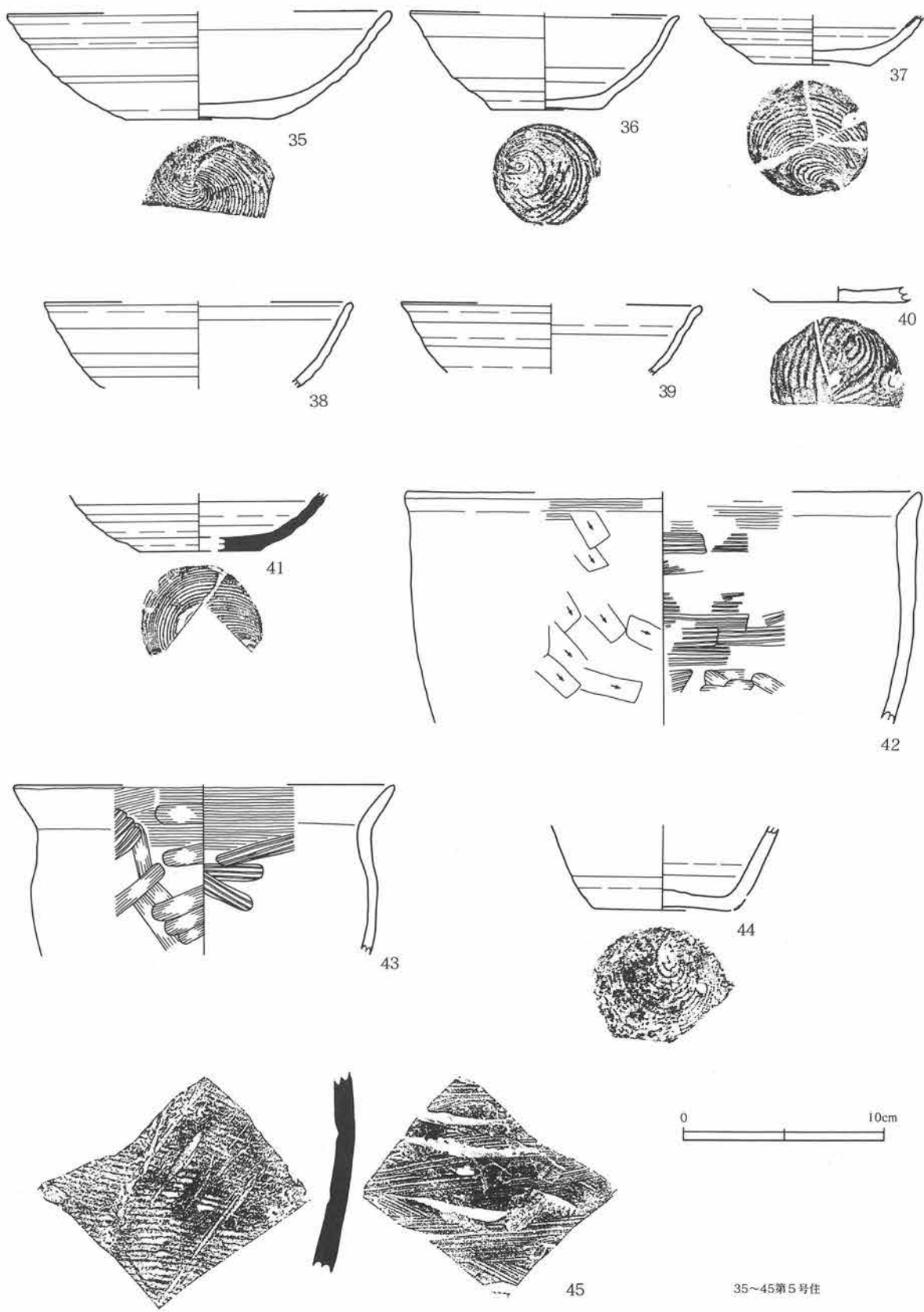


图165 遺構内出土遺物(5)

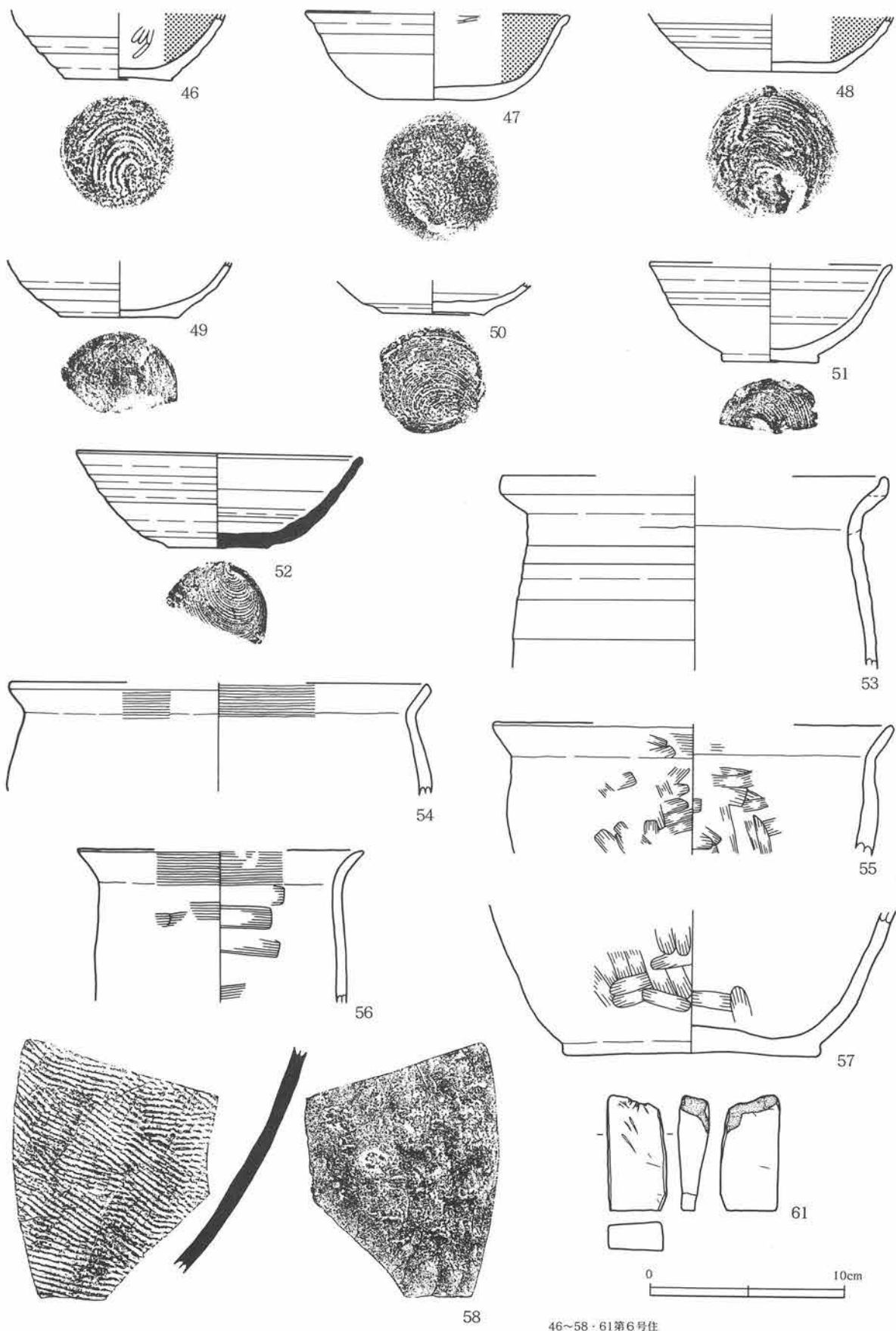
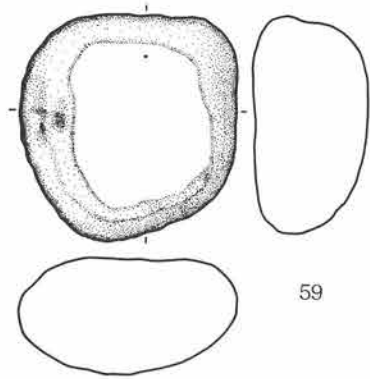
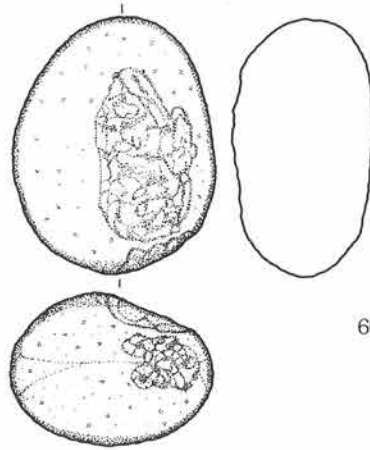


图166 遺構内出土遺物(6)

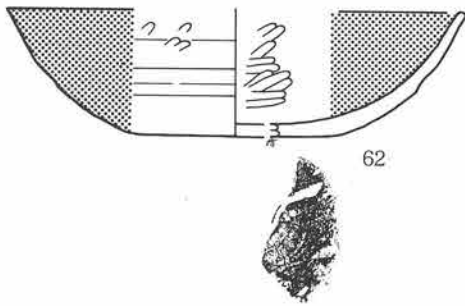


59

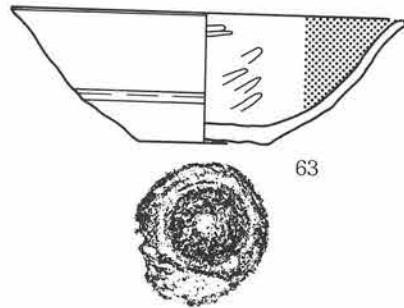


60

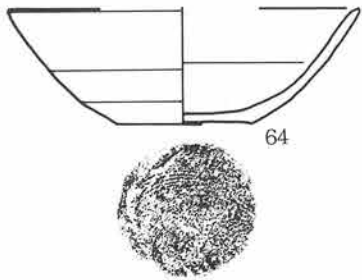
59~60第6号住



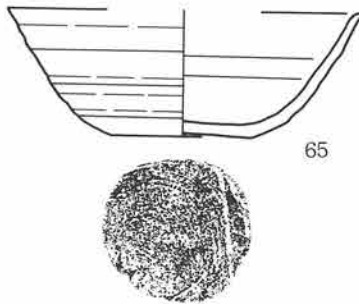
62



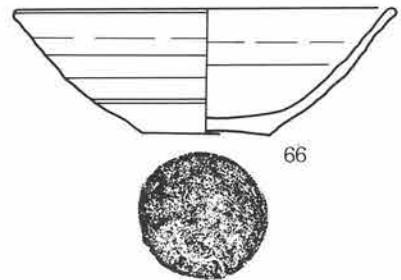
63



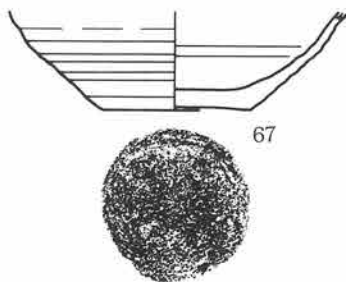
64



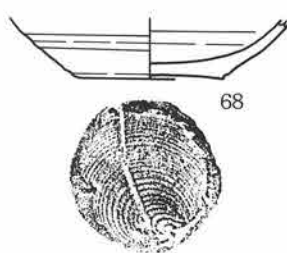
65



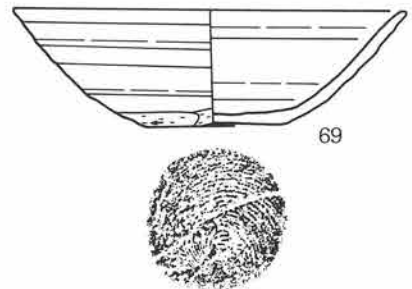
66



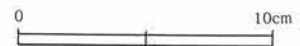
67



68



69



62~69第7号住

图167 遺構内出土遺物(7)

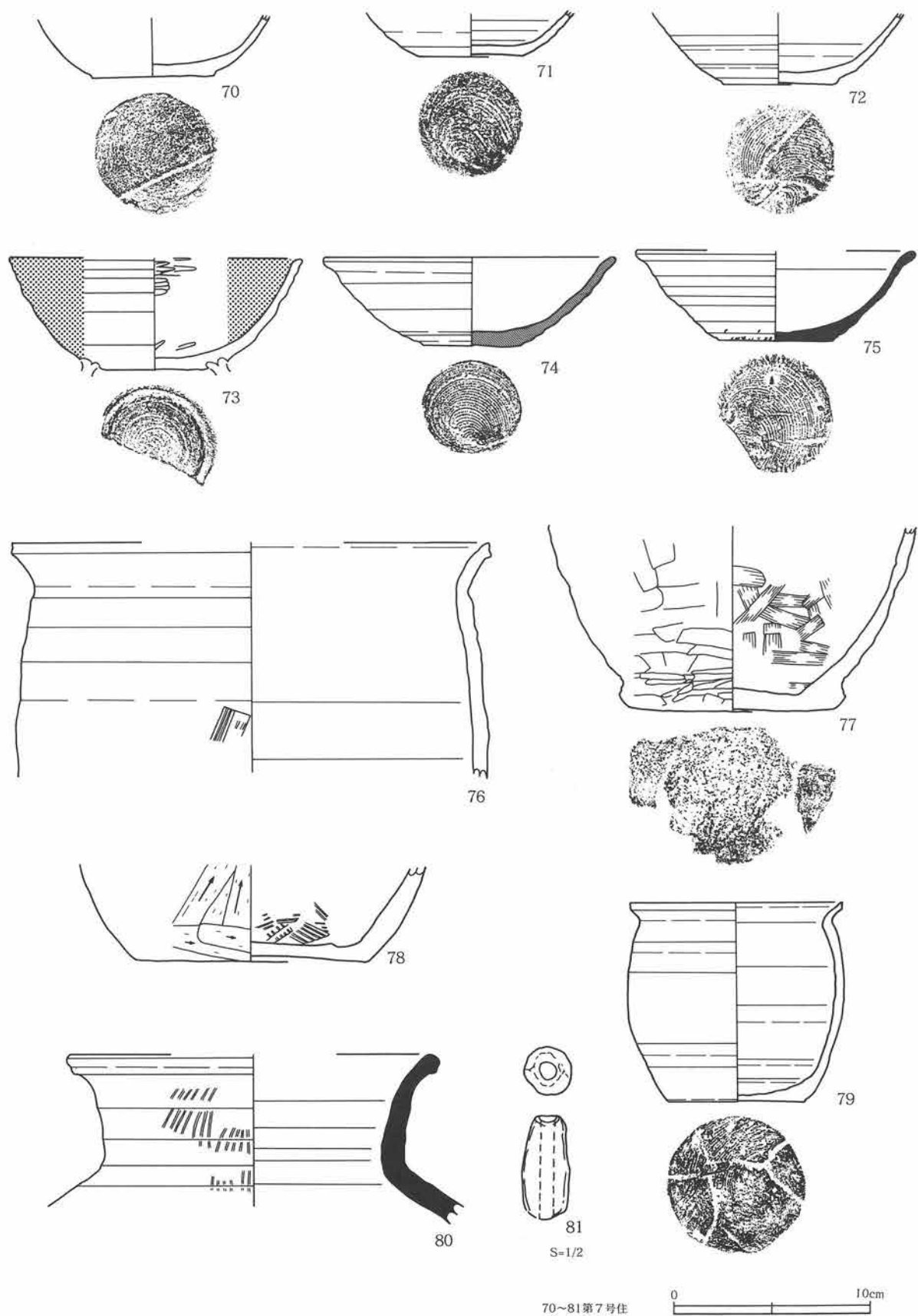


图168 遺構内出土遺物(8)

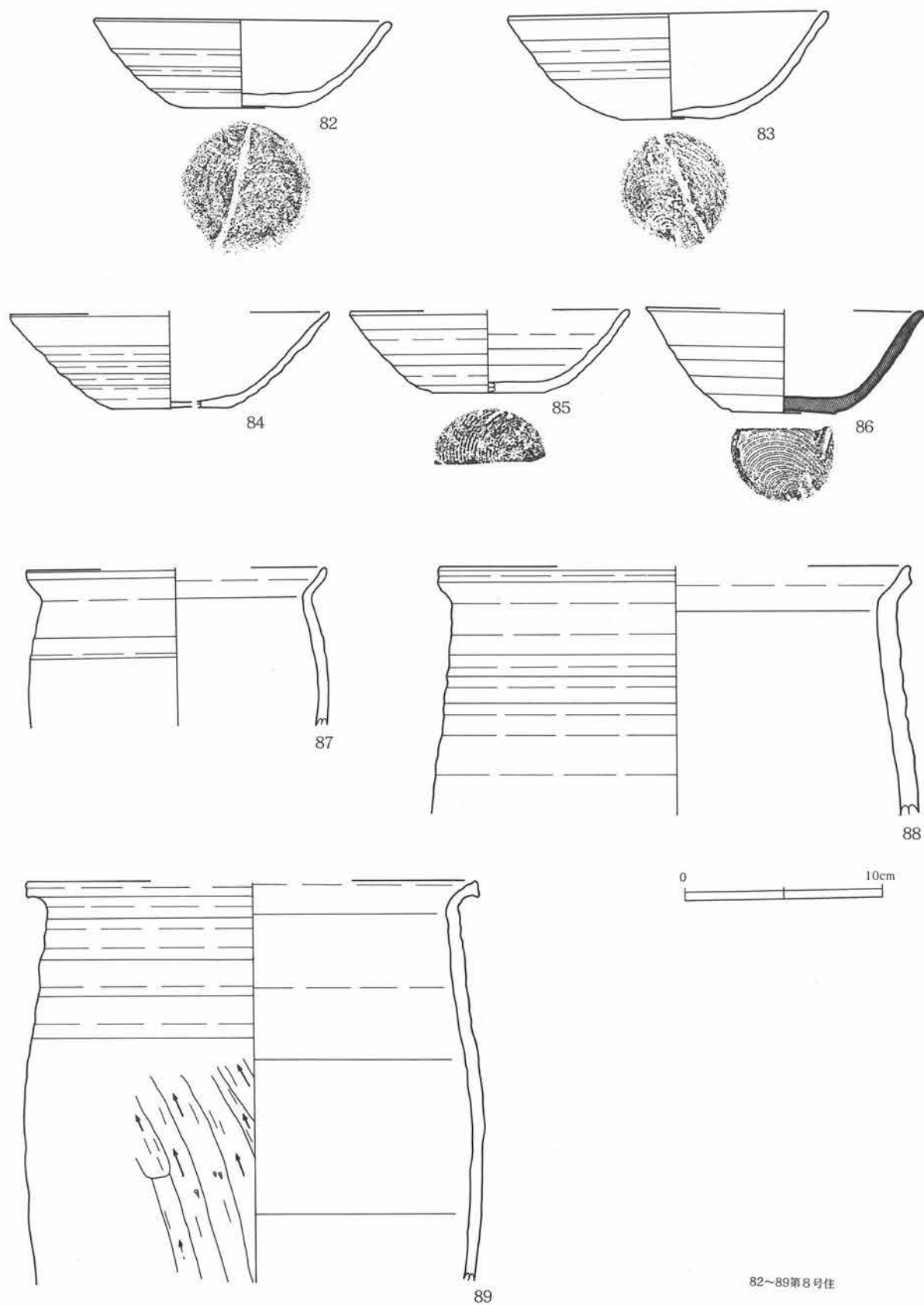


图169 遺構内出土遺物(9)

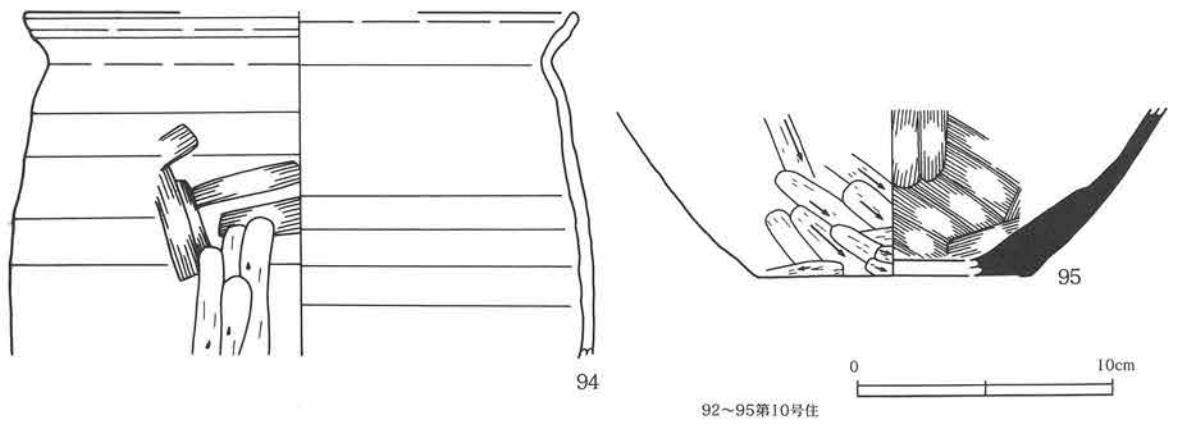
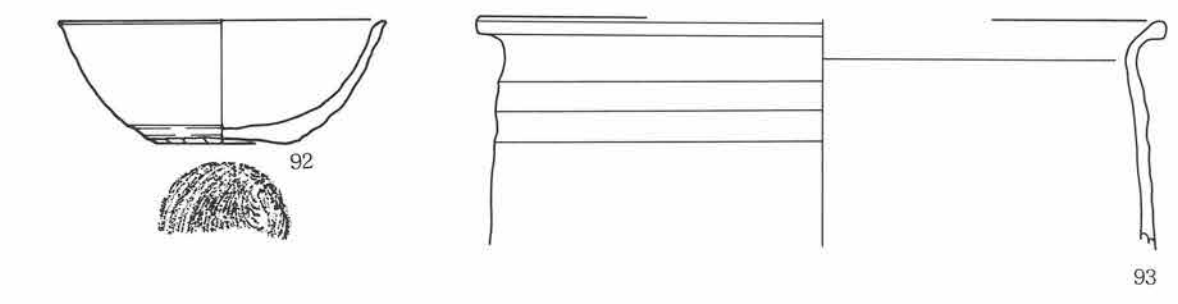
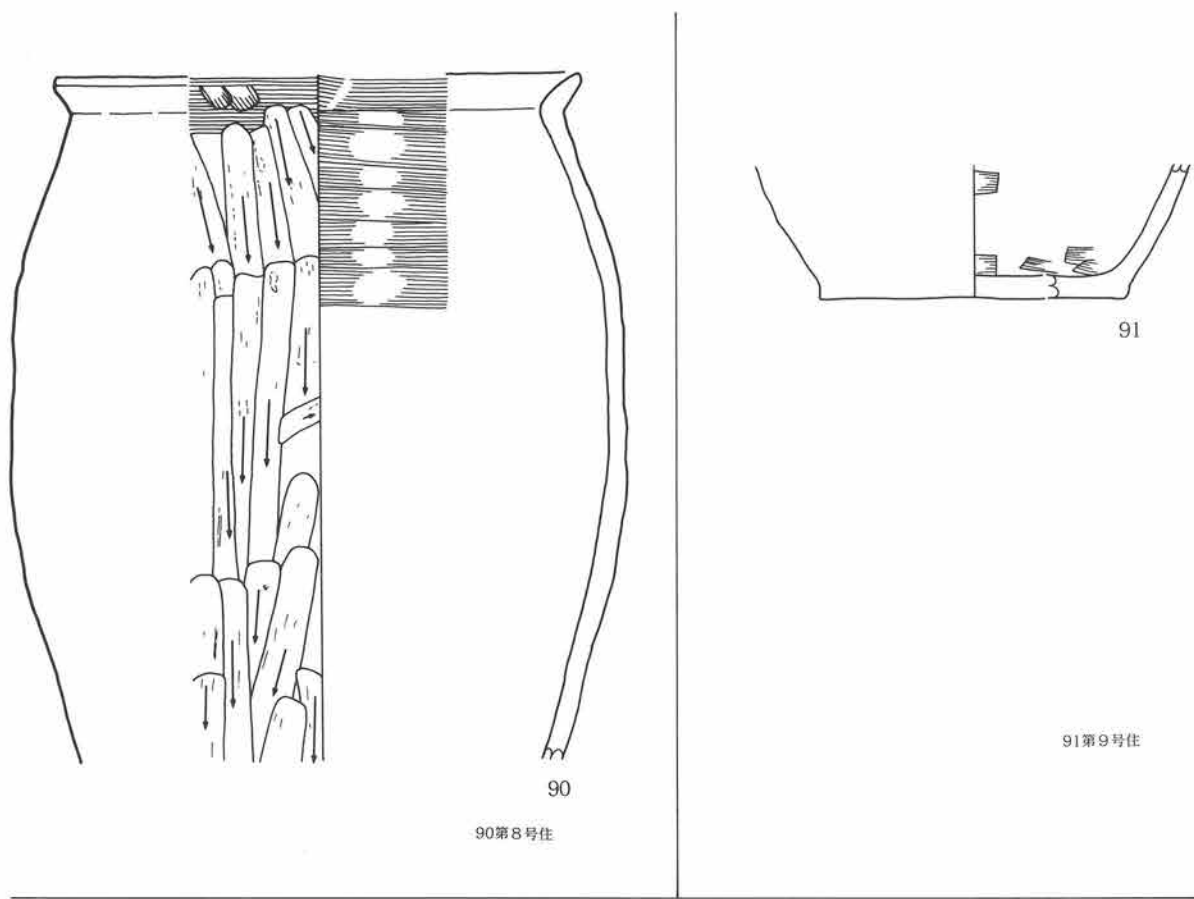
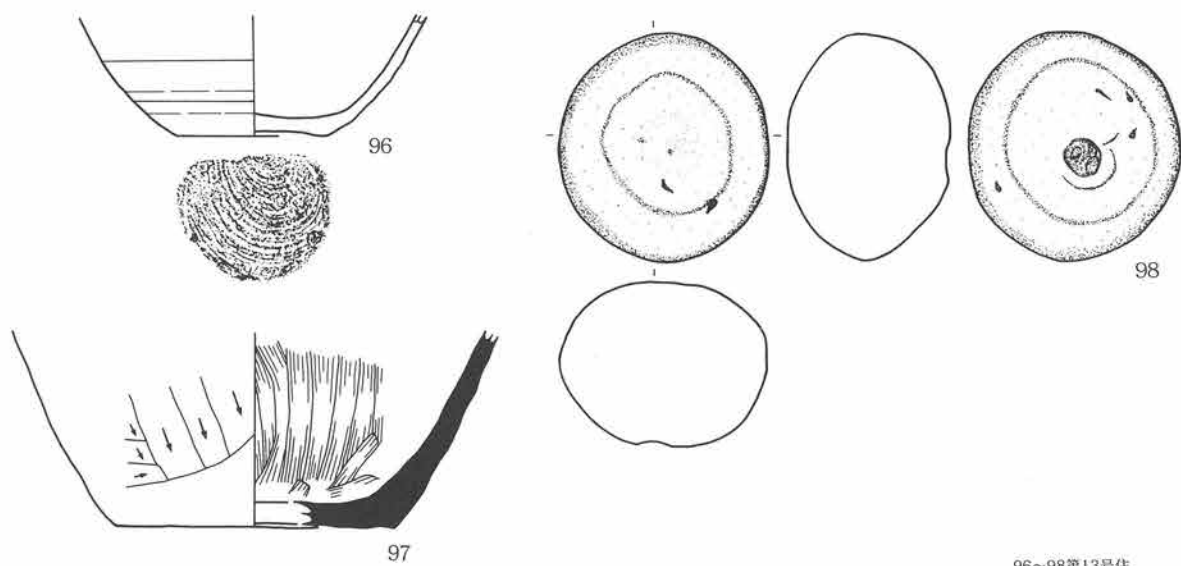
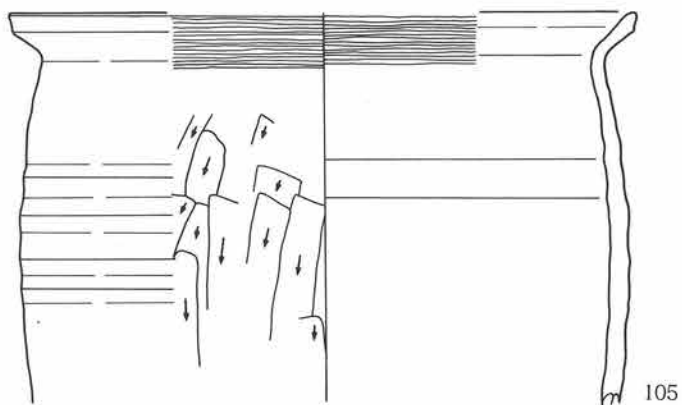
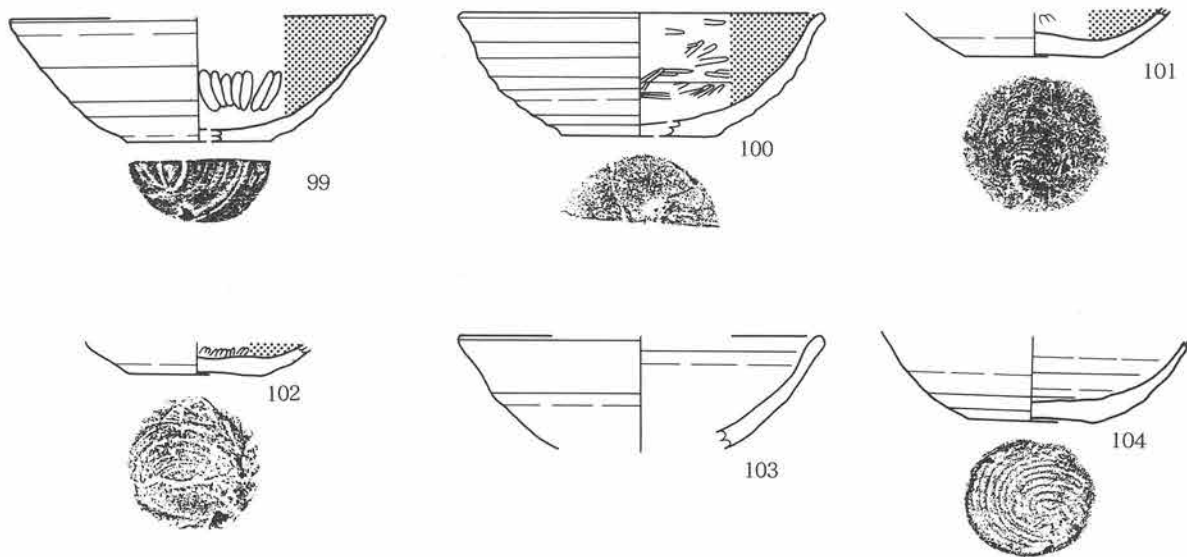


图170 遺構内出土遺物(10)



96~98第13号住



99~105第14号住

图171 遺構内出土遺物(11)

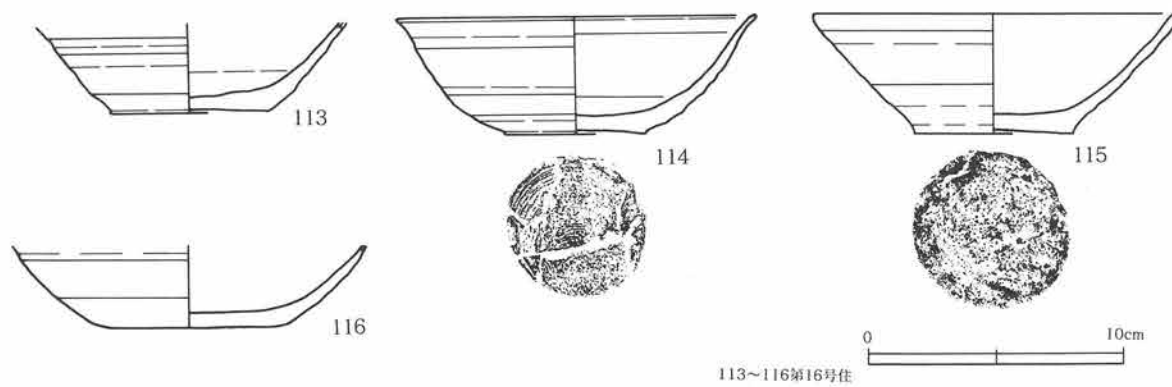
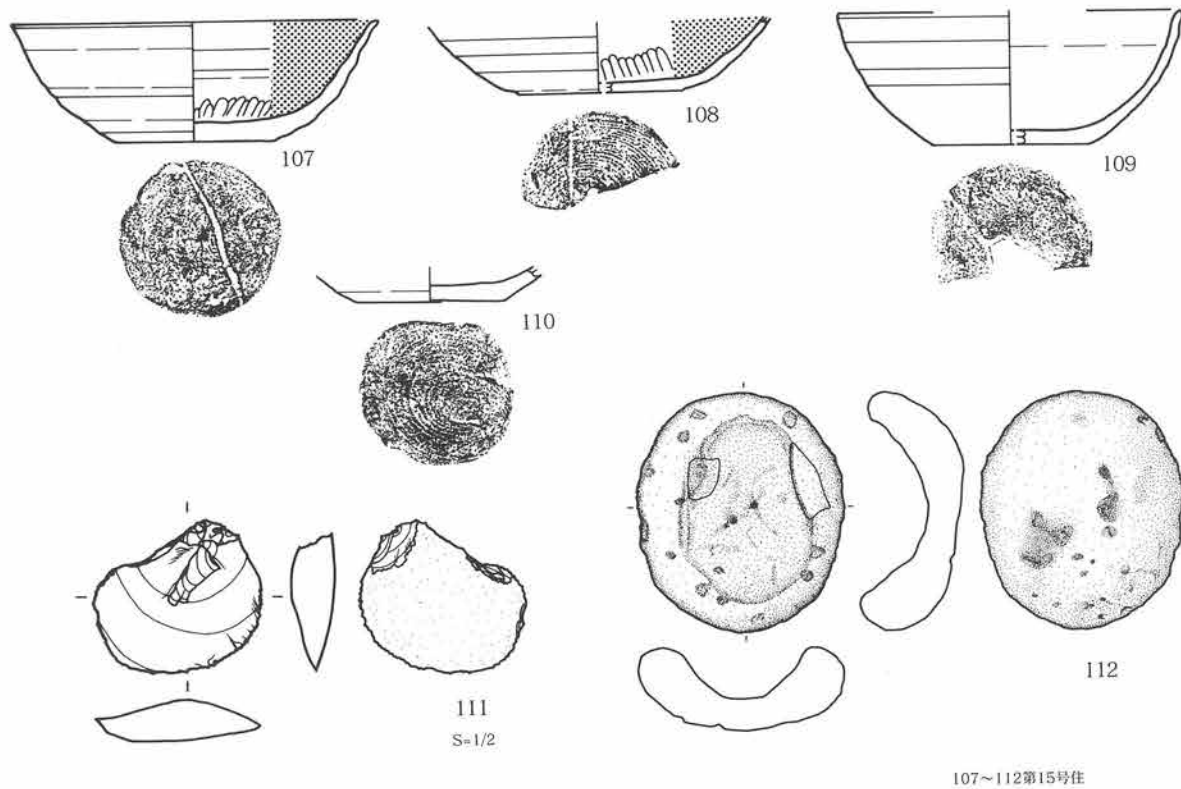
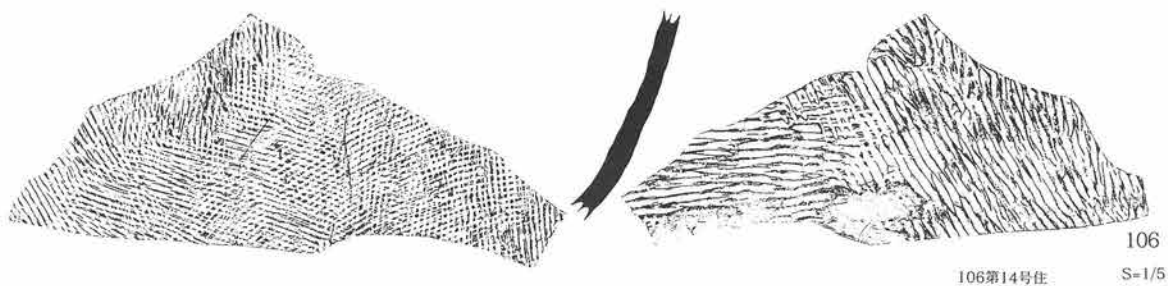
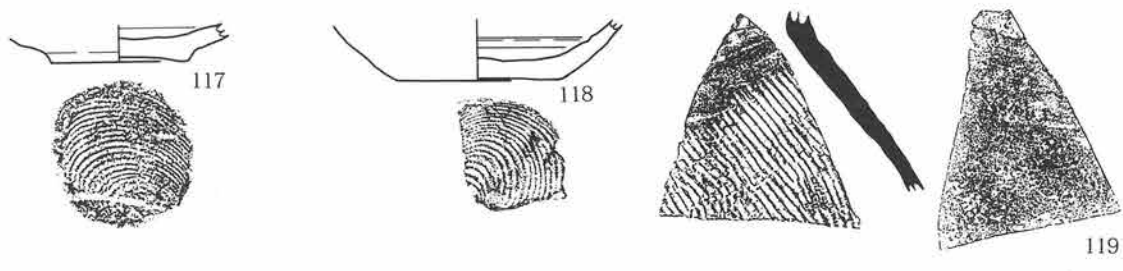
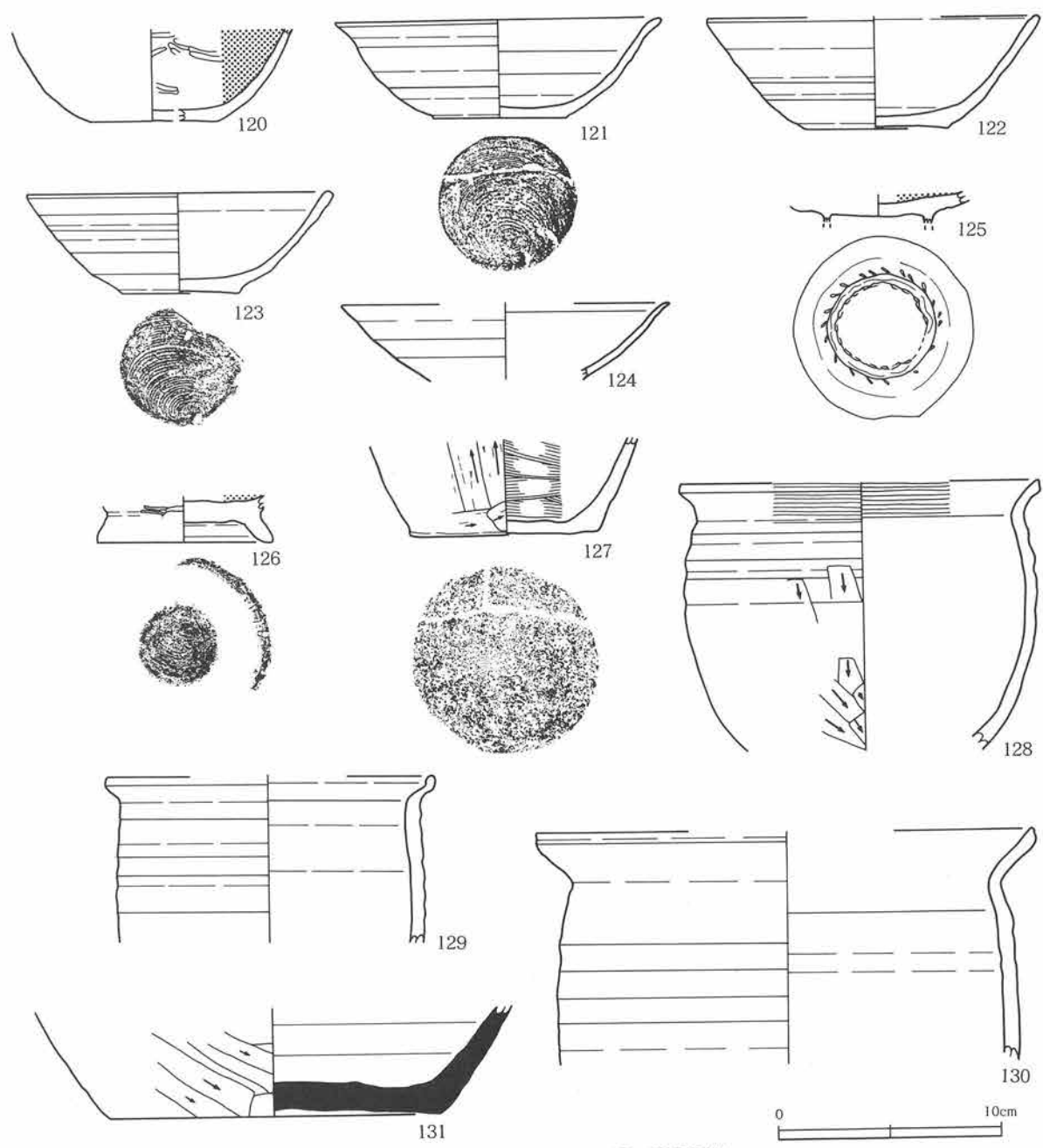


图172 遺構内出土遺物(12)

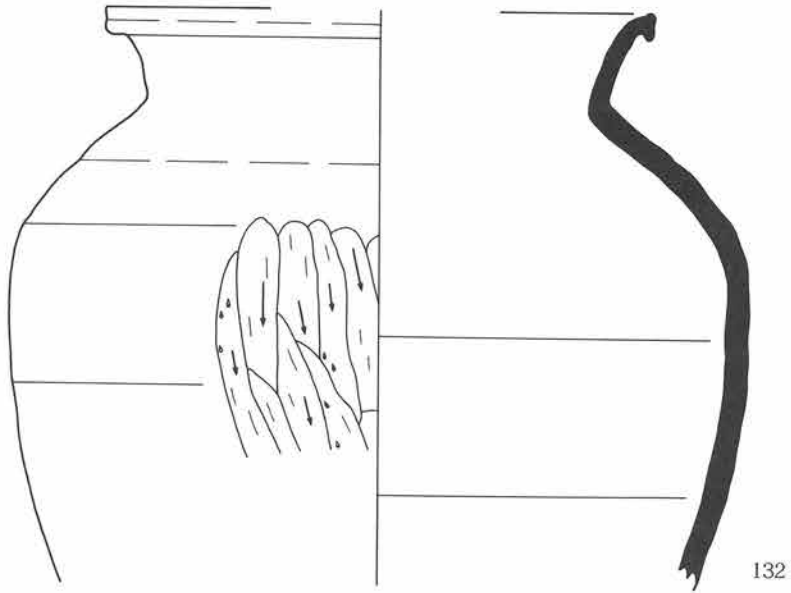


117~119第16号住

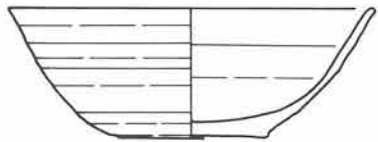


120~131第17号住

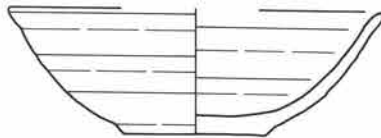
图173 遺構内出土遺物(13)



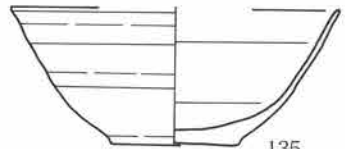
132
132第17号住



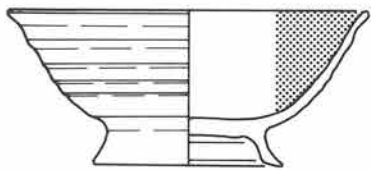
133



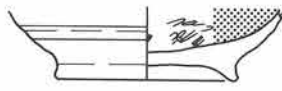
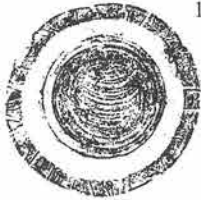
134



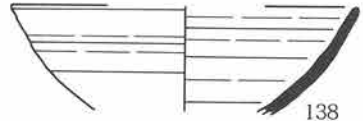
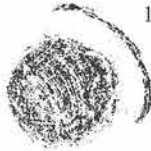
135



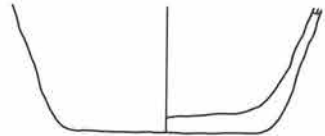
136



137



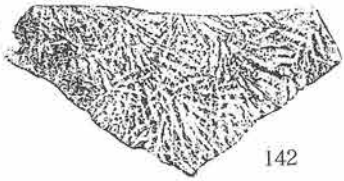
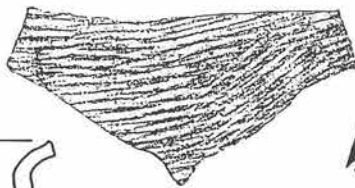
138



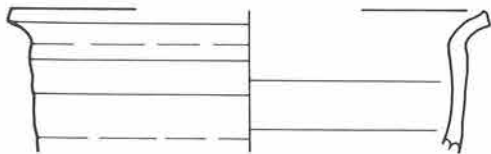
140



139



142



141

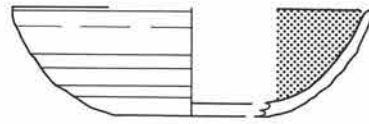
133~142第18号住



图174 遺構内出土遺物(14)



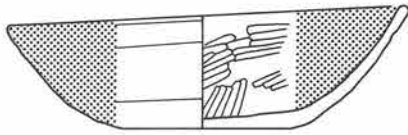
143



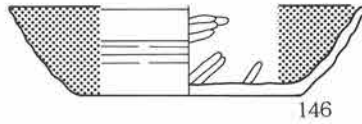
144



143・44第19号住



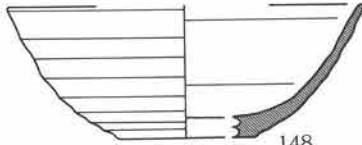
145



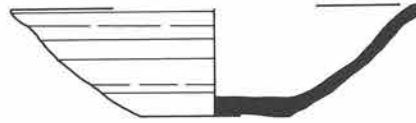
146



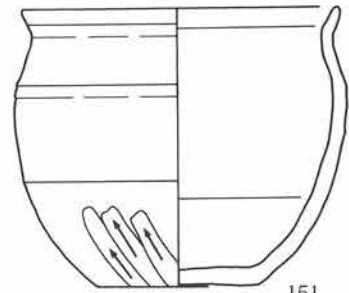
147



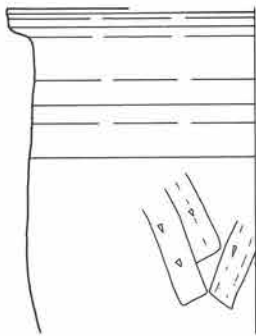
148



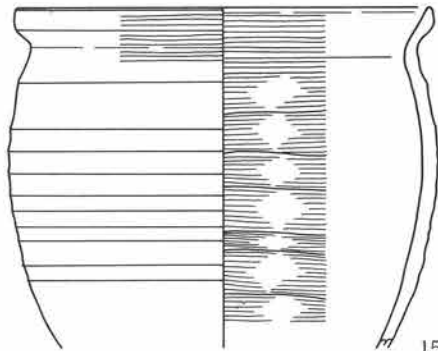
149



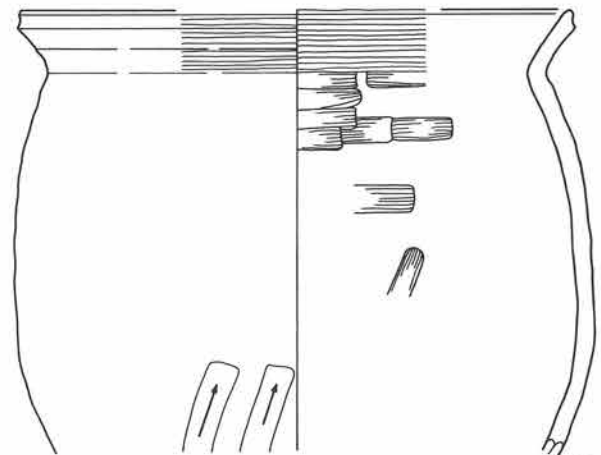
151



150



152

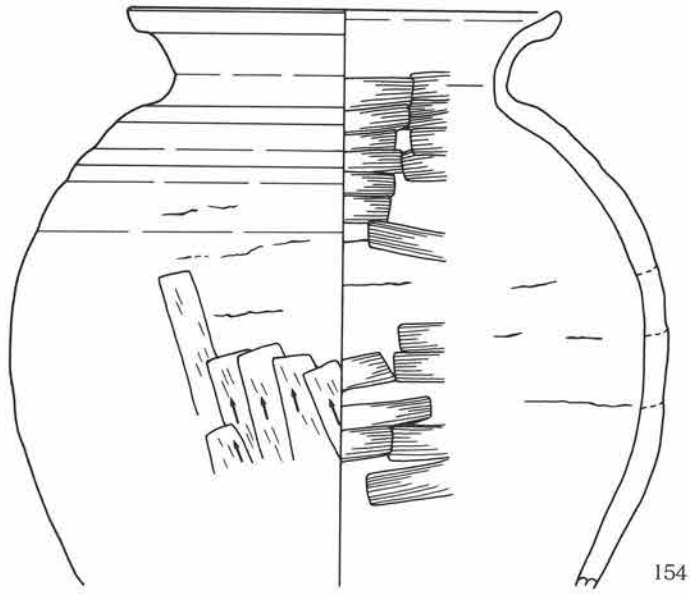


153

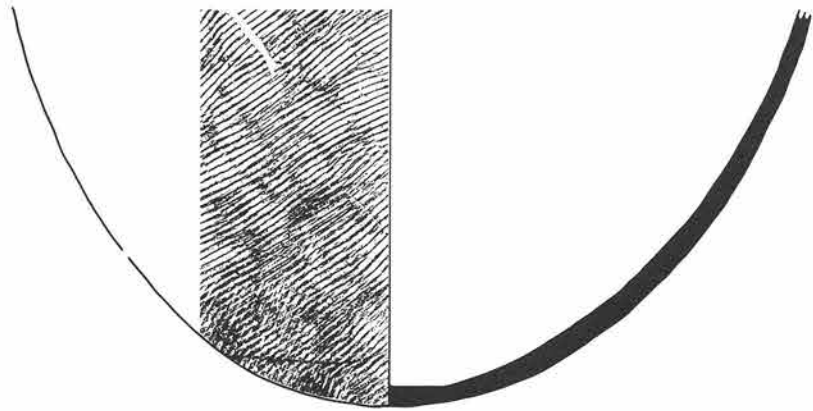


145~153第20号住

图175 遺構内出土遺物(15)



154



155

S=1/4

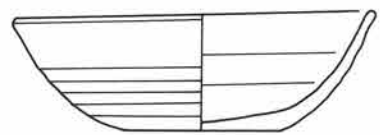
154・155第20号住



156



157



158



156~158第21号住

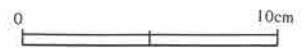


图176 遺構内出土遺物(16)

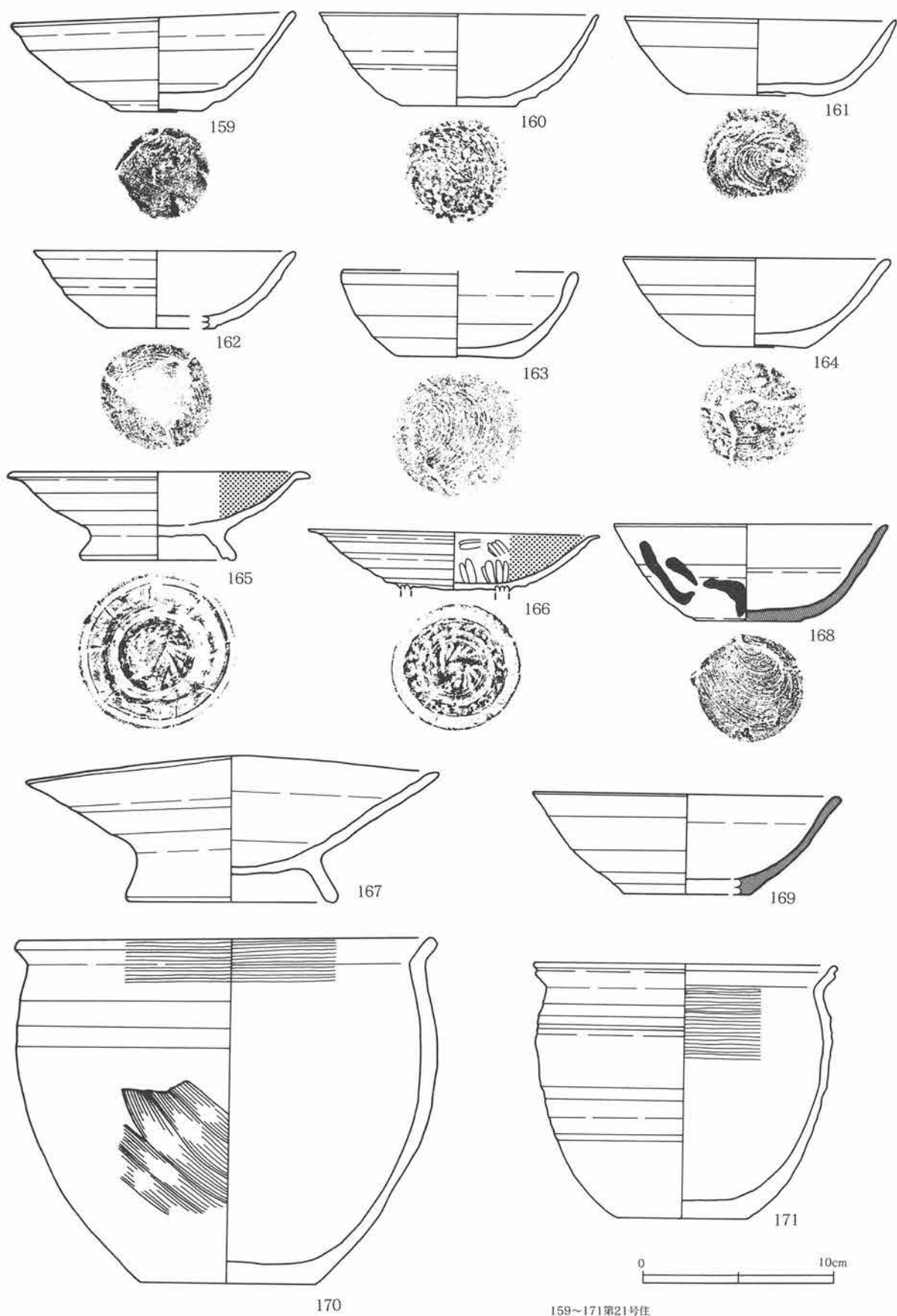
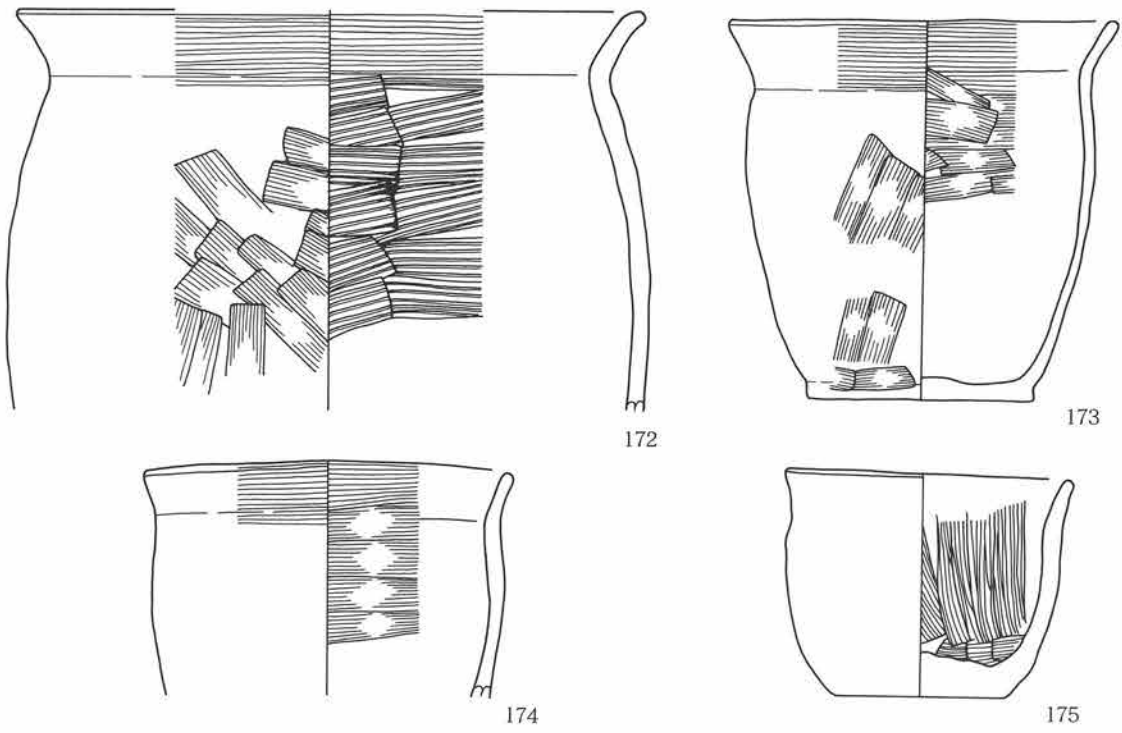


图177 遺構内出土遺物(17)



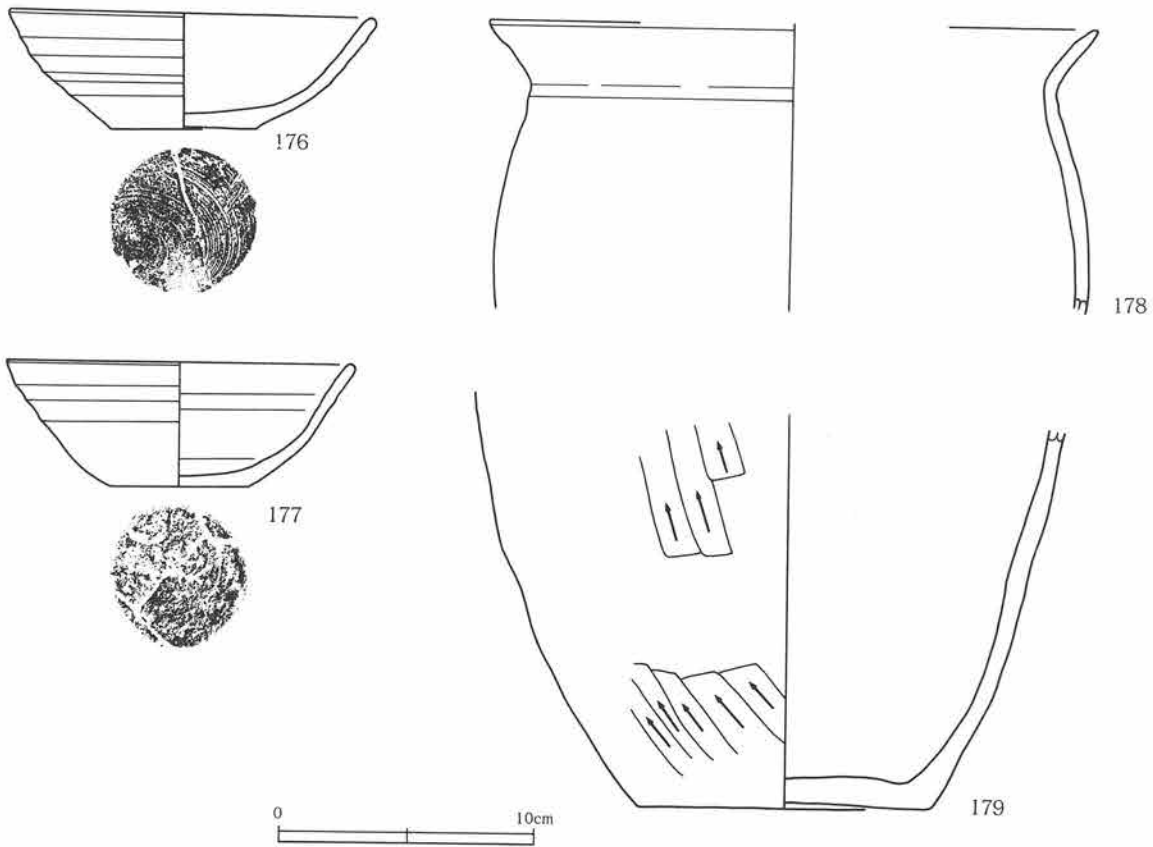
172

173

174

175

172~175第21号住



176

178

177

179

0 10cm

176~179第22号住

图178 遺構内出土遺物(18)

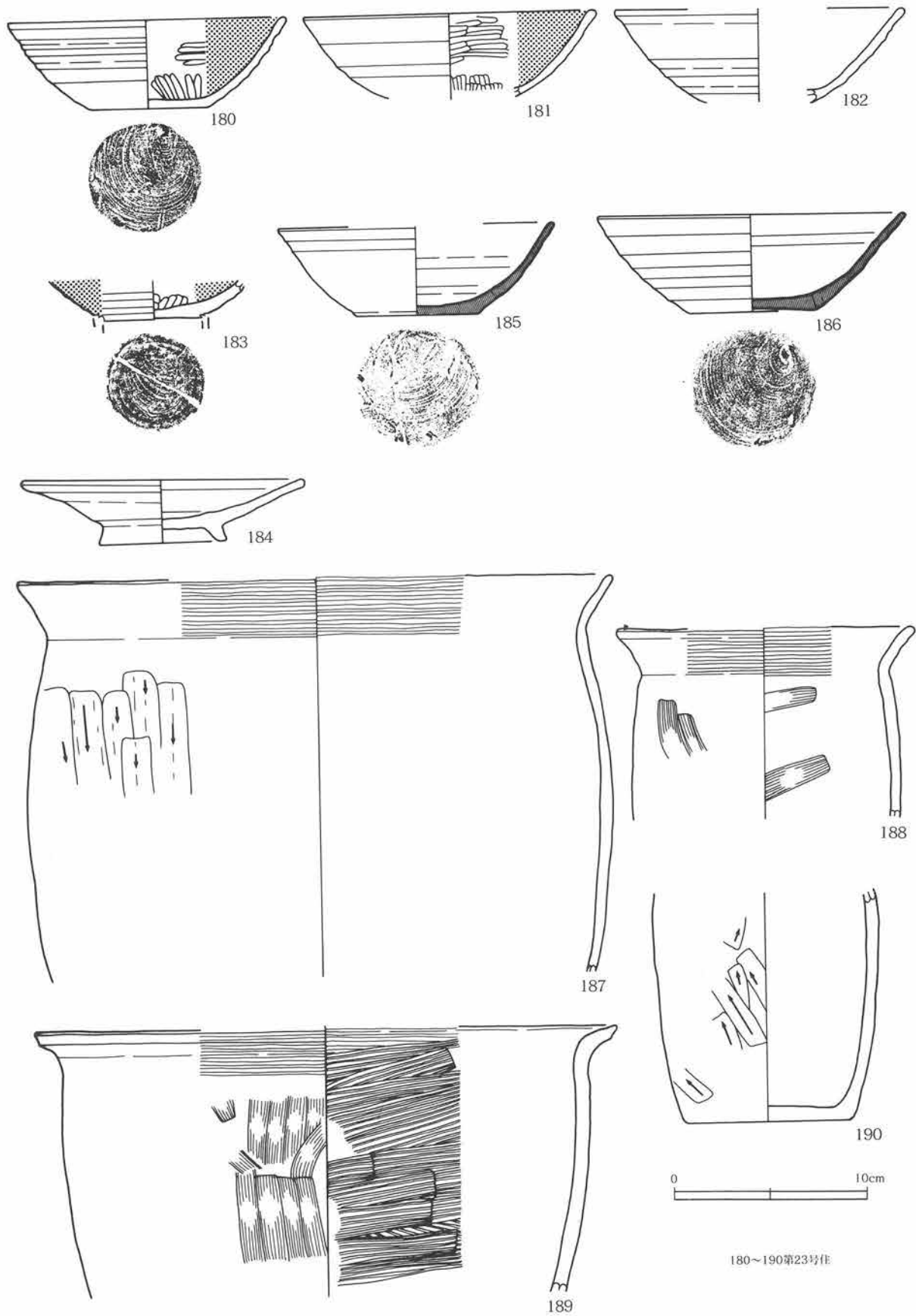
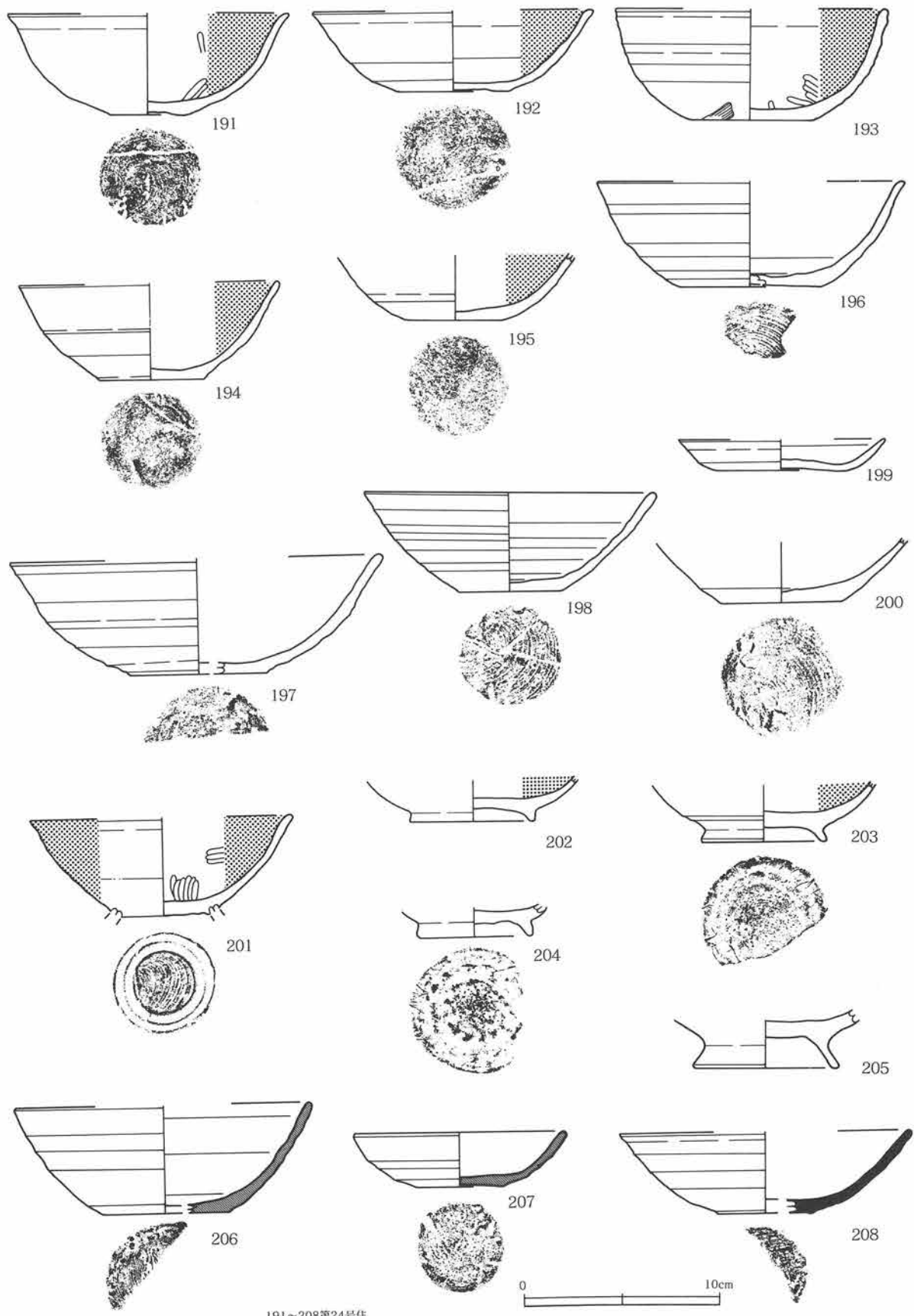


图179 遺構内出土遺物(19)



191~208第24号住

图180 遺構内出土遺物(20)

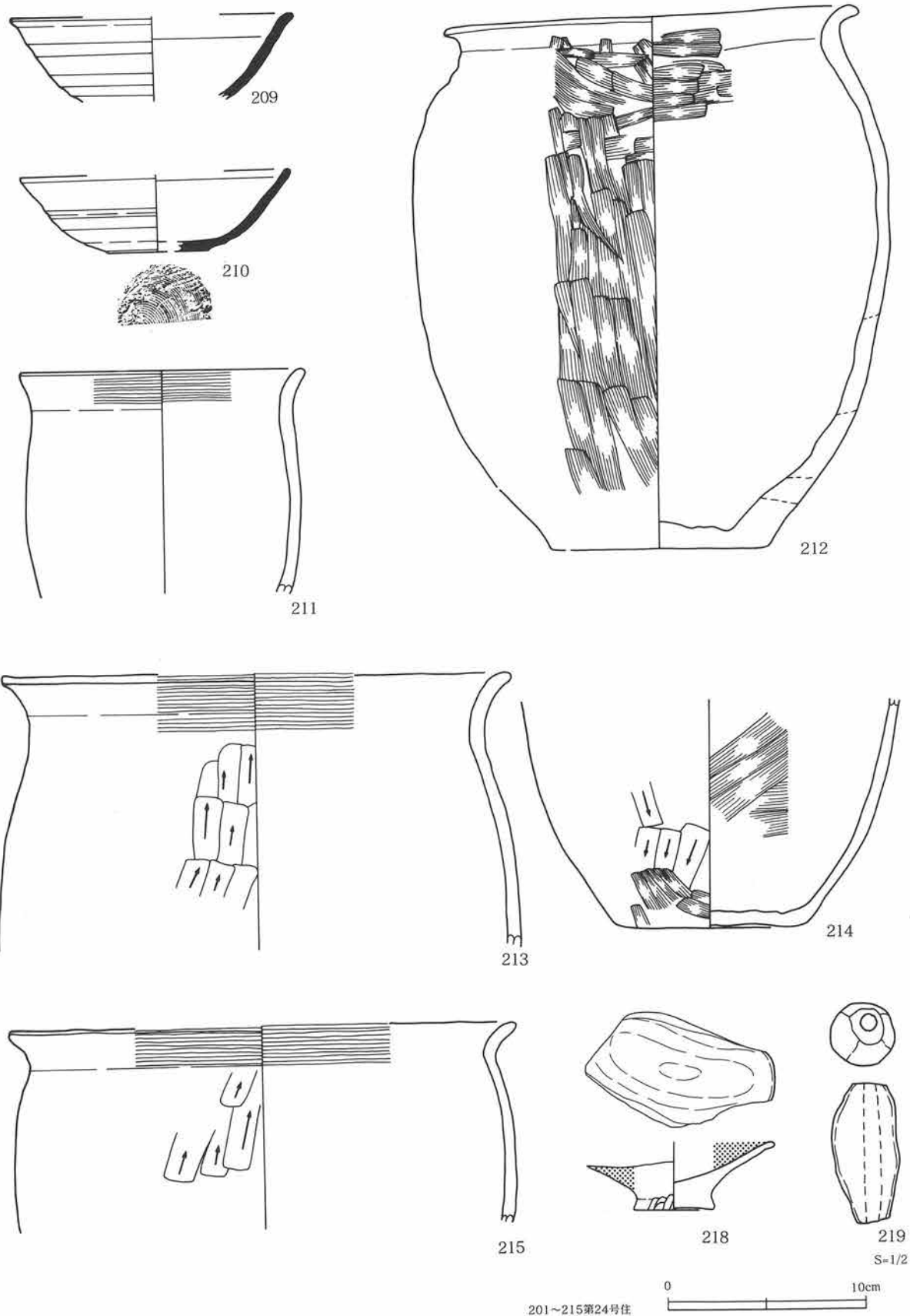
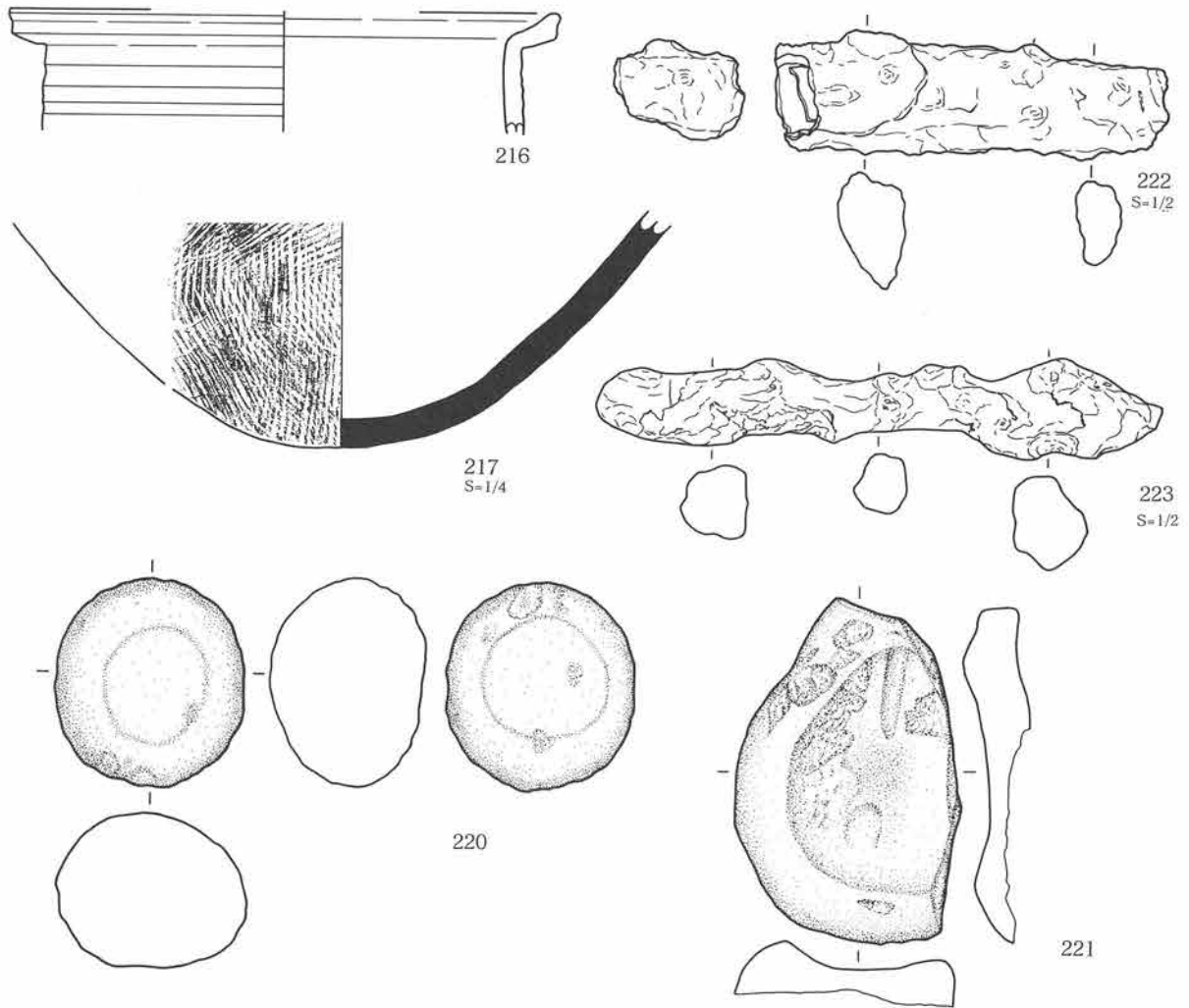
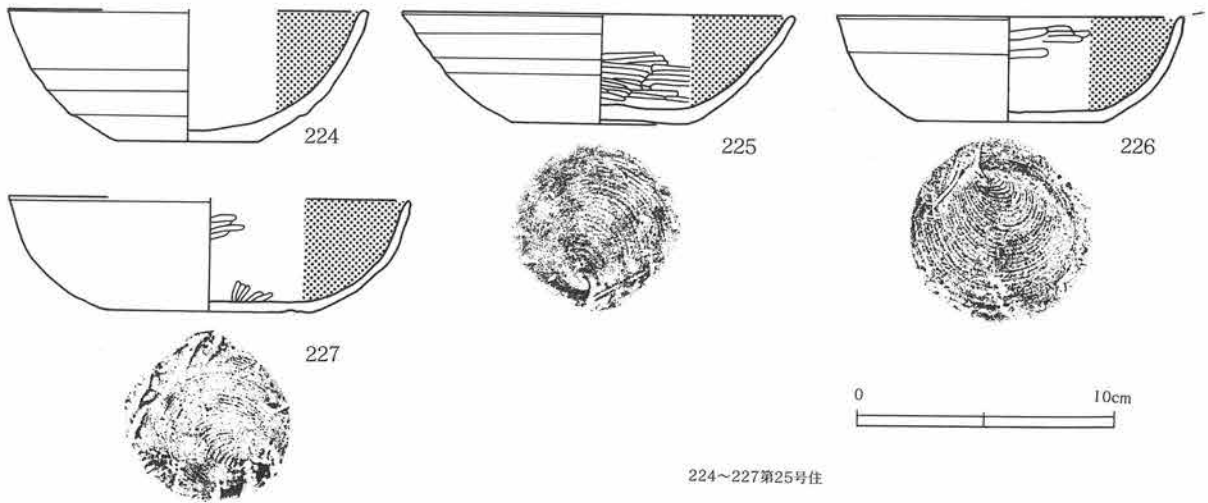


图181 遺構内出土遺物(21)

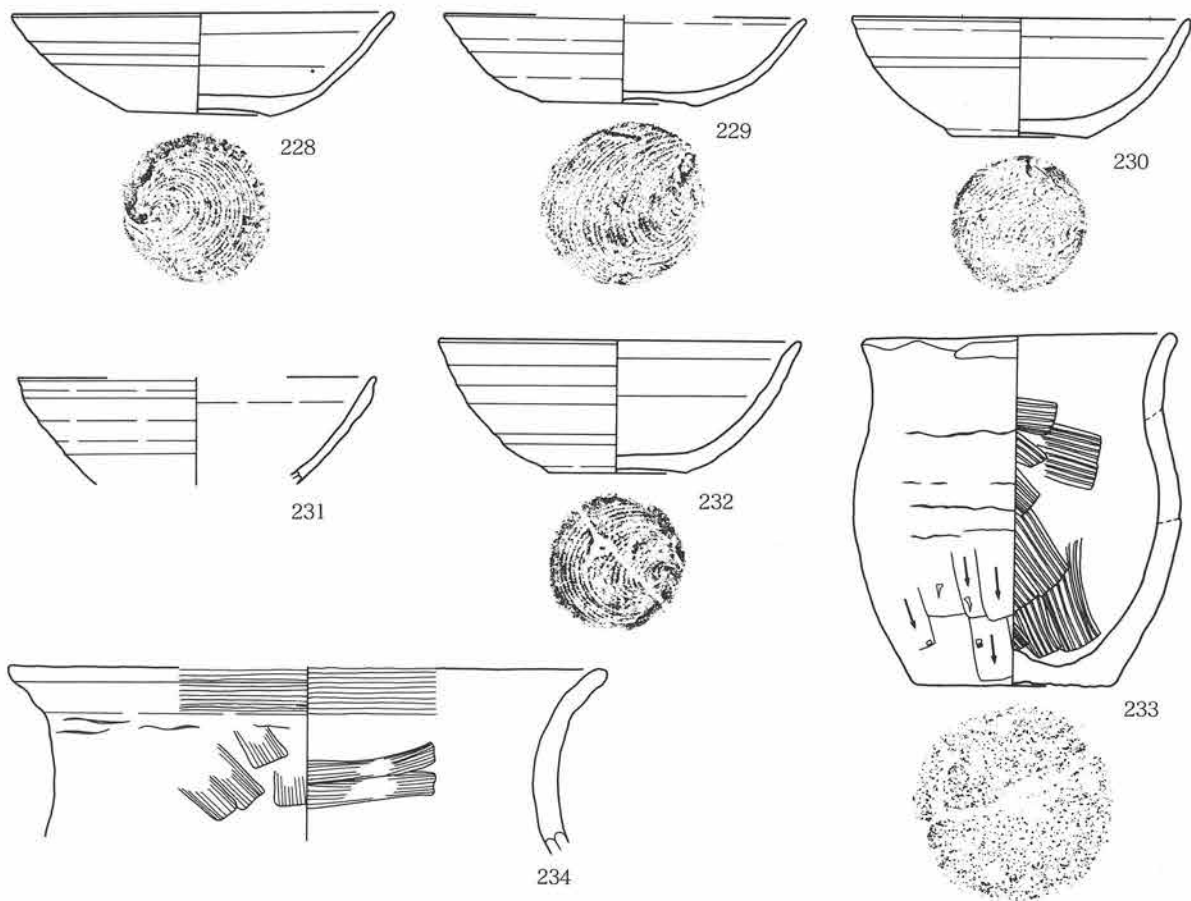


216 · 217 · 220 ~ 223 第24号住

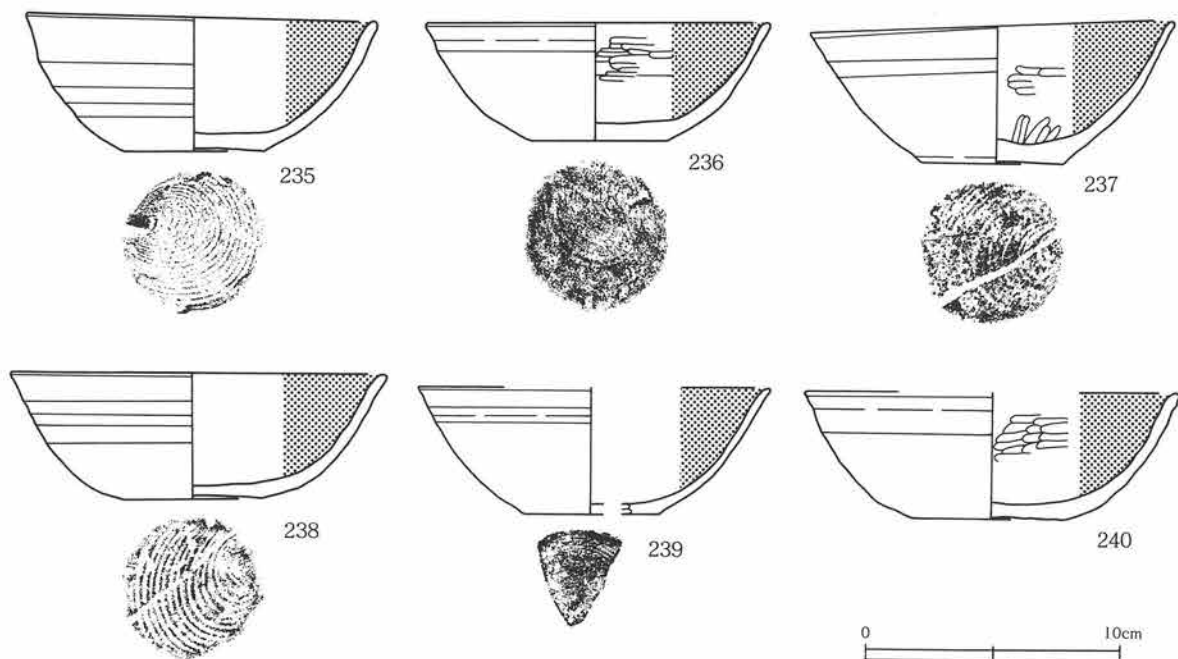


224 ~ 227 第25号住

图182 遺構内出土遺物(22)

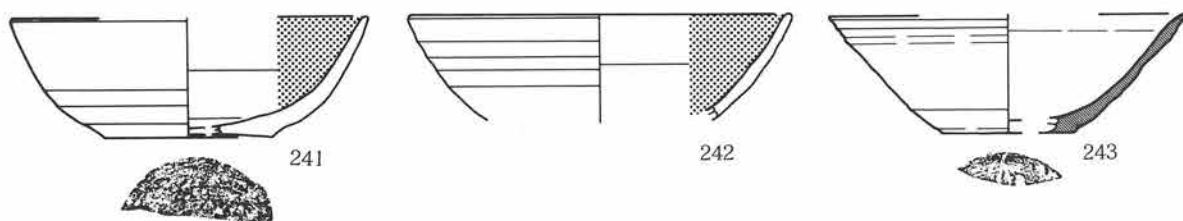


228~234第25号住

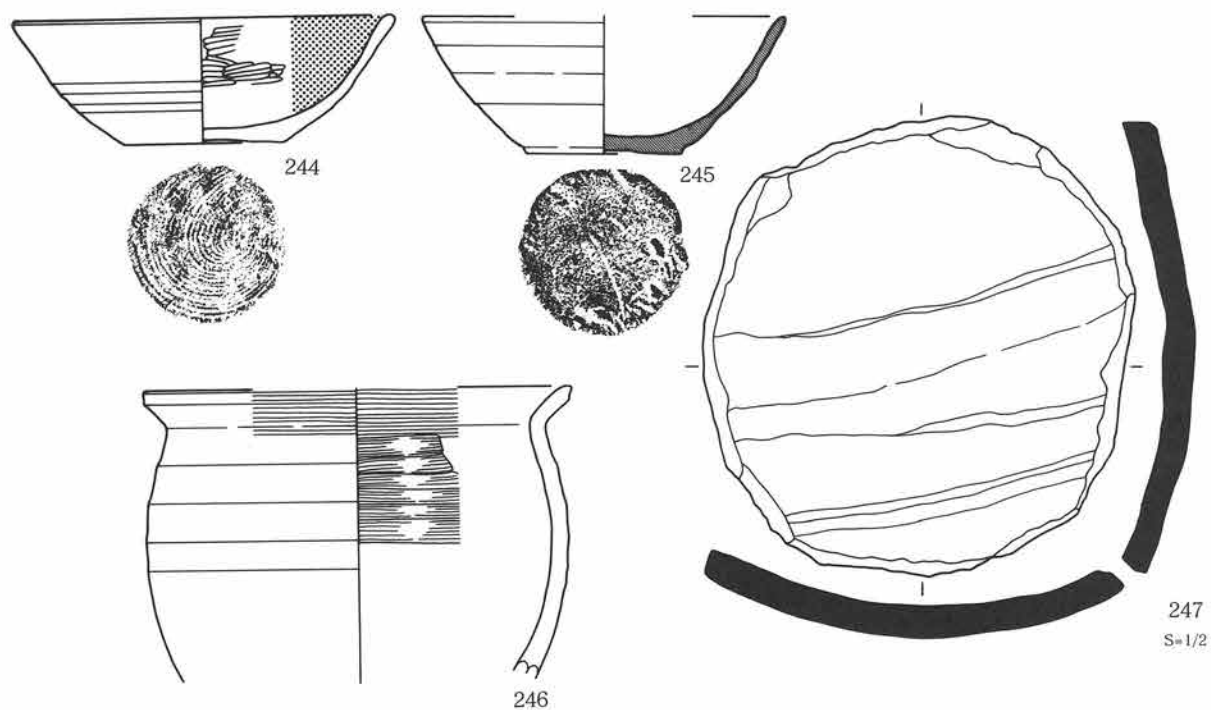


235~240第26号住

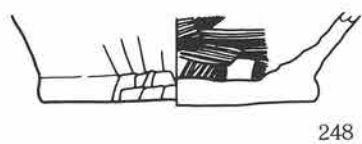
图183 遺構内出土遺物(23)



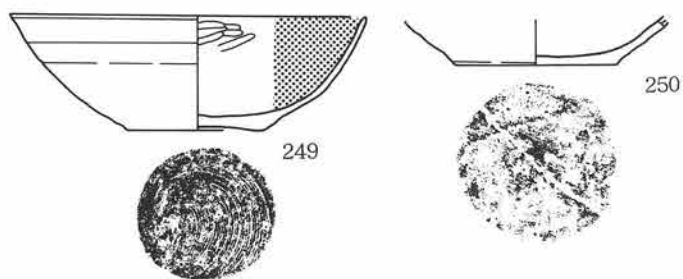
241~243第26号住



244~247第27号住



248第28号住



249・250第29号住

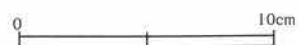
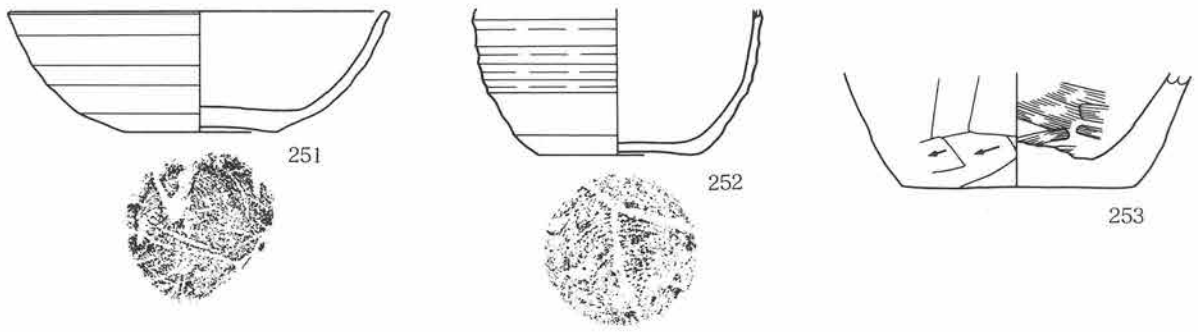
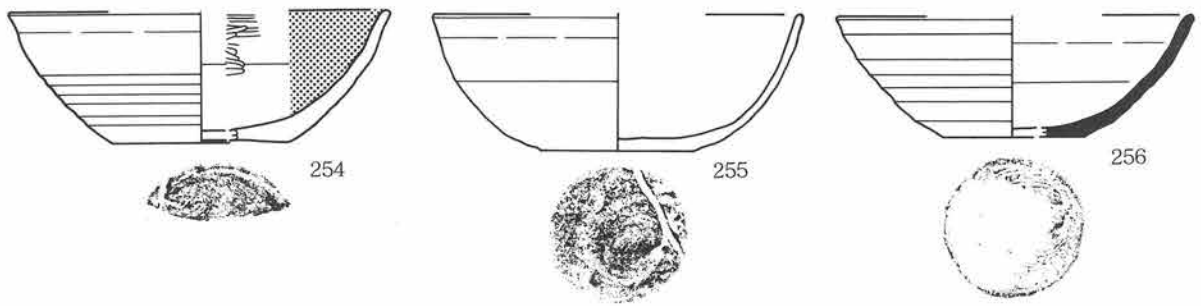


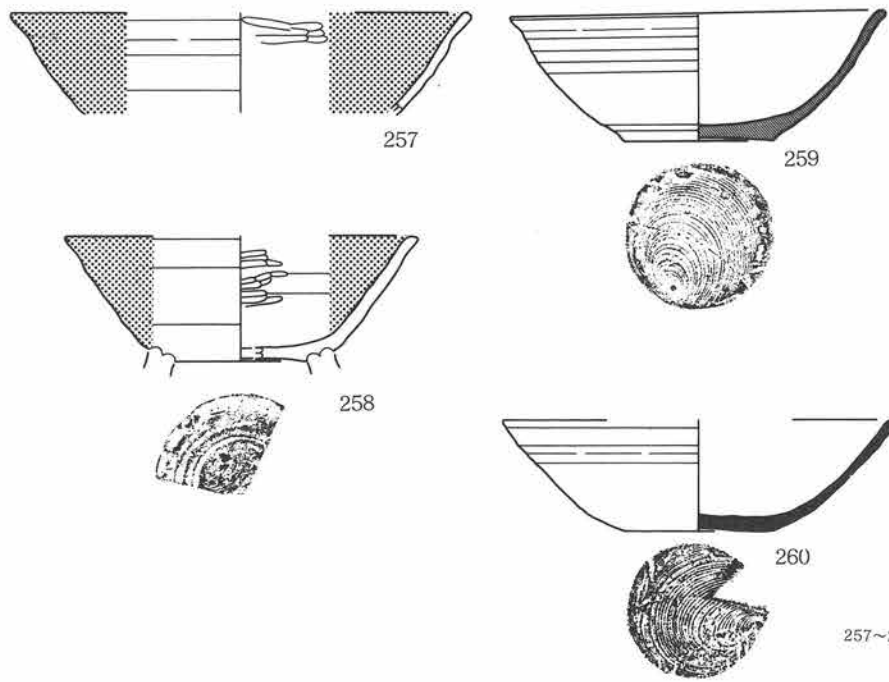
图184 遺構内出土遺物(24)



251~253第29号住



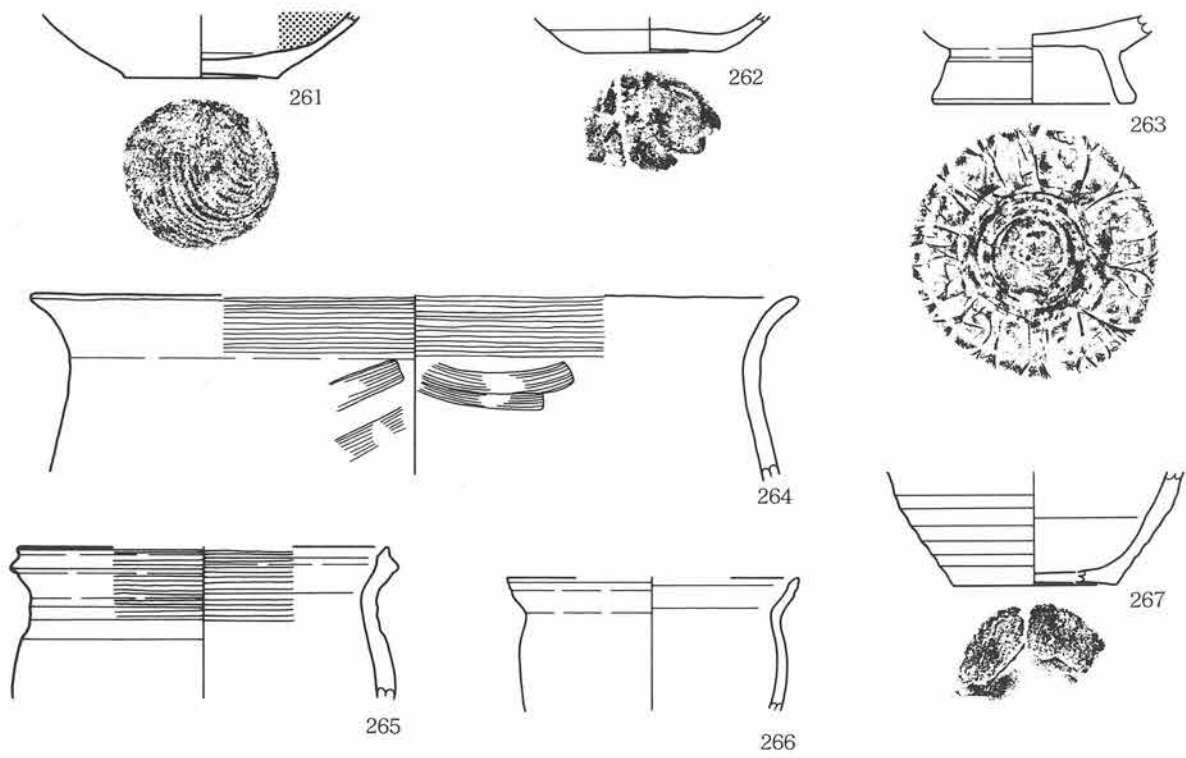
254~256第30号住



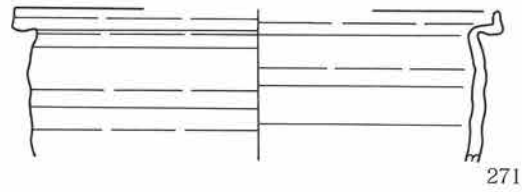
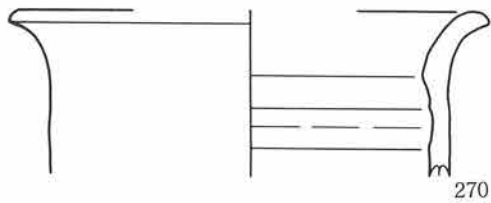
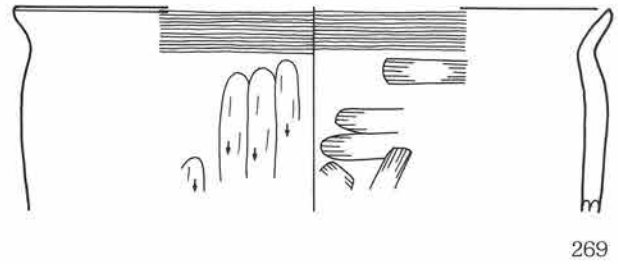
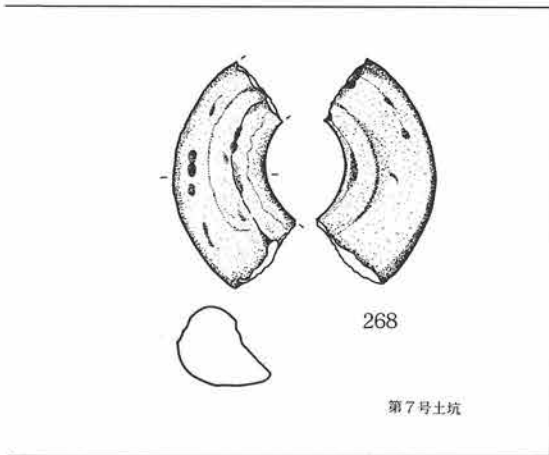
257~260第1号住居状



图185 遺構内出土遺物(25)



261~267第2号住居状



269~271第8号土坑



图186 遺構内出土遺物(26)

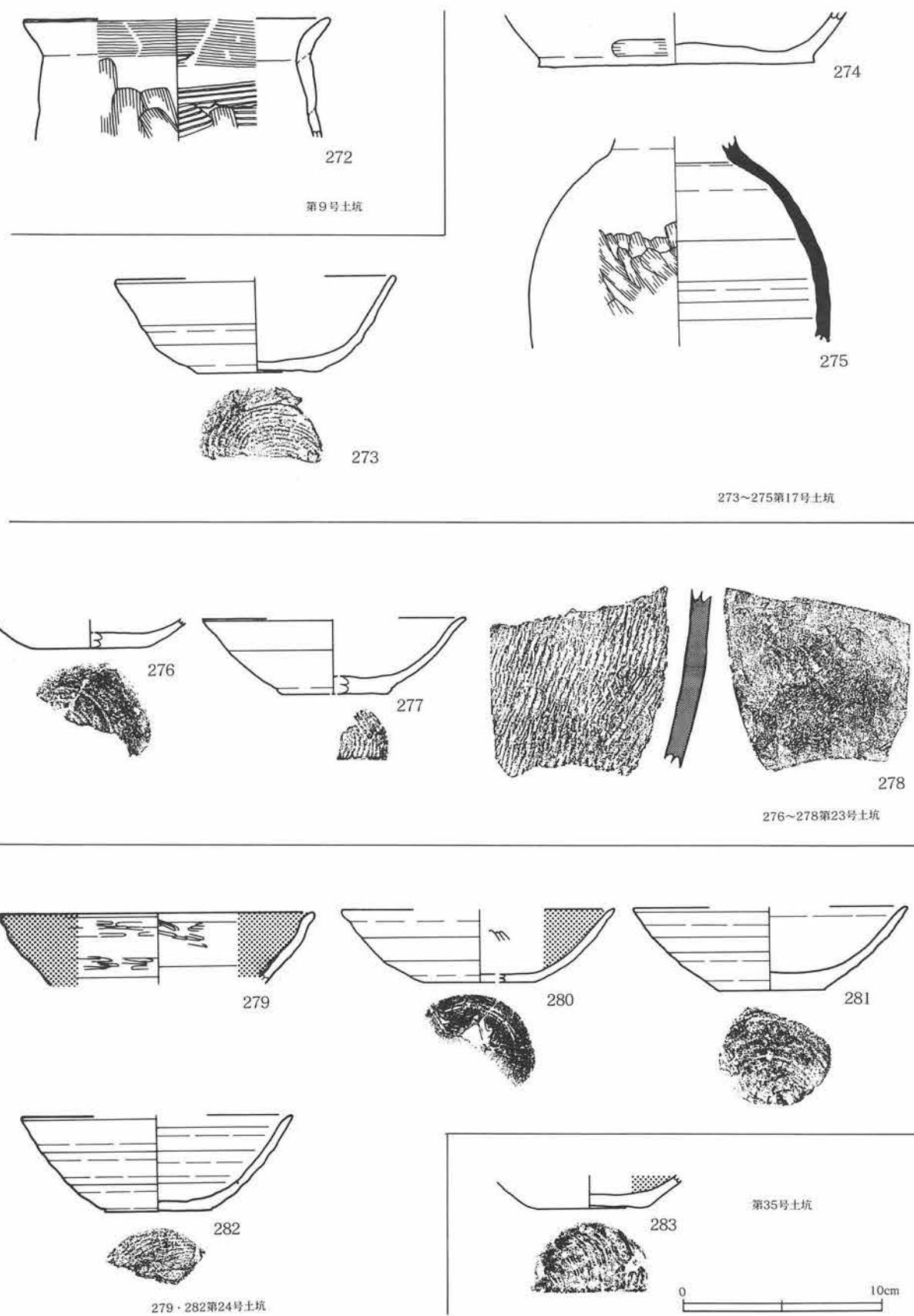


图187 遺構内出土遺物(27)

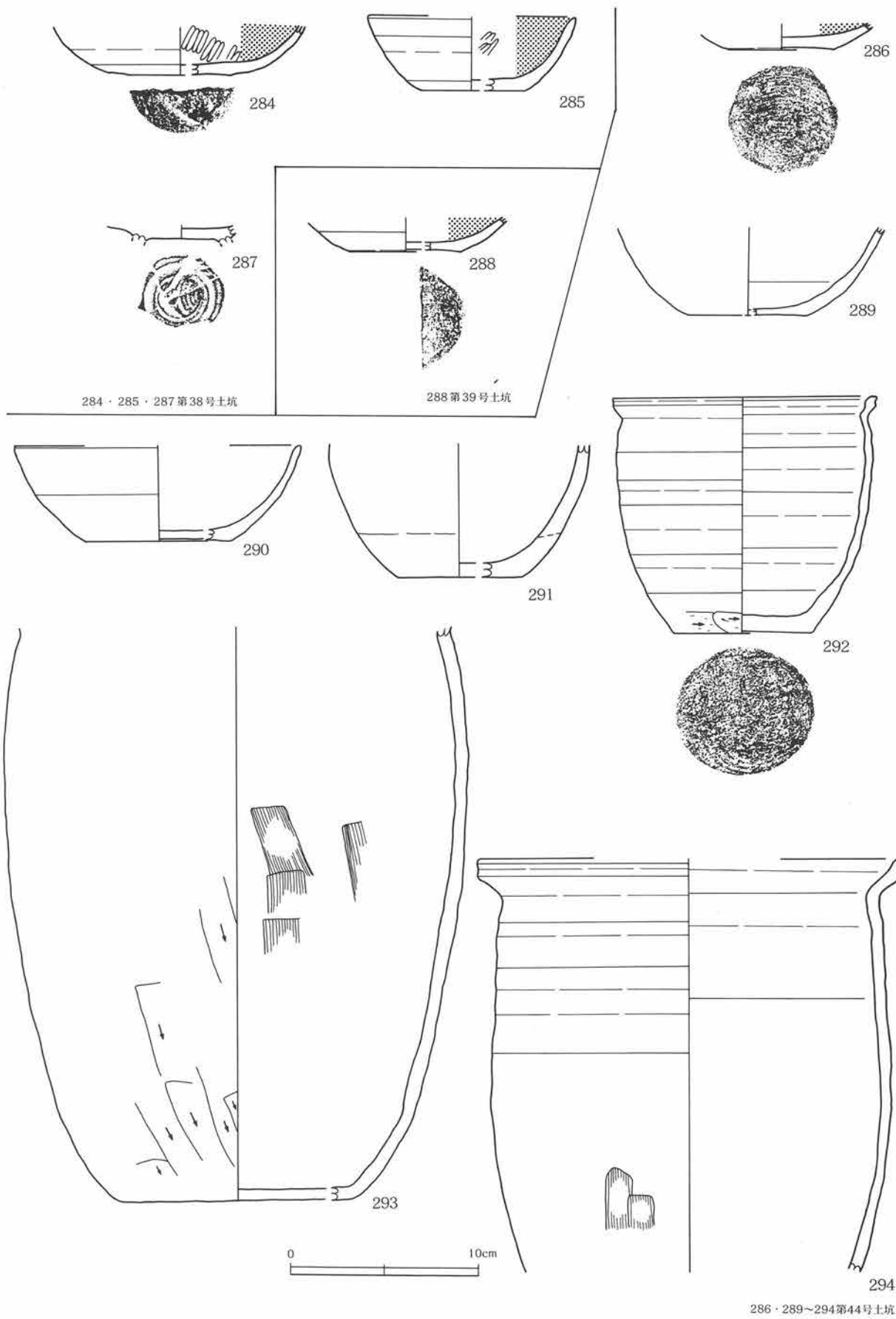
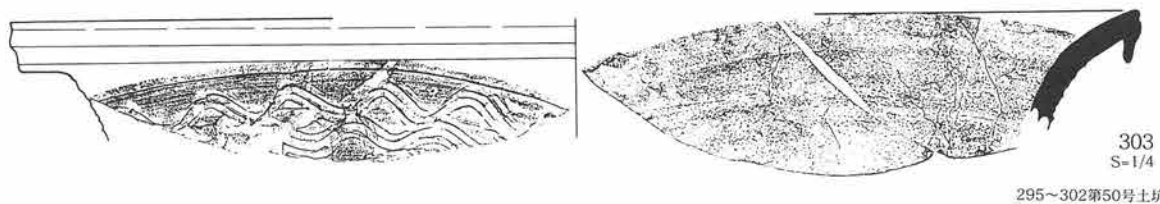
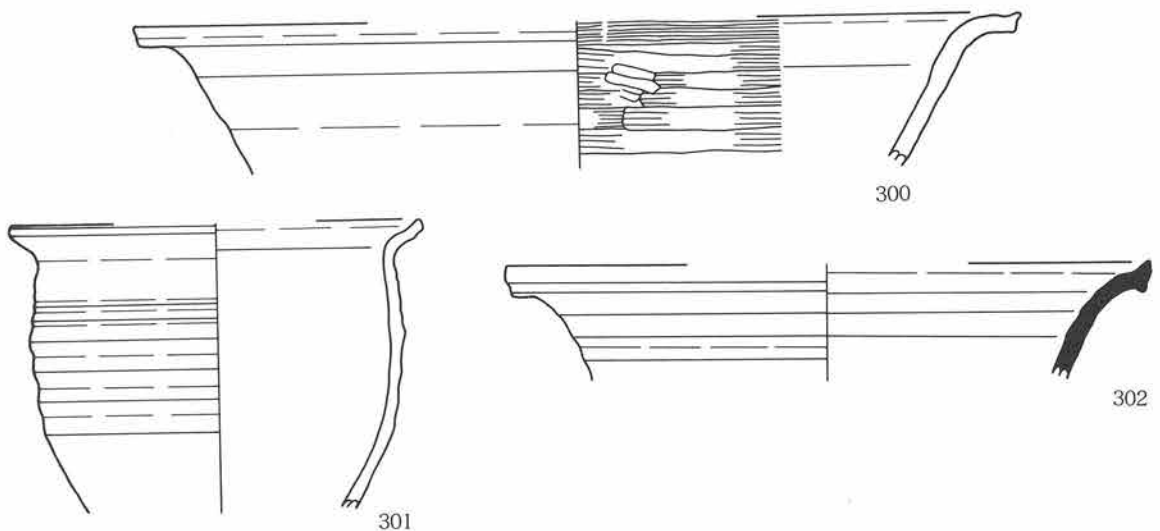
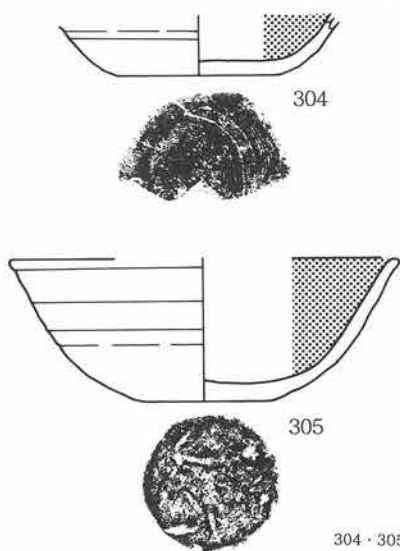


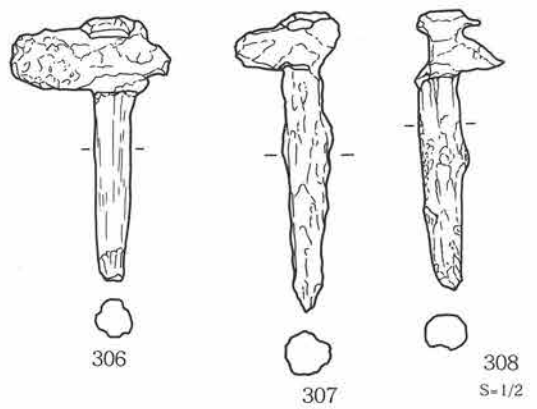
图188 遺構内出土遺物(28)



295~302第50号土坑



304·305第63号土坑



306~308第2号墓坑



图189 遺構内出土遺物(29)



309

第11号随し穴



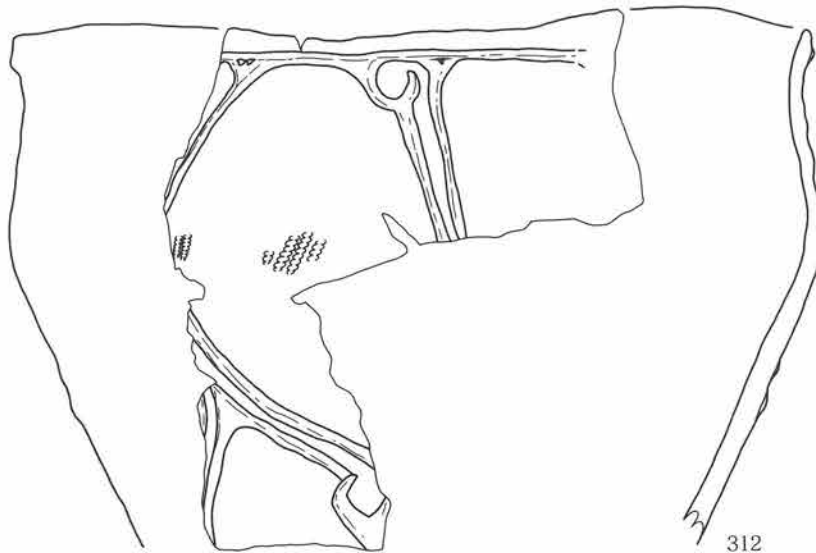
310

第25号随し穴



311

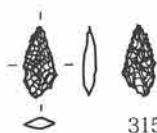
第54号随し穴



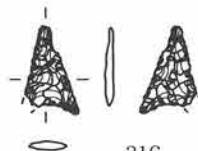
312



313

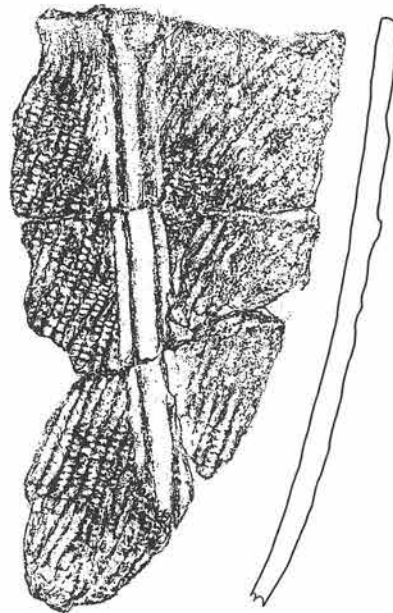


315



316

S-1/2

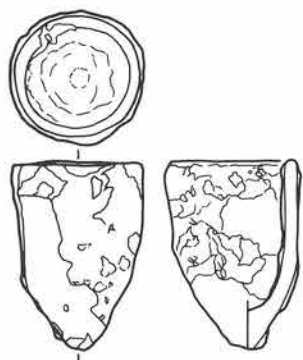


314

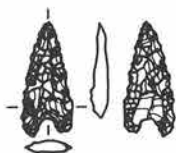
312~316複式炬



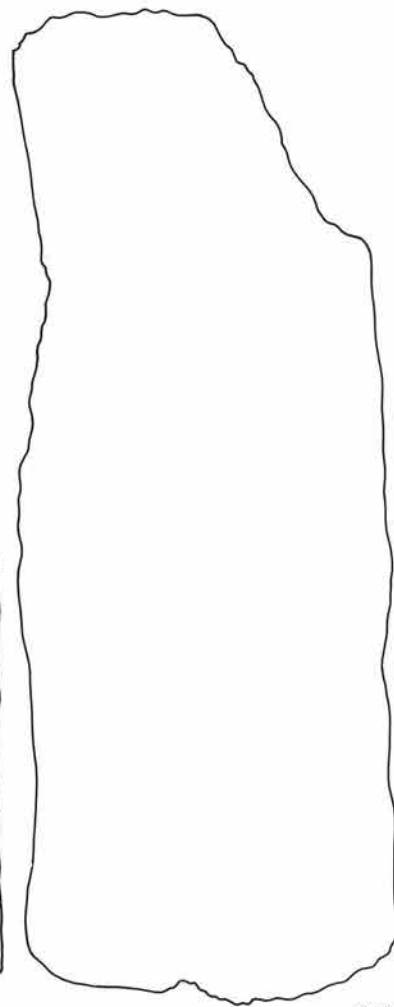
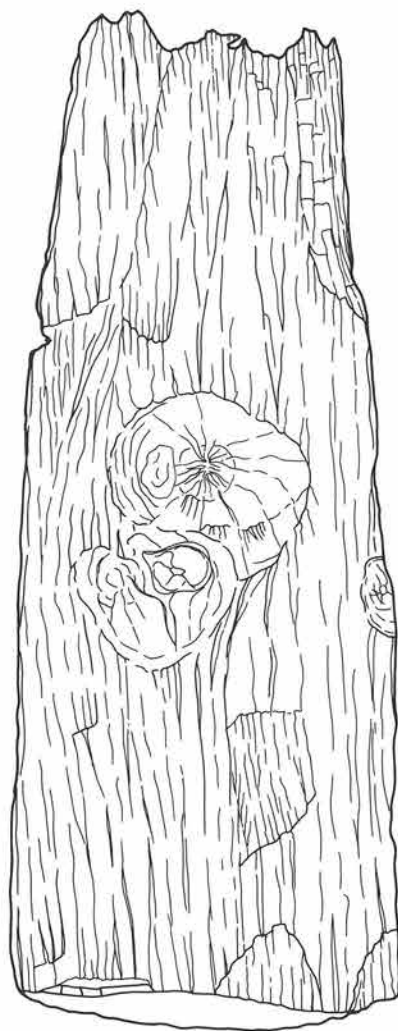
图190 遺構内出土遺物(30)



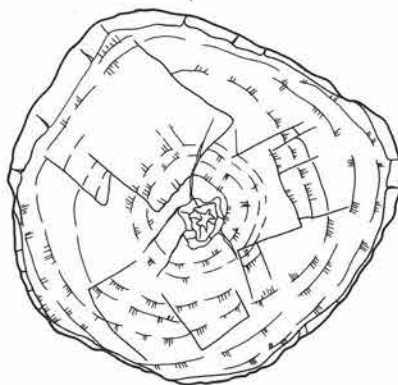
317
第2号溝跡



318
S=1/2
第5号溝跡



319



第9号溝跡



图191 遺構内出土遺物(31)

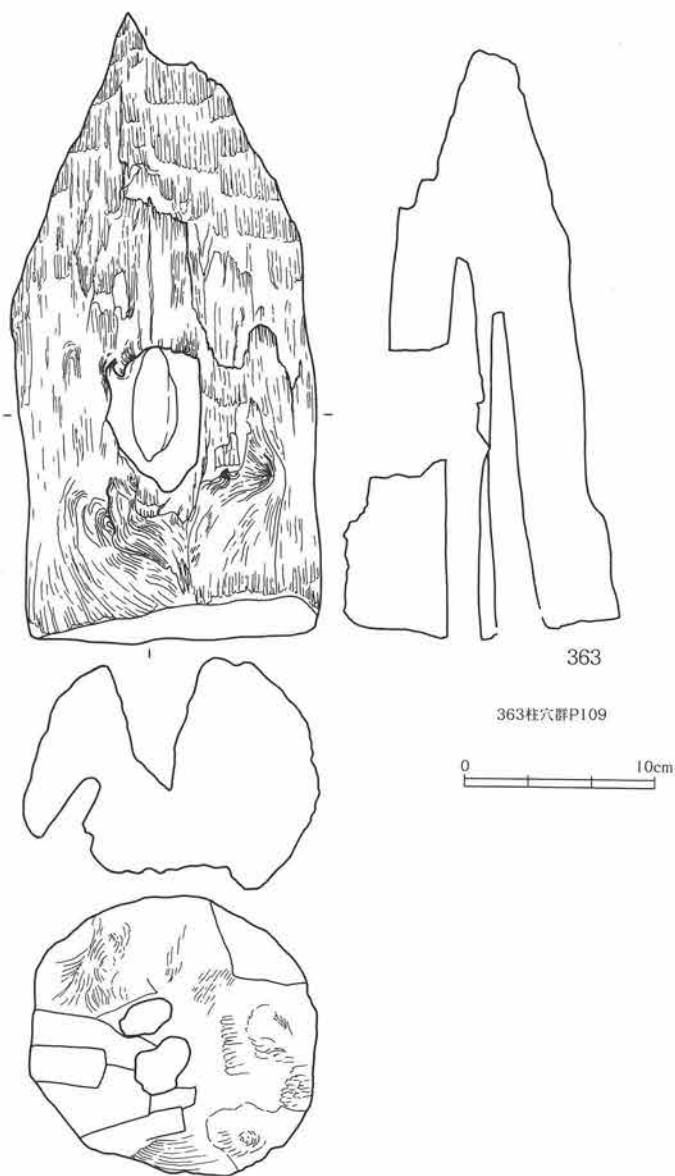


图192 遺構内出土遺物(32)

V 遺構外出土遺物

遺構外からの出土遺物のうち、土器34点、土製品2点、石器7点を掲載した。

1. 土器類 (図192～196、写真図版144～148)

320～326は酸化炎焼成の内面黒色処理された坏である。うち320～322・324は底部が再調整されている。底部切り離し技法はすべて回転系切りである。327～334は内面が黒色処理されない坏で、334には高台が付く。335・336は還元炎焼成の坏で335は還元不足のためくすんだ色調である。底部切り離し技法はいずれも回転系切りである。337～340は酸化炎焼成、ロクロ成形の甕である。340のみロクロ成形後ヘラケズリ調整されている部分が残存している。341は羽釜である。342は酸化炎焼成、非ロクロ成形の甕である。胴部下端から口縁部にかけてヘラケズリ調整されている。343は酸化炎焼成の甕で、内面はヘラナデ・外面はヘラケズリ調整されている。344は還元炎焼成の長頸壺の頸部破片である。345 (346と同一個体と思われる) は還元炎焼成の大甕である。外面はタタキメ調整されている。347～349は還元炎焼成の甕である。349の胴部には下端から外面はヘラケズリ、内面にはヘラナデ調整されている。350～353はいずれも還元炎焼成の大甕の胴部破片である。ほとんどの破片の外面にはタタキ目が見られるが、353のみカキメ調整されている。354・355は複式炉周辺から出土した斧状土製品である。

2. 石器類 (図196、写真図版148)

・剥片石器 (356～359)

356～358は石鏃で、356・357は凸基、358は凹基である。359は携帯用の石器といわれる石匙である。

・礫石器 (360～362)

360・361は石皿である。362は人為的に作られた円形のくぼみがあったため、石器として掲載したが用途等詳細は不明である。

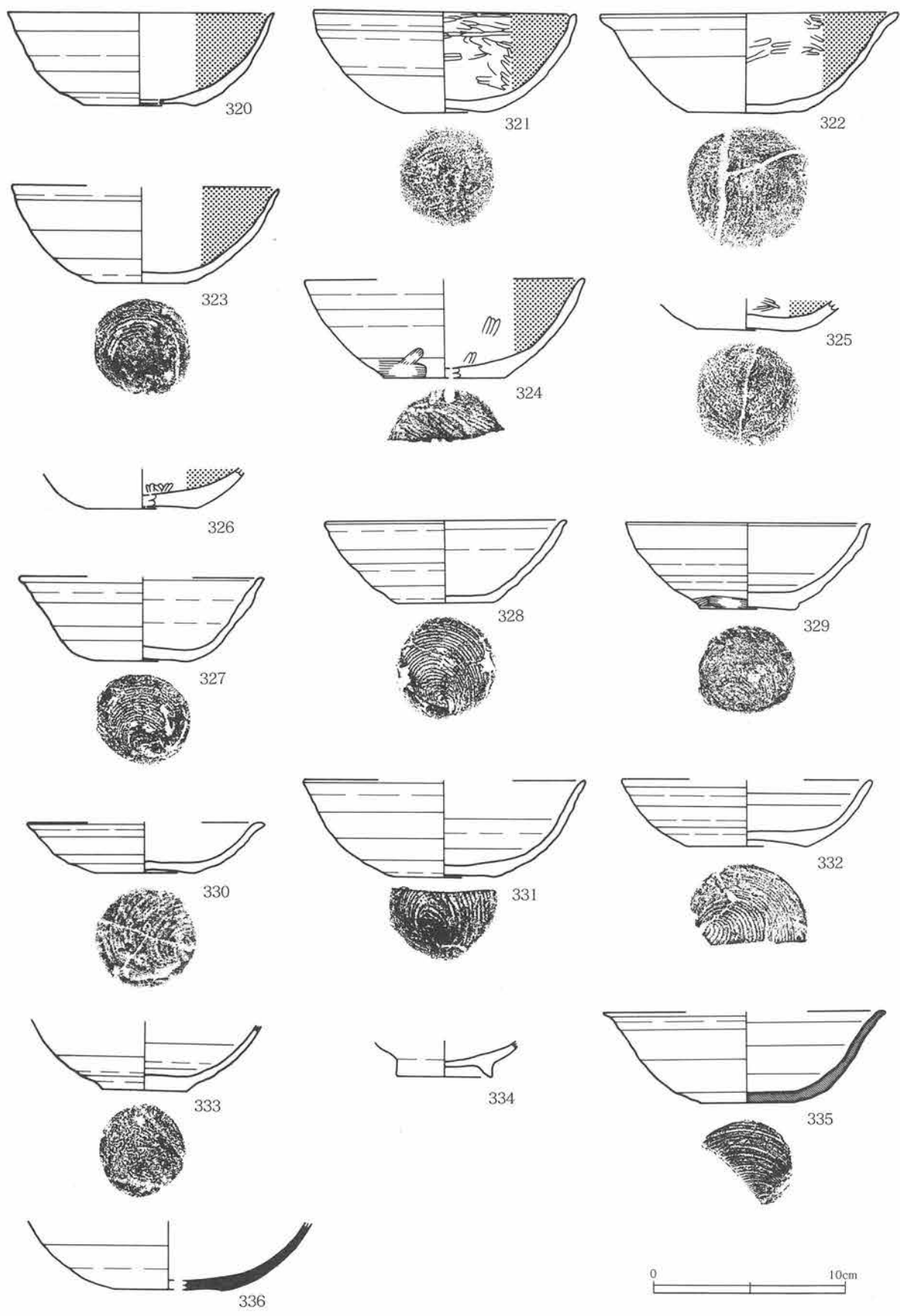


图193 遺構外出土遺物(1)

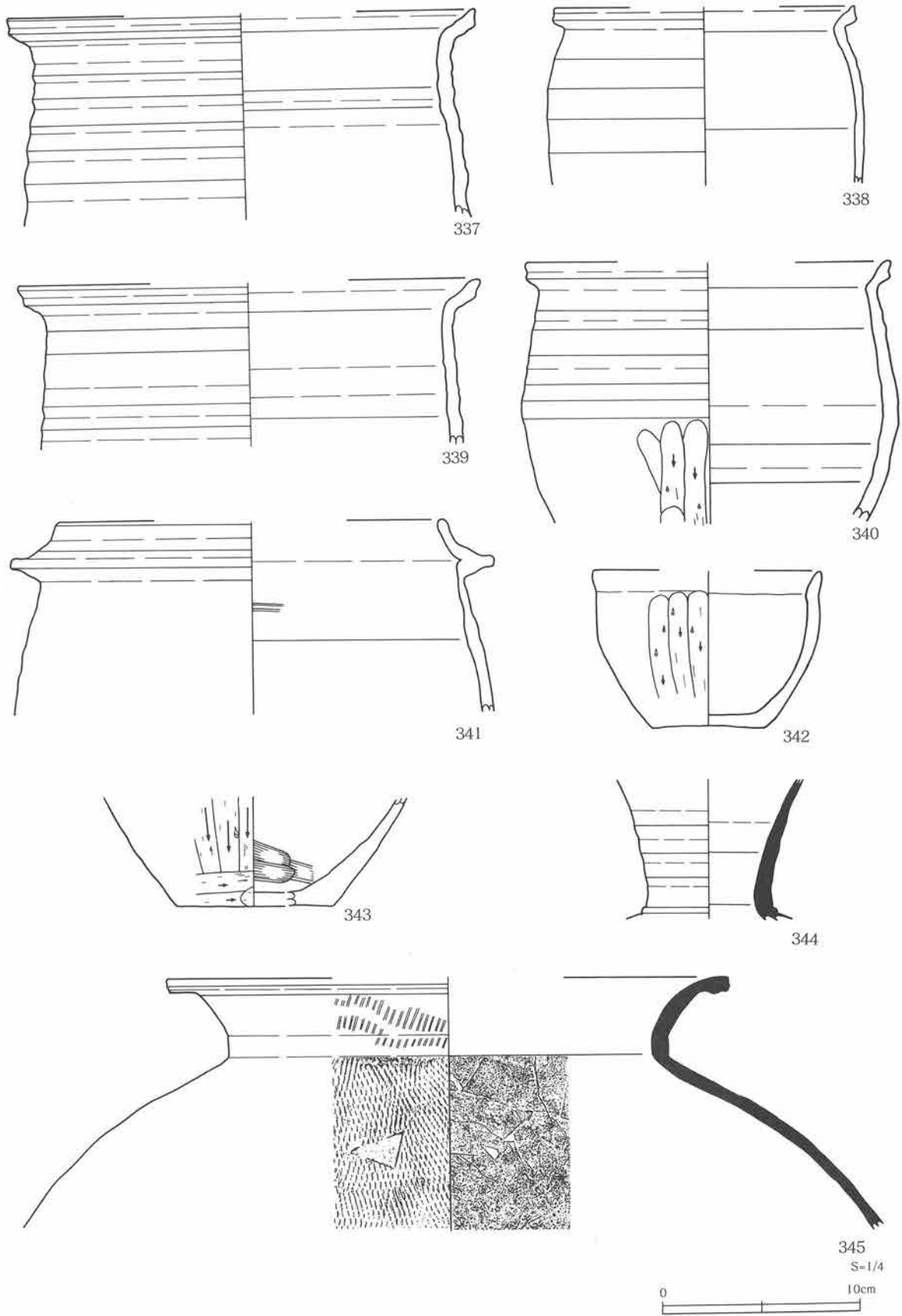
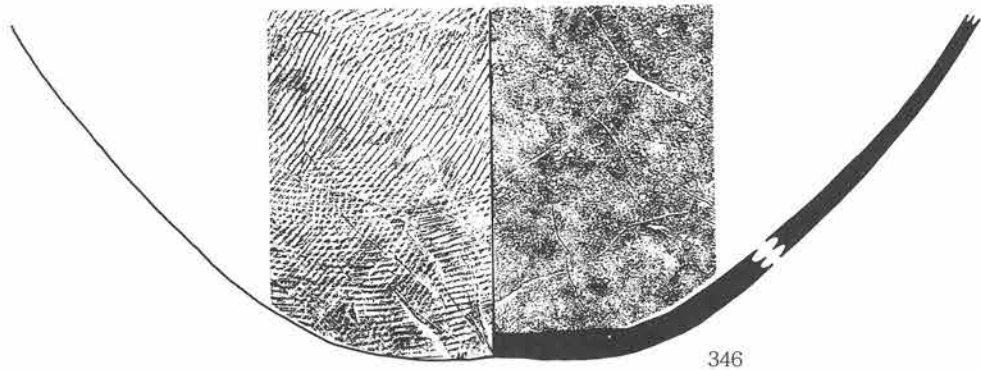
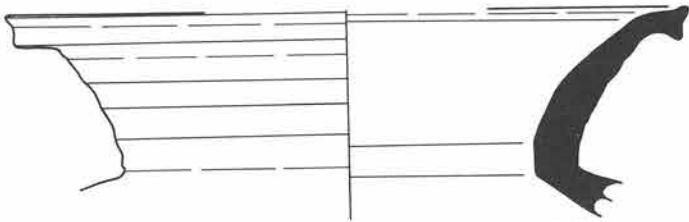


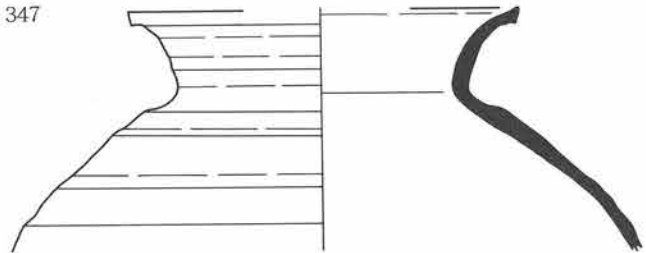
图194 遺構外出土遺物(2)



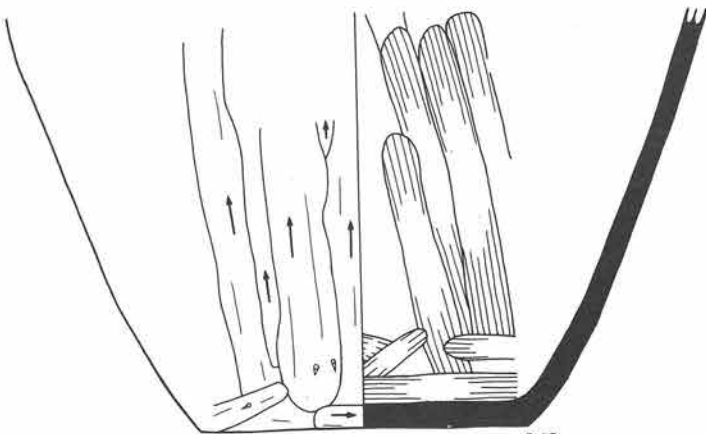
346
S=1/4



347



348



349

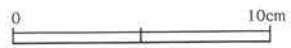
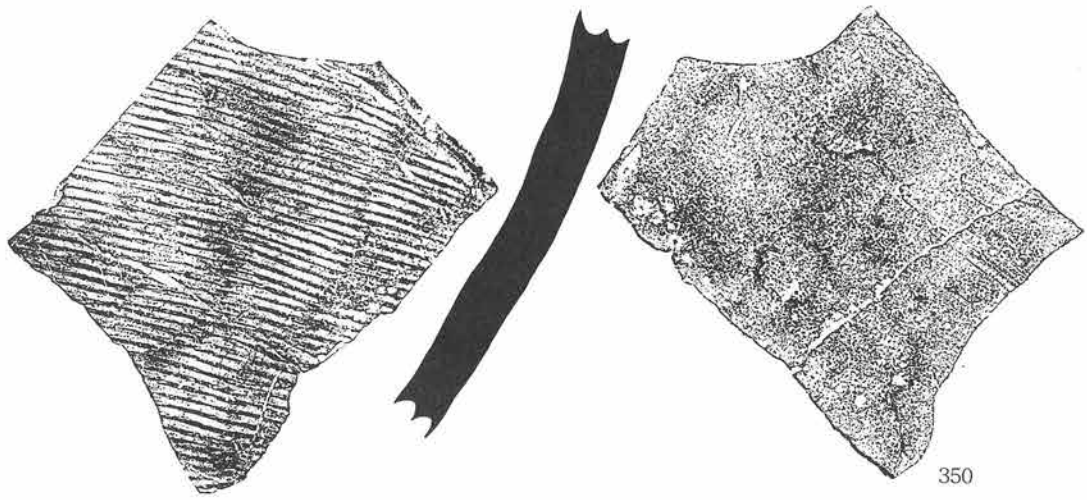
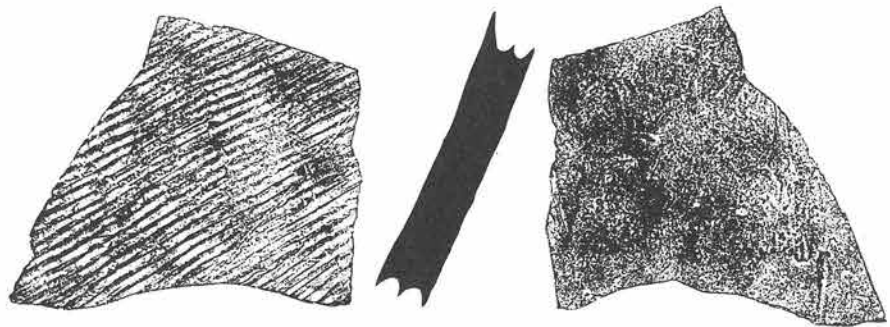


图195 遺構外出土遺物(3)



350

351



352

353

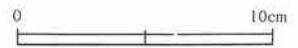


图196 遺構外出土遺物(4)

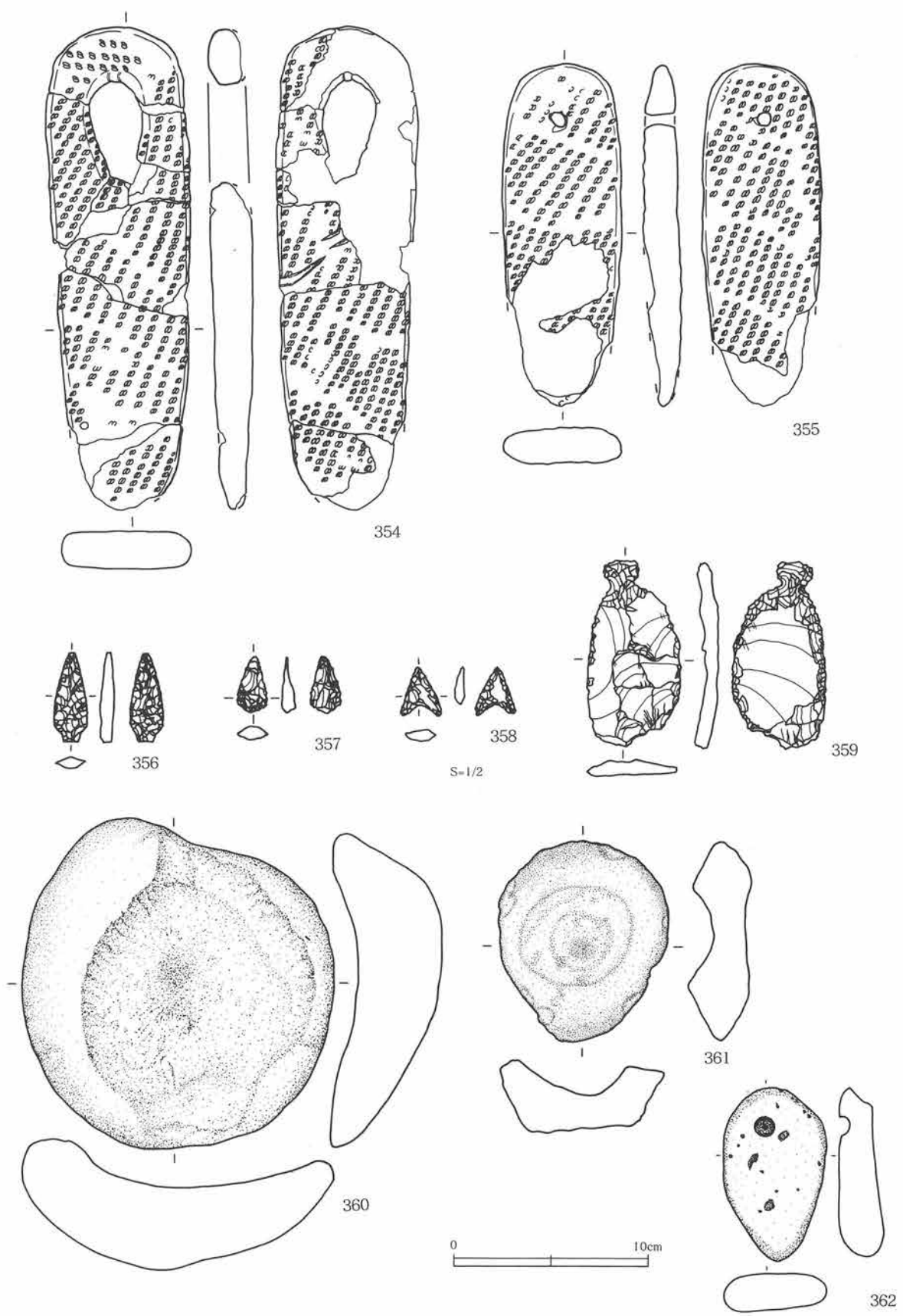


图197 遺構外出土遺物(5)

表2 出土遺物観察表

() 推定値 < > 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
1	第1号住・カマド脇	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り 後胴部下端に 再調整有	(15.0)	6.5	5.1	0.7	A II a	非内黒	117	161
2	第1号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(15.4)	6.6	4.5	0.7	A II b	非内黒	117	161
3	第1号住・カマド脇土坑	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	14.0	(4.5)	4.5	0.6	B I		117	161
4	第1号住・床面	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(12.9)	(4.5)	5.35	0.6	B I	胎土小礫少量含む	117	161
5	第1号住・支脚上	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(15.0)	-	(4.5)	-	A II b	胎土小礫含む。6と同一個体	117	161
6	第1号住・カマド脇土坑	土師器	甕	胴~底部	-	R	-	R/回転系切り	-	8.0	(6.1)	0.7			117	161
7	第1号住・カマド煙道内	土師器	甕	胴部	-	N	-	K→N	-	-	(9.2)	-	A I		117	161
8	第1号住・床面	須恵器	甕	胴部	-	-	-	T	-	-	-	-			117	161
9	第1号住・床直	須恵器	大甕	胴部	-	KK	-	T	-	-	-	-			117	161
10	第1号住・床面	須恵器	大甕	胴部	-	A	-	T	-	-	-	-			118	162
11	第1号住・床面		砥石						長さ20.2	幅5.5	厚さ6.2	重さ918.7g		ホルンフェルス	118	162
12	第2号住・床面	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り	14.9	7.1	4.7	0.5	A I b	内黒、摩滅のため調整 見えず。胎土砂粒含む。	117	162
13	第2号住・床面	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り 後再調整か?	15.3	5.6	5.55	0.6	A I a	内黒、摩滅のため 調整見えず。	117	162
14	第3号住・土坑1埋土	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り	(14.8)	6.2	5.0	0.6	A I b	内黒、胎土小礫含む。	118	162
15	第3号住・カマド脇	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り	(13.9)	(5.5)	4.9	0.6	A I b	内黒、摩滅のため 調整見えず。	118	162
16	第3号住・床面	土師器	坏	胴~底部	-	M	-	R/回転系切り	-	(5.7)	(2.3)	0.6	A I b	内黒	118	162
17	第3号住・埋土	土師器	坏	口~胴部	N→M	M	R	R	(16.0)	(8.2)	(3.9)	0.5		内黒	118	163
18	第3号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	13.6	5.2	4.2	0.6	A II b	非内黒、小礫少量含む。	118	163
19	第3号住・埋土	土師器	坏	胴~底部	-	R	-	R/回転系切り	(12.4)	6.2	(3.1)	0.5	A II b	非内黒、小礫少量含む。	118	163
20	第3号住・カマド燃焼土	土師器	坏	口~胴部	R	R	R	R	(14.8)	-	(4.3)	-		非内黒	118	163
21	第3号住・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y→N	N	Y	N	(17.8)	-	(7.4)	-	A I		118	163
22	第3号住・Pit2埋土	土師器	甕	口~胴部	Y→N	N	Y	N	(16.6)	-	(9.1)	-	A I		118	163
23	第3号住・カマド上	土師器	甕	胴~底部	-	N	-	N	-	(11.4)	(5.6)	0.9	A I	胎土小礫含む。	118	163
24	第3号住・Pit2埋土	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(24.7)	-	(14.7)	-	A II b	胎土小礫少量含む。	119	163
25	第3号住・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y	N	Y	N	(19.0)	-	(17.8)	-	A I		119	163
26	第3号住・カマド上	土師器	甕	口~底部	R	R	R	R→K	(25.9)	10.0	30.9	0.8	A II a	胎土小礫含む。	119	163
27	第3号住・埋土	須恵器	大甕	胴部	-	A	-	T	-	-	-	-			120	164
28	第3号住・床面	須恵器	大甕	胴部	-	-	-	T	-	-	-	-			120	164
29	第4号住・埋土	土師器	高台付坏	口~底部	M	M	R	R/高台切切り 離し技法不明	(16.0)	8.0	7.15	0.7	A I c	内黒、胎土砂粒混じり。	120	164
30	第4号住・埋土	石器	石鏃						長さ2.9	幅1.8	厚さ0.65	重さ1.9g		頁岩	120	164
31	第5号住・埋土	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り	14.1	5.2	5.4	0.6	A I b	内黒	120	164
32	第5号住・埋土	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り ヘラの再調整	12.6	5.6	4.75	0.6	A I a	内黒	120	164
33	第5号住・埋土	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り	(13.9)	(5.5)	4.5	0.6	A I b	内黒、摩滅のため 調整見えず。	121	164
34	第5号住・カマド内	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り	(14.9)	(6.2)	4.7	0.5	A I b	内黒	121	164
35	第5号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(19.1)	7.5	5.4	0.7	A II b	非内黒	121	165
36	第5号住・カマド内	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.5)	5.2	5.0	0.5	A II b	非内黒	121	165
37	第5号住・埋土	土師器	坏	胴~底部	-	R	-	R/回転系切り	-	5.8	(2.5)	0.6	A II b	非内黒	121	165
38	第5号住・床面	土師器	坏	口~胴部	R	R	R	R	(15.4)	-	(4.3)	-		非内黒	121	165
39	第5号住・埋土	土師器	坏	口~胴部	R	R	R	R	(15.0)	-	(3.6)	-		非内黒	121	165
40	第5号住・カマド脇	土師器	坏	底部	-	-	-	回転系切り	-	6.7	(0.7)	0.6	A II b	非内黒	121	165

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 く 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
41	第5号住・埋土	須恵器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	(6.0)	(2.9)	0.7	B II	還元不足	121	165
42	第5号住・埋土	土師器	甕	口～胴部	Y	N・H	Y→K	K	(25.6)	—	(11.7)	—	A I		121	165
43	第5号住・床面	土師器	甕	口～胴部	Y	H	Y→N・H	N	(19.1)	—	(8.6)	—	A I		121	165
44	第5号住・カマド付近	土師器	甕	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	(11.3)	7.0	(4.2)	0.6	A II b	胎土小礫含む。	121	165
45	第5号住・埋土	須恵器	甕	胴部	—	KK	—	T	—	—	—	—		121	165	
46	第6号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	M	—	R/回転系切り	—	5.6	(3.5)	0.6	A I b	内黒、胎土砂粒含む。	122	166
47	第6号住・埋土	土師器	坏	口～底部	M?	M?	R	R/回転系切り	(13.6)	5.7	4.6	0.7	A I b	内黒、摩滅のため 調整見えず。	122	166
48	第6号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	M?	M?	R	R/回転系切り	—	6.6	(3.0)	0.6	A I b	内黒	122	166
49	第6号住・床面	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	(6.0)	(3.0)	0.4	A II b	非内黒	122	166
50	第6号住・カマド内	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	5.3	(1.6)	0.6	A II b	非内黒	122	166
51	第6号住・埋土	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(12.5)	(5.0)	5.2	0.7	A II b	非内黒	122	166
52	第6号住・埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	14.9	5.2	5.1	0.7	B I		122	166
53	第6号住・埋土	土師器	甕	口～胴部	R	R	R	R	(20.5)	—	(10.2)	—	A II b		122	166
54	第6号住・床面	土師器	甕	口～胴部	Y	—	Y	—	(21.5)	—	(5.7)	—	A I		122	166
55	第6号住・埋土	土師器	甕	口～胴部	Y	N	Y→N	N	(20.7)	—	(6.8)	—	A I		122	166
56	第6号住・埋土	土師器	甕	口～胴部	Y	N	Y	N	(14.8)	—	(8.0)	—	A I		122	166
57	第6号住・カマド内	土師器	甕	胴～底部	—	N	—	N	—	13.1	(7.7)	—	A I	内部底部ハケム調整有り。	122	166
58	第6号住・埋土	須恵器	甕	胴部	—	—	—	T	—	—	—	—		123	166	
59	第6号住・Pit3埋土	石器	磨・敲石						長さ9.0	幅8.4	厚さ4.7	重さ440.8g		安山岩	123	167
60	第6号住・Pit3埋土	石器	磨・敲石						長さ10.2	幅7.9	厚さ6.1	重さ567.6g		安山岩	123	167
61	第6号住・Pit3埋土	石器	砥石						長さ6.0	幅3.1	厚さ1.5	重さ29.5g		凝灰岩	122	166
62	第7号住・埋土	土師器	坏	口～底部	M	M	R→M	R/回転系切り後 ヘラの再調整	(18.0)	(7.6)	(5.0)	0.5	A I a	内外黒色処理	123	167
63	第7号住・埋土	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り後 指ナデによる 再調整	15.4	5.1	5.2	0.7	A I a	内黒、調整丁寧	123	167
64	第7号住・埋土	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.7)	5.2	(4.6)	0.4	A II b	非内黒	123	167
65	第7号住・埋土	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.0)	5.6	5.1	0.5	A II b	非内黒	123	167
66	第7号住・床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(15.0)	4.9	4.95	0.6	A II b	非内黒	123	167
67	第7号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	5.9	(3.9)	0.7	A II b	非内黒	123	167
68	第7号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	5.8	(2.9)	—	A II b	非内黒	123	167
69	第7号住・埋土	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り後 胴部下端に 再調整有り	15.3	5.6	4.6	0.5	A II b	非内黒	123	167
70	第7号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	6.2	(3.1)	0.6	A II b	非内黒	123	168
71	第7号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	5.3	(2.2)	0.5	A II b	非内黒	123	168
72	第7号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	5.7	(3.7)	0.5	A II b	非内黒	123	168
73	第7号住・埋土	土師器	高台付坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	15.1	—	(5.8)	0.5	A I c	内外黒色処理、 高台部欠損	124	168
74	第7号住・埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	15.1	4.9	4.75	0.7	B II	還元不足	124	168
75	第7号住・埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.4)	5.7	4.7	0.4	B I	外面底部ヘラによる 調整の後、指ナデに よる調整痕有り。	124	168
76	第7号住・埋土	土師器	甕	口～胴部	R	R	R	R→H	(24.4)	—	(12.3)	—	A II a		124	168

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 < > 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
77	第7号住・埋土	土師器	甕	胴～底部	—	N	—	K/砂底	—	10.4	<9.6>	0.9	A I	砂底土器	124	168
78	第7号住・埋土	土師器	甕	胴～底部	—	H	—	K	—	(11.8)	<4.8>	—	A I		124	168
79	第7号住・支脚土器	土師器	鉢	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(10.8)	7.1	10.3	0.4	A II b		124	168
80	第7号住・床面	須恵器	甕	口～頸部	R	R	R	R	<19.0>	—	<7.9>	—	B		124	168
81	第7号住・埋土	土製品	土鏝						長さ6.4	幅1.6	厚さ1.6	重さ5.7g			124	168
82	第8号住・カマド脇	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	15.1	5.6	4.65	0.6	A II b	非内黒	124	169
83	第8号住・カマド脇	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(16.3)	5.1	5.4	0.5	A II b	非内黒	124	169
84	第8号住・床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(16.2)	(6.0)	4.9	0.4	A II b	非内黒	124	169
85	第8号住・煙出口	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.1)	(5.6)	4.25	0.5	A II b	非内黒	124	169
86	第8号住・床面	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.2)	5.2	5.3	0.7	cm II	還元不足	125	169
87	第8号住・カマド脇	土師器	甕	口～胴部	R	R	R	R	(15.3)	—	(8.1)	—	A II b	胎土小礫含む。	125	169
88	第8号住・カマド脇	土師器	甕	口～胴部	R	R	R	R	(23.9)	—	(12.7)	—	A II b		125	169
89	第8号住・煙出口	土師器	甕	口～胴部	R	R	R	R/K	(22.8)	—	(20.5)	—	A II a		125	169
90	第8号住・煙出口	土師器	甕	口～胴部	Y	N	Y→N	K	(20.6)	—	<27.4>	—	A I	胎土小礫含む。	125	170
91	第9号住・埋土	土師器	甕	胴～底部	—	N	—	K?	—	(12.3)	<5.3>	0.8	A I	砂粒少量含む。摩滅のため調整見えず。	125	170
92	第10号住・埋土	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	(12.8)	5.1	4.9	0.5	A II a	非内黒	125	170
93	第10号住・埋土	土師器	甕	口～胴部	R	R	R	R	(27.1)	—	(8.6)	—	A II b		125	170
94	第10号住・埋土	土師器	甕	口～胴部	R	R	R	R→N・K	(21.5)	—	<13.6>	—	A II a	胎土小礫少量含む。	126	170
95	第10号住・埋土	須恵器	甕	口～胴部	—	N	—	K	—	(10.8)	—	0.6	B		126	170
96	第13号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	6.1	<4.7>	0.5	A II b	非内黒	126	171
97	第13号住・埋土	須恵器	甕	胴～底部	—	N	—	K/回転系切り後 指ナデ調整?	—	(10.8)	<7.7>	0.9	B		126	171
98	第13号住・埋土	石器	磨・敲石						長さ9.1	幅8.2	厚さ6.6	重さ441.0g		凝灰岩	126	171
99	第14号住・Pit1埋土	土師器	坏	口～底部	M?	M	R	R/回転系切り	(14.6)	(5.6)	4.9	0.5	A I b	内黒	126	171
100	第14号住・Pit1埋土	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り	(14.4)	(6.0)	4.9	0.6	A I b	内黒	126	171
101	第14号住・Pit1埋土	土師器	坏	胴～底部	—	M	—	R/回転系切り	—	5.4	<1.8>	0.6	A I b	内黒	126	171
102	第14号住・Pit1埋土	土師器	坏	胴～底部	—	M	—	R/回転系切り	—	5.2	<1.3>	0.6	A I b	内黒	126	171
103	第14号住・Pit1埋土	土師器	坏	口～胴部	R	R	R	R	(14.3)	—	<4.6>	—		非内黒	126	171
104	第14号住・Pit1埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R・胴部下端ヘラ の再調整/回転系切り 後ヘラの再調整	—	4.8	<3.4>	0.6	A II a	非内黒	126	171
105	第14号住・Pit1埋土	土師器	甕	口～胴部	Y	R	Y	R→K	(24.6)	—	<15.4>	—	A II a	胎土砂粒含む。	126	171
106	第14号住・Pit2埋土	須恵器	大甕	胴部	—	A	—	T	—	—	—	—			127	172
107	第15号住・埋土	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	14.3	6.4	4.7	0.8	A I a	内黒	126	172
108	第15号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	M	—	R/回転系切り	—	(6.4)	<2.8>	0.4	A I b	内黒	126	172
109	第15号住・埋土	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.4)	(6.0)	5.3	0.5	A II b	非内黒、底部切り離し 後粗い調整有り。	127	172
110	第15号住・埋土	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り	—	5.8	<1.4>	0.6	A II b	非内黒	127	172
111	第15号住・埋土	石器	搔器						長さ4.0	幅4.4	厚さ1.15	重さ17.8g		頁岩	127	172
112	第15号住・埋土	石製品	石皿						長さ9.4	幅8.1	厚さ3.1	重さ251.9g		安山岩	127	172
113	第16号住・床面	土師器	坏	胴～底部	—	R	—	R/回転系切り後 指ナデ調整	—	6.2	<3.5>	0.6	A II a	非内黒	127	172

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 () 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
114	第16号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.2)	5.7	4.6	0.6	A II b	非内黒	127	172
115	第16号住・床面	土師器	坏	完形	R	R	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	14.4	6.2	4.8	0.6	A II a	非内黒、胎土砂粒 含む。	127	172
116	第16号住・床面	土師器	坏	胴~底部	R	R	R	R/回転系切り	-	(6.0)	(3.2)	0.5	A II b	非内黒、底部わずかに 系切り痕有り。	127	172
117	第16号住・床面	土師器	坏	胴~底部	R	R	R	R/回転系切り	-	5.4	(1.0)	0.7	A II b	非内黒	127	173
118	第16号住・埋土	土製品	坏	胴~底部	R	R	R	R/回転系切り	-	6.4	(2.2)	0.7	A II b	非内黒	127	173
119	第16号住・土坑1埋土	須恵器	甕	胴部	-	KK	-	T	-	-	-	-			127	173
120	第17号住・埋土	土師器	坏	胴~底部	-	M	-	R/回転系切り?	-	(5.6)	(4.2)	0.5	A I b	内黒、底部の切り離し 技法は摩滅のため明確 ではない。	127	173
121	第17号住・土坑1埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	14.6	6.0	4.4	0.4	A II b	非内黒、胎土少量砂 粒含む。	127	173
122	第17号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り?	(15.0)	(6.4)	5.1	0.5	A II b	非内黒、底部の切り 離し技法は摩滅のため 明確ではない。	128	173
123	第17号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	13.8	5.4	4.5	0.5	A II b	非内黒	128	173
124	第17号住・埋土	土師器	坏	口~胴部	R	R	R	R	(14.7)	-	(3.5)	-		非内黒	128	173
125	第17号住・埋土	土師器	高台付坏	底部	-	-	-	R/ヘラの先端 による再調整	-	-	-	-	A I c	内部、摩滅のため調 整見えず。	128	173
126	第17号住・埋土	土師器	高台付坏	底部	-	-	-	R→K/回転系切り	-	(7.8)	(1.7)	0.9	A I c	内黒	128	173
127	第17号住・カマド脇	土師器	甕	胴~底部	-	N	-	K/砂底	-	8.6	(4.1)	0.5	A I	砂底土器、胎土小礫 含む。	128	173
128	第17号住・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y	R	Y	R→K	(16.2)	-	(12.2)	-	A II a		128	173
129	第17号住・埋土	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(14.8)	-	(7.5)	-	A II b		128	173
130	第17号住・カマド脇	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(22.2)	-	(10.5)	-	A II b		128	173
131	第17号住・埋土	須恵器	甕	胴~底部	-	R	-	K	-	14.8	(4.9)	1.2	B	132と同一個体	128	173
132	第17号住・埋土	須恵器	甕	口~胴部	R	R	R	K	(21.4)	-	(22.9)	-			128	174
133	第18号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.4)	5.8	5.2	0.6	A II b	非内黒	129	174
134	第18号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.8)	5.6	5.0	0.7	A II b	非内黒、胎土小礫少量 含む。	129	174
135	第18号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(12.8)	(5.0)	5.4	0.6	A II b	非内黒	129	174
136	第18号住・埋土	土師器	高台付坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	14.2	7.3	6.2	0.7	A I c	内黒、摩滅のため調 整見えず。	129	174
137	第18号住・埋土	土師器	高台付坏	胴~底部	-	M	-	R/回転系切り	-	(7.0)	(2.7)	0.5	A I c	内黒、高台部部分的に欠損	129	174
138	第18号住・埋土	須恵器	坏	口~胴部	R	R	R	R	(13.6)	-	(4.2)	-			129	174
139	第18号住・埋土	土師器	甕	胴~底部	-	-	-	-	-	(9.8)	(1.7)	0.7	A II b?	胎土小礫含む。	129	174
140	第18号住・土坑2埋土	土師器	甕	胴~底部	-	-	-	R/回転系切り	-	7.2	(5.0)	0.7	A II b	胎土小礫含む、摩滅の ため調整痕見えず。	129	174
141	第18号住・埋土	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(18.8)	-	(5.6)	-	A II b	胎土小礫含む。	129	174
142	第18号住・土坑2埋土	須恵器	甕	胴部	-	A	-	T	-	-	-	-			129	174
143	第19号住・埋土	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R・胴部下端 ヘラの再調整/R/回 転系切り後ヘラ の再調整	(14.0)	5.4	4.6	0.5	A I a	内黒、摩滅のため 調整見えず。	129	175

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 () 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
144	第19号住・埋土	土師器	坏	口～胴部	M?	M?	R	R	(14.0)	(6.0)	4.3	—		内黒、摩滅のため調整見えず。	129	175
145	第20号住・埋土	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R・胴部下端ヘラの再調整/回転系切り後ヘラの再調整	15.5	6.7	4.9	0.6	A I a	内外黒色処理	129	175
146	第20号住・埋土	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	(14.0)	8.6	3.6	0.5	A I a	内外黒色処理	129	175
147	第20号住・Pit1埋土	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り	(14.8)	(5.0)	4.8	0.6	A I b	内黒とび	130	175
148	第20号住・Pit1埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.9)	(5.4)	5.2	0.8	B II	還元不足	130	175
149	第20号住・埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(16.0)	6.1	4.3	0.7	B I		130	175
150	第20号住・カマド内	土師器	甗	口～胴部	R	K			(19.6)	—	(12.8)	—	A II a		130	175
151	第20号住・カマド内	土師器	鉢	口～底部	R	R	R	R/K	12.5	6.4	11.3	0.7	A II a		130	175
152	第20号住・カマド内	土師器	甗	口～胴部	Y	R	Y	N	(16.8)	—	(13.5)	—	A II a		130	175
153	第20号住・カマド内	土師器	甗	口～胴部	Y	N	Y	K	(21.8)	—	(17.4)	—	A II a	胎土小礫含む。	130	175
154	第20号住・床面	土師器	甗	口～胴部	R	N	R	K	16.6	—	(23.0)	—	A II a		130	176
155	第20号住・埋土	須恵器	大甗	胴～底部	—	A	—	KK	—	—	(21.1)	0.9	A II a		131	176
156	第21号住・Pit1埋土	土師器	坏	完形	M	M	R	R・胴部下端ヘラの再調整/回転系切り後ヘラの再調整	14.5	5.8	5.3	0.9	A I a	内黒	131	176
157	第21号住・Pit1埋土	土師器	坏	完形	R	R	R	R/回転系切り	14.3	4.8	5.4	1.0	A II b	非内黒	131	176
158	第21号住・カマド内	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R・胴部下端ヘラの再調整/回転系切り後ヘラの再調整	14.0	6.3	4.8	0.5	A II a	非内黒	131	176
159	第21号住・床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	14.6	4.8	5.3	1.0	A II a	非内黒	131	177
160	第21号住・カマド内	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	14.6	6.1	4.9	0.5	A II b	非内黒	131	177
161	第21号住・床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	14.2	7.1	4.1	0.5	A II a	非内黒	131	177
162	第21号住・カマド内	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	13.6	(5.6)	4.1	0.6	A II b	非内黒	131	177
163	第21号住・床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(12.2)	6.4	4.6	0.5	A II b	非内黒	131	177
164	第21号住・床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	13.9	5.6	4.7	0.7	A II a	非内黒	131	177
165	第21号住・Pit1埋土	土師器	高台付坏	口～底部	M?	M?	R	R/回転系切り後再調整	15.2	7.8	4.7	0.6	A I c	内黒(内面調整摩滅のため見えず)	131	177
166	第21号住・Pit1埋土	土師器	高台付坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	15.2	(5.7)	(3.1)	0.3	A I c	高台部欠損、内黒	132	177
167	第21号住・カマド内	土師器	高台付坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	21.7	10.1	7.6	0.5	A II c	非内黒	132	177
168	第21号住・埋土	須恵器	坏	完形	R	R	R	R/回転系切り	14.3	5.6	5.1	0.6	B II	墨書土器・還元不足	132	177
169	第21号住・埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	16.1	(6.6)	5.3	0.9	B II	還元不足	132	177
170	第21号住・床面	土師器	甗	口～底部	Y		Y	R→N	21.5	9.1	18.5	1.1	A II a		132	177
171	第21号住・カマド内	土師器	甗	口～底部	Y	N	R	R	(15.9)	(6.8)	13.5	1.1	A II a		132	177
172	第21号住・埋土	土師器	甗	口～胴部	Y	H	Y	N	(24.2)	—	(15.9)	—	A I	胎土小礫含む。	132	178
173	第21号住・埋土	土師器	甗	口～底部	Y	N	Y	N	14.9	8.8	15.2	0.8	A I		132	178
174	第21号住・埋土	土師器	甗	口～胴部	Y	N	Y		14.2	—	9.4	—	A I		133	178

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 < > 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
175	第21号住・埋土	土師器	鉢	口~底部		H			11.3	6.6	8.9	1.5	A I	胎土小礫含む。	133	178
176	第22号住・埋土	土師器	坏	口~底部			R	R/回転系切り	14.2	5.8	4.8	0.7	A II b	摩滅のため内面調整見えず。	133	178
177	第22号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	13.6	5.4	5.1	0.5	A II b		133	178
178	第22号住・カマド内	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	-	(24.1)	-	(11.4)	-	A II b	胎土小礫含む。	133	178
179	第22号住・カマド内	土師器	甕	胴~底部	-	-	-	K	-	11.5	(16.3)	-		178と同一個体	133	178
180	第23号住・Pit1埋土	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り	(14.4)	6.1	4.6	0.5	A I b	内黒	133	179
181	第23号住・Pit1埋土	土師器	坏	口~胴部	M	M	R	R	(15.0)	-	(4.4)	-		内黒	133	179
182	第23号住・埋土	土師器	坏	口~胴部	R	R	R	R	(15.0)	-	(4.8)	-		非内黒	133	179
183	第23号住・Pit1埋土	土師器	高台付坏	胴~底部	-	M	-	R/回転系切り後 ヘラの再調整	-	5.1	(2.2)	0.6	A I c	内外黒色処理	133	179
184	第23号住・Pit1床直	土師器	高台付坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	14.5	6.5	3.5	0.7	A II c	非内黒	133	179
185	第23号住・埋土	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.2)	6.5	4.7	0.5	B II	還元不足	133	179
186	第23号住・Pit1埋土	須恵器	坏	胴~底部	R	R	R	R/回転系切り	15.7	6.6	5.2	0.6	B II	還元不足	133	179
187	第23号住・床面	土師器	甕	口~胴部	Y		Y	K	(39.1)	-	(21.1)	-	A I		134	179
188	第23号住・カマド土	土師器	甕	口~胴部		N	Y	N	(15.4)	-	(10.1)	-	A I		134	179
189	第23号住・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y	H	Y	N	(30.0)	-	(14.0)	-	A I		134	179
190	第23号住・焼土上	土師器	甕	胴~底部	-		-	K	-	8.6	(12.1)	-	A I		134	179
191	第24号住・Pit1	土師器	坏	口~底部	M?	M	R	R/回転系切り	(14.3)	4.2	5.3	0.6	A I b	内黒	134	180
192	第24号住・カマド内	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り	(14.4)	5.6	4.2	0.5	A I b	内黒	135	180
193	第24号住・埋土	土師器	坏	口~底部	M?	M	R	R/胴部下端ヘラの 再調整/回転系切 り後ヘラの再調整	14.1	6.3	5.8	0.6	A I a	内黒。摩滅のため調 整が見えない部分有 り。	135	180
194	第24号住・埋土	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	(13.3)	5.4	5.1	0.5	A I a	内黒。摩滅のため内 面調整見えず。	135	180
195	第24号住・カマド脇	土師器	坏	胴~底部	-	M?	-	R/回転系切り	-	4.7	(3.2)	0.6	A I b	内黒。摩滅のため内 面調整見えず。	135	180
196	第24号住・Pit2埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(15.6)	7.3	5.5	0.5	A II b	非内黒。底部2/3剥落	135	180
197	第24号住・Pit1埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(19.1)	(7.0)	6.1	0.5	A II b	非内黒	135	180
198	第24号住・Pit1埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	14.7	5.2	5.3	0.6	A II b	非内黒	135	180
199	第24号住・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(10.7)	(6.5)	1.6	0.4	A II b	非内黒	135	180
200	第24号住・カマド内	土師器	坏	胴~底部	-	R	-	R/回転系切り	-	6.3	(3.2)	0.7	A II b	非内黒	135	180
201	第24号住・埋土	土師器	高台付坏	口~底部	M	M	M	R/回転系切り後 ヘラの再調整	(13.4)	4.5	5.1	0.8	A I c	内外黒色処理	135	180
202	第24号住・埋土	土師器	高台付坏	胴~底部	-	M?	-	R/回転系切り?	-	6.2	(2.1)	0.5	A I c	内黒、摩滅のため調 整見えず。	135	180
203	第24号住・カマド内	土師器	高台付坏	胴~底部	-	M?	-	R/回転系切り後 再調整	-	(6.4)	(3.1)	0.7	A I c	内黒、摩滅のため調 整見えず。	135	180
204	第24号住・カマド内	土師器	高台付坏	胴~底部	-	R?	-	R/回転系切り? の後再調整	-	5.9	(1.6)	0.6	A II c		135	180
205	第24号住・Pit5床面	土師器	高台付坏	胴~底部	-	R	-	R/回転系切り? の後再調整	-	7.3	2.5	0.8	A II c		135	180
206	第24号住・カマド	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(15.2)	(6.4)	5.6	0.6	B II	還元不足	135	180
207	第24号住・埋土	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(10.7)	4.5	2.8	0.4	B II	還元不足	135	180
208	第24号住・Pit2埋土	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.9)	(5.0)	4.2	0.7	B I		135	180

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 < > 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
209	第24号住・カマド脇	須恵器	坏	口～胴部	R	R	R	R	(14.2)	—	<4.3>	—	B I		135	181
210	第24号住・土坑2埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.8)	(5.0)	4.1	0.5	A I		135	181
211	第24号住・土坑2埋土	土師器	甗	口～胴部	Y	—	Y	—	14.3	—	<11.6>	—	A I	胎土砂粒混じり、摩滅のため胴部調整見えず。	136	181
212	第24号住・Pit2埋土	土師器	甗	口～底部	一部N	N	一部N	N	30.6	(11.0)	28.1	1.1	A I		136	181
213	第24号住・カマド	土師器	甗	口～胴部	Y	—	Y	K	(26.0)	—	<14.2>	—	A I		136	181
214	第24号住・カマド内	土師器	甗	胴～底部	—	N	—	K→一部N	—	9.8	<11.7>	0.7	A I	胎土小礫含む。	136	181
215	第24号住・埋土	土師器	甗	口～胴部	Y	—	Y	K	(25.8)	—	<10.4>	—	A I		136	181
216	第24号住・埋土	土師器	甗	口～胴部	R	—	R	R	(21.7)	—	<4.9>	—	A II b	胎土小礫少量含む。	136	182
217	第24号住・床面	須恵器	大甗	胴～底部	—	A	—	KK	—	3.5	<12.0>	1.5			137	182
218	第24号住・床面	土師器	耳皿	口～底部	M?	R	M?	R/回転系切り後再調整	10.1	4.1	3.5	1.5		内外黒色処理	137	181
219	第24号住・埋土	土製品	土鍾						長さ(4.9)	幅(2.3)	厚さ(2.15)	重さ(18.7g)			137	181
220	第24号住・床面	石器	磨・敲石						長さ(8.5)	幅(7.5)	厚さ(6.2)	重さ(487.0g)		安山岩	137	182
221	第24号住・床面	石器	石皿?						長さ(14.0)	幅(9.1)	厚さ(2.7)	重さ(294.4g)		凝灰岩	137	182
222	第24号住・鉄1	鉄製品	刀子						長さ(10.5)	幅(3.4)	厚さ(1.8)				137	182
223	第24号住・鉄2	鉄製品	刀子?						長さ(15.1)	幅(2.7)	厚さ(1.9)				137	182
224	第25号住・Pit2埋土	土師器	坏	口～底部	—	—	R	R/回転系切り?の後再調整	(13.9)	5.6	5.2	0.6	A I a	内黒、摩滅のため調整見えず。	137	182
225	第25号住・床面	土師器	坏	口～底部	M?	M	R	R/回転系切り	15.3	6.8	4.5	0.5	A I b	内黒	137	182
226	第25号住・Pit1床面	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り	13.4	7.3	4.2	0.5	A I b	内黒、系切り後粗い調整	137	182
227	第25号住・Pit1床面	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り	(15.7)	7.9	4.5	0.4	A I b	内黒、系切り後粗い調整	137	182
228	第25号住・Pit1床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	14.8	5.7	4.3	0.6	A II b	非内黒	137	183
229	第25号住・Pit1床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.1)	6.1	3.5	0.4	A II b	非内黒	137	183
230	第25号住・床面	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	13.1	5.4	4.8	0.6	A II b	非内黒	138	183
231	第25号住・Pit1埋土	土師器	坏	口～胴部	R	R	R	R	(14.0)	—	<4.2>	—		非内黒	138	183
232	第25号住・Pit1埋土	土師器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	14.1	5.5	5.35	0.5	A II b	非内黒	138	183
233	第25号住・Pit4床面	土師器	甗	口～底部	Y?	H	Y?	K/砂底	(12.0)	8.1	14.1	1.1	A I	胎土小礫含む。	138	183
234	第25号住・カマド脇	土師器	甗	口～胴部	Y	N	Y	N	(23.6)	—	<6.8>	—	A I		138	183
235	第26号住・床面	土師器	坏	口～底部	M?	M?	R	R/回転系切り	13.6	5.6	5.5	0.6	A I b	内黒、摩滅のため調整見えず。	138	183
236	第26号住・カマド脇	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	(13.3)	5.5	4.7	0.7	A I a	内黒	138	183
237	第26号住・カマド支脚上	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り	14.3	5.7	5.7	0.8	A I b	内黒、胎土砂粒混じり。	138	183
238	第26号住・カマド内	土師器	坏	口～底部	M?	M?	R	R/回転系切り後ヘラの再調整	14.5	5.5	5.1	0.5	A I a	内黒、摩滅のため調整見えず。	138	183
239	第26号住・埋土	土師器	坏	口～底部	M?	M?	R	R/回転系切り	(13.9)	(5.2)	5.1	0.5	A I b	内黒、摩滅のため調整見えず。	138	183
240	第26号住・支脚上	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り後ヘラ?の再調整	(14.4)	6.1	5.1	0.6	A I a?	内黒、摩滅のため底部切り難し技法不明。	138	183
241	第26号住・Pit2	土師器	坏	口～底部	M?	M?	R	R/回転系切り	(13.9)	(6.6)	4.8	0.6	A I b	内黒、摩滅のため調整見えず。	138	184
242	第26号住・床面	土師器	坏	口～胴部	M?	M?	R	—	14.9	—	<4.3>	—		内黒、摩滅のため調整見えず。	138	184
243	第26号住・埋土	須恵器	坏	口～底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.0)	—	4.7	0.5	B II	還元不足	139	184
244	第27号住・カマド内	土師器	坏	口～底部	M	M	R	R/回転系切り	(14.7)	6.3	5.1	0.6	A I b	内黒	139	184

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 く 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
245	第27号住・カマド内	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.3)	6.2	5.4	0.6	B II	還元不足	139	184
246	第27号住・床面	土師器	甕	口~胴部	Y	N	Y	R	(16.6)	—	<(11.6)>	—	A II a		139	184
247	第27号住・床面	須恵器	猿面硯						長さ(12.3)	幅(11.3)	厚さ(1.0)			須恵器破片を硯に 転用。	139	184
248	第28号住・床面	土師器	甕	胴~底部	—	H	—	K/N	—	10.8	<(3.6)>	1.1	A I		139	184
249	第29号住・煙出部	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り	14.1	5.4	4.6	0.5	A I b	内黒	139	184
250	第29号住・床面	土師器	坏	胴~底部	—	R	—	R/回転系切り?	—	6.4	<(1.9)>	0.5	A II b	非内黒	139	184
251	第29号住・床面	土師器	坏	口~底部	R?	R?	R	R/回転系切り	14.7	6.1	4.8	0.8	A II b	非内黒	139	185
252	第29号住・床面	土師器	鉢	胴~底部	—	R?	—	R/回転系切り	—	6.2	<(5.8)>	0.4	A II b		139	185
253	第29号住・煙出部	土師器	甕	胴~底部	—	N	—	K	—	9.1	<(4.5)>	1.2	A I		139	185
254	第30号住・Pit1埋土	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り	(14.8)	(7.0)	5.2	0.5	A I b	内黒	139	185
255	第30号住・Pit1埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り 後再調整	(14.5)	5.8	5.5	0.5	A II a	非内黒	139	185
256	第30号住・埋土	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.8)	(5.5)	4.8	0.4	B I		140	185
257	第1号住居状・埋土	土師器	坏	口~胴部	M	M	R	R	18.1	—	<(4.1)>	—		内外黒色処理	140	185
258	第1号住居状・埋土	土師器	高台付坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	(13.7)	(7.3)	<(5.1)>	0.5	A I c	内外黒色処理、 高台部欠損。	140	185
259	第1号住居状・埋土	須恵器	坏	口~胴部	R	R	R	R/回転系切り	14.6	5.9	5.2	0.6	B II	還元不足	140	185
260	第1号住居状・埋土	須恵器	坏	口~胴部	R	R	R	R/回転系切り	(15.4)	5.6	4.4	0.5	B I		140	185
261	第2号住居状・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	M?	—	R/回転系切り	—	6.1	<(2.4)>	0.6	A I b	黒色、摩滅のため 調整見えず。	140	186
262	第2号住居状・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	R	—	R/回転系切り	—	5.3	<(1.4)>	0.6	A II b	非内黒	140	186
263	第2号住居状・埋土	土師器	高台付坏	胴~底部	—	—	—	R/回転系切り後 ヘラの再調整	—	7.9	<(2.9)>	0.5	A II c		140	186
264	第2号住居状・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y	N	Y	N	(30.2)	—	<(7.1)>	—	A I		140	186
265	第2号住居状・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y	N	R	R→N	(14.4)	—	<(6.1)>	—	A II a		140	186
266	第2号住居状・埋土	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(11.6)	—	<(5.4)>	—	A II b		140	186
267	第2号住居状・埋土	土師器	甕	胴~底部	—	R	—	R	—	6.4	4.5	0.5	A II b		140	186
268	第7号土坑・埋土	石器	礫石器						長さ(8.95)	幅(4.7)	厚さ(3.1)	高さ(89.1g)		凝灰岩	140	186
269	第8号土坑・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y	N	Y	K	(23.0)	—	<(8.1)>	—	A I	胎土砂粒少量含む。	140	186
270	第8号土坑・埋土	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(18.9)	—	<(6.6)>	—	A II b	胎土砂粒含む。	140	186
271	第8号土坑・埋土	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(19.0)	—	<(6.0)>	—	A II b		140	186
272	第9号土坑・埋土	土師器	甕	口~胴部	Y	H	Y	N	(15.6)	—	<(6.2)>	—	A I	輪積み痕有り。	141	187
273	第17号土坑・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.4)	6.0	4.9	0.5	A II b	非内黒	141	187
274	第17号土坑・埋土	土師器	甕	胴~底部	—	—	—	N	—	(13.7)	<(2.7)>	0.8	A I		141	187
275	第17号土坑・埋土	須恵器	長頸壺	胴部	—	R	—	N	—	—	<(10.8)>	—			141	187
276	第23号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	R	—	R/回転系切り	—	(5.5)	<(1.3)>	0.7	A II b		141	187
277	第23号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	R	—	R/回転系切り	(13.4)	(5.4)	3.9	0.7	A II b		141	187
278	第23号土坑・埋土	土師器	甕	胴部	—	KK	—	T	—	—	—	—		酸化炎焼成?須恵器 によく見られる器面 調整を施す。	141	187

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 () 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
279	第24号土坑・埋土	土師器	坏	口~胴部	M	M	M	M	(16.2)	—	(3.7)	—		内外黒色処理	141	187
280	第24号土坑・埋土	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り後 ヘラ?の再調整	(13.8)	(5.4)	3.8	0.5	A I a	内黒	141	187
281	第24号土坑・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り後 指ナデの再調整	(13.8)	(5.4)	4.2	0.8	A II b	非内黒	141	187
282	第24号土坑・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.8)	(5.4)	4.9	0.5	A II b	非内黒	141	187
283	第35号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	—	—	R/回転系切り	—	5.4	(1.4)	0.5	A I b	内黒	141	187
284	第38号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	M	—	R/回転系切り	—	(5.4)	(2.6)	0.6		内黒	141	188
285	第38号土坑・埋土	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り	(10.9)	(5.2)	4.0	0.6		内黒	141	188
286	第44号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	—	—	R/回転系切り	—	5.6	(1.4)	0.6		内黒、摩滅のため 調整見えず。	141	188
287	第38号土坑・埋土	土師器	高台付坏	底部	—	—	—	回転系切り後 ヘラの再調整	—	—	—	—		非内黒、高台部欠損	141	188
288	第39号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	—	—	R/回転系切り	—	(6.0)	(2.9)	0.4		内黒、摩滅のため 内面調整見えず。	141	188
289	第44号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	R	—	R	—	6.3	(4.6)	0.3		非内黒、胎土砂粒含む。	141	188
290	第44号土坑・埋土	土師器	坏	口~胴部	R	R	R	R	(15.2)	(7.6)	5.1	0.5		非内黒	141	188
291	第44号土坑・埋土	土師器	甗	胴~底部	—	R	—	—	—	(6.3)	(7.2)	0.8		輪轆み痕有り。	141	188
292	第44号土坑・埋土	土師器	甗	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.0)	7.4	12.7	0.9			141	188
293	第44号土坑・埋土	土師器	甗	胴~底部	—	N	—	K	—	(12.0)	(30.7)	0.6			141	188
294	第44号土坑・埋土	土師器	甗	口~胴部	R	R	R	R→N	(22.4)	—	(22.2)	—			142	188
295	第50号土坑・床直	土師器	坏	胴~底部	—	M	—	不明	—	7.6	(2.1)	0.6		内黒、底部の切り離し技法 摩滅のため明確ではない。	142	189
296	第50号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	M	—	不明	—	6.3	(4.0)	0.6		内黒、底部の切り離し技法 摩滅のため明確ではない。	142	189
297	第50号土坑・埋土	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.2)	5.7	3.9	0.5		非内黒、胎土砂粒混 じり。	142	189
298	第50号土坑・床面	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.4)	(6.2)	4.6	0.7			142	189
299	第50号土坑・埋土	土師器	甗	口~胴部	Y	—	Y	—	(13.8)	—	(4.6)	—		内黒	142	189
300	第50号土坑・床面	土師器	甗	口~胴部	Y	N	R	R	(34.8)	—	(5.8)	—			142	189
301	第50号土坑・埋土	土師器	甗	口~胴部	R	R	R	R	(16.2)	—	(11.5)	—		胎土砂粒含む。	142	189
302	第50号土坑・埋土	須恵器	甗	口縁部	R	—	R	—	(25.2)	—	(4.6)	—			142	189
303	第50号土坑・埋土	須恵器	大甗	口縁部	KK	—	R	—	(49.6)	—	(5.5)	—			142	189
304	第63号土坑・埋土	土師器	坏	胴~底部	—	M?	—	R/回転系切り	—	(6.3)	(2.4)	0.5		内黒	142	189
305	第63号土坑・埋土	土師器	坏	口~底部	M?	M?	R	R/回転系切り後 ヘラ?の再調整	(15.3)	5.1	5.7	0.7		内黒	142	189
306	第2号墓坑	鉄製品	角釘						長さ(7.0)	幅(1.0)	厚さ(1.0)	重さ(10.4g)			142	189
307	第2号墓坑	鉄製品	角釘						長さ(7.9)	幅(1.3)	厚さ(1.15)	重さ(9.8g)			142	189
308	第2号墓坑	鉄製品	角釘						長さ(7.4)	幅(1.3)	厚さ(1.1)	重さ(8.5g)			142	189
309	第11号隠し穴・埋土上位	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	波状隆帯	—	—	—	—	—			143	190
310	第25号隠し穴・埋土上位	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	波状隆帯	—	—	—	—	—			143	190

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクろ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 () 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
311	第54号陪し穴・埋土上位	縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	波状隆帯	-	-	-	-	-			143	190
312	複式炉内	縄文土器	深鉢	口~胴部	-	ナテ	ロミガキ無 文 頸隆帯	縄文(RL)+隆沈文	(32.0)	-	(20.7)	-		大木8b4式	143	190
313	複式炉内	縄文土器	深鉢	底部	-	-	-	-	-	12.2	11.1	0.8		摩滅のため文様・ 調整不明	143	190
314	複式炉内	縄文土器	深鉢	胴部	-	ナテ	-	縄文(RL)+隆沈文	-	-	-	-			143	190
315	複式炉内	石器	石鏃						長さ(1.85)	幅(0.8)	厚さ(0.3)	重さ(0.4g)		頁岩	143	190
316	複式炉内	石器	石鏃						長さ(2.35)	幅(1.4)	厚さ(0.2)	重さ(0.6g)		頁岩	143	190
317	第2号溝跡・埋土	銅製品	埴埴						長さ(5.0)	幅(3.5)	厚さ(0.5)	重さ(32.1g)			143	191
318	第5号溝跡・埋土	石器	石鏃						長さ(3.1)	幅(1.3)	厚さ(0.3)	重さ(1.1g)		頁岩	143	191
319	第9号溝跡・埋土	木材	柱材												144	191
320	I C6a区検出面	土師器	坏	口~底部	-	-	R	R/回転系切り後 ヘラ?の再調整	(13.9)	6.1	4.9	0.4		内黒、摩滅のため 調整見えず。	144	192
321	I C6a区検出面	土師器	坏	口~底部	R→M	M	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	13.7	4.5	5.5	0.5		内黒	144	192
322	II D2e区検出面	土師器	坏	口~底部	M	M	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整?	15.6	6.0	5.4	0.5		内黒、胎土小礫少量 含む。	144	192
323	I D7b区検出面	土師器	坏	口~底部	-	-	R	R/回転系切り	(13.9)	4.7	5.1	0.5		内黒、摩滅のため 調整見えず。	144	192
324	I C6a区検出面	土師器	坏	口~底部	M?	M	R	R/回転系切り後 ヘラの再調整	(14.6)	(6.4)	5.2	0.6		内黒、底部の再調整 荒い。	144	192
325	I C6a区検出面	土師器	坏	胴~底部	-	M	-	R/回転系切り	-	5.1	(1.3)	0.6		内黒	144	192
326	I D7b区検出面	土師器	坏	胴~底部	-	M	-	R/回転系切り	-	(5.8)	(2.1)	0.65		内黒	144	192
327	I C6a区攪乱	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(12.6)	4.8	4.35	0.6		非内黒	144	192
328	I C6a区攪乱	土師器	坏	完形	R	R	R	R/回転系切り	12.6	4.9	4.3	0.4		非内黒	144	192
329	I C6a区攪乱	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	12.8	5.0	4.5	0.8		非内黒	144	192
330	II B2h区II層下	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(12.1)	5.2	2.6	0.4		非内黒	145	192
331	I C9b区検出面	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.8)	(5.4)	5.1	0.5		非内黒	145	192
332	II D2d区検出面	土師器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(13.0)	(6.4)	3.5	0.5		非内黒	145	192
333	I C9d区検出面	土師器	坏	胴~底部	R	R	R	R/回転系切り	-	4.5	(3.6)	0.7		非内黒、胎土砂隆含む。	145	192
334	III D2d区検出面	土師器	高台付坏	底部	-	-	-	回転系切り?	-	5.0	(1.9)	0.4			145	192
335	II D2e区検出面	須恵器	坏	口~底部	R	R	R	R/回転系切り	(14.7)	(4.8)	4.8	0.5		還元不足	145	192
336	I D7b区検出面	須恵器	坏	胴~底部	-	-	-	R/?	-	(5.6)	(3.6)	0.5		底部切り離し技法は摩 滅のため明確ではない。	145	192
337	II D2d区検出面	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(23.8)	-	(10.7)	-		胎土小礫含む。	145	193
338	I C6a区検出面	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(15.3)	-	(9.2)	-			145	193
339	II D2d区検出面	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R	(23.6)	-	(8.5)	-		胎土砂粒含む。	145	193
340	II D2d区検出面	土師器	甕	口~胴部	R	R	R	R→K	(18.5)	-	(13.5)	-		胎土小礫含む。	145	193
341	I C6a区検出面	土師器	羽釜	口~胴部	R	R	R	R	(20.0)	-	(10.0)	-			145	193
342	I C9d区検出面	土師器	鉢	口~底部	-	-	-	K	(11.0)	5.6	8.1	0.6			145	193
343	I C6a区検出面	土師器	甕	胴~底部	-	N	-	K	-	(8.0)	-	0.6		胎土小礫含む。	145	193

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

() 推定値 () 現存値

番号	出土地点・層位	種類	器種	部位	内面調整 (口縁部)	内面調整 (胴部)	外面調整 (口縁部)	外面調整 (胴部/底部)	口径	底径	器高	底厚	分類	備考	写真	図版
344	I C6a区検出面	須恵器	壺(長頸)	頸部	-	R	-	R	-	6.4(頸部径)	-	-			145	193
345	I C7i区検出面	須恵器	大甕	口~胴部	R	-	R	T	(38.4)	-	(17.5)	-		189と同一個体	146	193
346	I C7i区検出面	須恵器	甕	胴~底部	-	-	-	T	-	(10.2)	-	1.1		188と同一個体	146	194
347	II D2d区検出面	須恵器	甕	口~頸部	R	R	R	R	(26.8)	-	(8.3)	-			146	194
348	I C6a区検出面	須恵器	甕	口~胴部	R	R・KK	R	R	(14.3)	11.4(頸部径)	-	-			146	194
349	I C7i区検出面	須恵器	甕	胴~底部	-	N	-	K	-	12.8	(16.5)	1.0			146	194
350	II D2d区検出面	須恵器	大甕	胴部	-	KK	-	T	-	-	-	-			147	195
351	II D2d区検出面	須恵器	大甕	胴部	-	A?	-	T							147	195
352	II D2d区検出面	須恵器	大甕	胴部	-	A?	-	T							147	195
353	II D2e区検出面	須恵器	大甕	胴部	-	H	-	KK	-	-	-	-			147	195
354	II A1a区検出面	土製品	斧状土製品						長さ(16.8)	幅(4.9)	厚さ(1.4)	重さ(102.4g)			148	196
355	II A1a区検出面	土製品	斧状土製品						長さ(11.8)	幅(4.1)	厚さ(1.2)	重さ(56.8g)			148	196
356	II C2a区II層下	石器	石鏃						長さ(3.1)	幅(1.15)	厚さ(0.45)	重さ(1.5g)		頁岩	148	196
357	II C2a区II層下	石器	石鏃						長さ(2.0)	幅(1.0)	厚さ(0.4)	重さ(0.6g)		頁岩	148	196
358	II C6g区検出面	石器	石鏃						長さ(1.7)	幅(1.45)	厚さ(0.4)	重さ(0.5g)		頁岩	148	196
359	II B1i区検出面	石器	石匙						長さ(6.4)	幅(3.2)	厚さ(0.6)	重さ(12.1g)		頁岩	148	196
360	II C6h区攪乱部	石器	石皿?						長さ(17.1)	幅(16.05)	厚さ(6.7)	重さ(417.3g)		凝灰岩	148	196
361	II D8b区検出面	石器	石皿?						長さ(10.4)	幅(8.8)	厚さ(3.8)	重さ(299.2g)		凝灰岩	148	196
362	I B9h区検出面	石器	有孔石器						長さ(8.9)	幅(5.3)	厚さ(2.3)	重さ(90.9g)		凝灰岩	148	196
363	柱穴群P109	木材	柱材												148	196

ヘラミガキ(M)、ヘラケズリ(K)、ハケメ(H)、ヨコナデ(Y)、ヘラナデ(N)、ロクロ痕(R)、当て具痕(A)、カキ目(KK)、タタキ目(T)

VI まとめ

1. 遺構

検出した遺構は、平安時代の竪穴住居跡31棟、住居状遺構5棟、土坑64基、掘立柱建物跡1棟、陥し穴状遺構291基、複式炉1基、墓坑4基、溝跡10条、柱穴状小土坑902基である。以下それぞれの遺構の傾向を述べたい。なお、掘立柱建物跡、複式炉、墓坑は検出数がわずかであることから本項からは割愛した。

(1) 竪穴住居跡

(位置と重複)

本遺跡の調査では31棟の竪穴住居が検出された。これらの住居跡は調査区北側の微高地に集中している。竪穴住居跡が重複しているのは第14号住居跡と第15号住居跡、第26号住居跡と第27号住居跡、第27号住居跡と第28号住居跡の3ヶ所である。その他は重複する例がないことから重複を避けながら地形面を利用していたと考えられる。

(埋土)

埋土は、攪乱をうけ状況を把握できないものも数棟あったが、ほとんどの住居跡は黒色土・黒褐色土を主体としている。全体としてはレンズ状の自然堆積の様相を示し、埋土の下位に入るに従って褐色土の割合が増える傾向にある。なお、十和田a降下火山灰を層に含んだ住居跡は検出されなかった。

(平面形・規模)

検出された31棟の住居跡の内、調査区外に広がったり削平されている住居跡を除くと、平面形及び規模を把握できたものは21棟である。平面形は隅丸方形7棟、隅丸長方形12棟、隅丸台形2棟である。なお、本稿では長辺と短辺の比が1.05未満のものを方形に類し、1.05以上のものを長方形としている。(図198参照) 平面形に関しては、正方形を基調にしているものと長方形を基調にしているものが混在しているといえる。

規模に関しては、長辺の長さが2～3mのものが1棟、3～4mのものが7棟、4～5mのものが9棟、5～6mのものが2棟、6～7mのものが1棟である。

おおよその床面積についてみると、20㎡未満のものが全体の95%、25㎡未満のものが全体の76%となっている。

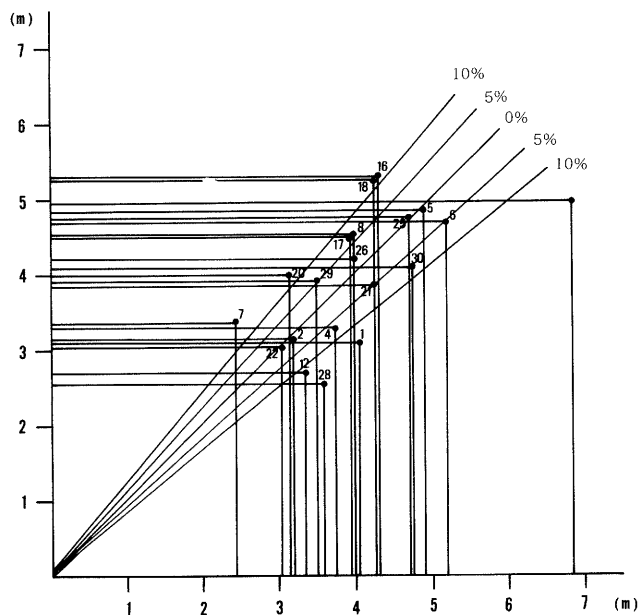


図198 住居跡 長辺・短辺比

以上のことから比較的小規模な住居跡群であると考えたい。

(壁)

いずれの住居跡も外傾して立ち上がっている。壁高の最大値の分布は10cm以上20cm未満のものが10棟、20cm以上30cm未満のものが10棟、30cm以上40cm未満のものが6棟、40cm以上のものが1棟である。なお、壁高は現存値を用いているが、上部がかなり削平されていた可能性が高く正確な値とはいえない。

(床面)

ほとんどの住居跡がⅡ層下～Ⅲ層上のにぶい黄褐色土を基調とした粘土層を床面としている。また、掘り方を伴うため部分的に黒褐色土が入る住居跡が数棟あった。全体的に平坦で締まりのある床面である。

(炭化材・焼土)

炭化材が検出された住居跡は、第21号住居跡である。床面から壁面に向かって放射状を呈した角材が検出され、住居跡床面に焼土を伴う板材と思われる炭化材が広がっていた。炭化材の樹種はすべてクリである。

(土坑)

貯蔵穴と思われる土坑を持つ住居跡は、31棟中17棟である。カマドの右脇に位置するものは10棟、左脇に位置するもの2棟、左右両脇に位置するもの5棟である。また、カマドが中央よりどちらかの壁面に寄っている場合、いずれの住居跡もカマドとカマドに近い壁面の間に土坑を有している。平面形は円形または楕円形、規模は直径45cm～107cm、深さは14cm～30cm前後である。例外として挙げられるのが第24号住居跡左脇の土坑で、その平面形は長方形であり、規模は150cm前後を測る。

(カマド)

カマドが検出されたのは31棟中19棟である。カマドの設置位置については次のような基準で分類している。カマドの設置している壁の長さを5等分し、左から左壁寄り、中央やや左、ほぼ中央、中央よりやや右、右壁寄りと定義した。その内訳は、左壁寄り1棟、中央やや左7棟、ほぼ中央2棟、中央よりやや右7棟である。右壁寄りに分類されるものは検出されなかった。中央から左寄りに設置されたものは調査区中央より北側に位置し、右寄りに設置されたものは南側に多く位置している。全体としては、住居跡はすべて平安時代のものであり、同時代のカマドは中央より左右どちらかに寄る傾向があることが窺える。

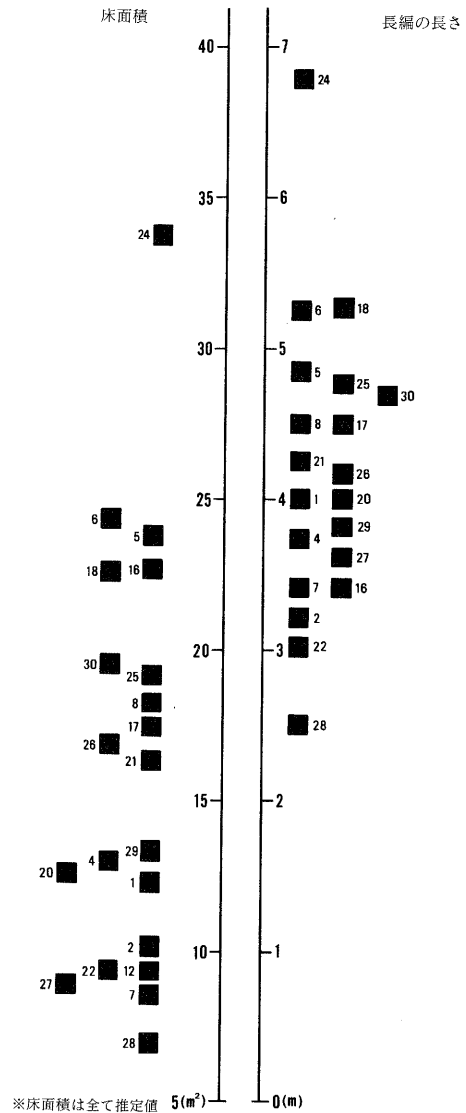


図199 住居跡床面積・長辺の長さ分布図

表3 住居跡一覧表

番号	遺構名	旧遺構名	平面形	規模(m)南北×東西	壁高	支柱穴	須恵器	付属施設	備考
1	第1号住居跡	IIA2f住	隅丸長方形	3.10×4.05	9cm~22cm		○	カマド左脇貯蔵穴1基	攪乱により壁の一部削平
2	第2号住居跡	IIA2g住	隅丸方形	3.15×3.20	11cm~22cm			カマド右脇貯蔵穴1基	
3	第3号住居跡	IIA5j住	隅丸方形?	不明だか4m前後と思われる	20cm前後		○	カマド右脇及び左脇貯蔵穴各1基	木根による攪乱により壁の三方の壁浸食
4	第4号住居跡	IB8d住	隅丸長方形	3.32×3.75	14cm~29cm				
5	第5号住居跡	IB9f住	隅丸方形	4.86×4.89	8cm~16cm		○		攪乱により一部削平
6	第6号住居跡	IB9g住	隅丸長方形	4.70×5.18	18cm~38cm	4	○	カマド右脇2基、左脇1基、他にも可能性あり	攪乱により壁の一部削平
7	第7号住居跡	ICOa住	隅丸長方形	3.35×2.45	12cm~26cm	2		カマド右脇1基	
8	第8号住居跡	ICOb住	隅丸台形	4.50×4.05	8cm~22cm			カマド右脇1基	
9	第9号住居跡	IC6b住	不明	不明	24cm~29cm		○	攪乱により不明	東側は宅地工事、西側は木根による攪乱
10	第10号住居跡	IC8d住	隅丸長方形	2.80前後×3.40前後	7cm~19cm		○	カマド左脇1基	北及び東側攪乱により壁が削平
11	第11号住居跡	IC7e住	不明	3.15×?	8cm~13cm			攪乱により不明	基礎工事により東側1/3削平
12	第12号住居跡	IC7h住	隅丸長方形?	2.70×3.35	8cm~17cm			攪乱により不明	東側の一部攪乱のため削平
13	第13号住居跡	ID2a住	隅丸長方形	2.60前後×2.30	11cm~17cm		○	攪乱により不明	配水管工事により北西、南東壁削平
14	第14号住居跡	ID4c住(1)	不明	?×4.98	5cm~16cm	4	○	カマド右脇及び左脇貯蔵穴各1基	一部攪乱
15	第15号住居跡	ID4d住(2)	不明	4.85×?	4cm~10cm		○	重複しており不明	
16	第16号住居跡	IE4b住	隅丸長方形	5.30×4.30	5cm~17cm		○	カマド位置不明、貯蔵穴らしきものあり	攪乱によりカマド部削平
17	第17号住居跡	IE6b住	隅丸長方形	4.51×3.95	5cm~19cm	3から4	○	カマド右脇1基、増築後左右各1基	上部削平
18	第18号住居跡	IE7c住	隅丸台形	5.28×4.25(南北は平均値)	6cm~28cm	4から6	○	カマド右脇2基	
19	第19号住居跡	IC8f住	不明	不明	不明		○		攪乱により埋土の一部残存
20	第20号住居跡	IB9b住	隅丸長方形	3.98×3.17	14cm~28cm	2	○	カマド右脇1基	
21	第21号住居跡	IB1b住	隅丸長方形	3.83×4.25	24cm~47cm	3から4		カマド右脇1基	
22	第22号住居跡	IB2b住	隅丸方形	3.05×3.08	27cm~32cm			カマド右脇1基	
23	第23号住居跡	IB3b住	不明	5.31×?	10cm~28cm		○		南西端凹形の攪乱あり
24	第24号住居跡	IB3g住	隅丸長方形	4.97×6.80	15cm~30cm	4から6	○	カマド両脇に2基、その他住居内に4基	部分的に攪乱を受けている
25	第25号住居跡	IB1i住	隅丸方形	4.74×4.68	7cm~26cm	3	○	カマド両脇に1基、その他住居内に5基	
26	第26号住居跡	IC2a住	隅丸方形	4.19×4.01	14cm~33cm	2		カマド両脇に3基、その他住居内に2基	第27号住居跡と重複
27	第27号住居跡	IC1a住	隅丸長方形	2.53×3.60	27cm~35cm		○		第27号、第29号住居跡と重複
28	第28号住居跡	IC1b住	隅丸方形	2.56×2.45	9cm~17cm		○		第28号住居跡と重複
29	第29号住居跡	IC7c住	隅丸方形	3.88×3.52	25cm~35cm		○		
30	第30号住居跡	IC6g住	隅丸長方形?	4.12×4.72	不明	3	○	カマド右脇に2基	掘方または貼床部とカマド脇の土杭のみ残存
31	第31号住居跡	IC5j住	不明	?×2.60前後	不明		○		掘方部が部分的に残る
1	第1号住居状	IB5g住	隅丸方形	3.58×3.70	7cm~19cm		○		
2	第2号住居状	IC6b住	隅丸方形	3.32×3.19	15cm~20cm		○		
3	第3号住居状	IC4j住	不明	3.22×?	4cm~9cm		○		西側攪乱により消失、カマドが消失した可能性が低いため住居状遺構として登録
4	第4号住居状	ID8b住	隅丸長方形	3.28×3.58	4cm~10cm	多数	○		

長辺：短辺=1.05：1以内方形

表4 カマド形態一覧表

番号	遺構名	旧遺構名	カマド軸方向	カマド位置	煙道のつくり	煙道の形態	煙出部	煙出口	カマド袖	備考
1	第1号住居跡	IIA2f住	N-185°-E	南壁中央やや東隅寄り	不明			煙出部に鑿の破片が散在	残存せず	
2	第2号住居跡	IIA2g住	N-110°-E	東壁北東隅寄り	不明	立ち上がり→水平	小ピット伴う		粘土を芯材シルト貼り付け	
3	第3号住居跡	IIA5j住	N-91°-E	東壁北東隅寄り	不明	水平→やや下がる			煙出部攪乱により削平	
4	第4号住居跡	IB8d住	N-101°-E	東壁北東隅寄り	削り貫き式	立ち上がり→水平	小ピット伴う		左右ともに礫を芯材	
5	第5号住居跡	IB9f住	不明	東壁北東隅寄り	不明	水平?			残存せず	
6	第6号住居跡	IB9g住	N-110°-E	東壁北東隅寄り	不明	立ち上がり→水平	小ピット伴う		粘土を芯材シルト貼り付け	部分的に削平
7	第7号住居跡	ICOa住	N-110°-E	東壁やや南東隅寄り	削り貫き式	立ち上がり→水平	小ピット伴う	底面に半頭大の礫1	粘土を芯材シルト貼り付け	
8	第8号住居跡	ICOb住	N-112°-E	東壁南東隅寄り	削り貫き式	立ち上がり→やや下がる		底面に半頭大の礫1、周辺に礫1個体	粘土を芯材シルト貼り付け	
9	第9号住居跡	IC6b住								カマド検出されず
10	第10号住居跡	IC8d住	N-105°-E	東壁南東隅寄り	不明	不明	小ピット伴う		残存せず	
11	第11号住居跡	IC7e住								カマド検出されず
12	第12号住居跡	IC7h住								カマド検出されず
13	第13号住居跡	ID2a住								カマド検出されず
14	第14号住居跡	ID4c住(1)								燃焼部焼土のみ
15	第15号住居跡	ID4d住(2)								カマド検出されず
16	第16号住居跡	IE4b住		東壁南東隅寄り?						カマド検出されず
17	第17号住居跡	IE6b住	N-110°-E	東壁南東隅寄り	削り貫き式	立ち上がり→下がる			礫を芯材シルト貼り付け	
18	第18号住居跡	IE7c住	N-120°-E	東壁やや南東隅寄り	削り貫き式	立ち上がり→水平	小ピット伴う		左袖はシルト貼り付け? 右袖は粘土貼り付け	
19	第19号住居跡	IC8f住								カマド検出されず
20	第20号住居跡	IB9b住	N-110°-E	東壁やや南東隅寄り		立ち上がり→水平	小ピット伴う		礫を芯材または主な構築材 シルト貼り付け	
21	第21号住居跡	IB1b住	N-119°-E	東壁北東隅寄り		立ち上がり→不明				
22	第22号住居跡	IB2b住	N-115°-E	東壁ほぼ中央	削り貫き式	立ち上がり→下がる				
23	第23号住居跡	IB3b住								カマド調査区外
24	第24号住居跡	IB3g住	N-103°-E	東壁北東隅寄り		立ち上がり→水平	小ピット伴う			カマド移動の跡あり
25	第25号住居跡	IB1i住	N-180°-E	南壁南東隅寄り		立ち上がり→水平	小ピット伴う		礫を芯材粘土質土貼り付け	
26	第26号住居跡	IC2a住	N-190°-E	南壁南東隅寄り		立ち上がり→水平	小ピット伴う			
27	第27号住居跡	IC1a住	N-187°-E	南壁ほぼ中央		立ち上がり→水平	小ピット伴う			
28	第28号住居跡	IC1b住	N-125°-E	東壁南東隅寄り						
29	第29号住居跡	IC7c住	N-162°-E	南壁南東隅寄り	削り貫き式	立ち上がり→水平	小ピット伴う		礫を芯材または主な構築材 シルト貼り付け	
30	第30号住居跡	IC6g住								
31	第31号住居跡	IC5j住								

カマドの主軸方向が把握できたものは19基で、その方向を図200に示した。東壁にカマドが設置されたものは全て東南東を主軸方向とし、 $N-90^{\circ}-E \sim N-125^{\circ}-E$ の範囲に収まる。その他は全て南壁に設置されており、その分布範囲は $N-162^{\circ}-E \sim N-190^{\circ}-E$ である。

カマド袖部の作り方は、礫を芯材としその周辺に粘土質土やシルト質土を貼り付けたもの、礫を主な構築材とし粘土質土が接着のために用いられているもの、礫を用いずシルト質土や粘土質土を構築土としているものの3種に分類した。礫を芯材としているものは6基、礫を主な構築材としているものは2基、礫を用いないものが4基である。なお、右袖部にのみ礫を用いているカマドが1基ある。支脚が残存していたものは9基で、それらは全て円礫または角礫を用いている。第25号住居跡の支脚は礫の上に坏が伏して置かれていた。燃烧部焼土は14棟の住居跡から検出された。

煙道部が確認できたのは16基である。煙道の作りは部分的に削り抜かれているものも含めて、削り抜き式の煙道は7基で、その他は不明である。煙道部の断面形は図201のように模式化して分類した。I型は一旦立ち上がった後水平になり煙出部に至り、煙出部には小ピットを伴うもので11基がこの例に当てはまる。II型は、一旦立ち上がった後下り勾配になりそのまま煙出部に至るもので、3基が当てはまる。II型に類するものの煙道部の形態は全て削り抜き式である。III型は、下り勾配のまま煙出部に至るもので、1基のみこれに類する。

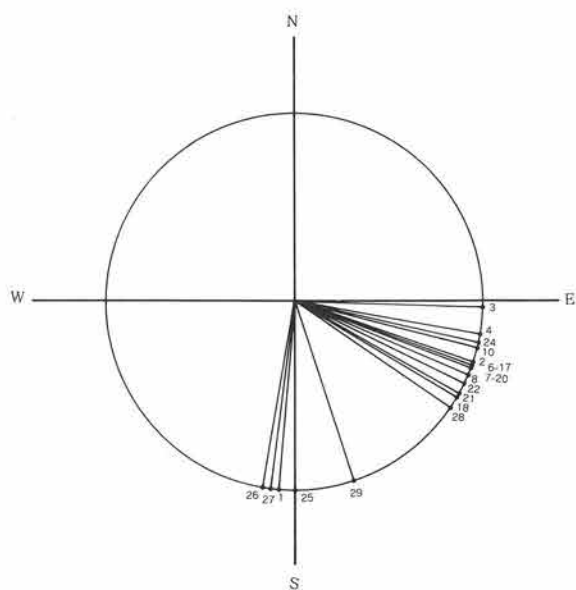


図200 カマド主軸方向分布

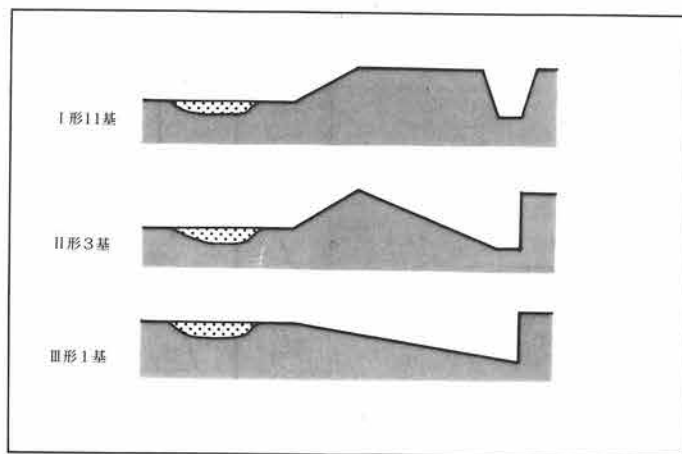


図201 煙道部断面図模式図

(2) 住居状遺構

検出された住居状遺構はA区から4棟、B区から1棟、合計5棟である。平面形は隅丸方形のものが2棟、隅丸長方形のものが1棟、不明なもの2棟である。規模は、A区から検出された4棟はすべて3～4mのものである。床面は竪穴住居跡同様Ⅱ層下～Ⅲ層上を底面としているが、竪穴住居跡より比較的掘り込みが浅い。時期は5棟中2棟は平安時代の遺構である。

(3) 土坑

調査区全体から64基検出された。(井戸跡と思われるものも含む。) このうち縄文時代に属する可能性があるものが1基、平安時代以前に存在していたと思われるものは4基、平安時代に属すると思われるものは、住居跡床面から検出され遺構に伴う可能性もあるものも含めると合計で22基、近・現代の遺構と思われるものが2基、その他は時期不明である。平安時代に属すると思われる土坑は、調査区北・南区それぞれ集中して住居跡が検出された周辺に位置している。また、第23号・第24号・第31号・第45号土坑はいずれも、底面から検出面まで底面を覆うように焼土塊が入っており、同様の目的で作られた遺構であると思われる。

(4) 陥し穴状遺構

(形態分類)

検出された陥し穴状遺構は平面形が溝状もの(A型)長方形・楕円形(B・C型)のもの合わせて291基検出された。『西田東遺跡発掘調査報告書』(花坂政博ほか1995)を参考に、下記のような基準を設定し分類を試みた。(図202参照)

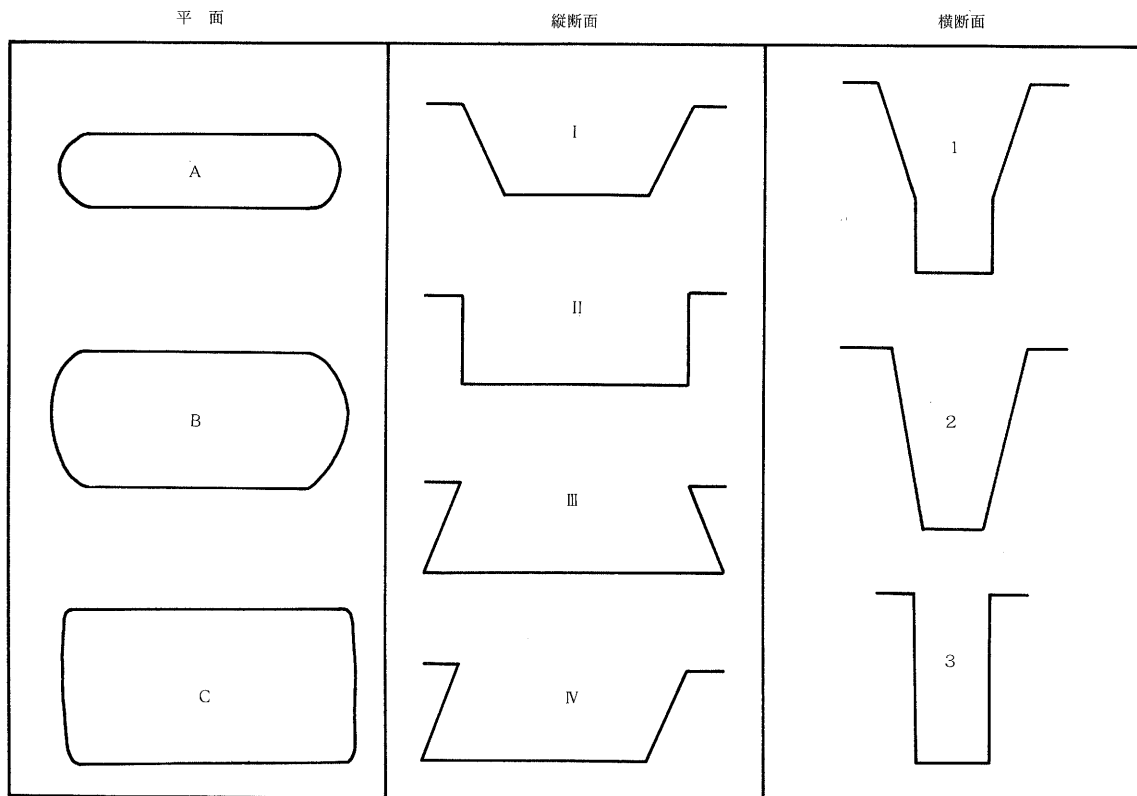


図202 陥し穴状遺構分類図

「開口部平面形」

- A型 溝状を呈するもの。
- B型 楕円形に近い形を呈するもの。
- C型 長方形の箱形を呈するもの。

「縦断面形」

- I型 逆台形を呈するもので、開口部縦長径が底部の縦長径より10cm以上長いもの。
- II型 長方形を呈するもの。
- III型 台形を呈するもので、底部の縦長径が開口部縦長径より10cm以上長いもの。ただし、底部に至る前に10cm以上開口部縦長径より長くなっているものも含む。
- IV型 I型とIII型、またはII型とIII型の複合的な形状を呈するものである。

「横断面形」

- 1型 Y字状
- 2型 V字状
- 3型 U字状

分類した結果、A I 1型3基、A I 2型38基、A I 3型20基、A II 1型1基、A II 2型23基、A II 3型10基、A III 1型5基、A III 2型57基、A III 3型30基、A IV 1型1基、A IV 2型29基、A IV 3型17基、不明なもの23基である。A型（溝状を呈するもの）は合計257基である。

また、B型に関しては、B I 2型1基、B I 3型5基、B II 1型1基、B II 2型4基、B II 3型4基、B IV 1型1基、B IV 3型5基、不明なもの5基である。B型（楕円形を呈するもの）は合計で26基である。

C型に属するのはC I 3型4基、C II 3型4基である。C型（長方形を呈するもの）は合計8基である。
(規模)

A型の規模は、長軸径が1.5m～4.5m前後、短軸径が0.2m～0.5m、深さは0.3m～0.4m前後を測る。

B・C型の規模は、長軸径が1.2m～1.7m前後、短軸径が0.3～1.0m前後、深さは0.4m～0.8m前後を測る。なお、底部に逆茂木痕を有するものが4基ある。

(分布・配列)

A型の陥し穴状遺構は2～3基を1組として軸方向を同じにし列をなしていると思われるものが50組前後ある。特に、第164号・165号・第223号～232号陥し穴は12基で1組と思われる配列を為している。

(埋土)

堆積状況として最も多く見られたのは、上部が黒色土・黒褐色土主体、その下ににぶい黄褐色土と黒褐色土の混土が入り最下層ににぶい黄褐色土をわずかに含む黒色土・黒褐色土を含む場合である。いずれも自然堆積の様相を示していた。ただし、程度の差はあるものの上部が削平されており、上部の埋土の状況は不明なものが多いと思われる。

(構築年代)

出土遺物がなく構築年代は不明なものが多い。重複関係から第61号・第71号・第72号陥し穴状遺構は縄文時代中期後葉以前に構築されている。その他、A型とB・C型の陥し穴状遺構の重複関係は、全てA型の方が新しいが、構築年代を特定するには至らなかった。

(5) その他の遺構

(溝跡)

A区から10条、B区から5条検出した。平安時代のものと思われるものは、第3号溝跡の1条である。その他、近・現代のものと思われるもの3条、時期不明なものが11条検出されている。

(柱穴群小土坑)

調査区全体で902基検出している。調査区中央から南端にかけて集中して検出された。規則的な配置を為すものはないと考え、位置と規模のみを示している。埋土は黒色土・黒褐色を主体とするものが多く、次いで暗褐色土を主体としたものが多い。

2. 遺物

本遺跡から出土した遺物は、ほとんどが平安時代の住居跡及び土坑から出土した土器類で出土遺物の9割を占める。この他には遺構内外から縄文土器・土製品・鉄製品・石器・石製品が出土した。ここでは、土器類のうち土師器・須恵器を中心に取り上げた。

分類に当たっては、各器種でその焼成方法（酸化炎焼成か還元炎焼成か）により大別し、これに坯の場合は黒色処理の有無、甕の場合は成形技法（非ロクロ成形とロクロ成形）さらにそれぞれ調整技法を付加する形で行った。器種には坯・高台付坯・甕・壺がある。分類基準は以下の通りである。なお、分類結果は表5に掲載した。

<坯> 図203参照

A群・・・酸化炎焼成されているもの

I類—ロクロ成形後、内（外）面にヘラミガキ・黒色処理が施されるもの

a種—一回転糸切り後、胴部下端及び底部または底部のみが再調整されるもの

b種—一回転糸切り後、再調整されていないもの

c種—一回転糸切り後、高台の付けられているもの

II類—ロクロ成形後、内面にヘラミガキ、黒色処理が施されないもの

a種—一回転糸切り後、胴部下端及び底部または底部のみが再調整されるもの

b種—一回転糸切り後、再調整されていないもの（所謂赤焼き土器）

c種—一回転糸切り後、高台の付けられているもの

B群—還元炎焼成されているもの

I類—所謂須恵器で十分に還元されているもの

II類—須恵器だが還元不足のためくすんだ色調をなすもの

<甕> 図204参照

A群—酸化炎焼成されているもの

I類—ロクロ成形されていないもの

II類—ロクロ成形されているもの

a種—胴部の外面にロクロ痕以外にヘラケズリ等の調整がみられるもの

b種—胴部にロクロ痕のみを有するもの

B群—還元炎焼成されているもの

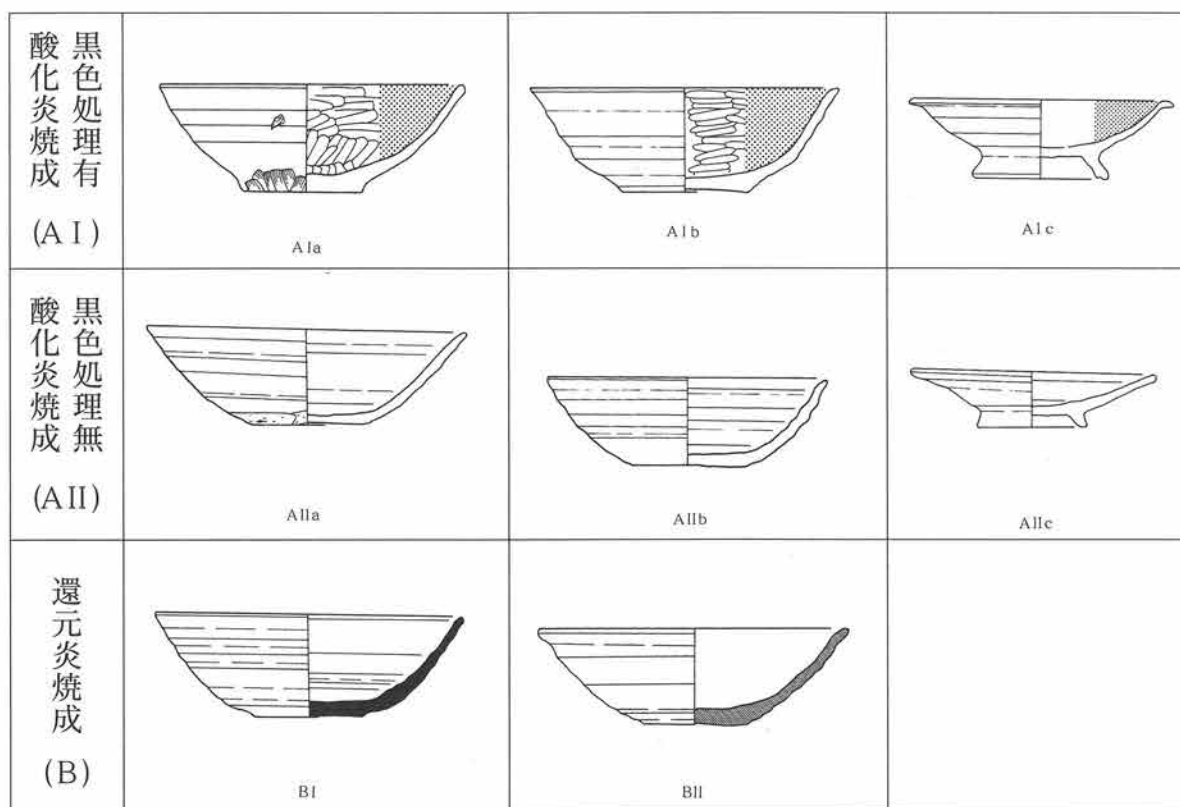


图203 坏分類图

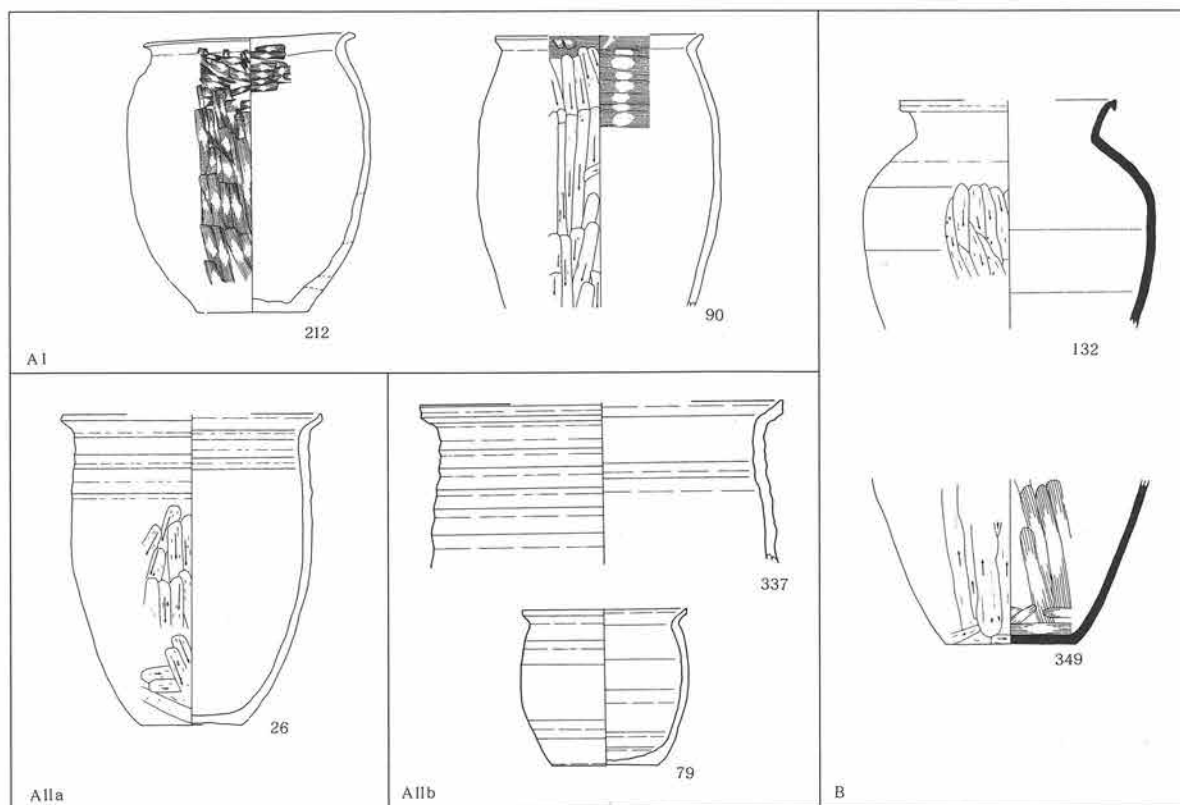


图204 甕分類图

表5 遺構別出土土器一覽表

分類 遺構名	坏						甕				合計		
	A 群			B 群			A 群		B群				
	I		c	II		c	I	II	I	II			
	a	b	c	a	b	c			a	b			
第1号住居跡				1	1		2		1		1		6
第2号住居跡	1	1											2
第3号住居跡		3			2				4	1	1		11
第4号住居跡			1										1
第5号住居跡	1	3			4			1	2		1		12
第6号住居跡		3			3		1		4		1		12
第7号住居跡	2		1		9		1	1	2	1	1	1	19
第8号住居跡					4			1	1	1	2		9
第9号住居跡									1				1
第10号住居跡				1						1	1	1	4
第11号住居跡													
第12号住居跡													
第13号住居跡					1							1	2
第14号住居跡		4		1						1			6
第15号住居跡	1	1			2								4
第16号住居跡				2	4								6
第17号住居跡		1	2		3				1	1	2	1	11
第18号住居跡			2		3		1				3		9
第19号住居跡	1												1
第20号住居跡	2	1					1	1		5			10
第21号住居跡	1		2	4	4	1		2	4	2			20
第22号住居跡					2					1			3
第23号住居跡		1	1			1		2	4				9
第24号住居跡	2	3	3		5	2	3	2	5		1		26
第25号住居跡	1	3			4				2				10
第26号住居跡	3	4						1					8
第27号住居跡		1						1		1			3
第28号住居跡									1				1
第29号住居跡		1			2				1		1		5
第30号住居跡		1		1			1						3
第31号住居跡													
第1号住居状遺構			1				1	1					3
第2号住居状遺構		1			1	1			1	1	2		7
第8号土坑									1	2			3
第9号土坑									1				1
第17号土坑					1				1				2
第23号土坑					2								2
第24号土坑	1			1	1								3
第35号土坑		1											1
第38号土坑		2				1							3
第39号土坑		1											1
第44号土坑		1			2				2	1	1		7
第50号土坑		2			1		1		1	1	1	1	8
第63号土坑	1	1											2
遺構外	4	3			7	1	1	1	2	1	3	4	27
合計	21	43	13	11	68	7	13	14	42	21	22	9	284

おわりに

今回の発掘調査の結果、石持Ⅰ遺跡は、縄文時代には狩り場として利用され、平安時代（9世紀後半～10世紀）には集落跡が存在していたことが確認された。特に、陥し穴の遺構数は291基でこれまでの発掘調査例の中で最大の検出数である。これは縄文時代にはこの地が、地形的に動物を捕獲するために都合の良い土地であったことを示している。平安時代の竪穴住居跡については、9世紀後半から10世紀初頭にかけて集落跡が存在していたことが明らかとなった。

最後に、筆者の勉強不足から調査及び調査報告内容が稚拙となったことをお詫びし原稿を閉じたい。

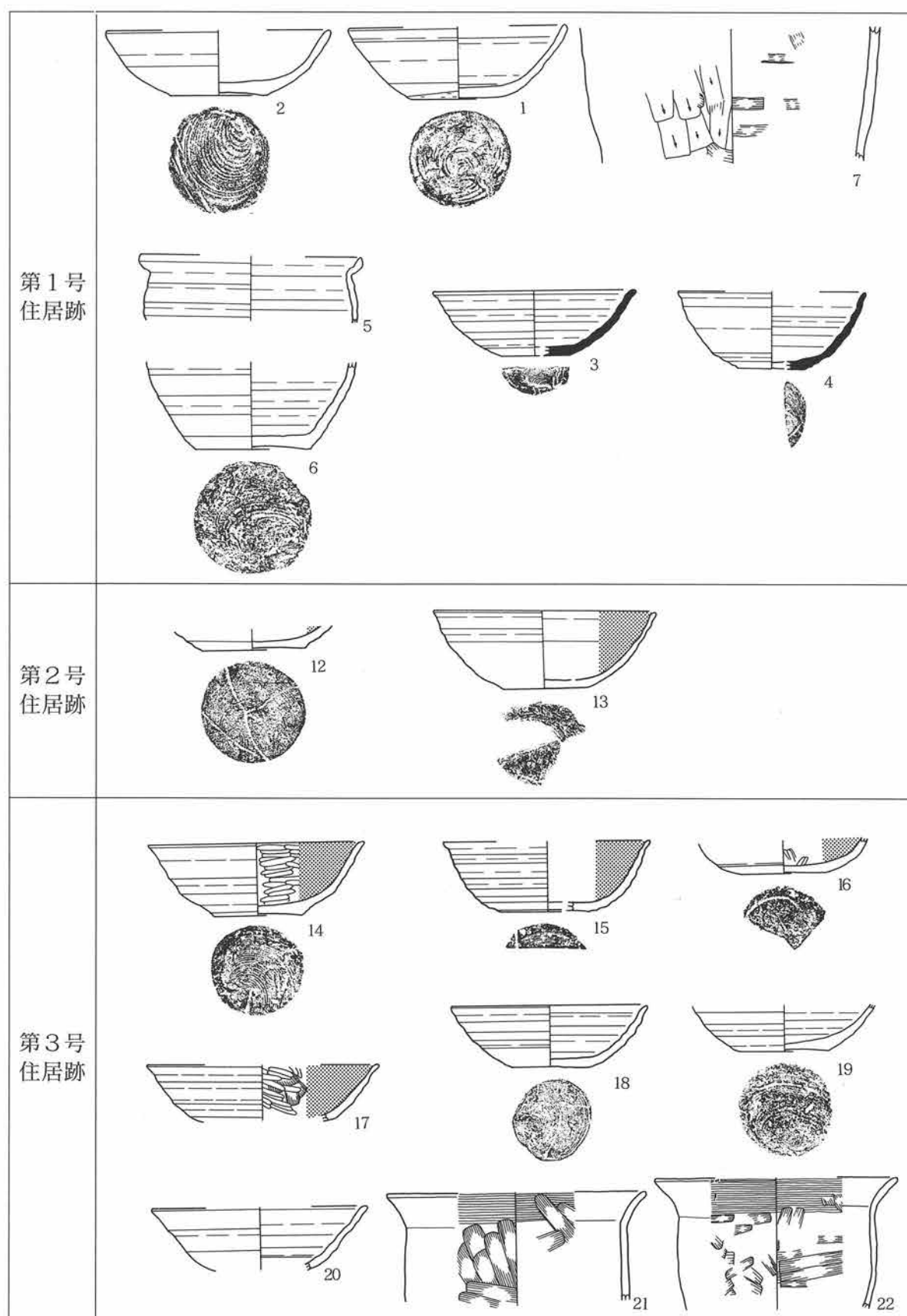


図205 遺構別土器集成図(1)

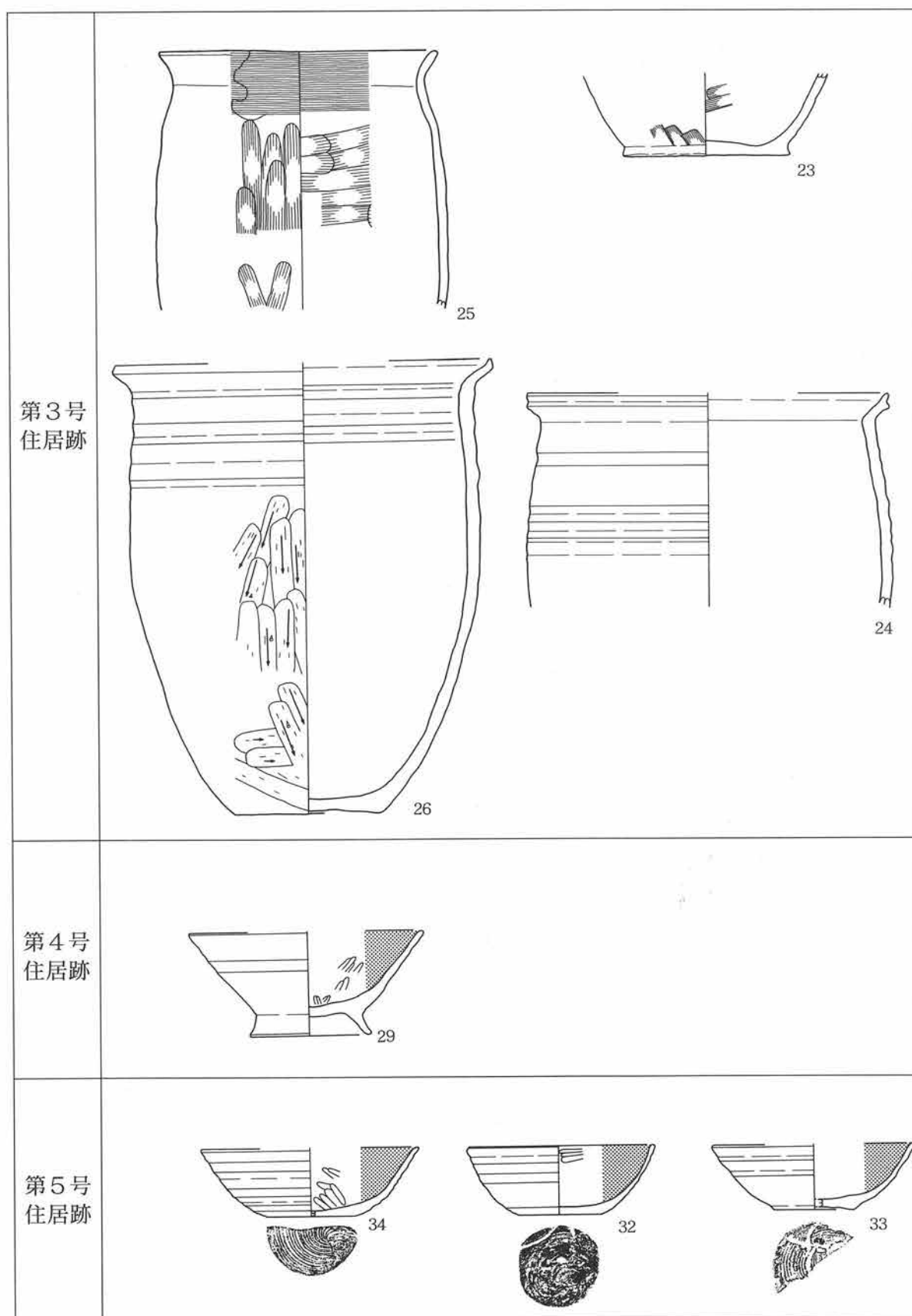


图206 遺構別土器集成图(2)

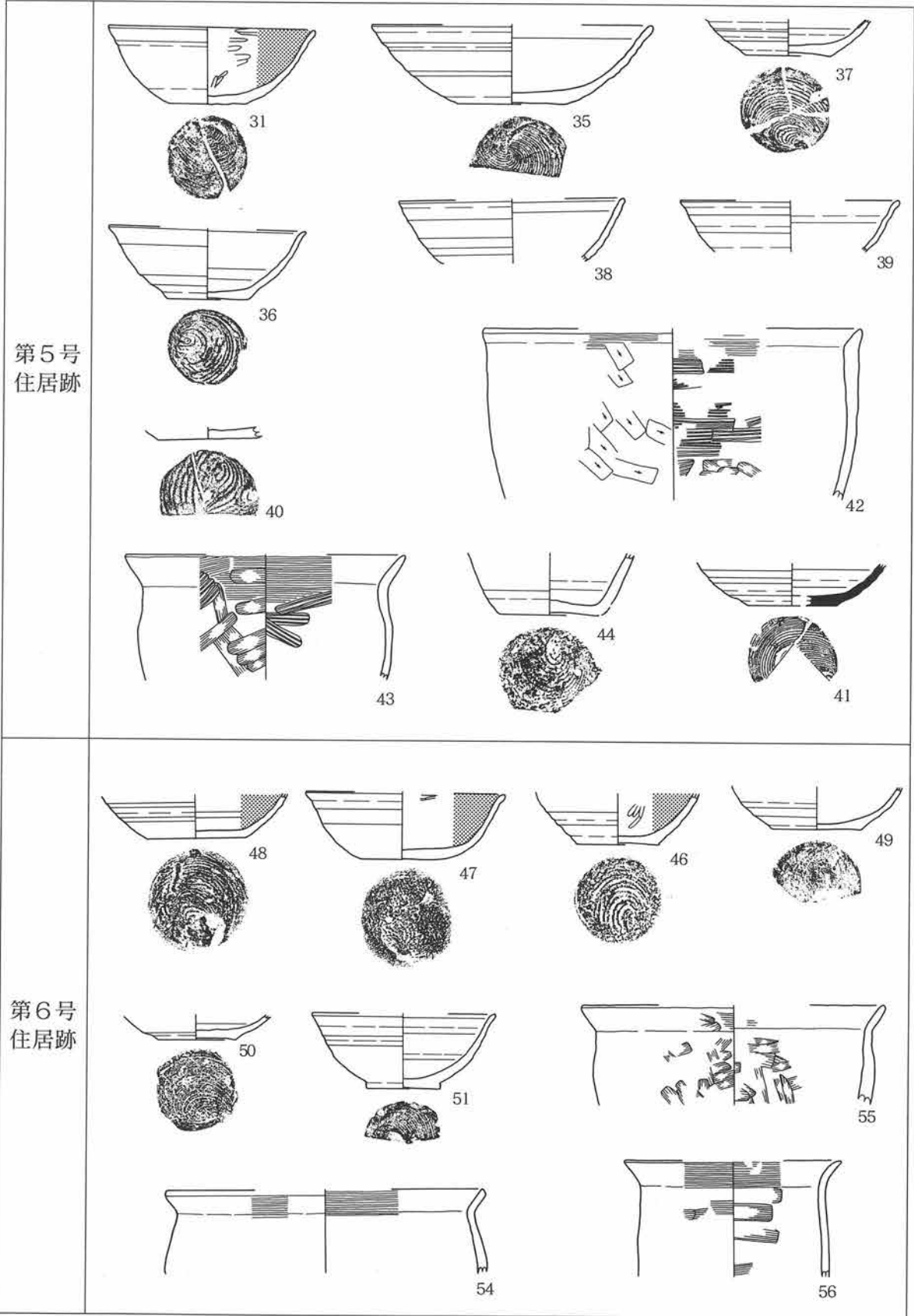


图207 遺構別土器集成図(3)

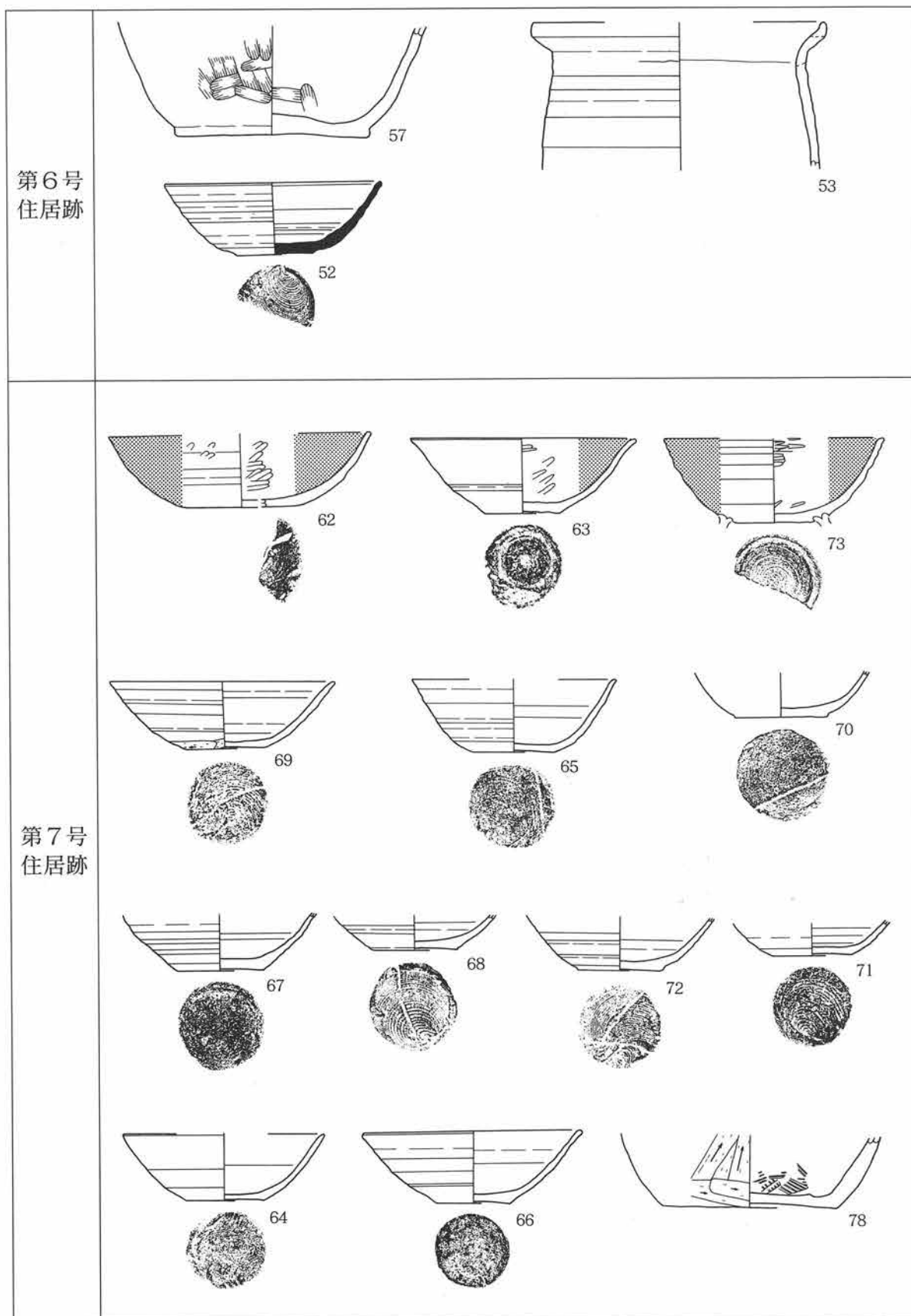
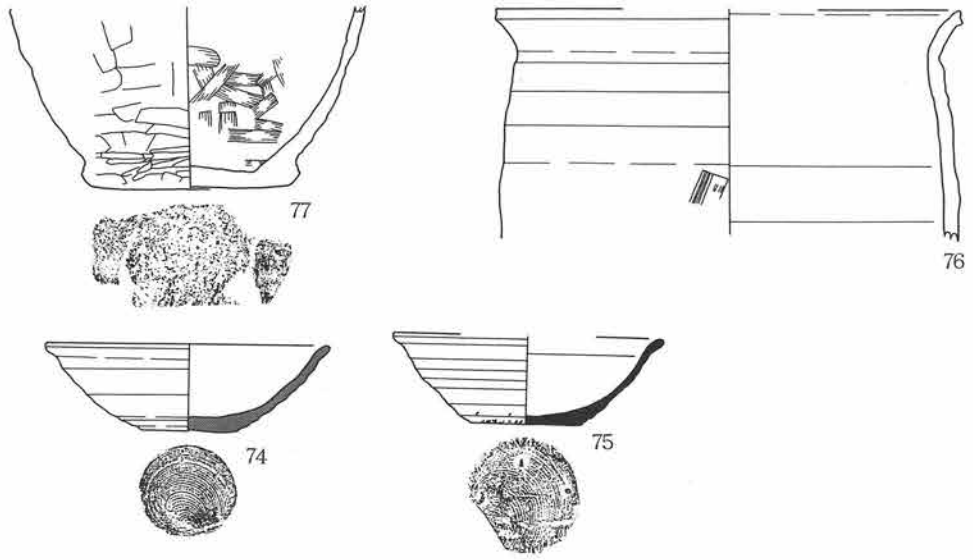


图208 遺構別土器集成图(4)

第7号
住居跡



第8号
住居跡

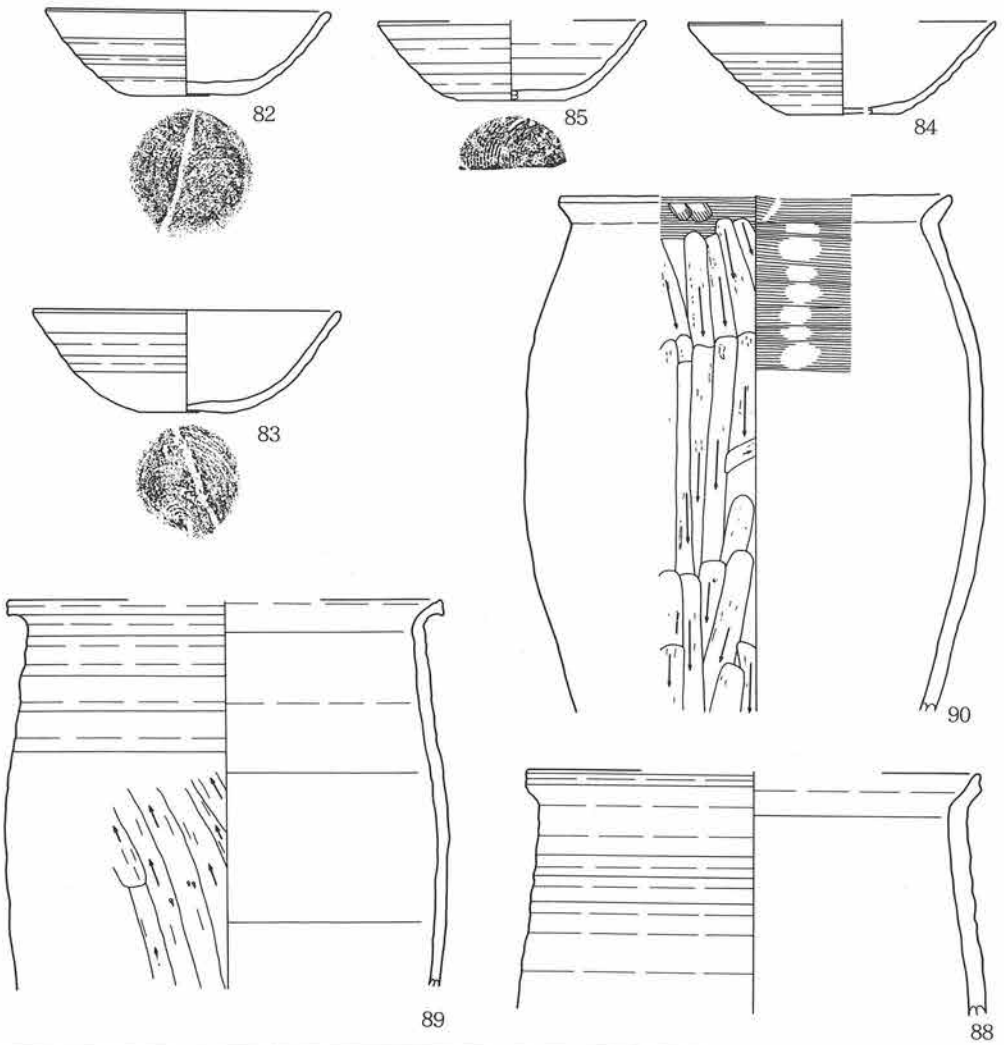


图209 遺構別土器集成图(5)

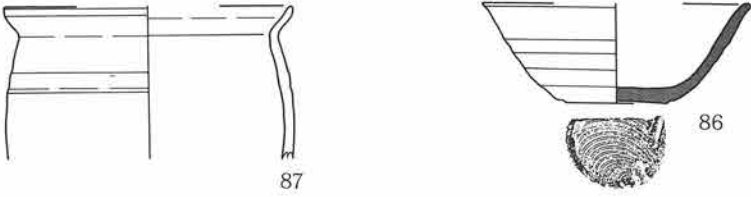

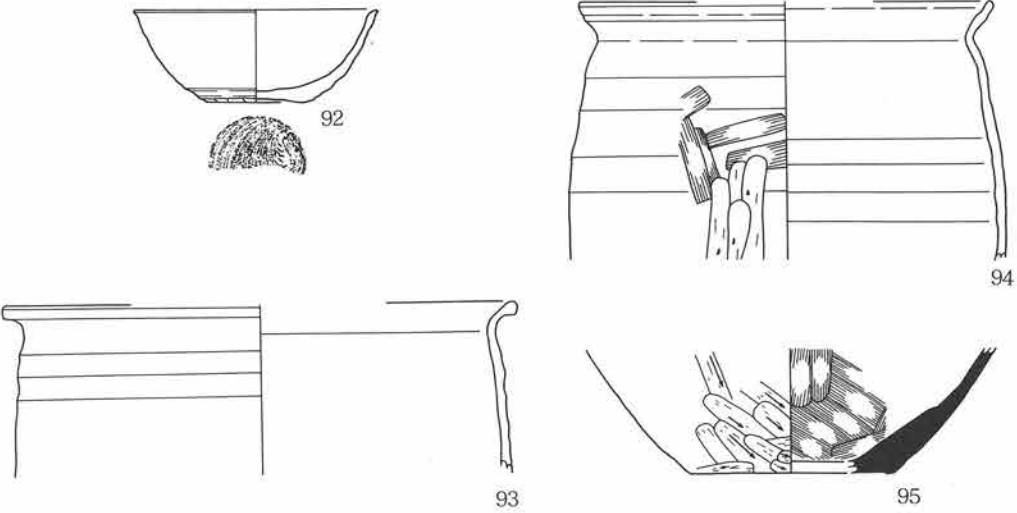

<p>第8号 住居跡</p>	
<p>第9号 住居跡</p>	
<p>第10号 住居跡</p>	
<p>第13号 住居跡</p>	

図210 遺構別土器集成図(6)

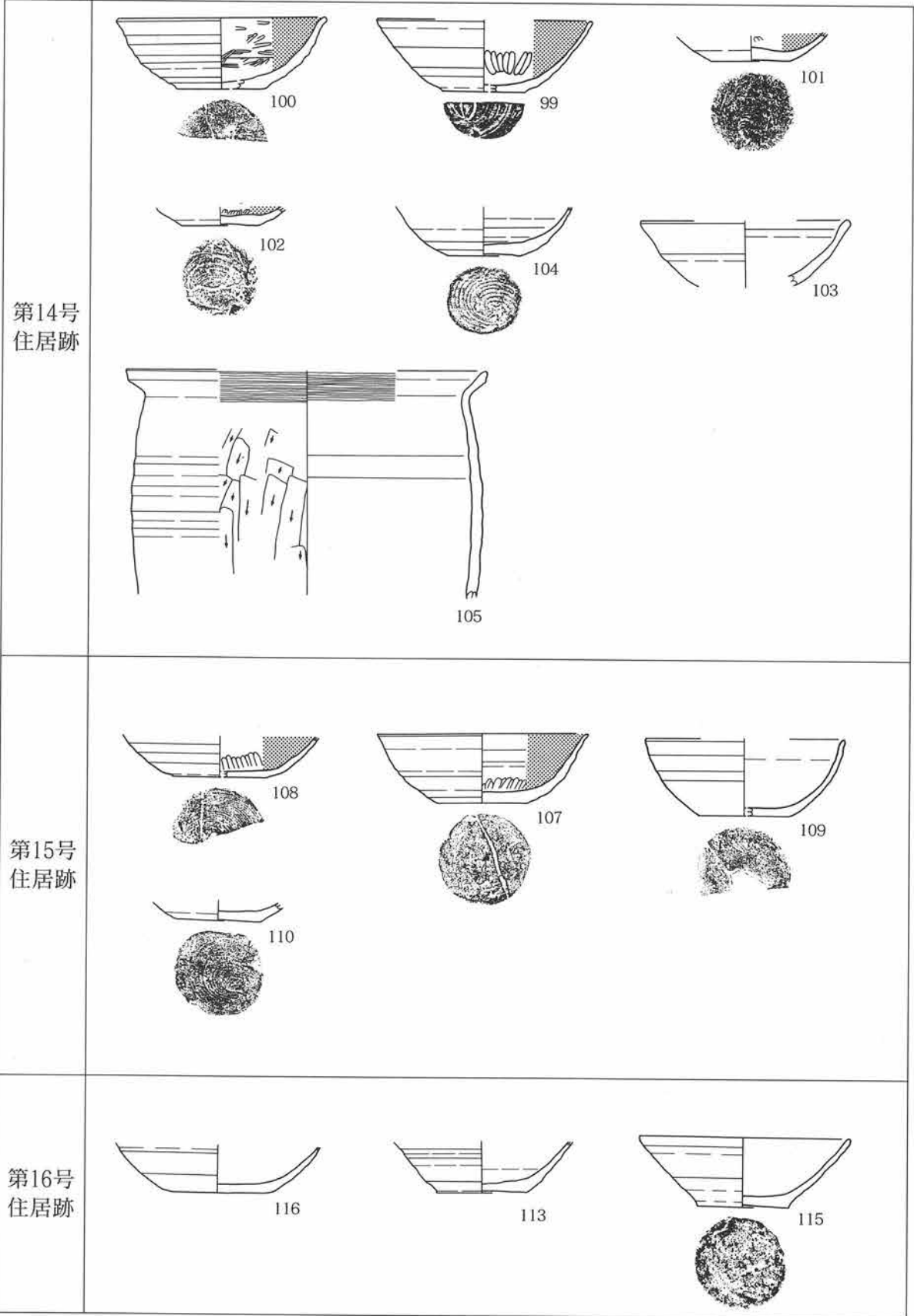
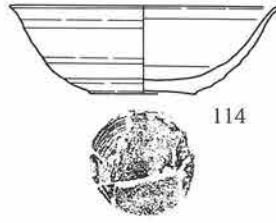
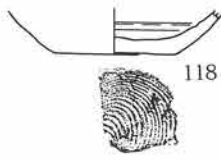


图211 遺構別土器集成图(7)

第16号
住居跡



第17号
住居跡

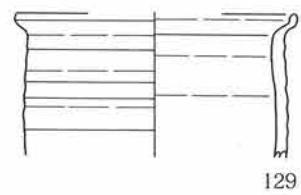
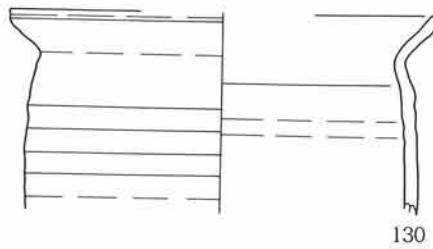
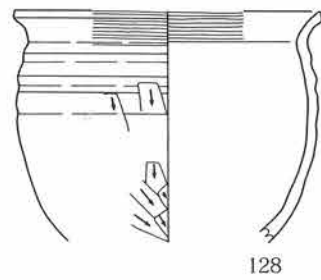
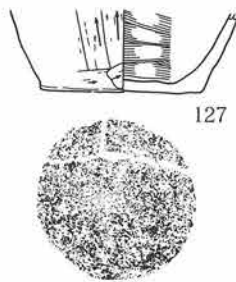
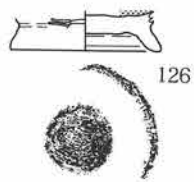
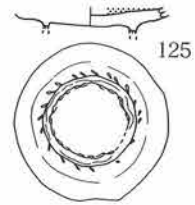
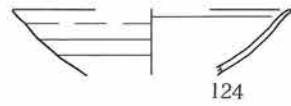
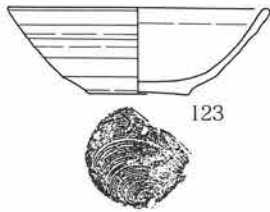
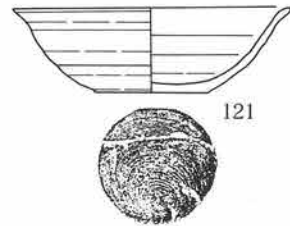
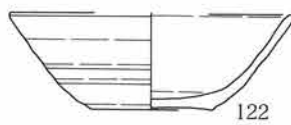
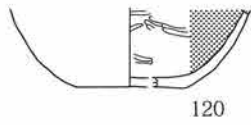


图212 遺構別土器集成図(8)

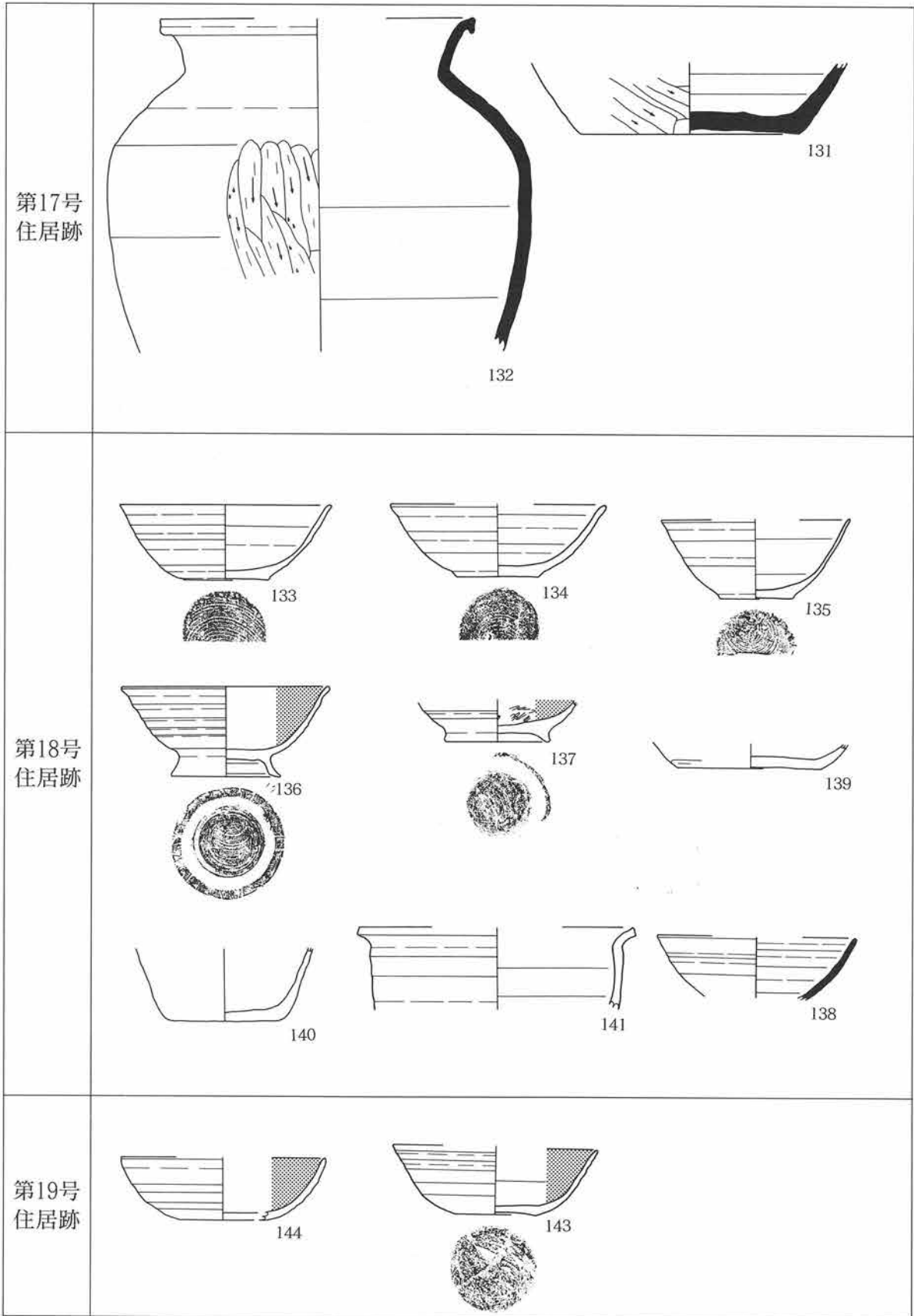


图213 遺構別土器集成图(9)

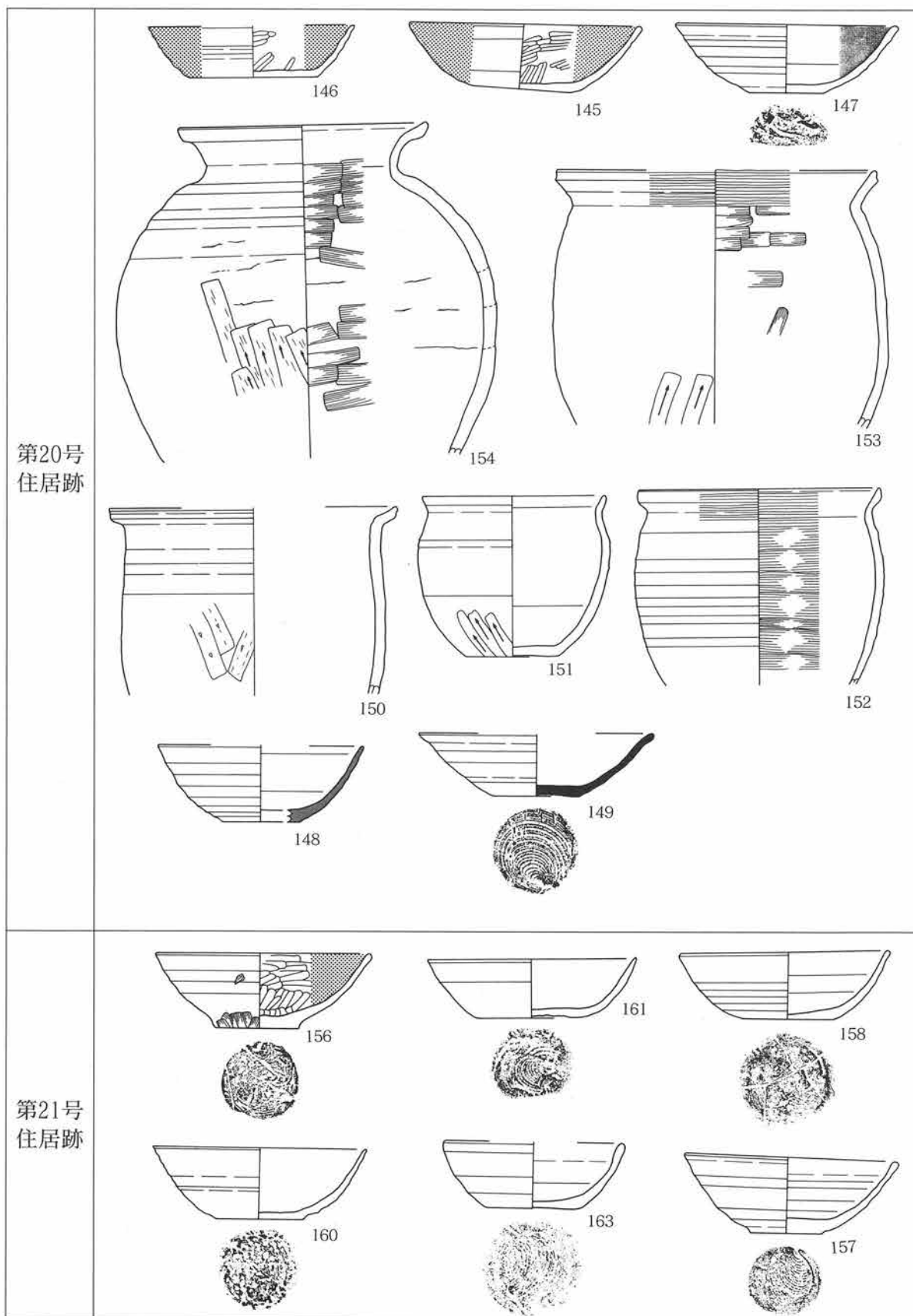


图214 遺構別土器集成図(10)

第21号
住居跡

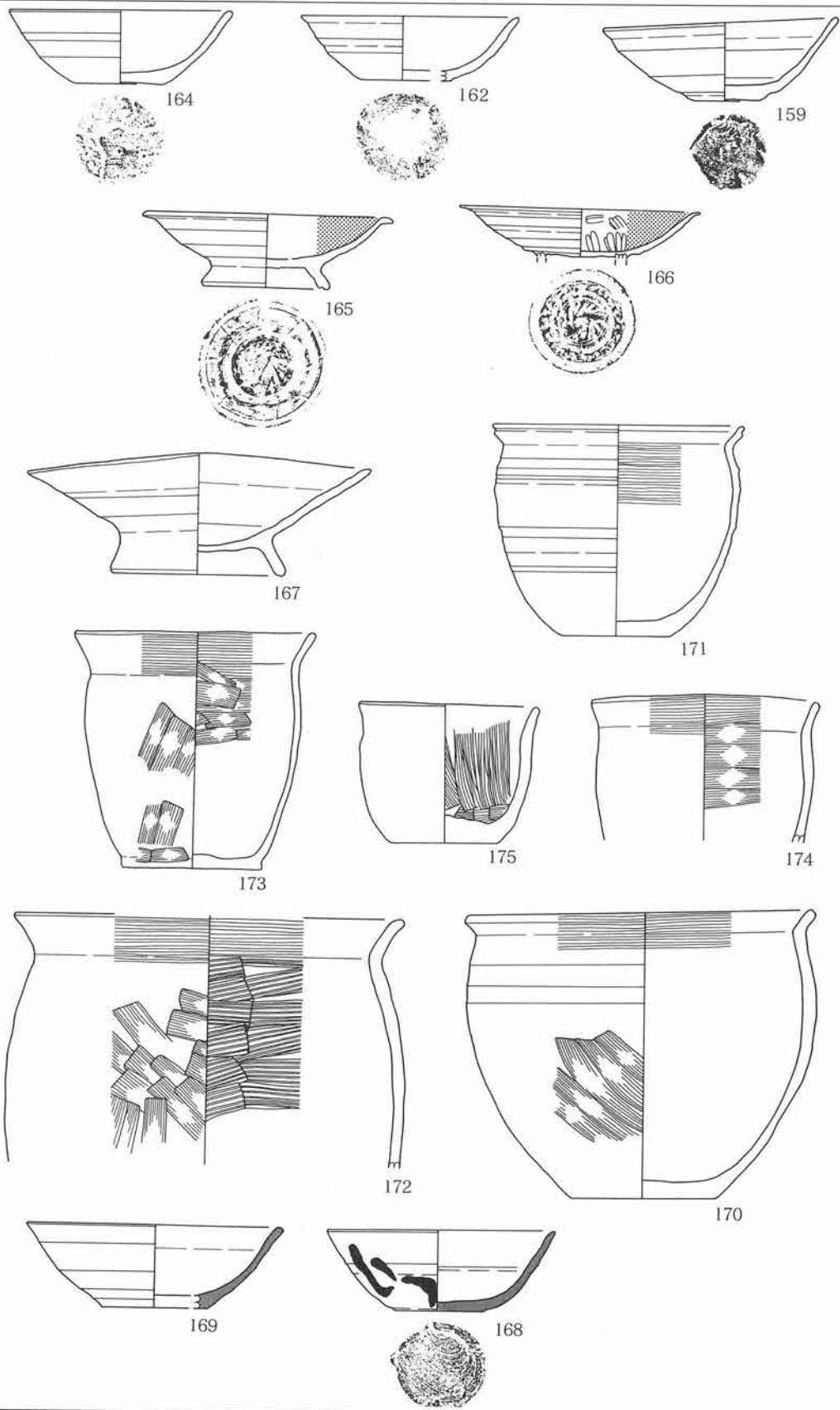


图215 遺構別土器集成图(11)

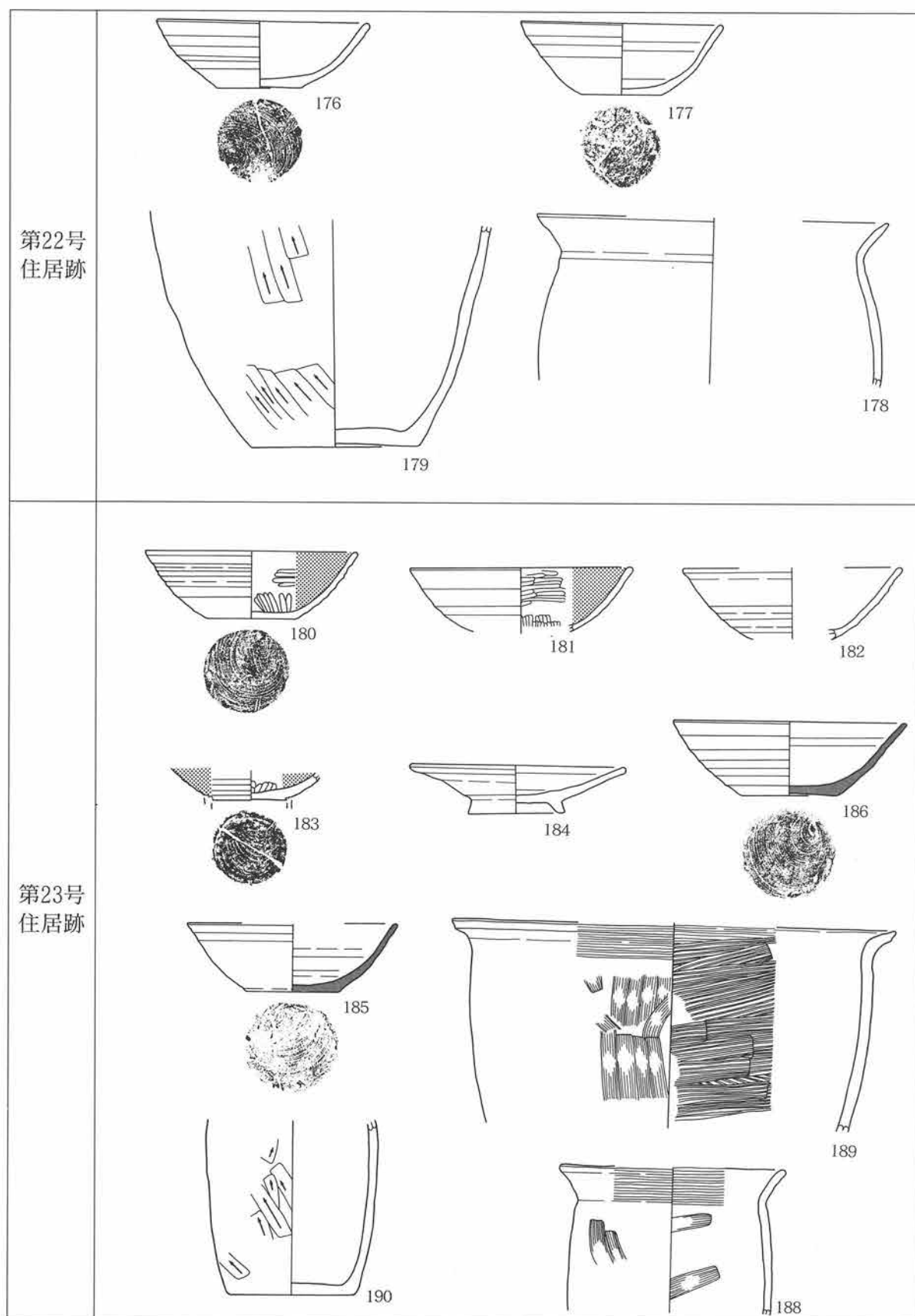
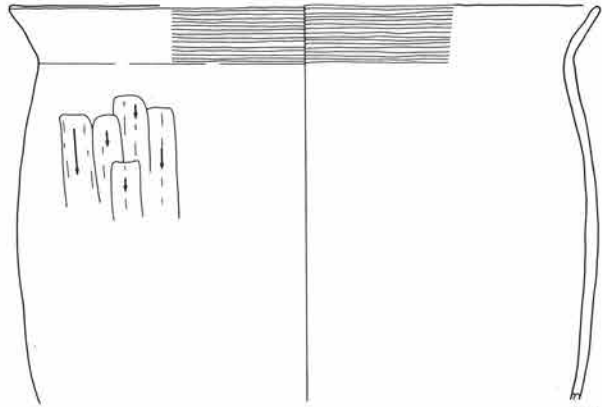
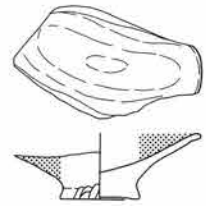


图216 遺構別土器集成図(12)

第23号
住居跡



187



218

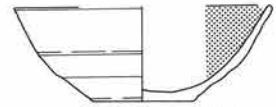
第24号
住居跡



193



192



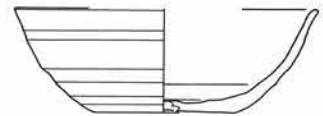
194



191



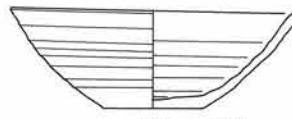
195



196



197



198



200



199



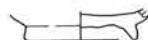
202



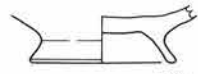
203



201



204



205

图217 遺構別土器集成図(13)

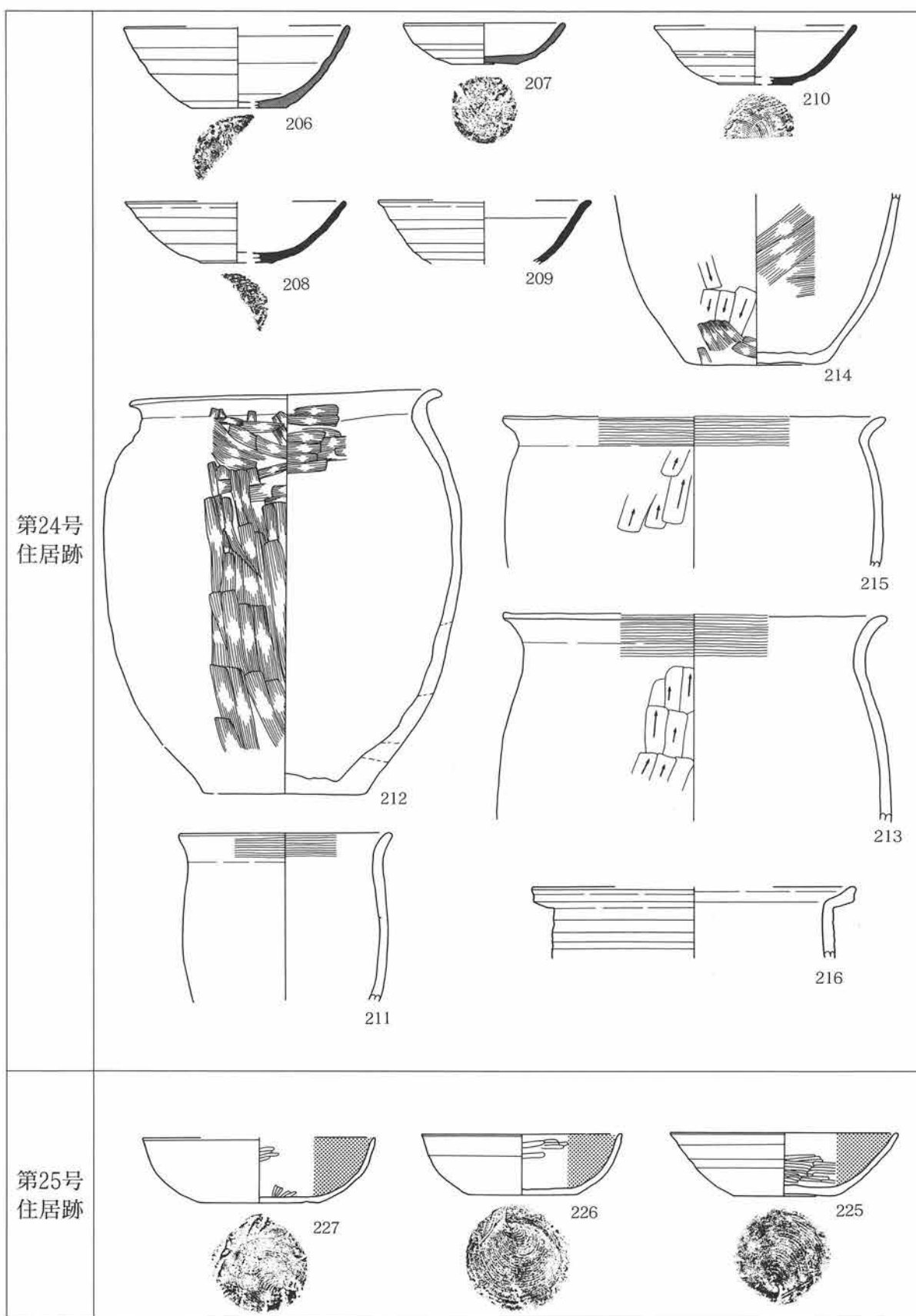
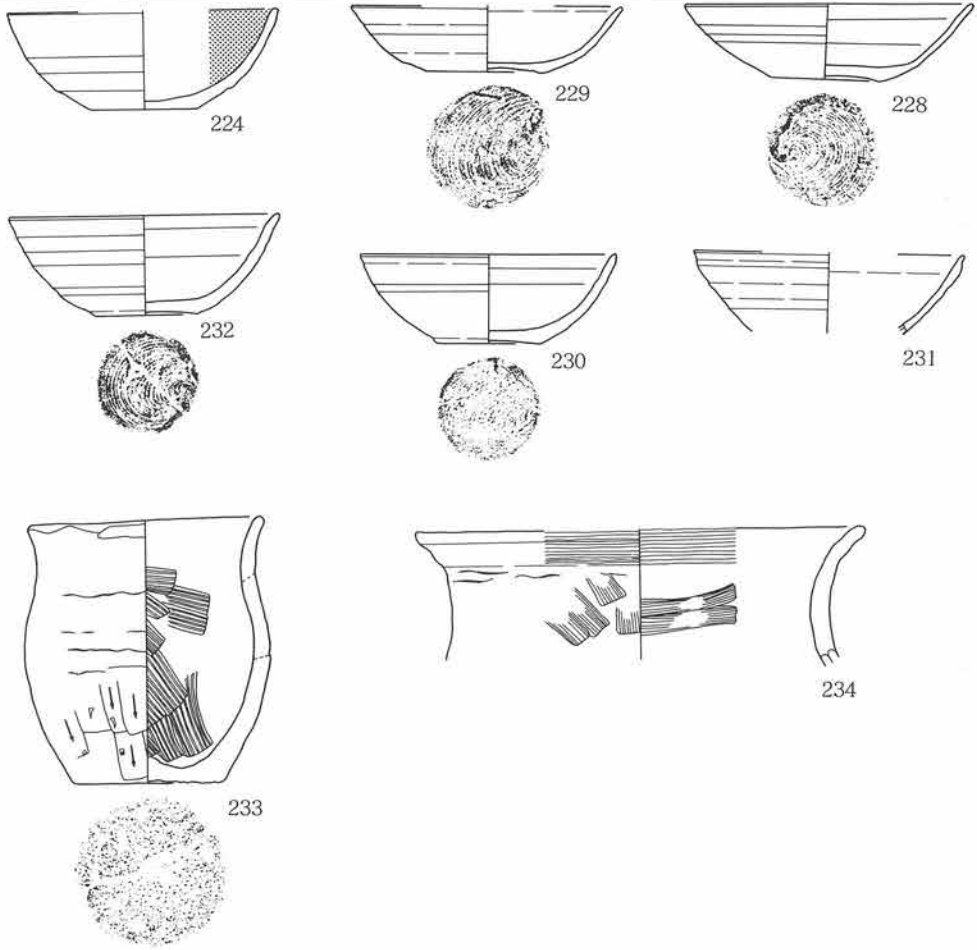


图218 遺構別土器集成图(14)

第25号
住居跡



第26号
住居跡

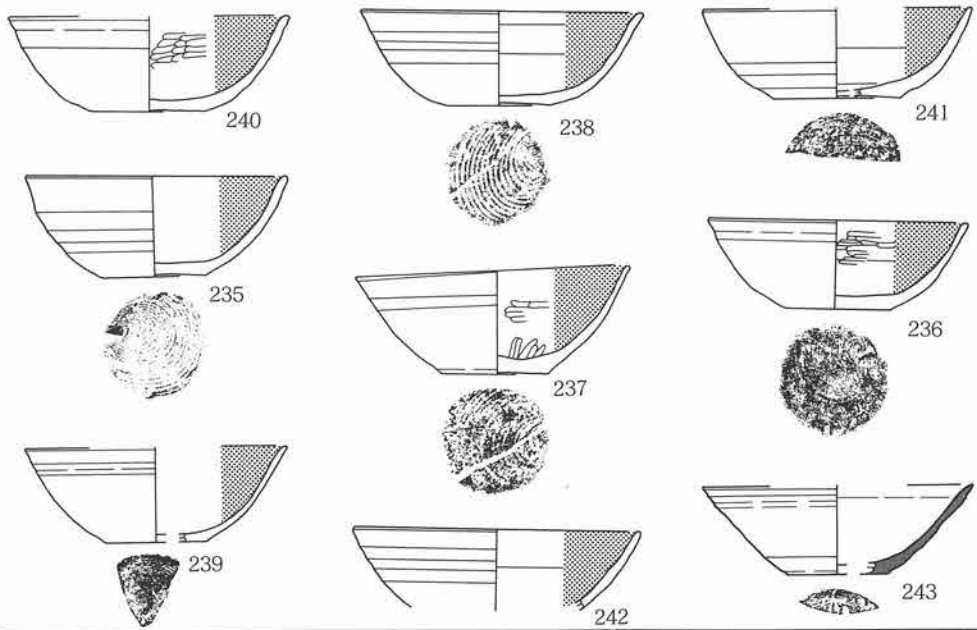


图219 遺構別土器集成图(15)

<p>第27号 住居跡</p>	
<p>第28号 住居跡</p>	
<p>第29号 住居跡</p>	
<p>第30号 住居跡</p>	

図220 遺構別土器集成図(16)

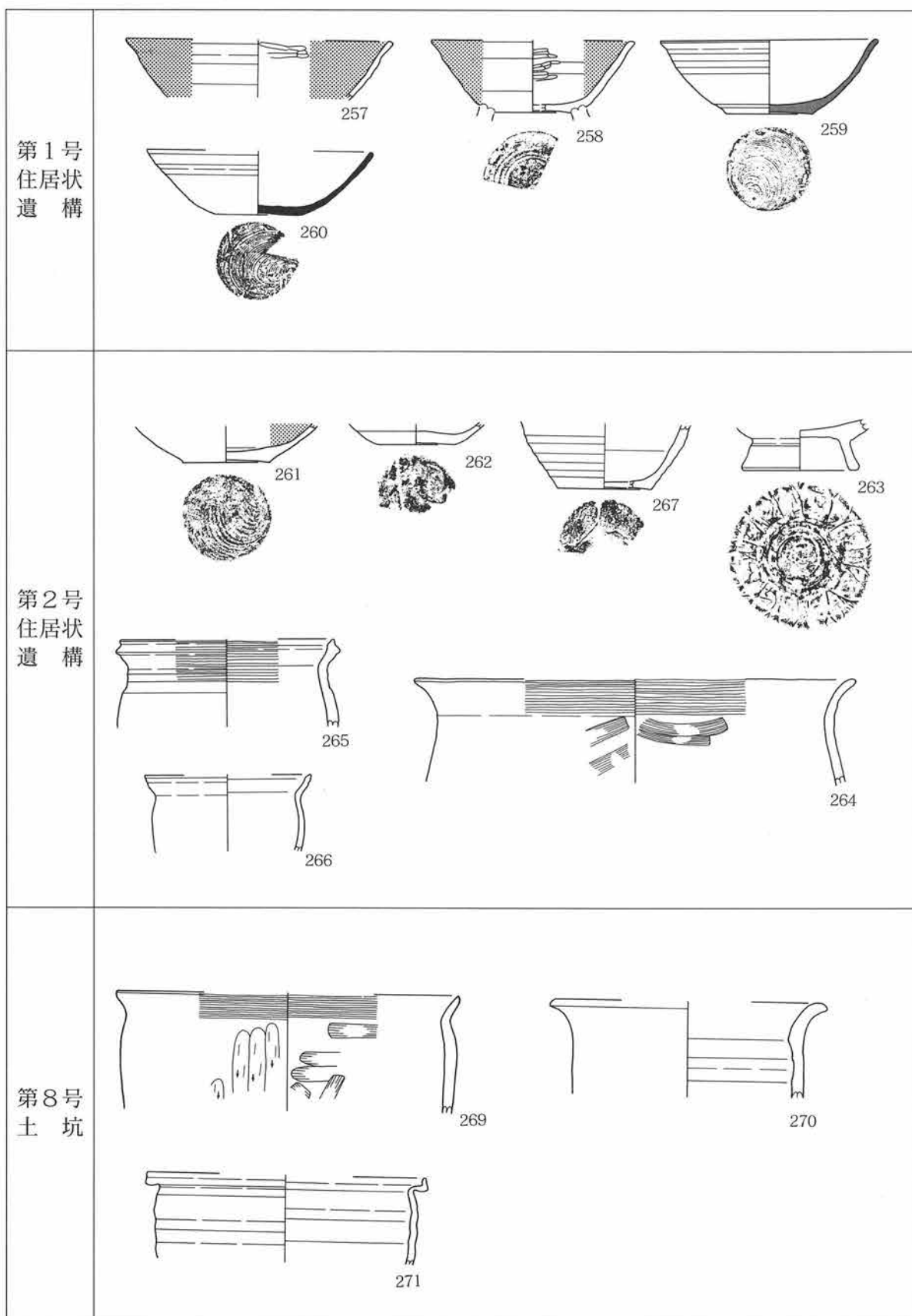


图221 遺構別土器集成图(17)

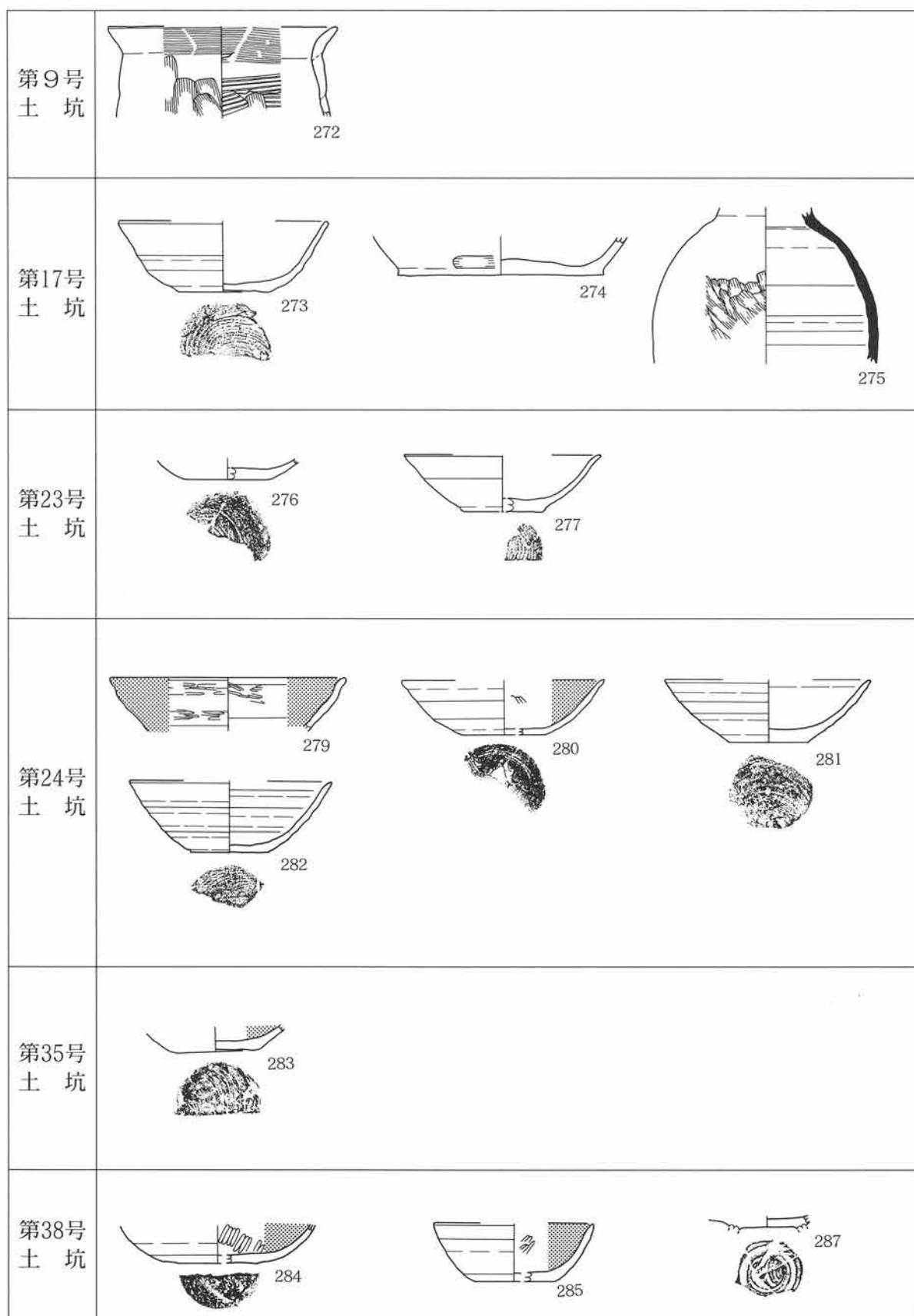


图222 遺構別土器集成図(18)

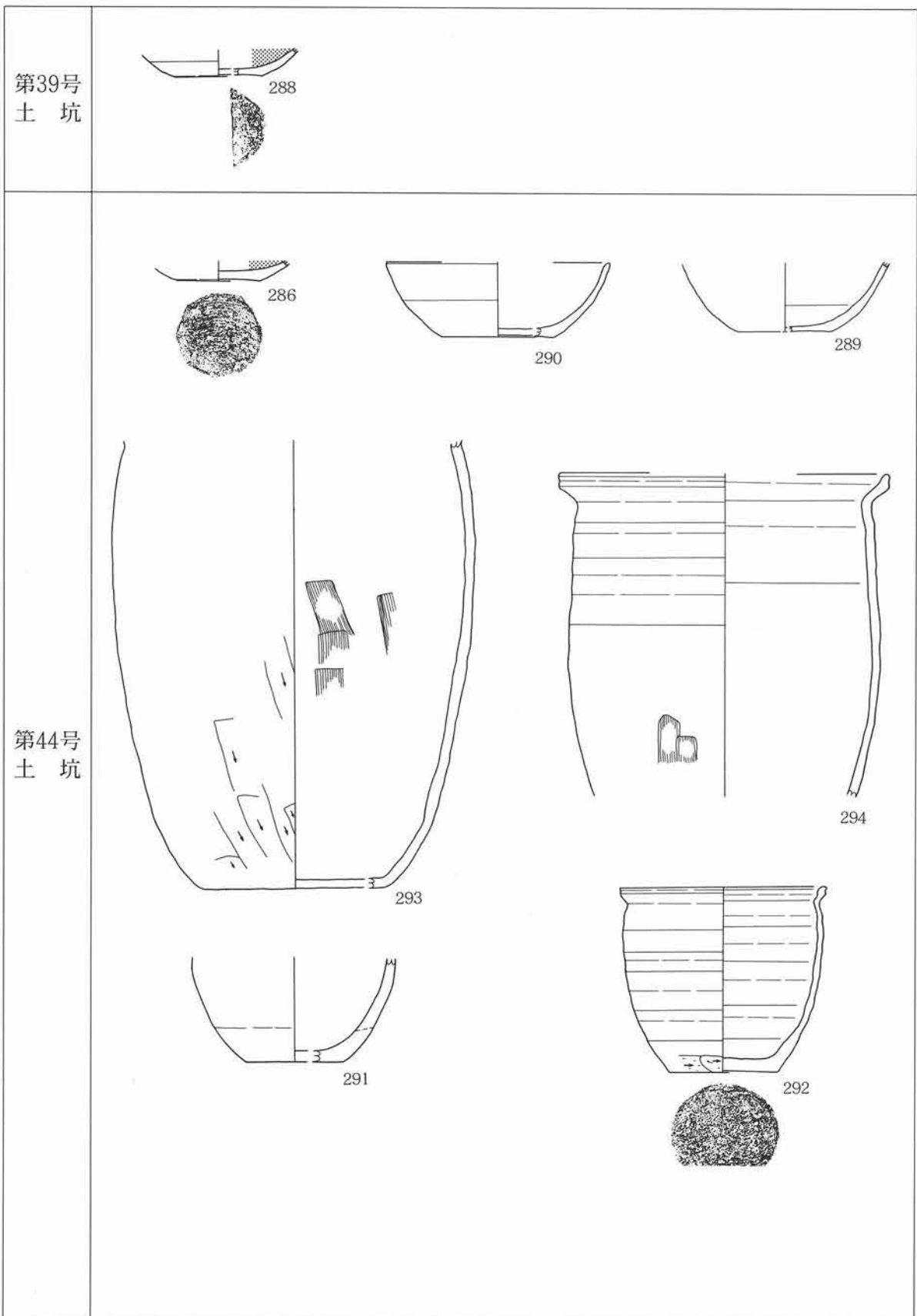


图223 遺構別土器集成図(19)

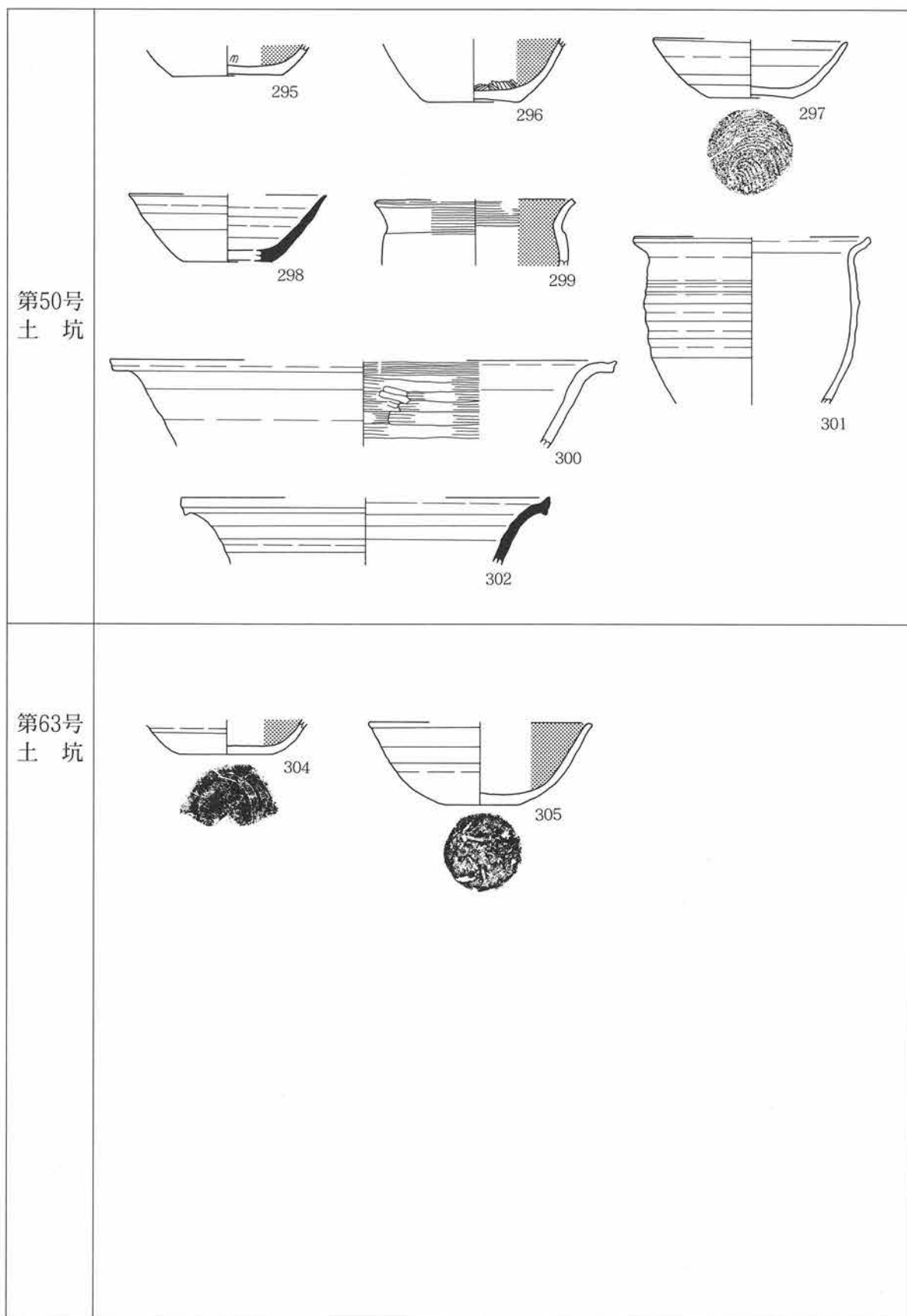


图224 遺構別土器集成图(20)

付篇1 石持 I 遺跡出土柱材年代測定結果

1. 試料と方法

No.	試料	試料の種類	重量	前処理・調整	測定法
1.	IMI99-No.1	木材	270.0g	酸/アルカリ/酸洗浄 ベンゼン処理	β -線計数法 (液体シンチレーション法)
2.	IMI99-No.2	木材	250.0g	酸/アルカリ/酸洗浄 ベンゼン処理	β -線計数法 (液体シンチレーション法)

2. 測定結果

試料名	^{14}C 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年BP)	暦年代	測定No. Beta-
No.1.	70±60	-27.3	30±60	交点 NO INTERCEPTS 2 σ AD 1680 to 1740, AD 1805 to 1930 1 σ AD 1890 to 1910	137668
No.2.	70±50	-26.7	40±50	交点 NO INTERCEPTS 2 σ AD 1685 to 1735, AD 1810 to 1925 1 σ AD 1890 to 1910	137669

1) ^{14}C 年代測定値

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在（1950年AD）から何年前かを計算した値。 ^{14}C の半減期は5,568年を用いた。

2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比（ $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ ）。この値は、標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。

3) 補正 ^{14}C 年代値

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値の補正值を加えた上で算出した年代。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動に対する補正により、暦年代（西暦）を算出した。具体的には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定、サンゴのU-Th年代と ^{14}C 年代の比較により補正曲線を作成して暦年代を算出する。最新のデータベース（"INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration" Stuiver M., et al., 1998, Radiocarbon 40(3)）により、約19,000年BPまでの換算が可能になっている。ただし、10,000年BP以前のデータはまだ不完全であり、今後も改善される可能性がある。

暦年代の交点とは、補正 ^{14}C 年代値と暦年代補正曲線との交点の暦年代値を意味する。1 σ （68%確率）・2 σ （95%確率）は補正 ^{14}C 年代値の偏差の幅を補正曲線の投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の1 σ ・2 σ 値が表記される場合もある。

5) 測定No.

測定は、Beta Analytic Inc. (Florida, U.S.A) において行われた。Beta-は同社の測定No.を意味する。

CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE CALENDAR YEARS

(Variables: C13/C12=-26.7; lab mult.=1)

Laboratory Number: Bate-137669

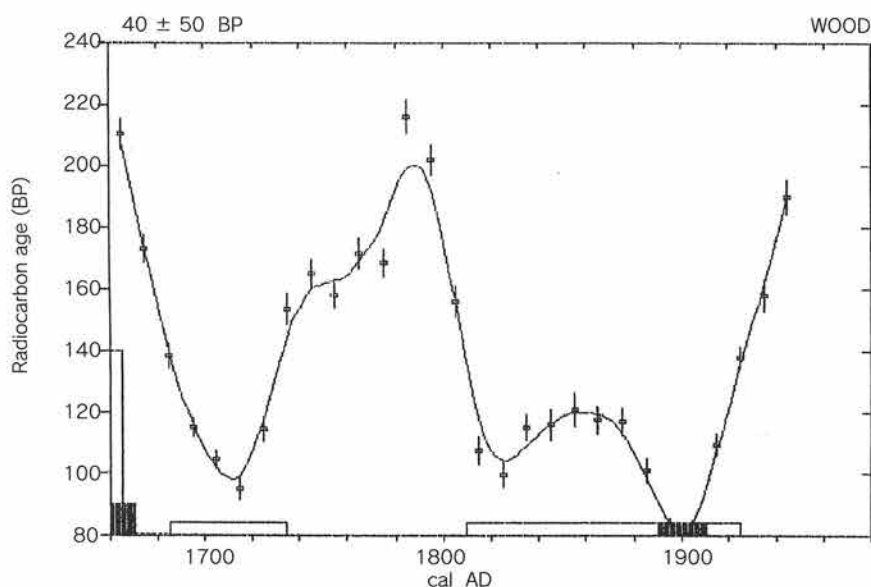
Conventional radiocarbon age: 40 ± 50 BP

Calibrated results: cal AD 1685 to 1735 (Cal BP 265 to 215) and
(2 sigma, 95% probability) cal AD 1810 to 1925 (Cal BP 140 to 25)

Intercept data:

Intercepts of radiocarbon age
with calibration curve: NO INTERCEPTS

1 sigma calibrated results: cal AD 1890 to 1910 (Cal BP 60 to 40)
(68% probability)



References:

Calibration Database

Editorial Comment

Stuiver, M., van der Plicht, H., 1998, *Radiocarbon* 40(3), p. xii-xiii

INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Stuiver, M., et al., 1998, *Radiocarbon* 40(3), p. 1041-1083

Mathematics

A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates

Talma, A. S., Vogel, J. C., 1993, *Radiocarbon* 35(2), p. 317-322

Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory

4985 S.W. 74th Court, Miami, Florida 33155 ■ Tel: (305) 663-5167 ■ Fax: (305) 663-0964 ■ E-mail: beta@radiocarbon.com

CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE CALENDAR YEARS

(Variables:C13/C12=-27.3:lab mult.=1)

Laboratory Number: Bate-137668

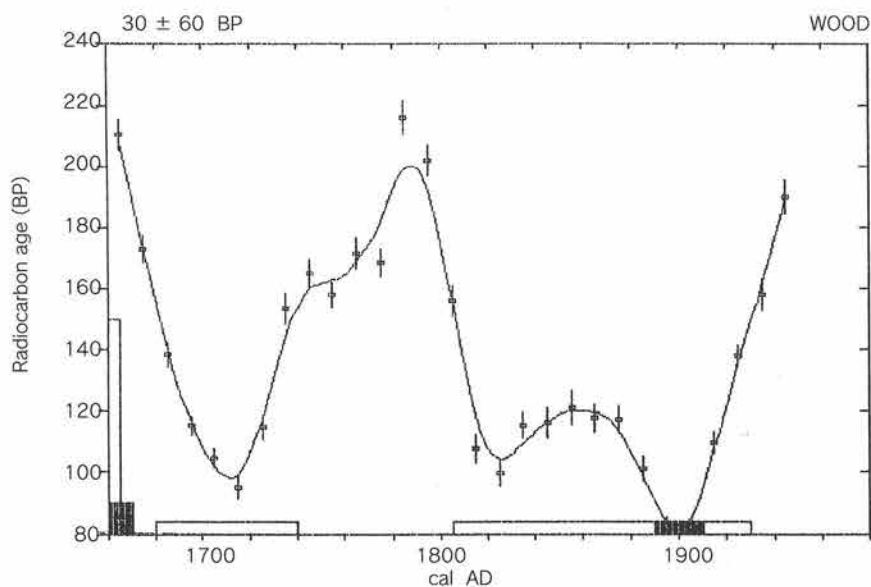
Conventional radiocarbon age: 30 ± 60 BP

Calibrated results: cal AD 1680 to 1740(Cal BP 270 to 210)and
(2 sigma,95% probability) cal AD 1805 to 1930(Cal BP 145 to 20)

Intercept data:

Intercepts of radiocarbon age
with calibration curve: NO INTERCEPTS

1 sigma calibrated results: cal AD 1890 to 1910(Cal BP60 to 40)
(68% probability)



References:

Calibration Database

Editorial Comment

Stuiver, M., van der Plicht, H., 1998, Radiocarbon 40(3), p. xii-xiii

INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Stuiver, M., et al., 1998, Radiocarbon 40(3), p. 1041-1083

Mathematics

A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates

Talma, A. S., Vogel, J. C., 1993, Radiocarbon 35(2), p. 317-322

Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory

4985 S.W. 74th Court, Miami, Florida 33155 ■ Tel: (305) 663-5167 ■ Fax: (305) 663-0964 ■ E-mail: beta@radiocarbon.com

写真図版



遺跡遠景(西から)



遺跡遠景(北から)

写真図版1 空中写真(1)



遺跡全景(98年度調査区)



遺跡全景(99年度調査区)

写真図版2 空中写真(2)



基本土層(A区)

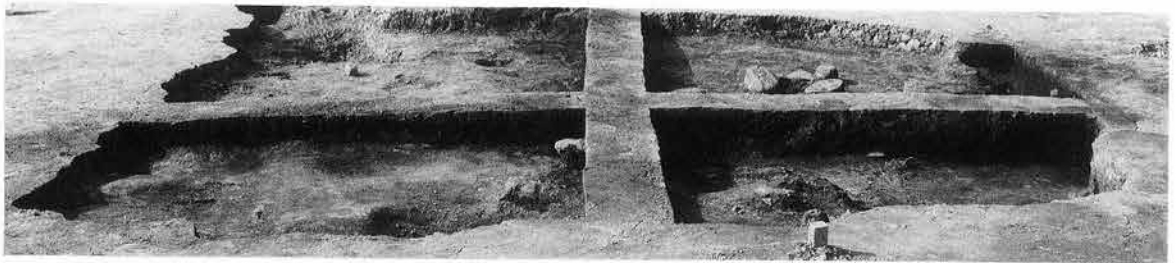


基本土層(B区)

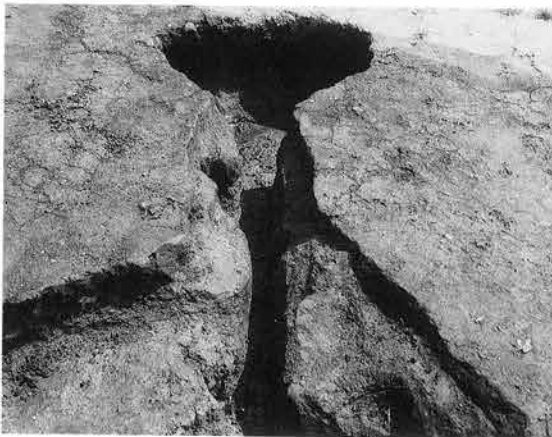
写真図版3 基本土層



全 景



埋 土



カマド 全景



カマド脇土坑 埋土

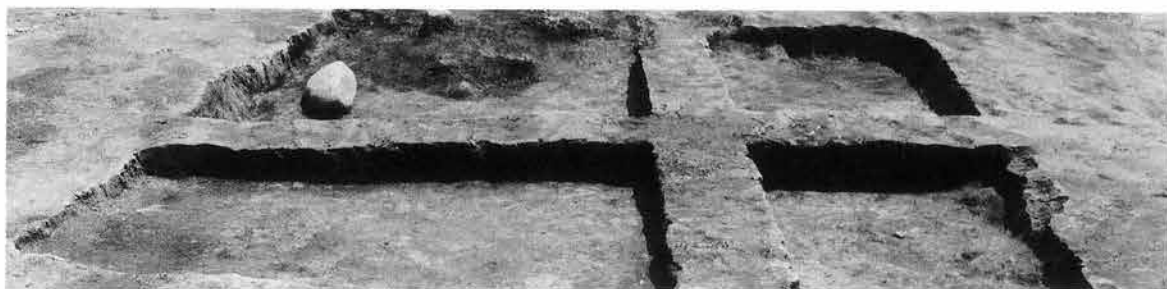


燃烧部焼土 断ち割り

写真図版 4 第 1 号住居跡



全 景



埋 土



土器出土状況



カマド 断面

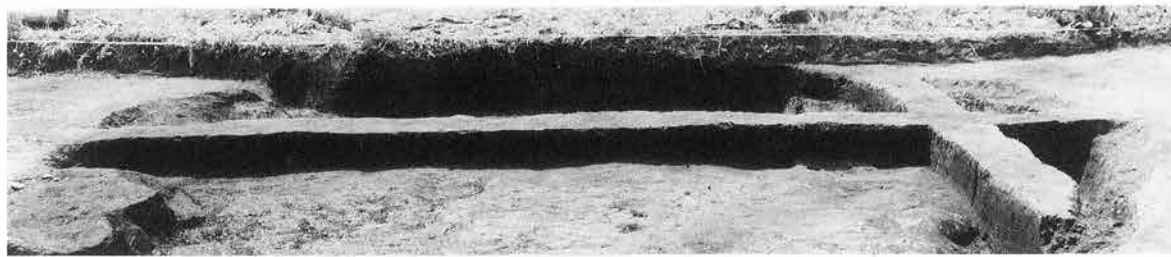


燃烧部焼土 断ち割り

写真図版 5 第 2 号住居跡



全 景



埋 土



カマド付近 土器出土状況



煙道部 埋土

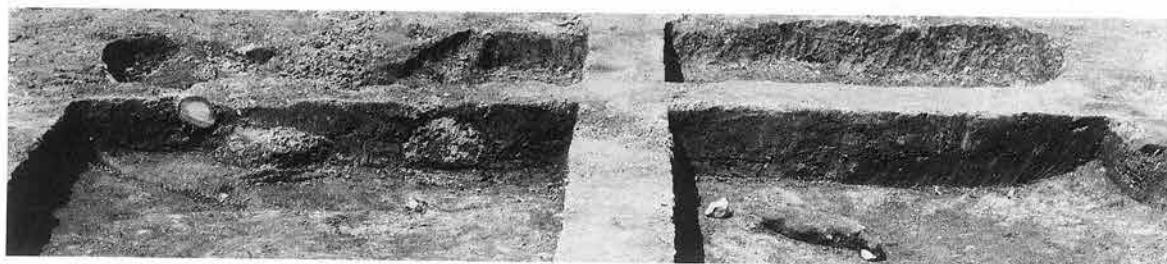


pit1 埋土

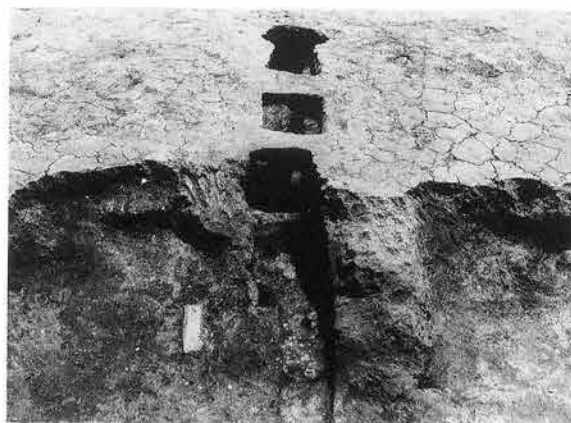
写真図版 6 第 3 号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景



煙道部 埋土



燃烧部焼土 断ち割り

写真図版7 第4号住居跡



全 景



埋 土



カマド 埋土



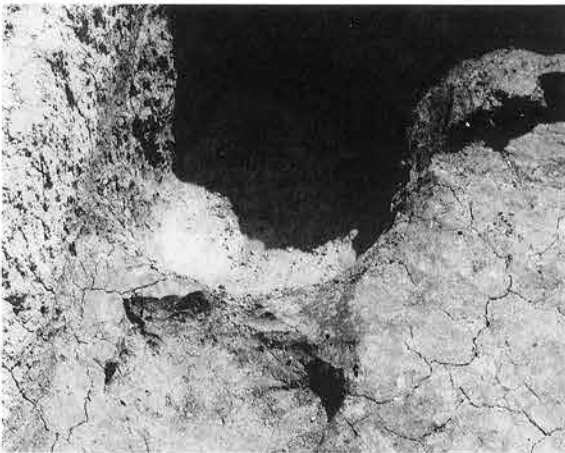
調査風景



全 景



埋 土



pit3 完掘

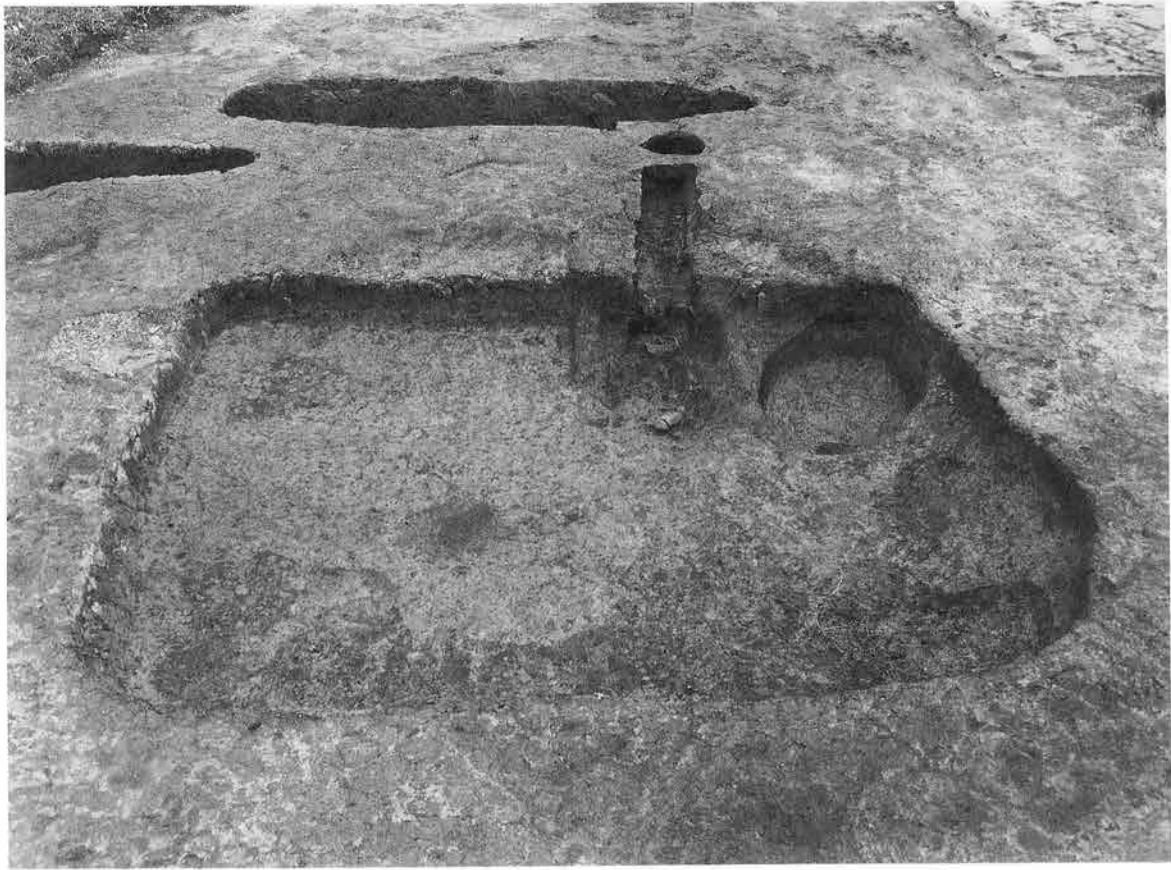


カマド 埋土

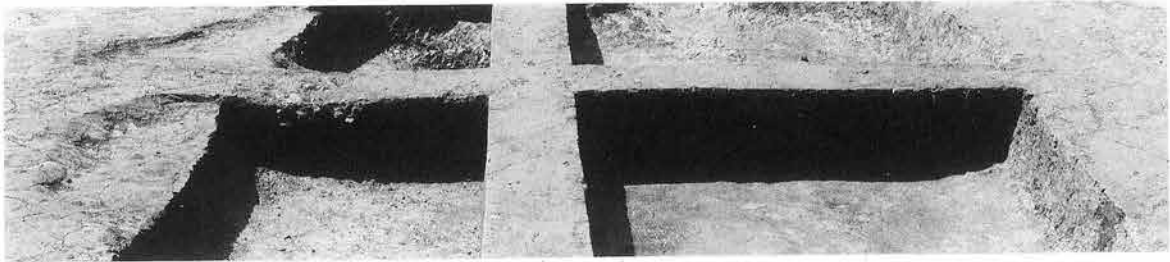


燃烧部焼土 断ち割り

写真図版9 第6号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景



カマド 埋土



燃焼部焼土 断ち割り

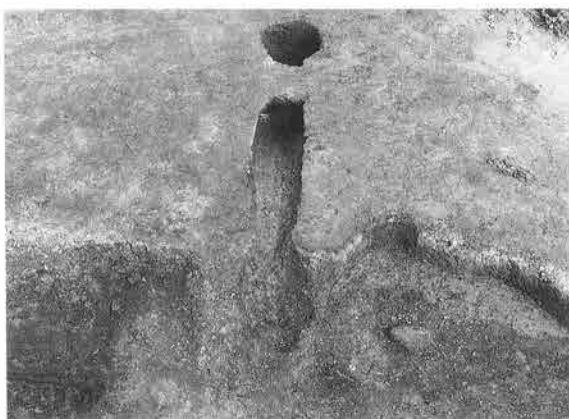
写真図版10 第7号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景



煙出口 土器出土状況

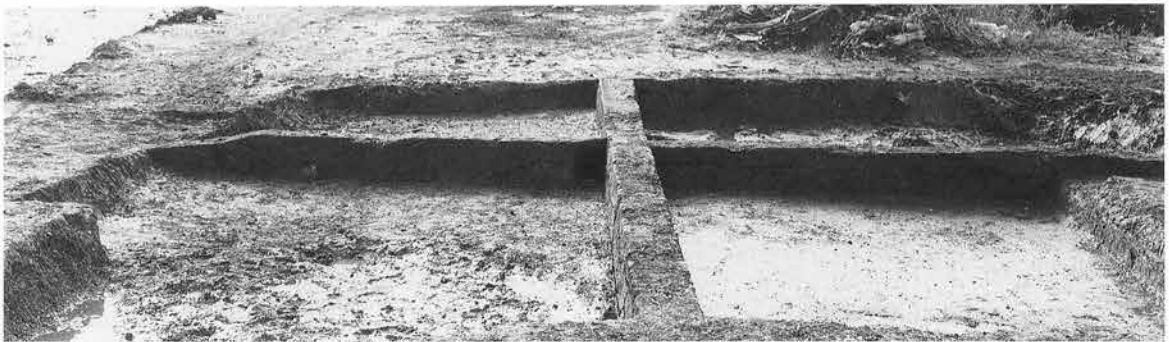
写真図版11 第8号住居跡



全 景

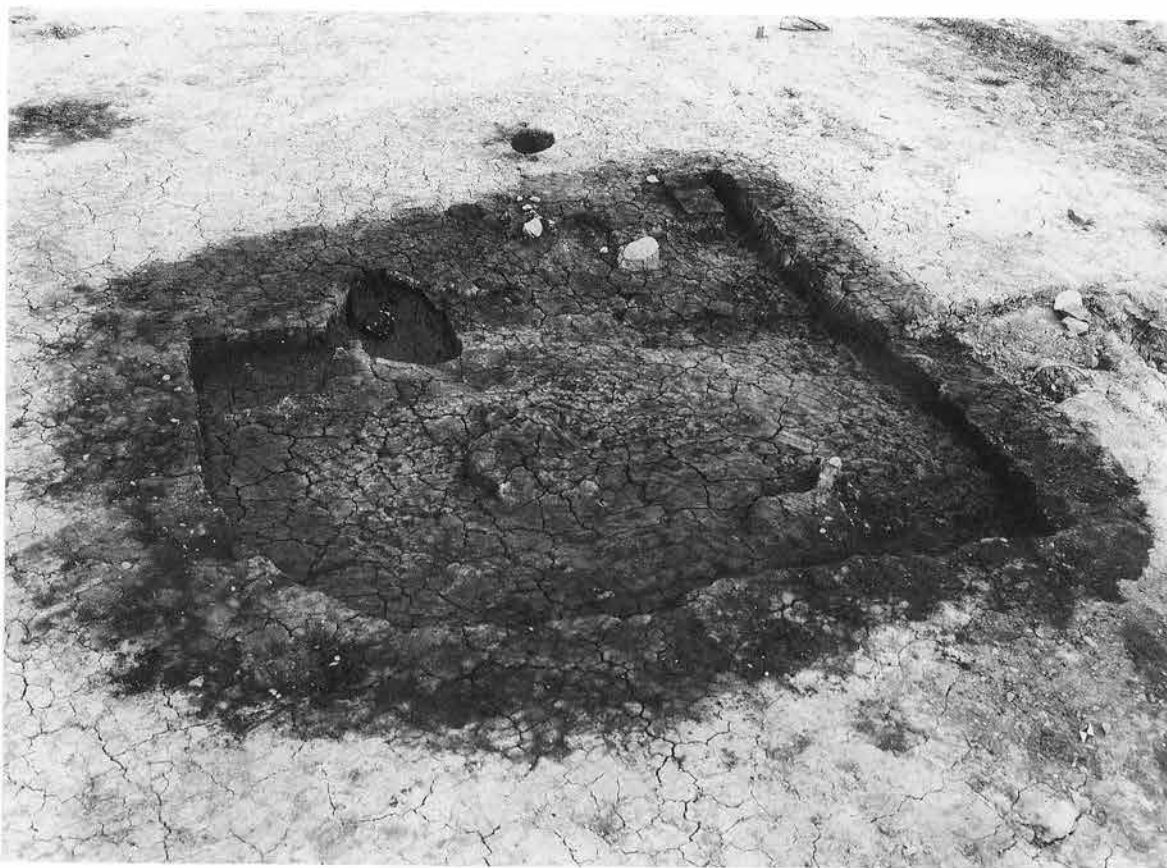


埋 土 1

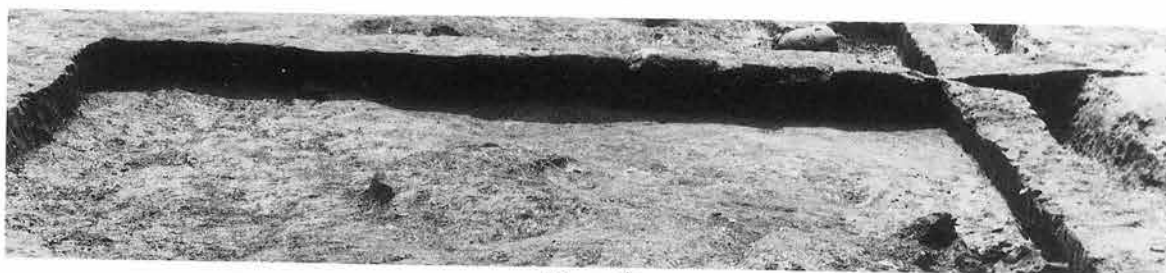


埋 土 2

写真図版12 第9号住居跡



全 景



埋 土



煙出口 埋土



pit1 埋土

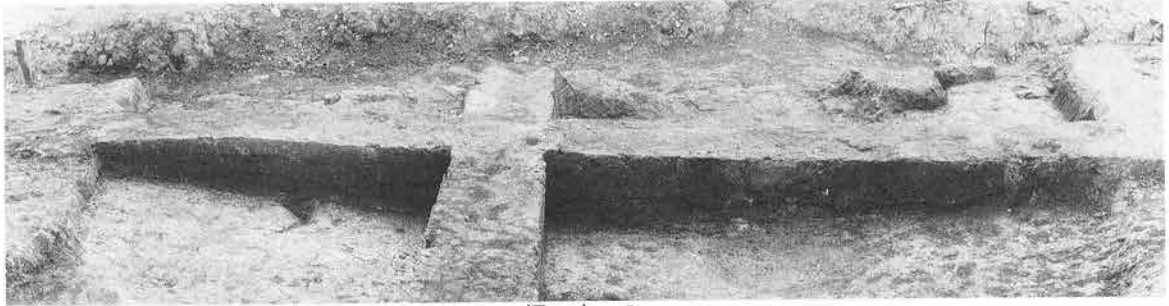


調査風景

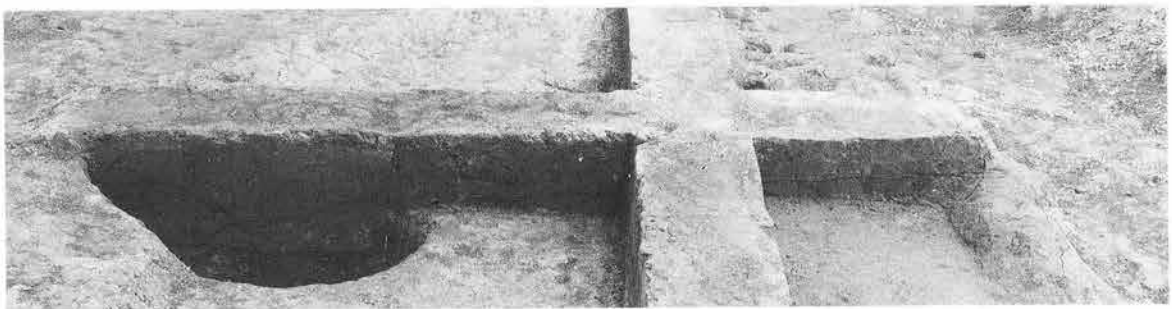
写真図版13 第10号住居跡



全 景



埋 土 1



埋 土 2

写真図版14 第11号住居跡



第12号住居跡 全景



第13号住居跡 全景

写真図版15 第12・13号住居跡



全 景



埋 土

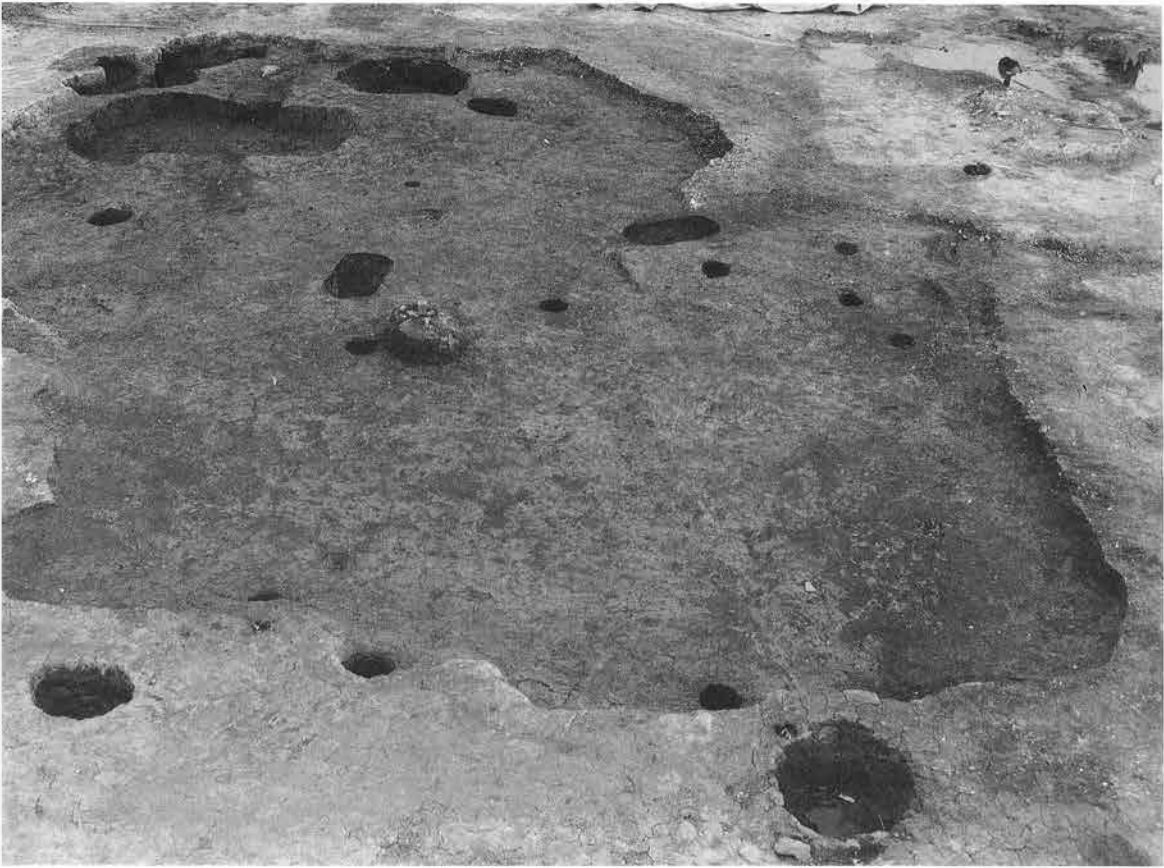


pit1 完掘

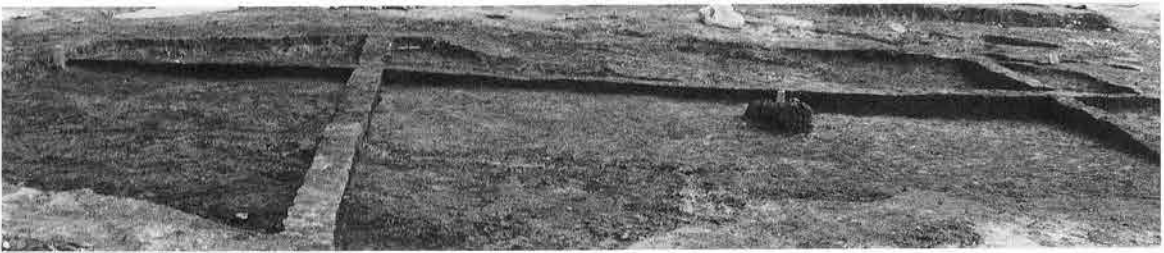


pit2 完掘

写真図版16 第14号住居跡



全 景



第14・15号住居跡 埋土



第15号住居跡 埋土

写真図版17 第15号住居跡



全 景



埋 土



土器出土状況



pit1 埋土

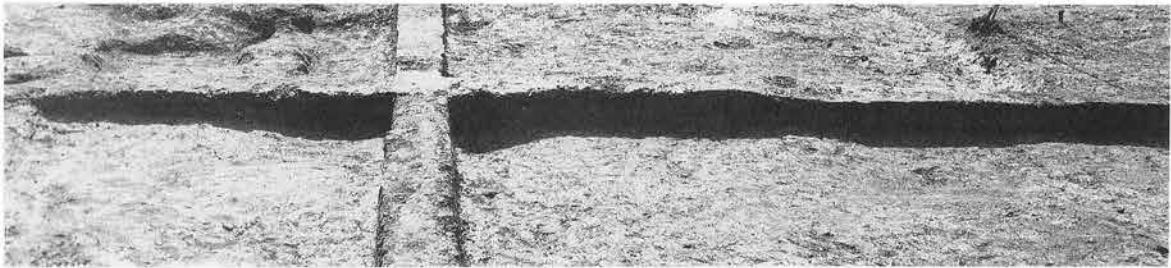


pit2 埋土

写真図版18 第16号住居跡



全 景



埋 土



pit1 埋土



カマド 埋土

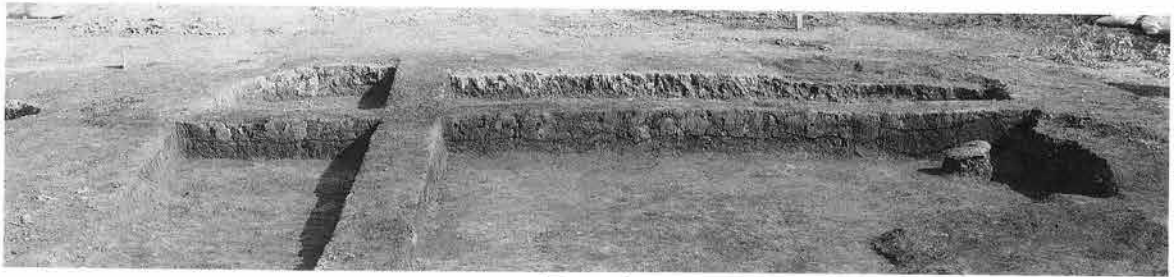


pit2 埋土

写真図版19 第17号住居跡



全 景



埋 土



pit1 完掘

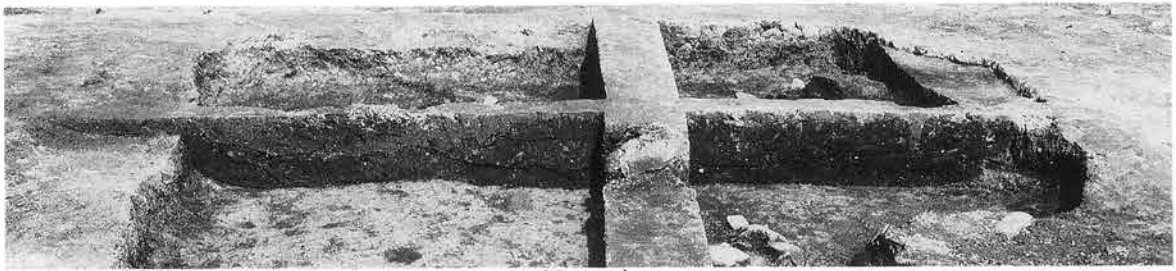


pit2 完掘

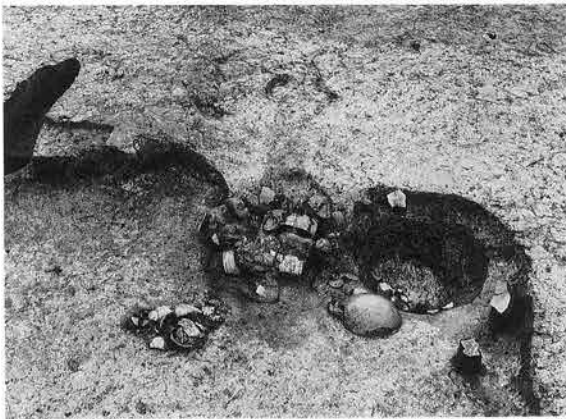
写真図版20 第18号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景

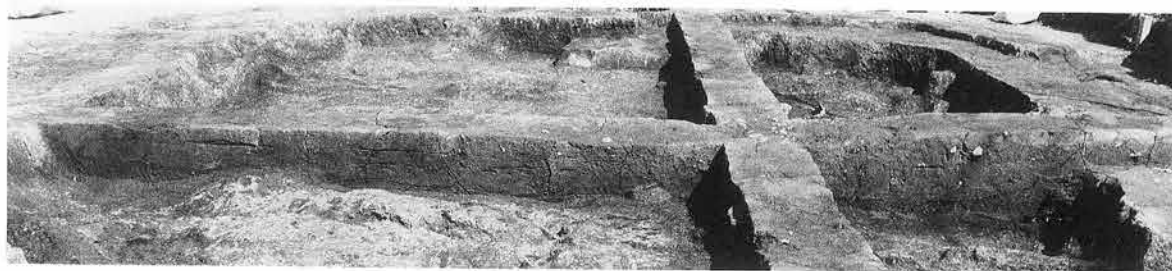


袖断ち割り

写真図版21 第20号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景

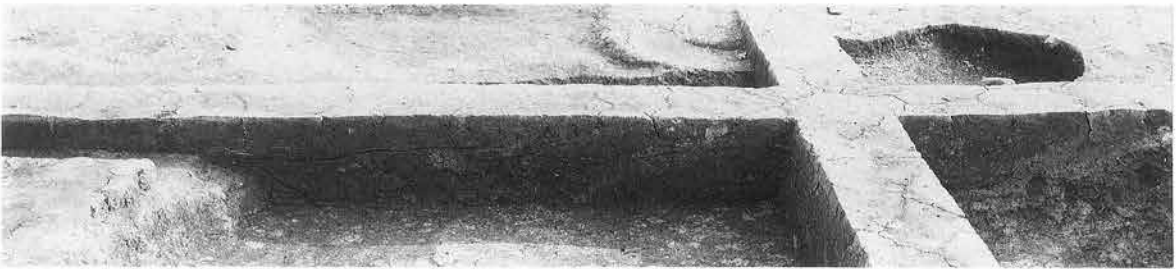


土器出土状況

写真図版22 第21号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景



煙道部 埋土



燃焼部焼土 断ち割り

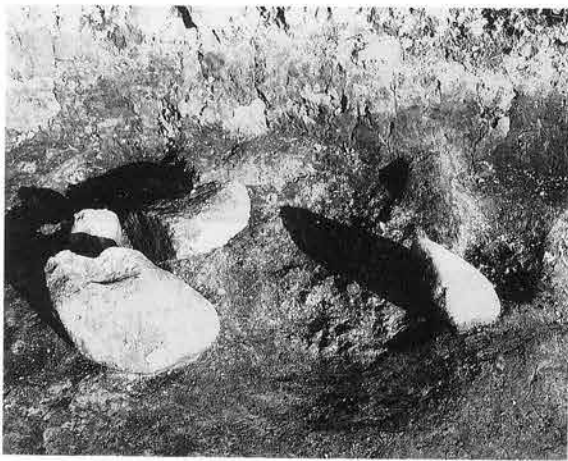
写真図版23 第22号住居跡



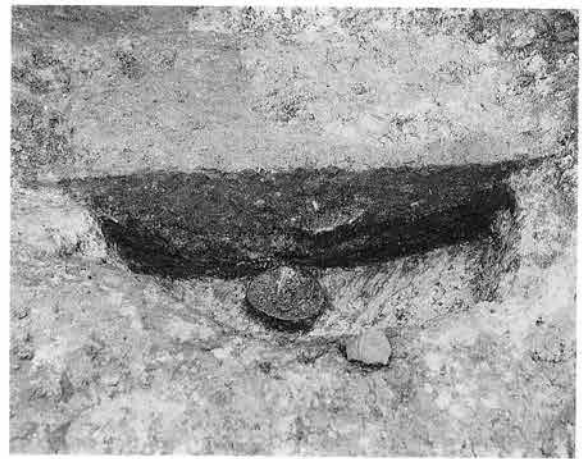
全 景



埋 土



炉 全景

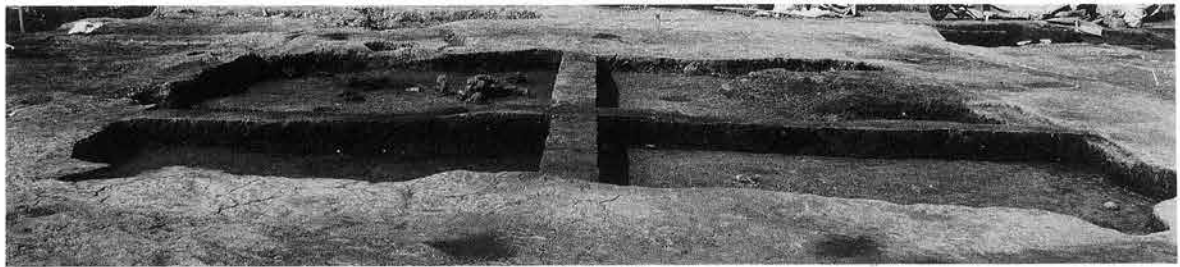


土器出土状況

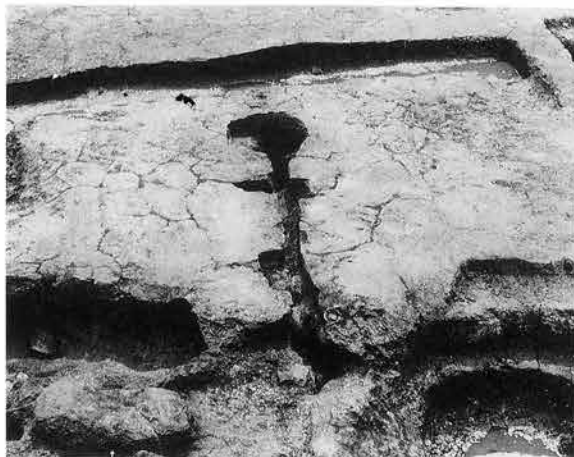
写真図版24 第23号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景



土器出土状況



燃烧部焼土 断ち割り

写真図版25 第24号住居跡



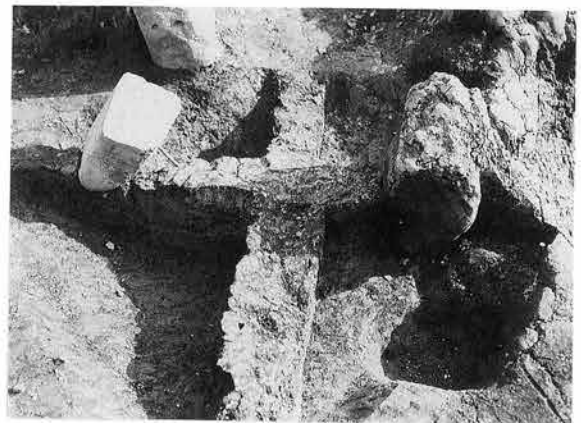
全 景



埋 土



カマド 全景



燃焼部焼土 断ち割り

写真図版26 第25号住居跡



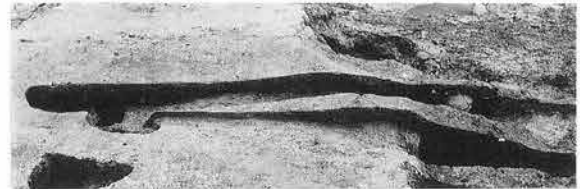
全 景



埋 土



カマド 全景



煙道部 埋土

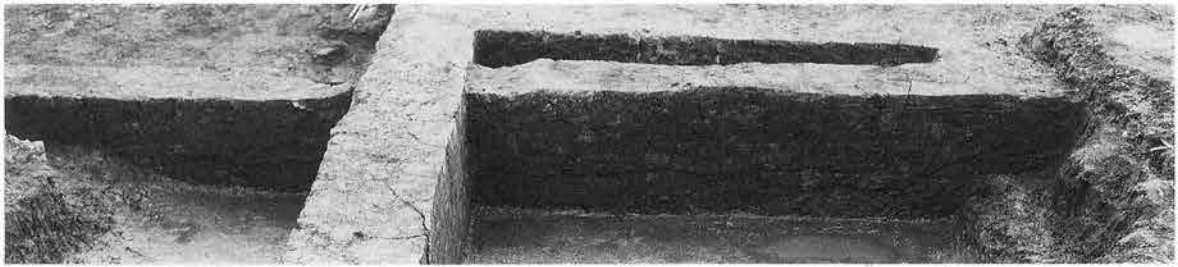


燃燒部焼土 断ち割り

写真図版27 第26号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景

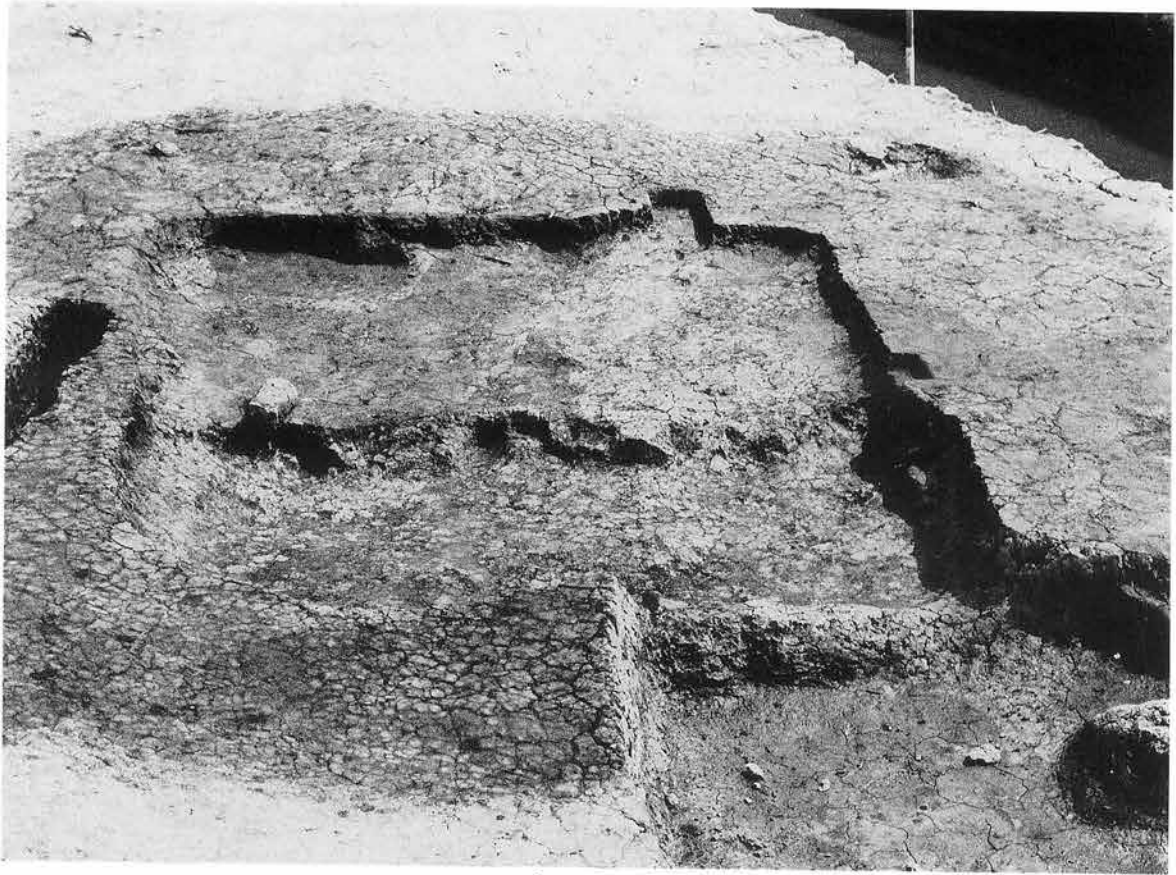


燃焼部焼土 断ち割り

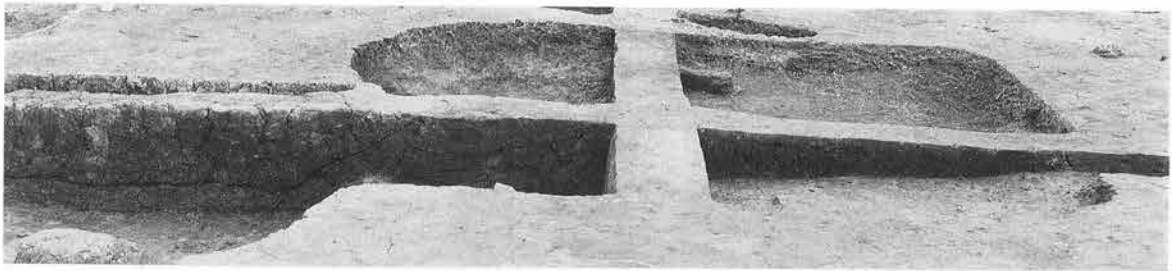


土器出土状況

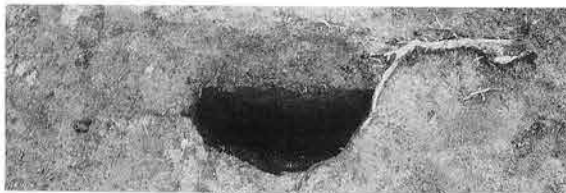
写真図版28 第27号住居跡



全 景



埋 土



煙出口 埋土

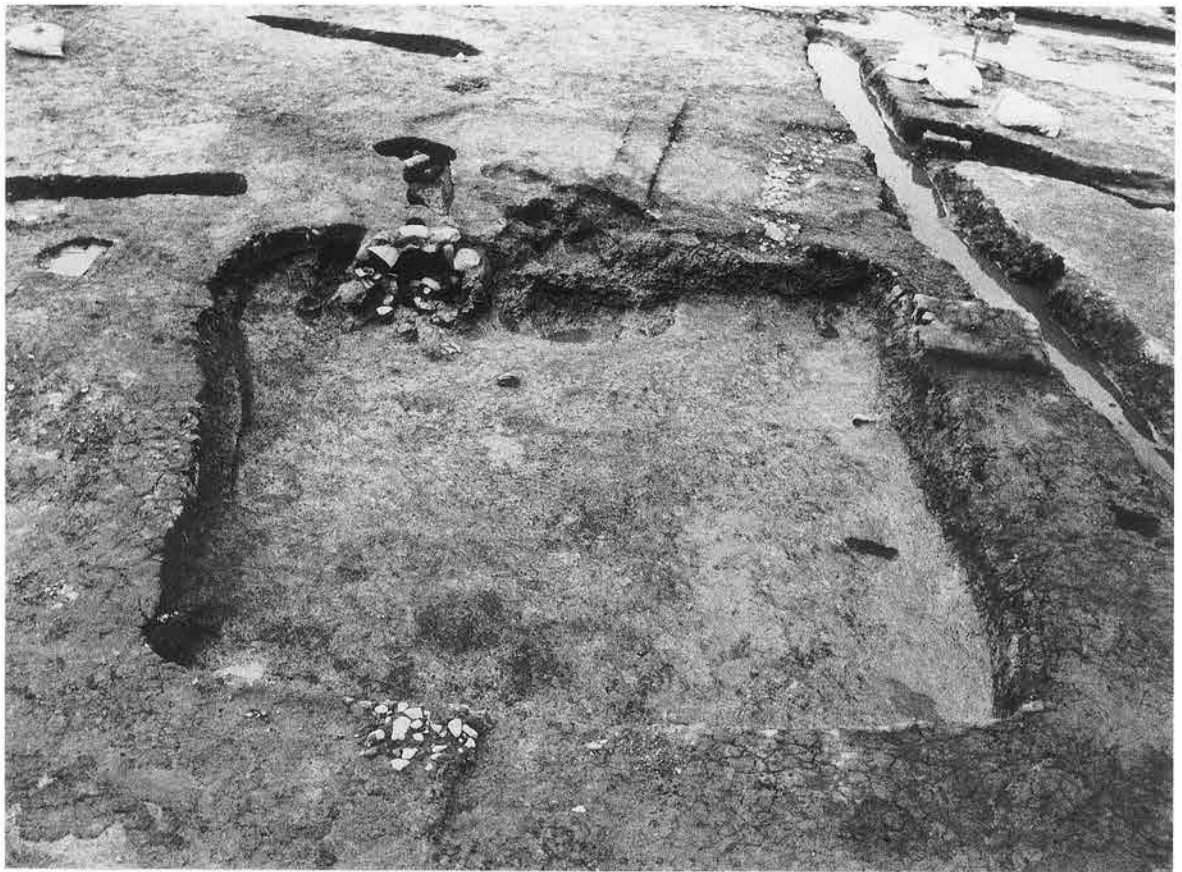


煙道部 埋土



調査風景

写真図版29 第28号住居跡



全 景



埋 土



カマド 全景

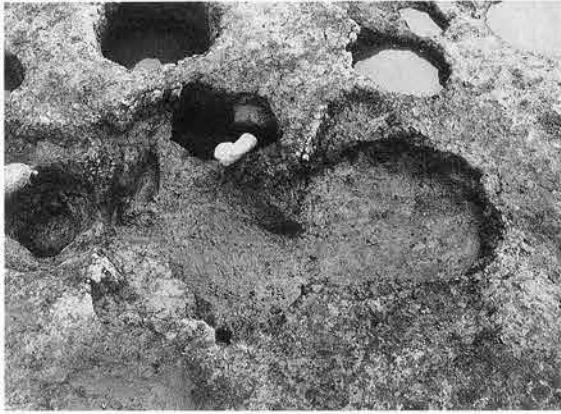


燃焼部焼土 断ち割り

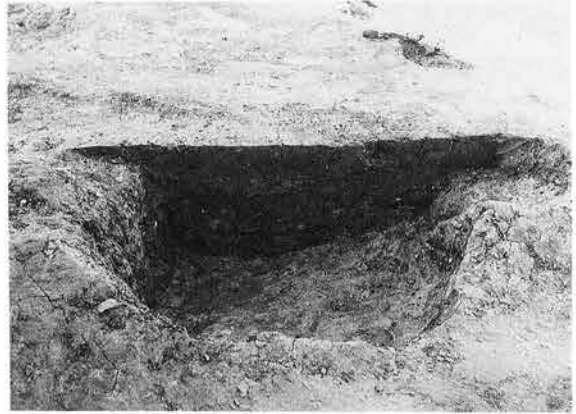


袖 断ち割り

写真図版30 第29号住居跡



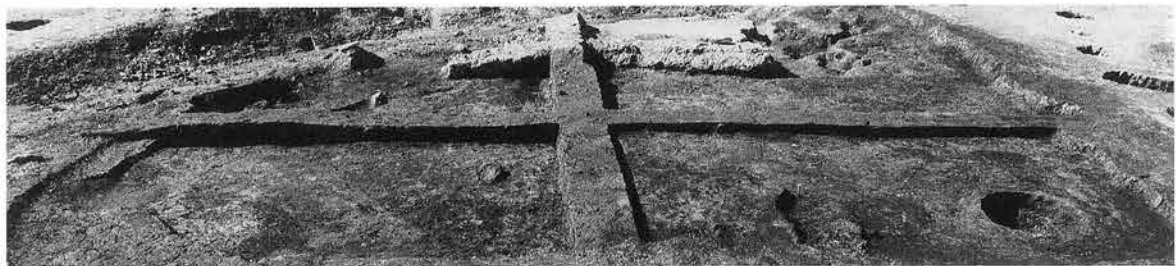
第30号住居内 土坑群



土坑 埋土



第31号住居跡 全景

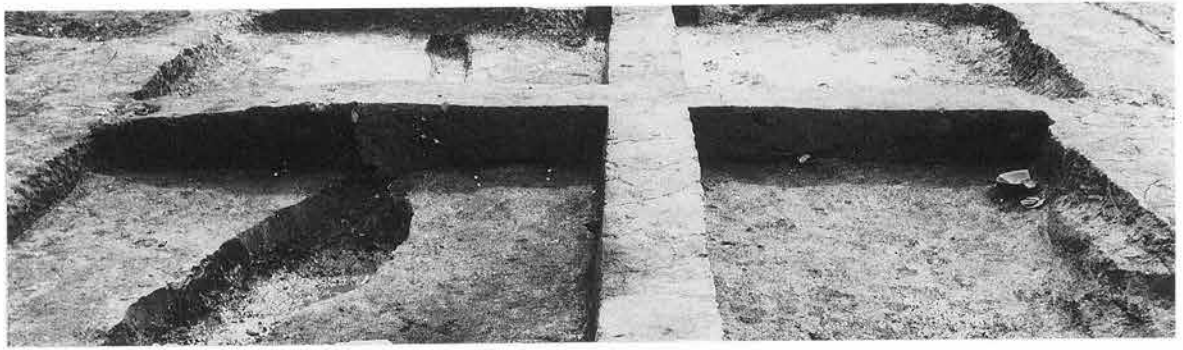


埋 土

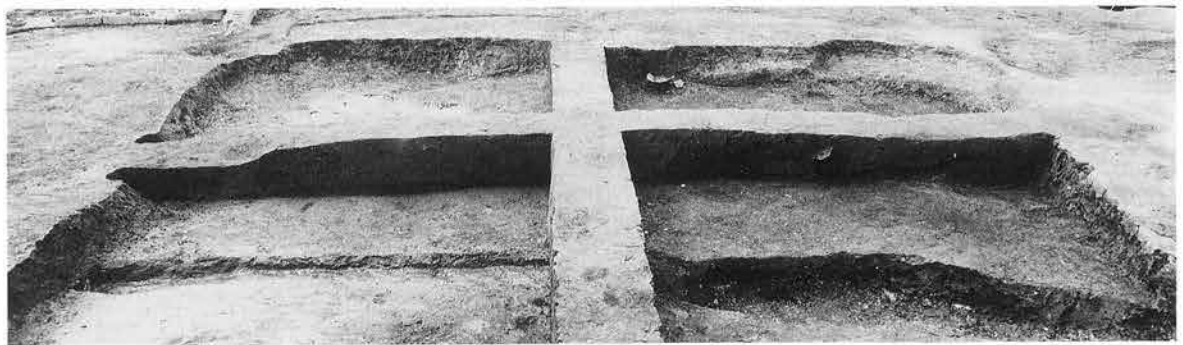
写真図版31 第30・31号住居跡



全 景

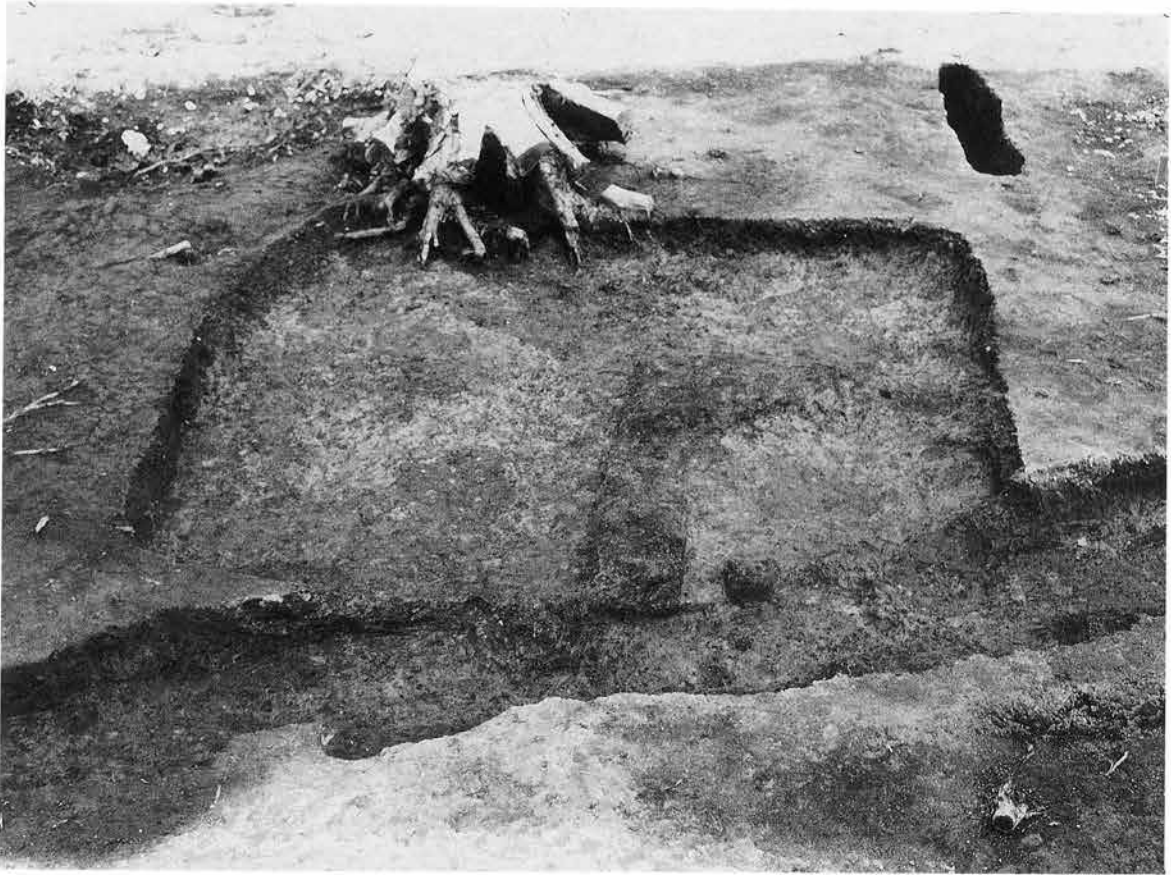


埋 土 1

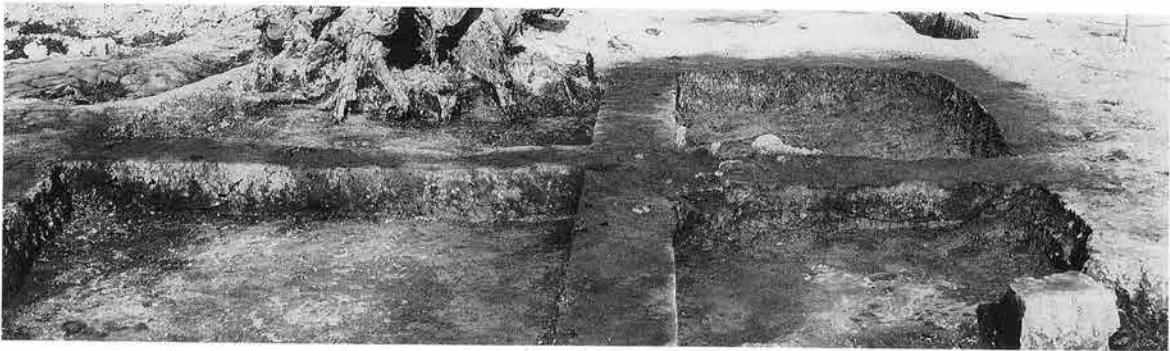


埋 土 2

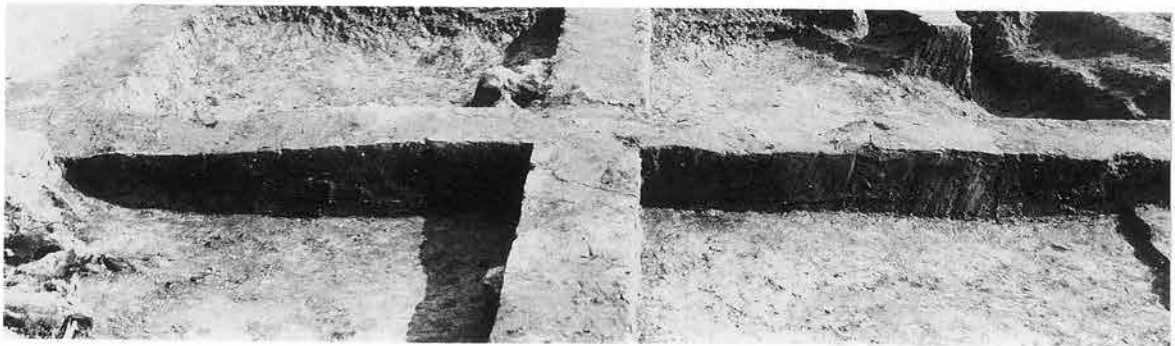
写真図版32 第1号住居状遺構



全 景

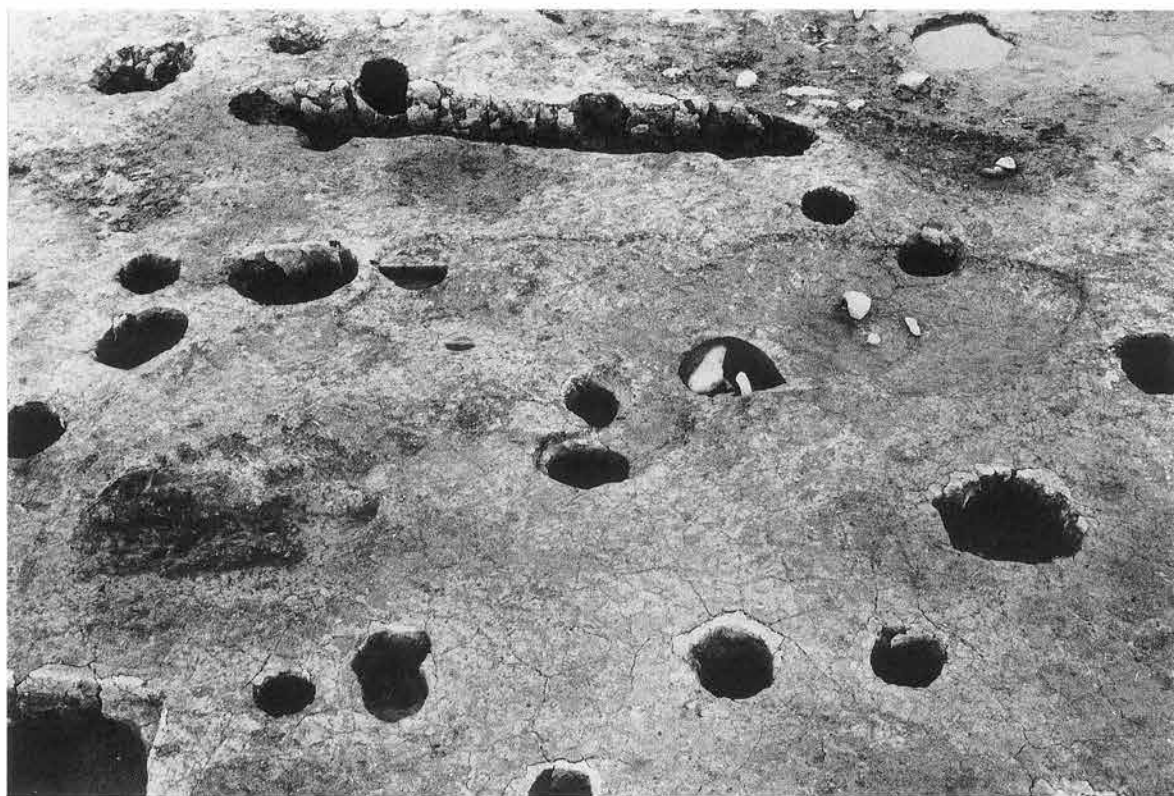


埋 土 1



埋 土 2

写真図版33 第2号住居状遺構



第3号住居状遺構 全景



第4号住居状遺構 全景

写真図版34 第3・4号住居状遺構



全 景



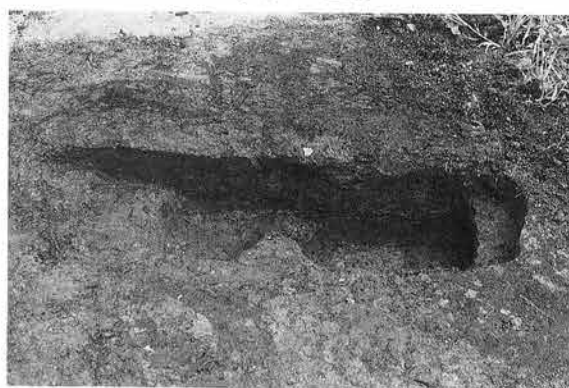
PP2 全景



PP4 全景



埋 土

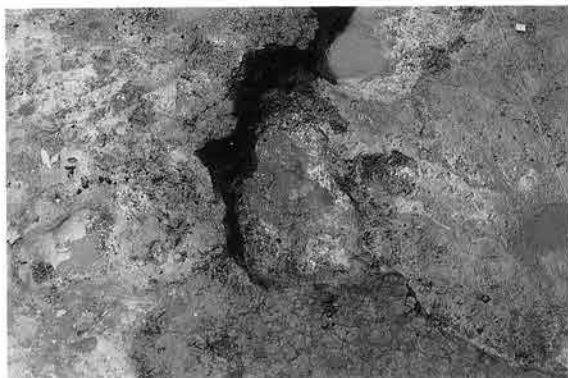


埋 土

写真図版35 掘立柱建物跡



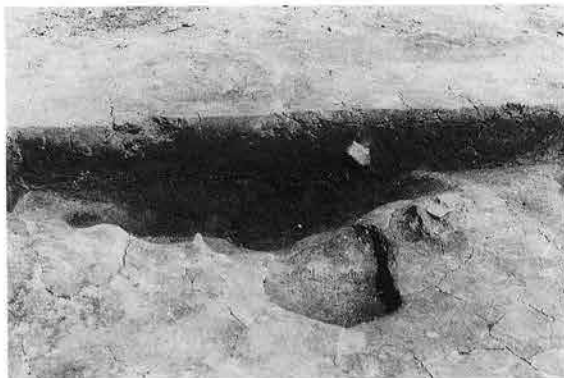
第1号 土坑



第2号 土坑



埋 土



埋 土



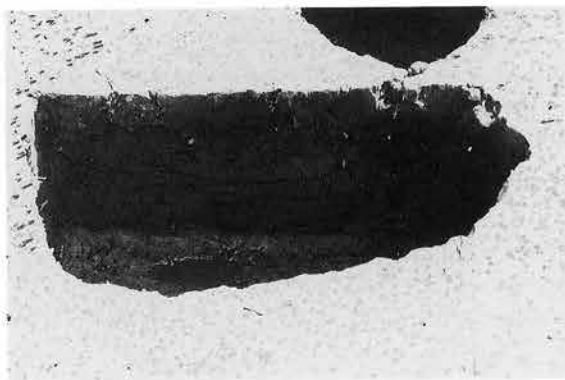
第3号 土坑



第4号 土坑

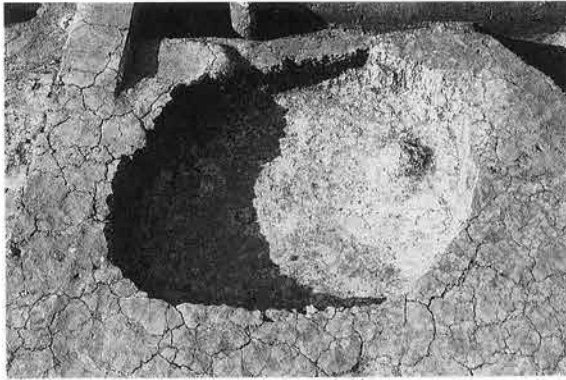


埋 土



埋 土

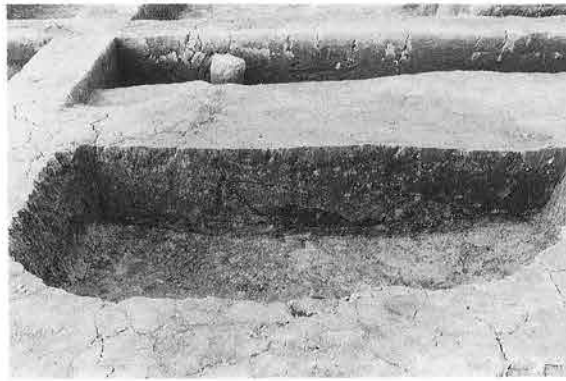
写真图版36 土坑(1)



第5号 土坑



第6号 土坑



埋 土



埋 土



第7号 土坑



第8号 土坑



埋 土



埋 土

写真图版37 土坑(2)



第9号 土坑



第10号 土坑



埋 土



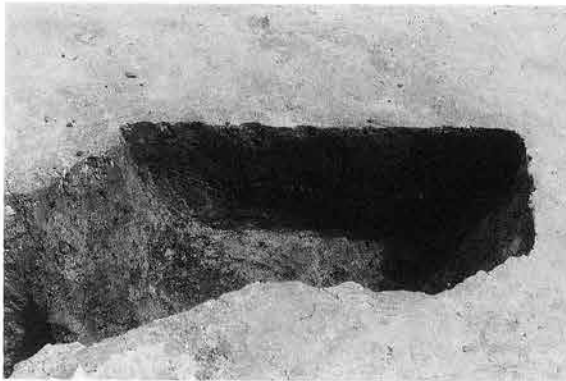
埋 土



第11号 土坑



第12号 土坑



埋 土



埋 土

写真图版38 土坑(3)



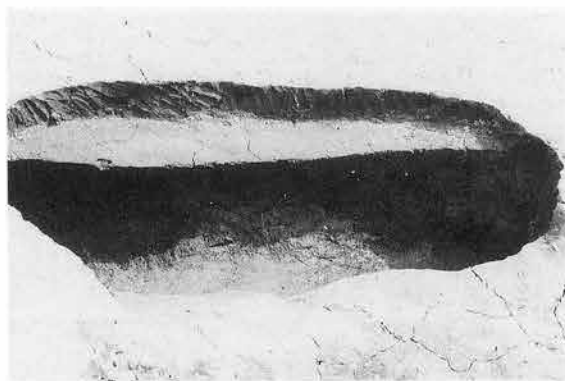
第13号 土坑



第14号 土坑



埋 土



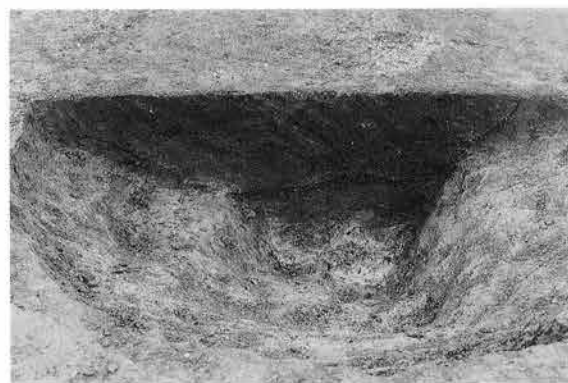
埋 土



第15号 土坑



第16号 土坑



埋 土



埋 土

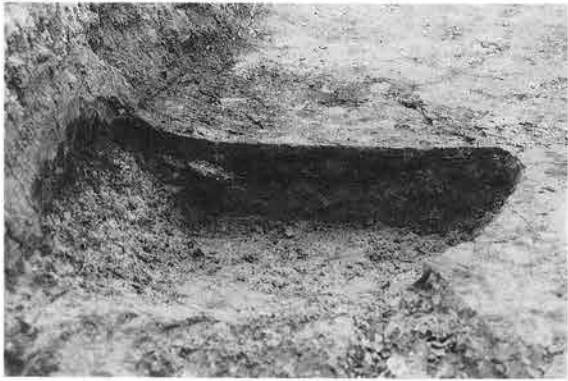
写真图版39 土坑(4)



第17号 土坑



第18号 土坑



埋 土



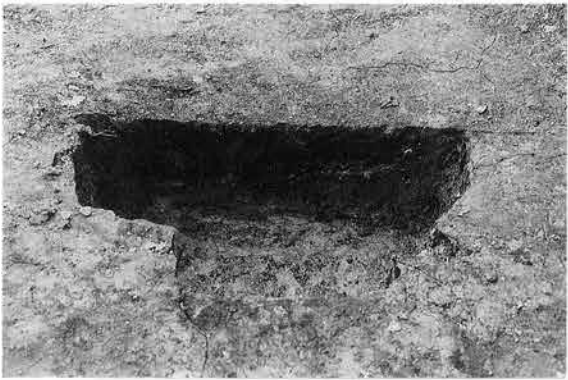
埋 土



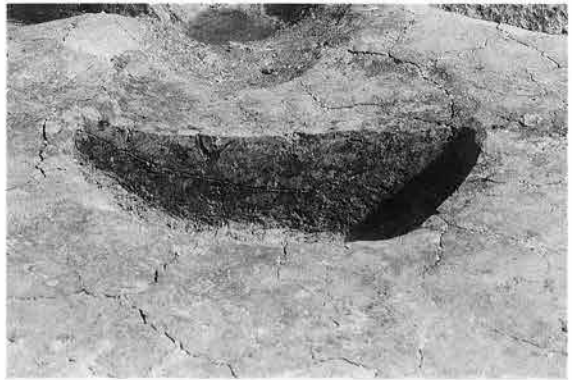
第19号 土坑



第20号 土坑



埋 土



埋 土

写真图版40 土坑(5)



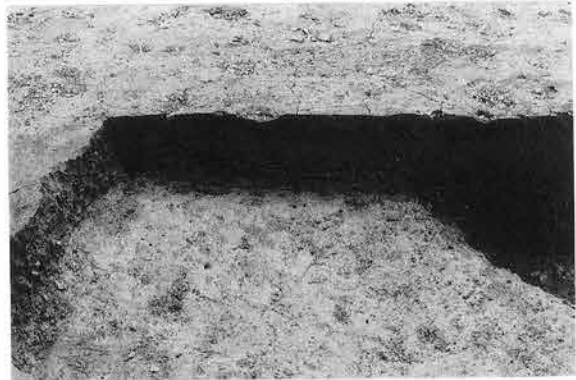
第21号 土坑



第22号 土坑



埋 土



埋 土



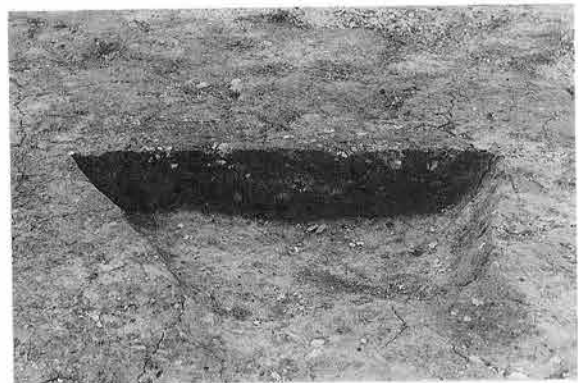
第23号 土坑



第24号 土坑



埋 土

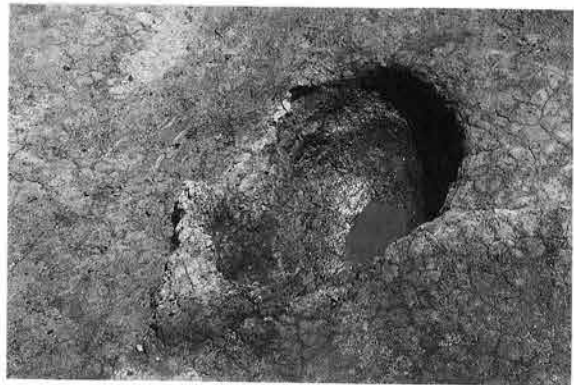


埋 土

写真図版41 土坑(6)



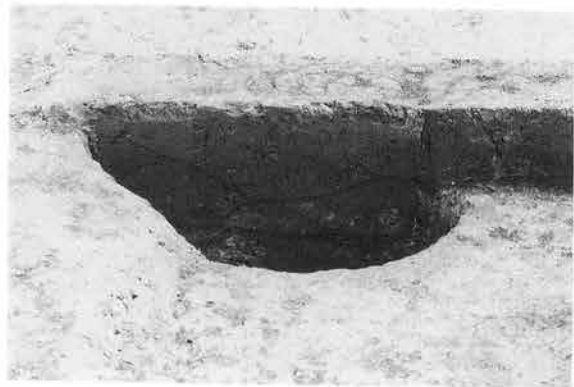
第25号 土坑



第26号 土坑



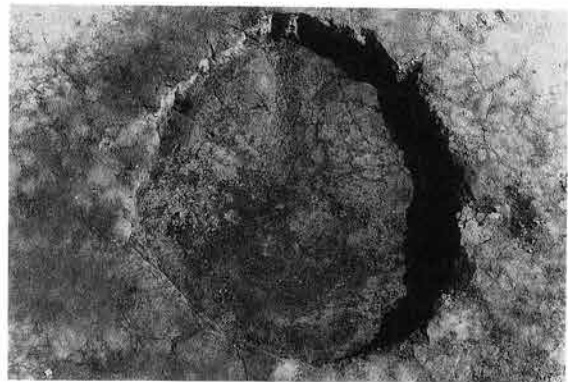
埋 土



埋 土



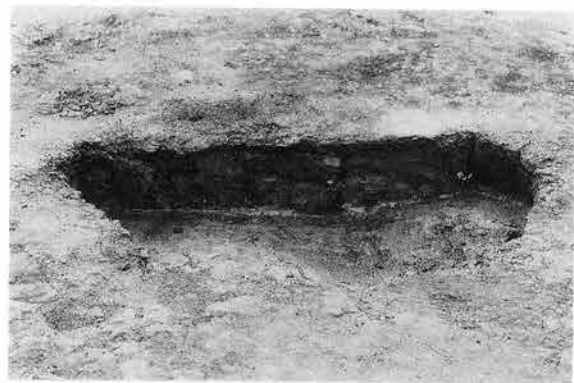
第27号 土坑



第28号 土坑



埋 土



埋 土

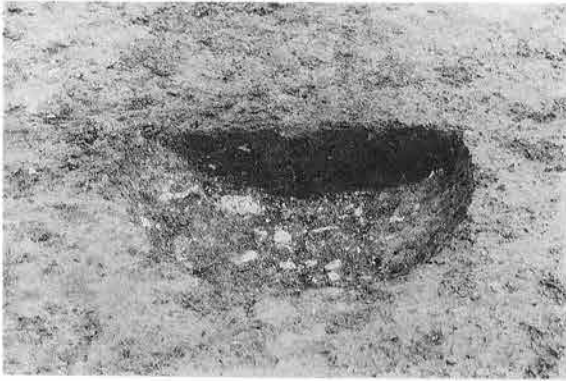
写真图版42 土坑(7)



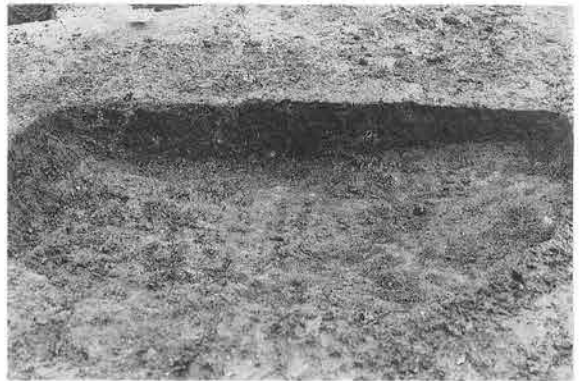
第29号 土坑



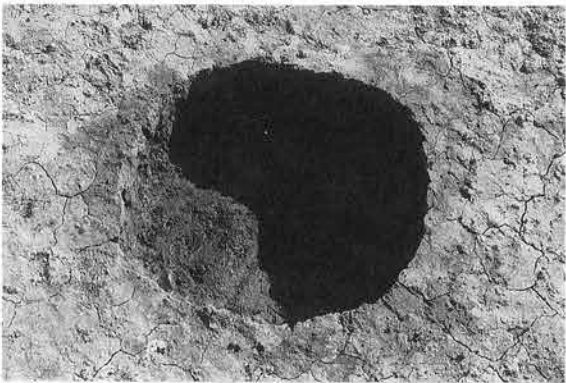
第30号 土坑



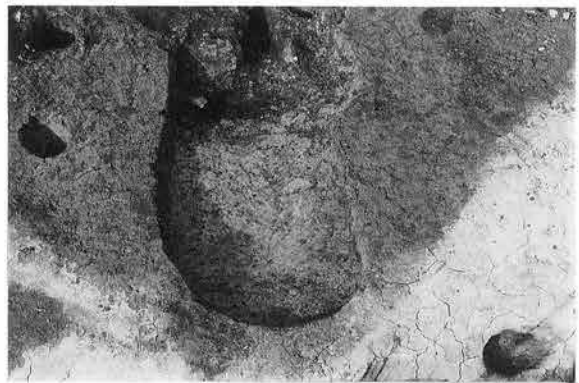
埋 土



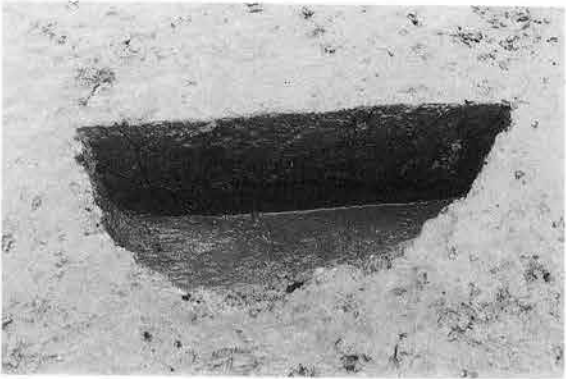
埋 土



第31号 土坑



第32号 土坑



埋 土



埋 土

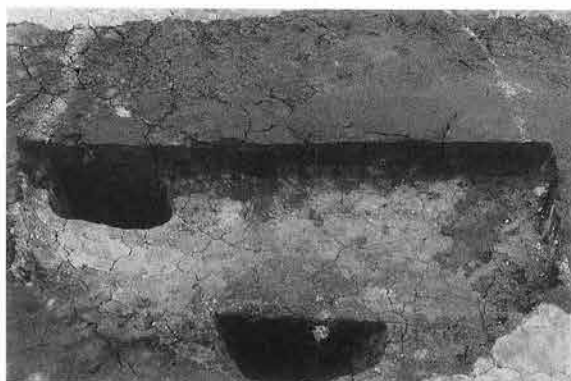
写真图版43 土坑(8)



第33号 土坑



第34号 土坑



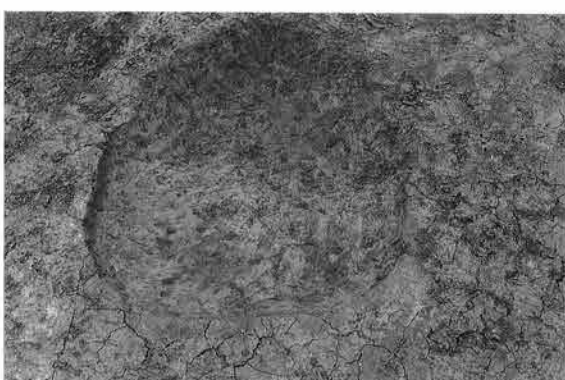
埋 土



埋 土



第35号 土坑



第36号 土坑



埋 土



埋 土

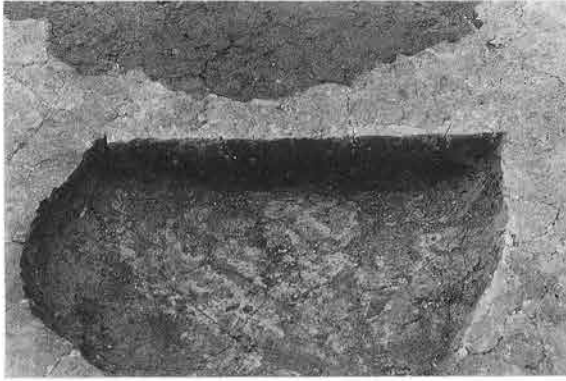
写真图版44 土坑(9)



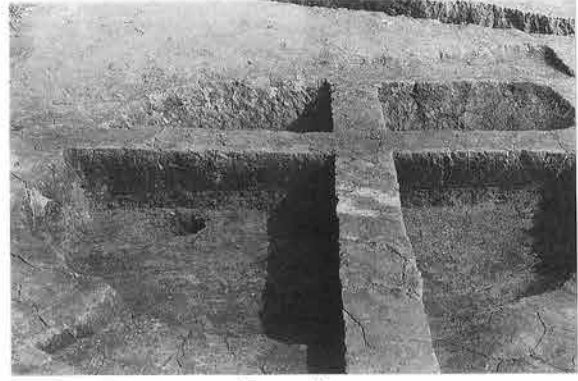
第37号 土坑



第38号 土坑



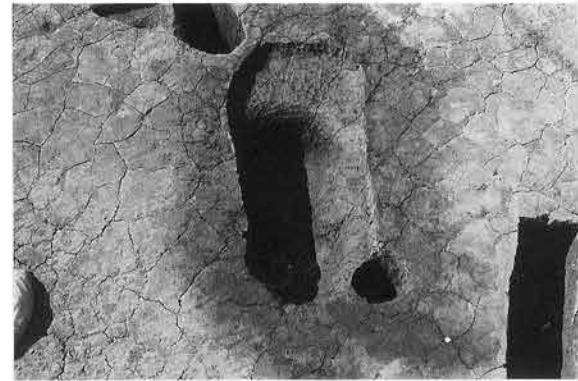
埋 土



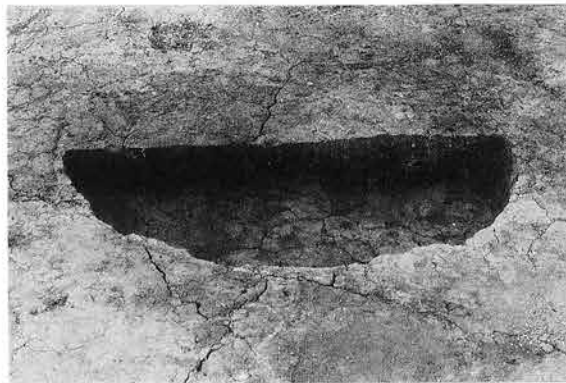
埋 土



第39号 土坑



第40号 土坑



埋 土



埋 土

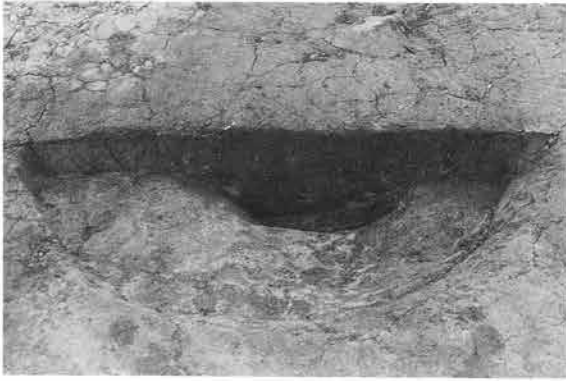
写真图版45 土坑(10)



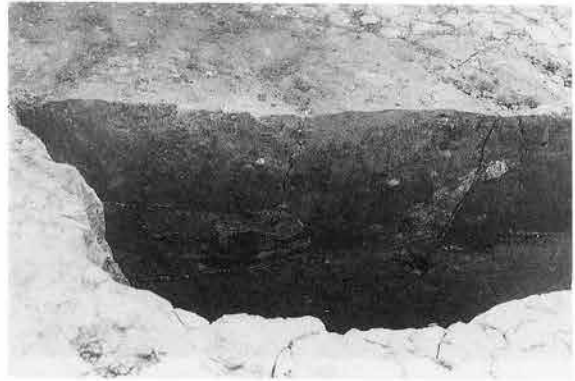
第41号 土坑



第42号 土坑



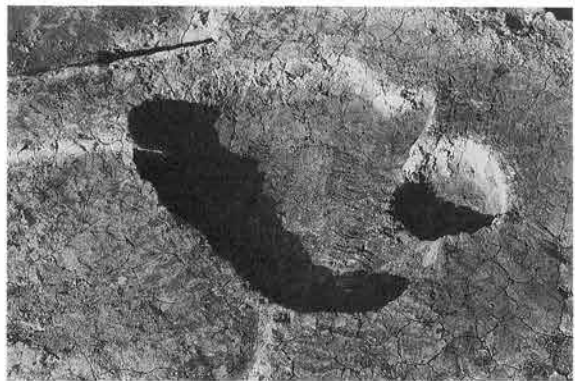
埋 土



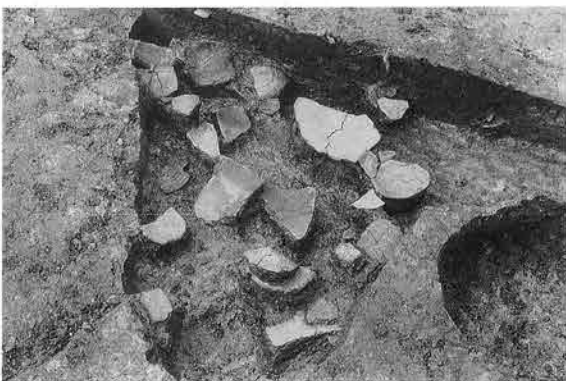
埋 土



第43号 土坑



第44号 土坑



第44号土坑 土器出土状况

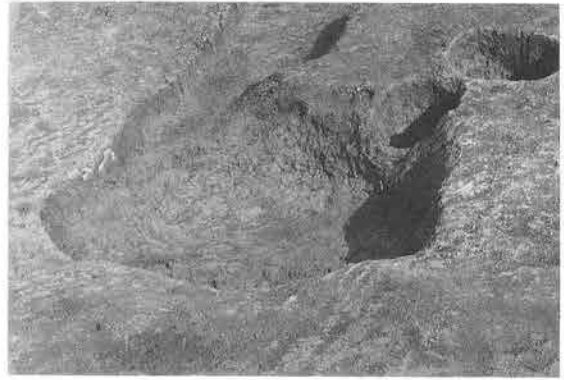


埋 土

写真图版46 土坑(11)



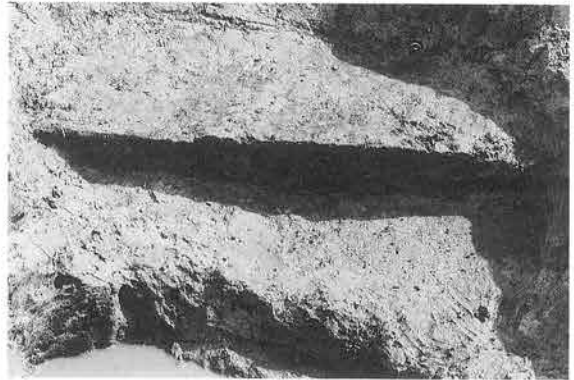
第45号 土坑



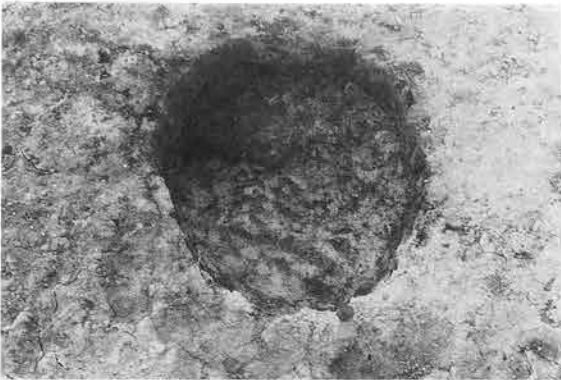
第47号 土坑



埋 土



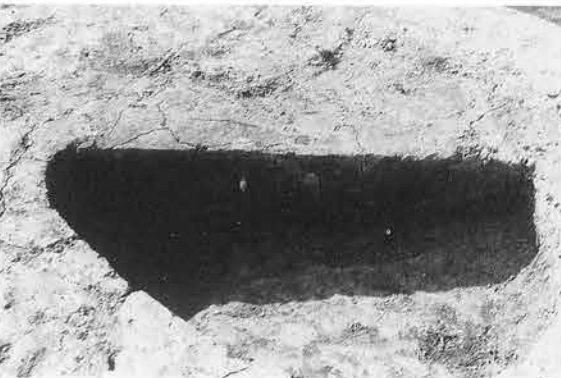
埋 土



第49号 土坑



第50号 土坑

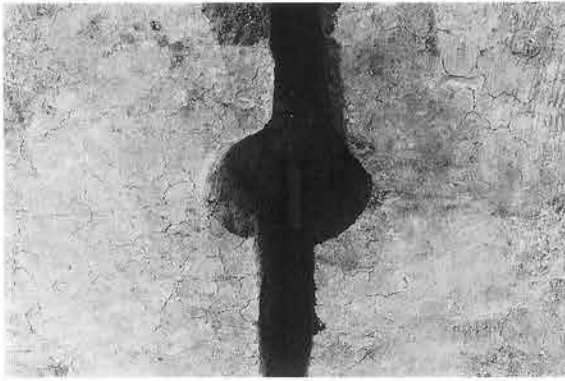


埋 土



埋 土

写真图版47 土坑(12)



第51号 土坑



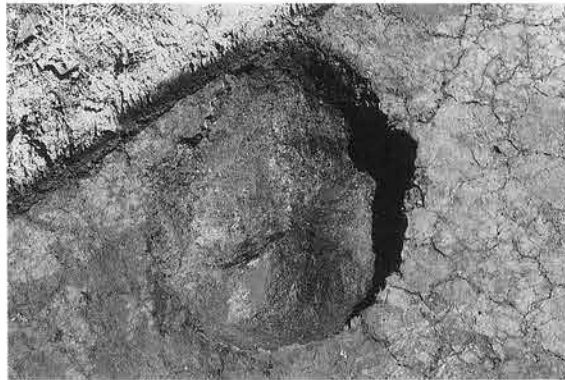
第53号 土坑



埋 土



埋 土



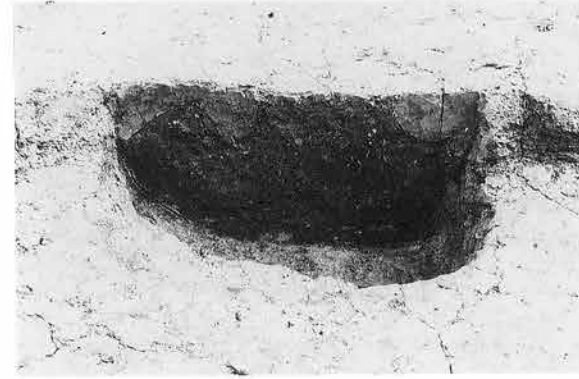
第54号 土坑



第55号 土坑



埋 土



埋 土

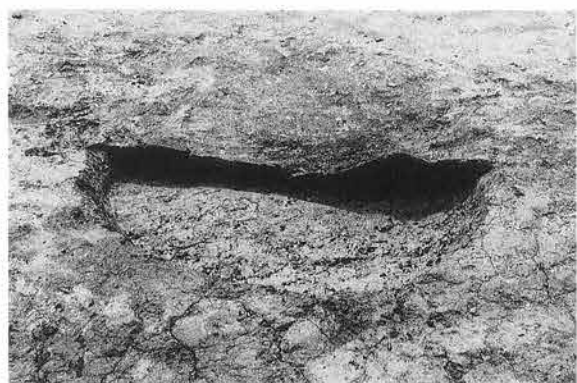
写真图版48 土坑(13)



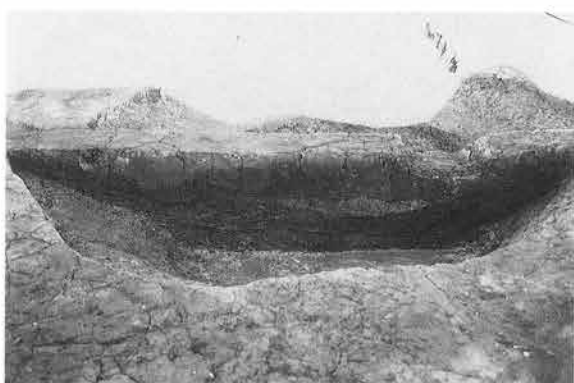
第56号 土坑



第57号 土坑



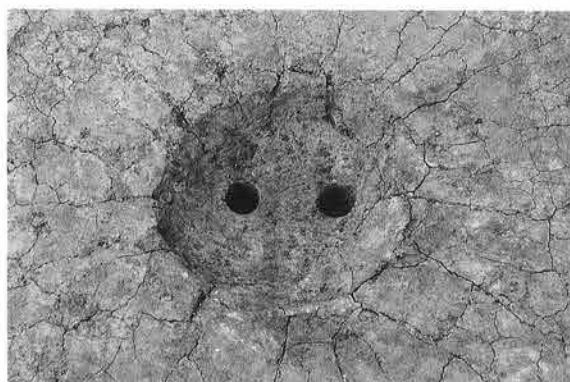
埋 土



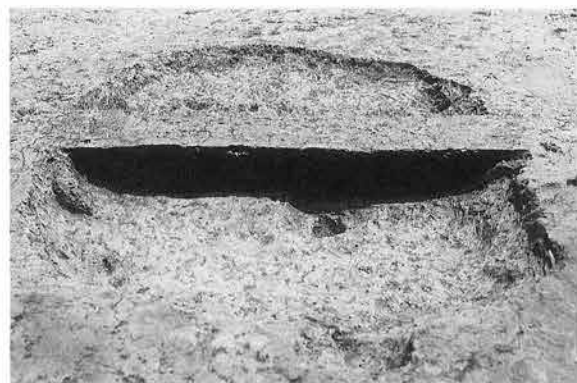
埋 土



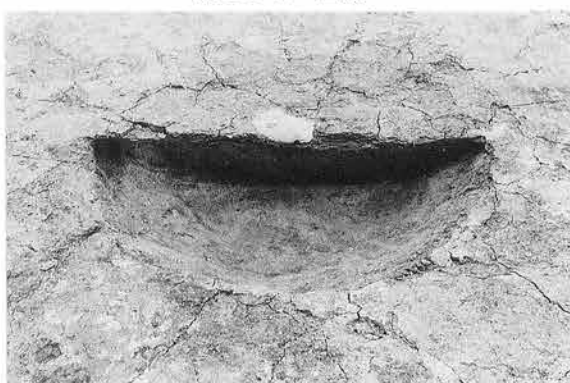
第58号 土坑



第59号 土坑



埋 土



埋 土

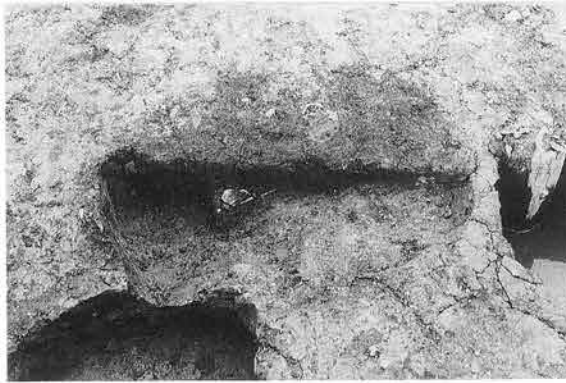
写真图版49 土坑(14)



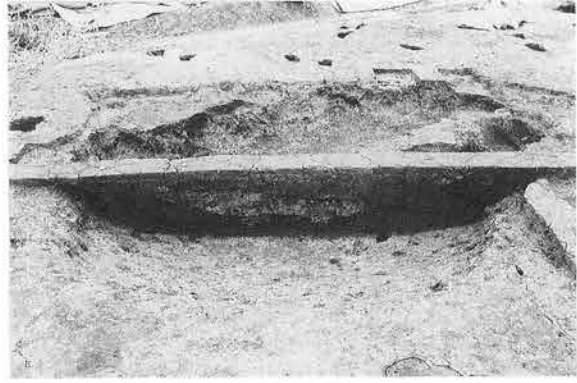
第60号 土坑



第61号 土坑



埋 土



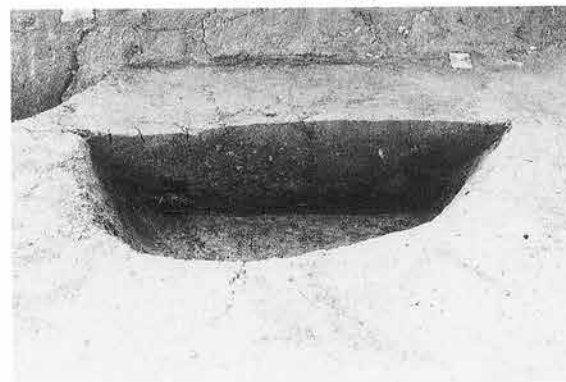
埋 土



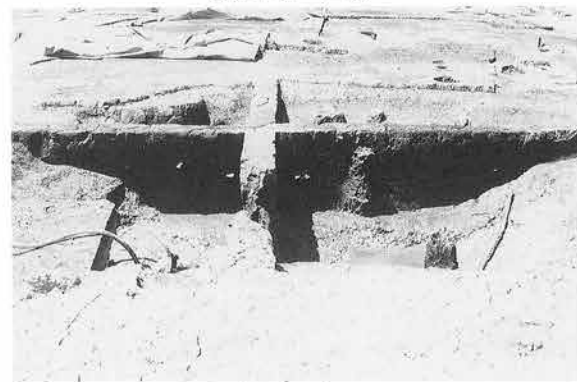
第62号 土坑



第64号 土坑



埋 土

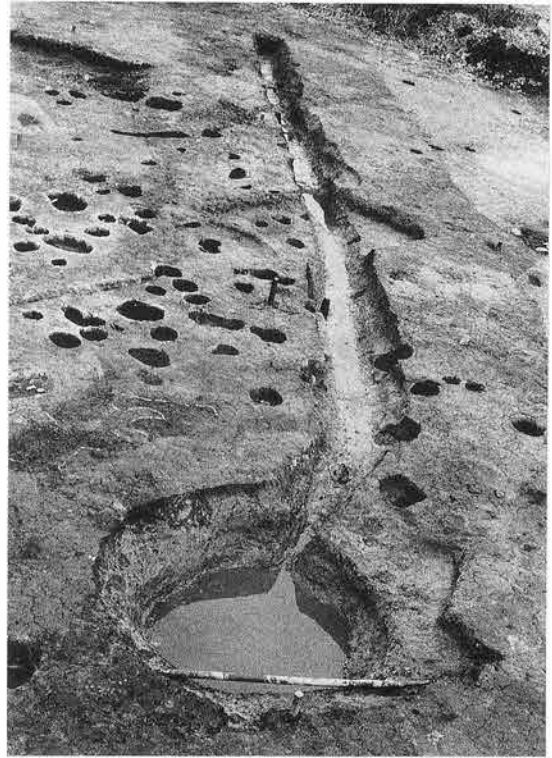


埋 土

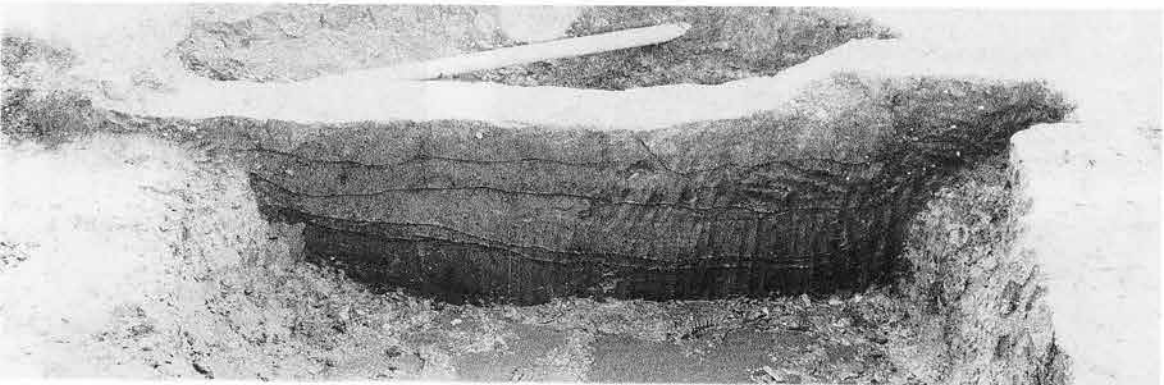
写真图版50 土坑(15)



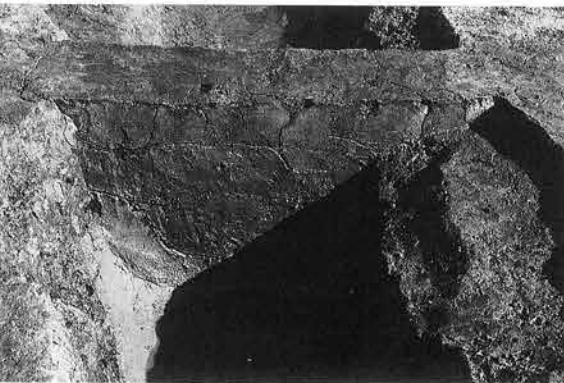
第63号 土坑



第9号 溝跡



土坑 埋土



溝跡 埋土

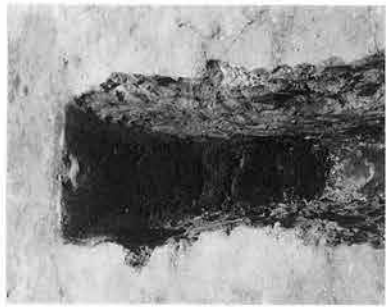


調査風景

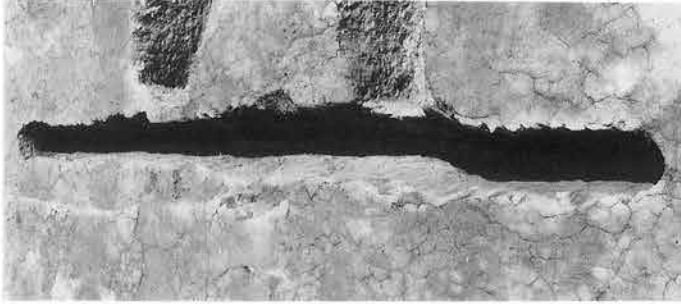
写真図版51 土坑(16)・溝跡(1)



第1号陥し穴



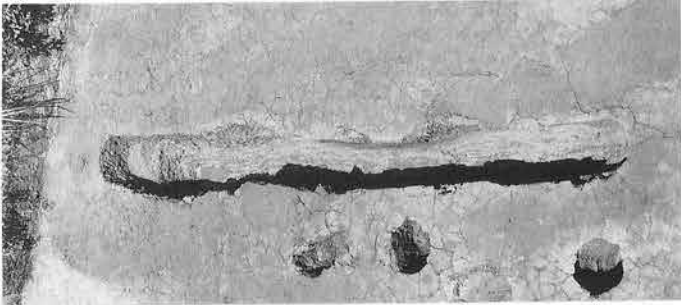
埋土



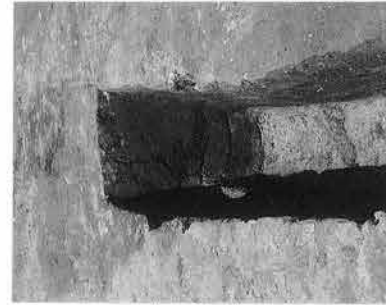
第2号陥し穴



埋土



第3号陥し穴



埋土



第4号陥し穴



埋土



第5号陥し穴

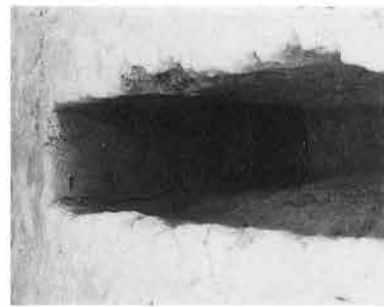


埋土

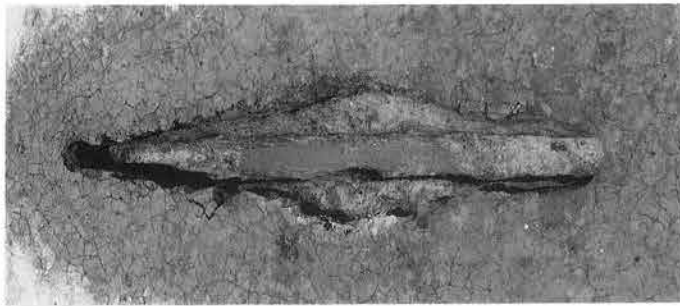
写真図版52 陥し穴状遺構(1)



第6号陥し穴



埋土



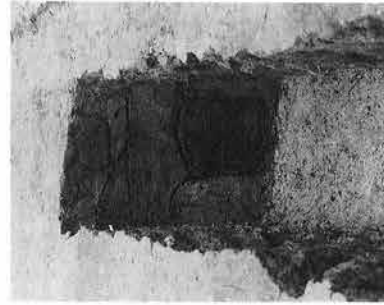
第7号陥し穴



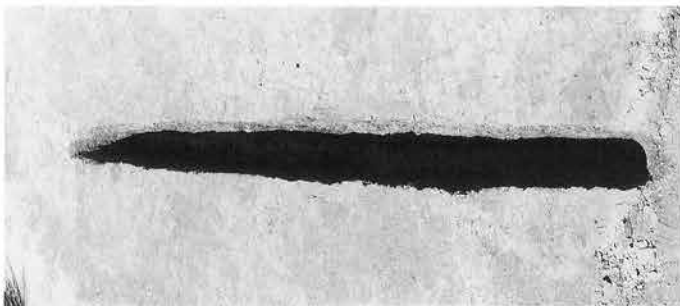
埋土



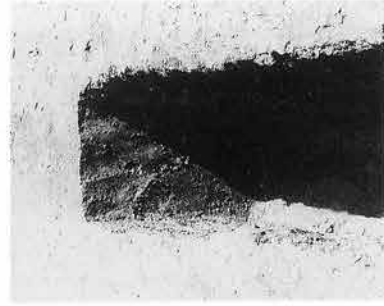
第8号陥し穴



埋土



第9号陥し穴



埋土

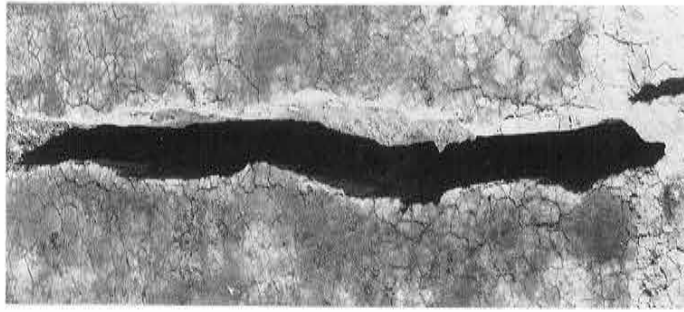


第10号陥し穴

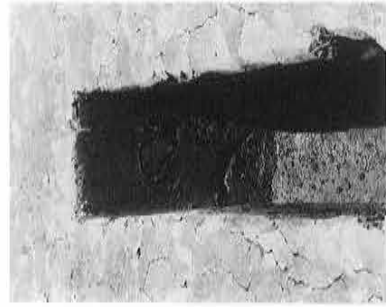


埋土

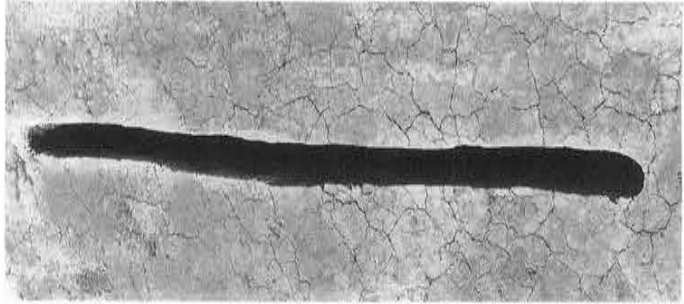
写真図版53 陥し穴状遺構(2)



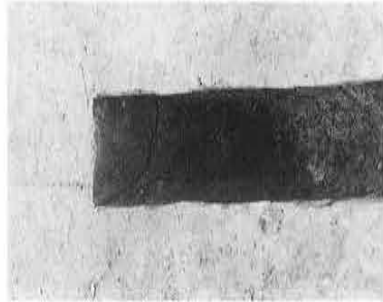
第11号陥し穴



埋土



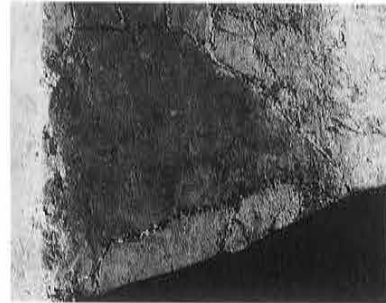
第12号陥し穴



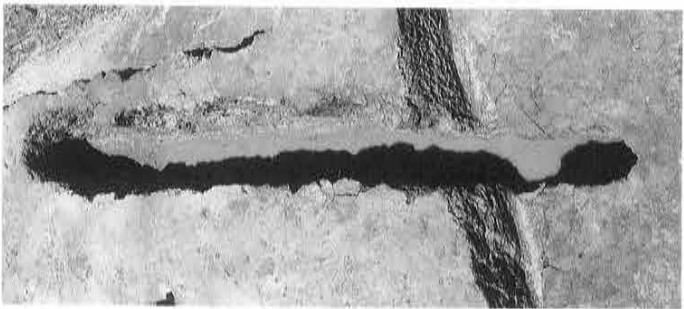
埋土



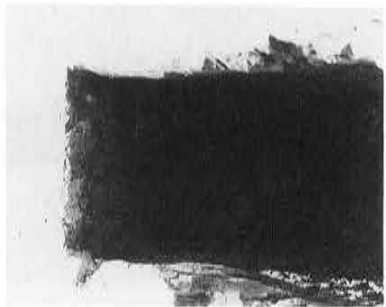
第13号陥し穴



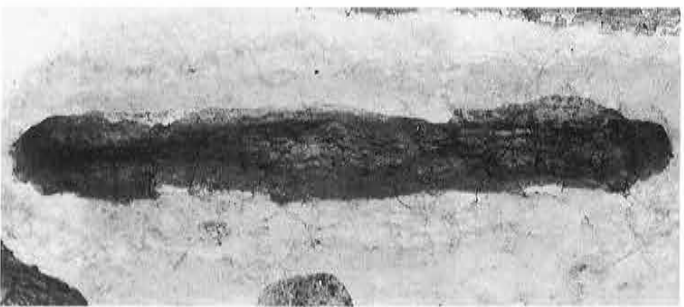
埋土



第14号陥し穴



埋土



第15号陥し穴

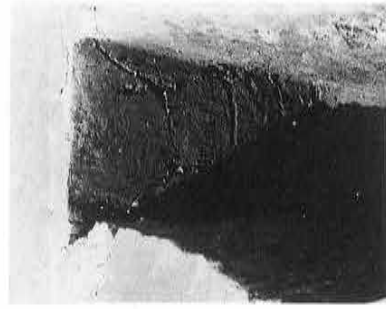


埋土

写真図版54 陥し穴状遺構(3)



第16号陷し穴



埋土



第17号陷し穴



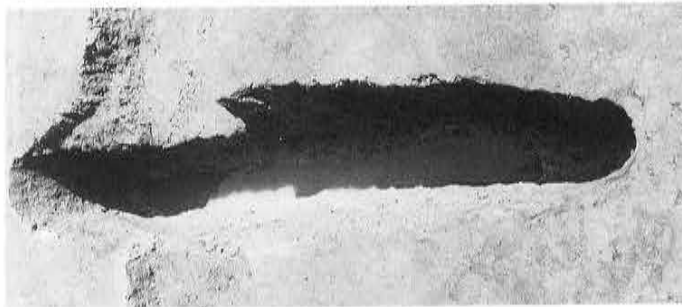
埋土



第18号陷し穴



埋土



第19号陷し穴



調査区北側の陷し穴状遺構群



第20号陷し穴

写真図版55 陷し穴状遺構(4)



第21号陥し穴



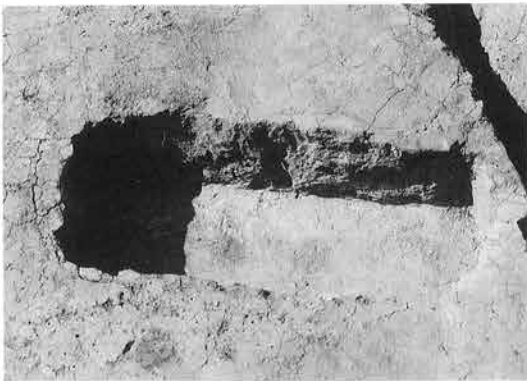
第21号陥し穴 埋土



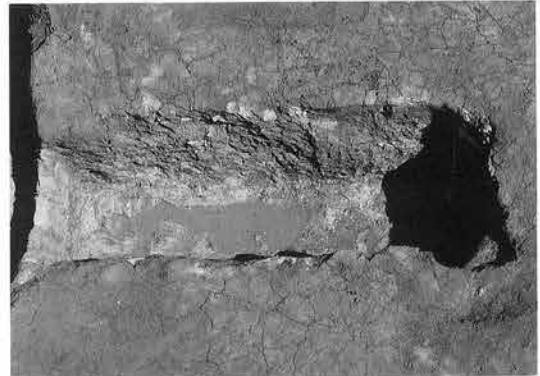
第22号陥し穴 埋土



第22号陥し穴



第23号陥し穴



第24号陥し穴

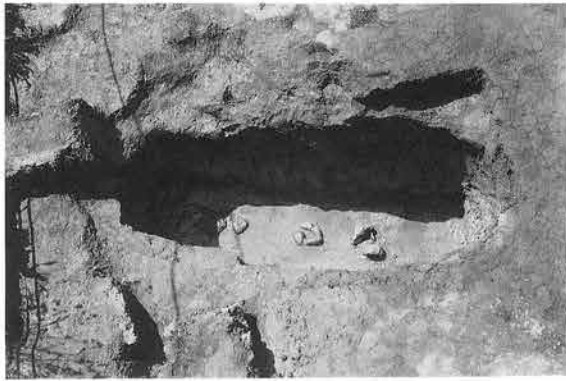


埋 土



埋 土

写真図版56 陥し穴状遺構(5)



第25号陥し穴



第26号陥し穴



埋 土



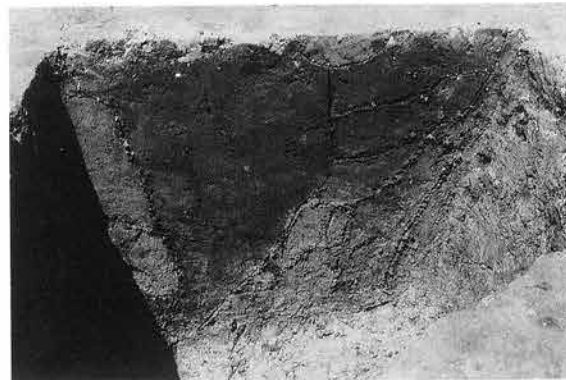
埋 土



第27号陥し穴



第28号陥し穴

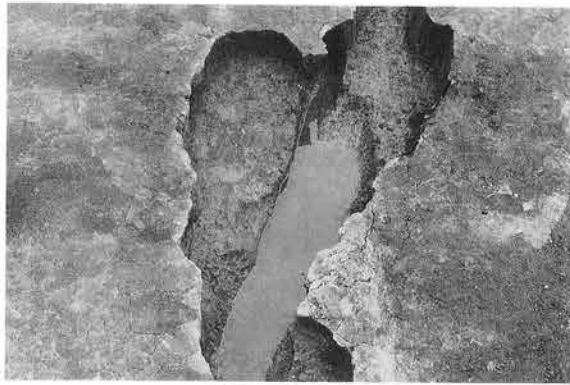


埋 土



埋 土

写真図版57 陥し穴状遺構(6)



第30号陥し穴



第31号陥し穴



埋 土



埋 土



第32号陥し穴



第33号陥し穴



埋 土



埋 土

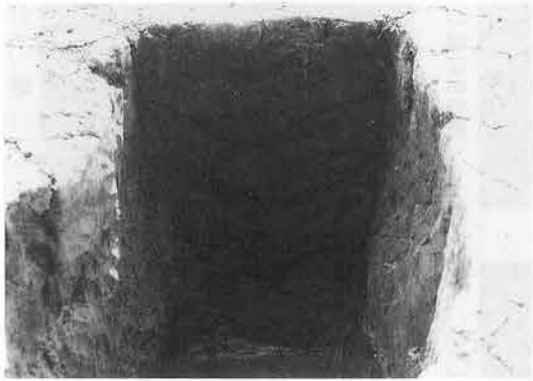
写真図版58 陥し穴状遺構(7)



第34号陥し穴



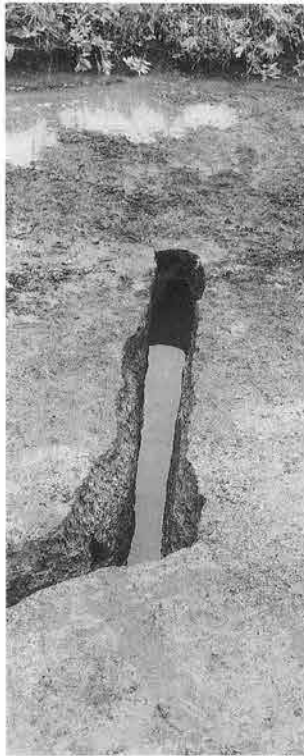
第35号陥し穴



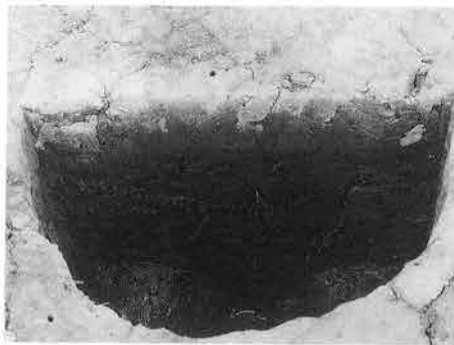
埋 土



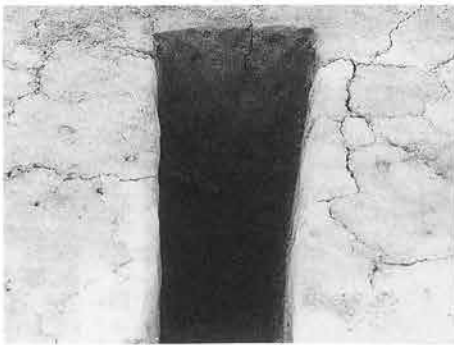
埋 土



第36号陥し穴



第36号陥し穴 埋土



第37号陥し穴 埋土



第37号陥し穴

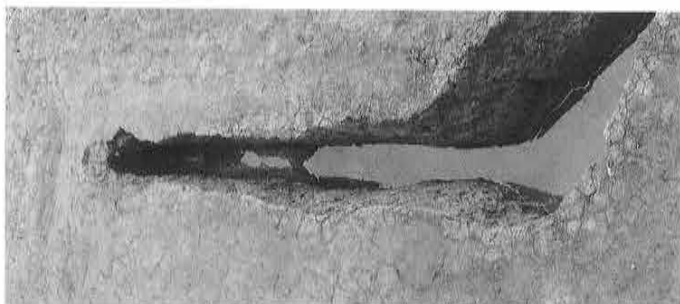
写真図版59 陥し穴状遺構(8)



第38号陥し穴



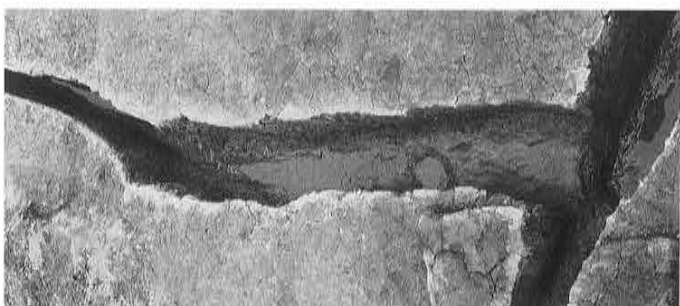
埋土



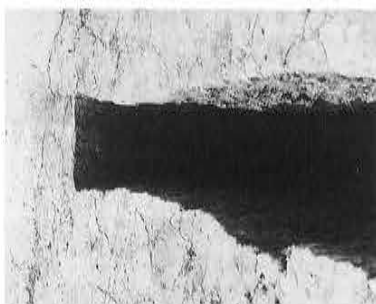
第39号陥し穴



埋土



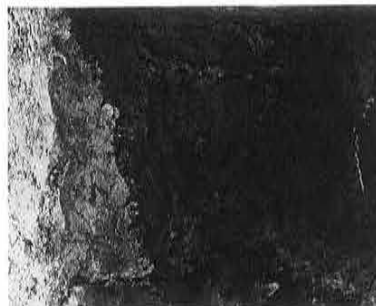
第40号陥し穴



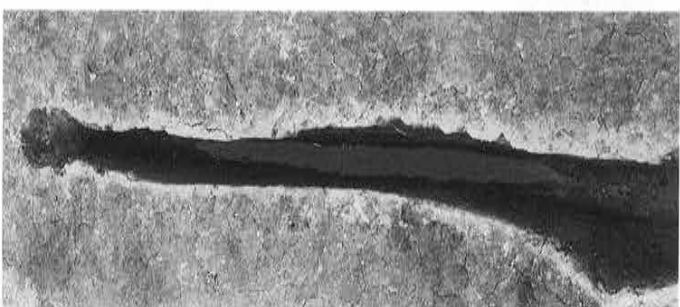
埋土



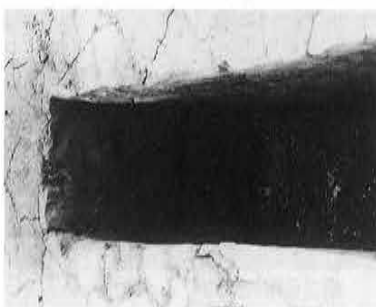
第41号陥し穴



埋土



第42号陥し穴

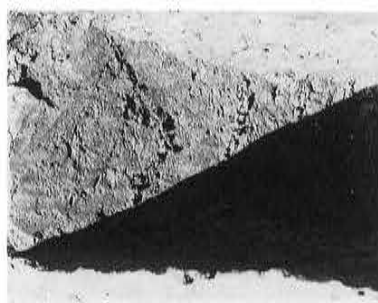


埋土

写真図版60 陥し穴状遺構(9)



第43号陥し穴



埋土



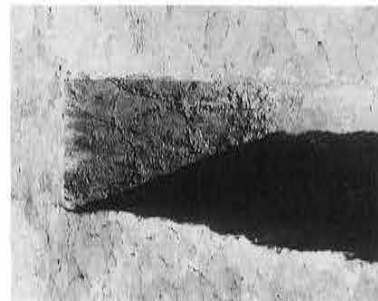
第44号陥し穴



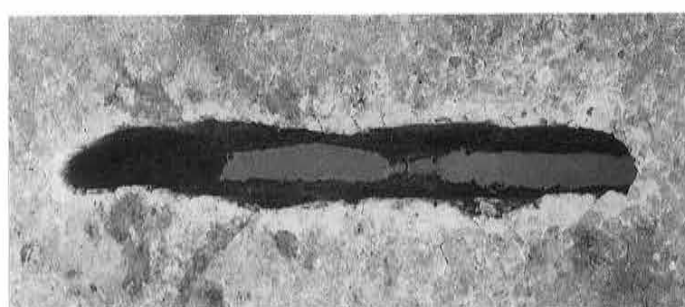
埋土



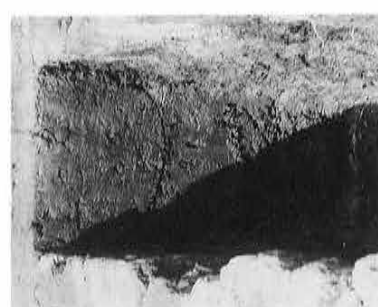
第45号陥し穴



埋土



第46号陥し穴



埋土



第47号陥し穴

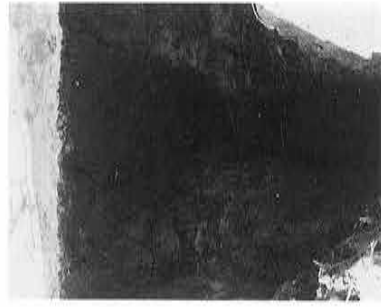


埋土

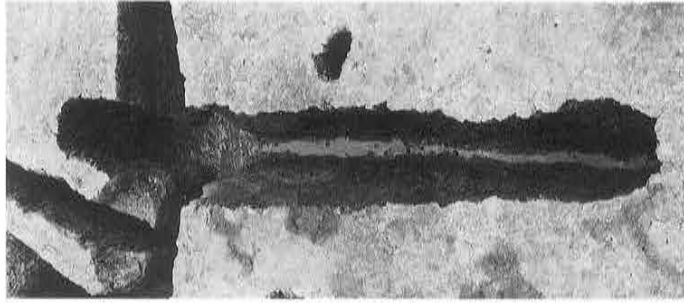
写真図版61 陥し穴状遺構(10)



第48号陷し穴



埋土



第49号陷し穴



埋土



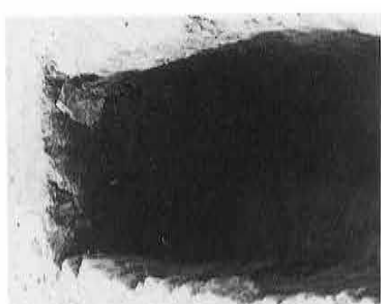
第50号陷し穴



埋土



第51号陷し穴



埋土



第52号陷し穴



埋土

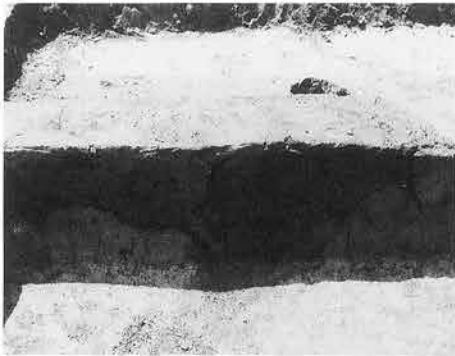
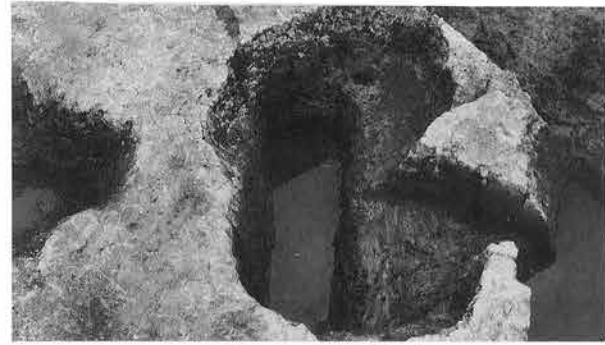
写真図版62 陷し穴状遺構(11)



第53号陥し穴



第54・55号陥し穴



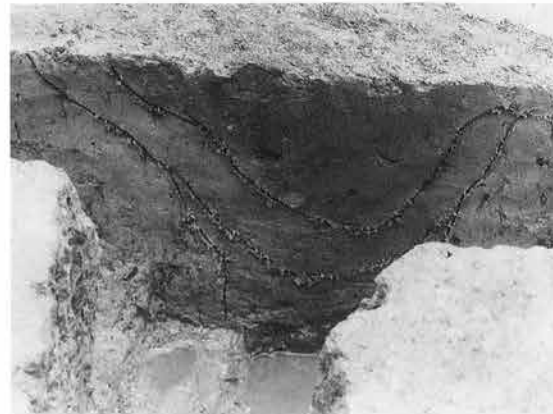
第53号陥し穴 埋土



第54号陥し穴 埋土



第56号陥し穴



第56号陥し穴 埋土

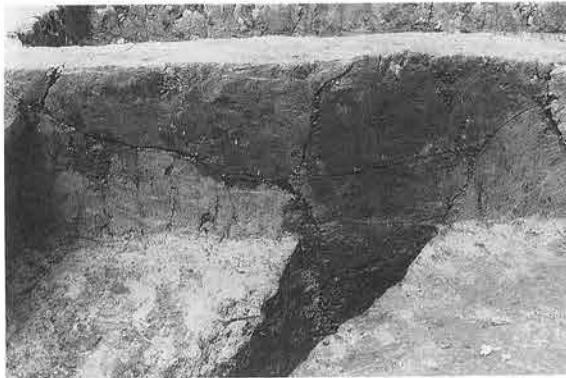
写真図版63 陥し穴状遺構(12)



第57号陥し穴



第58号陥し穴



埋 土



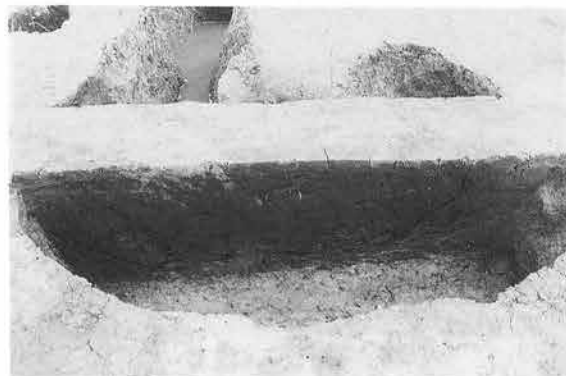
埋 土



第59号陥し穴



第60号陥し穴



埋 土

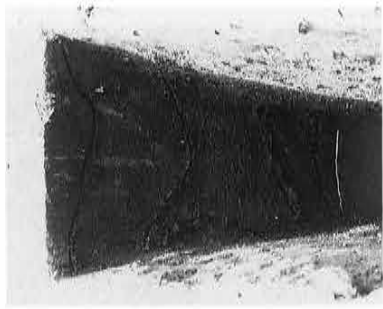


埋 土

写真図版64 陥し穴状遺構(13)



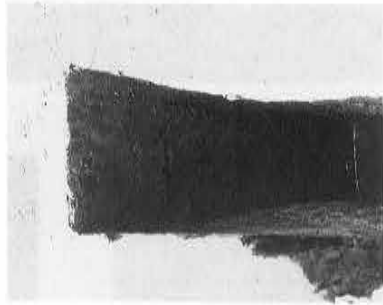
第61号陥し穴



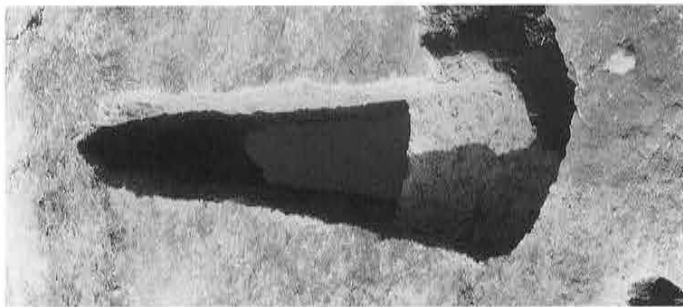
埋土



第62号陥し穴



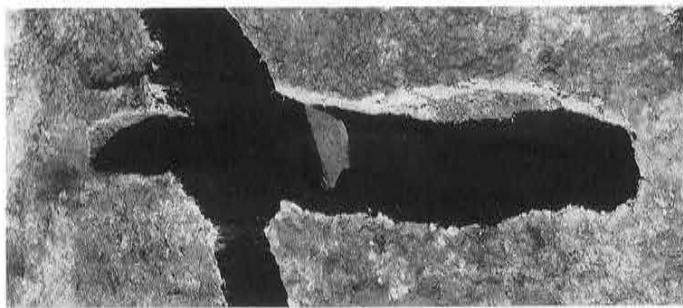
埋土



第63号陥し穴



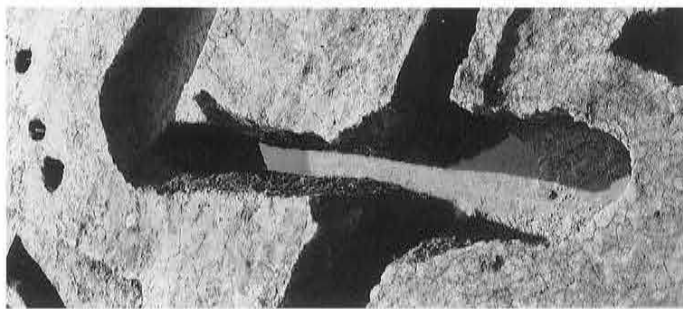
埋土



第64号陥し穴

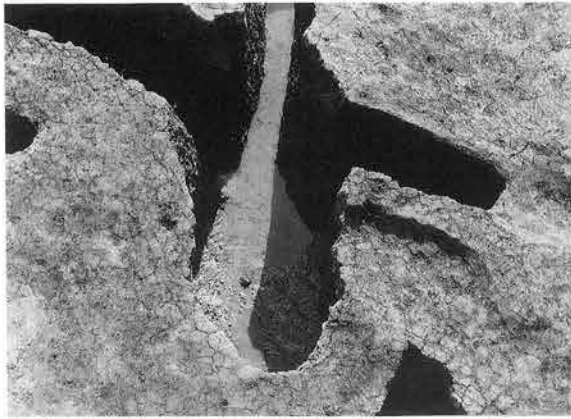


埋土

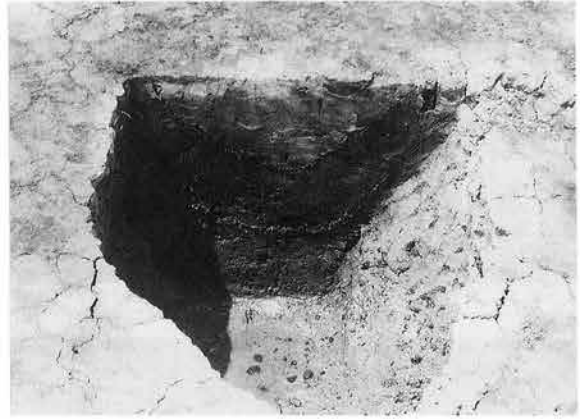


第65号陥し穴

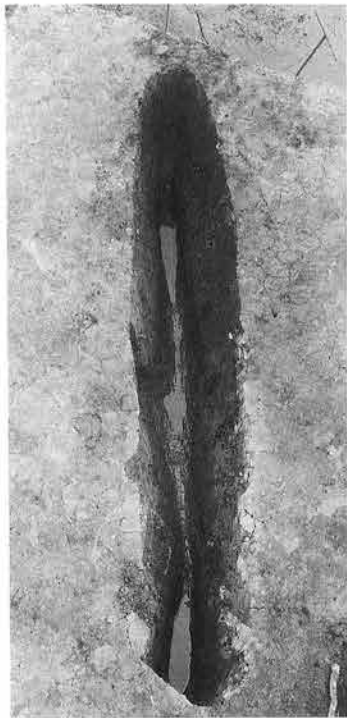
写真図版65 陥し穴状遺構(14)



第66号陥し穴



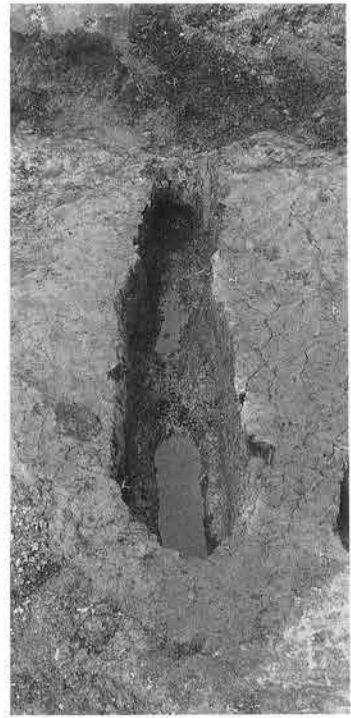
第66号陥し穴 埋土



第67号陥し穴



第68号陥し穴



第69号陥し穴



埋 土



埋 土

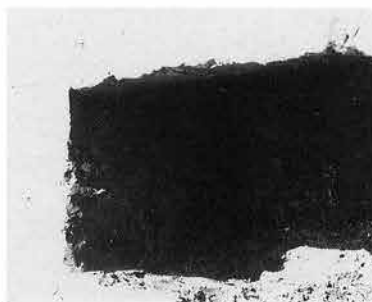


埋 土

写真図版66 陥し穴状遺構(15)



第70号陥し穴



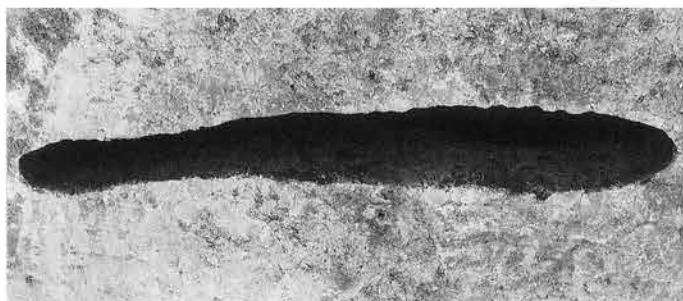
埋土



第71号陥し穴



埋土



第72号陥し穴



埋土



第73号陥し穴



埋土

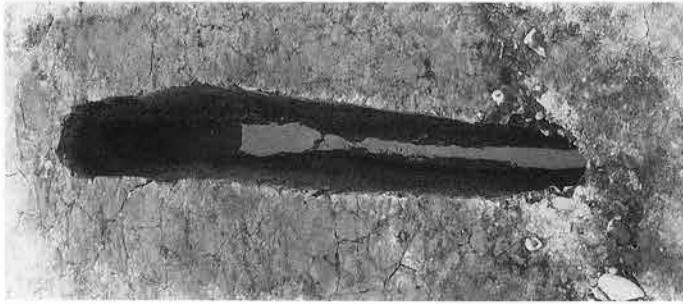


第74号陥し穴



埋土

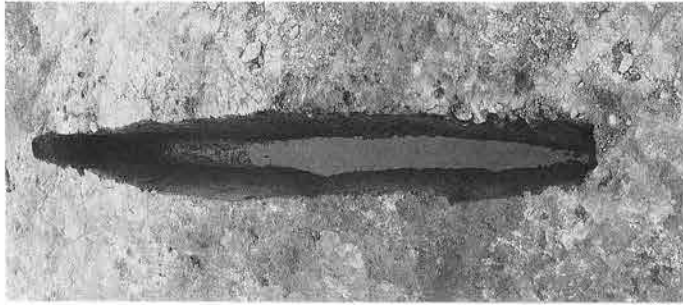
写真図版67 陥し穴状遺構(16)



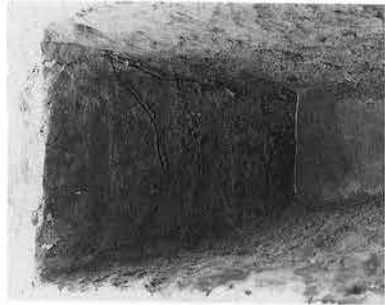
第75号陥し穴



埋土



第76号陥し穴



埋土



第77号陥し穴



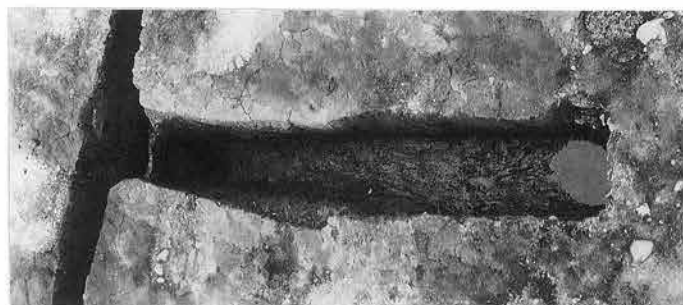
埋土



第78号陥し穴



埋土

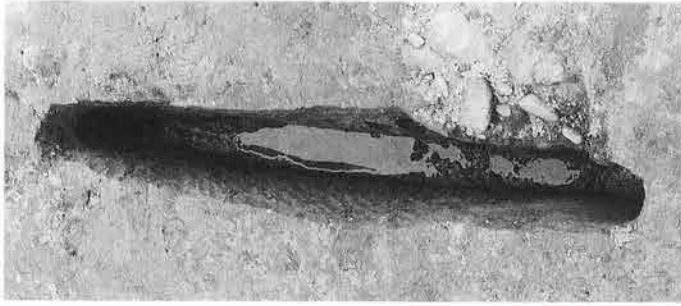


第79号陥し穴

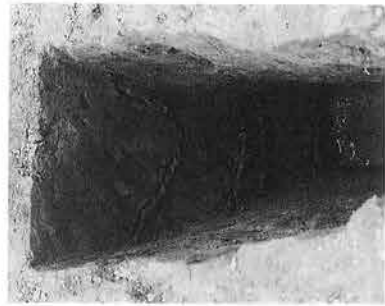


埋土

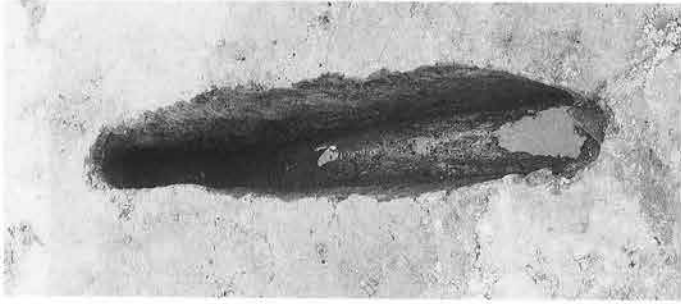
写真図版68 陥し穴状遺構(17)



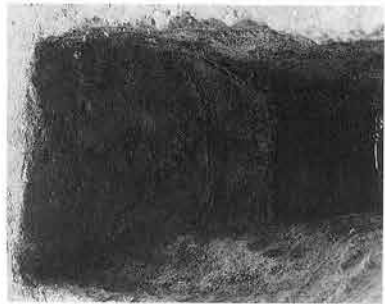
第80号陥し穴



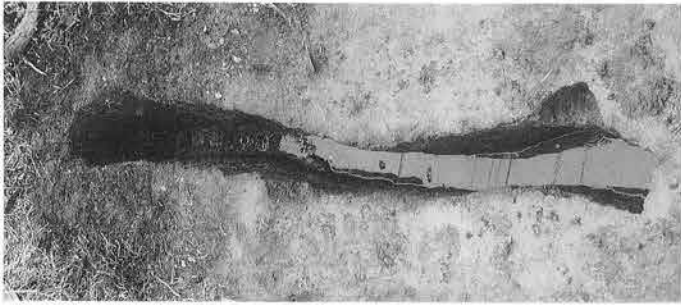
埋土



第81号陥し穴



埋土



第82号陥し穴



埋土



第83号陥し穴



埋土

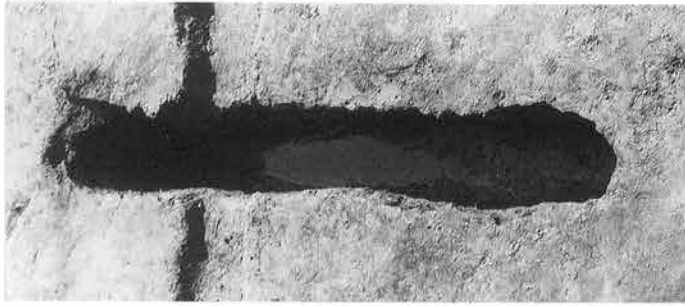


第84号陥し穴



埋土

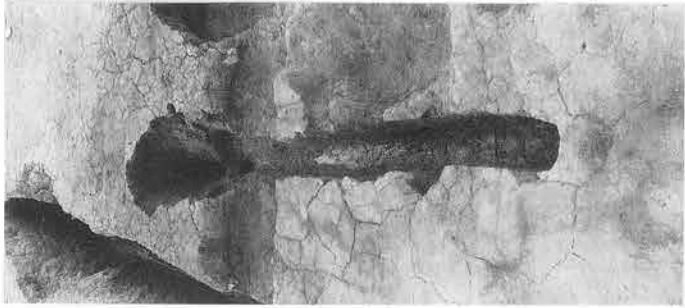
写真図版69 陥し穴状遺構(18)



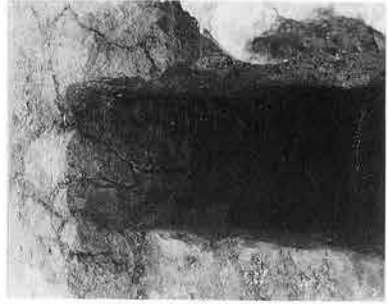
第85号陷し穴



埋 土



第86号陷し穴



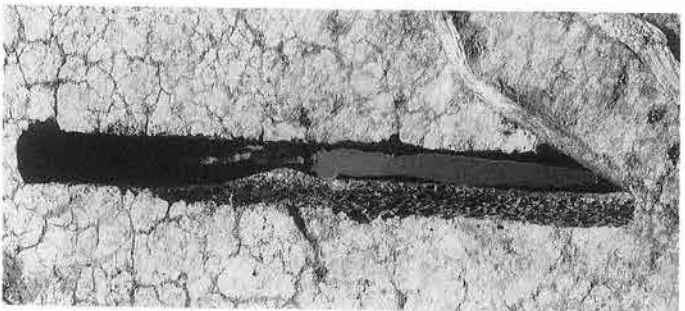
埋 土



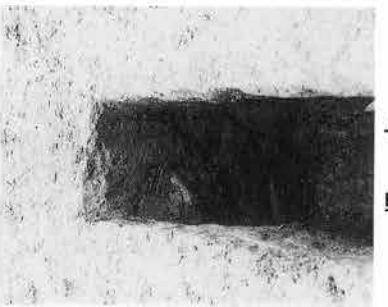
第87号陷し穴



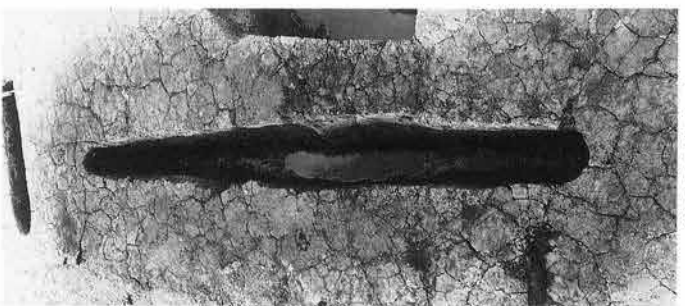
埋 土



第88号陷し穴



埋 土

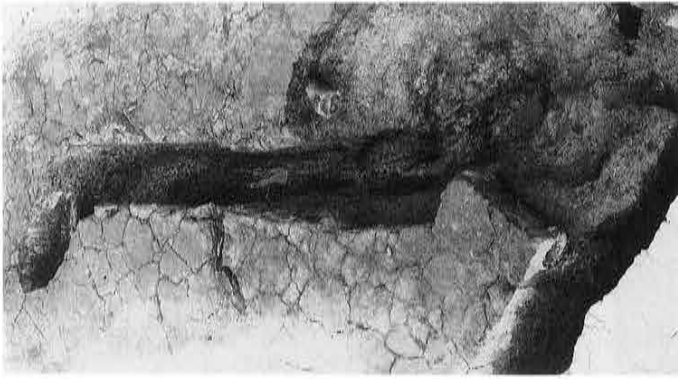


第89号陷し穴

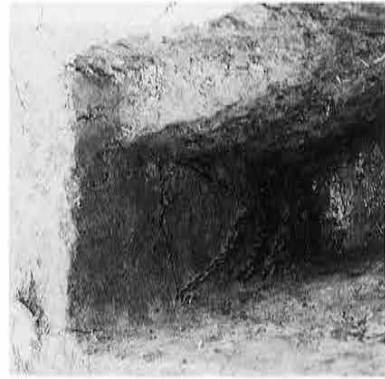


埋 土

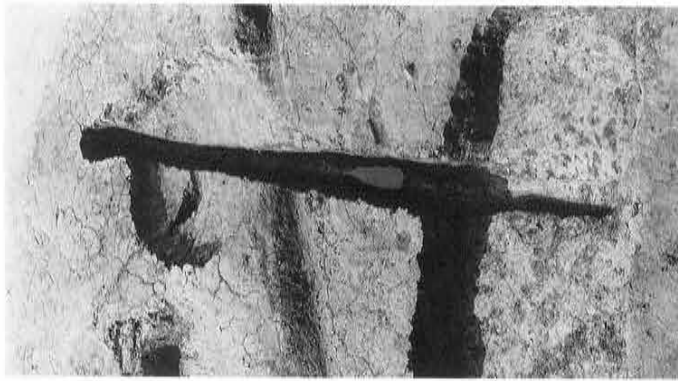
写真図版70 陷し穴状遺構(19)



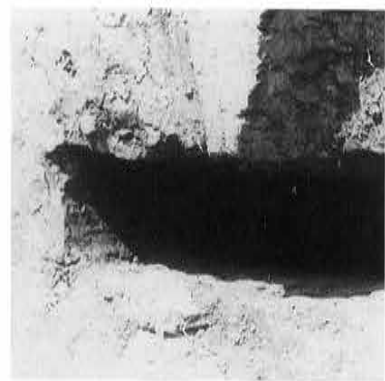
第90号陥し穴



埋土



第91号陥し穴



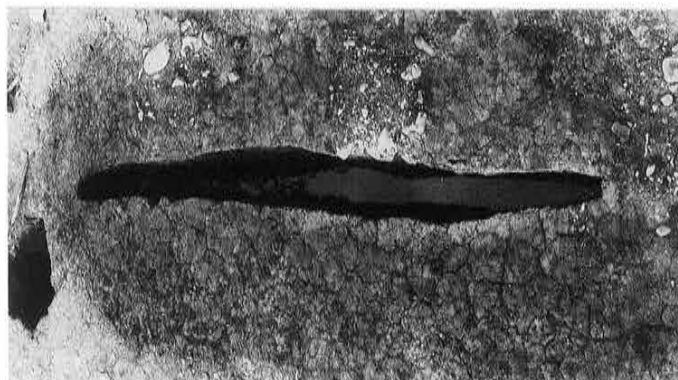
埋土



第92号陥し穴



埋土



第93号陥し穴



埋土

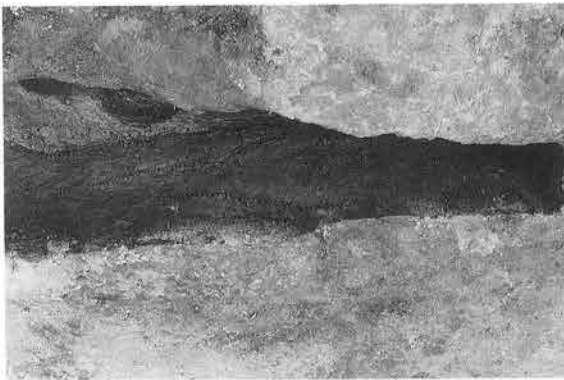
写真図版71 陥し穴状遺構(20)



第94号陥し穴



第95号陥し穴



埋 土



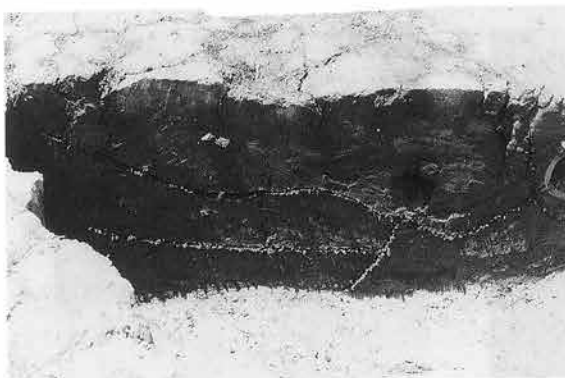
埋 土



第96号陥し穴



第97号陥し穴



埋 土



埋 土

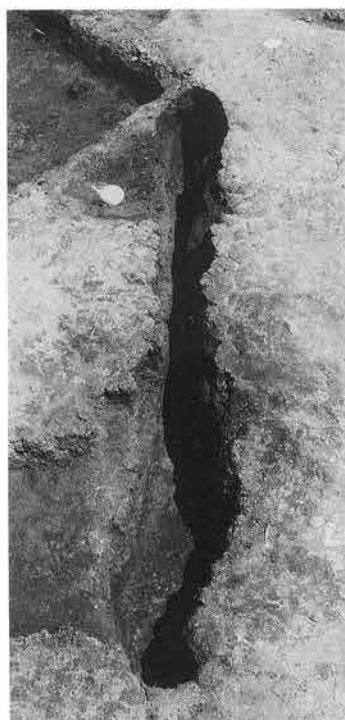
写真図版72 陥し穴状遺構(21)



第98号陥し穴



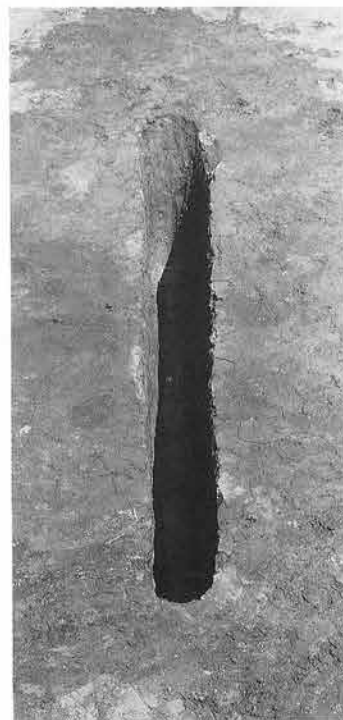
第98号陥し穴 埋土



第99号陥し穴



第100号陥し穴



第101号陥し穴



埋土

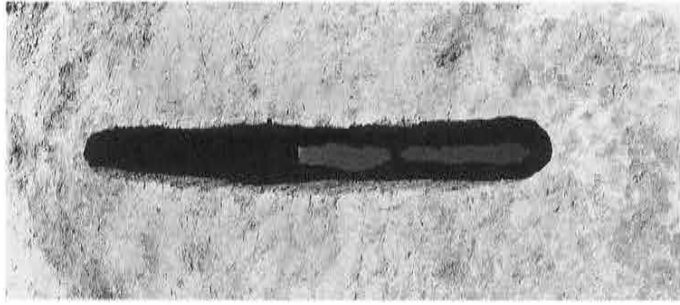


埋土

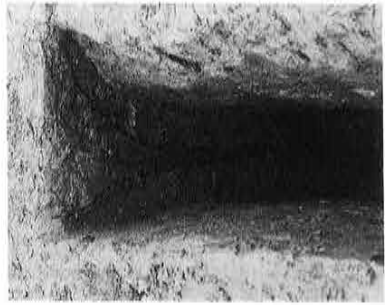


埋土

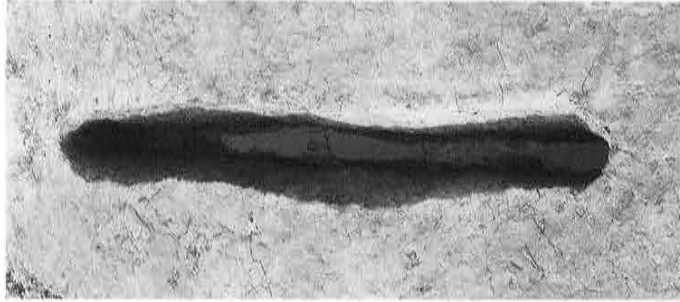
写真図版73 陥し穴状遺構(22)



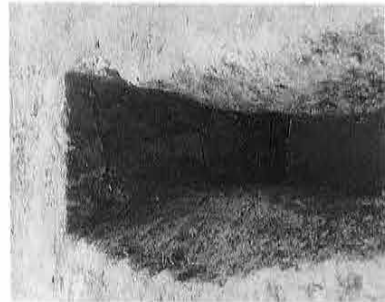
第102号陥し穴



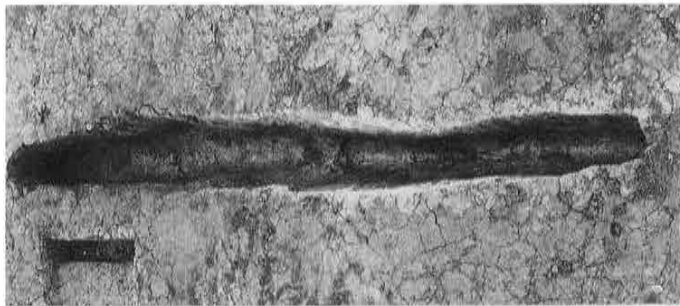
埋土



第103号陥し穴



埋土



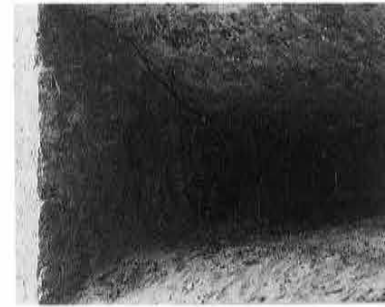
第104号陥し穴



埋土



第105号陥し穴



埋土

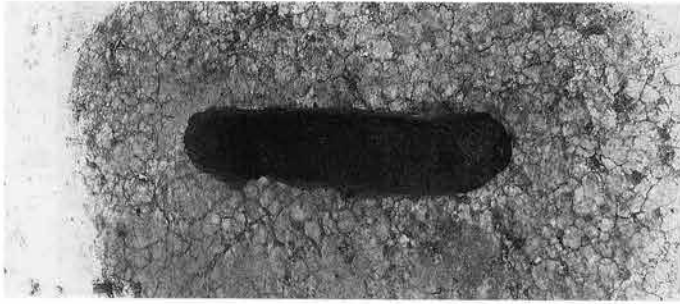


第106号陥し穴

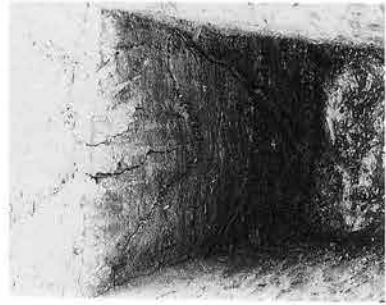


埋土

写真図版74 陥し穴状遺構(23)



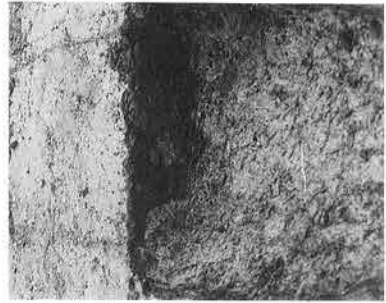
第107号陥し穴



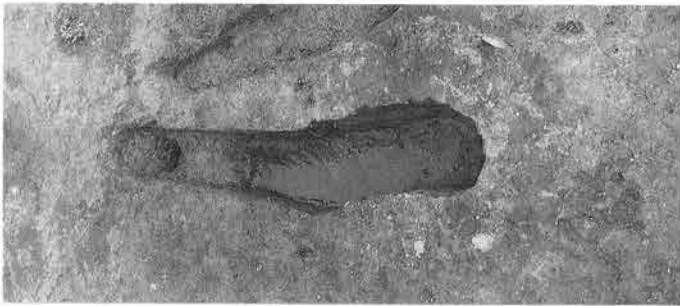
埋土



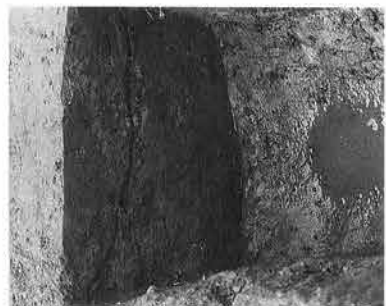
第108号陥し穴



埋土



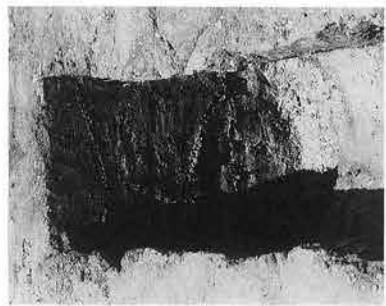
第109号陥し穴



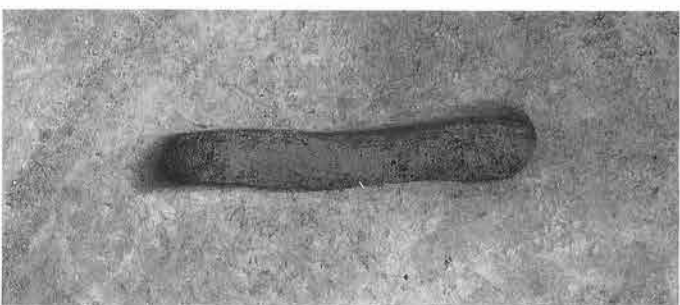
埋土



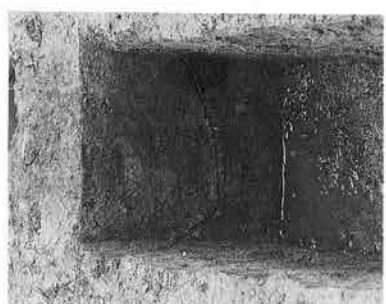
第110号陥し穴



埋土



第111号陥し穴

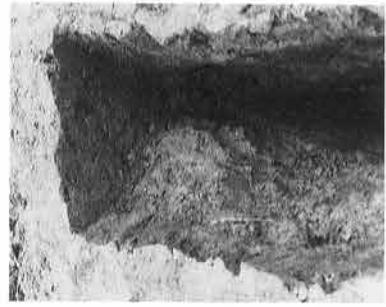


埋土

写真図版75 陥し穴状遺構(24)



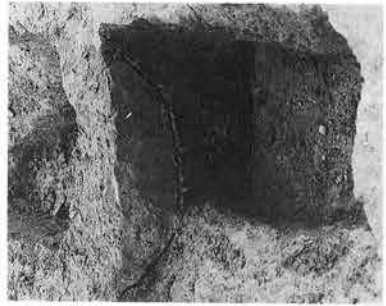
第112号陥し穴



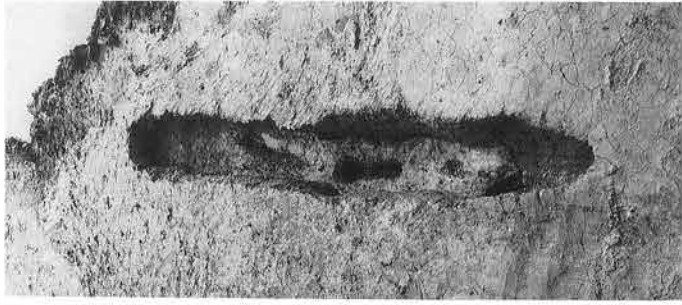
埋土



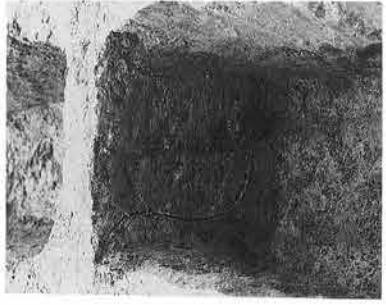
第113号陥し穴



埋土



第114号陥し穴



埋土



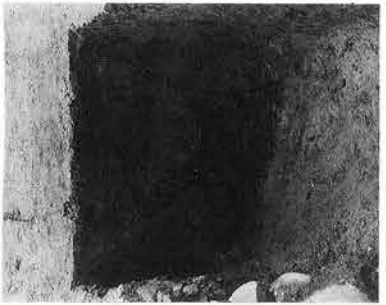
第115号陥し穴



埋土



第116号陥し穴



埋土

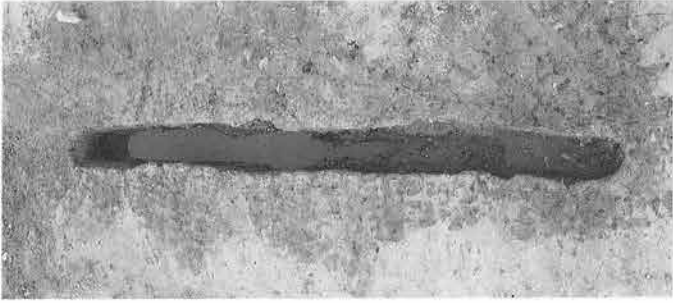
写真図版76 陥し穴状遺構(25)



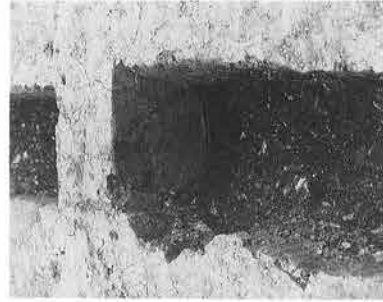
第117号陥し穴



埋土



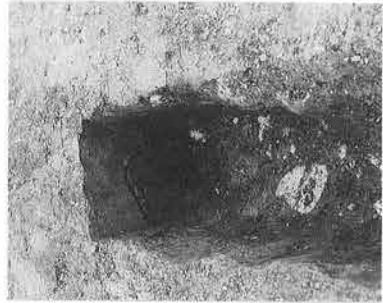
第118号陥し穴



埋土



第119号陥し穴



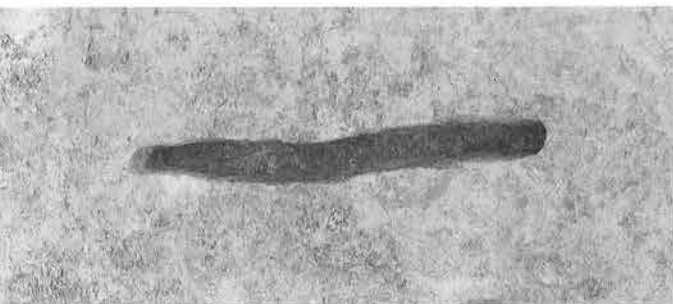
埋土



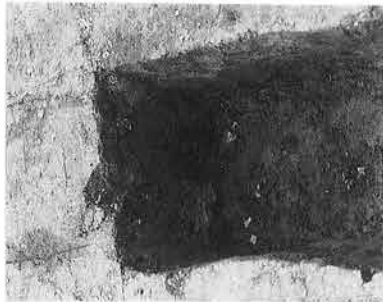
第120号陥し穴



埋土

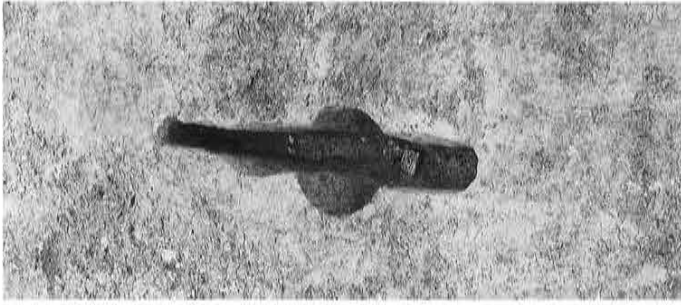


第121号陥し穴

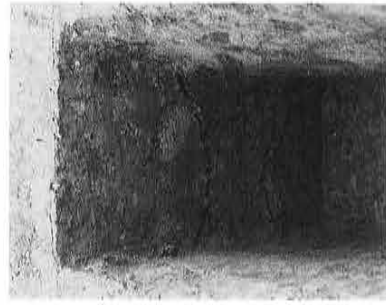


埋土

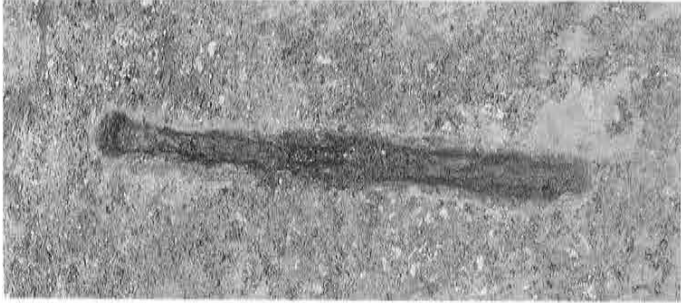
写真図版77 陥し穴状遺構(26)



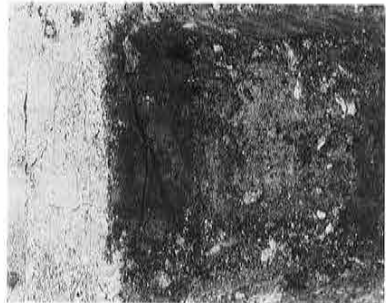
第122号陥し穴



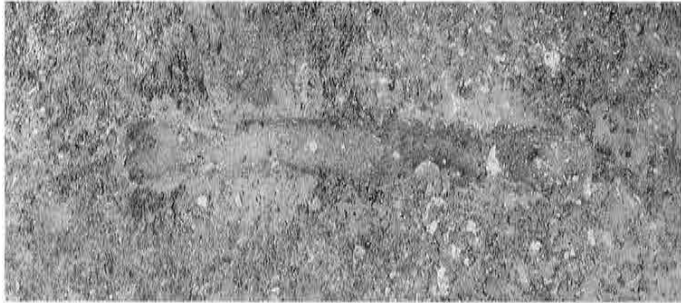
埋土



第123号陥し穴



埋土



第124号陥し穴



埋土



第125号陥し穴



第125・126号陥し穴 埋土



第126号陥し穴

写真図版78 陥し穴状遺構(27)



第127号陥し穴



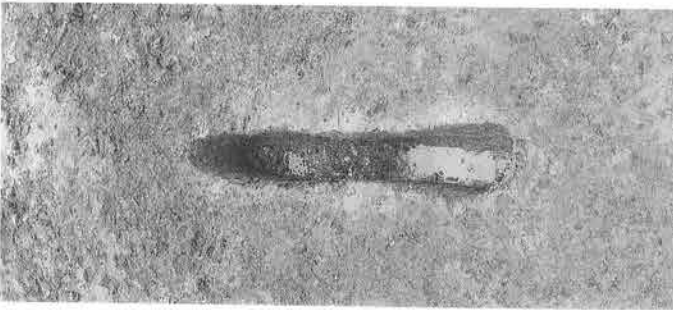
埋土



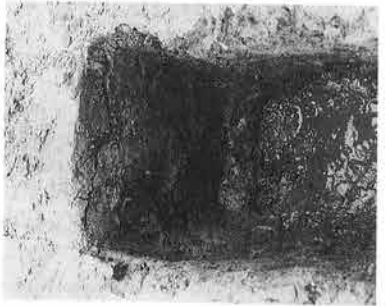
第128号陥し穴



埋土



第129号陥し穴



埋土



第130号陥し穴



埋土



第131号陥し穴



埋土

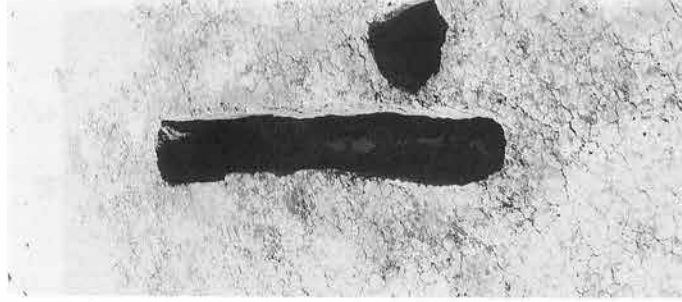
写真図版79 陥し穴状遺構(28)



第132号陥し穴



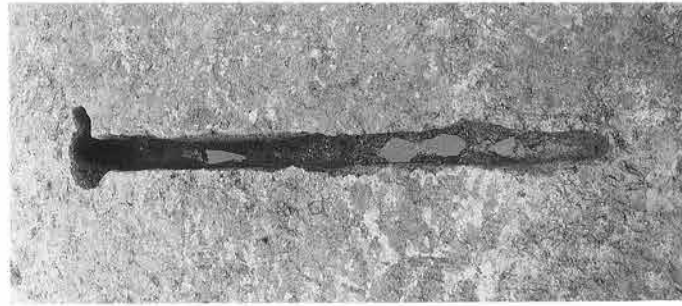
埋土



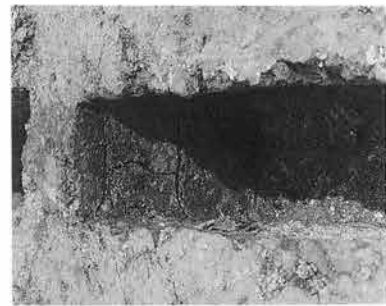
第133号陥し穴



埋土



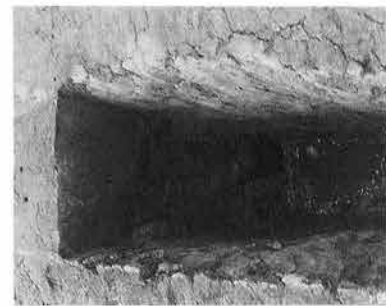
第134号陥し穴



埋土



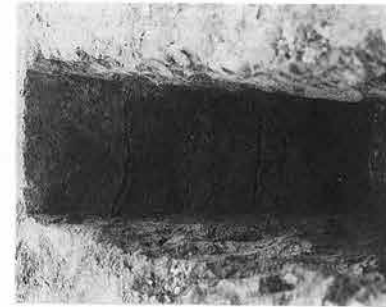
第135号陥し穴



埋土



第136号陥し穴



埋土

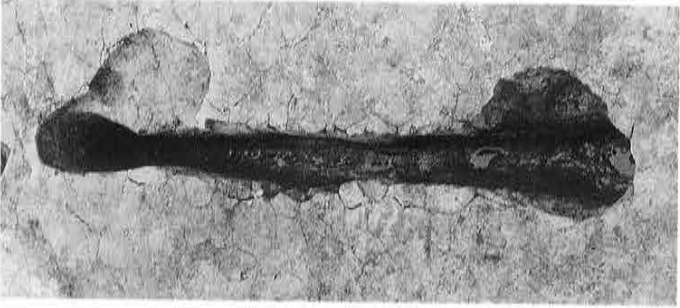
写真図版80 陥し穴状遺構(29)



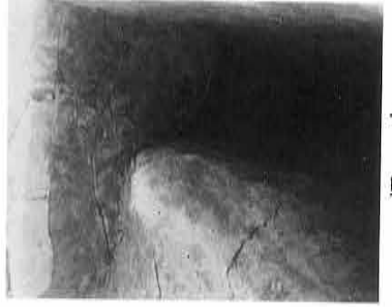
第137号陥し穴



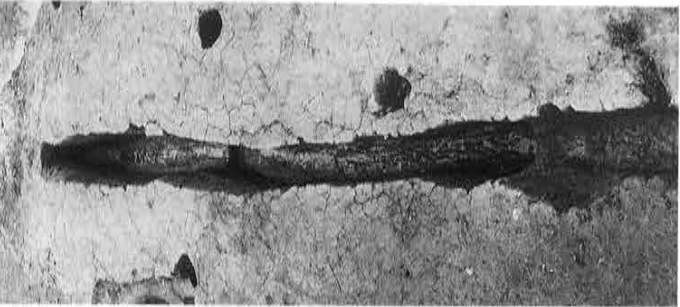
埋土



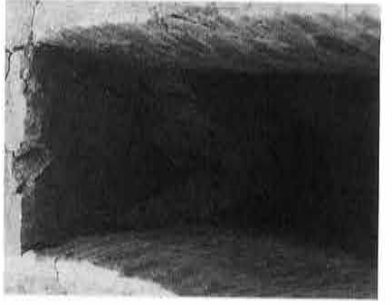
第138号陥し穴



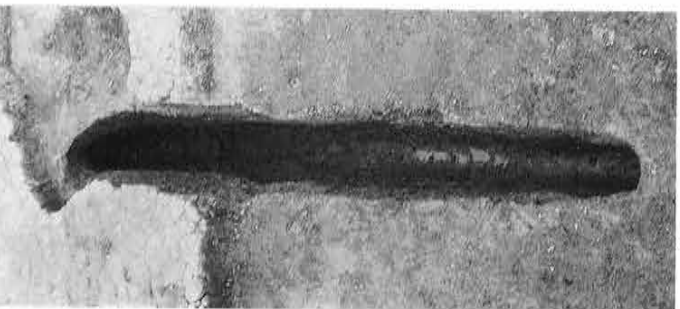
埋土



第139号陥し穴



埋土



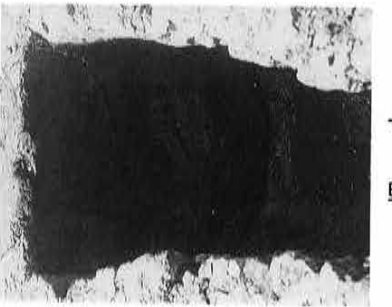
第140号陥し穴



埋土

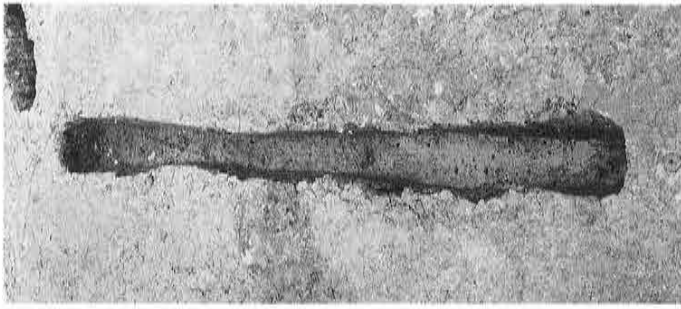


第141号陥し穴

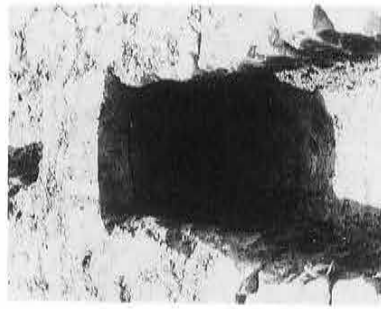


埋土

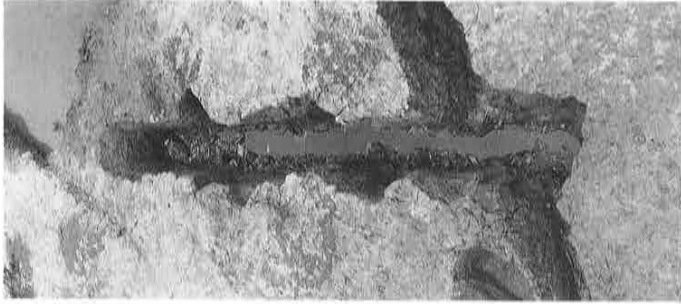
写真図版81 陥し穴状遺構(30)



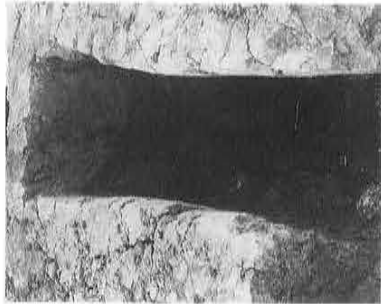
第142号陥し穴



埋土



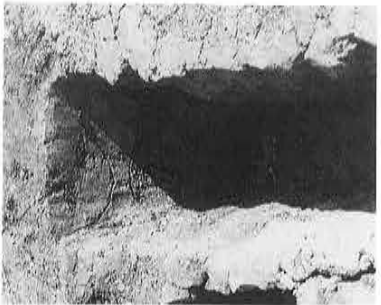
第143号陥し穴



埋土



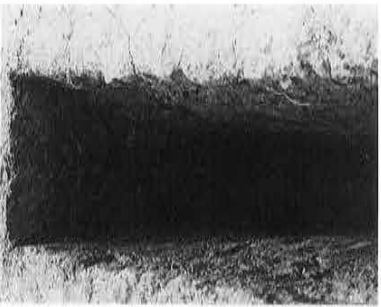
第144号陥し穴



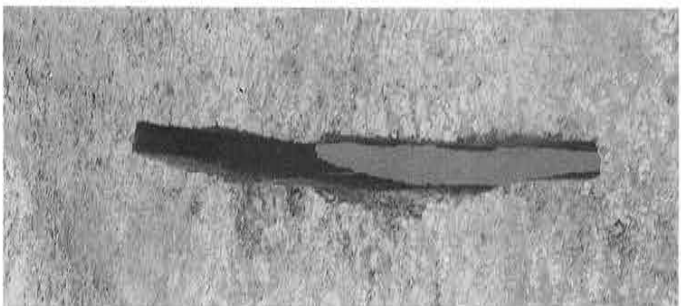
埋土



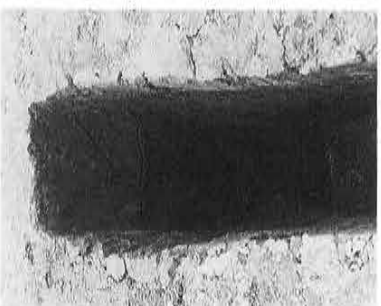
第145号陥し穴



埋土

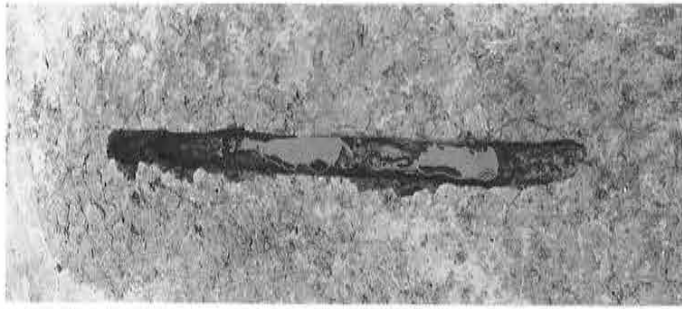


第146号陥し穴

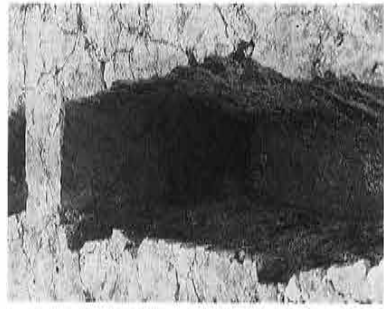


埋土

写真図版82 陥し穴状遺構(31)



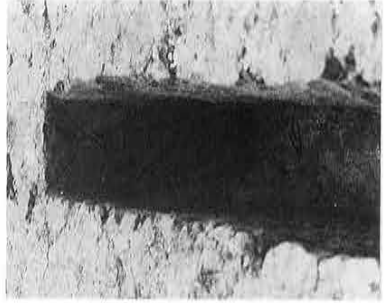
第147号陥し穴



埋土



第148号陥し穴



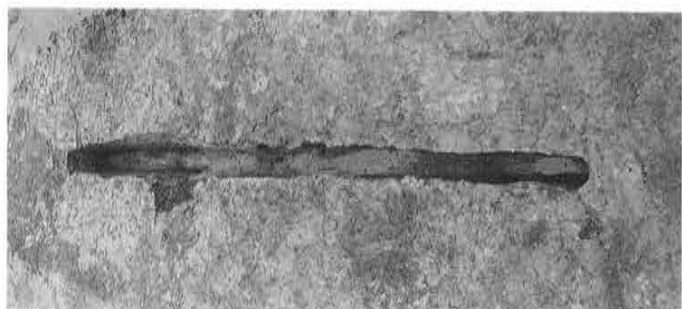
埋土



第149号陥し穴



埋土



第150号陥し穴



埋土

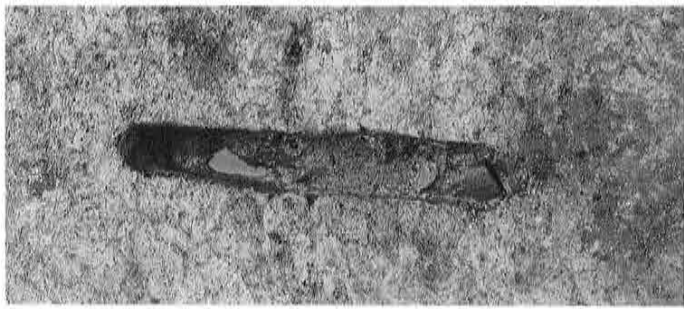


第151号陥し穴

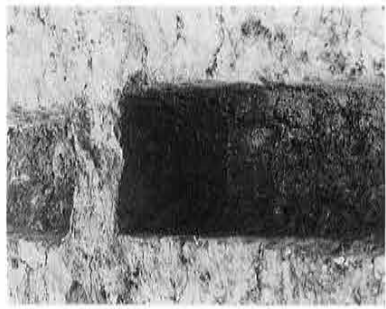


埋土

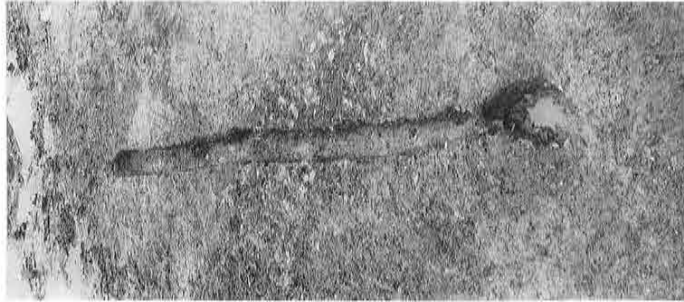
写真図版83 陥し穴状遺構(32)



第152号陷し穴



埋土



第153号陷し穴



埋土



第154号陷し穴



埋土



第155号陷し穴



埋土

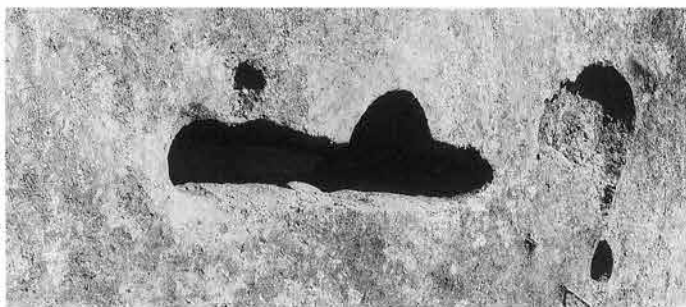


第156号陷し穴



埋土

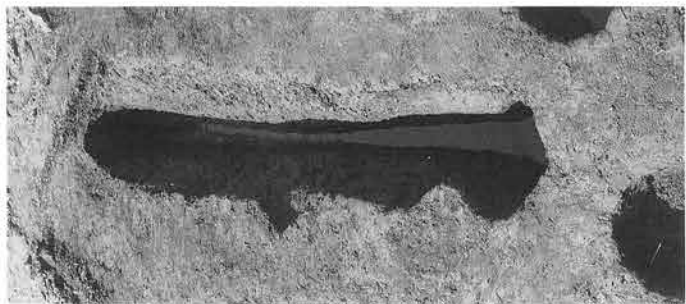
写真図版84 陷し穴状遺構(33)



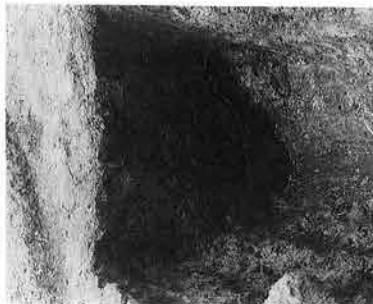
第157号陥し穴



埋土



第158号陥し穴



埋土



第159号陥し穴



埋土



第160号陥し穴



埋土



第161号陥し穴

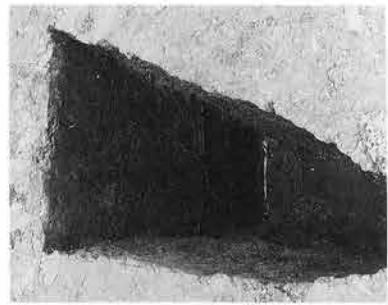


埋土

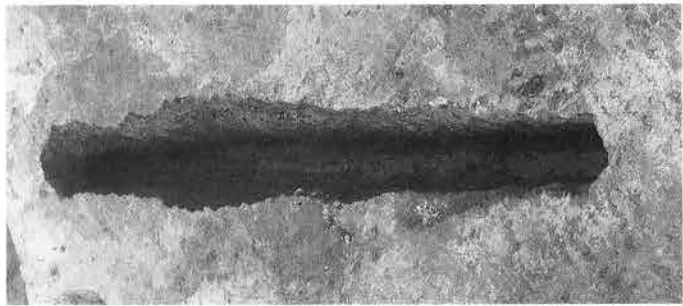
写真図版85 陥し穴状遺構(34)



第162号陥し穴



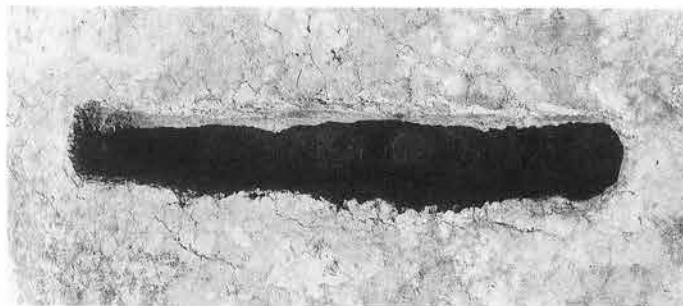
埋土



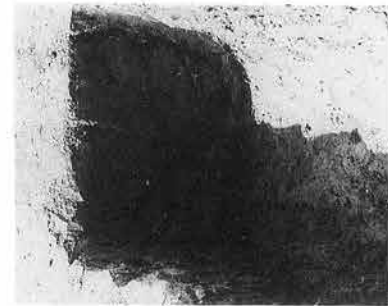
第163号陥し穴



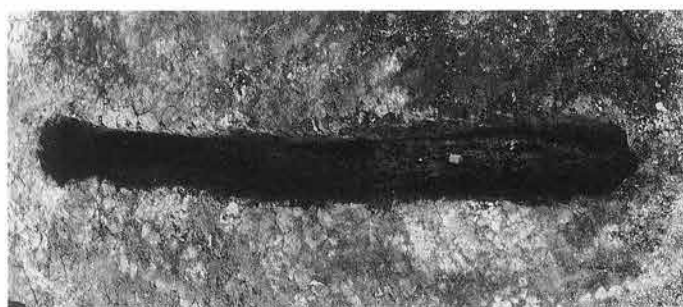
埋土



第164号陥し穴



埋土



第165号陥し穴



埋土

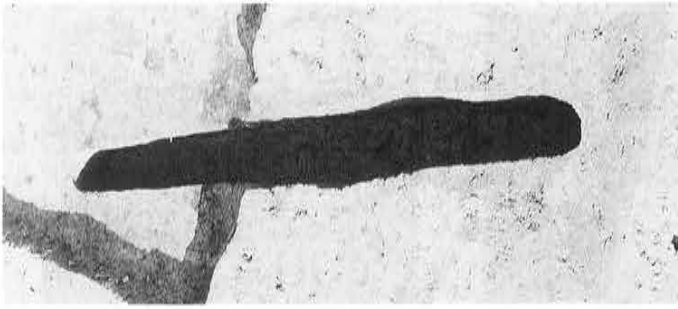


第166号陥し穴

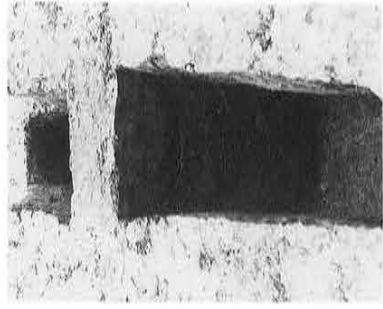


埋土

写真図版86 陥し穴状遺構(35)



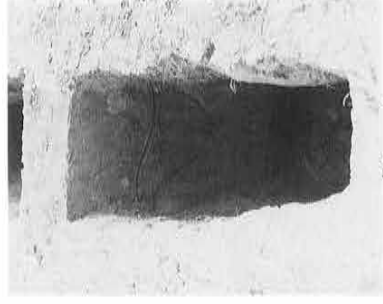
第167号陥し穴



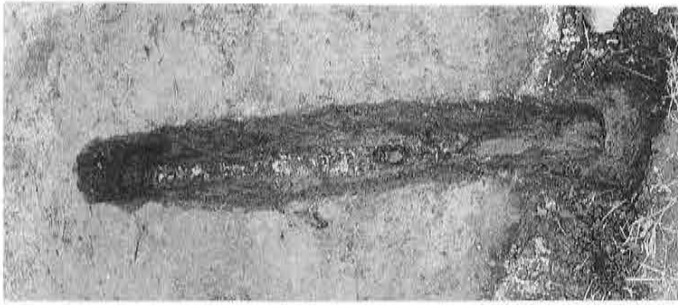
埋土



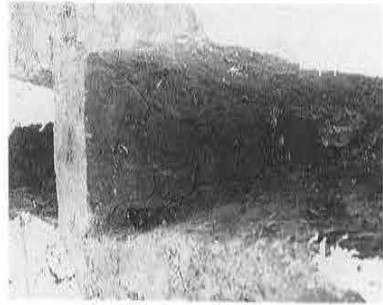
第168号陥し穴



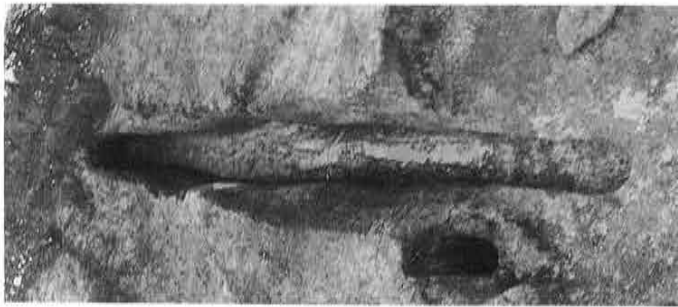
埋土



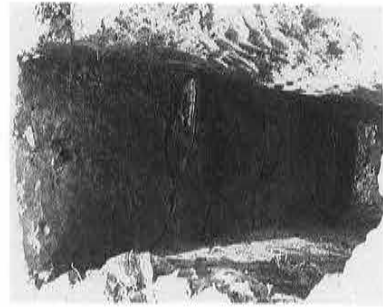
第169号陥し穴



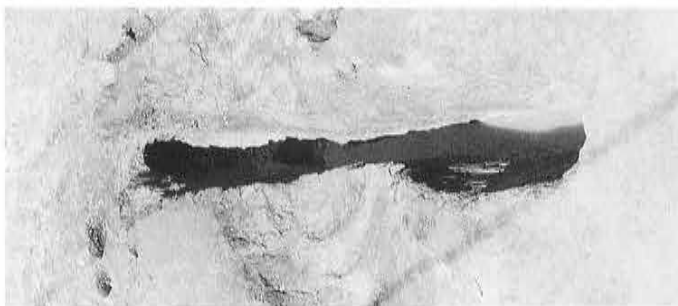
埋土



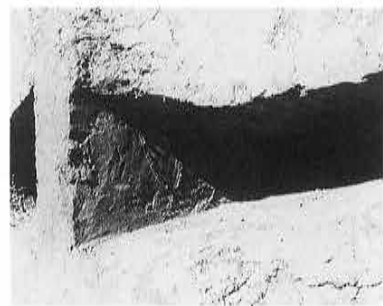
第170号陥し穴



埋土

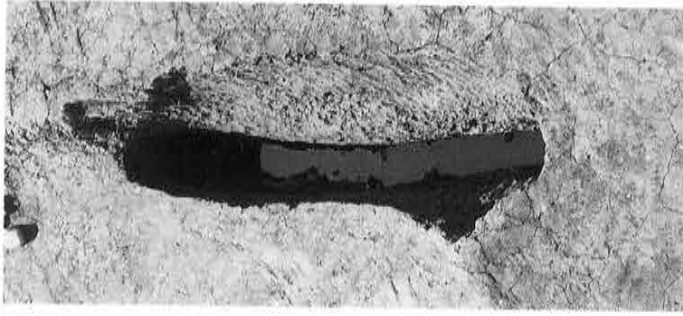


第171号陥し穴



埋土

写真図版87 陥し穴状遺構(36)



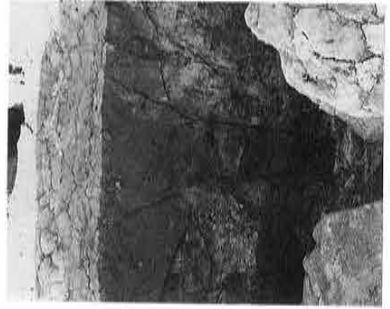
第172号陥し穴



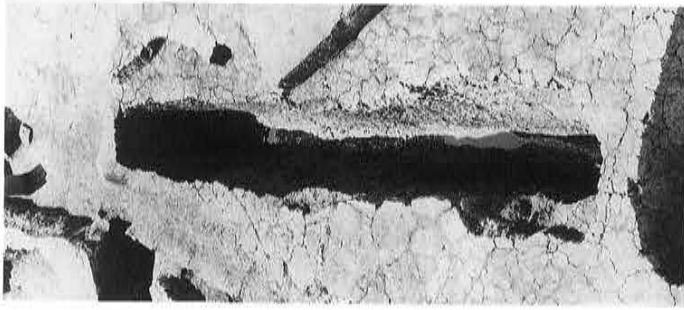
埋土



第173号陥し穴



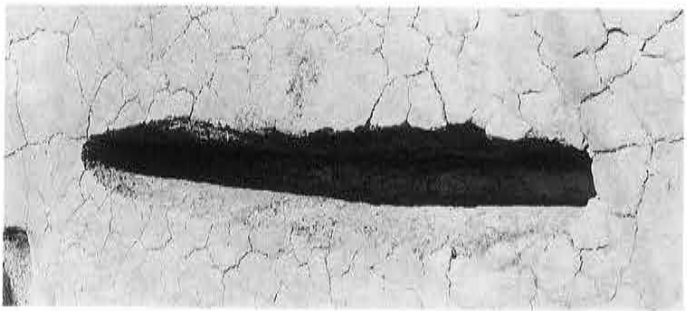
埋土



第174号陥し穴



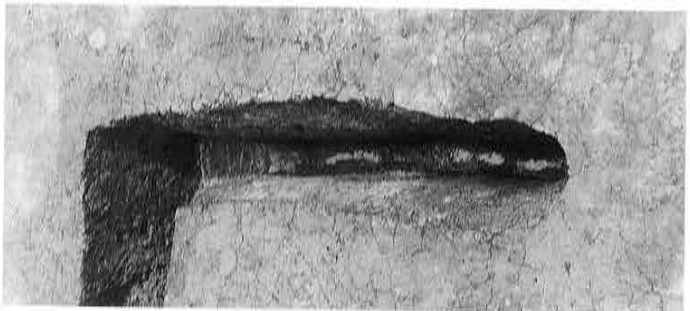
埋土



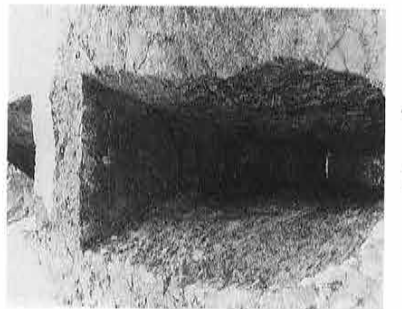
第175号陥し穴



埋土

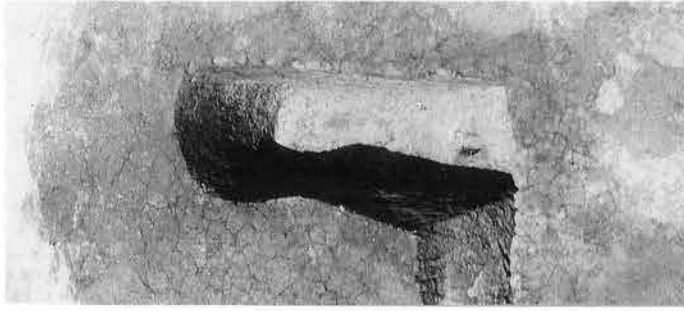


第176号陥し穴



埋土

写真図版88 陥し穴状遺構(37)



第177号陥し穴



第178号陥し穴



第179号陥し穴



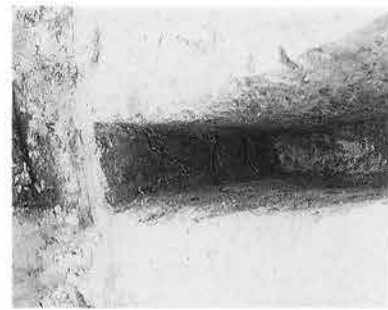
第180号陥し穴



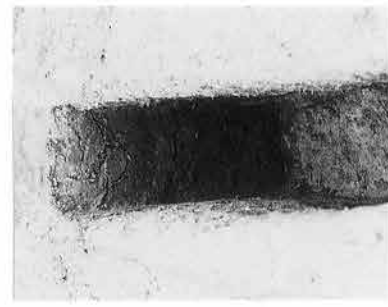
第181号陥し穴



調査風景



埋土

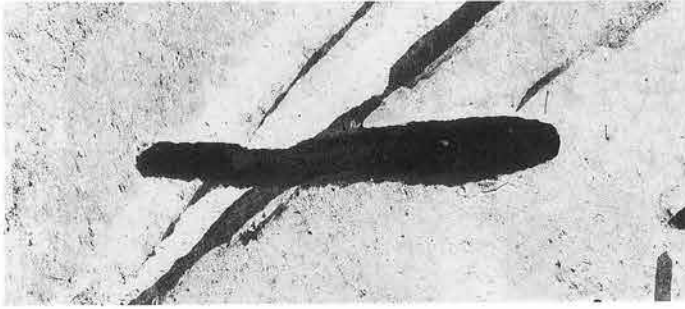


埋土



埋土

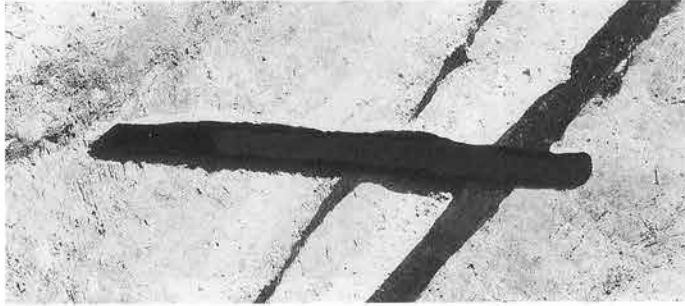
写真図版89 陥し穴状遺構(38)



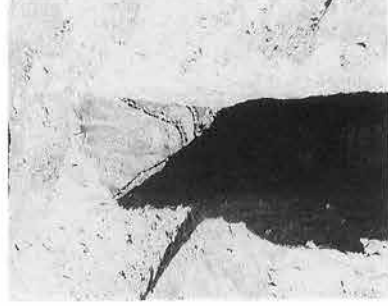
第182号陥し穴



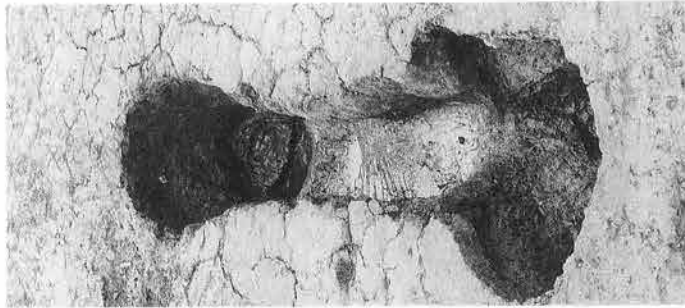
埋土



第183号陥し穴



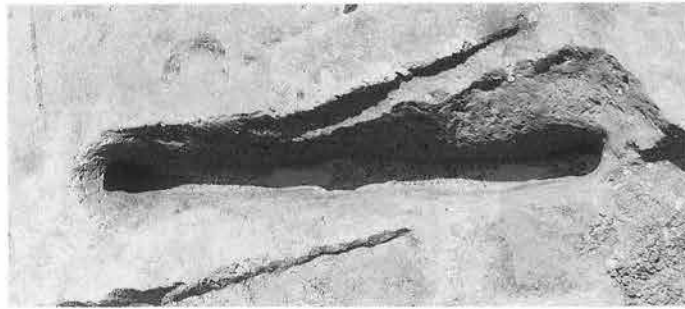
埋土



第184号陥し穴



埋土



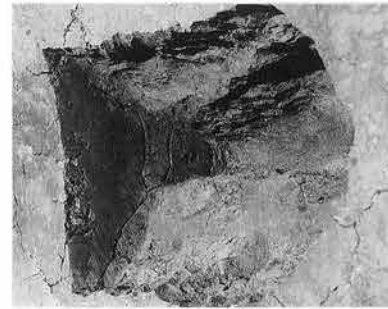
第185号陥し穴



埋土



第186号陥し穴

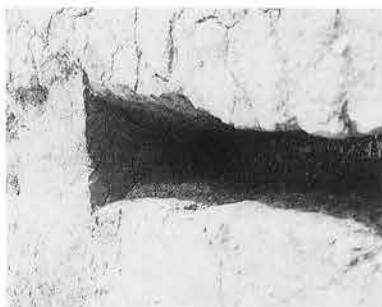


埋土

写真図版90 陥し穴状遺構(39)



第187号陥し穴



埋土



第188号陥し穴



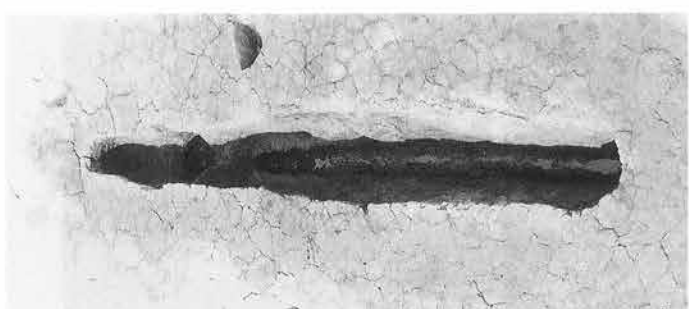
埋土



第189号陥し穴



埋土



第190号陥し穴



埋土



第191号陥し穴

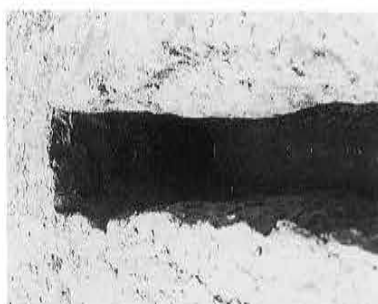


埋土

写真図版91 陥し穴状遺構(40)



第192号陥し穴



埋土



第193号陥し穴



埋土



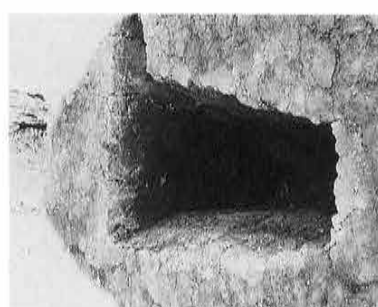
第194号陥し穴



埋土



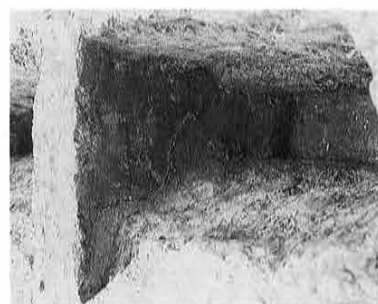
第195号陥し穴



埋土



第196号陥し穴

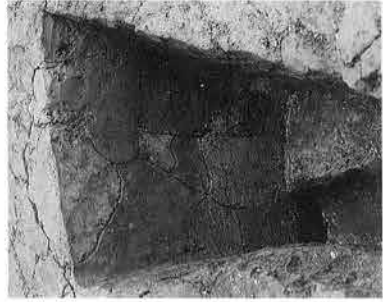


埋土

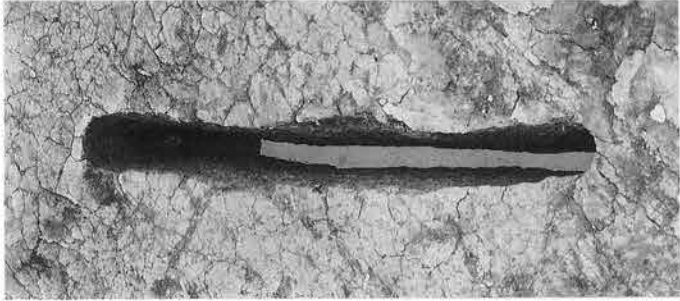
写真図版92 陥し穴状遺構(41)



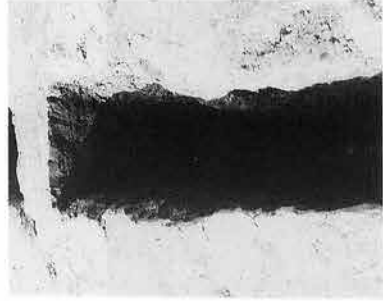
第197・198号陥し穴



埋土



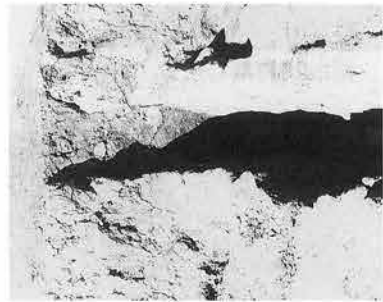
第199号陥し穴



埋土



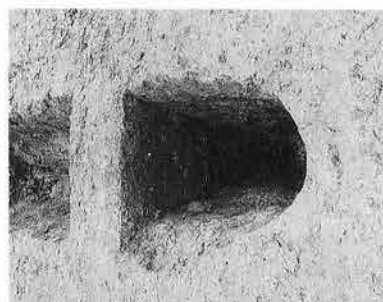
第200号陥し穴



埋土



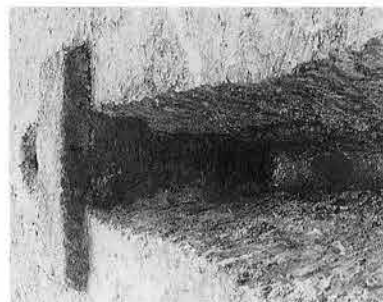
第201号陥し穴



埋土



第202号陥し穴



埋土

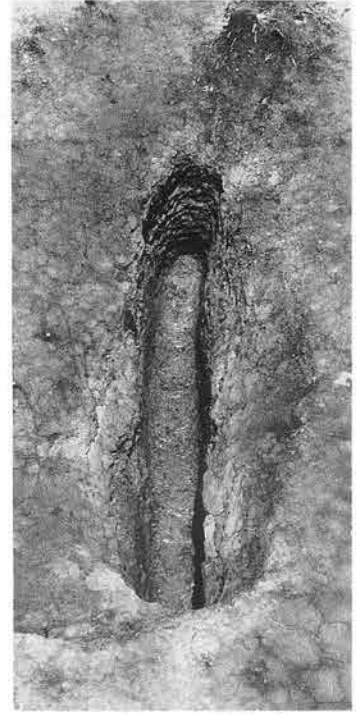
写真図版93 陥し穴状遺構(42)



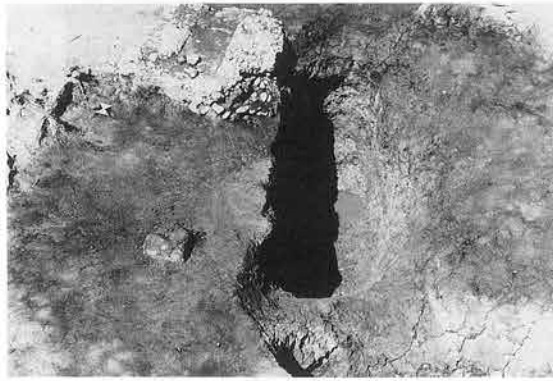
第203号陥し穴



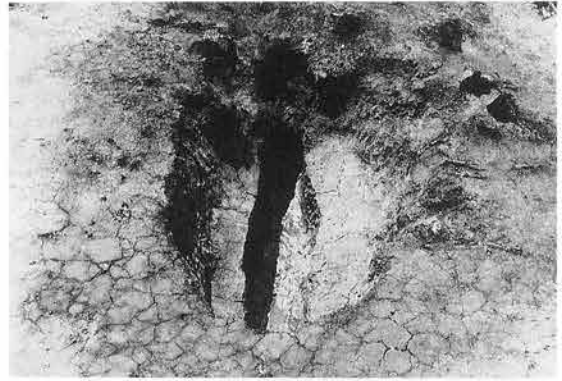
第203号陥し穴 埋土



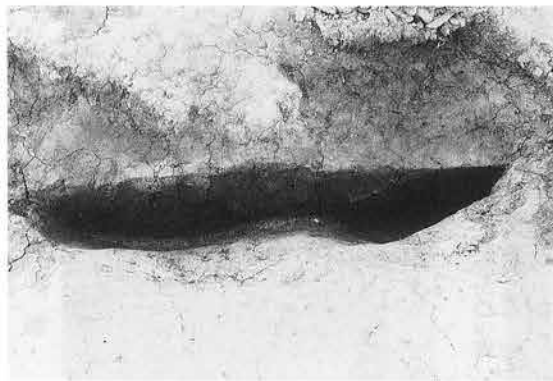
第205号陥し穴



第204号陥し穴



第206号陥し穴

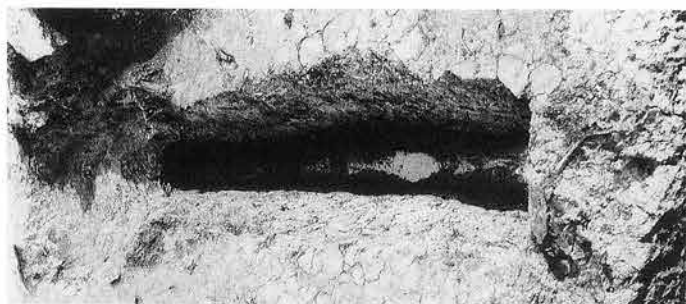


埋 土



埋 土

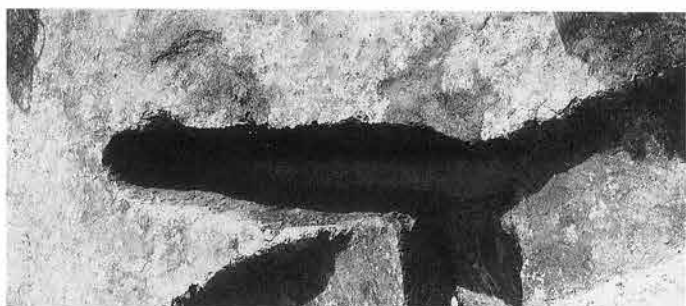
写真図版94 陥し穴状遺構(43)



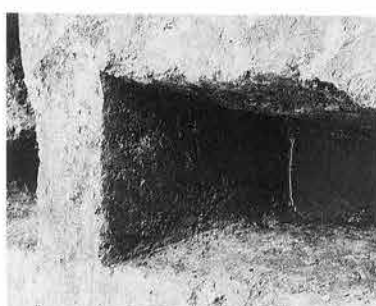
第207号陷し穴



埋土



第208号陷し穴



埋土



第209号陷し穴



埋土



第210号陷し穴



埋土



第211号陷し穴



埋土

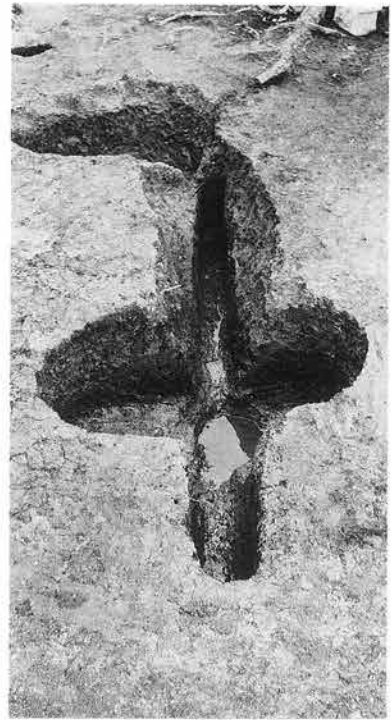
写真図版95 陷し穴状遺構(44)



第212号陥し穴



第212号陥し穴 埋土



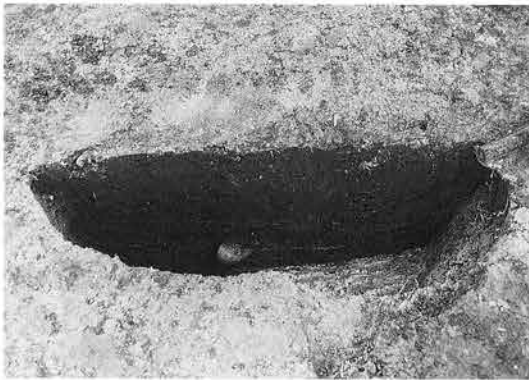
第215号陥し穴



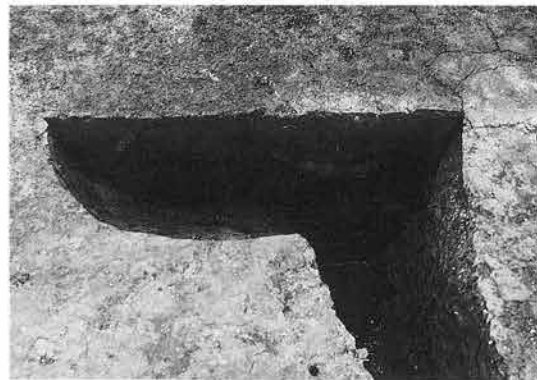
第213号陥し穴



第214号陥し穴

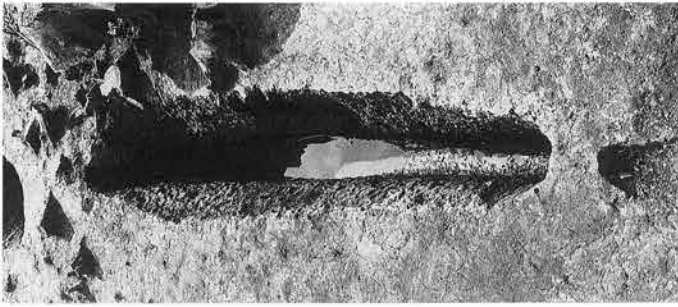


埋 土



埋 土

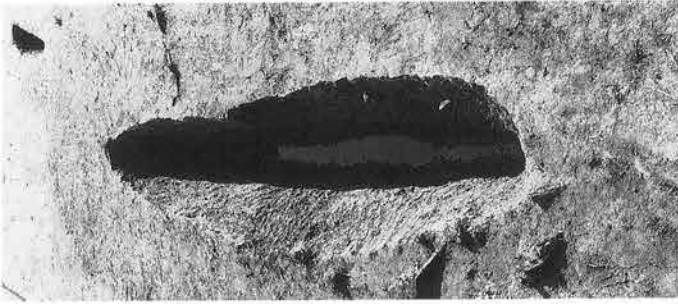
写真図版96 陥し穴状遺構(45)



第216号陥し穴



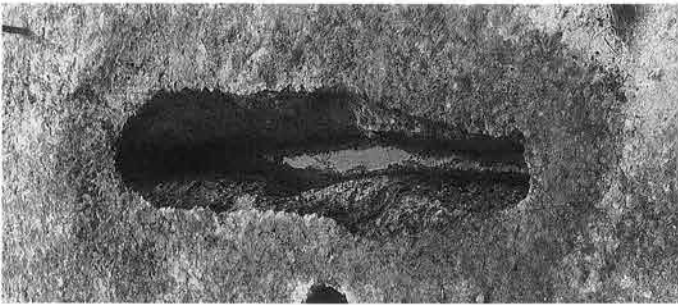
埋土



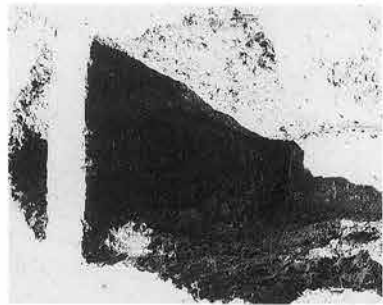
第217号陥し穴



埋土



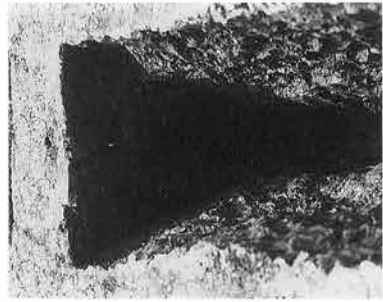
第218号陥し穴



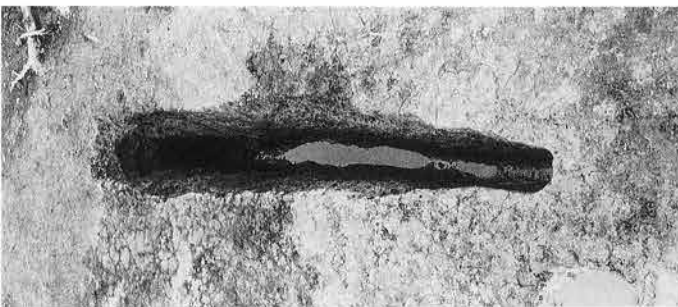
埋土



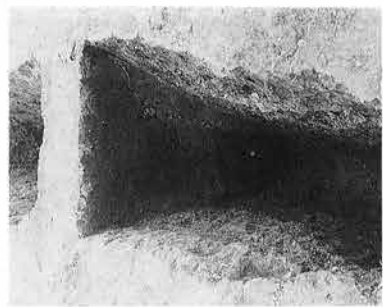
第219号陥し穴



埋土

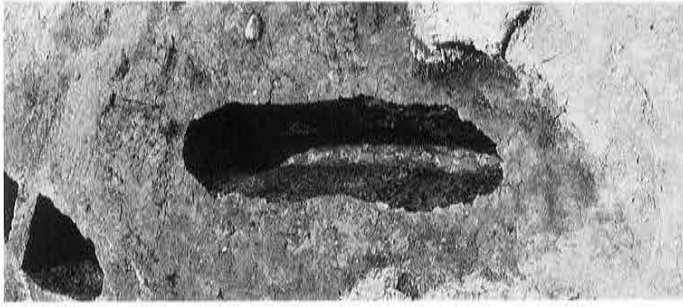


第220号陥し穴

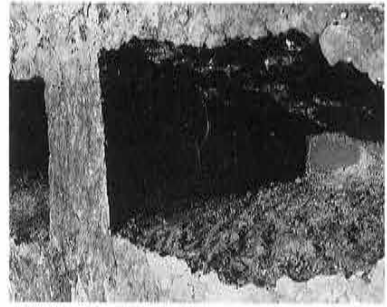


埋土

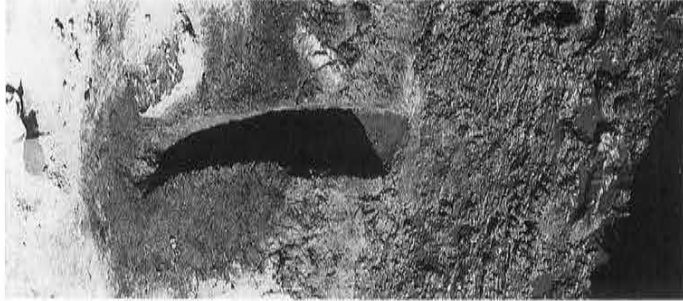
写真図版97 陥し穴状遺構(46)



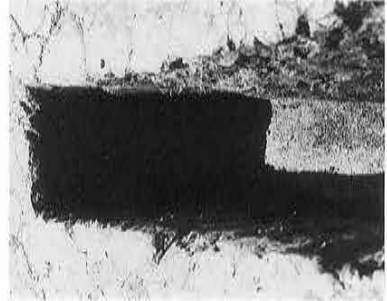
第221号陥し穴



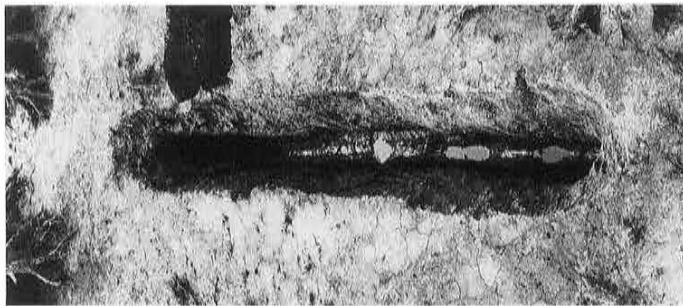
埋土



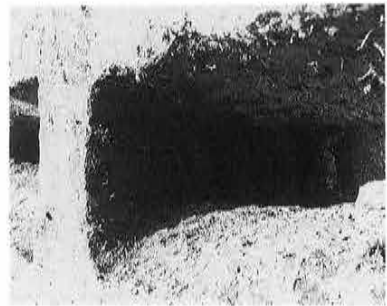
第222号陥し穴



埋土



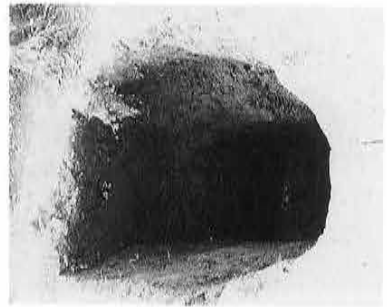
第223号陥し穴



埋土



第224号陥し穴



埋土

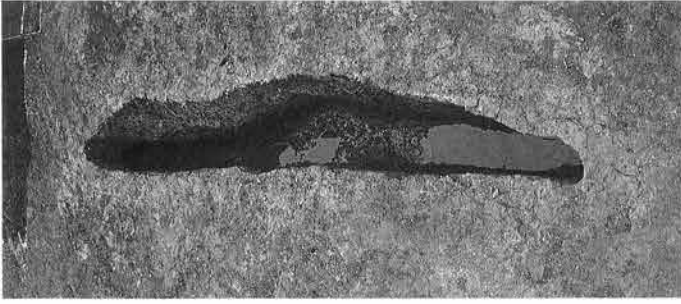


第225号陥し穴

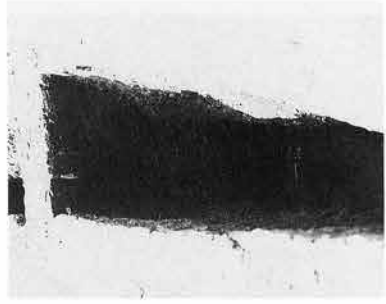


埋土

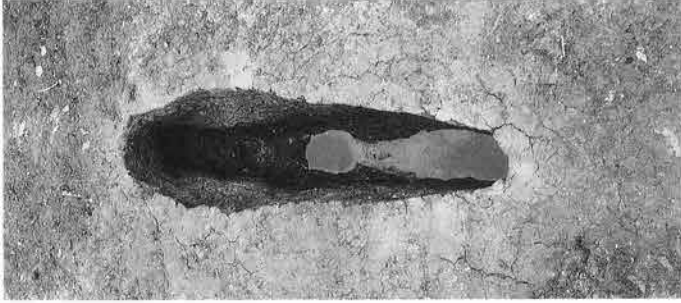
写真図版98 陥し穴状遺構(47)



第226号陥し穴



埋土



第227号陥し穴



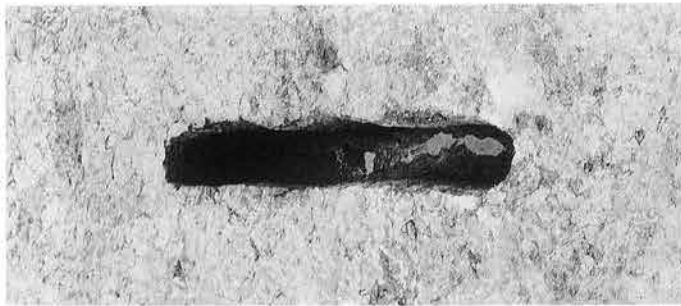
埋土



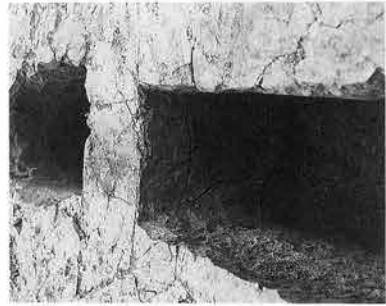
第228号陥し穴



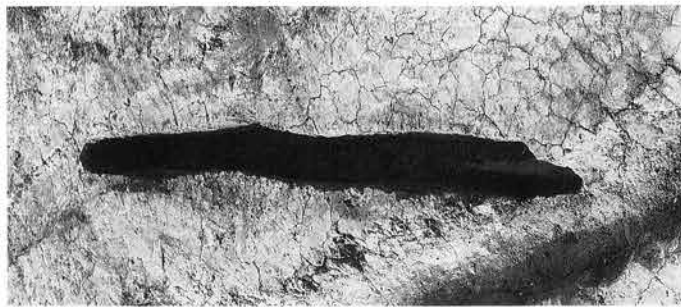
埋土



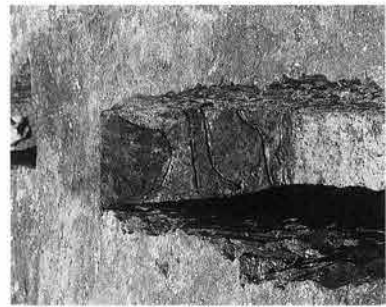
第229号陥し穴



埋土



第230号陥し穴



埋土

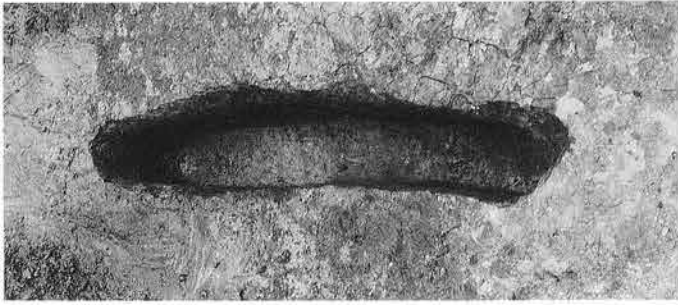
写真図版99 陥し穴状遺構(48)



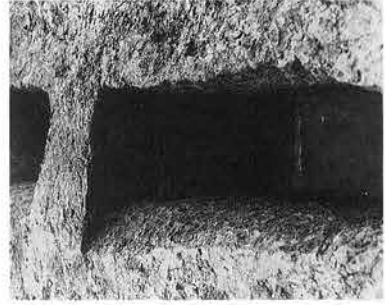
第231号陥し穴



埋土



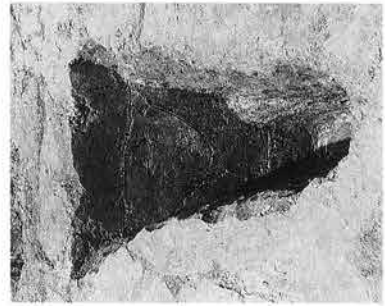
第232号陥し穴



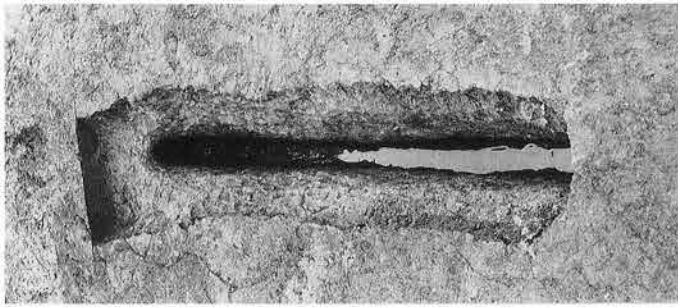
埋土



第233号陥し穴



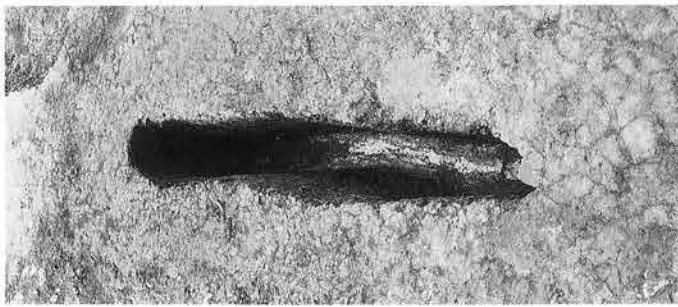
埋土



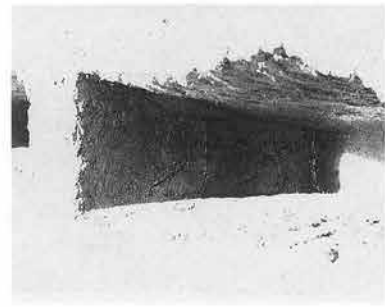
第234号陥し穴



埋土



第235号陥し穴

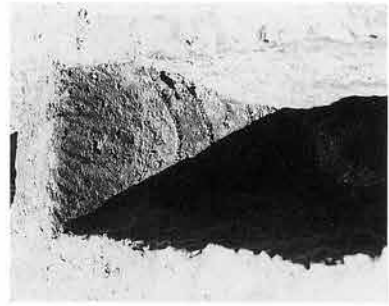


埋土

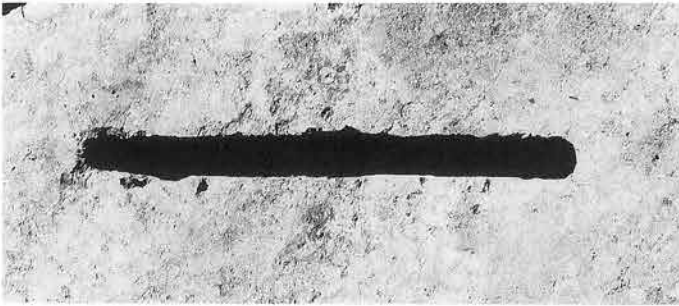
写真図版100 陥し穴状遺構(49)



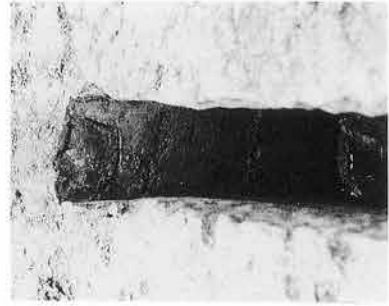
第236号陥し穴



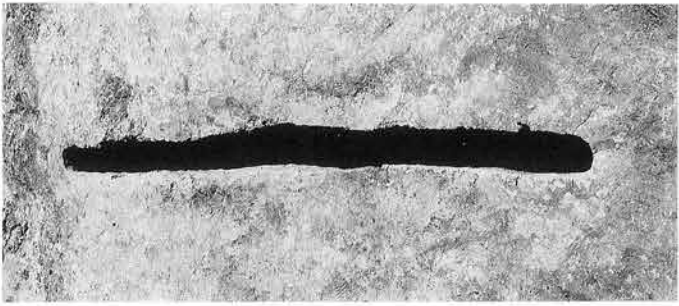
埋土



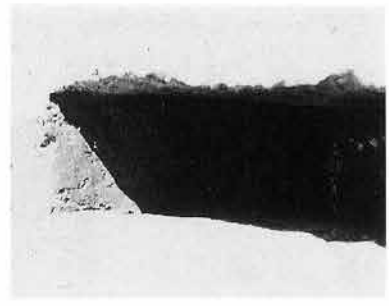
第237号陥し穴



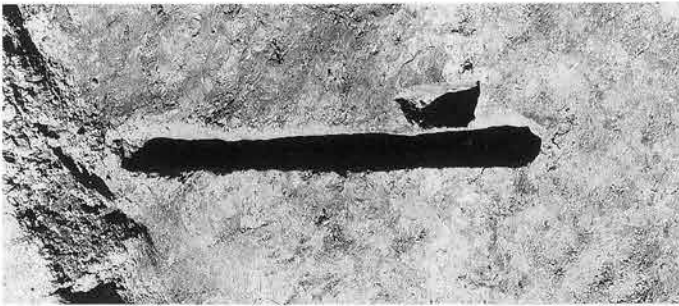
埋土



第238号陥し穴



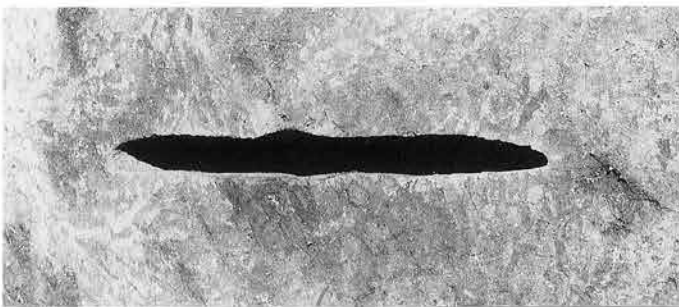
埋土



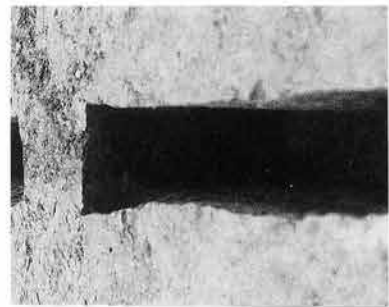
第239号陥し穴



埋土

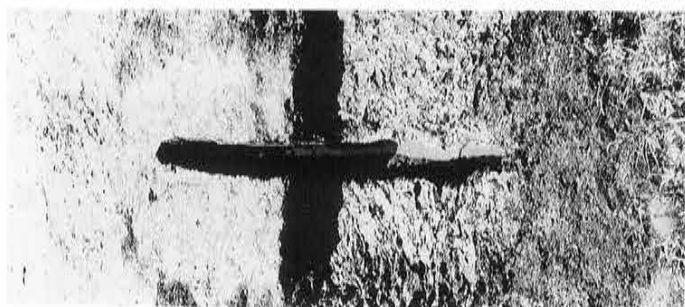


第240号陥し穴

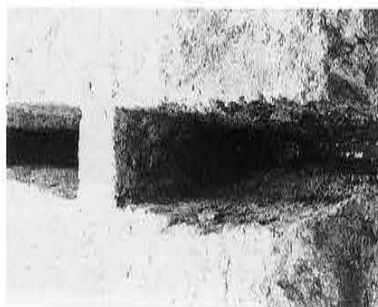


埋土

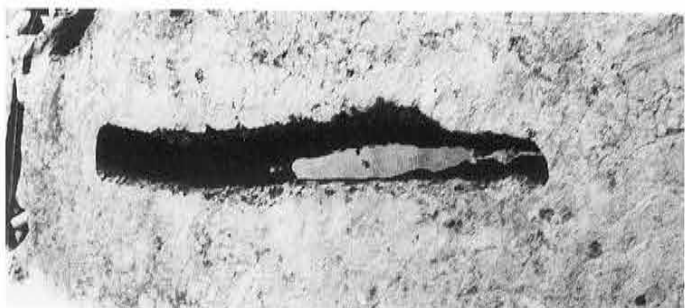
写真図版101 陥し穴状遺構(50)



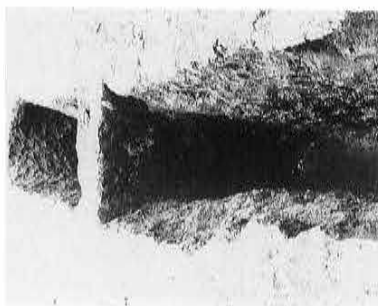
第241号陥し穴



埋土



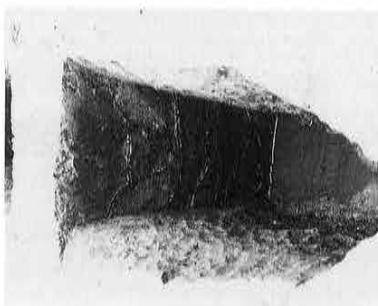
第242号陥し穴



埋土



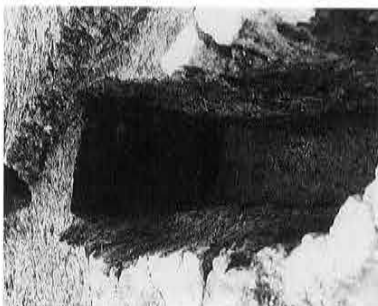
第243号陥し穴



埋土



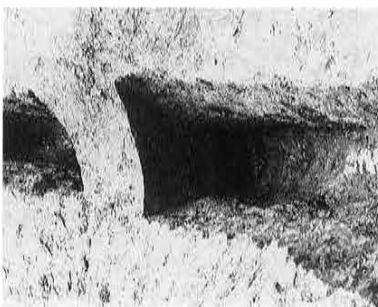
第244号陥し穴



埋土

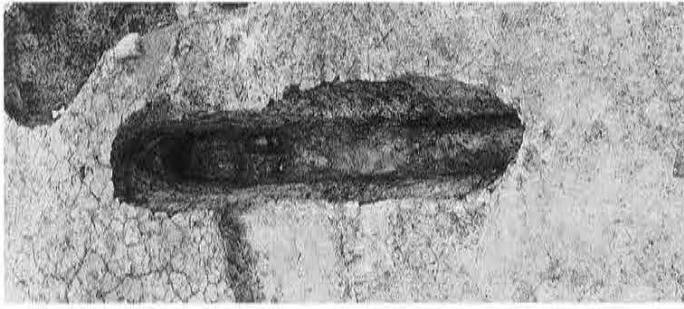


第245号陥し穴



埋土

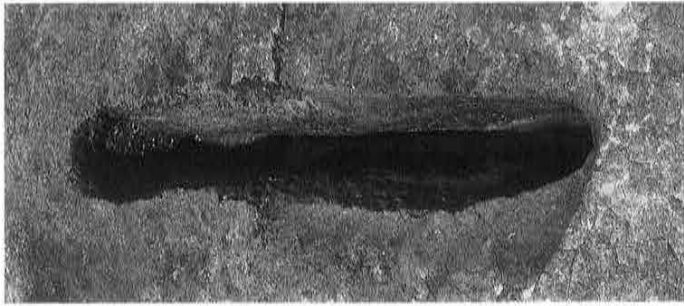
写真図版102 陥し穴状遺構(51)



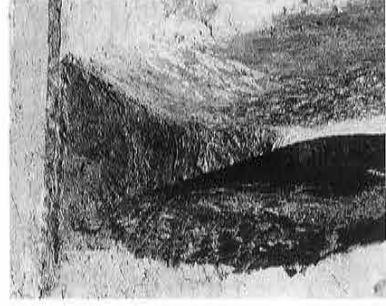
第246号陥し穴



埋土



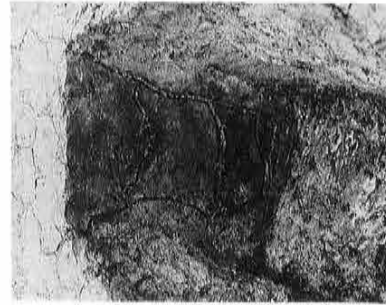
第247号陥し穴



埋土



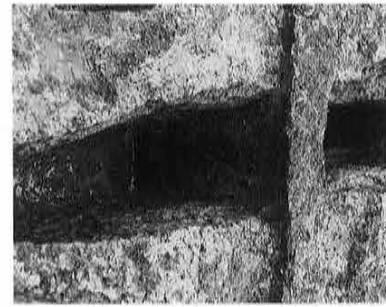
第248号陥し穴



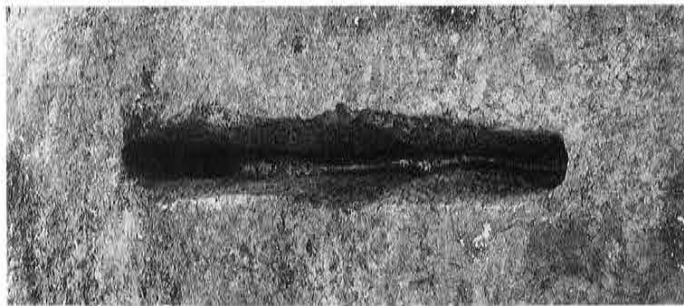
埋土



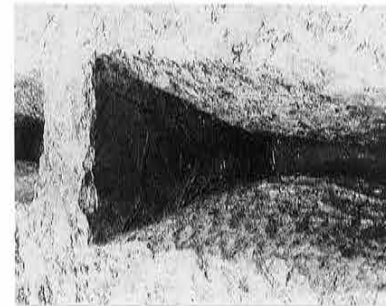
第249号陥し穴



埋土



第250号陥し穴



埋土

写真図版103 陥し穴状遺構(52)



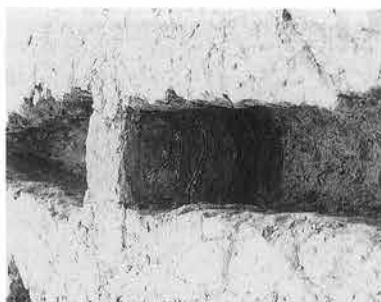
第251号陥し穴



埋土



第252号陥し穴



埋土



第253号陥し穴



埋土



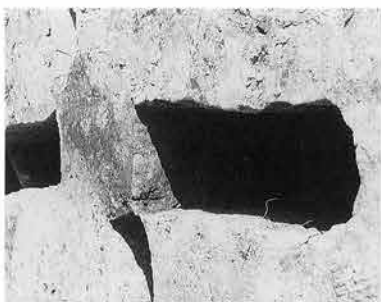
第254号陥し穴



埋土

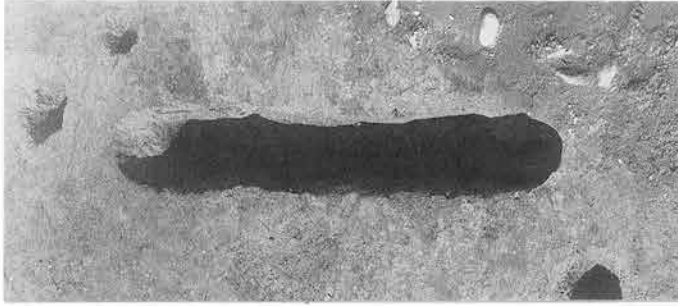


第255号陥し穴



埋土

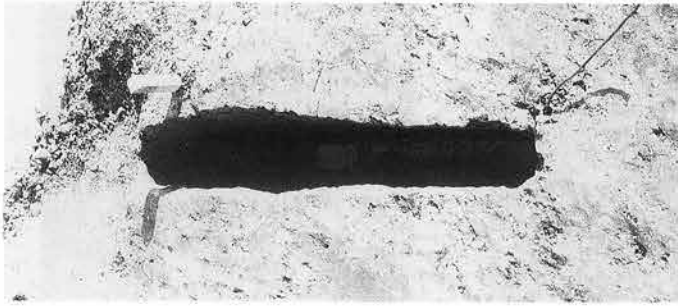
写真図版104 陥し穴状遺構(53)



第256号陥し穴



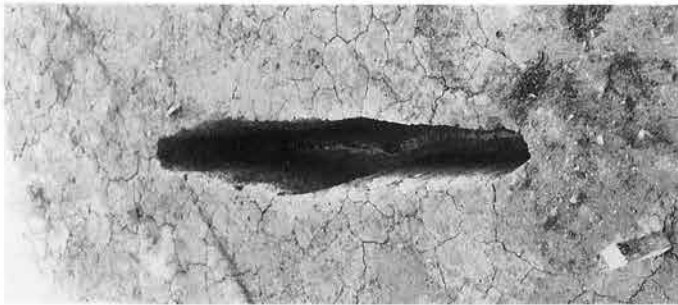
埋土



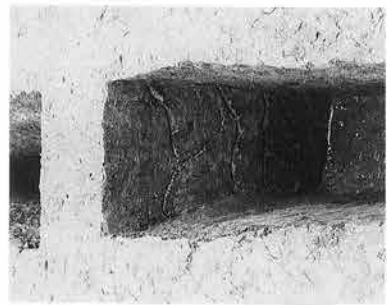
第257号陥し穴



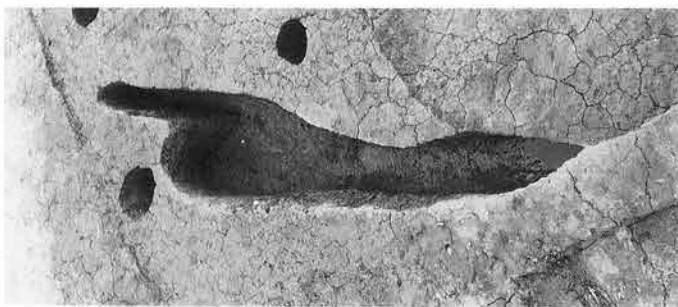
埋土



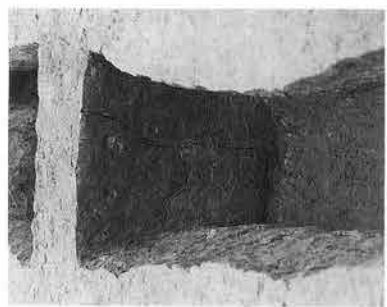
第258号陥し穴



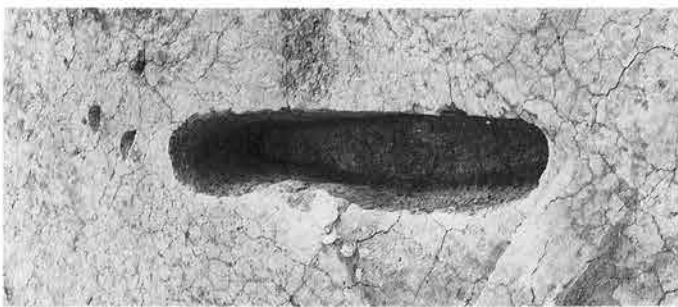
埋土



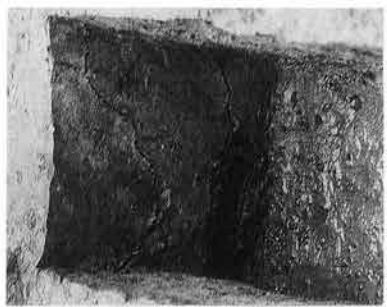
第259・260号陥し穴



埋土



第261号陥し穴



埋土

写真図版105 陥し穴状遺構(54)



第262号陥し穴



埋土



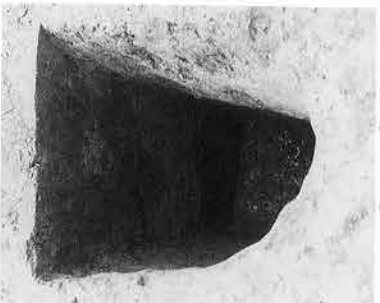
第263号陥し穴



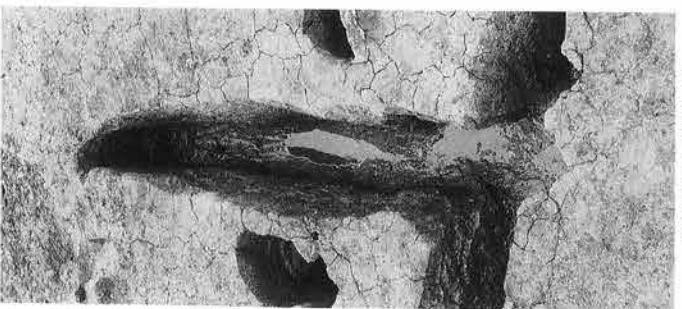
埋土



第264号陥し穴



埋土



第265号陥し穴



埋土

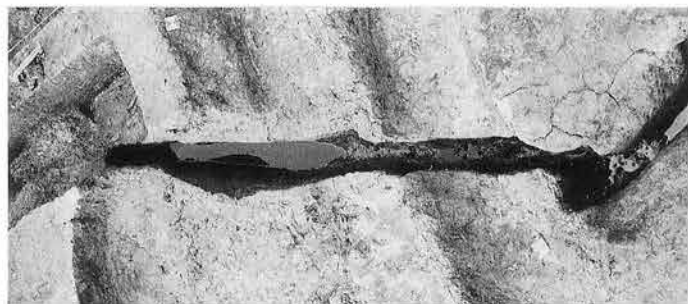


第266号陥し穴

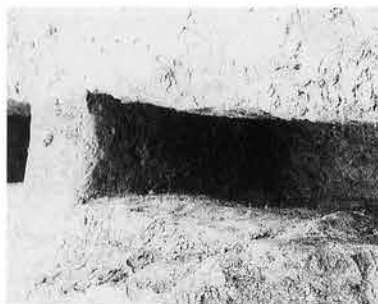


埋土

写真図版106 陥し穴状遺構(55)



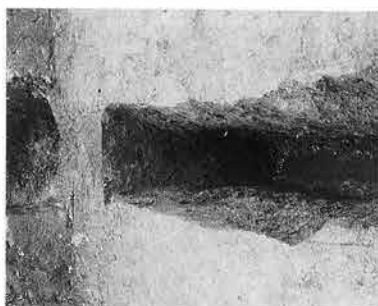
第267号陥し穴



埋土



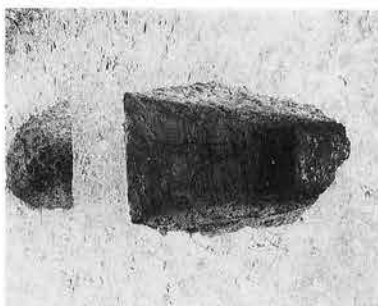
第268号陥し穴



埋土



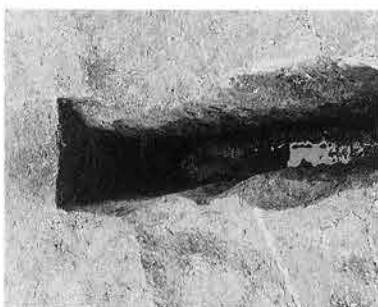
第270号陥し穴



埋土



第271号陥し穴



埋土

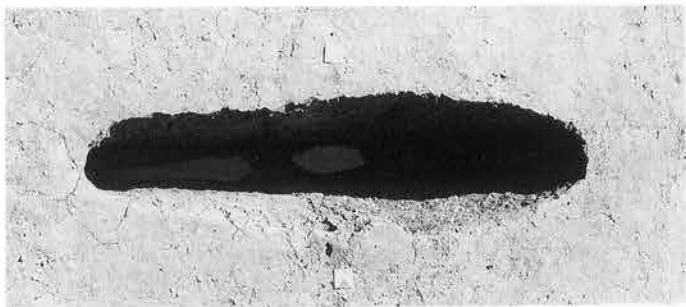


第272号陥し穴

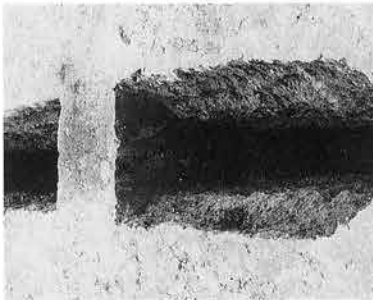


埋土

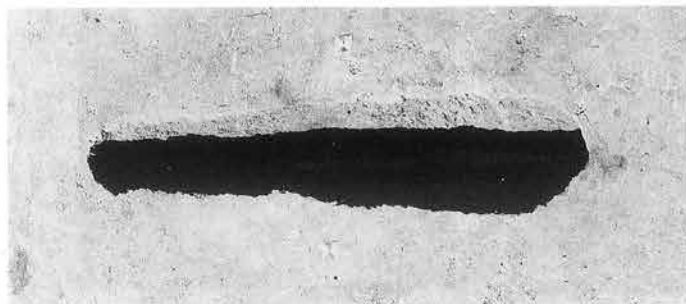
写真図版107 陥し穴状遺構(56)



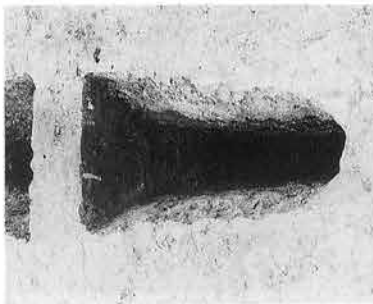
第275号陥し穴



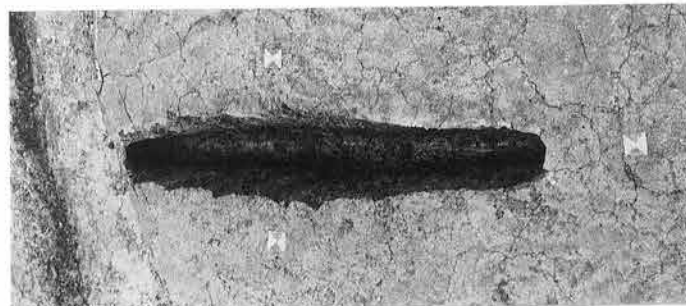
埋土



第276号陥し穴



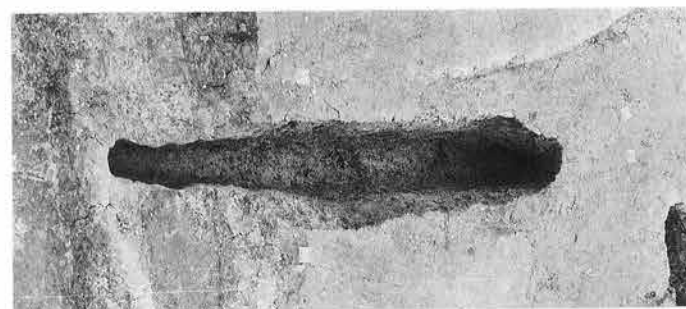
埋土



第277号陥し穴



調査風景



第278号陥し穴

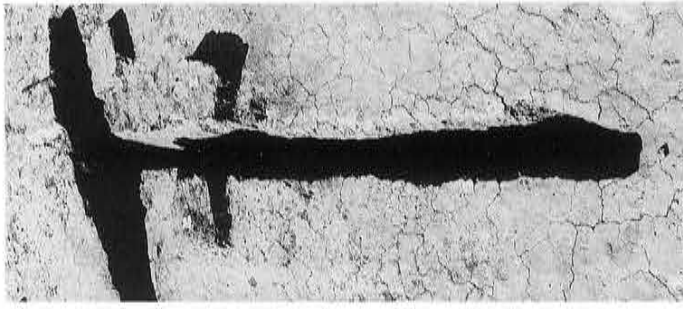


第279号陥し穴

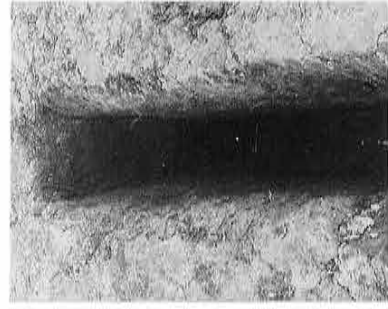


埋土

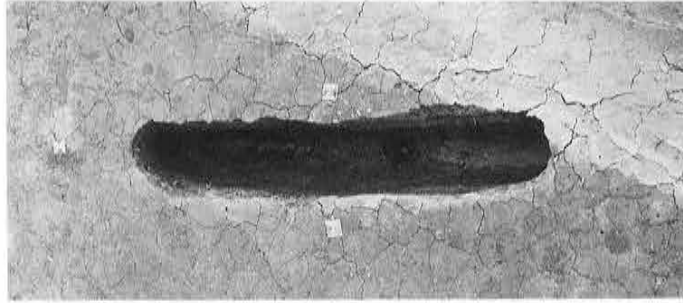
写真図版108 陥し穴状遺構(57)



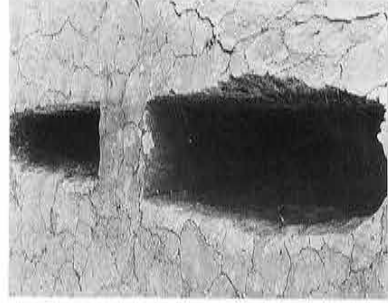
第280号陷し穴



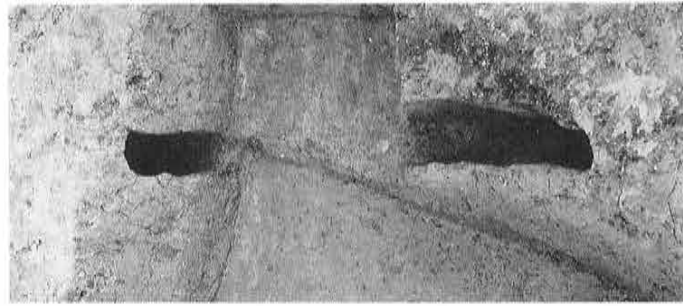
埋 土



第281号陷し穴



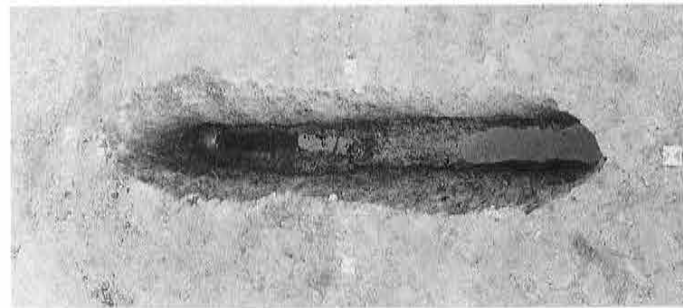
埋 土



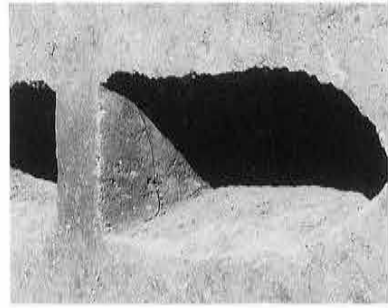
第282号陷し穴



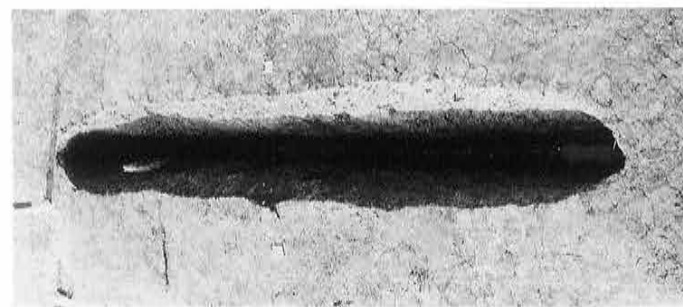
埋 土



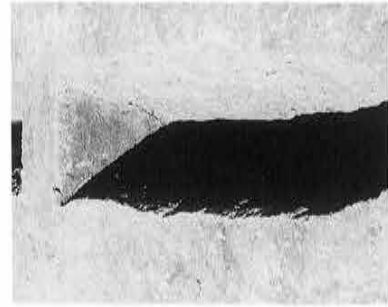
第283号陷し穴



埋 土



第284号陷し穴



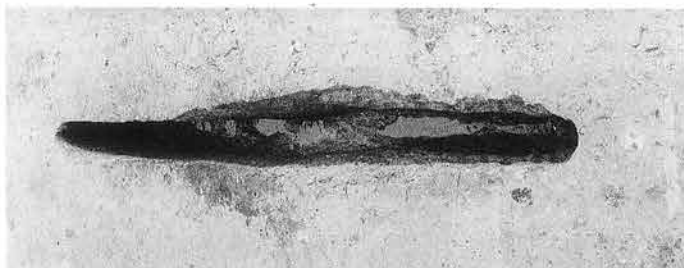
写真図版109 陷し穴状遺構(58)



第286号陥し穴



埋土



第287号陥し穴



埋土



第288号陥し穴



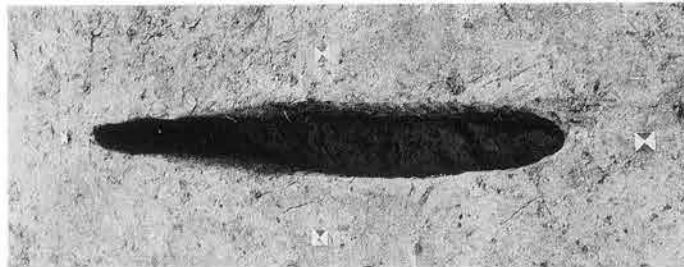
埋土



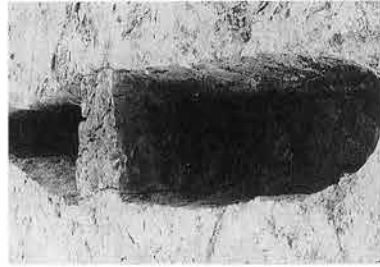
第289号陥し穴



埋土



第290号陥し穴



埋土



第291号陥し穴

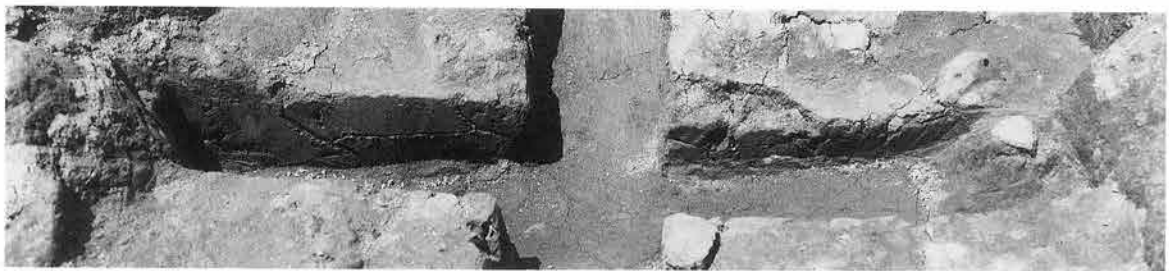


埋土

写真図版110 陥し穴状遺構(59)



全 景



燃烧部 断ち割り



土器出土状況

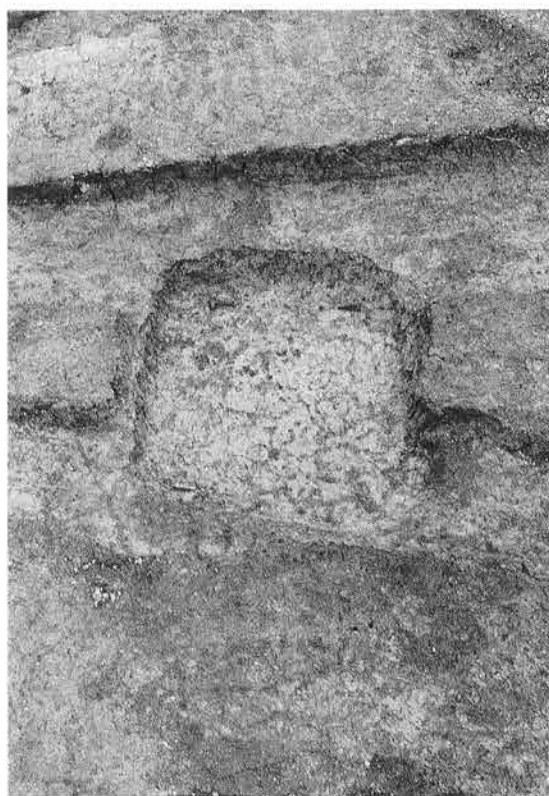


調査風景

写真図版111 複式炉



第1号 墓坑



第2号 墓坑



第1号墓坑 埋土

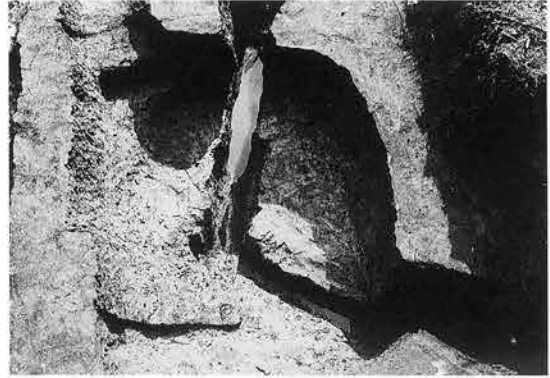


第2号墓坑 埋土

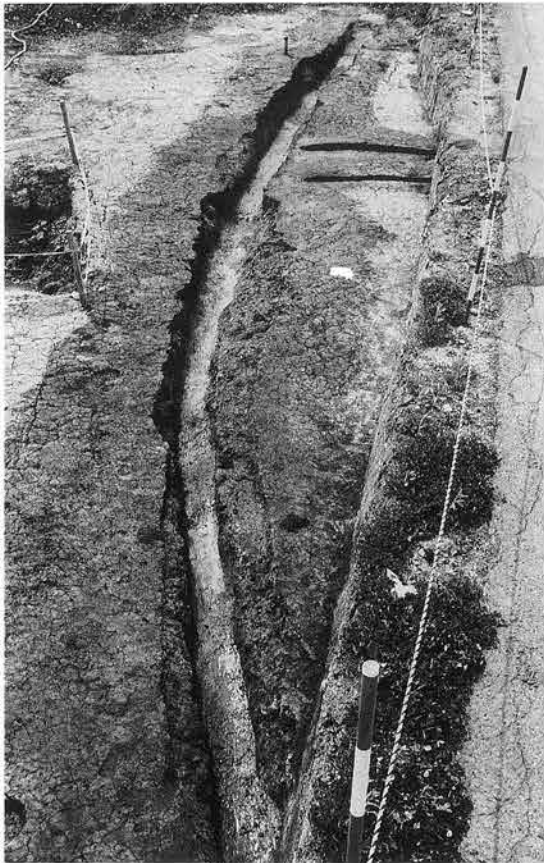
写真图版112 墓坑(1)



第3号墓坑



第4号墓坑



第2号沟迹



第3号沟迹



埋土

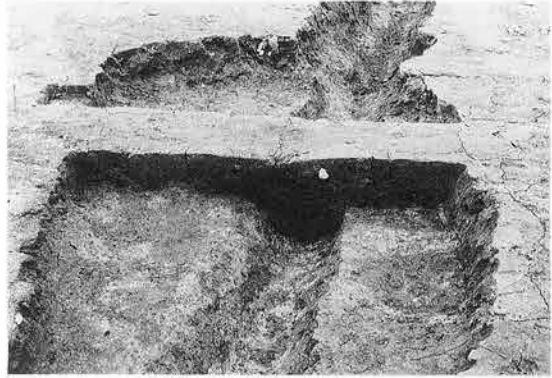


埋土

写真图版113 墓坑(2)·沟迹(2)



第4号・5号沟迹



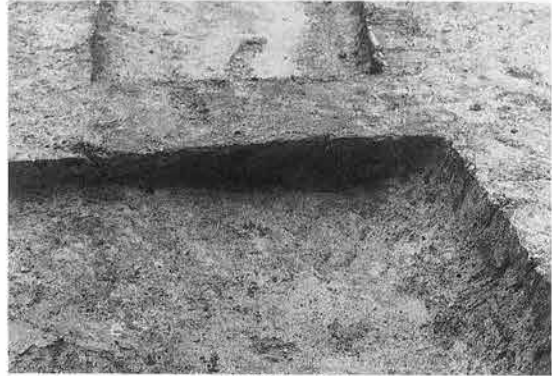
第4号沟迹 埋土



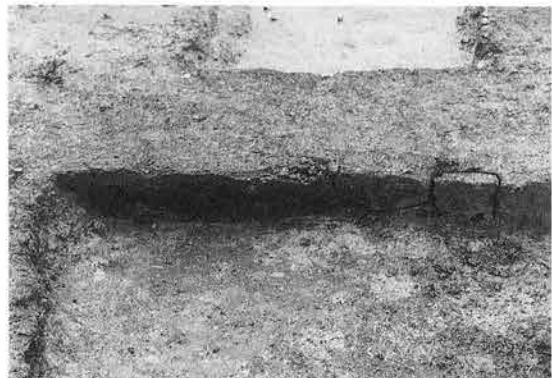
第5号沟迹 埋土



第7号・8号沟迹



第7号沟迹 埋土

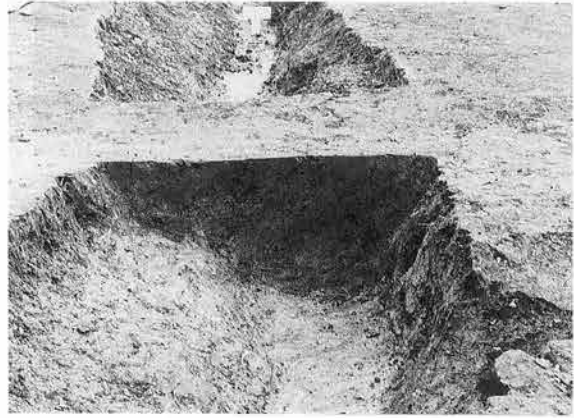


第8号沟迹 埋土

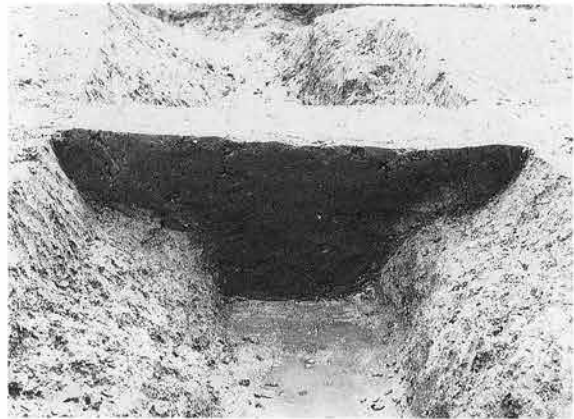
写真图版114 沟迹(3)



第10号溝跡



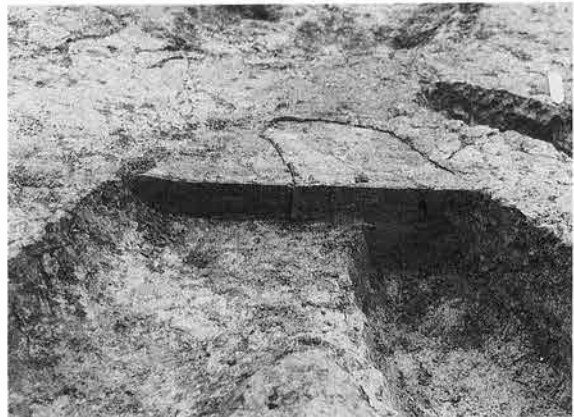
第10号溝跡 埋土1



第10号溝跡 埋土2



第11号溝跡



第11号溝跡 埋土

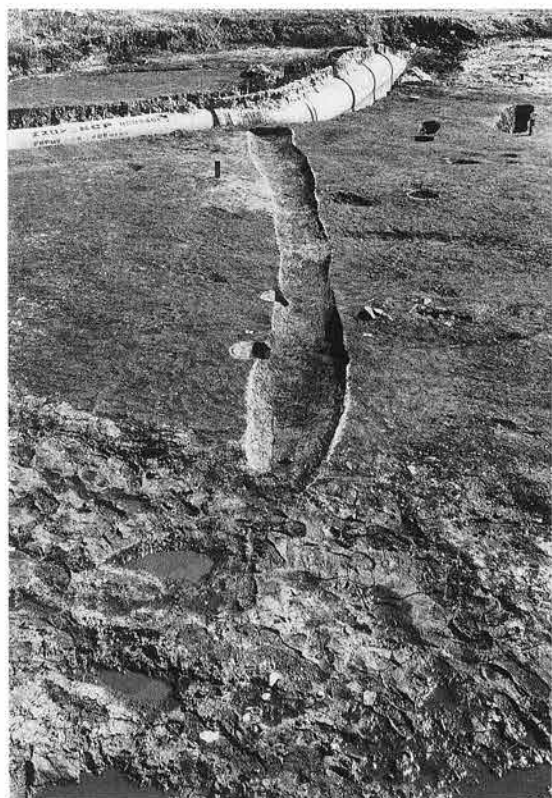
写真図版115 溝跡(4)



第12・13号沟迹



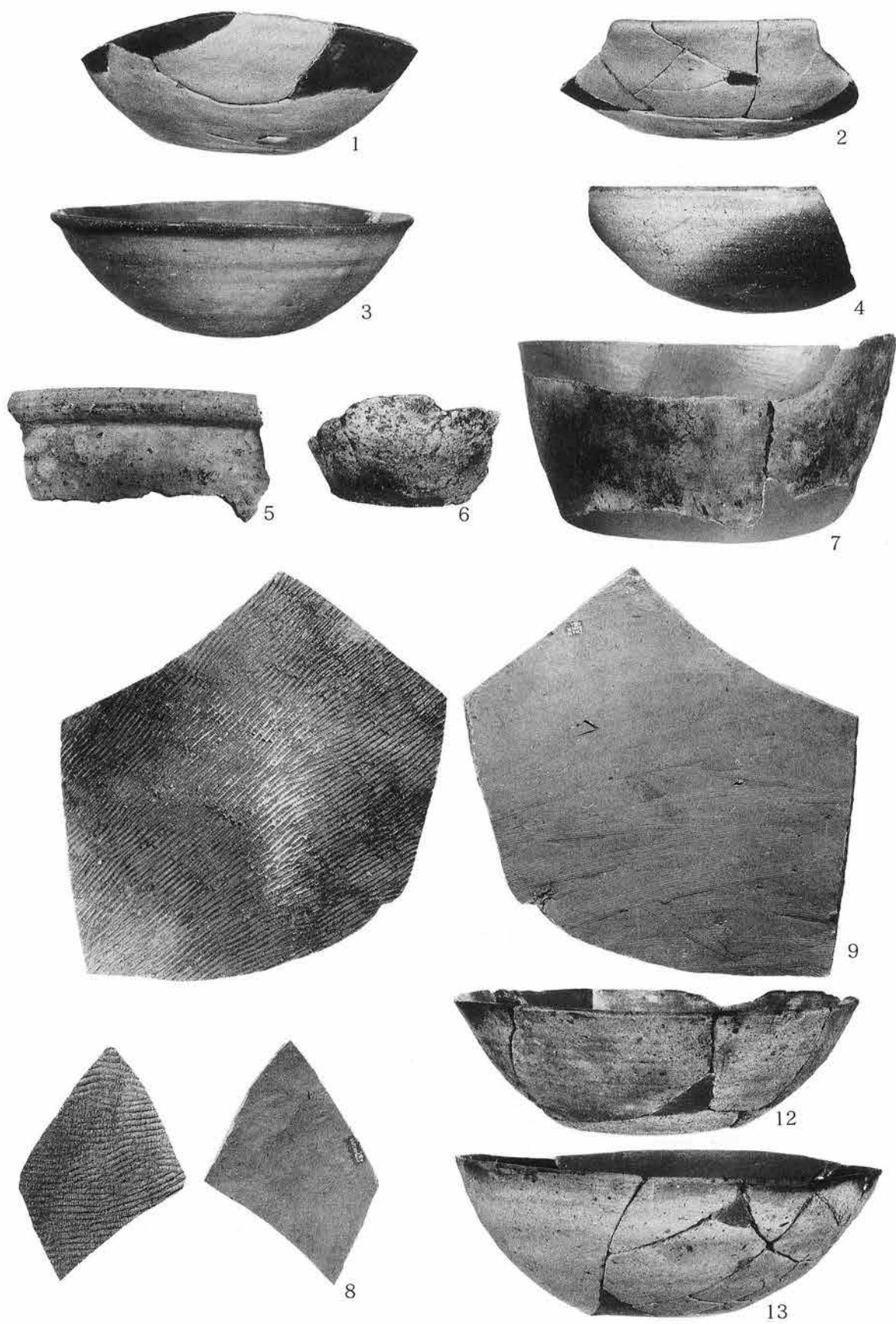
埋 土



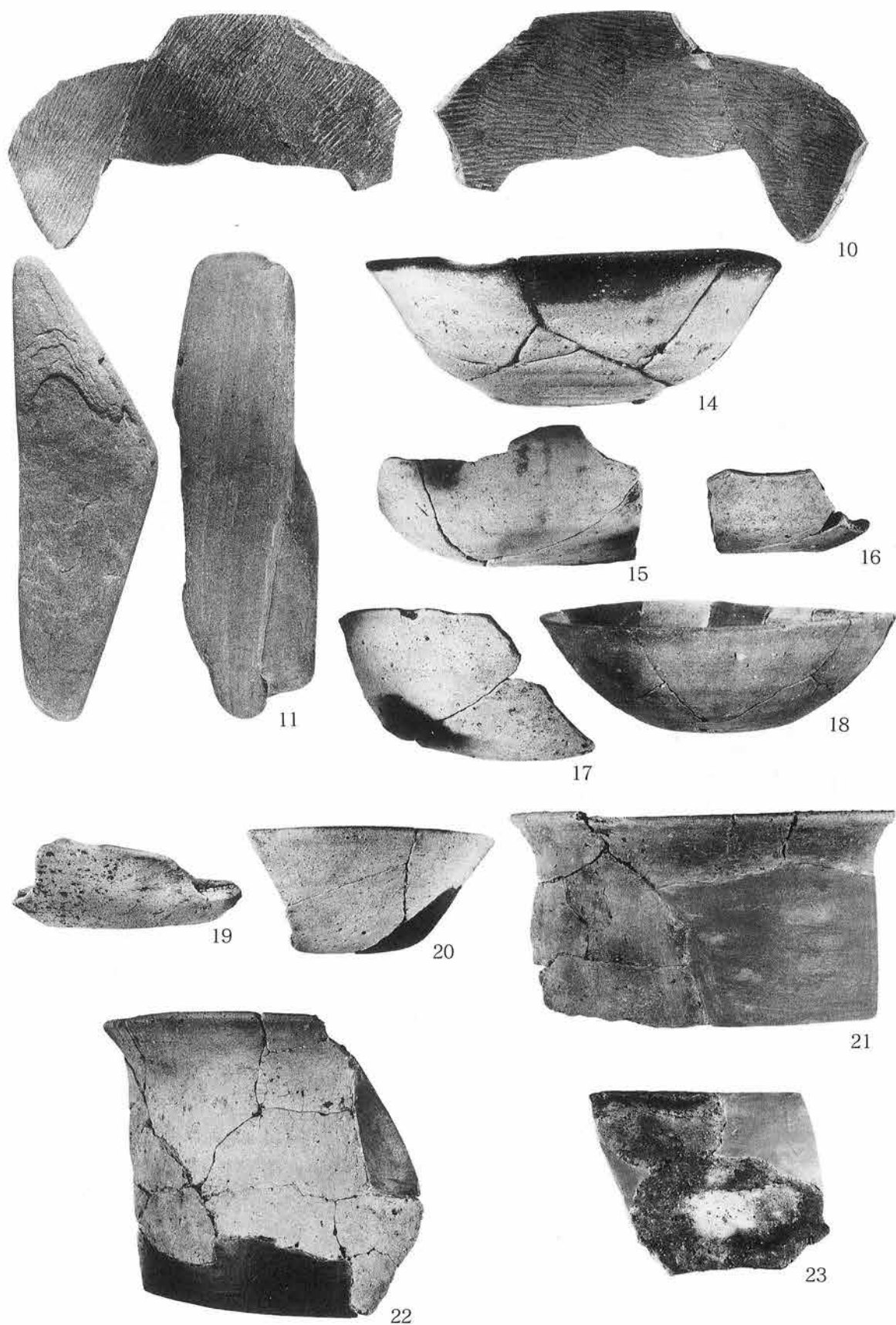
第15号沟迹



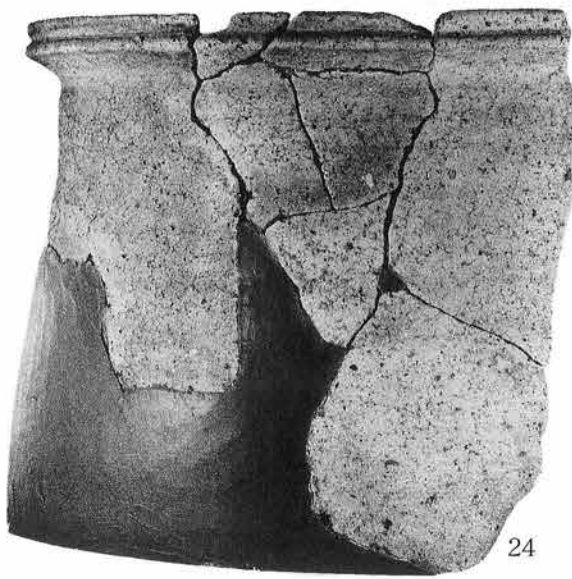
埋 土



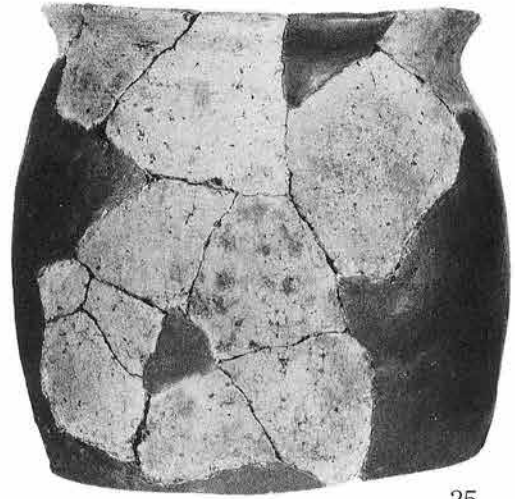
写真図版117 遺構内出土遺物(1)



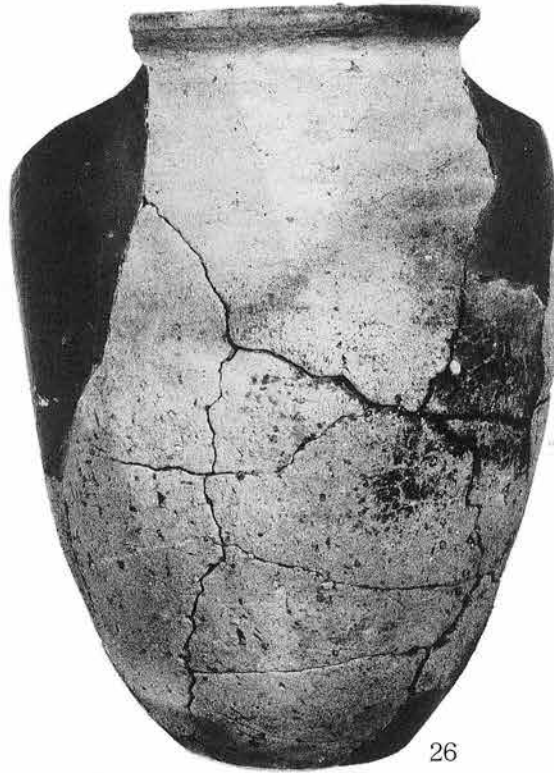
写真図版118 遺構内出土遺物(2)



24

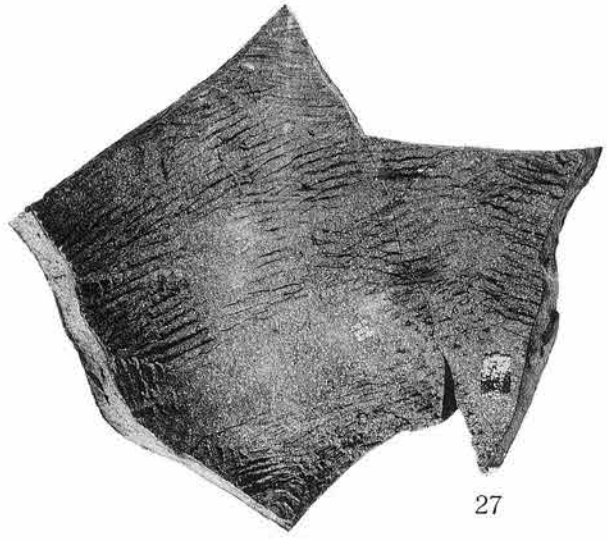
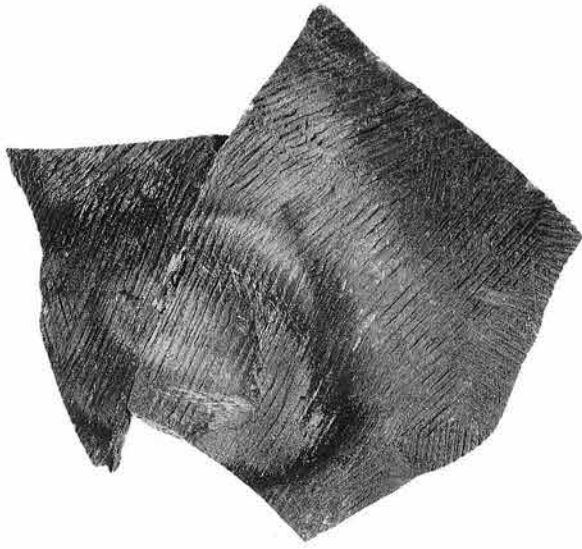


25

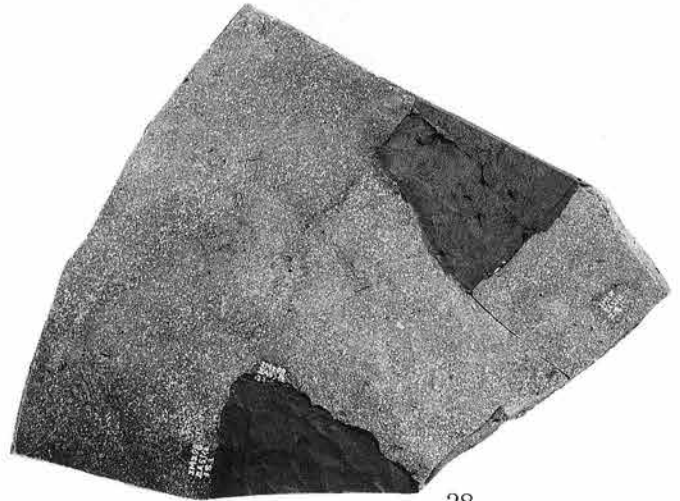


26

写真図版119 遺構内出土遺物(3)



27



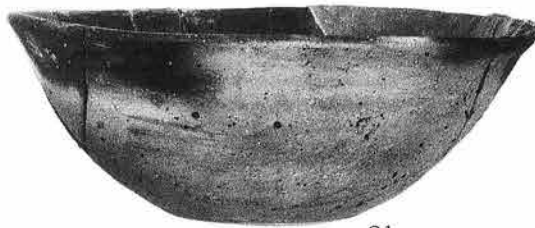
28



29



30

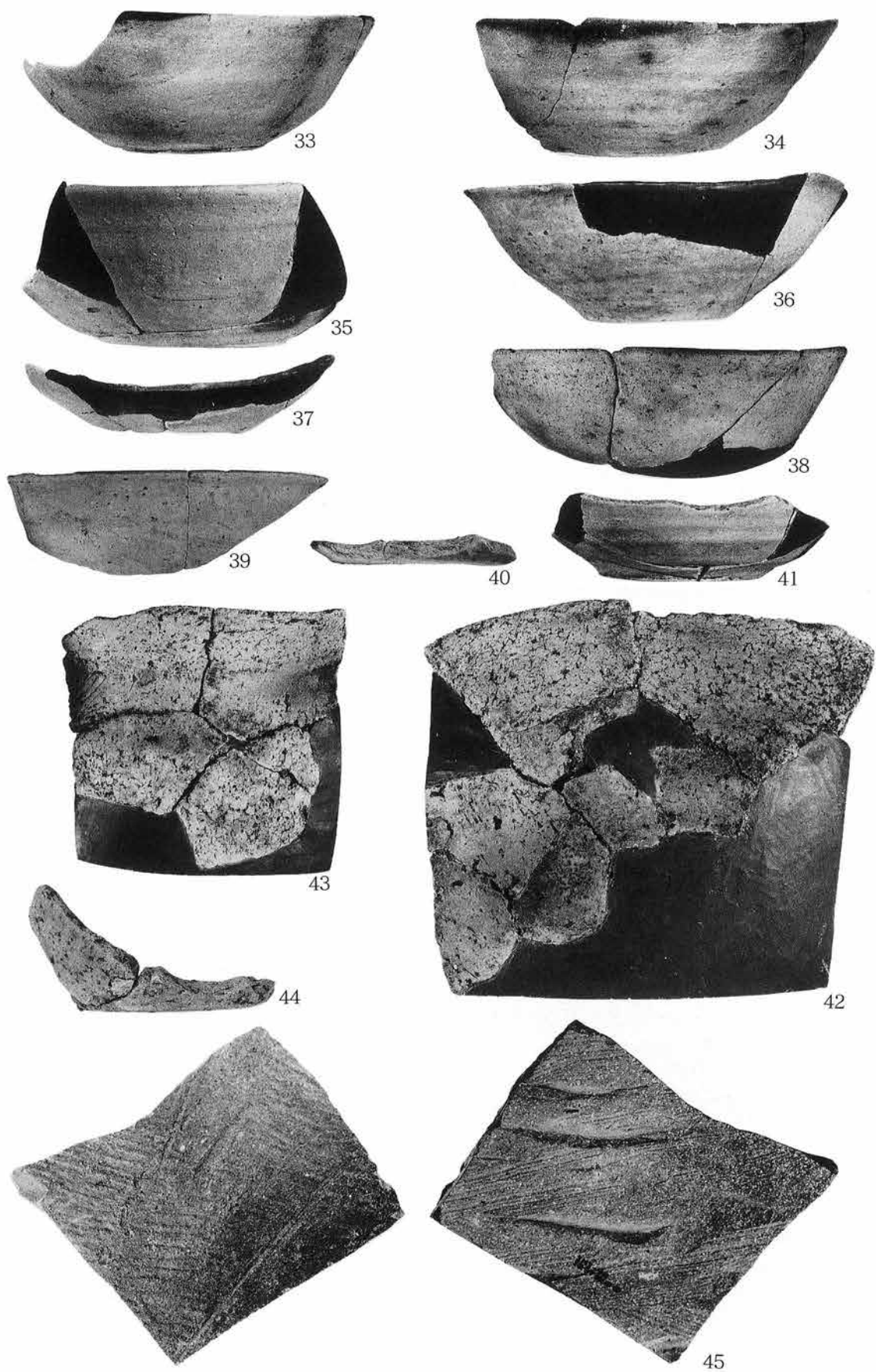


31

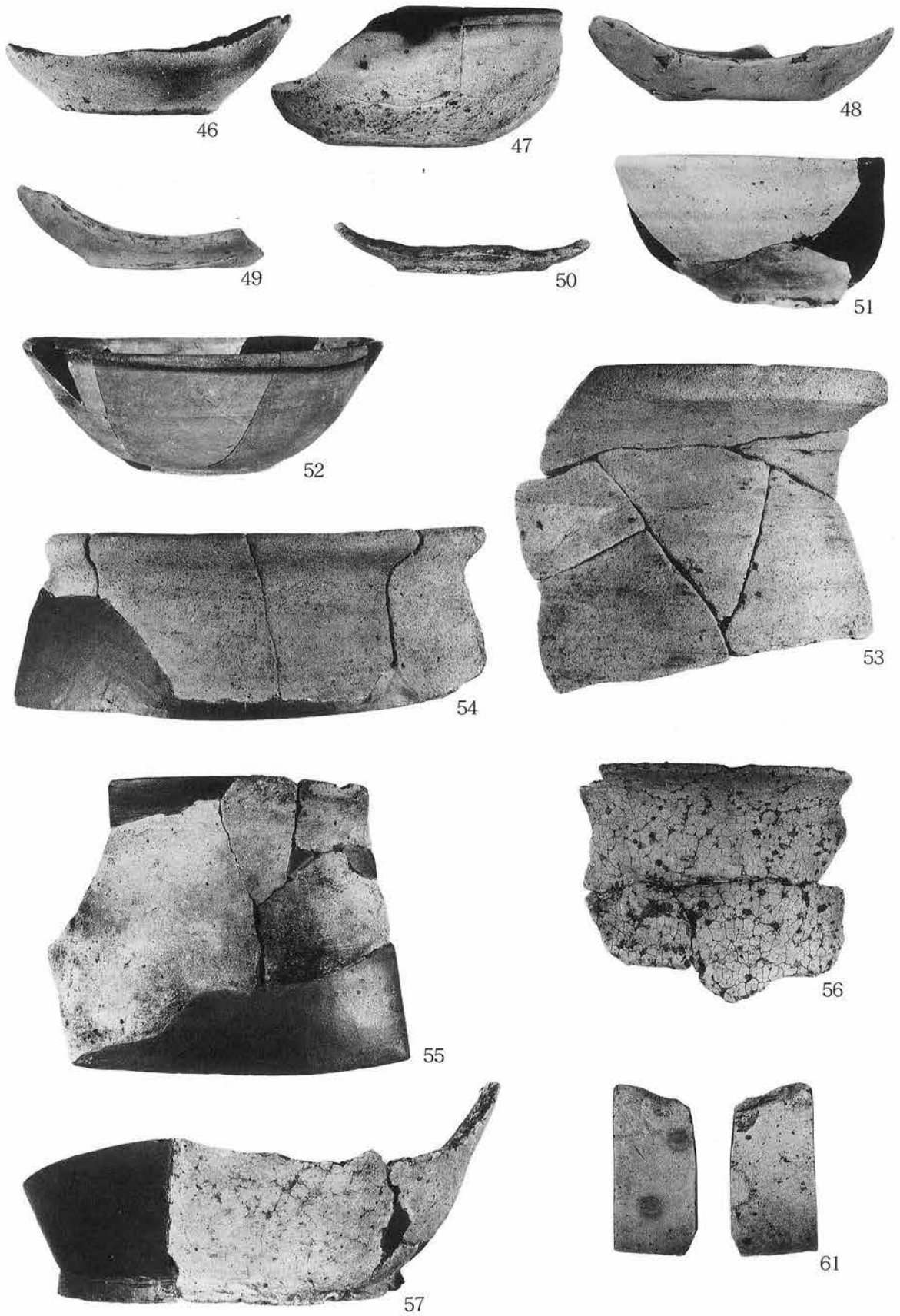


32

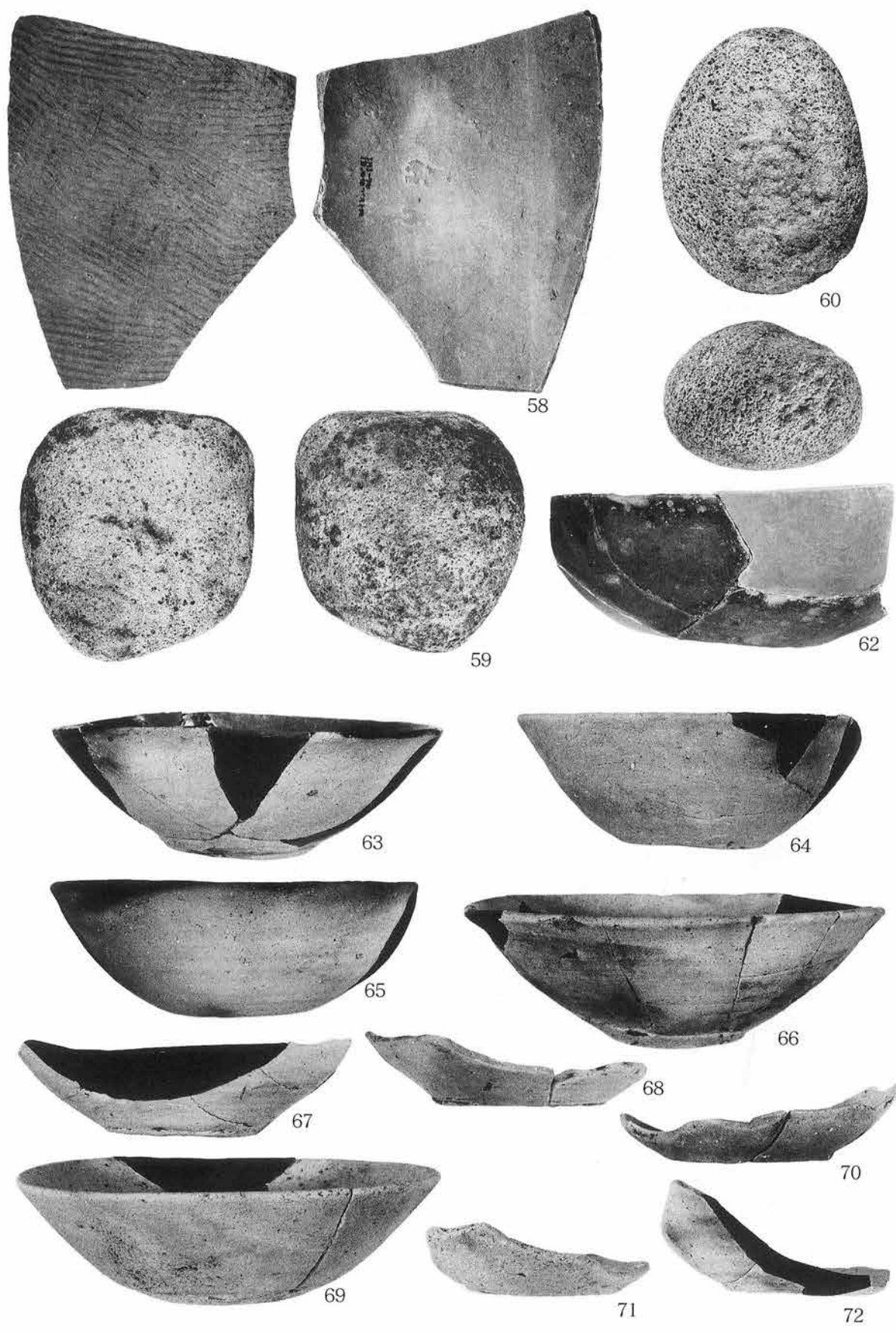
写真図版120 遺構内出土遺物(4)



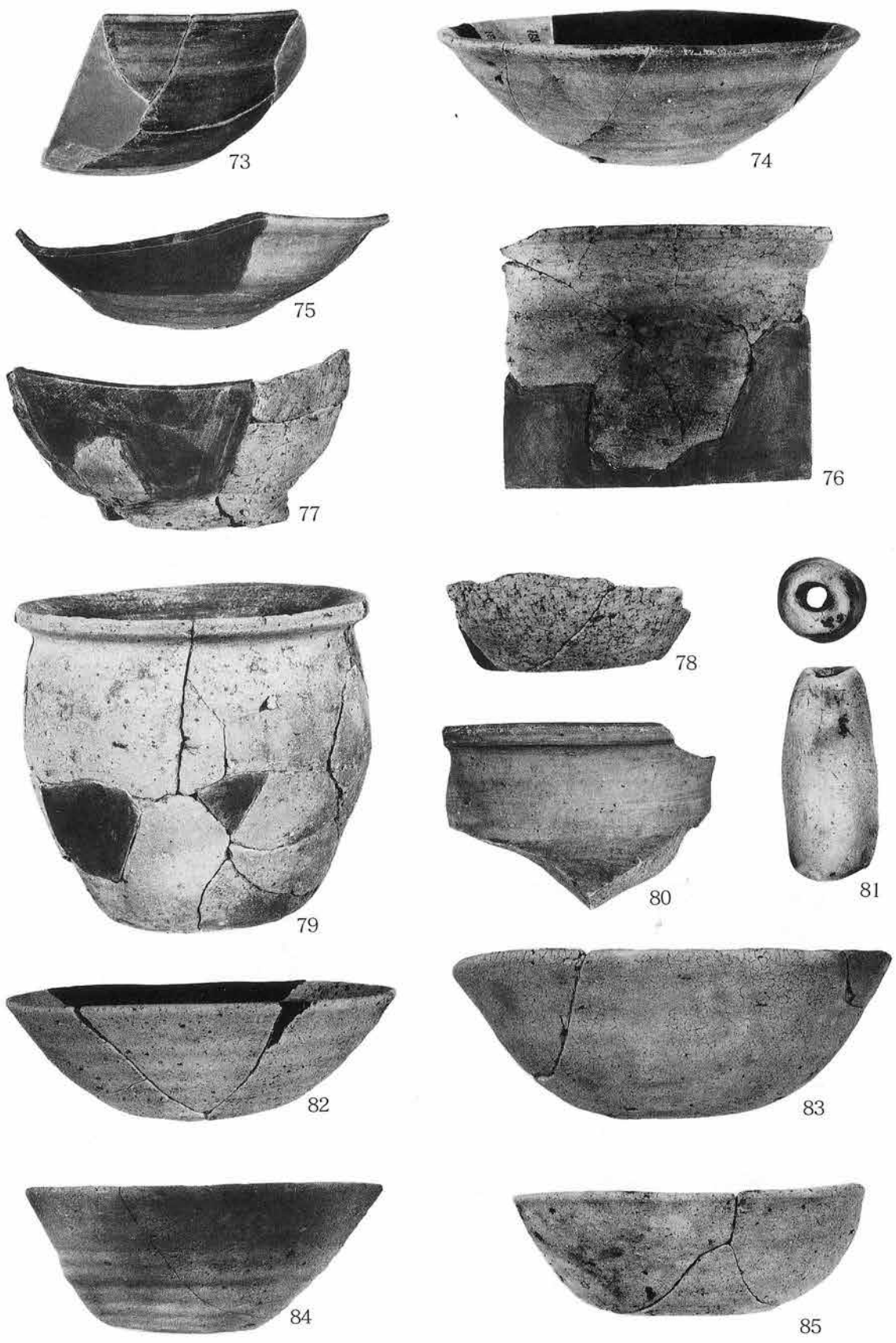
写真図版121 遺構内出土遺物(5)



写真図版122 遺構内出土遺物(6)



写真図版123 遺構内出土遺物(7)



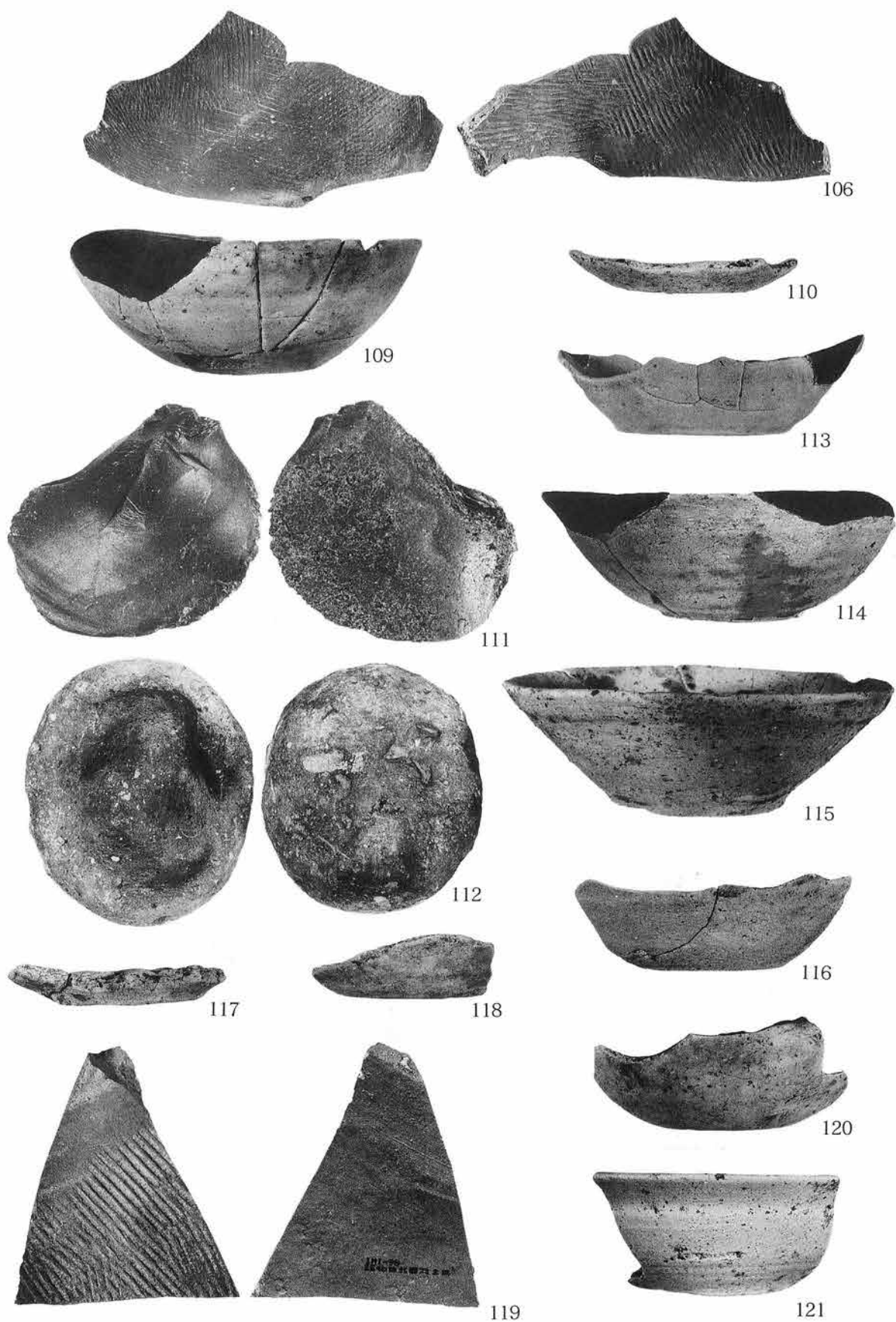
写真図版124 遺構内出土遺物(8)



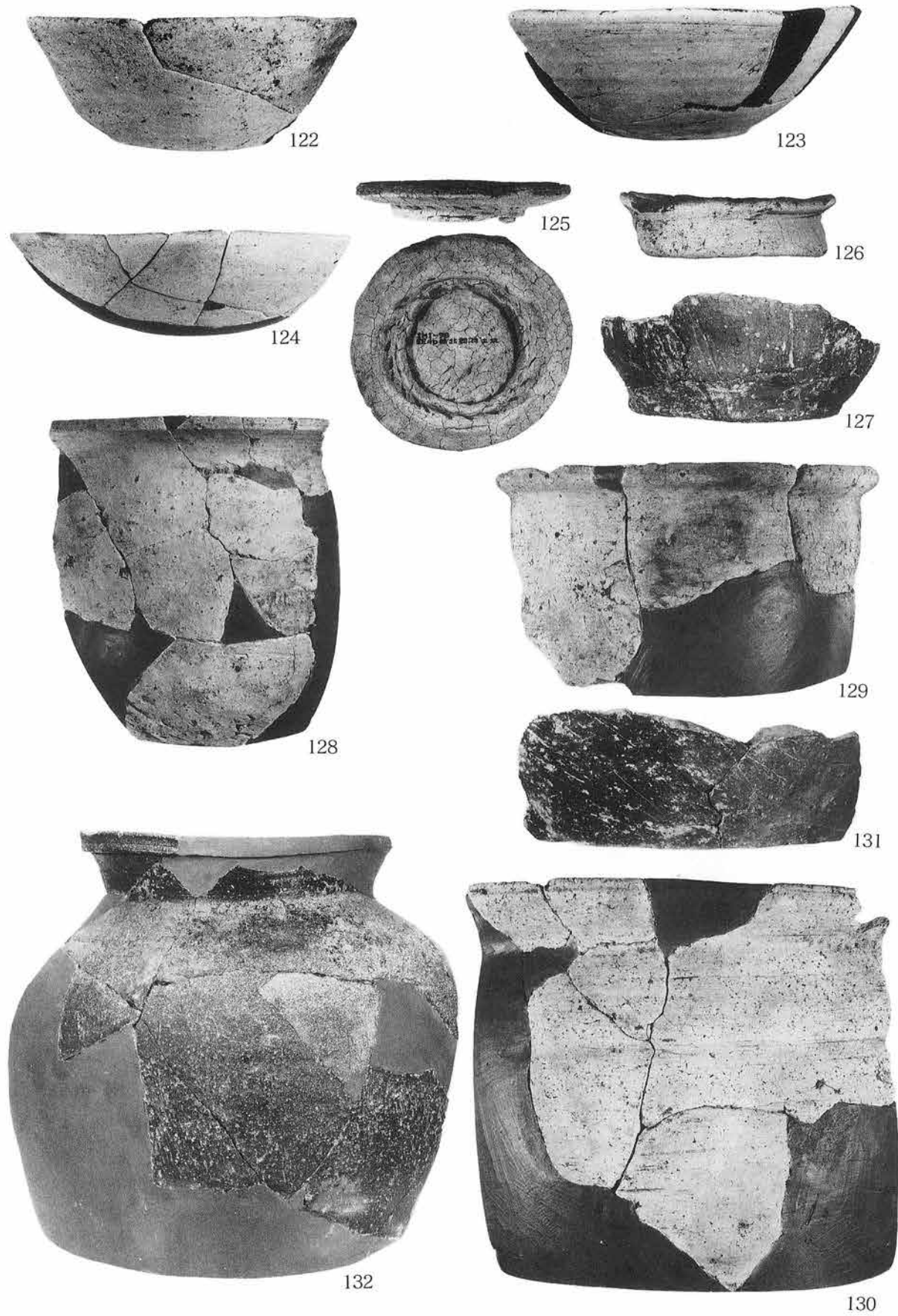
写真図版125 遺構内出土遺物(9)



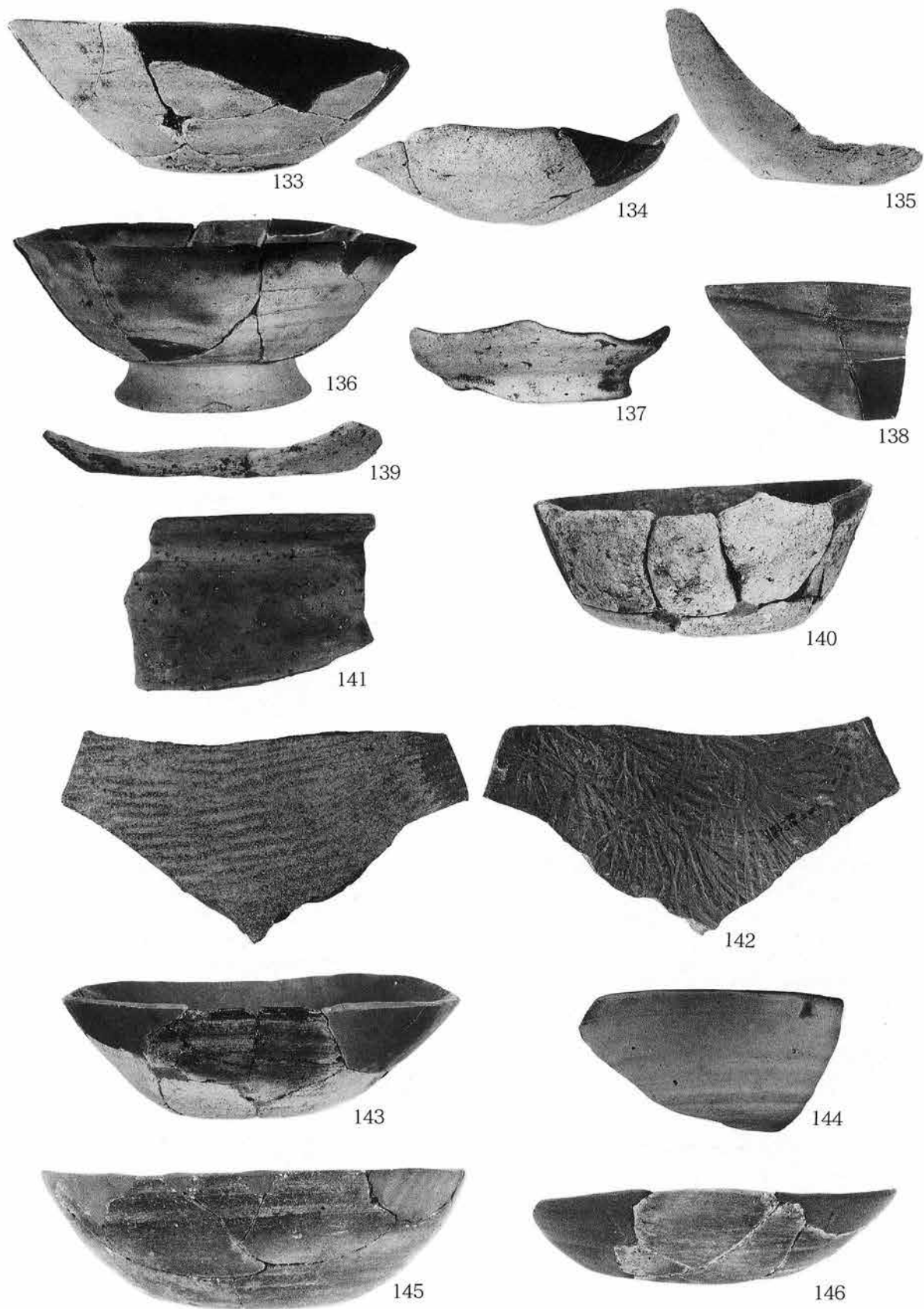
写真図版126 遺構内出土遺物(10)



写真図版127 遺構内出土遺物(11)



写真図版128 遺構内出土遺物(12)



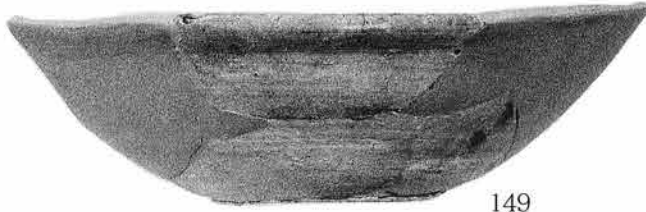
写真図版129 遺構内出土遺物(13)



147



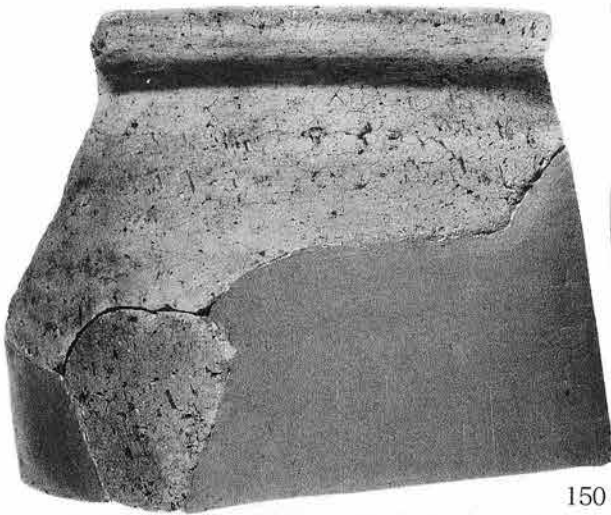
148



149



151



150



152

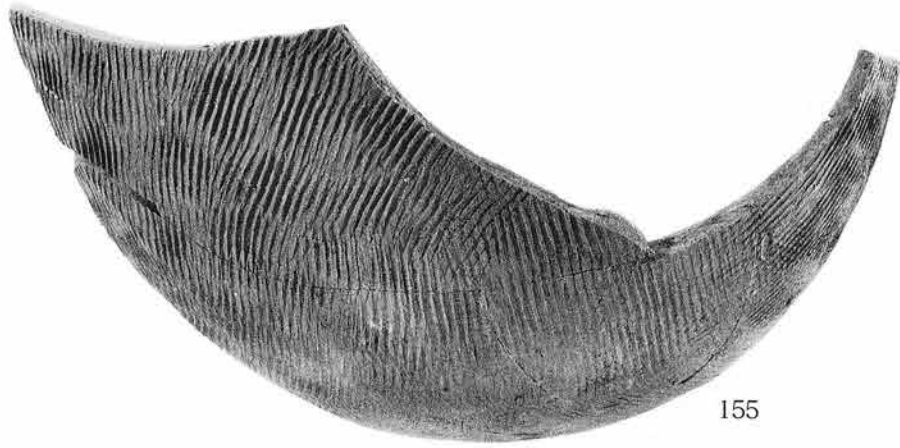


153

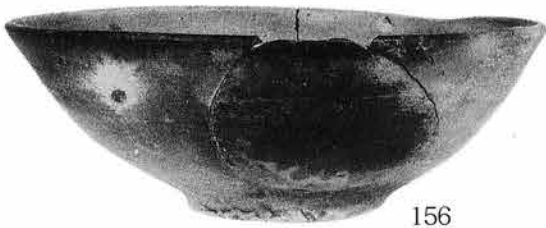


154

写真図版130 遺構内出土遺物(14)



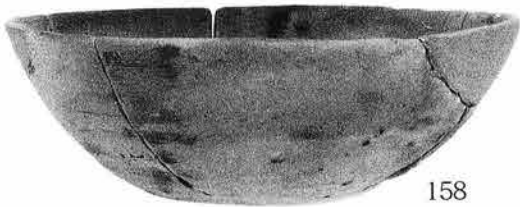
155



156



157



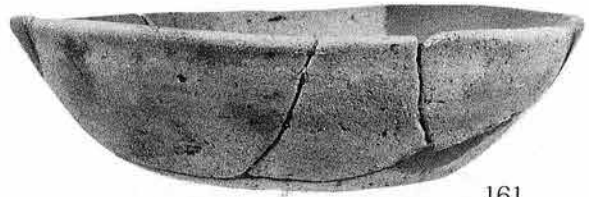
158



159



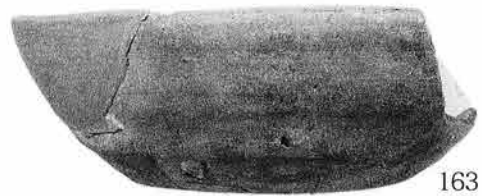
160



161



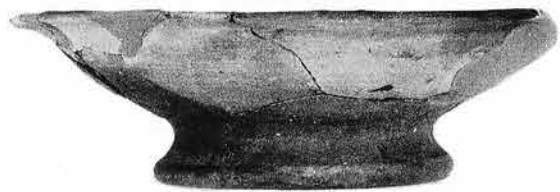
162



163

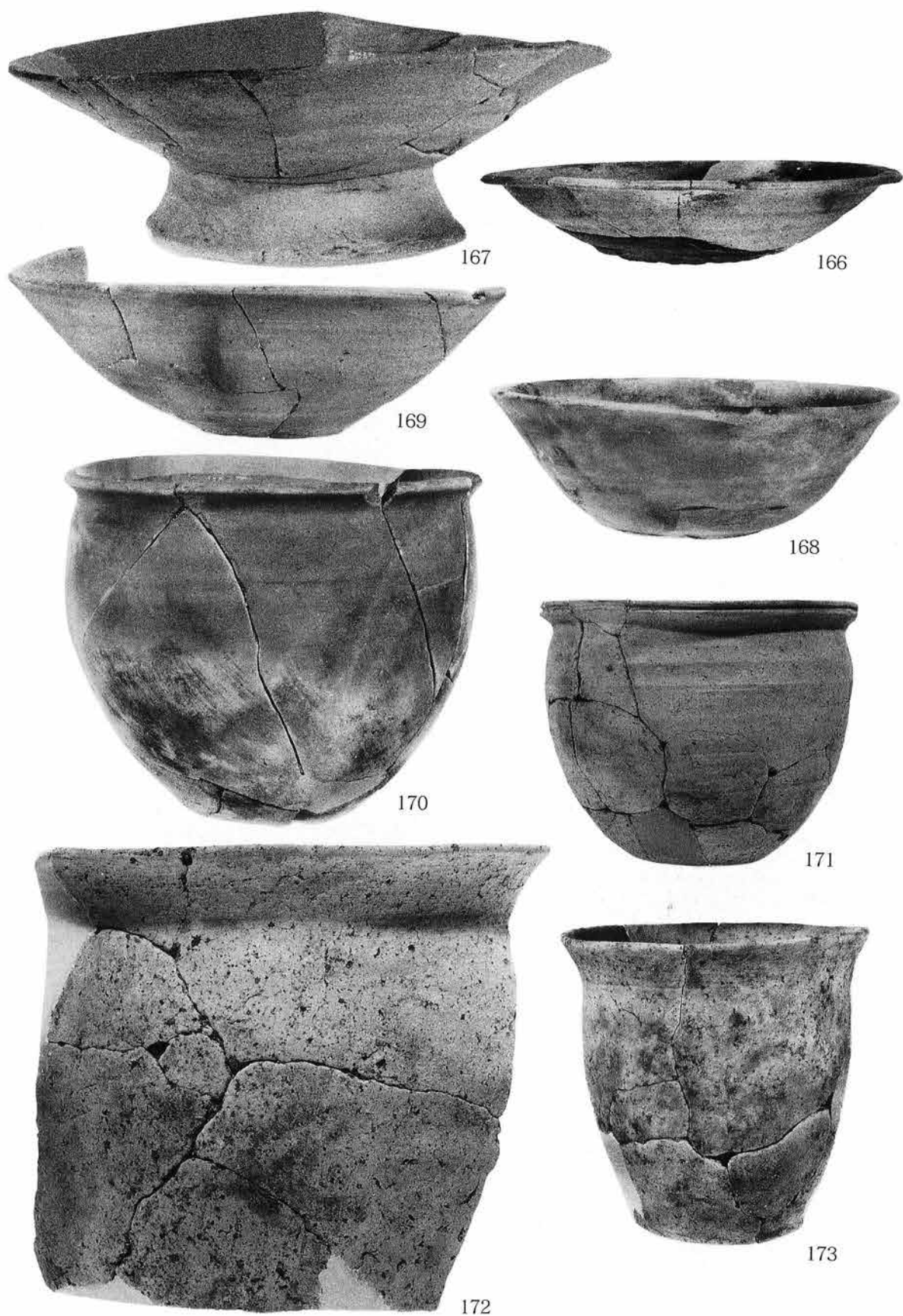


164

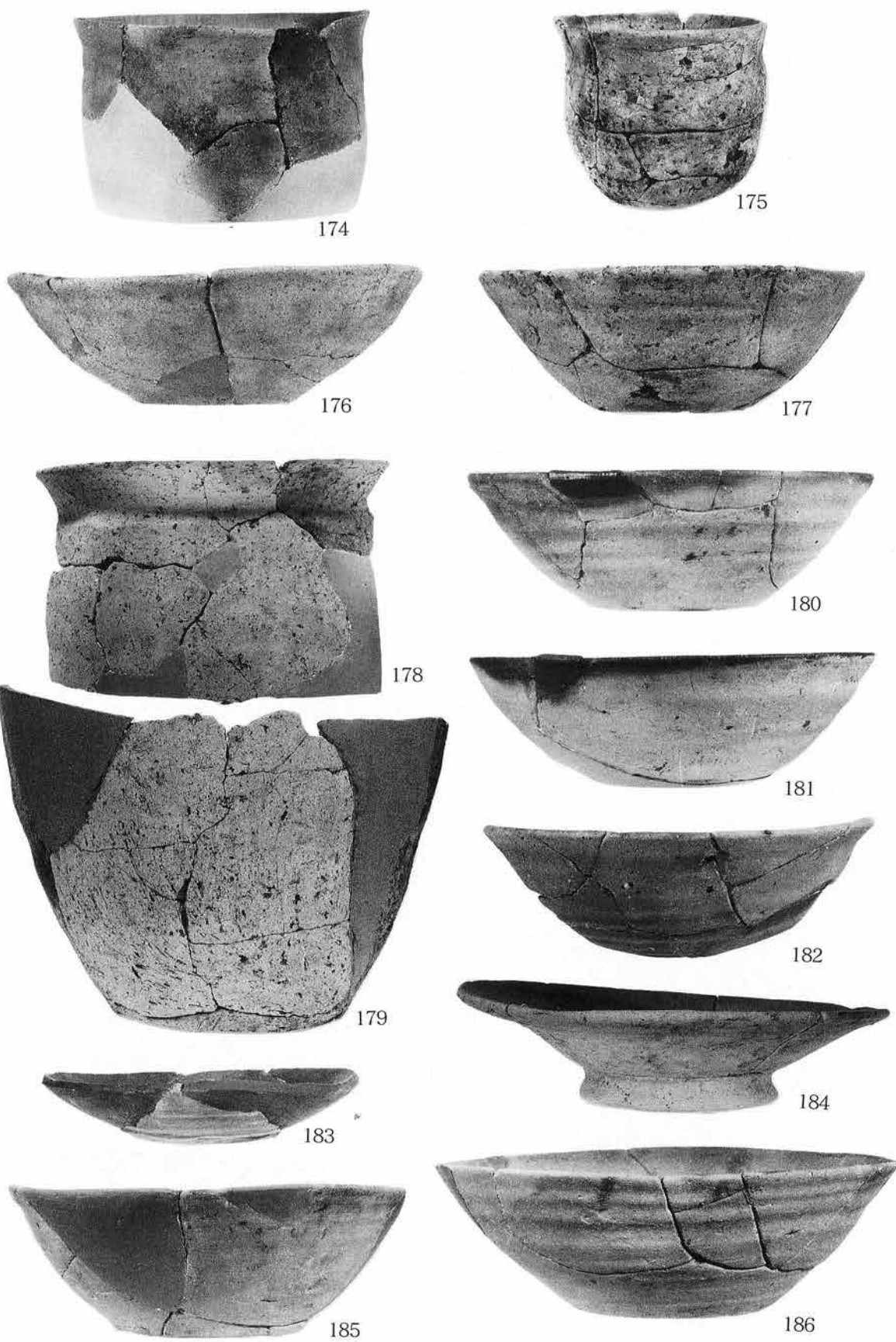


165

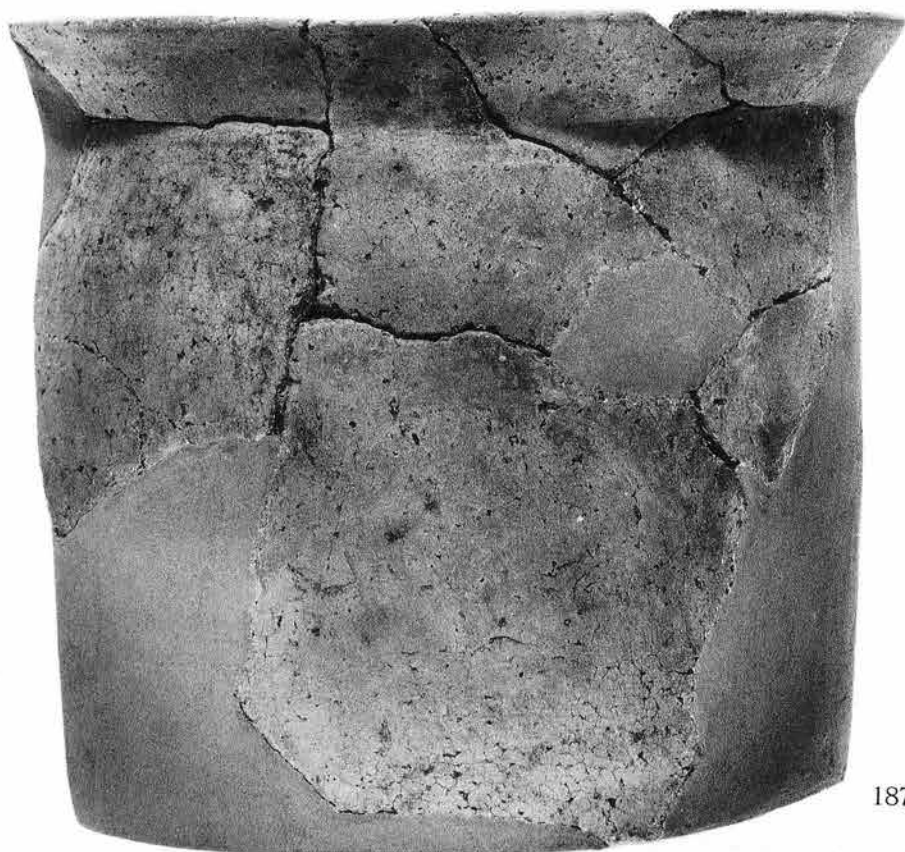
写真図版131 遺構内出土遺物(15)



写真図版132 遺構内出土遺物(16)



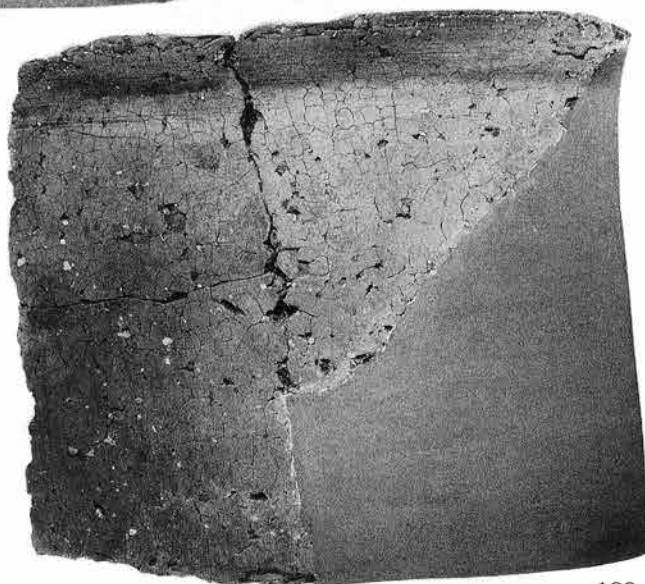
写真図版133 遺構内出土遺物(17)



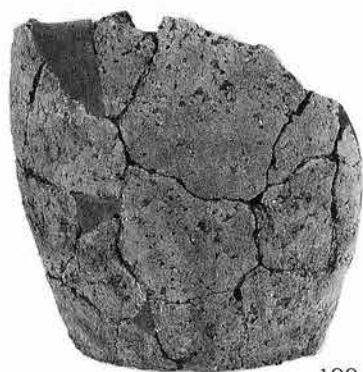
187



188



189

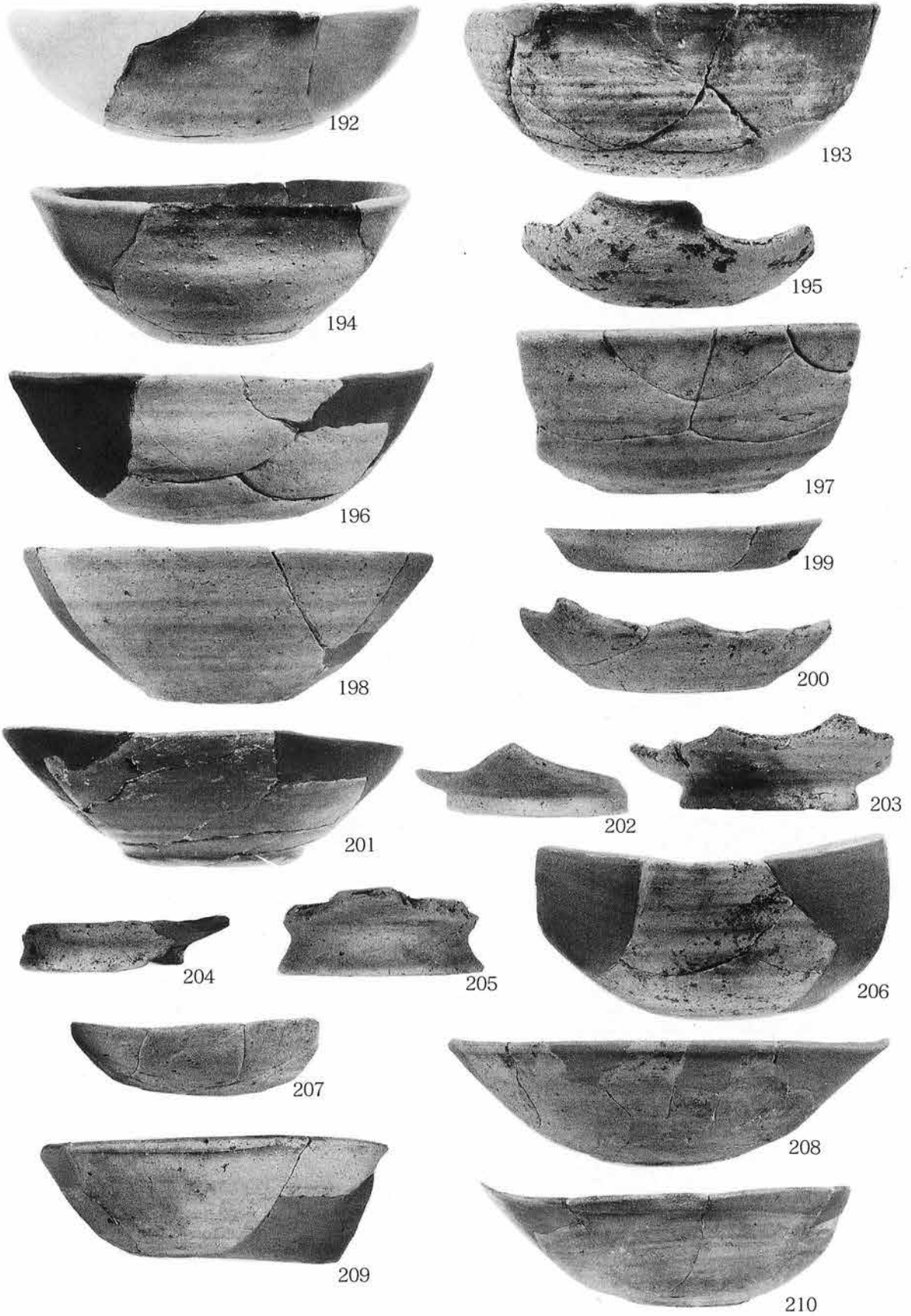


190

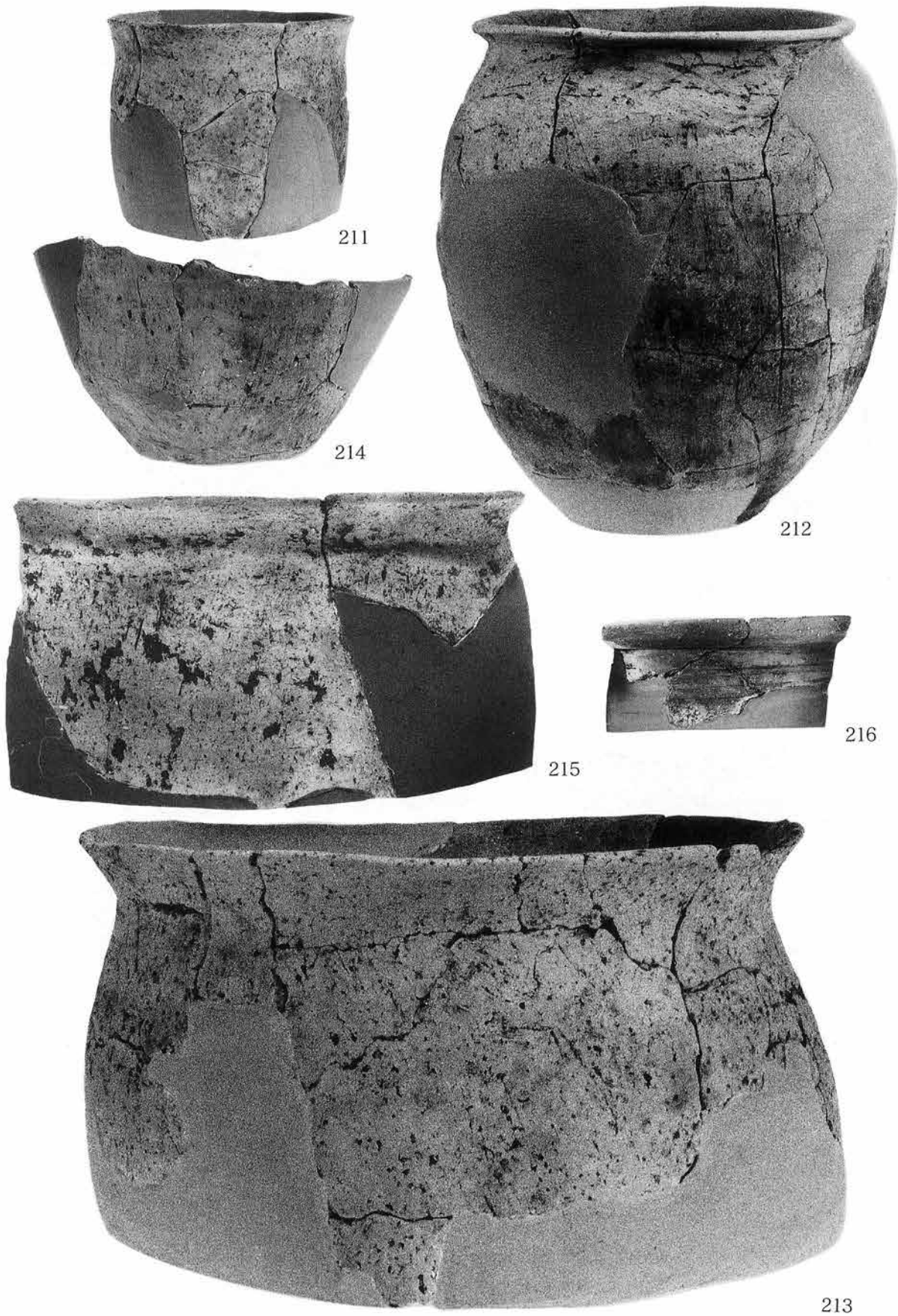


191

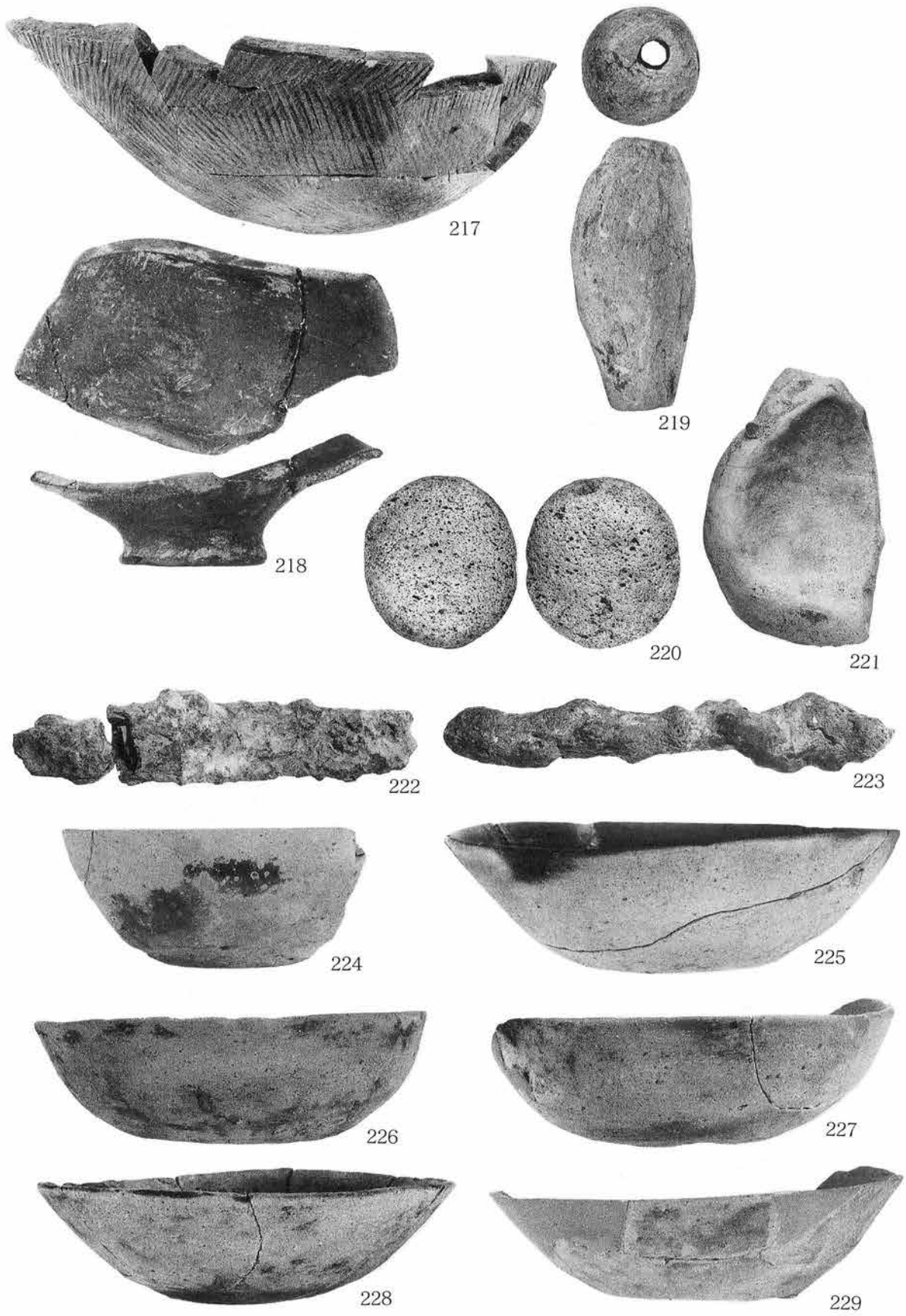
写真図版134 遺構内出土遺物(18)



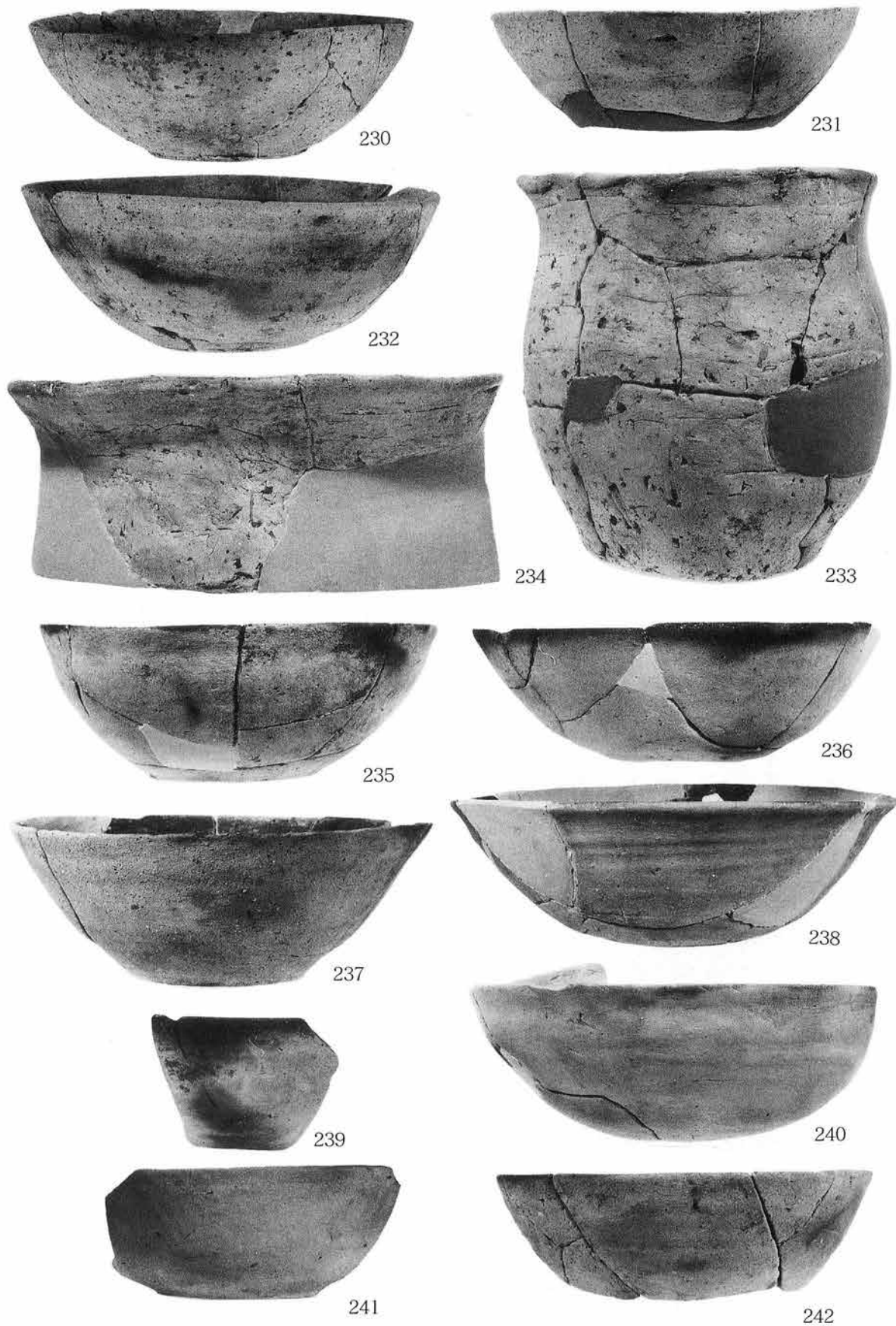
写真図版135 遺構内出土遺物(19)



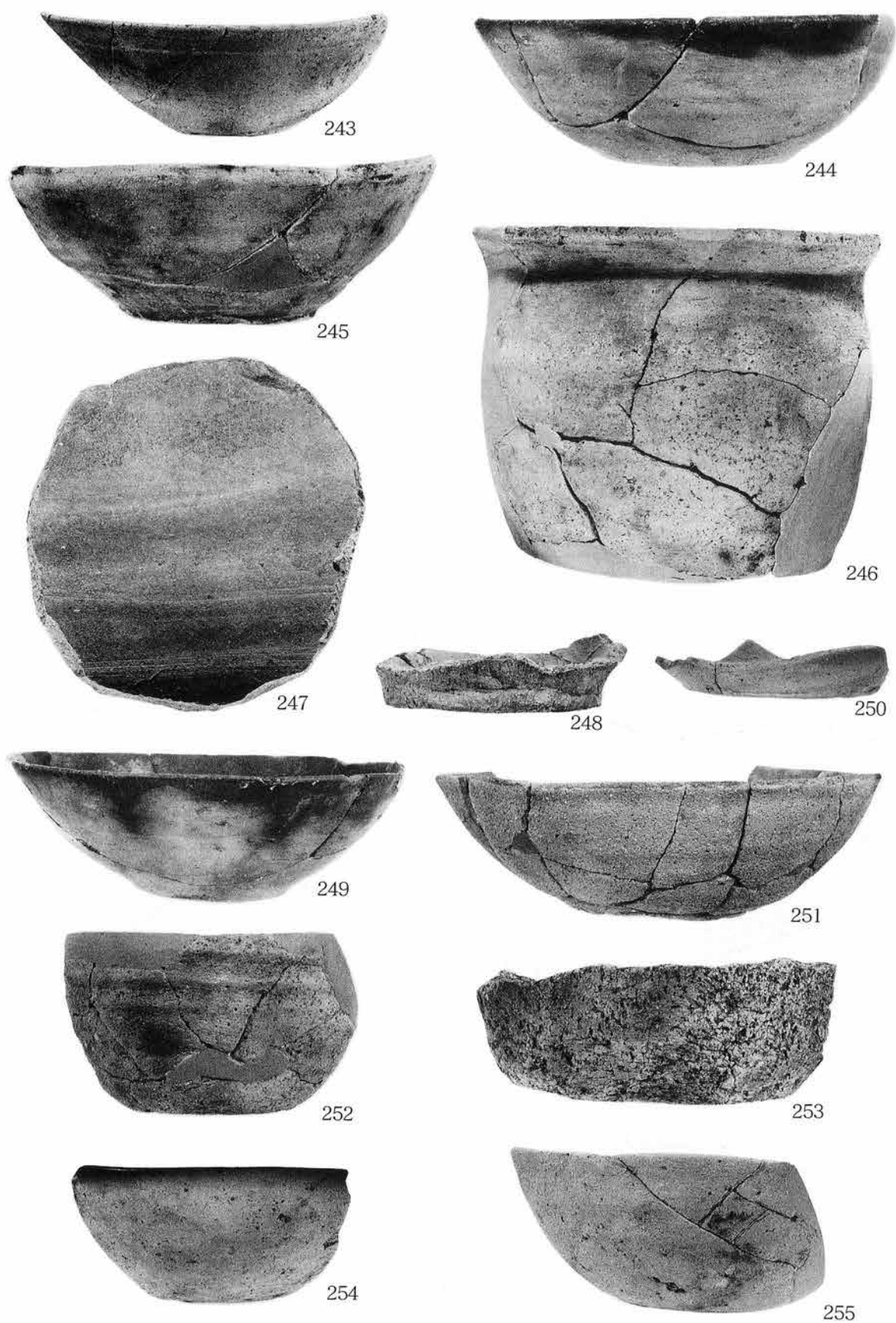
写真図版136 遺構内出土遺物(20)



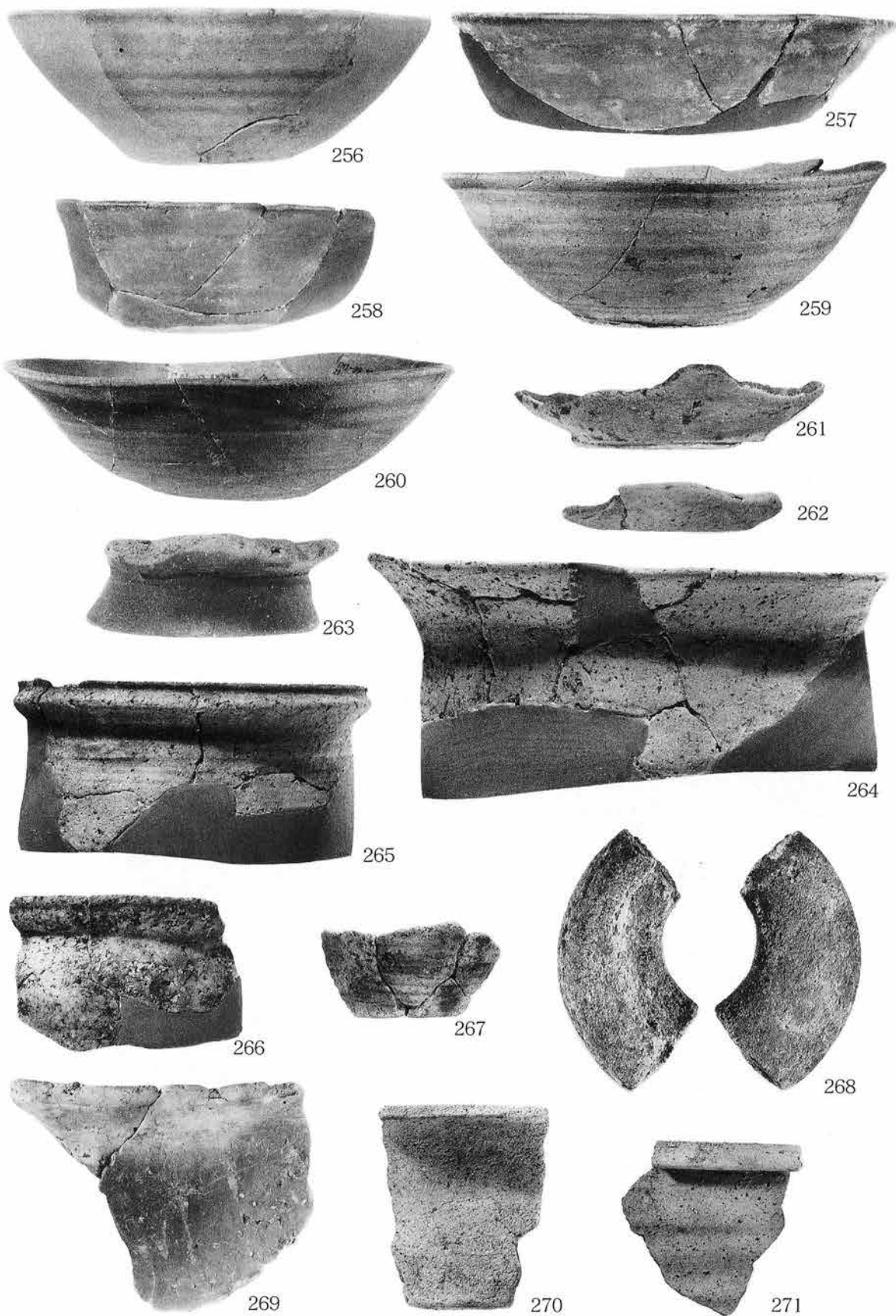
写真図版137 遺構内出土遺物(21)



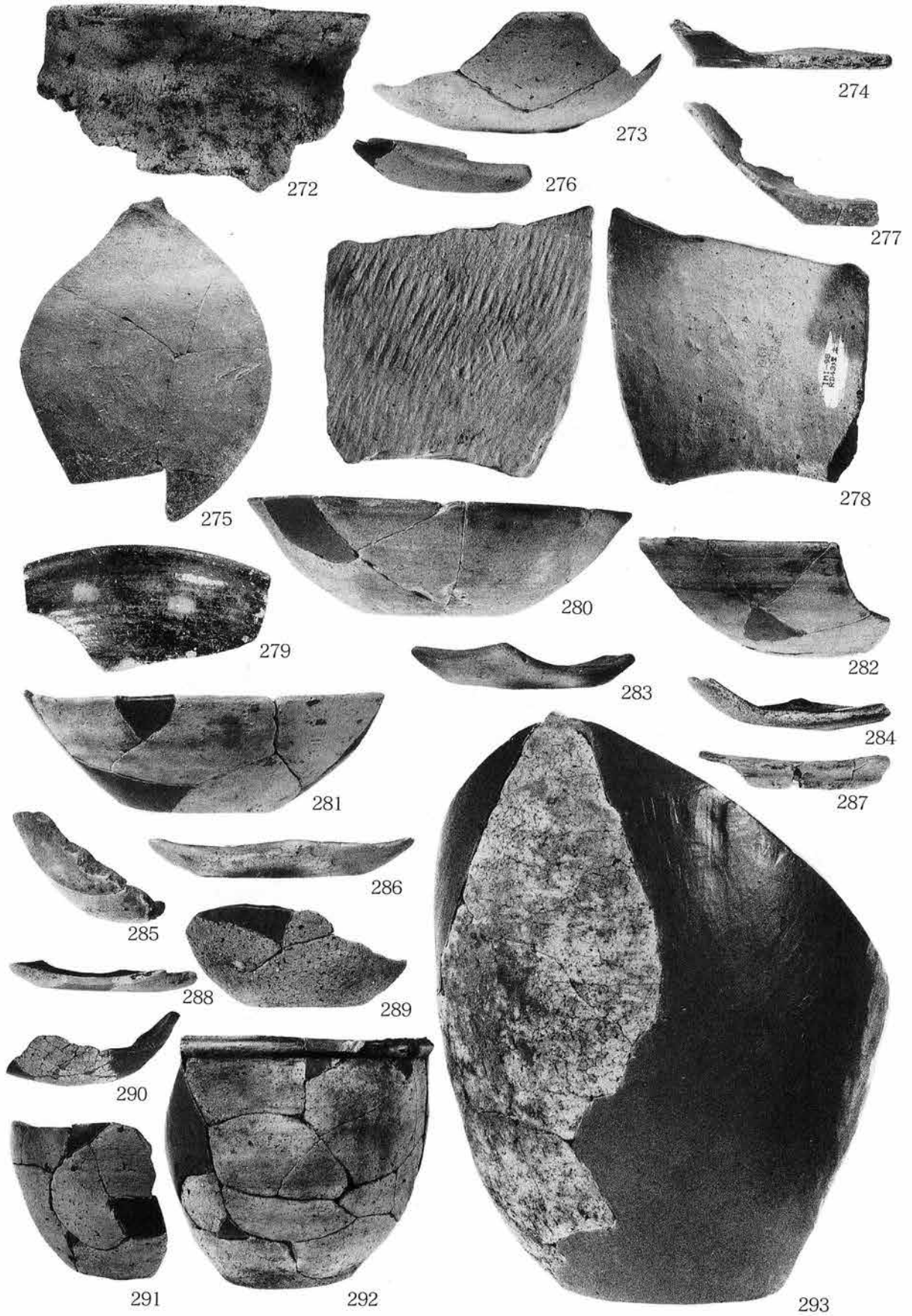
写真図版138 遺構内出土遺物(22)



写真図版139 遺構内出土遺物(23)



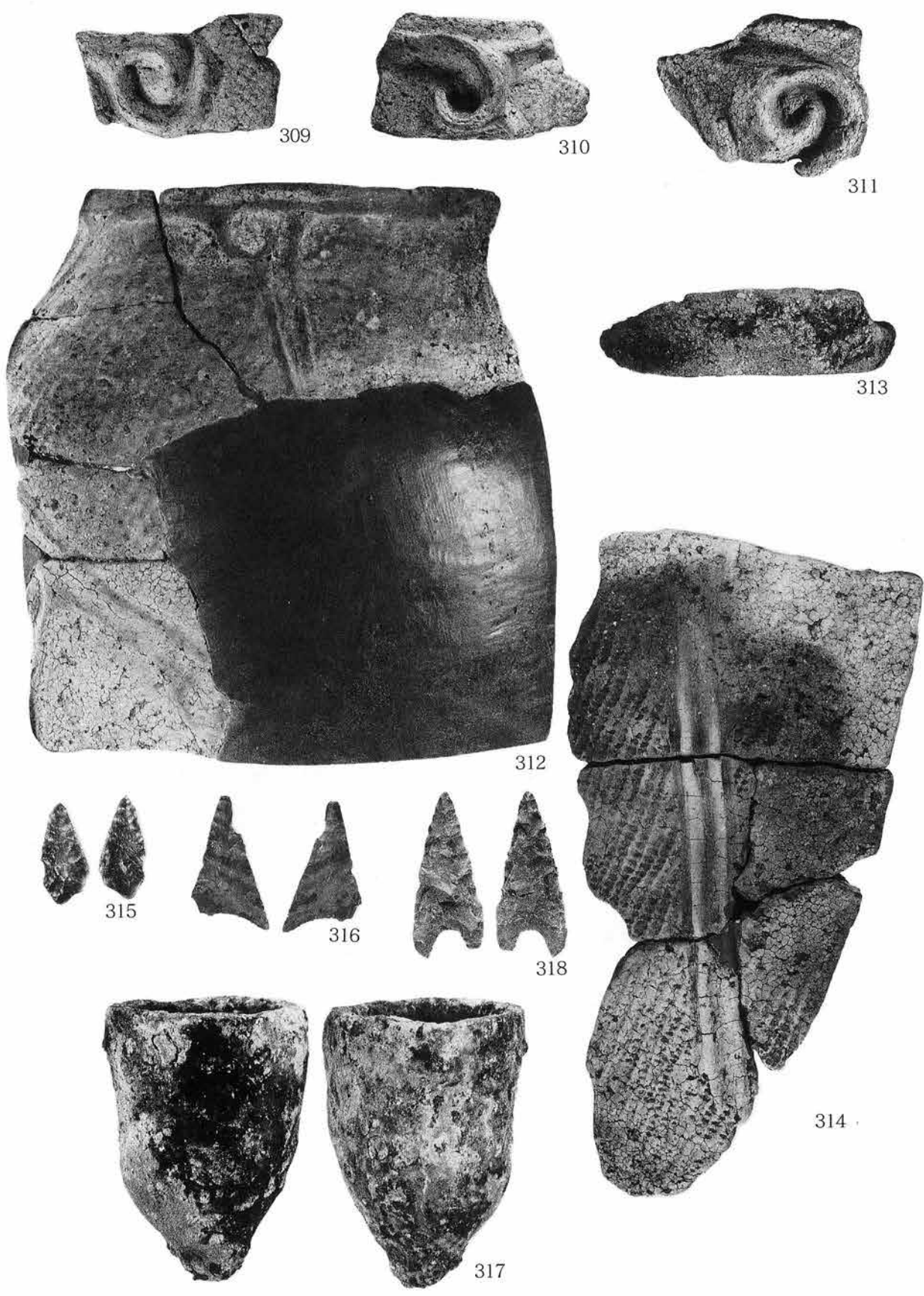
写真図版140 遺構内出土遺物(24)



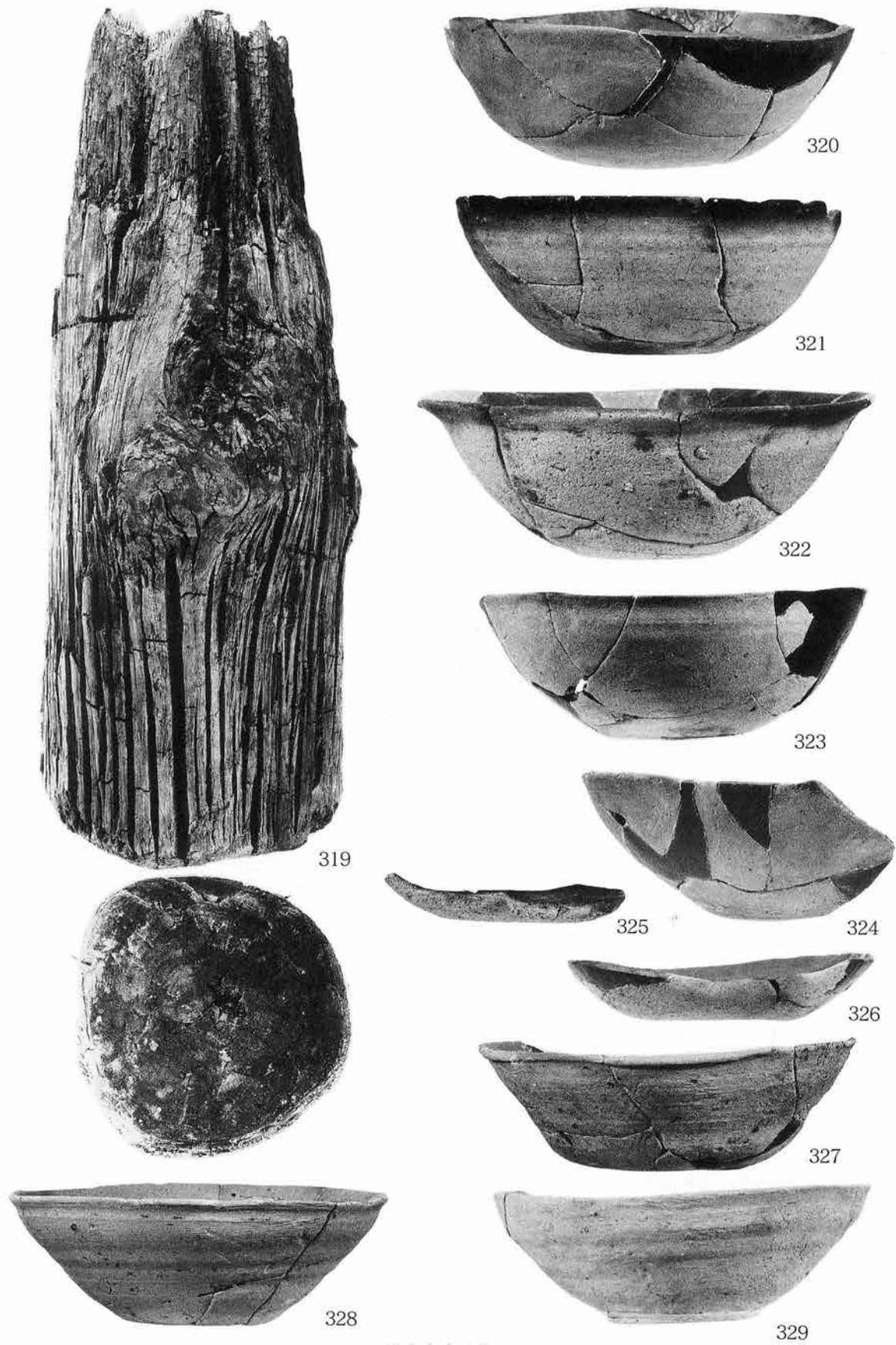
写真図版141 遺構内出土遺物(25)



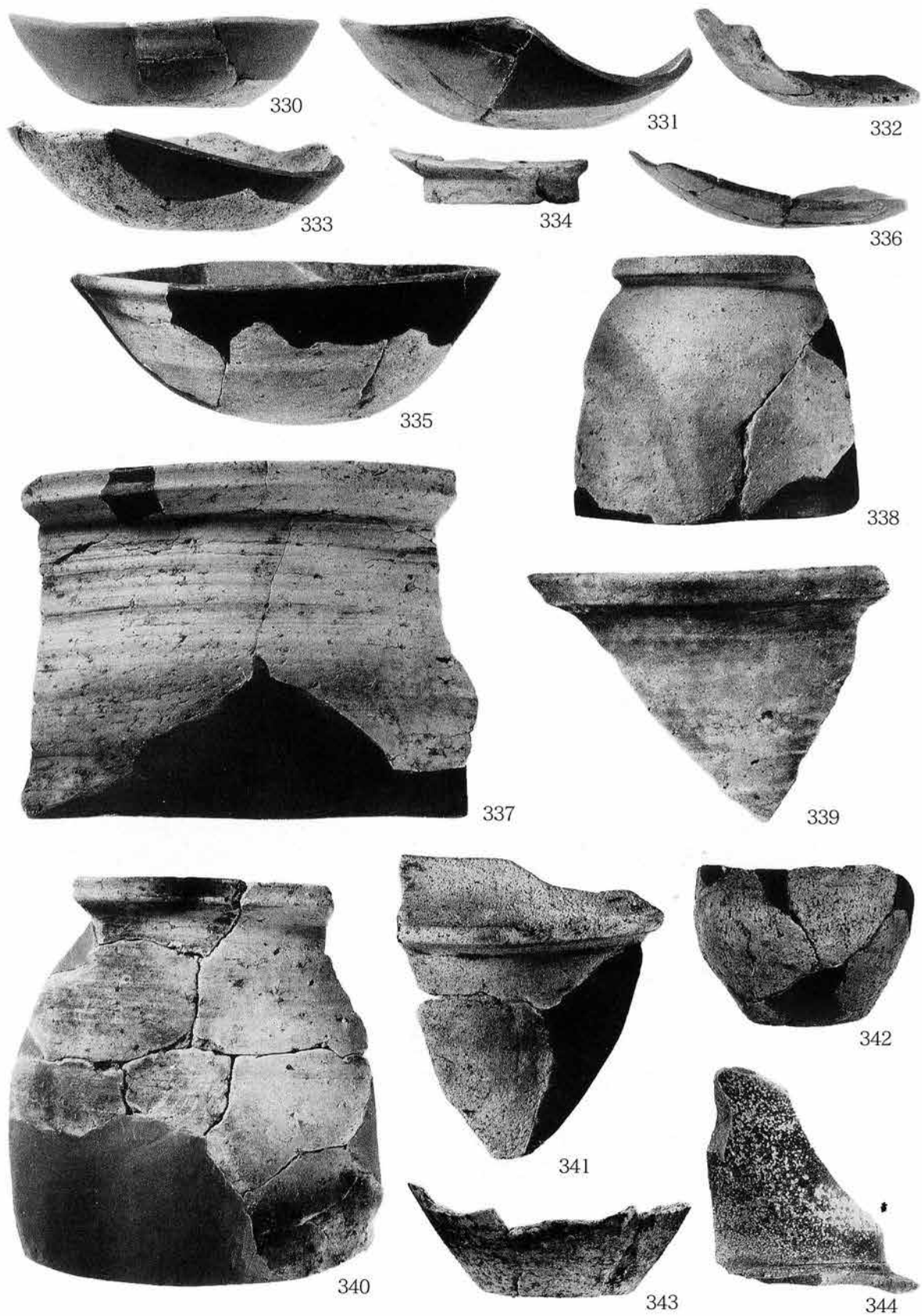
写真図版142 遺構内出土遺物(26)



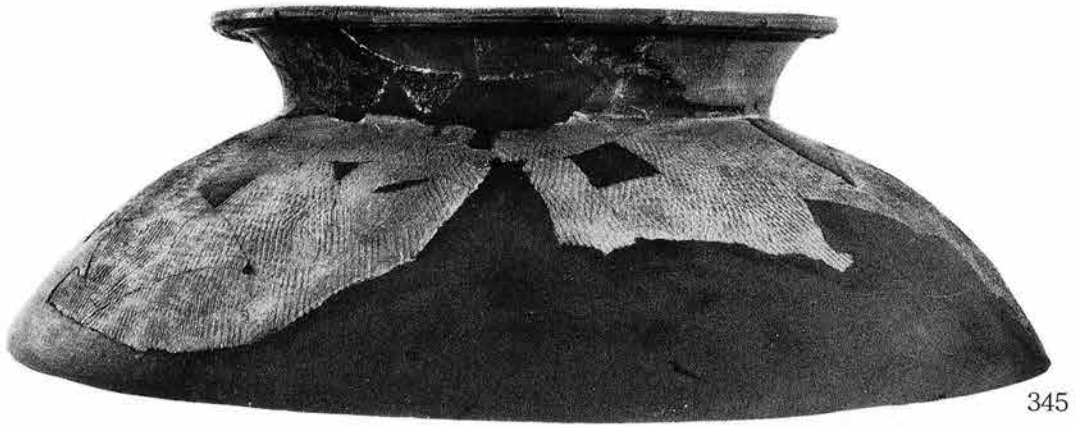
写真図版143 遺構内出土遺物(27)



写真図版144 遺構内出土遺物(28)・遺構外出土遺物(1)



写真図版145 遺構外出土遺物(2)



345



346



347

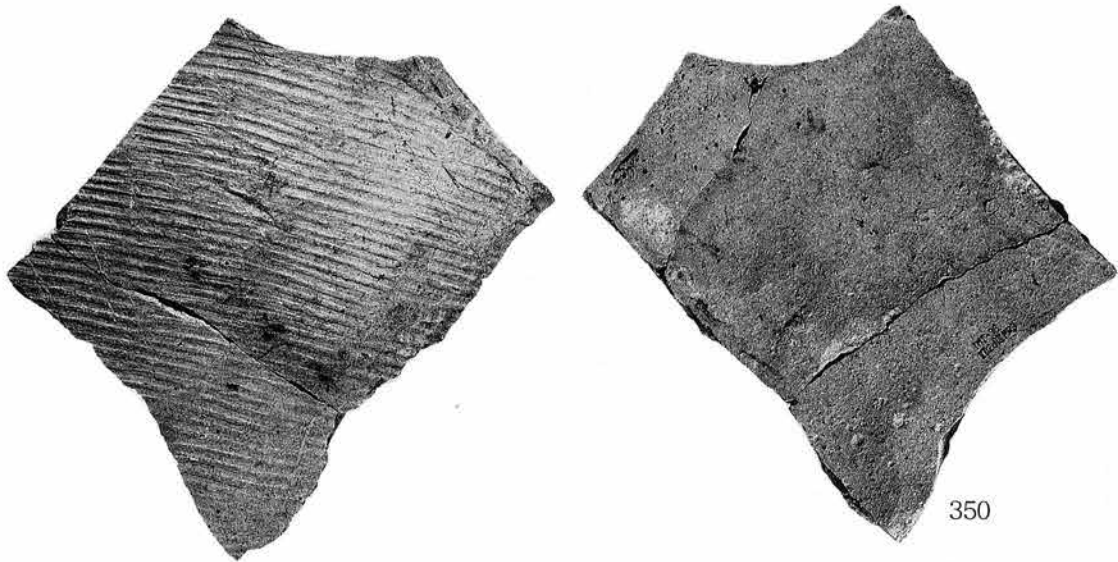


348

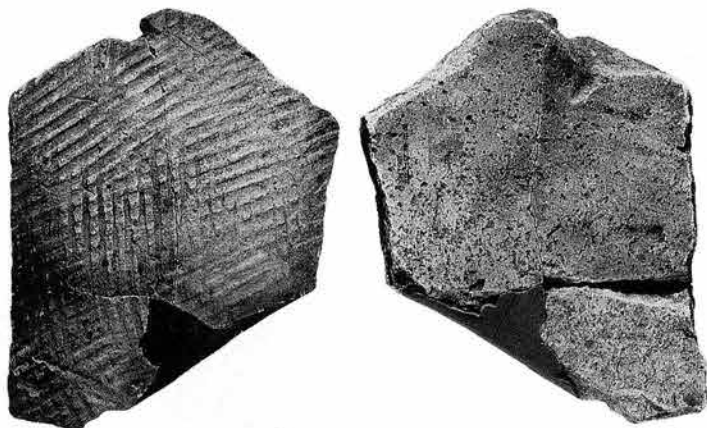


349

写真図版146 遺構外出土遺物(3)



350



351

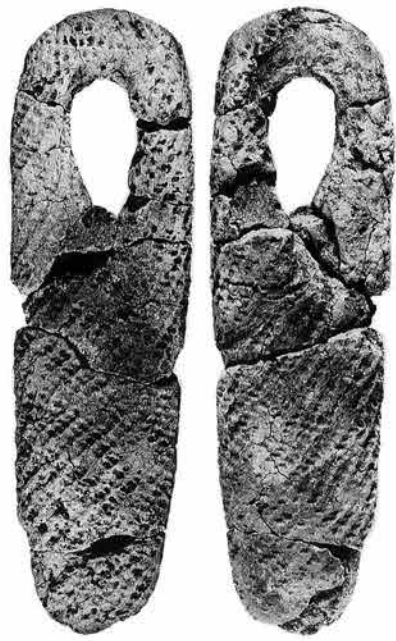


352



353

写真図版147 遺構外出土遺物(4)



354



355



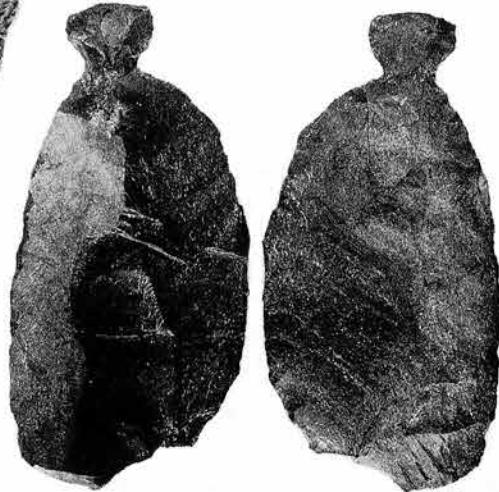
356



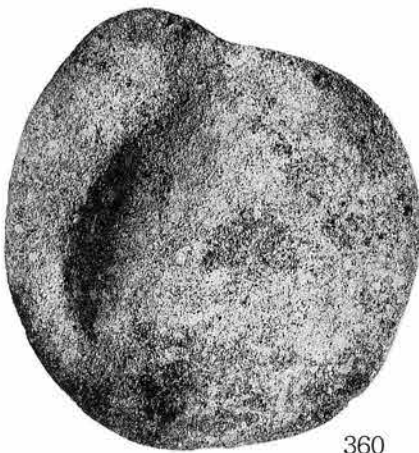
357



358



359



360



361



362



363

写真図版148 遺構外出土遺物(5)

報告書抄録

ふりがな	いしもちいちいせきはつかつちょうさほうこくしょ
書名	石持 I 遺跡発掘調査報告書
副書名	一般国道4号、花巻東バイパス改築工事
巻次	
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第341集
編著者名	早坂 悟、中野 敦夫、中川 重紀
編集関連	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185 TEL019-638-9001
発行年月日	西暦2001年3月26日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査機関	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
石持 I 遺跡	岩手県花巻市 東宮野目 10-55ほか	03205	ME16-2117	39度 24分 39秒	141度 07分 45秒	19980413 ～ 19981012 19990414 ～ 19991110	15,380	一般国道4号、 花巻東バイパス 改築工事に伴う 事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
石持 I 遺跡	集落	縄文時代 平安時代	竪穴住居跡 31棟 竪穴状遺構 5棟 掘立柱建物跡 1棟 土坑 64基 複式炉 1基 陥し穴状遺構 292基 墓坑 4基 溝跡 15条 柱穴状土坑 902基	土師器・須恵器 (9 ～10世紀) 土製品 鉄製品 (刀子ほか) 縄文土器 (中期) 石器、石製品	・耳皿が1点出土

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿

【職員】

所 長 伊藤民也
副 所 長 櫻田次男

〔管理課〕

課 長 川浪清徳
課 長 補 佐 山崎善光
主 査 立花多加志
主 事 日影睦夫

嘱 託 千葉芳夫

〃 藤島恵子

〃 新田トヨ

〃 佐々木光重

〔調査第二課〕

〔調査第一課〕

課 長 佐々木 勝
課 長 補 佐 佐々木 清文
主任文化財専門調査員 小山内 透
文化財専門調査員 赤石 登
〃 吉田 充
〃 小原 眞一
〃 小笠原 健一郎
〃 金野 進
〃 鳥居 達人
〃 金子 昭彦
〃 東海林 淳美
〃 阿部 正則
〃 羽柴 直人
〃 小野寺 正之
〃 菅原 靖男
〃 長村 克稔
〃 溜 浩二郎
〃 菊池 貴広
〃 村上 拓
〃 本多 準一郎
〃 村木 敬
〃 北村 忠昭
〃 丸山 浩治
期限付専門職員 小林 弘卓
〃 江藤 敦徳 (6月退職)
〃 藤原 賢徳 (6月退職)
〃 菊池 賢
〃 井上 信介
〃 川又 晋
〃 吉田 真由美
〃 北田 博義 (11月退職)

課 長 高橋 與右衛門

課 長 補 佐 中川 重紀

主任文化財専門調査員 高橋 義介

〃 金子 佐知子

文化財専門調査員 中田 迪

〃 工藤 道孝

〃 古館 貞身

〃 阿部 眞澄

〃 松尾 芳幸

〃 工藤 徹

〃 前田 稔

〃 岩 渊 計

〃 早坂 悟

〃 濱田 宏

〃 安藤 由紀夫

〃 高木 晃

〃 千葉 正彦

〃 佐藤 淳一

〃 半澤 武彦

〃 杉 沢 昭太郎

〃 中村 直美

〃 星 雅之

期限付専門調査員 鈴木 聡 (12月退職)

〃 吉川 徹

〃 北田 勲

〃 吉田 里和

〃 原 美津子

〃 齋藤 麻紀子

〃 島 原 弘征

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第341集

石持 I 遺跡発掘調査報告書

一般国道4号、花巻バイパス改築工事関連遺跡発掘調査

平成13年3月21日 印刷

平成13年3月26日 発行

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185

電話 (019) 638-9001

印刷 株式会社 吉田印刷

〒020-0016 盛岡市名須川町23-27

電話 (019) 625-2323

